No.136
DECEMBER 1999



Art Director
加藤　恵 MEGUMI KATO

Designers
エステム
谷本 里奈 RINA TANIMOTO
石井 充子 MITSUKO ISHII
小林 慶一 KEIICHI KOBAYASHI

Photographers
大内 政典 MASANORI OUCHI
山本 季之 TOSHIYUKI YAMAMOTO
斉藤　泉 IZUMI SAITO
谷本　夏 NATSU TANIMOTO

Editor in Chief
豊岡 昭彦 AKIHIKO TOYOOKA

Senior Editor
丸山 隆章 TAKAAKI MARUYAMA

Managing Editor
南波 俊幸 TOSHIYUKI NANBA

Associate Editors
森谷 一敏 KAZUTOSHI MORIYA
高橋　誠 MAKOTO TAKAHASHI
岡本　浩 HIROSHI OKAMOTO
塩崎 泰三 TAIZO SHIOZAKI
山口　愛 AI YAMAGUCHI
雨宮 秀樹 HIDEKI AMEMIYA
渡邊 邦子 KUNIKO WATANABE

Editorial Staff
ランディング
インフォメディア

Publisher
大村 厳 IWAO OHMURA



CONTENTS
MACLIFE

CONTENTS

MACLIFE



Cover Design：MEGUMI KATO

Cover Photo：MASANORI OUCHI

表紙協力：
（株）ユニファイブ
〒111-0043
東京都台東区駒形2-4-10
TEL.03-5828-6455

デスクトップモデル
「鉄腕アトム」

P.49 CoverStory参照

月刊マックライフ　1999年12月号（No.136）
平成11年12月18日発行 第11巻第12号通巻130号
定価 980円（本体933円）
発行／株式会社エクシードプレス
発売／株式会社ビー・エヌ・エヌ
〒102-0074　東京都千代田区九段南2-7-6
相互九段南ビルディング

編集部　TEL 03-3238-9261／FAX 03-3238-9584
販売部　TEL 03-3238-1622／FAX 03-3238-1324
広告部　TEL 03-3238-1623／FAX 03-3238-1324
印刷／図書印刷株式会社

Cover Story

デスクトップモデル「鉄腕アトム」



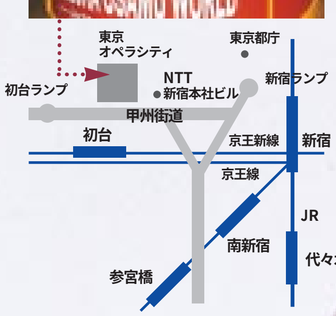
Human Heart

「鉄腕アトム」は、1900年代後半の日本を代表するキャラクターだ。アトムが生まれることになっている2003年4月7日まであとわずかだが、我々は50年も前に手塚治虫氏がロボットのアトムに託したメッセージをちゃんと消化できたのだろうか。折しも、今年は手塚治虫氏の生誕70年にあたる。手塚氏が我々に残したもの。それは、機械文明や科学文明のもたらす便利さや怖さだけでなく、アトムの持つ「やさしい心」だった。この透明なデスクトップモデルの胸に埋め込まれた「ハート」の銅板を我々は新しいiMacにも見つけられるだろうか。

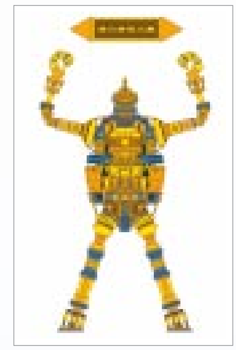
手塚治虫氏のスタジオショップがオープン！

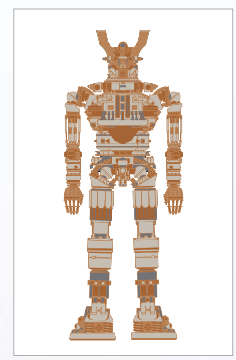
アップルコンピュータ（株）の本社もある東京オペラシティ地下1階に、手塚治虫氏のスタジオショップがオープンした。手塚治虫キャラクターグッズのすべてが見られ、買うことができるほか、手塚氏の描いた未来像を表現したフューチャータウン「アトムシティ」や昭和20〜30年代を表現したレトロタウン「手塚横町」で手塚治虫ワールドを味わうことができる。毎週日曜日には、セル画教室、ゲーム大会、体操など週替わりのプログラムで「アトム教室」が開催されている。11月3日からは手塚治虫原画展示もスタート。
http://www.tezuka.co.jp/shop/











12月に発売予定の「デスクトップモデル　鉄人28号」（上）とそのエッチング図面（中央）。そして、1月発売予定の「マジンガーZ」（右）の図面。これらのエッチング図面は、MacのIllustratorで作成されている。
© 光プロダクション
© ダイナミック企画・東映アニメーション

表紙協力：
（株）ユニファイブ
〒111-0043
東京都台東区駒形2-4-10
TEL.03-5828-6455

デスクトップモデル
「鉄腕アトム」
12,000円
限定150個（完売）

透明クリアボディの中に、内部メカを再現した銅板エッチングを封入した「デスクトップモデル　鉄腕アトム」は1999年6月に発売され、好評のうちに完売した。この12月10日には同じシリーズの「鉄人28号」（15,000円　受注生産）、2000年1月10日には「マジンガーZ」（15,000円　受注生産）も発売される。なお、「鉄腕アトム」の第二弾も計画中。

BREAK SHOT!

essay

かつてないから買ってない!?





今回の詠み人は、現役女子高生。iBookタンジェリンが超カワイくって、Apple Storeに注文したけどー、いつ届くかわかんないしー、チョムカって感じー。

詠み人…「藤原定優香」(ふじわらってゆーかー)渋谷系女子高生歌人。ハンバーガーはファッキンよりマックが好き。

まつくやまとうた

グラファイト目には清かに透けるけどー 林檎屋の奥よくわかんないしー

藤原定優香

文・絵●H・Oタニ

おはよう、ジョブズ君（なぜいつでも「おはよう」なんだ！　芸能界か？）、今回の君の使命だが、Web上に流れてしまった新iMacの写真、図面の出所をつきとめるとともに、緊急に発表会を開催することにある。

映画「MISSION:IMPOSSIBLE」の中で、主人公がPowerBookを使っていたのは、有名だ。今回、新iMac発表以前に、複数のホームページ上で写真や図面が掲載されたことが問題になっている。スパイか？　内部の者のリークなのか？

信頼できぬ情報筋によると、韓国の某社の工場では、来るべき発表に向けて新iMacがフル生産体制に入っていたが、そこにデジカメを持った猿が現れ、見事に新iMacをスクープしていったようだ。KCIAの仕業か、いや、KCIAは廃止されたはずだ。「スクープでござーる」の猿に似ていたらしい。それじゃ、最近本社ビルまで売りに出したあの会社かな。

実は今回、新iMacの発売に絡んで狙っていたものがあった。旧5色iMacのモックアップ匡体、販売店の店頭にディスプレイされていた抜け殻iMacだ。

この機会に譲って欲しいと問い合わせてみたが、Appleへ返却するとの事ことで実現しなかった。実機は5色も買えないが、モックが安く手に入れば、インテリアになると思ったんだけどなぁ……。でも、窓機のユーザーが中身詰めて、ロゴに「lo」書き足して「iMado（アイマド）」なんて作られたら困ってしまうけれど。

さて、新iMac、特にDV Special Editionの中身は、これでもか！　というほど透けている。フルーツカラーではないグラファイトがかっこいい。5色の新iMacもよいが、３万円の価格差ならば断然買いたいと思わせる作りが憎い。この先行き着くところは、マザーボード丸出しの匡体のないコンピューターか（そう考えるとApple Iはもっとも進んだデザインだったわけだ）。

そのiMac DV Special Editionとは裏腹に、AppleStoreの中身はちっとも透けていない。今回iBookを購入するのに、初めて利用してみたが、今ひとつレスポンスが悪い。

発売日までは、指折り数えてあと何日とワクワクだったが、発売後はあれから何日と石を積むような思いに変わっている。

諸般の事情もあろうが、いつ頃品物が届くのか、自分の順番はいつ回ってくるのか、なかなかはっきりしない。少しずつ改善されてはいるようだが、メーリングリストを見ても、不満たらたらであった。そこで……

——おはようジョブズ君、今回の君の使命だが、AppleStoreのデータを入手し、iBookの発送が注文番号のどこまで進んでいるのかを確認することにある——

あーiBookよ、早く届いておくれ！

また、くだらないことを書いてしまったので、このページが自動的に消滅してくれることを願う……。

BREAK SHOT!
essay
パソコンの「環境問題」

我々はマシン環境ばかり気にして周囲の環境を軽視してはいないだろうか？

姉歯 康＝ライター


©Yukiko Kimishima

マシンの速度が上がれば、それだけで作業が快適になるものだ。もっと快適にしたければ、ハードとソフトの両方についての知識を身につければよい。パソコン雑誌的には、「快適に作業するためには、速いマシンを買い、マシン環境を整え、使い方をきちんと覚えましょう」ということになる。

しかし、自分の経験を元に考えると、快適度というものは、CPUの速度よりも、作業する部屋の環境やメンタルな部分に左右されることが多い。私はしばしば、原稿書きのためだけに喫茶店に行くのだが、ゆったりとした空間での作業は非常にはかどるものだ。考えてみると、我々はマシン環境ばかり気にして、周囲の環境を軽視してはいないだろうか？

「この21インチディスプレイ、デスクトップが広くて快適でしょ？」と言われても、そのディスプレイが置かれている机の上が見すぼらしくて散らかっていれば、かなり不快である。快適さというのは、ディスプレイの向こう側にあるものとは限らないのだ。

そんなことを真剣に考えるようになり、私は今、家具選びに夢中になっている。せっかくPower Mac G4を買うのだから、いっそのこと家具もリニューアルし、快適な空間を作りだそうという魂胆だ（その結果、私の部屋にはカタログが散乱し、すっかり不快な空間となってしまっているが……）。

いかにいい部屋にするか、部屋を広く使うかを考えるのは実に楽しい。

「シンプルで飽きのこない旭川インテリアセンターの家具がいいなあ……デンツの机も機能的でよさそう。でも、価格のことを考えると、イノベーターやノバあたりが限界か。機能だけで考えれば、日本の事務機器メーカーの机も捨てたもんじゃない。椅子はアーロン・チェアが王様だけど、ストッケのバランスチェアもいい。イタリア系のものはカッコはいいけど、パス。でも、デロンギのヒーターはこの冬は欲しいなあ」と、予算や部屋の広さのことも忘れ、妄想は広がる一方だ。

「何を贅沢なことを……」といわれそうだが、私に言わせれば、マシンを選択するのと同じくらい、いや、製品の寿命を考えれば、マシン以上に重要なことである。所詮、マシンは3年も経てば古いものとなる。対して、家具はうまくいけば一生もの。椅子でお金をケチって身体を壊すのもバカバカしいし、視力の低下も気になる。第一、Macを使うのは、あくまでも私なのだ。そのことをMacに知らしめるためにも（？）、環境を優先させなければならないのである。

とはいうものの、いい家具はやはり高い。そこで、「買えなければ配置を変えてみる」というのも、なかなかいい手である。

たとえば、たいていの人は、スペースを有効に使うために壁の前に机を置き、壁に向かって作業していると思う。この場合、パソコンには集中できるかもしれないが、窓でもない限り、息苦しくなってしまう。そこで、壁に背を向けるように配置してみてはどうか？部屋が狭くなり、醜いケーブルが見えるという欠点はあるが、見通しが利くのとそうでないのとでは気分も全然違うものだ。欧米人は壁を背にして作業することを好むように見受けられるが、彼らは決して空間を無駄遣いしているわけではないと思う。

などと真面目に考えながら周囲を見ると、何も考えていない会社の多いこと。身体をねじ曲げてキーボードをたたき続ける姿を見ると、それだけで腰が痛くなってくる。禁煙にするのもいいが、本当に社員の健康を気遣うのであれば、机や椅子なども含めて、作業環境をトータルに見直すべきだ。

健康面を別にしても、iMac以降、せっかくパソコンがカッコよくなり、一般の家具にフィットするようになってきたのだ。そろそろ無機的な事務机はやめたほうがよいと思うのだが……。

BREAK SHOT!

essay

モノが増えるとトホホとなる



イラスト●益田賢治

捨てるべきか？ バックアップを取るべきか？ そこが考えモノだ

森本真也＝職業音楽屋

男やもめに何とやらという言葉がある。独身一人暮らしの筆者の部屋は、律儀にもその言葉にならって、現在見るも無惨な散らかり放題である。こと、一度仕事に取り掛かると、それが終わるまではロクに片付けることはない。本やCDなどの仕事の資料が床に散乱するわけだが、その方が効率がよかったりするから始末に負えない。足の踏み場がないなどといわれるが、それは嘘で、踏んづけて歩くからたまに痛い目を見る（トホホ）。

一応、私個人の名誉のためだけに言っておくと、決して好き好んで散らかしているわけではない。ただ、根が不精なだけなのだ（何のフォローにもなってない）。さすがに、その惨状を放置するには忍びなく、ひと仕事終えたところで大掃除するのが恒例行事となっている。このときばかりは、本やCDなどもきちんと棚に収められる。もっとも、次の仕事が始まった途端に、元の木阿弥となることはいうまでもない。かくして、積んでは崩し積んでは崩しの、非生産的な永久機関が生まれるのだ（まさにトホホ）。

そんな筆者でも一応学習能力があるらしく、近年になって「モノを捨てる」ということを覚えた。何度かの引っ越しで、部屋自体が広くなったとはいえ、収納能力には限界がある。経験的に、それが必要なのか不要なのか瞬時に判断の付かないモノは、大体において不要なことが多い。そういったモノを、ここぞとばかりに容赦なく捨てる。う～ん、地球にキビシイ？

さて、ひと仕事終わったら整理するものが、部屋の他にもう一つある。MacのHDだ。こちらも、仕事中に使った（作った）有象無象のファイルで散らかり放題となる。ましてや、根が不精な私だから、当座しのぎの適当なファイル名を付けていたりするので、たとえばそれがテキストファイルであることはわかっても、その内容が何なのかは一度開いてみないとわからない。先の理論に基づけば、そんな中身さえ忘れたファイルは不要なはずなのだが、これがHDの中身となるとなぜか捨てられない。現実の部屋と違って視覚に立体的に訴えない分、切迫感が少ないのが原因なのだろう。

先日、久しぶりにNorton先生のSpeed Diskを起動したら、「極度に断片化」と診断された。音声ファイルは、1つのファイルのサイズが大きい。それに、切ったり張ったりの編集を繰り返した結果が、ファイルのみじん切りだ。もっとも、そんな大きなファイルをいくつも同時に作業できるだけ、HDの容量も大きくなった。現実の部屋に例えるなら、広い居間だろうか。しかし、その容量に限りがあることには違いはない。現実の引っ越しに比べれば、はるかに容易に増設できるといえ、自ずと限界はある。無尽蔵に増え続けるファイルは、HDのスペースを容赦なく圧迫する。

溢れたモノは捨てるか、それができないのなら納屋にでも収めるしかない。ということで、バックアップを取ることになるのだが、居間が広くなった割には納屋はそれほど広くなっていなかった。膨大な音声ファイルを収めるには、230MBのMOではとても間に合わず、今はCD-Rにバックアップを取っているのだが、何らかの変更を加えるたびに、新たに焼き潰さなければいけないのは、決して経済的とは言えない。個人的に、DVD-RAMを狙ってはいるのだが、それすらも小さいなどと感じる日がいつかきっと来るんだろうなぁ……。

ところで、バックアップを取ったMOやCD-Rがその後どうなっているかというと、これがまた全然手さえ付けなかったりする。結局、必要なんだか不要なんだか分からない「モノ」で、現実の部屋が圧迫されることとなる。……何だかなぁ（極めてトホホ）。

特集Ⅰ

ココが違う！
新iMacのすべて



鮮烈なデビューを飾ってから１年余りが経過し、iMacが生まれ変わって登場した。
より透明度を高め美しさを増したボディ、磨きをかけたスペックを身にまとった、
iMac、iMac DV、iMac DV Special Editionの３モデルは、一体、どんなマシンなのか？
旧機種と比べどのように進化したのか、徹底検証した。



CONTENTS

攻撃は最大の防御

スティーブ・ジョブズをiCEOに迎えたときから、Apple社は忘れかけていた１つのモットーを取り戻した。それは、この業界において革新性をセールスポイントとする以上、「攻撃は最大の防御」であるということだ。

成功する企業やヒットした製品が真似されるのはどこの世界にもあることだが、90年代半ばのApple社は少しそのことに臆病になり、技術やトレンド面でのフロントランナーでいることを諦めて、数の論理で成功した会社の方法論を真似る道を選んだ。それは確かに楽ではあったが、世界で最初にパーソナルコンピューターをビジネスとして成功させ、世界で最も使いやすいGUI[*1]を生み出したApple社本来の在り方にはほど遠い姿だった。

ジョブズは、ここ数年来に渡ってApple社内でくすぶっていた製品ラインの整理を断行し、すでにおなじみとなった４つのセグメントに開発リソースを集中させることで、１セグメントについて６カ月に一度、製品全体では1.5～２カ月に一度の割合でコンスタントにニューモデルを発表できる体制を築き上げた。したがって、今はアグレッシブに見える製品発表のインターバルも、今後は当たり前のように思える時期がやってくるはずだ。

インターネット＋αを狙う新型iMacの位置づけ

実際のところ、10カ月で開発されたとされる初代iMacに比べて、新型の開発期間には１年以上の猶予があった。個々の製品単位で見れば、それでも十分な時間をかけて生み出されているといえる。

それ以上に重要なのが、製品改良の視点というか、目の付けどころである。今回のiMacの例でいえば、ファンをなくしたことやスロットイン式のCD/DVD-ROMドライブの採用、そしてharman kardon社製のスピーカーシステムの導入など、他メーカーの意表を突き、しかもユーザーの要求を満たす改良が地道に行なわれている。

すでにシンボル化している外観の印象は大きく変えずに、本当に必要と思われる改良を加えるやり方は、PowerBook G3やPower Mac G4でも見られたが、その意味でもApple社は自らの方向性に相当な自信と誇りを持って進んでいることが伺えるのである。

より強化された新型iMacの登場で、製品マトリクスが変化したという見方もあるが、個人的には、コンシューマーの意味が広がった（あるいは広げようとしている）だけで、マトリクスそのものには影響はないと考えて差し支えないのではな

特集I ココが違う！ 新iMacのすべて

新型iMacで完成したApple社の改革

コンセプト、デザイン、ソフト三位一体のイノベーション



コンシューマーノートiBook、スーパーデスクトップG4、そしてDV ＆ 1,000ドルiMacの実現と立て続けにヒットを放ち、アグレッシブな製品戦略を展開するApple社。特に、コンセプトをキープしながら「深化」した新型iMacは、同社のコンシューマー路線に対する自信の大きさを物語っている。ここでは、ニューモデルの持つ意味をさまざまな角度から考えてみる。

大谷和利

iMac DVモデルは従来通り5色の展開。旧モデルに比べ、外観は透明度が増すとともにデザインの変更もなされた

いかと思う。

ここで新たに分化した３機種の役割を考えてみよう。単にiMacと呼ばれるエントリーモデルは、従来のマシンの順当な後継機であり、いわゆる1,000ドルPCに対抗する「バリュー・フォア・マネー」を前面に打ち出したものである。エントリーモデルではあっても、性能的には決してローエンドとはいえない、ハイ・スタンダードな内容のものだ。

5色のiMac DVは、DVD-ROMドライブとFireWire、そしてiMovieソフトウェアの組み合わせによるデジタルビデオ編集機能をセールスポイントとしてはいるが、これをもってプロ指向マシンへの方向転換とはいい難い。あるいは、いわゆるハイ・アマチュア向けへの単純なシフトでもない。これは、インターネット接続だけで満足しがちなコンシューマーユーザーに対する一種の挑戦であり、Mac本来の世界へと誘うための呼び水なのである。

たとえば、価格的に見れば従来機よりも安いiMac DVは、DV機能を目的としなくてもカラーリング優先で買えるモデルである。したがって極端にいえば、DV機能は（豪華な）オマケだと考えることもできる。しかし、そのオマケは非常に魅力的であり、それで遊ぶうちにビデオのみならず、サウンド、アニメーション、マルチメディアオーサリングといったMacの得意分野に興味を持つユーザーも現れるだろう。業界では、iMacは売れたがサードパーティ*2のソフトの販売がそれに見合って伸びていないというジレンマが発生しているが、それを打破するための仕掛けが、iMac DVには隠されているのである。

さらにiMac DV Special Editionはどうかといえば、これは将来のカラーバリエーションのための先行実験的な傾向が強く感じられる。より落ち着いた色が欲しいという要望と、トランスルーセントを基調とするiMacカラーの方向性、そして５色のキャンディカラーとのバランスを考えたとき、この限りなく透明に近いグラファイトカラーのiMacは、独立したモデルとして扱われる必然性があった。Special Editionの称号、およびRAMとHDの仕様の拡張は、後から付いてきたものと考えたほうが自然だ。

新型iMacのラインアップ（詳細は次ページ以降参照）

iMac DV Special Edition（1色のみ）178,000円



グラファイト

新型iMacの最上位機種。下のiMac DV同様、CPUはPower PC G3/400MHz、4倍速のDVD-ROMドライブを搭載するが、ハードディスクは13GB、メモリー128MB（iMac DVはそれぞれ10GB、64MB）となっている

iMac DV（5色）148,000円

ライム　グレープ　ストロベリー　タンジェリン　ブルーベリー



iMac（1色のみ）118,000円



ブルーベリー

新型iMacのもっともベーシックな機種。CPUはPower PC G3/350MHz、ハードディスクは6GB、メモリーは64MB。DVD-ROMドライブのかわりに24倍速のCD-ROMドライブを搭載。上位2機種にあるFireWireポートはなく、iMovieもバンドルされない



10月16日、新iMac発売当日の秋葉原のショップの様子（撮影協力：ソフマップ秋葉原2号店MacCollection）。開店前から行列ができ、整理券が配られた





iMovie & QuickTime 4バンドルでソフトによる改革が復活

ご存じのように、すでにiMacの影響はアメリカや日本のPCメーカーの製品のそこここに見て取ることができる。周辺機器や文房具、インテリア小物、スクーターなどを含めれば、その波及効果ははかり知れず、iMacカラー、iMacグッズなる言葉さえ生み出されたほどだ。しかし、かつてのApple社を知る者の目からすれば、最近の同社の改革がすべて製品コンセプトとデザインに偏っていることが気になっていた。

そうした中で登場した新型iMacでは、上位2機種にiMovieという独自ソフトをバンドルすることにより、初代Macに付属していたMacPaint（ペイントソフト）やMacWrite（ワープロソフト）がユーザーにもたらした意識革命が、再び蘇るのではないかという期待感がある。

iMovieの登場はQuickTime 4の存在意義も高め、来るべきMac OS Xと併せてApple社のソフトウェア改革の先駆け的な役割を果たすことだろう。コンセプト、デザイン、ソフトの三位一体のイノベーションは、新型iMacをもって一応の完成を見たともいえるのである。

*1 GUI：Graphical User Interfaceの略。文字ではなく、グラフィックスを主体としたユーザーインターフェイスのこと。　*2 サードパーティ：特定のハードウェアやソフトウェアなどの製品について、その製造メーカー以外に、関連製品を製造しているメーカーのこと。



特集I ココが違う！ 新iMacのすべて

三谷 森

新iMacモデル別詳解

ユーザーのニーズに応えた最新iMac3モデルのすべて

コンシューマーユーザーから絶大な支持を得たiMacがフルモデルチェンジし、より洗練されて登場した。ラインアップも拡充され、選ぶのに困っている人も多いのではないだろうか。各機種の性能や内容などを解説しながら、新しいiMacの魅力に触れてみたい。

iMac DV ｜ 148,000円 ｜ DV機能を搭載して

DVに標準対応した主力機種 ──iMacDV

新しいiMacシリーズの中で、中核的な存在となっているのが「iMac DV」である。先代のiMacと同じく5色のカラーバリエーションをがあり、引き続き、このモデルだけは好きな色を選ぶ楽しみを味わうことができる。カラーリングが施されているパーツは、より透明感が増しており、つややかな印象を受ける。ボディの形も、先代に比べてヒップアップし、やや小さくなり丸みも増して、「かわいい」感じが強くなった。おしゃれなパソコンというイメージを押し進めたといえる。

しかし、かわいい外観とは裏腹に、性能面はかなり強力である。CPUにはクロック周波数400MHzのPower PC G3を搭載。2次キャッシュメモリーは512KBで、200MHzで動作する専用のバックサイドキャッシュバスによってCPUと接続されている。ロジックボードのシステムバスクロックも100MHzになっており、システム全体のパフォーマンスアップが図られている。

搭載メモリー容量は、標準で64MB。本体下部にメモリー増設用スロットが設けられており、ここにPC100対応SDRAMモジュールを2枚まで装着可能になっている。256MBモジュールを2枚装着すれば、最大512MBまでの拡張が行なえる。メモリースロットへのアクセスも分解せずとも本体底面から行なえるようになっており、使いやすいように改善された。



DV編集ソフトウェア「iMovie」
iMac DVとiMac DV Special Editionに付属するのが、デジタルビデオ編集ができるソフトウェア「iMovie」。これによりMacでDV編集というトレンドが、さらに加速することは間違いない



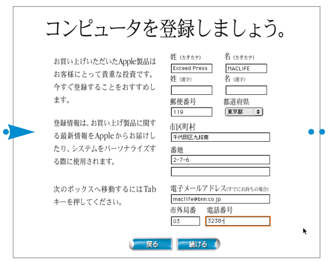
上位2機種はVGAコネクターを搭載
iMac DVとiMac DV Special Editionには、他のディスプレイにiMacの画面を出力できるVGAコネクターが付属している。購入時はフタで塞がれているが、必要に応じて、上の写真のようなカバーと交換して使用する



より簡単になったマシンセットアップ









iMac購入時にパッケージを開封して、コンセントをつないで電源を入れると、驚いたことに画面が突然白くなり、音楽が流れてくる。iMacを初めて起動すると、マシンのセットアップ画面が自動的に起動するようになっているのだ。先代iMacにはなかった仕掛けだが「買って10分でインターネット接続」という売り文句を継承し、初心者に優しいフレンドリーな作りになっている。まずはマウスの使い方から始まり、自分の名前や住所などを登録する。その後、インターネット接続のアシスタント画面になり、ここでメールアカウントなどを入力するのだが、アドレスを持っていない人でもインターネットを試用することができるようになっている。なお、ここで登録した情報は、最初にインターネットに接続した際にAppleに送付される。

大きく進歩したスタンダードモデル

ハードディスクは10GBのATA接続タイプを用いている。理論データ転送速度33MB/秒に対応するUltra ATA/33インターフェイスを採用したことで、ハードディスクへのアクセス速度も向上している。実際には、20MB/秒ほどの性能が得られるが、これはかつてSCSIインターフェイスを搭載していたPower Macシリーズに比べて2倍近い性能であり、必要にして十分といえるだろう。デジタルビデオの取り込みにも、確実に対応できるはずだ。

ビデオやサウンドもパワーアップ

強化されたポイントはまだある。ビデオチップは3D描画を高速化するほかにDVDビデオの再生機能も備える「ATI RAGE 128VR」を採用し、8MBのVRAMを搭載。さらに、iBookで初採用したAGP×2接続によって、高速な画面描画能力を備えた。ゲームやDVDの再生といったホームユースで、非常に高い実力を発揮できる構成になったといえる。

本体前面には、スレテオスピーカーとCD-ROM／DVD-ROMディスク挿入口がある。iMac DVではDVD-ROMドライブを搭載し、一般のDVDビデオの再生も可能だ。DVDドライブはトレーやキャディーを必要としないダイレクトローディングタイプで、使い勝手は良好だ。

スピーカーは米harman/kardon社と共同開発したものを用いており、音質の向上を図っている。iSubと呼ばれるUSB接続のウーハーも用意されるようで、かつてないほどサウンド面での改善が施されている（P.72を参照）。

待望のFireWireを搭載

I／Oポートは、本体右側面に集中しており、基本的な構成は先代と変わらないが、新たにFireWireが搭載された。デジタルビデオの取り込みや外部記憶装置の接続などを、より手軽に行なえるようになったことは、喜ぶべきことだろう。もちろん、USBポートも2基備えている。また、本体背面には外部出力用VGAコネクターも装備。ミラーリングのみの対応だが、ビデオ再生や教育・プレゼンテーションなどで活用する機会も多くなるだろう。

モデルチェンジといいながら、実質的には完全に新しいマシンとなったiMac DVは、多くの既存ユーザーはもとより、これからパソコンを始めてみようという人にも魅力的な選択肢となるだろう。スタイルやカラーリング、性能や機能、そのいずれもがより洗練されたことは大いに評価できる。付属ソフトもビジネス向けのものからゲームまで、幅広いジャンルのものが用意されている（詳細はP.63のスペック表を参照）。なかでも目玉は、デジタルビデオ取り込み・編集ツールの「iMovie」だ（P.64にて紹介）。初心者でも簡単にデジタルビデオ編集が可能となっている。

iMac DV Special Edition | 178,000円 | 最上位機種





少しの価格差で手に入る最上位マシン

iMac DVより30,000円高いが、ハードディスクは13GB、メモリーは128MBを搭載する。iMac DVにメモリーを搭載することを考えたら、最初からSpecial Editionを選択したほうがお得な場合もある。機種選択のポイントとしては、このグラファイトカラーを選ぶか、これまでと同様の5色のなかから選ぶか、という点が挙げられるだろう

シックな外観が魅力？ ──iMac DV Special Edition

iMac DVには、さらにワンランク上のモデルが存在する。それが、「iMac DV Special Edition」だ。搭載CPUは、クロック周波数400MHzのPowerPC G3で、2次キャッシュメモリーの容量は512KB、バックサイドキャッシュバスの動作速度は200MHz──と、通常のiMac DVと同じである。搭載インターフェイスの構成もiMac DVと同じであり、特に相違点はない。

このモデルの性能面における特徴は、最初から搭載メモリー容量が128MBでハードディスク容量が13GBになっているということだ。やはりデジタルビデオ編集を行なうようになると、メモリーやハードディスクの容量は大きいにこしたことはない。このSpecial Editionであれば、最初か

iMac | 118,000円 | 攻めの低価格モデルはこれからパソコンを始める人に最適！

シンプルな基本モデル ──iMac

新しいiMacシリーズの中で、iMacは基本的な機能を備えた入門モデルとして位置付けられている。搭載CPUはクロック周波数350MHzのPowerPC G3で、2次キャッシュメモリーは512KB。バックサイドキャッシュバスは175MHzで動作する。搭載メモリー容量は64MBで、最大容量は512MBとなる。ハードディスクは6GBのATA接続タイプを採用しているほか、24倍速のダイレクトローディングタイプのCD-ROMドライブを内蔵する。新iMacシリーズのなかで、このモデルだけが先代iMacと同様にCD-ROMドライブを採用している。

すべてのiMacシリーズに共通の機能として、56Kbps対応モデムや、10/100base対応Ethernetなどの機能を備えるほか、iBookでお目見えしたワイヤレス通信システム「AirPort」にも対応している。確かに、上位機種と比較するとスペック的に見劣りはするが、新iMacは必要最低限の機能は備えているということだ。

iMac DVとiMac DV Special Editionには、外部出力用ビデオポートがあるが、iMacにはこの機能は残念ながら用意されていない。FireWireも搭載されず、「iMac」という製品名が示すように、先代iMacの後継モデルとして位置付けることになる。

しかし、新iMacシリーズのなかではCPUのクロック周波数がやや低いとはいえ、実用にはまったく差し支えないレベルである。これまでパソコンというものに触ったことがない人で、まずインターネットから始めてみたいという人には最適のモデルといえるだろう。価格的にもAppleStoreプライスが118,000円で、先代のiMacと比べると実に4万円ものプライスダウンになっている。価格と性能のバランスの取れたマシンとして評価できる。セカンドマシンとして、また学校や企業などで多くの台数を一気に導入するときなどはよい選択肢になるのではないだろうか。

カラーリングはもっとも人気が高いと思われるブルーベリーのみ。どうしても違う色が欲しいというときは、4万円プラスしてiMac DVを選ぶか、6万円プラスしてiMac DV Special Editionを買うしかないが、価格とスペックと色に納得がいくならば、新iMacシリーズのなかで、もっともお買い得なマシンだといえる。





旧iMacよりもパワーアップして4万円ダウン
購入を迷っていた人も踏ん切りがつく高性能

旧iMacのインターフェイスを継承しているのが、この118,000円の新iMac。先代のiMacよりも高速のCPUを搭載しており、それだけでも買う価値がある。iMac DVや、同Special Editionと違うのは、新iMacシリーズのなかで唯一、DVD-ROMドライブとFireWireポートを搭載していない点。このほか、ハードディスクが6GBでメモリーは64MBではあるが、初心者には十分なスペックだ。このモデルの魅力はやはり、価格が安く旧モデルよりも高性能であるということだろう

にふさわしい高級感あふれるグラファイトカラー

ら余裕のデジタルビデオ編集環境を手にすることになる。

もっとも、多くの人はそうした性能面よりも、このモデルだけに用意されたカラーリングに注目しているのではないだろうか。iMac DV Special Editionは、先に発表されたPower Mac G4シリーズと同じグラファイトカラーを採用している。このため、かわいい印象が強いiMac DVに比べて、ちょっと大人びたシャープな印象が強まっている。G4と同じ色だけあって、プロユースのマシンのようだと感じる人もいるだろう。このカラーリングだけでSpecial Editionを選ぶ人も多いかもしれない。

新しいiMacシリーズが先代よりも透明感が増したことは先に述べたが、このSpecial Editionはさらにクリアになっており、内部はほとんど丸見え状態である。本体下部に設けられた放熱用フィンなども、はっきり見える。

全モデルに入っているのでSpecial Edition専用ではないのだが、このグラファイトカラーにマッチするように、Power Mac G4で採用された新しいデスクトップパターンも用意されている。

なお、iMac DV Special Editionに限らず、新しいiMacシリーズはすべて、内部冷却・空気対流用のファンがなくなっている。そのぶん、熱を逃がしやすくするために背面上部の取っ手の周りに空気穴が設けられることになった。ファンがないので、動作音は事実上ハードディスクやCD-ROMなどを用いるときのアクセス音だけである。実際に使ってみると、静かなことがよくわかる。ただし、ファンを排除したために内部に熱がこもりやすくなってしまったことは否めず、しばらく使っているとiMacの背面がかなりの熱を持つことになる。この点だけは、少々残念な気がする。



内部構造が丸ごと見えるトランスルーセントボディ

iMac DV Special Editionの特徴は、なんといってもその外観だ。iMac、iMac DVには見られないグラファイトと呼ばれるPower Mac G4と同色を採用しており、さらに内部構造がすべて覗けるようなトランスルーセントボディになっている。光のあたり具合によっては鏡のように外光を反射する

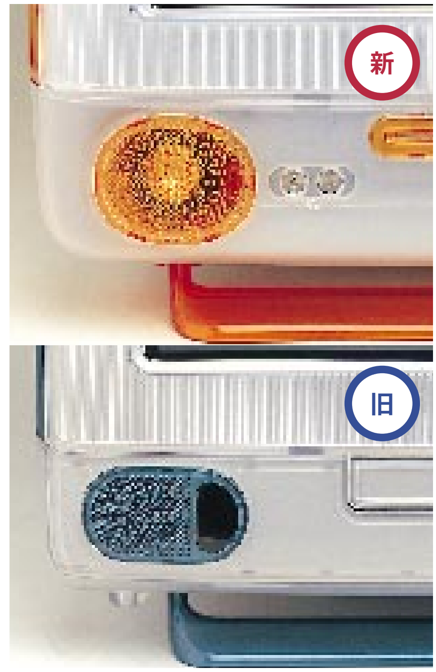
新iMacスペック表

本体カラー	iMac ブルーベリー	iMac DV ブルーベリー、タンジェリン、ストロベリー、グレープ、ライム	iMac DV Special Edition グラファイト
プロセッサー	Power PC G3/350MHz	Power PC G3/400MHz	Power PC G3/400MHz
標準搭載メモリー	64MB(SDRAM)	64MB(SDRAM)	128MB (SDRAM)
最大搭載メモリー	合計512MBまで	合計512MBまで	合計512MBまで
二次キャッシュ	512K バックサイドレベル2キャッシュ	512K バックサイドレベル2キャッシュ	512K バックサイドレベル2キャッシュ
システムバス	100MHz	100MHz	100MHz
ハードディスク	6GB Ultra ATA	10GB Ultra ATA	13GB Ultra ATA
内蔵ドライブ	24倍速CD-ROM(Slot Loading)	4倍速DVD-ROM(Slot Loading)	4倍速DVD-ROM(Slot Loading)
ディスプレイ	15インチ シャドウマスク ディスプレイ	15インチ シャドウマスク ディスプレイ	15インチ シャドウマスク ディスプレイ
解像度	1,024×768まで	1,024×768まで	1,024×768まで
ビデオ端子	——	VGA 出力ポート(15ピンmini D-Subコネクター)	VGA 出力ポート(15ピンmini D-Subコネクター)
グラフィック	ATI RAGE 128 VR 2D/3Dアクセラレーター (8MB SDRAM+AGP 2X)	——	——
モデム	56kモデム(V.90、K56flex対応)	56kモデム(V.90、K56flex対応)	56kモデム(V.90、K56flex対応)
USBポート	2基	2基	2基
Ethernetポート	10/100 Base-T/Ethernetポート1基	10/100 Base-T/Ethernetポート1基	10/100 Base-T/Ethernetポート1基
FireWireポート	——	2基	2基
サウンドシステム	Odyssey オーディオシステム(harman/kardon社製)	——	——
付属OS	Mac OS 8.6	Mac OS 8.6	Mac OS 8.6
AirPort	使用可能	使用可能	使用可能
オプション	AirPortカード、AirPortベースステーション	AirPortカード、AirPortベースステーション、iSub	AirPortカード、AirPortベースステーション、iSub
大きさ(H×W×D)	38.1×38.1×43.5cm	38.1×38.1×43.5cm	38.1×38.1×43.5cm
重量	15.8kg	15.8kg	15.8kg
価格	118,000円	148,000円	178,000円

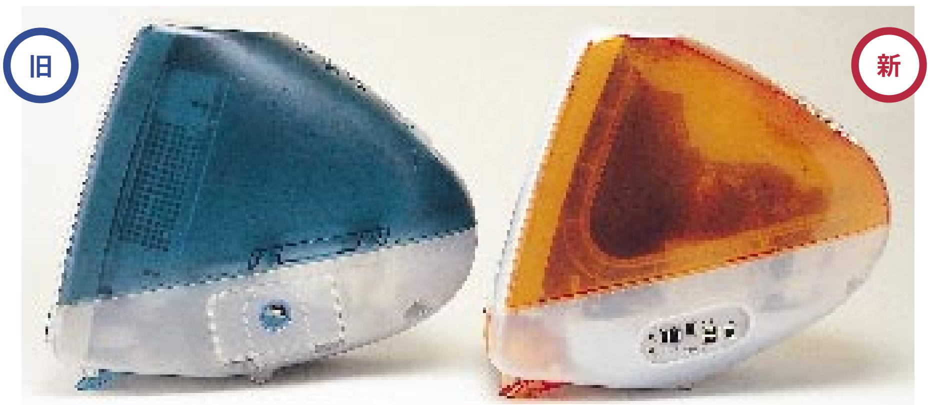
付属ソフト●Microsoft Internet Explorer 4.5、Outlook Express 4.5、Netscape Communicator 4.5、Adobe PageMill 3.0、Kai's Photo Soap 2、キッドピクススタジオ、AOL、PostPet 2001、クラリスワークス4.0、FAX stf、Nanosaur、Bugdom、iMovie (iMovieは、iMac DVとiMac DV Special Editionのみに付属)



前面 外観の違いとしては、スピーカーとスロットイン形式のCD/DVD-ROMドライブの形状の変更が目立つ。新機種は本体の高さが若干低くなっており、重心が微妙に下の方へ移動した印象を受ける



スピーカー部分の形が変わったほか、ヘッドホンジャックが右スピーカーの横から左スピーカー横へと移動した



側面 新機種は奥行きが少し減り、丸みが増して「尻上がり」の形状となっている。内部構造が大幅に改善され、筐体の透明度が増したことで本体色がかなり明るく見えるようになった



CD-ROM排出スイッチは、スロット右側に目立たないように配置されている

特集I ココが違う！ 新iMacのすべて

新型iMacはココが進化した！

旧機種との徹底比較で探る新機種の先進性

秋田 克彦

Part1 外観編

一見するとマイナーチェンジに見える新型iMacだが、見れば見るほどその違いに驚かされる。その中身はまったくの別物といってもいいほどの進化を遂げているのだ。どのような変更がなされ、どのように進化したのかを探っていこう。

まったく新しいiMac

新型iMacと、Rev.A*1からRev.Dまでの旧型iMac（ここではRev.Aを使用）とを見分ける外観上の一番のポイントは、スピーカーと、スロットローディングに変更されたCD-ROM／DVD-ROMドライブの形だ。色が付けられた部分の形状が異なっているため、最も違いが目立つ。

逆に、新型iMacを単体で眺めていると、これ以外の外観上の違いはわかりづらい。丸みのあるボディのイメージがインパクトのあるものだったが故に、ディテールに目がいかないせいかもしれない。しかし、実際に新旧のiMacを並べてみると、こうも違うものかと驚かされる。内部構造はもちろん大幅に変更されたが、さらに筐体の形状、コネクターの場所や配置など、まったく同一なものを見つけるのが難しいほどだ。まさに新型iMacは「まったく新しいiMac」なのである。

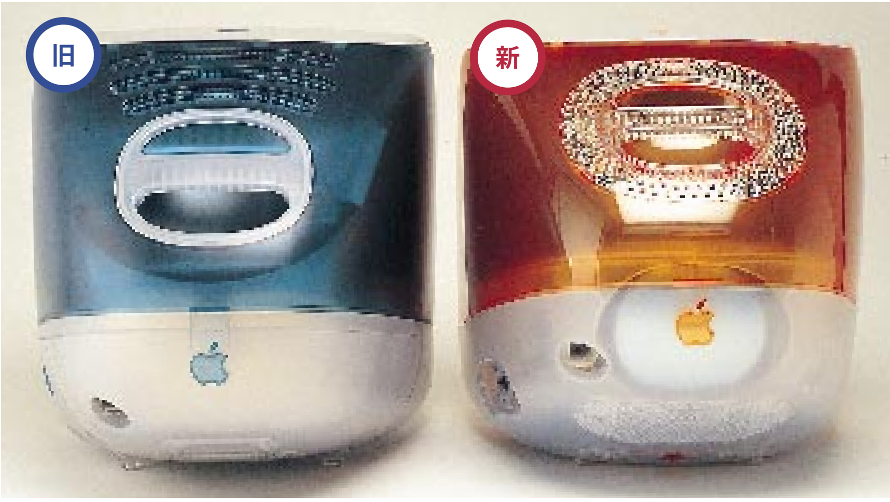
一回りコンパクトな筐体

正面から見てみると、ディスプレイの高さや位置はそれほど変わっていないが、新型iMacの方が重心が下に移動して安定感のある印象を受ける。筐体の高さが1cm程度低くなったうえ、スタンドを立てた時の底面からの距離がわずかに短くなったのがその理由だろう。CD-ROM／DVD-ROMドライブが小型化され、スロットの縁が本体カラーに統一されたことで、正面下部にアクセントが増えたのも一因といえそうだ。

本体側面を新旧両機で比べてみると、新型iMacは若干奥行きが短く、さらに丸みを増していることがわかる。トランスルーセントの部分とカラーの部分の境目となる傾斜は、奥行きが少ない分だけ角度が急になった。

背面を見ると、取っ手（ハンドル）のデザインが大きく変わっているのがわかる。旧iMacは半透明の材質で小型のものだったが、新型ではクリアな材質のものに変更された。また、旧iMacでは本体カバー上部にあった通気口が、新型ではハンドル部分に設けられている。

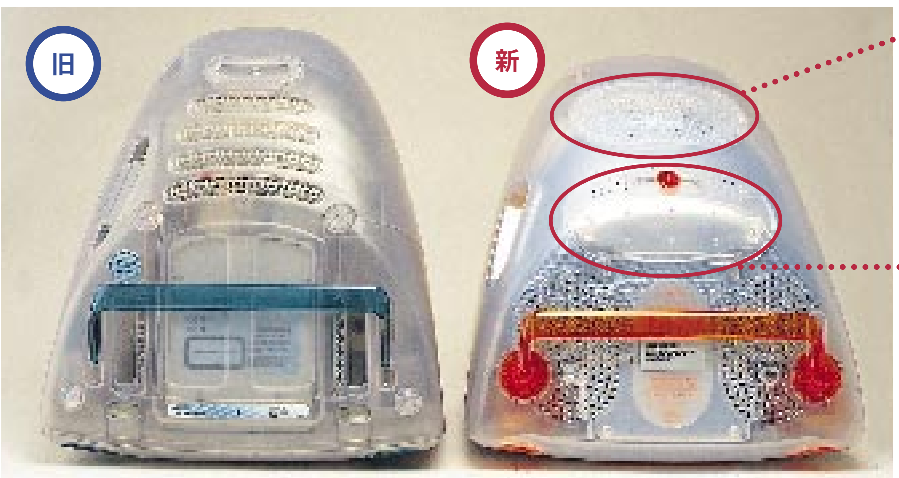
底面はもっとも大きく外観が異なる部分だ。メモリー／AirPort増設用スロットとVGAポートの配置によって、底面の部品構成が大きく変わ



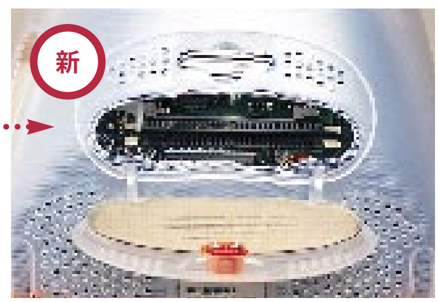
背面 新機種は、ハンドルの材質が変更され大型になり、通気口を兼ねるようになった。リンゴマークの位置も少し上に移動した



iMac DVおよびSpecial Editionの底面にはVGAポート（上）が設けられており、専用のカバー（中）が付属する。iMacにはVGAポートはない（下）



底面 奥行きの違いがよくわかる。新機種にはVGAポートと、メモリー／AirPortスロットを覆うカバーが設けられた



底面中央部にはカバーがあり、ここを開けるとメモリースロットとAirPortスロットにアクセスできる



I/Oポート 旧機種のカバーが廃止され、新機種ではパネルがむき出しになっている。DVおよびSpecial EditionモデルでFireWireポートが2つ追加搭載された以外、構成は変わっていない。ただし、リセットスイッチとインタラプトスイッチが指で押せるようになった

っている。また、放熱性を増すために通気口の面積が増え、内部部品の位置の移動に合わせて通気口も前方へ移動している。さらに、スタンドの固定方法が変更され、スタンドを使わない場合の足の位置も、内側よりの配置となった。

消えたI/Oポートのパネルカバー

もうひとつ大きく変わっているのがI/Oポートパネルだ。旧iMacにあった、丸い穴の開いたパネルのカバーがなくなり、インターフェイスが常にむきだしの状態となっている。旧iMacのカバーは、ケーブルを束ねるという役割も兼ねていたが、これに替わるものは用意されていない。このあたりの好き嫌いは、個人で好みのわかれるところだろうが、ケーブルの着脱の際、いちいちカバーを外さなければならない煩わしさから解放されるのはありがたい。

旧iMacでは青い模様が刻まれたパネルが設けられていたほか、初代（Rev.A）のiMacには増設用のパネルまで設けられていた。新型iMac DVおよびSpecial Editoonでは、ポート増設用のパネルはないものの、FireWireポートが2基加わる形で拡張され、個々のポートは水平に設置されている。

また、旧iMacではリセットスイッチ、インタラプトスイッチを利用するにはクリップなどの器具が必要だったが、新型iMacでは指で押せる程度の大きさとなったため、ユーザー側には便利になったといえる。

?*1 Rev.A：iMacの初代モデル。CPUのクロック周波数は233MHz。Rev.Bは、同クロックだが、MEZZANINEスロットがなくなった。Rev.Cはクロック周波数が266MHzとなり、5色で登場。Rev.Dは、クロック周波数が333MHzのモデル。Rev.AからRev.Dまでは、ボディの輪郭に変化はない。

特集I ココが違う！新iMacのすべて

新型iMacはココが進化した！

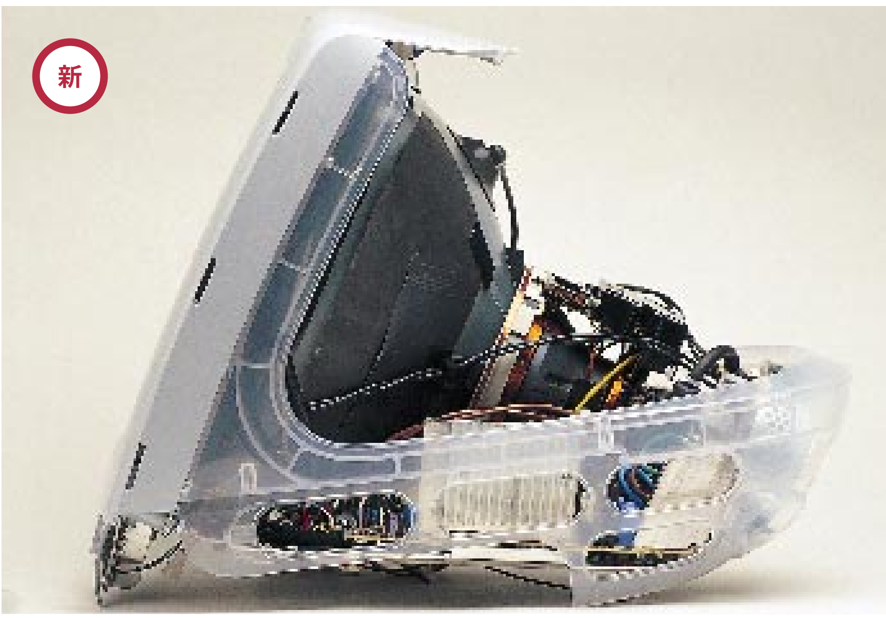
Part2 構成パーツ編

新型iMacでは、外側のカバーの透明度がアップして、内部のパーツが見えやすくなった。実物を見たことがある人なら、その透明度に驚いたことだろう。

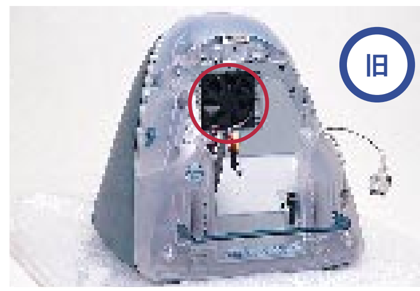
筐体を透明にすることは簡単だが、透明にした時に「見るに耐える」ものにするとなると話は別だ。旧iMacの筐体を開け、シールドを外した写真を見ると、さすがにこれがそのまま透けるようなら、見えないほうがいいと思うだろう。新型iMacが、内部の構造をシンプルにした結果、透明度を上げることができたのか、透明度を上げるために構造をシンプルにしたのかは不明だが、そのシンプルな構造と透明度は非常にマッチしている。

シンプルな構造と、ファンをなくして動作音を極力静かにしたこととは大きく関係している。旧iMacではかなり大きめの冷却用のファンが本体内部に組み込まれており、これを囲むように電源やディスプレイなどの放熱部品が設置されていた。新型iMacでは、冷却の必要な部品を極力底面部へ移動させ、底面に配置された放熱プレートと、背面の円形のパネルによって熱を逃がしている。冷却に必要な可動部品を減らした結果が全体の部品数の減につながったのだろう。

また、旧iMacではブラウン管を取り囲むように防磁シールドが使われていたが、新型のiMacではこのシールドもなくなり、代わりにメッシュ状のカバーと背面の円形パネルを使って電磁波放出を防いでいる。



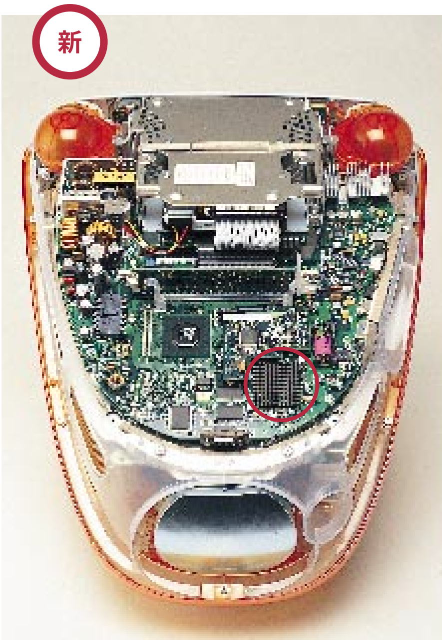
本体のカバーを取り去ると、ブラウン管の上部には大きな空間がある



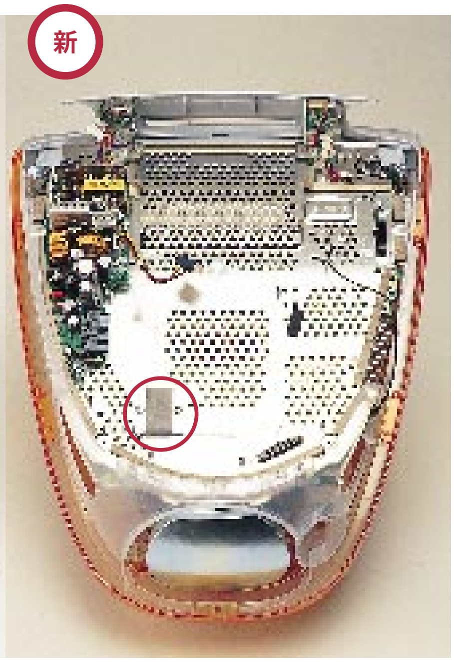
本体のほぼ中心に、CPUボードを含むロジックボードを冷却するためのファンが設けられている



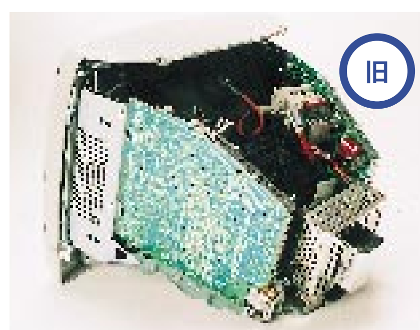
放磁と冷却の両方の機能を果たす、メッシュ状のカバー。ロジックボード全体を覆うように設置される



底面のカバーをはずしたところ。丸印のヒートシンクはRAGE128に装着されたものだ。旧iMacのようにロジックボード全体を取り出す構造ではなくなった



左の写真からロジックボードをはずしたところ。ロジックボードをはずすと、放熱用の金属製のプレートがある。CPUにヒートシンクは設置されておらず、CPUの熱は丸印の部分を伝わりシャーシに放熱される





上は旧iMacの防磁シールドを取り払った状態。電源回路やブラウン管などの比較的大きな回路が上部に集中している。下の新型iMacでは、これらの部品がすべて底面に集中し、ブラウン管周辺にはまったくといっていいほど部品が配置されていない

Part3 ロジックボード編

ロジックボードの形状を変更

従来のiMacではロジックボード部分が本体からそっくり取り外せる形となっていたのに対して、新型のiMacではメモリー増設など、ユーザーが行なう処理はすべて本体カバーを開くことなく行なえるようになった。

本体の内部構造の違いに合わせて、ロジックボードの形状も大幅に変わったが、これはロジックボードがまったく新しいアーキテクチャー*1を採用したためである。フラットケーブルを使って接続する箇所はCD-ROM／DVD-ROMドライブ用のATAPIコネクターのみとなり、ビデオ、電源などはケーブルを使わず、すべて本体側に固定されたコネクターを利用する。サウンド関係（ヘッドホンジャック、スピーカー、マイクなど）の回路は別のロジックボード（サブボード）に分けられ、メインロジックボードとはコネクターで接続する形となっている。

旧iMacではCPUやメモリーモジュールはドーターカード上に搭載されていたが、新型iMacではCPUがロジックボード背面に直付けで設置されている。同様に56Kbpsモデム、AirPort用ネットワークコントローラーがモジュール形式で接続されている。

スピードを重視したアーキテクチャー

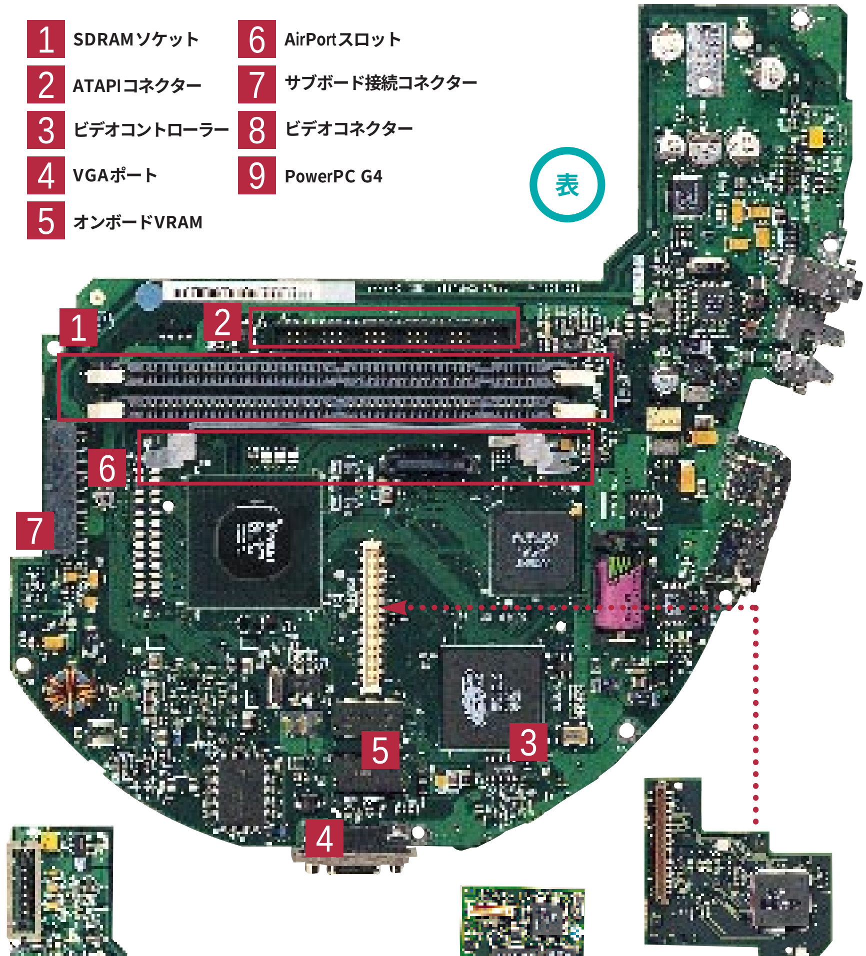
ロジックボードには、iBookやPower Mac G4（AGPモデル）で採用された新設計のアーキテクチャーが採用されている。

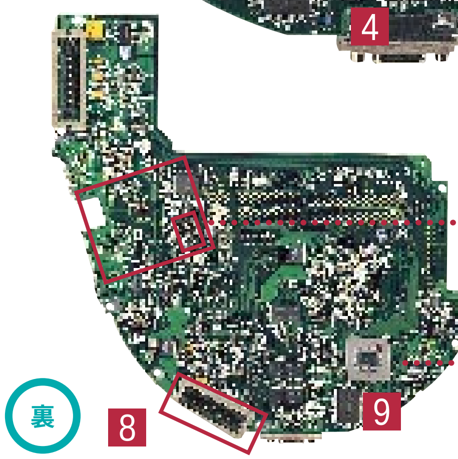
PowerPC、RAM、グラフィックチップ、PCIバス*2の中心に据えられているのが、「UniNorth」と呼ばれる新設計のブリッジ／メモリーコントローラーだ。この変更により、システムバスクロックは前モデルの66MHzから100MHzへと大幅に強化され、メモリーバスも100MHzとなった。ビデオコントローラーはAGP 2X規格に対応した「ATI RAGE 128VR」が採用された。

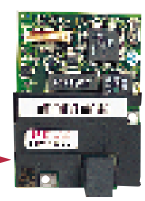
UniNorthはAGP、Ethernet、FireWire、メモリーなどの高速なバスを管理している。

一方、PCIバス上には「KerLargo」というI/Oデバイス・ディスクコントローラーが採用され、こちらはモデム、USB、サウンド、IDEが制御されている。IDEは従来と変わらず、Ultra ATA/33規格が使われている。

1 SDRAMソケット
2 ATAPIコネクター
3 ビデオコントローラー
4 VGAポート
5 オンボードVRAM
6 AirPortスロット
7 サブボード接続コネクター
8 ビデオコネクター
9 PowerPC G4



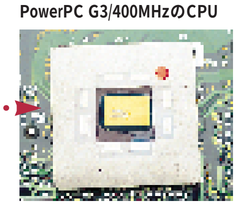




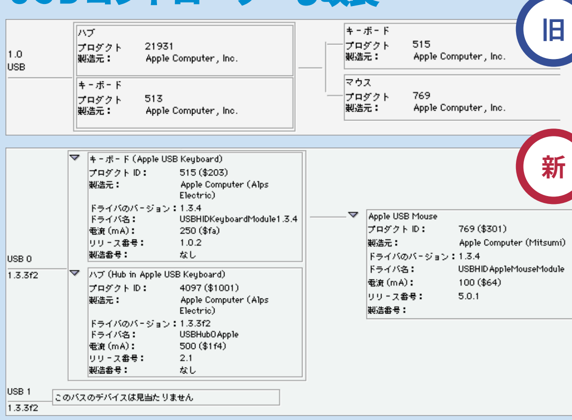
56Kモデムモジュール。囲みの部分に収まる。小さな囲みはコネクター

ワイヤレスLAN（AirPort）モジュール

PowerPC G3/400MHzのCPU



USBコントローラーも改良



Appleシステムプロフィールでみたバスの状況。旧iMacではUSBポート1基をハブで2ポートに分岐しているが、新iMacではバスが2本あるのがわかる

旧iMacでは本体にUSBポートが2基搭載されていたが、これはUSBハブを本体に内蔵して、1基のUSBポートを2基として実装していたものだ。従って、別々のポートにUSBデバイスを接続しても、1基のUSBポートを共有している状態と変わらず、通信速度が低下する理由となっていた。新iMacでは、2基のUSBポートがそれぞれにUSBコントローラーを搭載し、通信速度の低下を極力さけるように設計されている。

?*1 アーキテクチャー：ハードウェアやOSなど、コンピューターの性能に大きく影響する設計思想。　*2 バス：コンピューターの内部において、CPUとメモリー、各種インターフェイスなどとの間で、データを送るための信号路。乗り物のバスから転用されたが、「何車線もある道路のように信号が行き来する回路」をイメージするとわかりやすい。

新型iMacはココが進化した！

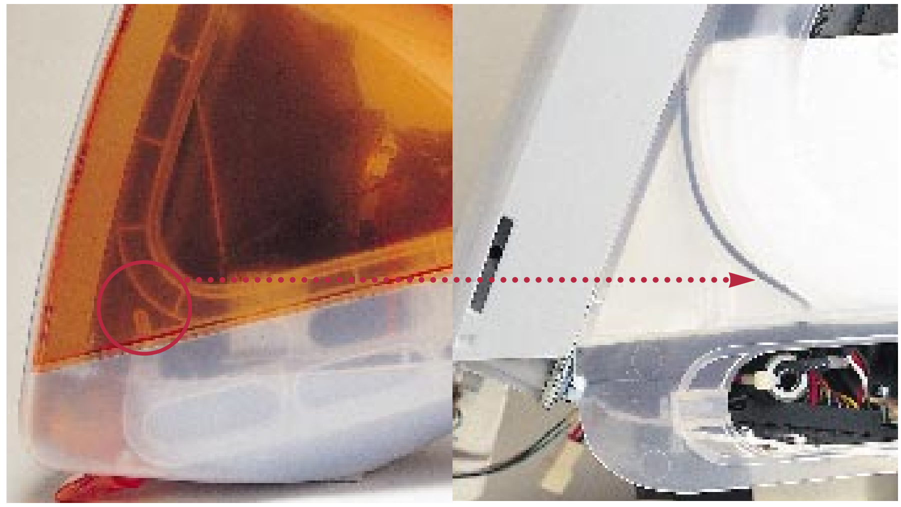
Part4 AirPort編

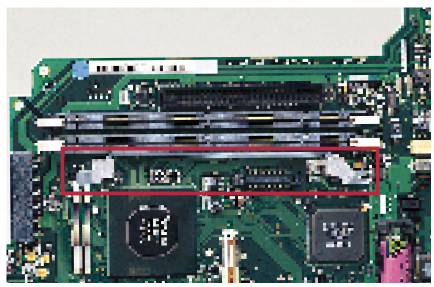
iBook、Power Mac G4に続いて、新型iMac3モデルもすべてが「AirPort Ready」のマシンとなった。AirPortアンテナがディスプレイ周辺の白いフレーム部分に埋め込まれたからである。

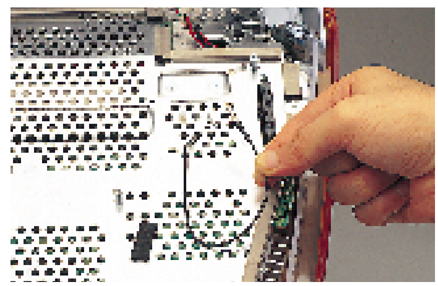
AirPortネットワークを利用するには、まず本体底面にあるアクセスドアを開き、AirPortカードを挿入。続いて、カードにアンテナ線を接続するだけだ。

AirPortカードを挿入すれば、ほかのAirPort対応機器と11Mbpsの無線ネットワークを構築できる。また、AirPortベースステーションを導入すれば、モデムまたはLAN接続を介したインターネット接続（または単なるネットワーク接続でもよい）をAirPort対応機器同士で共有することが可能だ。

iMacのAirPortカード用スロットは、PentiumIIのようなカートリッジを挿入する形状となっている。したがって、iMacに挿入するAirPortカードは、iBook用のPCカード型のものとは形状が異なるようだ。


ディスプレイ横のフレームにAirPortアンテナ（右の写真の黒い曲線）が内蔵されている


ロジックボード上のAirPortカード用スロット。iBookやPower Mac G4とは異なるカードを挿入する


AirPortカードに接続するAirPortアンテナケーブル。実際には筐体を開けることなく、アクセスドアから引き出せる

Part5 RAM増設編

AirPortと同様に、メモリーも本体底面のアクセスドアを開くだけで増設が行なえる。旧iMacではメモリーの増設が比較的難しい作業だったが、新iMacでは底面を開いてメモリーモジュールを差し込むだけだ。利用できるDIMMモジュールは最大256MBで、メモリーの最大搭載量は512MB（256MB×2）だ。

メモリーモジュールには、旧iMacでは専用タイプのものを利用していたが、新iMacではパソコン用のメモリーモジュールとして一般的に販売されている168ピンタイプのSDRAM[*1] DIMM[*2]（PC-100準拠）を利用できるようになった。

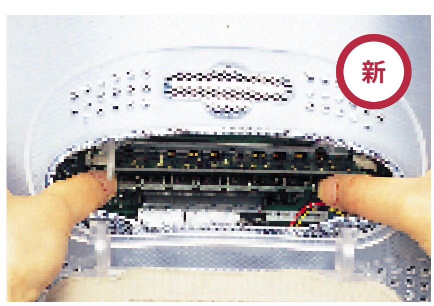
標準ではiMac DV Special Editionで128MB、それ以外の新型iMacでは64MBのメモリーを搭載している。旧iMacでは32MBが標準だったため、本体の購入と同時にメモリーを購入するケースが多かったことに配慮したのだろう。また、標準でDV編集を可能にするためのメモリーを搭載するべきとの判断もあったのかもしれない。

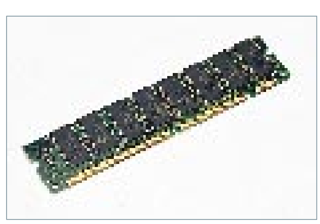


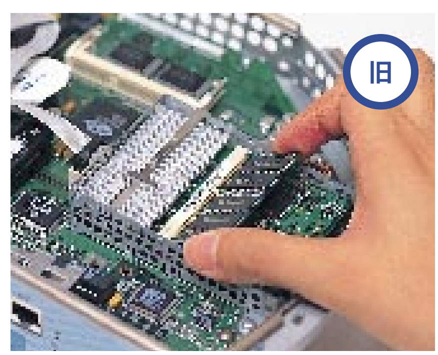
本体底面にあるアクセスドア。コインなどを使って簡単に開くことができる



アクセスドアを開けたところ。DIMMモジュールスロットが2基と、AirPortカードスロット1基にアクセスできる




両手で押し込めば装着は完了する（上）。DIMMモジュールは汎用のSDRAM DIMMが利用できる（右）

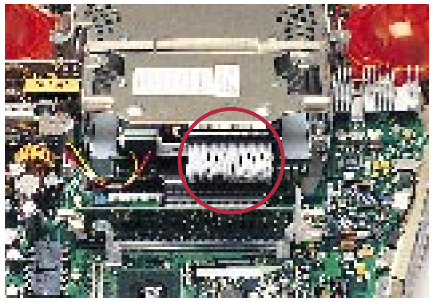


旧iMacでは、ロジックボード部分を本体から取り外さなければメモリーを増設できなかった

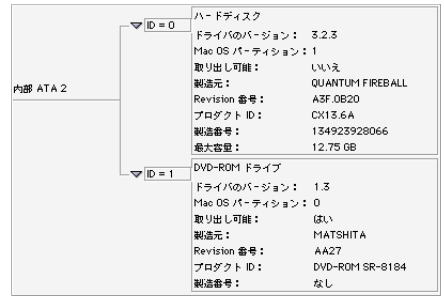
Part6 ディスクドライブ編

DVモデルでは従来のCD-ROMドライブに代わってDVD-ROMドライブが搭載され、ドライブはトレイ方式からスロットイン形式（トレイがなく、ディスクを直接差し込む）のものに変更された。ドライブ自体は従来のトレイ方式のものに比べてかなり薄くなっているだけでなく、可動部品も少ないので、内部の小型化に役立っている。

ハードディスクドライブは、Special Editionが13GB、DVモデルが10GB、非DVモデルが6GBとなっている。インターフェイスは従来と同じIDEのUltra ATA/33（転送速度33MB/秒）が使われている。旧モデルではロジックボード上のIDEポートがCD-ROMドライブとハードディスクドライブとで別個に設けられていたが、新型iMacでは1つのフラットケーブルでマスター／スレーブとして接続される形に変更された。



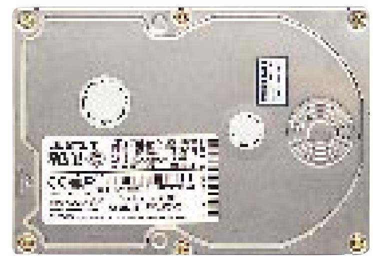
ロジックボード、DVD/CD-ROMドライブ、ハードディスクは1本のフラットケーブル（囲み）で接続されている



Appleシステムプロフィールで見たATAデバイス接続状況。新iMacではセカンダリにマスターとスレーブという形で接続されているようだ



スロットイン形式のディスクドライブは従来のドライブに比べてかなり薄い



ハードディスクは、Quantam製のFireBallが搭載されていた

Part7 ベンチマーク編

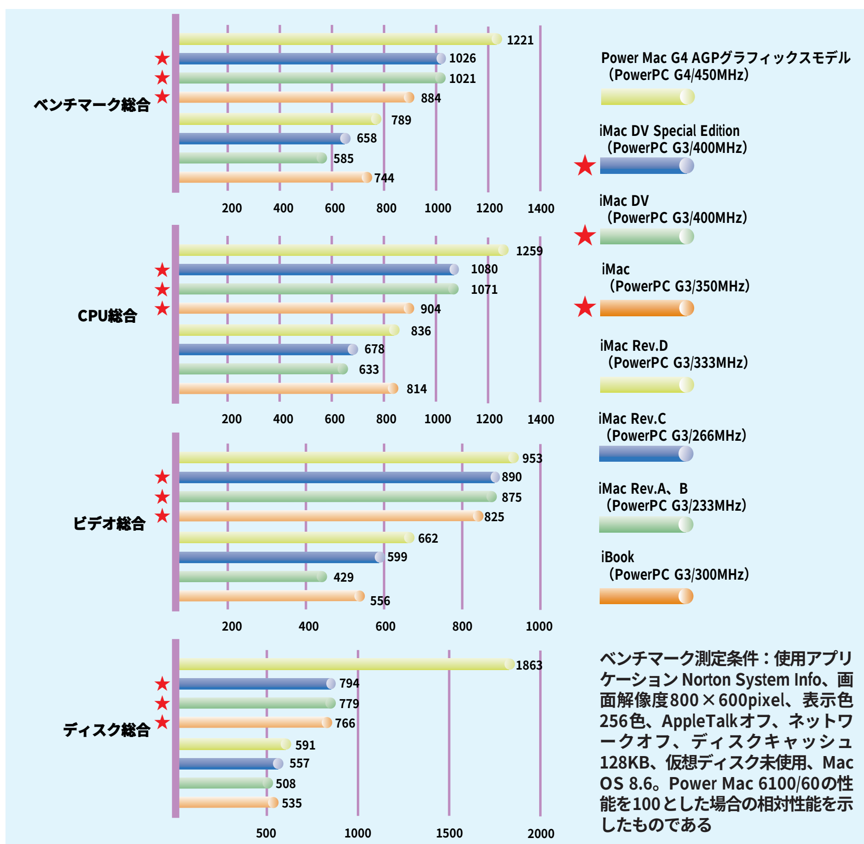
歴代のiMacを含め、iMacの各機種についてベンチマーク測定を行なった。参考記録として、Power Mac G4/450、iBookの測定結果も示しているので参照してほしい。

まずベンチマーク総合では、iMacのみを比べれば、ほぼCPU速度に順当な結果となっているといえるだろう。基本的にはiMac DV Special EditionとiMac DVの違いはメモリー搭載量とハードディスクの差のみとなるが、主にハードディスクの速度が異なることから若干の違いが出ている。ここで注目したいのは、333MHzモデルと350MHzモデルでは、CPUクロック周波数以上の差が開いていることだ。CPU／メモリーバスの100MHz化がこの差を生みだしていると考えられる。

なお、CPU総合のPower Mac G4/450の結果については、PowerPC G4に搭載されているVelocity Engineが反映されていないことに注意してほしい。測定に使用したNorton System InfoがVelocity Engineの有無を反映する作りになっていないのがその理由だ。

ビデオ総合は従来のRAGE PROチップからRAGE 128VRに変更されたことに加えて、プロセッサー速度が上昇しているため、大幅に向上している。新iMacで搭載されたAGPについては、AGP対応の3Dグラフィック機能を利用したアプリケーションで改善内容が反映されるため、この測定結果には表れていない。AGP対応アプリケーション登場後に改めて測定したい。

ディスク総合では、新iMacはほぼ横並びの結果となった。旧iMacと比べて、搭載されているハードディスクの性能の向上が反映されているためだろう。なお、Power Mac G4が飛び抜けているのは、規格上転送速度が倍のUltra ATA/66を採用しているためだ。



ベンチマーク測定条件：使用アプリケーション Norton System Info、画面解像度800×600pixel、表示色256色、AppleTalkオフ、ネットワークオフ、ディスクキャッシュ128KB、仮想ディスク未使用、Mac OS 8.6。Power Mac 6100/60の性能を100とした場合の相対性能を示したものである

*1 SDRAM：Synchronous Dynamic RAMの略。EDO-DRAMの約2倍の転送能力の高性能DRAMチップ。　*2DIMM：Double Inline Memory Moduleの略。SIMMと同様、メモリーチップを搭載したモジュールだが、基盤の両面のピンを別の信号として利用する点が異なる。

特集I ココが違う！新iMacのすべて

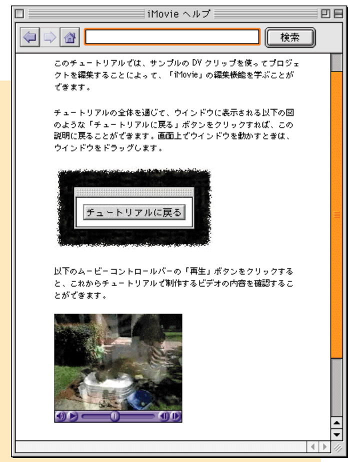
iMovieがもたらす「DTV革命」

余分な機能を削ぎ落とした初心者のためのビデオ編集ソフト

姉歯　康

iMovieは、DV*1取り込み→ムービー編集→出力（QuickTimeムービーまたはDVカメラ）という一連の作業を、特別な知識なしで可能にする、優れたアプリケーションだ。従来の初心者向けビデオ編集ソフトと比較しても、扱いやすさという面では群を抜いている。紙のマニュアルは付属していないが、オンラインマニュアルを参考にすれば、初心者でも十分に操作できるはずだ。ここでは、DTV*2に革命をもたらすiMovieの概要を紹介する。

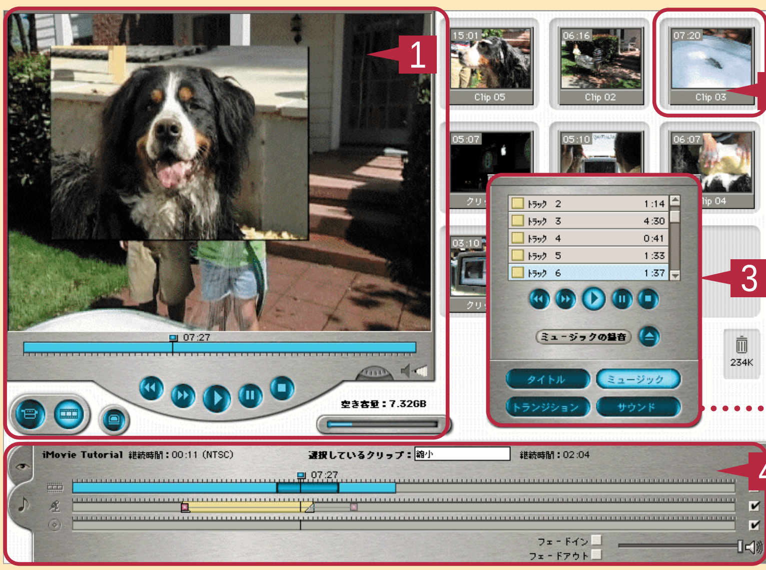
iMovieは、内部的にはもちろんQuickTimeを利用しているわけだが、QuickTimeの機能をすべて使うのではなく、逆に使える機能を制限し、



ヘルプはApple Help形式で、チュートリアルが充実している。完成後のサンプルも準備されており、このヘルプから見ることができるので、完成後のイメージを頭に置いて作業できる

●インターフェイスの特徴

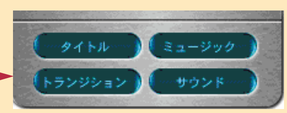
iMovieの全体図。iMac DVのモニターは、この画面で一杯になる



❶再生モニタ。この画面で音の取り込みやタイトル作成を行なう

❷クリップ棚。ここには取込んだDVのクリップ類が収められる。この個々のクリップは、画面下のビューアにドラッグ＆ドロップすることで、ムービートラックに収められることになる

❸パレット。それぞれのボタンをクリックすると、編集用のパレットがポップアップする（もう一度クリックすると元に戻る）



❹オーディオビューア、❺クリップビューア。クリップビューアは、クリップの順序をわかりやすくし、オーディオビューアは、サウンド系も同じようにタイムラインで表示する「」がある。左端のタブを切り替えて表示させる。いずれの場合も、クリップの入れ替えなどは簡単にできる



iMovieには再生画面、クリップ棚など、いろいろな要素はあるが、実はすべて1つのウィンドウになっており、それぞれを個別に非表示にすることはできない。タイトルやミュージックなどは、項目をクリックすることで伸び縮みするようになっている。

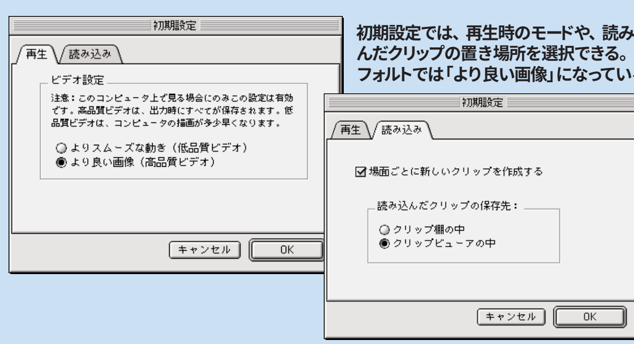
また、アプリそのものも、バックグラウンドに回しても隠れてしまうことはない。デスクトップに貼り付いた形となっているため、画面上のどこかをクリックすれば、簡単にiMovieに戻ることができる。

慣れたユーザーにとっては少々「うるさい仕様」だが、アプリケーションの切り替えやFinderという概念がわからない初心者にとっては、誤って他のアプリに切り替えてしまうことがない分、親切だといえる。

●プロジェクトの作成と準備



起動時の画面。これもムービー仕立てになっている。アバウト画面もなかなか楽しい



初期設定では、再生時のモードや、読み込んだクリップの置き場所を選択できる。デフォルトでは「より良い画像」になっている

iMovieを起動すると、画面のようなダイアログが表示される。そこで新規プロジェクトを選択し、名前を入力すると、ムービー作成のためのプロジェクトフォルダーができる。取り込んだクリップ類はこのフォルダーの中のMediaというフォルダに置かれることになる。

作業に入る前に、まずは初期設定で、2つの項目を設定しておく。まず、再生タブは、DVの再生モードを設定する。「よりスムースな動き」に設定しておけば、見た目上の画質は低下するもののほぼ30fpsの再生が可能になる（ただし、元データの画質が損なわれるわけではない）。

「より良い画像」を選択すると見た目には美しくなるが、コマ落ちが発生する。普通はプレビューとしての役割が果たせればよいので、「よりスムースな動き」に設定しておくべきだろう。

オブラートに包むことで、初心者にも使いやすいものとしている。出力時に現れるダイアログも簡略化されているので、QuickTimeの存在を意識せずに作業できる。

「制限して使いやすくする」というのは、iMovie全体のコンセプトともいえる。たとえば、エフェクトの種類からテキストの色にいたるまで、一般的なものだけしか使えない。このため、「iMovieの作品であれば誰が作っても同じ」となる可能性はあるものの、誰でも無難にまとめあげることができる。早い話、「センスがなくても、そこそこの作品を作ることができる」というのがiMovieの最大の魅力なのだ（もちろん、優れた作品を作るにはセンスが重要である）。

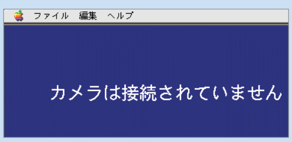
iMac DVとiMovieの組み合わせがあれば、これまでDVカメラで撮影してきた子供の運動会のビデオ、結婚式のビデオ、自分のオリジナル曲のミュージッククリップなども、わずかな手間でひとつの映像作品として、仕上げることができる。

iMovieの登場で、DTVという言葉が、ようやく現実のものとなったといえそうだ。

●DV取り込み



取込み時は、画面のボタンでそのままDVカメラをコントロールできる



接続状態もきちんと表示してくれる点がうれしい

カメラのアイコンをクリックすれば取込みモードになる。

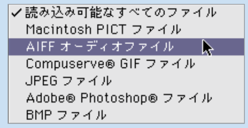
この状態で「取り込み」ボタンをクリックすれば録画開始、もう一度クリックすれば取込み終了である。

取り込みモードでは、画面上の操作ボタンが、そのままカメラを操作するボタンとなるので、DVカメラ側の画像の早送り、巻き戻しなどもMac上から操作できる。

FireWireのホットプラグ機能により、ケーブルの抜き差し、カセットの有無といった条件まで判別してくれるので、つまらないミスは防げる。

ただし、取り込み中は、他の操作が一切できない。取り込んだ素材はクリップ棚に保存される。

●音声や静止画の扱いも簡単



QuickTimeムービーを直接読み込むことはできない。読み込む場合は、一度DV形式に書き出さなければならない



音楽CDから音を取込むのも簡単。録音したデータはオーディオビュー上に表示される

iMovieで扱えるデータは、DV以外には、PICT、JPEGといった静止画像とサウンドのAIFFファイルのみで、QuickTimeムービーを扱うことができない。これは、実はユーザーの手間を減らすための処置である。画面サイズに制限のないQuickTimeムービーを扱えれば、テキストを合成する時、あるいは2つのムービーをトランジションで繋ぐ時、設定しなければならない要素が増えてしまうのだ。すべての処理を720×480ピクセルのDVサイズで行なうからこそ、文字の位置、エフェクトを固定できるのだ。静止画の場合は、すべて720×480ピクセルにリサイズされ、「音がないビデオクリップ」として取り込まれる。

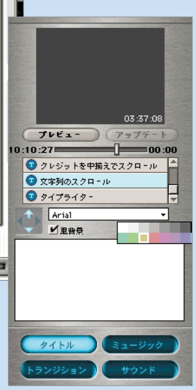
また、iMovieでは、音と画像の扱いが分けられている。画像の場合は取り込むとクリップ棚の中のクリップになるが、音はオーディオビューア上でしか見ることができない。



よく使われそうな効果音は、あらかじめ用意されている。ナレーションを録音することも可能

●設定いらずのタイトル作成機能





タイトルは、黒をバックにすることも、背景を合成することもできるほか、1文字ずつ現れる表現も可能だ。フォントサイズは変更できず、色も16色に限られているが、だからこそ、簡単な操作で編集できるのだ

iMovieの機能の中でも秀逸なのがタイトル文字の作成機能である。タイトル文字にアニメーションをつけて表現できるほか、ミュージッククリップ風の表現など、文字を入力して好みの表示方法を選択するだけだ。映画のエンディングのタイトルロールのような効果も得られる。

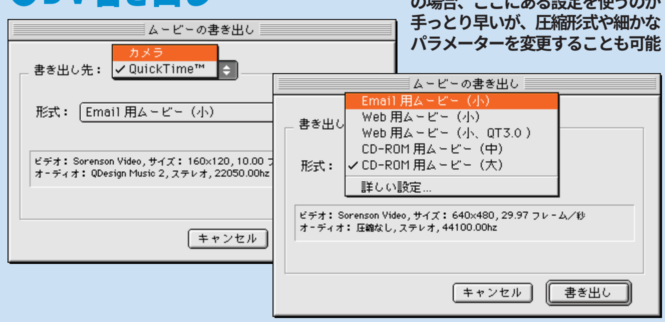
文字の色は16色のみ。黒、白といった定番のほか、パステルカラー系の色が指定されている。派手な色はないが、どれも扱いやすい色ばかりである。映像に重ねるほか、バックを黒にして文字のみでタイトルを作成することもできる。

●トランジション



トランジション*3の数は、フェードイン、フェードアウトなど、6種類に絞られている。選択してビューアのクリップ間にドラッグ＆ドロップすれば、レンダリングされる（赤い下線部はレンダリングの経過を表す）

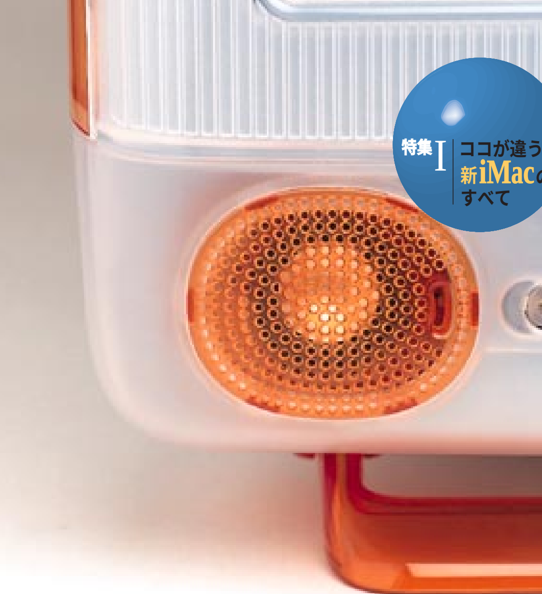
●DV書き出し



書き出しダイアログ。QuickTimeの場合、ここにある設定を使うのが手っとり早いが、圧縮形式や細かなパラメーターを変更することも可能

最終的に、ムービーの書き出し先をDV、またはQuickTimeから選択する。DV書き出しの場合、レンダリングしたデータをそのままDVテープに書き出すことになる。QuickTimeムービーの場合は、E-mail用、Web用と、用途別にパラメータがあらかじめセットされている。QuickTimeダイアログを操作する必要はないので、設定で悩む必要もなければ、圧縮についての知識も不要だ。

*1 DV：Digital Videoの略。ビデオ規格のひとつで記録方式をデジタル化したもの。　*2 DTV：Desktop Videoの略。パソコンを用いてビデオ編集を行なうこと。　*3 トランジション：フェードインやフェードアウトなど、ビデオの画面を転換する際の効果。



特集I ココが違う！新iMacのすべて

進化したサウンド iMacが拓く音楽の可能性

Odyssey オーディオシステムの実力

森本真也



iMac専用サブウーハー「iSub」

iMacのオプションとして用意される予定なのが、harman／kardon社の「iSub」。米国でもまだ発売予定という段階なので、日本での発売も未定。iMacのサウンドシステムでは出すことのできない低音域などをカバーする。これさえあれば、DVDビデオ再生の際も、迫力ある音声が楽しめるはずだ。是非とも登場を期待したいところ

新iMacでは、オーディオ面での性能が特に強化されている。オーディオ・ファンには有名なharman/kardon社製スピーカーの採用、サブウーハー『iSub』への対応、そして放熱ファンを取り除いたことによる本体の静音化など、注目点は多い。ここでは、新iMacのオーディオ面にスポットを当てて、その実力を検証してみよう。

新iMacでは、オーディオ（サウンド）面の強化が図られている。オーディオメーカーである、harman／kardon社の「Odysseyオーディオシステム」が採用されており、「iSub」というサブウーハーもオプションで発売予定だ。iSubの米国、および日本国内での発売は、原稿執筆時点では未定のため、今回のテストは新iMac本体のみで行なっている。

テストでは、さまざまなタイプの音楽CDをiMac DV本体で再生させてみた。まず、クラシックのピアノ独奏を聴いてみたところ、旧iMacと比べて「音に厚みが出た」というのが第一印象だ。これは、搭載されたスピーカーの違いによるものだろうが、中音域が豊かになったように思える。また、放熱用のファンがなくなったために、旧iMacと比べて本体のノイズがなくなり、格段に静かになった。静かな音楽も邪魔されず、なかなかに気持ちが良い。

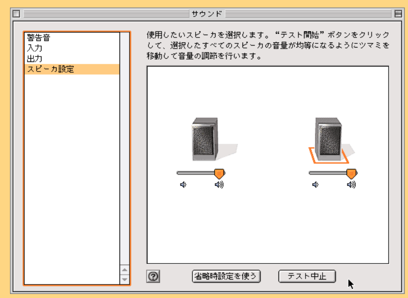
ただ、やはり本体内蔵のスピーカーのみでは、低音に物足りなさを感じる。ジャズ・コンボの演奏や、ドラムンベース（テクノ）などでは、この傾向はさらに顕著になるだろう。iSubを接続して聴き比べてみたいところだ。

次に、オーケストラ曲を再生してみた。フルオーケストラの演奏は、ダイナミックレンジが非常に広いため、音の大きな部分を基準にボリュームを調整すると、小さな部分が聴き取りにくいし、その逆もまた然りだ。これは個人的希望なのだが、「コンプレッサー」機能が欲しいところだ。簡単に説明すると、コンプレッサーとは音量の大小差を狭める（圧縮する）エフェクターのことだが、音量が均一化されることによって聴き取りやすくなるという効果がある。もちろん、「原音に忠実」ではなくなるわけだが、BGMとしては好都合だし、リスニング環境に合わせて積極的に音を加工できるという、新iMacならではの機能があってもよいのではないだろうか。

また、これは新iMacに限った問題ではないが、ある程度以上の音量になるとボディが共鳴してしまい、それが音の歪みなどの原因にもなっているようだ。これはボディにブチルゴムなどを貼り付けて共鳴を抑えれば解消できるだろうが、そんなことをすれば美しいトランスルーセントのボディは台なしだし、放熱効率が悪くなり熱暴走するだろう。もっともそこまでの大音量を本体内蔵のスピーカーで再生する必然性はないと思うが……。

とにもかくにも、純粋にオーディオとして見ると少々辛口の意見になってしまうが、パソコンのデバイスとして見ればなかなかのものだ。もちろん、この新iMacのオーディオ機能は、BGM用途だけではなく音楽製作にも活用できる。今後、USBやFireWire対応のデジタルI/Oの登場によって、新iMacを使ってHDレコーディングなどが可能になるだろう。その際には、モニタースピーカーとして十分使用できるし、後述するが、それはサウンドクリエイターにとって意義がある。

結論として、あなたがオーディオマニアを自称するのであれば、新iMacのサウンドは満足できるものではないだろう。しかし、あなたがサウンドクリエイターであれば、一度はこのサウンドを聴いておくべきだ。かつて、「ウォークマン」がヘッドフォンステレオという新しいリスニングスタイルを確立したように、今後は「パソコンで音楽」というリスニングスタイルも一般化してくるだろう。サウンドクリエイターは、それらのリスニング環境における「音」の違いも知っておくべきだ。その時に、この新iMacのサウンドはひとつの基準となるかもしれない。



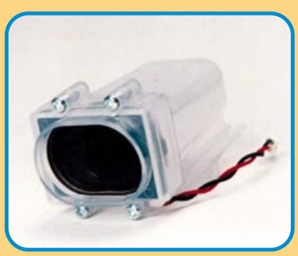
スピーカーの調整はコントロールパネルで

左右のスピーカーの調整は、コントロールパネルから行なうことができる。テストを開始するとホワイトノイズが左右のスピーカーから流れる

新iMacで採用されたスピーカー



分解して取り出した、新iMacのスピーカー。より良い音を再現する秘密は、どうやらこの球形にあるようだ



旧iMacのスピーカー

新スピーカーと比較すると、無骨な作りという印象を受ける。聞き比べると、その差は歴然と表れる

ポイントその1：価格

iMac、iBookともコンシューマー向け製品だけあって、価格はかなりこなれている。どちらも20万円未満であり、購入しやすい価格帯に収まっている。

ただし、メモリーや周辺機器なども合わせて購入するとなると、少々事情が変わってくる。iMacは標準モデルでも64MBのメモリーを搭載するが、iBookは32MBなのでメモリー増設は必須だ。その分の価格を加えると、iBookは20万円を越えてしまう。iMac DVなら、メモリーを128MBに増設しても20万円は超えないので、こちらのほうが余裕のある環境を手に入れることができるわけだ。

といいえ、メモリーだけでなく周辺機器まで買い揃えるとなると、金額的な差はあまりなくなってしまうかもしれない。そんなときは、次のポイントを考えてみよう。

ポイントその2：機能

iMac DV、またはiMac DV Special Editionなら、FireWireポートが付いているのでデジタルビデオの取り込みもできる。付属ソフトの「iMovie」（iMac、iBookには付属しない）を使えば、タイトルを挿入したり、BGMを加えるなど、ビデオ作品を編集することも可能だ。デジタルビデオの編集をしてみたいと思うなら、選択肢はiMac DVシリーズ以外ないわけで話は早いはずである。

また、DVDの再生機能を備えているのもiMac DVとiMac DV Special Editionである。iBookはいまのところCD-ROMドライブ搭載モデルだけなので、「デジタルビデオやDVDを使いたい」と思うなら、選択肢はiMac DVか、iMac DV Special Editionとなる。

逆に、機能面を重視してiBookになるケースはあるだろうか？　CPUの動作速度などを含めて、新しいiMacシリーズと比較してしまうとiBookはあまり分がよくない。ある意味、こうなると機能や価格では推し量れない部分が重要な意味を持ってくるように思う。

ポイントその3：形

価格や機能を度外視して製品選びをするとすれば、外観や色といったデザインに関する部分と、持ち運びができるかという点がポイントになってくるだろう。特に、iMacとiBookの場合は独特な形状・カラーリングなので、好みの問題は大きいはず。こうなるとスペックがどうこうというパソコンとしての捉え方ではなく、自分が所有するアイテムとして、どちらが好みかという感性の問題になってくる。

ここで性能を気にするなら、数字的にはiBookの分が悪いが、実際のところ、iMacとiBookの処理能力はベンチマークテストでは差が出るものの、ワープロやゲームなどをやるときにはさほどの差は感じられない、ということも念頭に置いておこう。CPUのクロックよりも、「持ち運べるということ」、そして「所有する喜び」をiBookに求めるのであれば、その選択は間違っていないといえるのだ。

というわけで、どちらにしたらよいのか迷ったら、ちょっと冷静に考えてみよう。デジタルビデオをやりたいのか、インターネットだけをやりたいのか、あるいは置き場を小さく抑えて気軽に持ち運びをしたいのか、やりたいことが決まれば選択肢はどちらかに絞られる。ある意味で、価格や機能よりも好みを優先させたほうが、あとあと幸せになれるような気がする。

特集I ココが違う！ 新iMacのすべて

新iMac & iBook購入ガイド

自分にもっとも適したマシンを見極める！

三谷 森

新iMacとiBookの登場で、低価格でお洒落なMacintosh プロダクトが増えると同時にどれを購入したらいいのか迷うという悩みも増えた。ここでは両者を比較して、購入を検討する際のポイントを解説しよう。



並べて撮影したのが上の写真。同じファイルを開いてもiBookのほうが800×600ドットで、1,024×768ドットのiMacより解像度が低いので、画面の表示領域が少ないのがわかる

iMac
とにかく価格が安いことがウリ



新しいiMacシリーズの中で最も安価な機種であり、購入のしやすさという点では一番に挙げられる。CPUのクロック周波数が350MHzと、iMac DVやiMac DV Special Editionに比べて50MHz低いという点や、DVD-ROMドライブではなく、先代のiMacと同様、CD-ROMドライブを装備している点、デジタルビデオの取り込みが行なえるFireWireを備えていないといった点が上位モデルに比べてマイナスポイントである。

しかし、はっきりいって性能的にはまったく問題ないはずだ。CPUは十分高速だし、ハードディスクも6GBあれば十分な容量といえるだろう。メモリーはほかのモデルと同じく512MBまで拡張できるのだから、購入時に増やしてもいいし、あとから拡張してもよい。

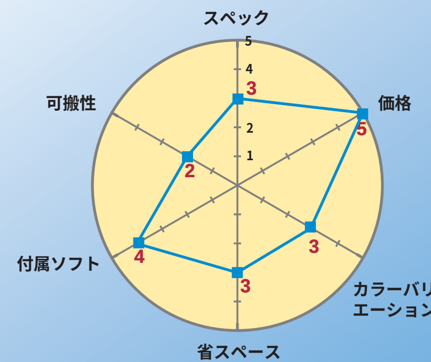
したがって、選択のポイントはふたつ。ずばり価格と機能ということになる。とにかく価格が優先というなら、ノーマルのiMacは選択肢の第一候補になる。また、FireWireはなくていいから、気軽に使えるセカンドマシンが欲しいというニーズにも応えられるだろう。

ビデオ取り込みに関しては、2、3万円程度で発売されているUSB経由のキャプチャーユニットを別途購入すれば簡単なものなら制作できるので、FireWire端子が搭載されていなくても、iMac本体の価格を重視して割り切ってしまうのもよいだろう。ただ、選べる色がブルーベリー1色のみなので、ほかの色が欲しい場合は、上位モデルの購入を検討するしかない。

■主なスペック

価格	118,000円
カラー	ブルーベリーのみ
プロセッサー	Power PC G3/350MHz
ハードディスク	6GB Ultra ATA
メモリー	標準搭載64MB 最大512MB
内蔵ドライブ	24倍速CD-ROMドライブ
USBポート	2基
FireWireポート	なし
iMovie	なし

■項目別5段階評価



iMac DV
デジタルビデオをやるならコレ！

iMac DVは、おそらく新しいシリーズの中でもっとも人気を集めるモデルになるだろう。カラーリングが5色と、もっともバリエーションが豊富であり、先代のiMac同様、選ぶ楽しみがある。お気に入りのカラーを買って、末永く使おうという人も多いのではないだろうか。

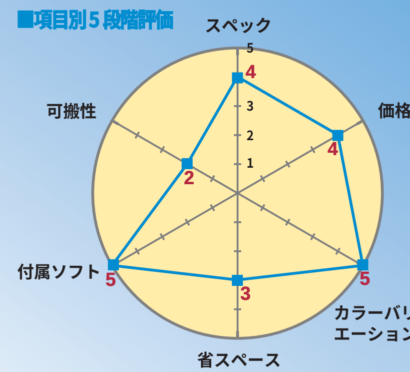


性能的にはバランスがとれており、目立った不都合はない。クロック周波数400MHzのPower PC G3を搭載し、10GBのハードディスクを内蔵。DVD-ROMドライブを採用して、DVDビデオの再生も行なえる。さらにFireWireの搭載によってデジタルビデオに対応し、編集ソフトのiMovieも付いてくる。

「デジタルビデオがやりたい」「DVDビデオを見たい」という積極的な理由はもとより、「とりあえずこれにしておけば大丈夫だろう」という消極的な理由でも損はしない製品といえる。セカンドマシンとして使うことはもちろん、これをメインマシンにしてしまう人もいるだろう。そのどちらにも対応できるしっかりしたスペックを持っている。

なお、Apple Storeで購入するときにメモリーを256MBに拡張するように選択すると、Special Editionよりも1万数千円安くなる。少々横道にそれる話だが、参考になれば幸いだ。

■項目別5段階評価



■主なスペック

価格	148,000円
カラー	ブルーベリー、タンジェリン、ストロベリー、グレープ、ライム
プロセッサー	Power PC G3/400MHz
ハードディスク	10GB Ultra ATA
メモリー	標準搭載64MB 最大512MB
内蔵ドライブ	4倍速DVD-ROMドライブ
USBポート	2基
FireWireポート	2基
iMovie	付属

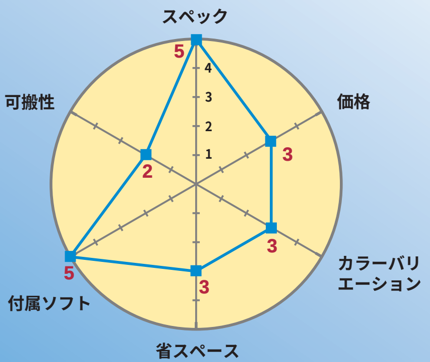
シックな色合いが好きな人に

iMac DV Special Edition

■主なスペック

価格	178,000円
カラー	グラファイト
プロセッサー	Power PC G3/400MHz
ハードディスク	13GB Ultra ATA
メモリー	標準搭載128MB 最大512MB
内蔵ドライブ	4倍速DVD-ROMドライブ
USBポート	2基
FireWireポート	2基
iMovie	付属

■項目別5段階評価





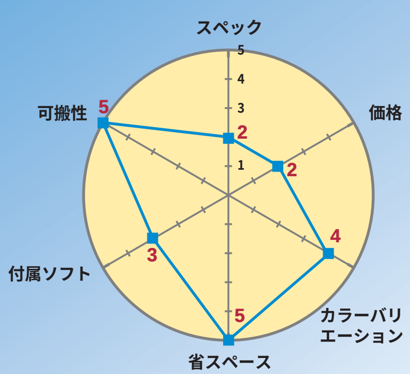
iMac DV Special Editionは、CPUのクロック周波数や搭載インターフェイス、高品質なサウンドシステムなどの部分はiMac DVと共通だ。では、なにが「Special」なのかというと、メモリーやハードディスクの標準搭載容量とカラーリングである。メモリーは標準モデル（iMacおよびiMac DV）の64MBに対して、2倍の128MBを搭載。ハードディスクは3GB多い13GBと、さらに大容量のものを積んでいる。これはおそらく、デジタルビデオの取り込みによってハードディスク領域を多量に消費することへの配慮だろう。

カラーリングは、Special Editionのために特別に用意されたものだ。プロ向けマシンとして登場したPower Mac G4と同じグラファイトカラーを採用し、iMac DVの通常モデルとは少々異なるシックな雰囲気をかもし出している。ボディーはほとんど透けていて、内部が丸見えというのも、スケルトンが好きな人にはたまらない魅力だろう。

メモリーとハードディスク容量の大きさが価格に反映されており、新シリーズの中で一番高いモデルである。しかし、標準で充実した環境を得ることができ、かつ専用カラーのボディを手に入れられるのだから、よしとして思いきるのもひとつの選択だ。これまでの5色は、カラフルすぎてちょっと……という人にはぜひお薦めしたい。

購入ガイド

結局、自分に合うマシンはどれなのか？　買いたいという気持ちはあるけれど、どれがよいのかわからない人のために、各プロダクトごとに、お奨めのポイントをまとめてみた。後悔しない買い物のために、ぜひ熟読のうえ検討して欲しい。



■主なスペック

価格	198,000円
カラー	ブルーベリー、タンジェリン
プロセッサー	Power PC G3/300MHz
ハードディスク	3.2GB Ultra ATA
メモリー	標準搭載32MB 最大160MB
内蔵ドライブ	24倍速CD-ROMドライブ
USBポート	1基
FireWireポート	なし
iMovie	なし

iMacと同じコンシューマー向け製品として、iBookが購入の検討対象に入ってくるのは、ある意味自然な話といえる。しかし、正面きって性能を比べてしまうと、やはり分が悪いと言わざるを得ない。

CPUのクロック周波数が300MHz、ハードディスクが3.2GBだからといって、「使えないマシン」というつもりは毛頭ない。性能的には十分なレベルに達している製品なのだ。ただ、メモリーの標準搭載容量が32MBというのは少ないので、これは購入時に必ず追加すべきである。

iBookならではの優位性は、すなわち「持ち運べる」「移動させるのが楽」という点にある。iMacも持ち運びしやすいように背面に取っ手がついているが、実際に移動させて使うケースはあまりないだろう。どこでも好きなところで使えるということは、ホームユースを中心に大きなメリットになる。そして、それを支援する無線通信用オプションのAirPortは、iBookに搭載してこそ意義のある製品といえるのではないだろうか。

残念なのは価格がiMacに比べるとやや高めな点と、カラーが2色と選択肢が少ないことだ。



持ち運んで自慢したい人に

iBook

特集I ココが違う！新iMacのすべて

どちらが買いか？
新iMac vs Power Mac G4/350MHz
価格面でiMac・iBookに近いG4/350MHzを考える

三谷　森

iMacシリーズはコンシューマー向けの製品として、Power Mac G4はプロフェッショナル向けの製品として登場した。この両者は、製品カテゴリーの面ではまったく別枠に位置づけられている。しかし、性能やプライスの面では、意外と拮抗する部分が多いようだ。そこで、購入を前提に両者の比較をしてみよう。



iMacの価格帯は、118,000〜178,000円とかなり安価なところに設定されている。一方、Power Mac G4は、上位機種2モデル（400MHz／450MHz）はそれぞれ30万円台／40万円台だから論外として、350MHzのエントリーモデルは198,000円と、価格設定がかなり近い。iMac DV Special Editionに2万円をプラスすれば、G4が買えてしまうのである。となると、どちらにしようか迷ってしまう人が出てきても不思議ではないわけだ。

しかし、搭載CPUの仕様などの基本スペックから本体の形状まですべてが異なるだけに、何を基準に判断するかが意外と難しそうだ。そこで、ごく簡単に選択のポイントをまとめてみよう。

結局はCPUが決め手か？

もしあなたがAdobe Photoshopを毎日使うデザイナーなら、Power Mac G4にしたほうがいい。PowerPC G4のVelocity Engineに対応したソフトは、当然ながら高速に動作するので、生産効率を高めることができるからだ。これは今後対応が予定されている3Dソフトなども同様だ。

一方、DVDを見たいとか、手軽にビデオ編集を楽しみたいというなら、迷わずiMac DVを選ぼう。ビデオ編集ソフトまで揃っているのはオールインワンの強みである。ワープロや表計算ソフトが主体の人は、特にG4ならではの恩恵に預かることはできないので、iMacのほうが便利に感じるのではないだろうか。また、とにかく安価に購入したいなら、iMacもいい選択肢になる。

ゲームなどを楽しむなら、これもiMacのほうが強いだろう。iMacはすべてのモデルでグラフィック描画（特にリアルタイムの3D描画）を高速化するAGPを採用しており、今後対応するソフトが登場すれば、よりクオリティの高いゲームを楽しめる。ちなみに、Power Mac G4の350MHzモデルのグラフィックバスは従来のPCI仕様を用いている。速度的に不満はないが、リアルタイム3D描画についてはAGPのほうが柔軟性が高い。

処理能力に差はあるのか？

Norton UtilitiesのSystem Infoのデータを比べたいところだが、前述のVelocity Engineの効果はSystem Info4.0ではまったく考慮されないため、正確なデータが出ない。だが、ワープロなどを使うときにはVelocity Engineは係わらないので、参考に比較してみた。すると、実際はそんなには違いが出ない。従って、グラフィック処理などCPUに負担のかかる処理を行なう予定が少ないのならば、Power Mac G4/350MHzを選ぶのも、iMacを選ぶのもあまり違いがないのでどちらでもよい。あとは予算や形、色を基準に選ぶことになる。

また、Power Mac G4を買うときに忘れてはいけないのは、ディスプレイを購入する必要があるということだ。すでに使っているものを流用するなら問題ないが、新規に購入する場合には追加コストがかかる。新規購入予算が20万円だとしたら、iMacシリーズはすべてが揃うが、Power Mac G4は本体しか買えないことになる。おのずとそこから結論は見えてくるだろう。

Power Mac G4/350MHz	
プロセッサー	Power PC G4/350MHz
標準搭載メモリー	64MB（SDRAM）、合計1GBまで（DIMMスロット4基搭載）
二次キャッシュ	1MBバックサイドキャッシュ
システムバス	100MHz
ハードディスク	10GB Ultra ATA/33
内蔵ドライブ	32倍速CD-ROMドライブ（ATAPI）
解像度	1,600×1,200まで。最大1,670万色
グラフィック	SDRAMグラフィックメモリー16MB搭載のATI RAGE 128グラフィックカード
インターフェイス	USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、10/100Base-T Ethernetポート、PCI拡張スロット×4（64ビット／33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済みの32ビット／66MHzスロット1基）、15ピンミニD-Sub VGAコネクター、16ビットステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3、56kモデムカード
付属OS	Mac OS 8.6
AirPort	使用可能（AirPortカード、AirPortベースステーションは別売り）
大きさ（H×W×D）	43.2×22.6×46.7cm
重量	13.6kg
価格	198,000円（Apple Storeプライス）

10月30日、アップルは新しいOS、Mac OS 9を発売した。およそ50もの機能が加わり、今まで以上に使いやすく、機能も豊富なものに仕上がっている。この特集では、Mac OS 9に搭載されたさまざまな新機能のなかから、より大幅に進化を遂げた機能にフォーカスをあてて紹介し、今アップデートすべきかどうかを考察してみよう。

徹底研究 Mac OS 9

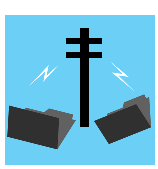
特集2

Mac OS 9の主要9大新機能



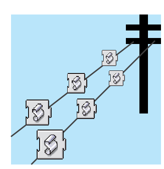
Sherlock 2

あらゆる分野での検索が可能になった「Mac OS 9」の看板機能。効率のよいオンラインショッピングや人物探しが可能に！



OS自動アップデート

インターネットを使って、最新のシステムファイルを自動的にダウンロードしてアップデートを行なってくれる



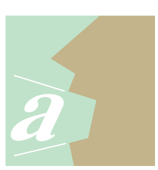
インターネット経由での AppleScript

TCP/IP通信が可能となったので、スクリプト次第では、自宅のMacから職場のMacを遠隔操作することも可能になる！



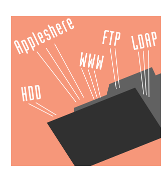
マルチユーザー

家族や職場の同僚と1台のMacを共同使用することができる。ログイン画面でパスワードを入力すればあなただけの「デスクトップ環境をゲット！」



ボイスプリントパスワード（声紋認証）

Macに自分の声を聞かせるだけでユーザーが誰かを認識。パスワードをいちいちタイプしなくてもログインできるようになる！



ファイル暗号化機能

大事なメール文や見られたくない画像ファイルを暗号化して他人に覗かれないようにできる。これからのMacユーザーの必須機能！



インターネット経由での ファイル共有

離れたところにいる相手と、インターネットを経由して、ドラッグ＆ドロップで簡単ファイル交換！



キーチェーン

ひとつのパスワードで複数のサーバーに設定したパスワードを一発自動解除！これからはもうパスワード帳をかたわらに用意する必要はない



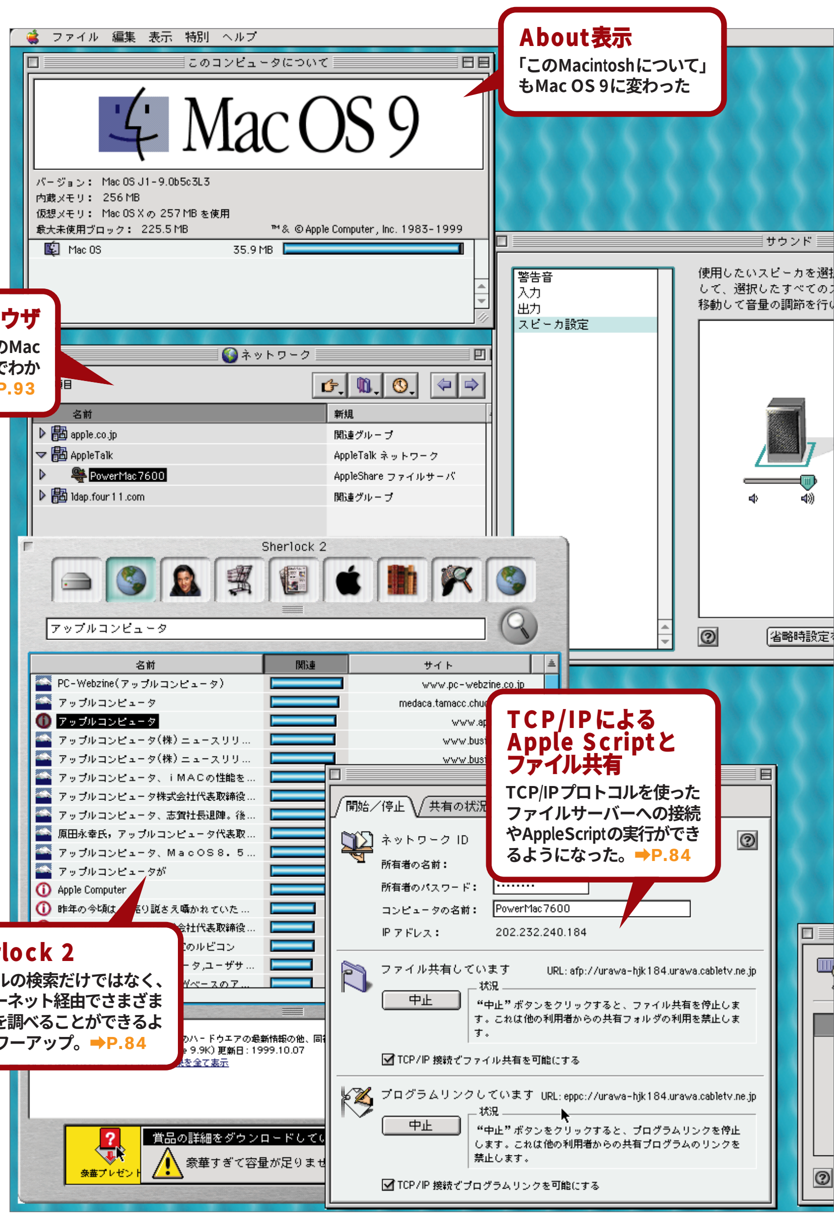
新ネットワークブラウザ

FTPやHTTP、LDAPサーバーも登録可能になった。あらゆるサーバー接続はこの「ネットワークブラウザ」画面から始まる！

Mac OS 9はこう

ひとめでわかるMac OS

Mac OSが「9」へとバージョンアップした。これまでが8.6だったので、数字的には大きな飛躍である。その飛躍の意味は、目に見えるところと見えないところがあるが、見えないところも大きく様変わりしている。Mac OS 9での大きな変化をアップルは9つのポイントとして説明をしている。いずれも「目に見える部分」の変化からピックアップし、一般ユーザーにとってもわかりやすくMac OS 9の違いを際立たせたものである。まずはその9つのポイントをまとめておこう。



Mac OS 9の9つのポイント

すでにおなじみになっていると思うが、まずはMac OS 9に新しく用意された、主要機能について簡単に紹介しよう。

今回リリースされたMac OS 9には、主に9つの新機能が搭載された点をアップルは強調している。前号でも紹介しているが、改めて紹介しておこう。

- Sherlock 2
- マルチユーザー
- 声紋認証（ボイスプリントパスワード）
- キーチェーン
- 自動アップデート
- 暗号化テクノロジー
- インターネットでファイル共有
- TCP/IP[*1]に対応したAppleScript[*2]
- ネットワークブラウザ

それぞれの機能の詳細についてはP.84から詳細に解説しているので、ぜひそちらを参照してほしい。

今回Mac OS 9でサポートされた機能は、主にインターネットに接続したネットワーク環境でMacを使うときに便利なものがほとんどであることに注目したい。もちろんこれ以外にも、デザイン&パブリッシング分野においてはColorSync[*3]やプリント機能が向上したり、コンシューマー向けにOpenGL[*4]やGameSprockets[*5]のサポート、多国籍言語のサポートも強化されている。

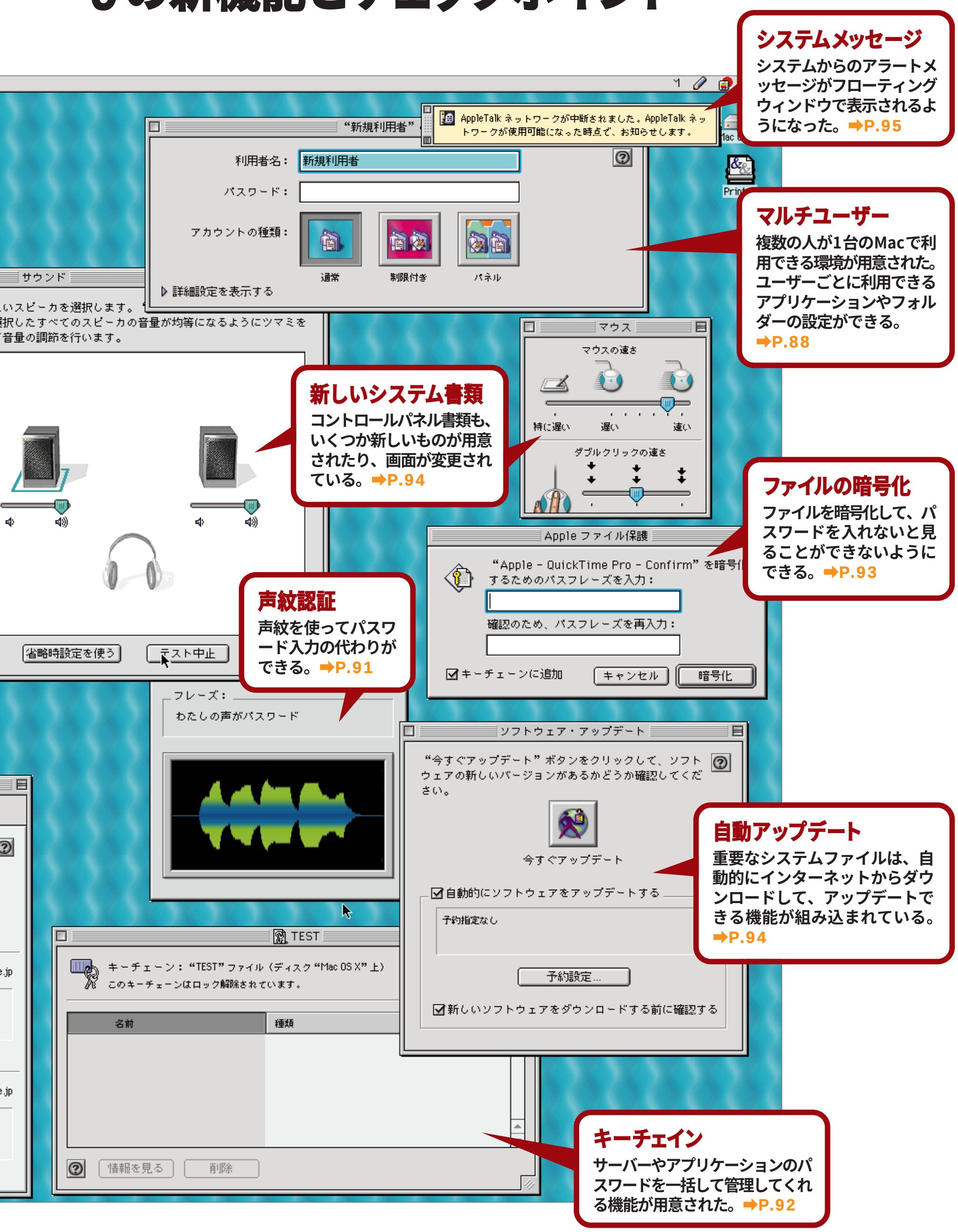
アップルはMac OS 9のキャッチコピーで、「Your Internet Co-Pilot＝インターネットの知的パートナー」と述べているように、Mac OS 9はインターネットをもっと活用して、より便利に使える世界を提供してくれるプラットフォームを目指しているOSなのである。

Sherlock 2とマルチユーザーに注目

そこで今回の特集では、9つの中から特に「Sherlock2」「マルチユーザー」の2つの機能に絞り込んで説明を行なうことに

▶新居雅行◀

変わった
9の新機能とチェックポイント



した。大きな変化が見られるという点と、多くのユーザーに活用される機能であると考えたからだ。この2つの機能については、次ページから詳細に解説する。

Mac OS 9の利用形態を考えた時、ホームユース、インターネットというキーワードがすぐに思い付く。そうした環境では、Sherlock 2がすぐに役立つだろう。Webブラウザーとしては従来と同様にInternet ExplorerとNetscape Navigatorがバンドルされているが、検索の最初に使うSherlockが機能アップしたことで、インターネットがより便利になるといえる。

またホームユースでは、複数の利用者が1台のMacを使うこともあるので、ファイルの保存先や動作環境がユーザーごとに区別ができなくて、混乱してしまうことが多い。しかしマルチユーザー機能を使いこなすことによって、ユーザーごとに利用が決められたフォルダーやシステム環境が実現され、ある程度は使いやすくなる。アプリケーションの対応が気になるところだが、Outlook Expressが早々と対応するなど、環境が整うのは時間の問題だろう。

Mac OS 9は使えるOSなのか

しかし、ここまでMac OS 9の可能性を検討しても「大幅に変わっていないのでは？」という感想をもたれるかもしれない。しかも、リリース早々にDHCP関連の不具合によってケーブルTV経由やルーター[*6]を使ってインターネットに接続できないという問題が発生している（P.83参照）。

このような問題は新しいOSには避けられないものなのかもしれないが、やや完成度が低いという印象を受ける。しかし、それを上回る魅力もMac OS に備わっているのは確かだ。Mac OS 9の目に見えない部分の進化は、次期Mac OS Xへの布石になる機能が組み込まれているということがある。もちろん、その機能はMac OS 9を購入してすぐに使える機能ではないが、こうした機能向上も含めたうえでのバージョン「9」なのである。

すぐにアップデートしないで、しばらく様子を見るのも1つの手ではあるが、ちょっとした出費でMac OSの進化を手に入れることができるのだから、積極的に関わってみるのはどうだろうか。

*1 TCP/IP：インターネットで一般的に用いられる、ネットワークの標準的なデータを送るための手順を定めた規約。 *2 AppleScript：Apple社純正のスクリプト言語。あらかじめ一連の操作を登録し、自動的に実行させ、アプリケーションの細かな動きまで指定できる。 *3 ColorSync：Apple社が提唱したカラーマネジメントシステム。 *4 OpenGL：Silicon Graphics社がワークステーション用に開発した3次元グラフィック用のプログラム。 *5 Game Sprockets：Mac OSでゲームの開発を容易にするために、コントローラーやサウンド機能などを使いやすくするためのプログラム集。 *6 ルーター：ネットワーク上でのデータ転送を効率よく選択して接続するハードウェア。主にネットワークをインターネットに接続するために利用する

Mac OS 9をイン
手順から注意事項までひとめ

ここではMac OS 9のインストール方法や、インストールに当たっての注意事項などを詳しく解説していく。記事で説明した手順に従っていけば、インストール作業もトラブルなく進められるはずだ。

Mac OS 9のインストールは簡単だ

Mac OS 9は、iBook、iMac (Rev.C)、Power Mac G4がリリースされてはじめての Mac OSのメジャーバージョンアップである。ここでは、誰でもOSのアップデート作業を行なえるように、Mac OS 9 へのアップデート手順を解説する。まだ一度もOSのアップデートを経験したことがないユーザーも、ぜひこれを機会にMacならではのOS アップデートを体験してほしい。

インストールの前に注意しなければならないのが、iMac (Rev.D)までのモデルとB&W Power Macに関しては、ファームウェアアップデートという作業をしないと、Mac OS 9はインストールできない。このファームウェアというのは、内部の基板上に、ハードウェアに関するさまざまな設定情報が書き込まれているのだが、上記のモデルに限って、Mac OS 9に対応していない情報が含まれている。そのために、最新版のファームウエアに書き換える必要がある、ということだ。

ファームウェアアップデートの作業は特別なボタンを押したりしなければならず、ちょっと面倒な作業なので、解説をきちんと読んで行なうこと。

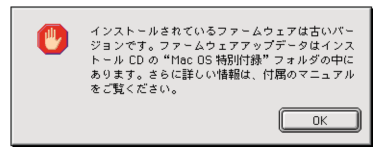
それ以外のMacに関しては、このような難しい作業は必要としない。Mac OS 9のCD-ROMをドライブに入れて、インストーラーを立ち上げるだけでMac OS 9をインストールすることができるのだ。

旧iMacとB&W G3はファームウェアアップデートが必要

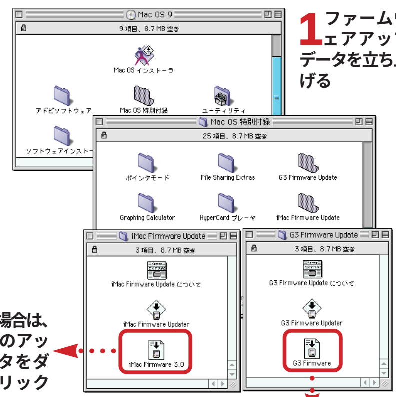
Mac OS 9のインストールで一番面倒な作業

iMac (10月に発売されたiMac/350、iMac DV、iMac DV Special Editionを除く)とB&W Power Mac G3では、「ファームウェアアップデート」という作業をしないと、「ファームウェアをアップデートしてください」というメッセージが表示される。アップデーターはMac OS 9のCD-ROMのなかにある「特別付録」フォルダーのなかに収められている。手順が煩雑なので、解説記事をしっかりと読んでから作業を行なうこと。

注意●ファームウェアのアップデートを行なう際には、Macをハードディスクより起動すること。CDから起動している場合、システムフォルダがロックされているというダイアログが表示され、インストールが中断される。



ファームウェアをアップデートしていないMacにMac OS 9をインストールしようとすると、下記のようなアラートメッセージが表示される

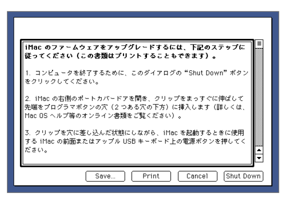


1 ファームウェアアップデータを立ち上げる

iMacの場合は、iMac用のアップデータをダブルクリックする

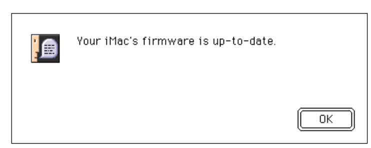
B&W G3の場合は、G3用のアップデータをダブルクリックする

2 画面に表示されるメッセージにしたがい、電源を切る





3 プログラマボタンを押しながら電源を入れる。「ポー」と音がしたら、プログラマースイッチを離す。しばらく後に、左図のようなバーが表示される

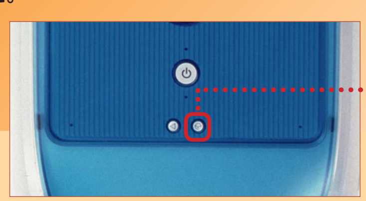


4 上記のような画面が表示されたらアップデートは成功。OKボタンを押すとFinderが表示されるこの後、Mac OS 9のインストールに取りかかろう

プログラマボタンの場所

旧型iMac とB&W PowerMac G3のプログラマボタンの場所は、右の写真の箇所にある。普段は利用しないスイッチなので、プログラマボタンの横にあるリセットスイッチと間違えて押さないこと。





B&W G3は右側のボタン

iMacは下のボタン

▶島 安武◀

ストールしよう

でわかる、Mac OS 9完全インストールガイド

Mac OS 9のインストールを開始！

画面表示にしたがっていけば、簡単にMac OS 9のインストールができる

Mac OSのインストールは簡単だ。まずMac OS 9のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。次に自動的に開いたウィンドウにある「Mac OS インストーラ」をダブルクリックして、画面に表示される質問に答えながら進めるだけでよい。この手順を守って作業を進めていけば、誰でもインストールができるはずだ。

しかし何の注意もせずにインストール作業をしてしまうと、思わぬトラブルが起ってしまうこともある。まずは右の注意事項をしっかりと読んでから、インストールを行なえば、問題なく作業を進められるはずだ。

それでは下の手順に従って、Mac OS 9のインストールを始めてみよう。

Part 1 CD-ROMから起動する



1 CD- ROM ドライブにMac OS 9のCD-ROMをセットし、システムを終了するか、再起動をする。その後、すぐにキーボードの「Cキー」を押したままMacの電源を入れる。すると、Mac OS 9のCD-ROMが起動ディスクとなる。
もしCD-ROMから起動できなかったら改めて再起動をする。今度はCキーを押す代わりに、「Command ＋Option ＋Shift キー＋Delete キー」をすべて押してながら立ち上げてみる。それでも上手くいかない場合は、CD-ROM ドライブにMac OS 9のCD-ROMをセットした後、左図のようにコントロールパネル内の起動ディスクから、Mac OS 9のCD-ROMを選んでからMac を再起動すればよい



2 無事起動したら、起動途中で先ほどまでとは違うCD-ROMパターンのデスクトップが現れるはず。この画面がでたら、正しくCD-ROMから起動している証拠だ。ここまでくれば、Cキーから指を放してもかまわない



3 起動処理が終わり、デスクトップが表示されると、CD-ROMのウィンドウが自動的に開かれる。これでインストーラーのアイコンをダブルクリックすれば、インストール作業に入ることができる

インストール前の注意事項

1 パッケージに付属の「Mac OS インストールマニュアル」は必ず読むこと

Mac OS 9 のパッケージには「Mac OS インストールマニュアル」が付属してる。面倒でも自分のMacに関係するところは必ず読んでおこう（CDには先のマニュアルがPDF書類になったものもあるので、そちらを読んでもよい）。またCDには、「インストールの前に」ファイルが最上部に収録されている。

ファイルにはマニュアル製作後に追加されているような重要な補足項目が書かれていることが多く、問題点やその解決方法が書かれていることがある。その中にはサードパーティ製品との情報も含まれているので、互換性などでの確認作業に役立つ。すべてを読む必要はないが、自分のMacに関係する項目は100%目を通すこと。

2 ハードディスクのドライバーの確認

内蔵のハードディスクを交換したり、B's CrewやHDTなどのサードパーティ製のフォーマッターを使用している場合には、そのドライバーソフトがMac OS 9に対応しているか、必ず雑誌やWebの情報をチェックしたい。万一対応していないと、起動できなかったり、ファイルが読めないなどの、致命的な不具合が起こる可能性がある。

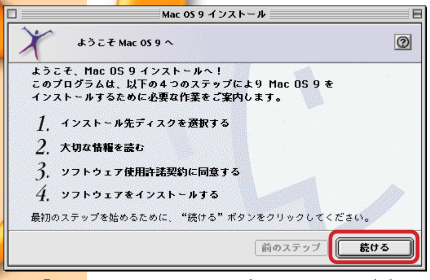
3 ウイルス対策用ソフトは無効にする

アンチウイルスソフトを使用しているユーザーも多い。そのようなソフトはシステム常駐型のものが多く、アップデート作業の害となるケースが多い。インストールの前に、システムフォルダから外しておこう。似たようなものとして、書き込みを禁止するようなディスク保護ソフトウェアを利用している場合も、そのソフトを無効にしておくこと。

4 必要なハードディスクの空き容量はあるか？

いざインストールをしようと思っても、インストーラーにハードディスクの空き容量が足りないといわれることがある。Mac OS 9では、新規/上書きとも、標準で250MBの空き容量が必要である。なお、ハードディスクのフォーマット形式によっては、350MBも必要になることもある。インストール手順で空き容量が足らないといわれる前に、作業前にあらかじめ空き容量を確認しておくこと。

Part 2 インストーラーを立ち上げる

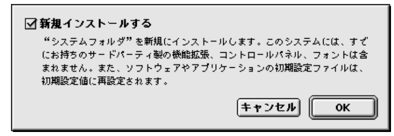


1 「Mac OS インストーラ」アプリケーションをダブルクリックすると、インストーラーの初期画面が現われるので、「続ける」ボタンを押す

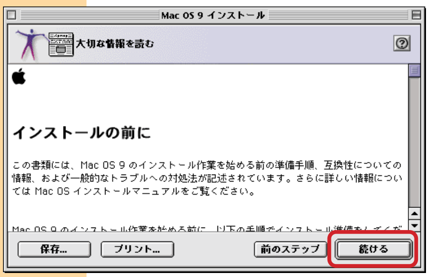
インストール先のディスクを選択する



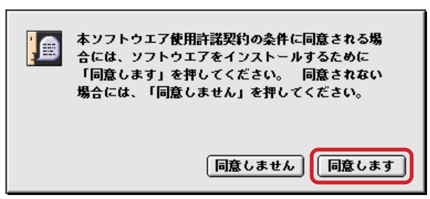
2 「インストール先ディスク」欄の右にあるポップアップメニューで、インストールしたいハードディスクを選択する。初期状態では現在システムが起動しているハードディスクが選択されている。ハードディスクがひとつしかない場合や、パーティションがひとつの場合にはポップアップメニューは機能しない。インストール対象ハードディスクの選択ができたら、「選択」ボタンを押して次の画面へ進む



システムフォルダをまるごと新規インストールした場合は、「オプション…」ボタンをクリックして「新規インストールする」オプションのチェックボックスをチェックしてOKボタンを押すこと。起動ディスクになっていないディスクを選択すると、このオプションを選ばなくても新規インストールになる



3 「選択」ボタンを押して次に進むと、「インストールの前に」画面が表示される。事前に「Mac OS インストールマニュアル」や、「インストールの前に」ファイルなどの添付ファイルを、あらかじめきちんと目を通していれば、「続ける」をクリックして先に進む。もし目を通していなければ、重要な情報が書かれているのでここで必ず目を通しておこう



4 ソフトウェア使用許諾契約が現われるので、文面を確認してから「同意します」のボタンを押す。ここではキーボードからの操作を受け付けないので、必ずどちらかをマウスでクリックしなければならない



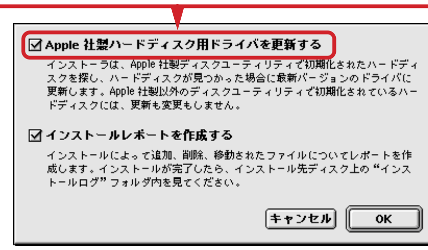
5 同意したら、ここで初めて実際のインストール開始の画面になる。ここで「開始」ボタンをクリックすると実際にインストールが始まる

インストールで困ったときは

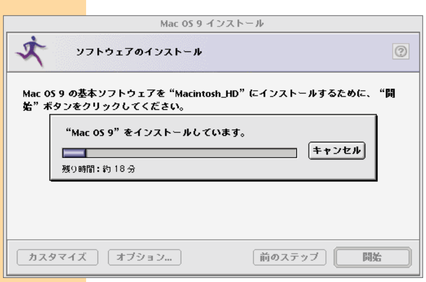


もしインストール中に理解できないことや知りたいことがあったら、ヘルプを参照しよう。各設定画面で、右上に表示されている「?」マークや、「i」マークをクリックすれば、その時々に応じて適切なヘルプや情報が表示される

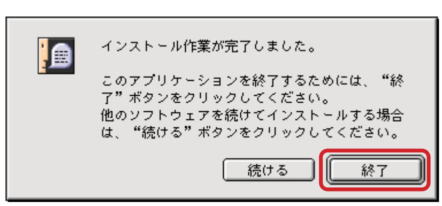
Apple純正ハードディスクの場合、ハードディスク用のドライバーも新しいものに更新してくれる（Apple純正ディスクのドライバーを更新しない場合には、「Apple社製ハードディスク用ドライバを更新する」ボタンをクリックしてラジオボタンのチェックを外す）。もし修復が必要な場合には、ディスク修復プログラムの「Disk FirstAid」が起動してメンテナンスを行なってくれるので心配する必要はない。また、Apple製以外のディスクドライバーを使用している場合には、チェックを外さなくても更新も変更も行なわない



Part 3 インストール作業を進めていく



1 インストール作業が開始されたら、そのまま作業が終了するのを待つ。Windowsのようにインストール途中で何か項目を入力したりする必要はないので、終了の画面になるまでなにもしなくてもよい



2 インストール作業が完了したら、上のようなウィンドウが現れる。「終了」ボタンを押してインストーラーを終了し、Macをリスタートすれば、先進のMac OS 9の環境が利用できる

以上でインストールは終了

ここまで、Mac OS 9のインストール準備段階で注意するべき点を書いてきた。ここまで解説してきた手順を追っていけば、簡単にMac OS 9のインストールはできるはずだ。OSのバージョンアップは初めてだからと怖がらずに、ぜひ本コーナーに掲載されているスクリーンショットとアップデート手順を参考に、Mac OS 9にアップデートしてほしい。

最後に繰り返しになるが、Macでインストール作業をするにあたっての最低限の注意事項は、しっかり確認しておくことを忘れずに。

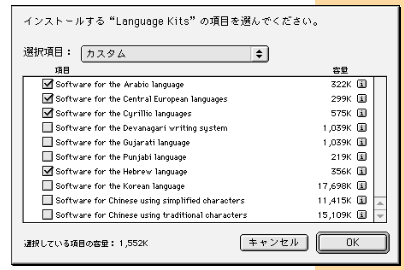
カスタムインストールを使いこなして、最適なシステムを作ろう

難しいカスタムインストールを成功させるポイントはこれだ！

Apple Remote AccessやLanguage Kitなど、標準でインストールされなかった機能は、カスタムインストールで組み込むようになっている。カスタムインストールの手順は、Mac OS 9のインストールと同じだが、前ページのPart 2の5の「カスタマイズ」というボタンを押して行なう。このボタンを押すと、右の図のような「カスタムインストールとカスタム削除」という画面が表示される。ここで必要なソフト項目を選んで、「開始」ボタンを押すと作業が開始される。細かい手順については、右で解説している。また、すでにインストールされている機能を削除するときも、このカスタムインストールを利用する。なお、当然のことながら、カスタムインストールを行なうためには、必ずシステムにMac OS 9がインストールされていなければならない。



1 自分の希望する項目のラジオボタンをチェックすると、それまでグレーで表示されていた「インストール方法」のポップアップメニューが利用可能になる。「チェックしたコンポーネントに含まれるファイルすべてをインストールする場合には、デフォルトの推奨インストールのまま、「開始」ボタンをクリックすればよい



2 さらに細かくインストールしたい場合には、ポップアップメニューから「カスタムインストール…」を選択する。ここでは、「Language Kit」を例にしてるが、自分に必要な「Language Kit」のチェックボックスをクリックして選択し、「OK」ボタンを押せば、インストールが開始される

付属のフォントの追加について

システム標準でインストールされない付属フォントの追加には、Mac OS 8.6までは、インストーラーからカスタムのコースを選ぶことによって、インストールすることができた。しかし、Mac OS 9からは次の付属フォントはインストールCD-ROMの中の「Mac OS 特別付録」の中に収録されることになった。

丸ゴシック-M／リュウミンライト-KL／リュウミンライト-KL-等幅／中ゴシックBBB／中ゴシックBBB-等幅／等幅ゴシック／等幅明朝本明朝-M

必要なユーザーは使いたいフォントをシステムフォルダーにドラッグ＆ドロップして利用する。

Mac OS 9 Q&A

Mac OS 9に関する疑問にお答えします

Q Mac OS 9にソフトが対応しているかどうか、調べるユーティリティはありませんか？

A アップルのMac OS 9のホームページに、互換性に関するリストや情報が掲載されています。まずはこれをチェックして、手持ちのハードやソフトが対応しているかを確認してください。それ以外にもMac OS9で使えなくなった古いファイルマネージャーを使っているソフトを探し出してくれるツールがAlsoft社のWebサイト（http://www.alsoft.com/AskAl/askalreport9comp.html）で公開されています。このソフトで対応していないというメッセージがでても、問題なく使えたという報告もあります。気になるのであれば一度Mac OS 9上で実際に試してみてください。



アップルのMac OS 9のHPに、製品の互換性情報がアップされていので、まずはここをチェック（http://www.apple.co.jp/macos/index.html/）

Q Mac OS 9には、なにか隠されたメッセージがでるような裏技はありませんか？

A 起動時に数字の「9」を押しながら立ち上げてみてください。すると、ある隠されたメッセージが画面に表示されます。また、「command+option」を押しながら「このMacintoshについてを開いて下さい。すると、ある特別な画面が表示されます。どちらも、何が画面に表示されるのかは、実際に自分で試してみてください。

Q Mac OS 9にアップデートしたら、インターネットにつながらなくなったのですが？

A これは、一部のケーブルTV会社のインターネット接続サービスを利用していたり、ルーターを使ってダイヤルアップでインターネットに接続したときに発生する問題です。原因はMac OS 9がDHCPサーバーから IP アドレスを正しく取得できないためです。ネットワークに接続できない、あるいはMacが起動できない（または起動時間が長くなる）という現象も報告されています。 またMac OS 9だけではなく、iBookや新型 iMac 、Power Mac G4/400、450においても同じ状態になることが確認されています。この問題を解決する方法ですが、11月上旬の時点では次のような対応策が発表されています。

- **ルーターを使っている場合**
  DHCPの利用をやめ、IPアドレスを手入力する
- **ケーブルTVのインターネットサービス**
  固定IPの利用を禁止されている場合がほとんどですので、現状ではそのままでの利用はできません。

ちなみに、アナログモデムを使ってダイヤルアップによるインターネット接続ならば問題なく利用できます。

この件についてアップルは、「多数のトラブル報告が寄せられているので、各方面と協力して、早急に対策をとっています」と述べています。

Q コントロールパネルの「キーボード」に、ファンクションキーという項目がありますが、これはなにをするものでしょうか？

A Mac OS 9では、ファンクションキーをアプリケーションの起動キーに利用できる「ホットファンクションキー」の機能が用意されています。ファンクションキーは一部のインプットメソッドなどではよく利用されている機能なので、すでに使われている人もいることでしょう。

使い方ですが、コントロールパネルの「キーボード」で「ファンクションキー」ボタンをクリックすると、以下のようなダイアログボックスが表示されます。ここでファンクションキーの「F12」などの表示部分がボタンになっているので、クリックすることによってファンクションキーに割り当てるアプリケーションなどを指定します。

なお、残念ながらすべての機種で利用できるわけではありません。どの機種が対応しているかは調査中ですが、USB接続のキーボードを利用しているMacなどは大丈夫のようです。



ファンクションキーが利用できるMacだと、キーごとの機能を設定する画面が表示される

Sherloc

インターネットを身近な物にする

Mac OS 8.5ではじめて登場したSherlockだが、これがなくてはインターネットの検索はできないというくらいに手に馴染んでいるユーザーも多いことだろう。Mac OS 9では、「Sherlock 2」としてユーザーインターフェイスを一新するとともに、より高機能になった。

「なんでも」検索できるようになったSherlock 2

Sherlock 2のウィンドウはメタリックな感じになっており、ちょうどQuickTime Playerのような雰囲気のウィンドウになった。ウィンドウの上部には、アイコンが並ぶが、1つ1つを「チャネル」と呼んでいる。チャネルとは、いろいろな検索手段のそれぞれをさす言葉だと思えばよく、アイコンを選択して、目的に応じた検索作業にかかるということになる。チャネルを選択すると、下の部分の表示形態が即座に変わる。



Sherlock 2に用意されている検索情報ボタンを知る

ボタンで検索情報が選べるようになった

Sherlock 2の画面は前のバージョンのSherlockと大きく変わっている。まず目に付くのが、ウィンドウ上部に用意されたボタンである。このボタンは、それぞれファイル検索やWeb検索などの機能が割り振られており、ボタンをクリックするだけで、希望する検索機能が利用できるようになっている。まずは、それぞれのボタンの機能を解説しておこう。

Sherlock 2の画面





1 ファイル検索
ファイル名や中身も今まで通りに検索できる



2 Web検索
ホームページを検索する



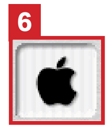
3 人物検索
人物のメールアドレスなどを検索する



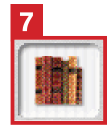
4 ショッピング情報検索
オンラインショッピング情報を検索する



5 ニュース情報検索
ニュース情報を検索する



6 アップル情報検索
アップルのニュースや製品情報を検索する



7 アップル技術情報検索
アップルの技術情報を検索する



8 オリジナル検索内容
自分で定義したサイトを検索する

k 2 完全マスター

▶新居雅行◀

検索エンジンを使いこなす

Sherlock 2の使い方は?

使い方はいままでと同じ。ファイル検索と同じ使い方でOK

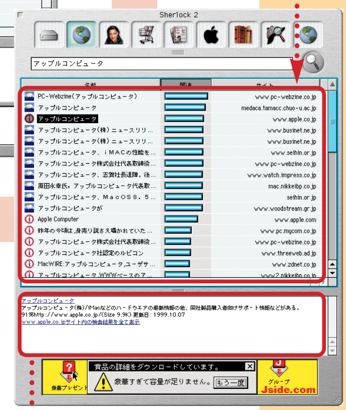
Sherlock 2の使い方は簡単だ。「command+F」もしくはファイルメニューから「検索」を選ぶと、右上の図のようなSherlock 2の画面が表示される。検索する内容によって、上部のボタンで項目を選ぶ。次に検索したいキーワードをテキストボックスに入力して、虫眼鏡ボタンをクリックすれば、Sherlock 2が自動的に探しに行ってくれる。



1 調べたいキーワードを入力する

2 虫メガネのボタンをクリックする

3 ヒットしたサイトが表示されるので、希望のサイトをダブルクリックする



4 選択した（クリックした）概要が表示されるので、ここで内容をチェックする



5 見たいサイトの名称をダブルクリックすると、ブラウザーが自動的に開いて表示される

Sherlock 2になって画面は大きく変わったが、検索手順は前のSherlockとまったく変わらないので、ほとんどの人がそのまま利用することができるだろう

検索画面でSherlock 2の画面も変化する

検索項目によって、画面表示のデザインが変わる

ぱっと見た目には、それほどウィンドウが変わらないようにみえるが、検索する内容によって表示される内容も変化している。またファイル検索の場合は検索条件のボタンなどが新たに加わっている。

検索結果はいままでのように、項目でソートしたり、昇降順を変えることもできる。



ファイルの検索

ファイル名や中身も今まで通りに検索できる

ファイル名からの検索や、あるいはファイルの内容の検索についても、従来と同じく検索できる。ファイル名やファイルの内容の検索は、1つのチャネルにまとめられた。ファイルの内容については、索引を構築しておかないといけない点は従来と同様。検索条件を詳細に指定するダイアログボックスが新たに付加されており、Sherlockのメインウィンドウで複雑な条件の設定も可能となった



Webの検索

インターネット検索は従来どおり可能

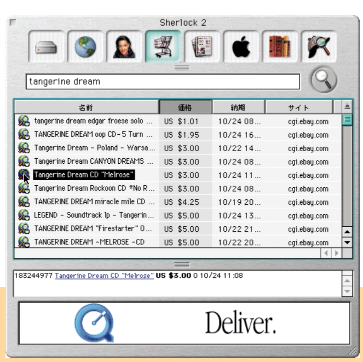
前から用意されているが、インターネットの複数の検索エンジンを同時に検索する機能。Sherlock 2のフォルダーにある検索エンジンごとの検索処理作業を記述した「プラグイン」を利用することによって、1つ1つの検索エンジンに検索命令を送り、結果から一覧を構築している。プラグインというだけに、ファイルを追加することで、新たに検索エンジンを増やすことがもできる



人物情報の検索

メールアドレスなどの検索の日本でのサービスはまだ先

米国ではLDAPという公開サーバーがあり、ここで個人情報が公開されている。これを利用して人物情報を検索している。しかし、日本ではLDAPサーバーがないため、日本語での検索はできない。ちなみにここで得られる個人情報だが、サイトがフリーメールなどのサービスを提供することとの引き換えなどでリストを構築しているようだ



ショッピング情報の検索

値段の一番やすいサイトも簡単に見つかる

「ショッピング」のチャネルを選択すると、複数のオンラインショッピングサイトから商品の検索ができる。いちいちいろいろなサイトに行かなくても商品選びができるので非常に便利だ。しかも、価格や納期が一覧の見出し項目となっており、これらのデータをもとにソートができるなど、消費者寄りの機能を備えている

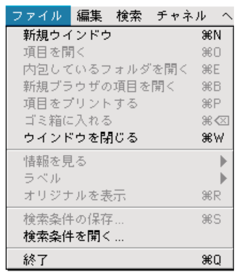
Sherlock 2のメニューを覚えよう

メニューを覚えれば、もっと使い方が広がるSherlock 2

Sherlock 2を起動するのは簡単だ。Finderから「command＋F」キーかファイルメニューから「検索...」を実行するとSherlock 2が立ち上がる。Sherlock 2には普通のアプリケーションと同じく、メニューがいくつか用意されている。ボリュームの索引作成や初期設定などは、メニューからしか選ぶことができない。

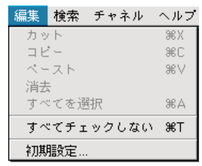
前バージョンと大きく変わったのが、検索メニューとチャネルメニューが用意されたことだろう。どちらもSherlock 2のウィンドウに表示されるボタンから選ぶこともできるが、好みによってメニューから選んでもよい。

ファイルメニュー



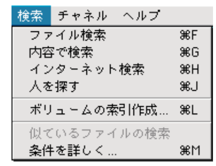
Sherlock 2のウィンドウを開いたり、検索条件の保存などを選択できる

編集メニュー



カット＆ペースト以外に、検索サイトをすべてチェックしないを選択したり、Sherlock 2の初期設定を行なうときに利用する

検索メニュー



検索項目の変更やボリュームの索引作成、より詳しい検索条件を設定するときに利用する

チャネルニュー

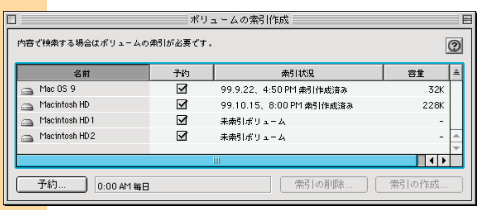


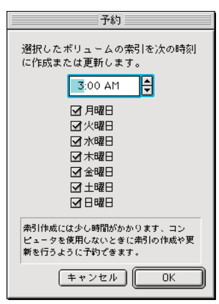
検索チャネルの変更を行なったり、新規チャネルを作成するときに利用する

ファイル内容も検索可能だ

ファイル名だけではなく、ファイルの中身のテキストも検索できる

Sherlock 2には、ファイルの中に書かれている文字まで検索することができる「内容で検索」が用意されている。文書中に書かれた文字を探すためには、これまで、いちいちファイルを開いて検索しなければならなかったが、この機能を使えば手軽に文書内部の文字検索までできるようになる。ただし、これを行なうためには、ボリュームの索引というものを作成しておかなければならない。あらかじめ全ファイルから重要な単語を抽出した索引ファイルを作っておき、それに対して検索をかけるので、非常に高速に検索可能だ。この索引ファイルの作成には時間がかかるので、あらかじめ設定しておいた時間に作業を自動的に開始させる機能も用意されている。

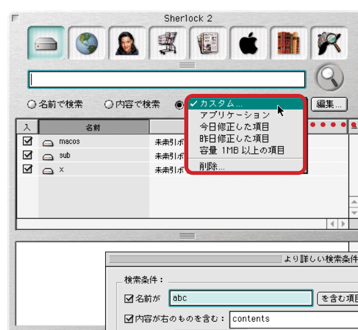




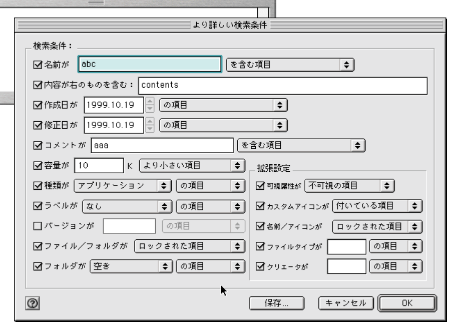
Sherlock 2は前バージョンと同じく、ファイルの内容についても検索することができる。そのための「ボリュームの索引作成」も変わりはない。作成には時間がかかるため、設定した時間になると自動的に行なうモードが用意されている

もっと詳しく検索したいときは？

詳しく検索内容を設定して、適切な検索をヒットさせよう



ファイル検索の条件を選ぶことができる

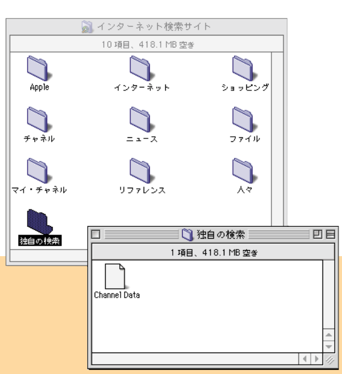


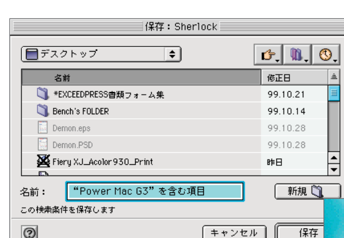
検索条件を詳細に指定するダイアログボックスが新たに追加されているので、作成日やラベル、ファイルサイズといった細かい条件や、それらの条件をいくつも組み合わせた指定で検索することもできる

Sherlock 2関連ファイル

Sherlock 2用のシステムファイルには、どんなものがあるのか

システムフォルダのSherlock 2関連ファイルが収められている「インターネット検索サイト」フォルダーには、チャネルごとにわかれたフォルダーがある。新しくチャネルを作ると、そのなかにChannelDataというファイルが作られる。チャネルで利用するプラグインを指定すると、さらに「選択したサイト」というファイルも自動的に作られる







よく利用する検索条件は、ファイルにして保存しておくことができるようになった。ファイルメニューから「検索条件の保存」とすると、専用のファイルが作成される

オリジナルの検索ボタンを作ろう

オリジナル検索項目を登録しよう

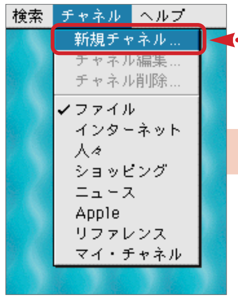
Sherlock 2には、チャネルをユーザーが作成することも可能となった。チャネルとは、検索用のプラグインを組み合わせて、そのなかのサイトを検索するものだ。

オリジナルのチャネルを作成すると、ウィンドウ上部のアイコンの1つに設定したアイコンが表示される。チャネルごとに、検索に使うプラグインを選べるので、用途に合わせたプラグインのセットができる。

チャネル作成の手順は右に解説しているので、参考にして試してほしい。なお新規チャネルを作るとき、「タイプ」を選択する。これはたとえば「ショッピング」を選ぶと検索結果の一覧に価格や納期の列が用意されるためだ。

検索結果の一覧は残念ながらプラグイン側で自由にはカスタマイズできるわけではなく、ここで取り決めた設定となってしまうので注意したい。

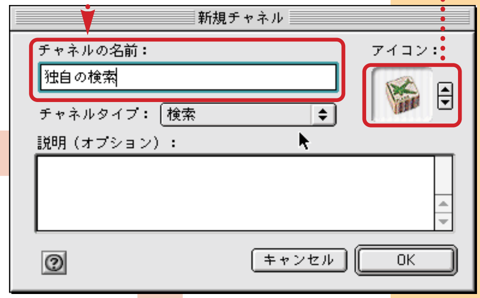
Mac OS 9には、標準で数多くのチャネルがインストールされているが、たとえばフリーソフトの検索チャネルを新たに作り、「新しもの好き」のダウンロードのサイト（http://mac.page.ne.jp/）や「ベクター」（http://www.vector.co.jp/）などのサイトで公開されているフリーウェアを集める、いうのが効果的な使い方として考えられる。



チャネルメニューから「新規チャネル」を選ぶ

チャネルの名称を入力する

好きなアイコンを選ぶ



新規チャネルが作成された



独自に追加したチャネル。ここにプラグイン登録していく



オリジナルのチャネルは、数多く作ることができる。よく利用する条件ごとにチャネルを作って利用すると便利だ

Sherlock 2 Q&A

Sherlock 2に関する疑問にお答えします

Q Sherlock 2では、前のSherlock用のプラグインは使えるのでしょうか？

A 従来のSherlock用のプラグインは、チャネルタイプが「検索」の場合には使うことができます。しかし、チャネルタイプが「人々」「ニュース」「ショッピング」に対しては、新たに作ったプラグインが必要になります。

Q Mac人物検索をしてみたら、まったく検索することができませんでした。

A Sherlock 2の人物検索は、すでに解説していますが、LDAP（Lightweight Directory Access Protocol）という、ディレクトリーサービスを使ったサーバーを調べにいって、そこに書き込まれている人物情報を検索して表示します。LDAPサーバーには、個人情報（住所、氏名、職種、メールアドレスなど）が登録されています。残念ながら日本では公開されているLDAPサーバーがないため、日本語による人々の情報を調べることはできません。ただし英語で入力すれば、外国のLDAPサーバーにある情報を調べることは可能です。 まもなく日本語に対応したLDAPサーバーも運用されると思いますが、普通のユーザーにとっては、当面あまり意味のない機能かもしれません。

Q 新しいプラグインをSherlock 2に組み込んで使いたい考えています。Sherlock 2用のプラグインは、どこに行けばあるのでしょうか？

A 多くの人々がSherlock用のプラグインを作成して、ホームページなどで公開しています。Sherlock2用のプラグインを集めたHPなども今後でてくると思われますので、それはまた誌面で紹介していきます。アップルでは、今後公開されていくショッピングチャネルやニュースチャネルに関しては、SherlockのHPで公開していくと述べています。

Q ショッピングシャネルやニュースチャネルの内容は、いつ更新されるのでしょうか？

A 情報の更新は、Sherlock 2をユーザーが立ち上げた時点でインターネットに接続にいき、バックグラウンドで自動的に更新していきます。日々決まった日時に更新作業を行なう必要はありません。すべてSherlock 2まかせで大丈夫です。

家族みんなでMacを

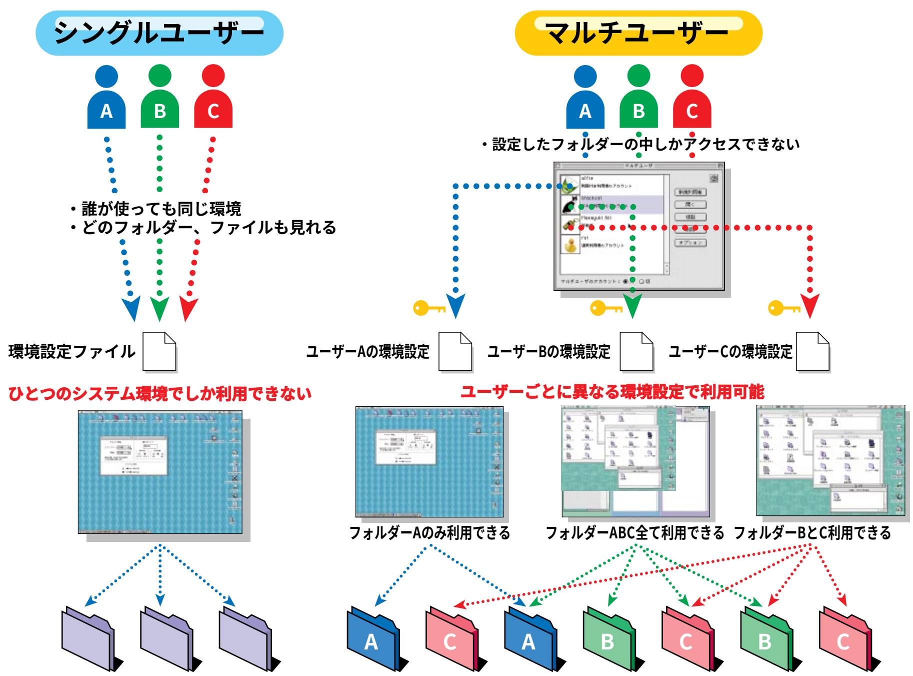
利用者ごとにMacの環境が

Mac OS 9の大きな特徴のひとつが、マルチユーザー機能。1台のMacを複数の人で利用するときに、ユーザーごとに環境を切り換えて使うことができるというものだ。これで1台のMacを複数の人間で有効に共有できるはずだ。

マルチユーザー機能で1台を使いまわししても安心

Mac OS 9にはマルチユーザーという機能が加わった。この機能を使う場面はすぐに思いつくだろう。たとえば家庭で1台のパソコンを複数の人間で使い回すときや、パソコンの少ないオフィスで共用で利用する場合である。家庭内で、子供と一緒にMacを使っている人にとって、仕事で作ったファイルを消されてしまったりするような心配も、これで解消される。

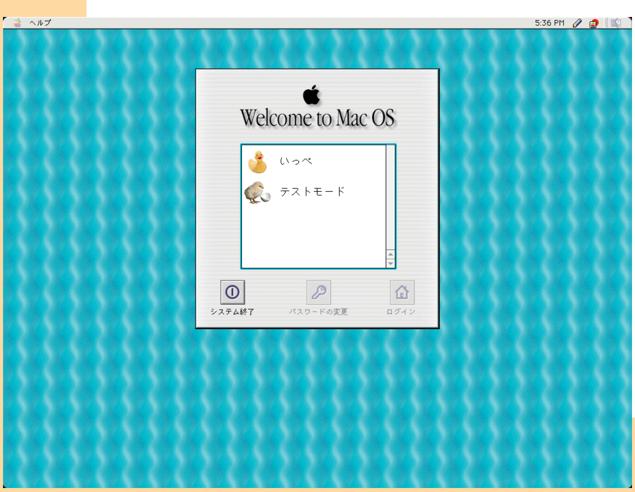
いままでMac OSは、あくまで1台のマシンを1人の人が使うという前提では作られていた。そのため、利用者が変わると、異なるユーザーが使うたびに登録してある電子メールのアカウント情報を変更しなければならなかったり、他人に見られたくない重要な情報のファイルの保管に気を使ったりしなければならなかった。



マルチユーザーはユーザーごとに個別のシステム環境を利用できるようにするための機能だ。これにより、1台のMacを、何人でも共有可能で、初期設定やデスクトップがユーザーごとにカスタマイズした状態で利用できるので、いちいちさまざまな設定を変更する必要がない

マルチユーザー環境を実現することにより、あらかじめ登録したユーザーごとに、利用できるフォルダーやアプリケーションを変えて使うことができる。個別に設定することによって、システムに組み込まれたマルチユーザー機能が、そのユーザーが設定した環境に切り換えてくれる。デスクトップやアピアランスの設定などが、ユーザーごとに異なる設定ができるようになるというわけだ。また画面やフォルダーのアクセス権が変わるだけではなく、アプリケーションの詳細が書かれた初期設定ファイルもユーザーごとに別個に管理されるので、たとえば同じ電子メールなどのアプリケーションをみんなで使っていても、マルチユーザーで設定しているメールサーバーにアクセスするための各種の情報やパスワードといったユーザー情報が、個別に管理されている。

このほかにも、通常のFinder画面だけではなく、フォルダーやアプリケーションをアイコン形式で表示して、パソコンを使ったことがない人でも簡単に利用できるようなモードなども用意されている。



マルチユーザーモードでの起動画面。デスクトップを表示する前に、図のようなユーザーを選択する画面が表示される。ここで利用者を選んでパスワードもしくは声紋認識でログインする

▶新居 雅行◀

使おう～マルチユーザー

切り替えられるマルチユーザーを使いこなす秘訣

マルチユーザーの設定

使うまでの設定がやや面倒

Mac OS 9の初期状態では、マルチユーザーは機能していない。マルチユーザーを使うためにはコントロールパネルの「マルチユーザ」を選択して、機能を有効にする必要がある。マルチユーザーで重要なのは、「所有者」のアカウントがマルチユーザー環境の管理者であることだ。所有者は、最初にMac OSをインストールしたときに設定する名称である。所有者でログインする限りにおいてはマルチユーザー環境特有の制約などはない。つまり通常のシングルユーザー利用時と同じ状態で使うことができる。

実際にマルチユーザーで、各ユーザーを登録する手順は右に解説してある。やや設定する項目が多いと思うが、順を追って進めていけば、誰でも設定できるはずだ。



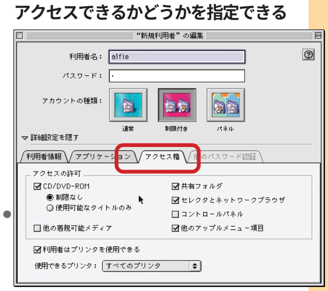
1 コントロールパネルの「マルチユーザ」を選択し、「マルチユーザのアカウント」の「入」を選択する。次に「新規利用者」ボタンをクリックして、新しい利用者を作成する



2 最低限の設定は、名前を入れて、パスワードを入力することだ。「詳細設定を表示する」の部分をクリックすると、一覧で表示する時に使うアイコンなどを設定できる



3 「アプリケーション」のタブでは、そのユーザーが起動できるアプリケーションを指定できる。ここでは、自動的にハードディスクにインストールしてあるアプリケーションが一覧表示される



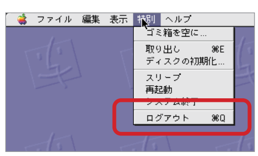
4 「アクセス権」のタブでは、ユーザーが、項目にあるような、いろいろなデータにアクセスできるかどうかを指定できる

マルチユーザーの使い方は簡単

マルチユーザーでログインする手順

マルチユーザー機能を使うために、マルチユーザーの設定を行なうと、Finderの「特別」メニューに「ログアウト」という項目が現れる。これにはcommand+Qのショートカットが割り当てられている。ログアウトは再起動せずに、起動しているアプリケーションをすべて終了し、即座にログオンのダイアログボックスを表示する機能である。利用者を切り替えるときは、このログアウトを選ぶか、Macを再起動する。

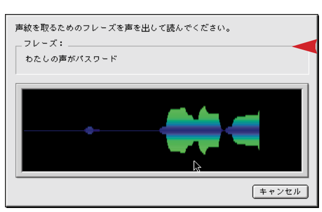
ログアウトもしくは再起動してMacが立ち上がったら、「Welcom to Mac OS」という画面が表示され、登録されたユーザー名のリストが表示される。ここでログインするユーザーを選択して、パスワードをキータイプしたり、P.91で解説する声紋認識機能を使ってログインする。パスワードなどで正しく認証されると、登録してあるデスクトップが表示される。



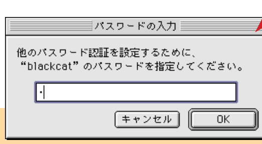
1 マルチユーザーの機能を「入」にすると、Finderの「特別」メニューに「ログアウト」という項目が追加される。ショートカットはcommand+Qとなっている



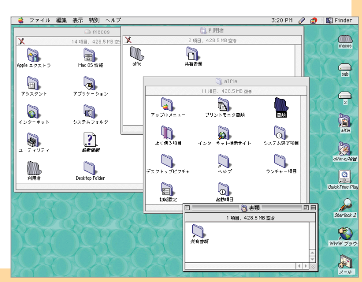
2 起動時に表示されるユーザーの選択ダイアログボックス。ユーザーを選択して「ログイン」ボタンをクリックすればいい



3 P.91で解説している声紋認証のフレーズが登録されていれば、パスワードを入力する替わりに、設定したフレーズを話す必要がある。録音時と同じように話すと波形が表示されるダイアログが表示される



4 声紋認証が指定されていないユーザーがログインされた場合は、パスワードを入力するダイアログボックスが表示される



5 パスワードがOKならば、デスクトップが表示され、Macが利用できる環境となる

設定で画面がさま変わりする

管理者以外がログインすると、画面が異なって表示される

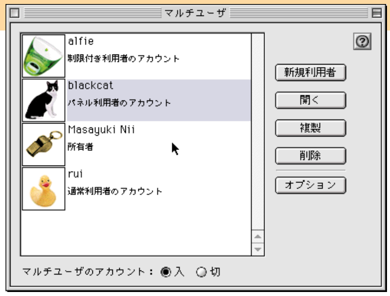
マルチユーザーでは、「通常」「制限付き」「パネル」の3つのアクセス制限モードが用意されている。その違いを解説しよう。

「通常」でアクセスした場合、システムフォルダーの使い方が異なることに加えて、他の利用者のフォルダーが非表示になり、フォルダーそのものの存在がわからなくなる。また所有者の「書類」フォルダーについては、見ることはできるが、アクセス権がなく開くこともできない。デスクトップには自分の書類フォルダーへのエイリアスが自動的に用意されている。ただしFinderが起動するため、ボリューム内の多くの部分を参照することができ、書き換えもできる。その意味ではそれほどセキュリティがかけられていない状況でMacを利用することができる。

「制限付き」でアクセスした場合は、Finderが起動するものの、「利用者」フォルダー内の自分の名前のフォルダー以外はほとんどが書き込み禁止になっており、見えたとしても変更はできない。デスクトップには、自分の名前のフォルダー内の「書類」フォルダーへのルートボリュームに加えて、利用可能なアプリケーションへのエイリアスを集めたフォルダーも自動的に作られる。この設定では、Finderは使うけれども、ほとんどハードディスク内の修正はできないため、システムを間違って壊すという可能性は低くなる。

「パネル」でアクセスした場合は、もはや、Finderは起動しない。代わりに「パネル」というアプリケーションが起動するが、ウィンドウではなく、見出し付きの表示パネルが表示される。パネルアプリケーションではダブルクリックという操作はなく、アプリケーションを起動したり、文書項目を開くには、そのアイコンをクリックするだけだ。

結果的にFinderが起動していないので、自分の書類フォルダー以外の部分を見ることすら難しい。その意味ではセキュリティ保護の度合いは高いといえるだろう。展示スペースなどで、来場者に勝手に使われないようにするには、「パネル」のアカウントでログオンするといいだろう。

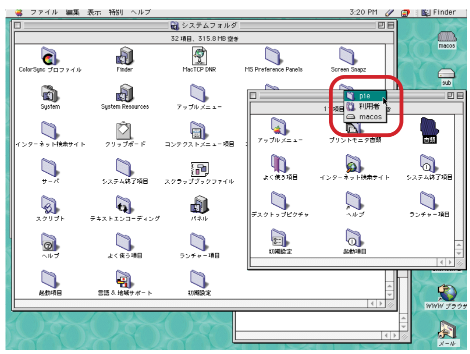


ユーザーごとの環境は、後述するユーザーごとの設定で決めることになる



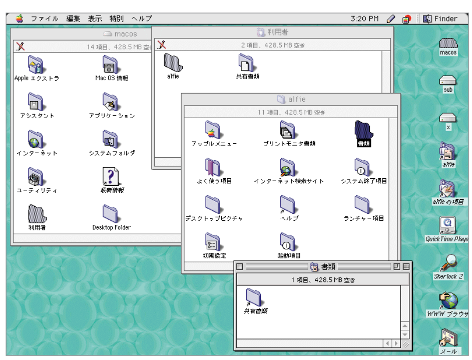
アクセス方法を選択するボタン

●通常でアクセスした場合のデスクトップ



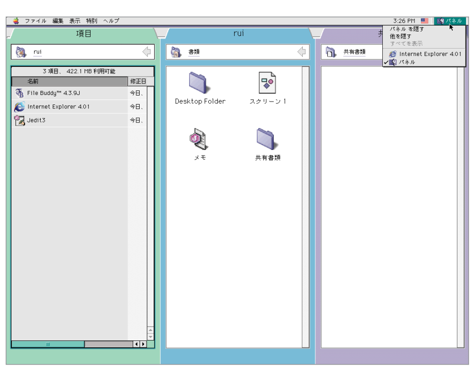
所有者以外がログオンしたときのシステムフォルダ。「アップルメニュー」「初期設定」などは普通のフォルダーになっているが、「利用者」フォルダーのログオン名のフォルダー内にある「アップルメニュー」「初期設定」などをシステムは利用する

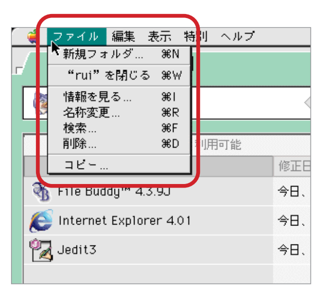
●制限付きでアクセスした場合のデスクトップ



「制限付き」ユーザーでログインした場合のデスクトップ。ルートボリュームはリードオンリーになっている。「利用者」フォルダーの自分の名前のフォルダー内だけが書き込み可能となっている。自分の文書用フォルダーへのエイリアス（この図ではalfie）と、起動可能なアプリケーションのエイリアスを集めたフォルダー（この図ではalfieの項目）がデスクトップに表示される

●パネルでアクセスした場合のデスクトップ





「パネル」を選択したユーザーの場合、Finderは起動せず、「パネル」アプリケーションが起動する。パネルでは、マウスボタン1クリックで、アプリケーションが起動する

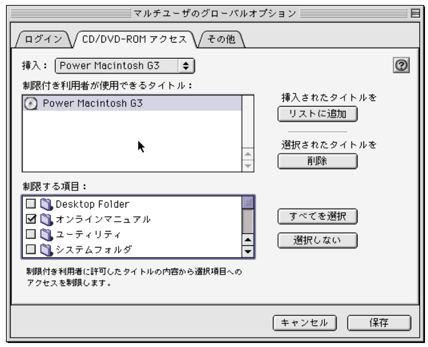
声紋認証を使いこなす！

声を使った新しいログイン方式

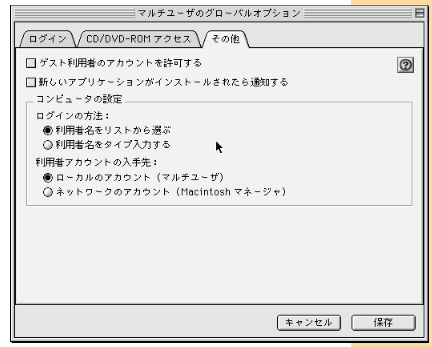
「マルチユーザ」コントロールパネルで「オプション」ボタンをクリックすれば、いろいろな設定項目がある。まず、声紋認証によるパスワードを利用したいのなら、ここで設定が必要だ。最初の状態では声紋認証のパスワード機能は無効になっている。声紋認証パスワードを有効にすると、ユーザーごとの設定画面で、パスワードの入力ができるようになる。その手順を示したが、パスフレーズの入力では4回同じ言葉を録音して、声紋の登録を行なうようになっている。毎回同じフレーズを話さないといけないが、話す言葉をまず最初にテキストで入力しておけるので、話しやすいフレーズを設定しておくとよい。



1 「マルチユーザ」コントロールパネルで「オプション」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックス。声紋認証のパスワードを使う場合には、ここで「他のパスワード認証も可能にする」のチェックボックスをオンにしておく必要がある



1-2 「マルチユーザ」コントロールパネルで「オプション」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックス。特定のCD-ROMのどのフォルダーを利用できるかを指定することで、開くことのできない、つまり見られないフォルダーにすることもできる



1-3 「マルチユーザ」コントロールパネルで「オプション」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックス。通常は利用者名をリストで選ぶようになっている



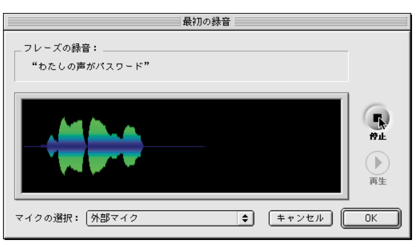
2 オプション設定で声紋認証を利用できるようにすると、アカウントの登録ウィンドウで「他のパスワード認証」タブが選択できるようになる。音声のパスワードを登録するには「声紋の登録」ボタンをクリックする



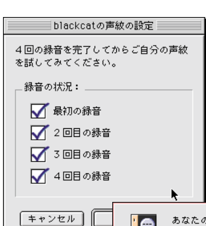
3 まず、ユーザーが設定したパスワードをキータイプするダイアログボックスが出てくる



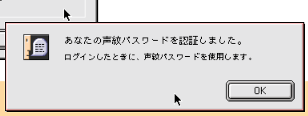
4 フレーズを変更したい場合は、「フレーズの変更…」というボタンをクリックする



5 「マイクの選択」で利用可能な入力ソースを確認し、ボタンをクリックして、マイクなどに向かってフレーズをしゃべる。サウンドが取り込めれば波形が表示される



6 設定したフレーズの録音を4回行なう。ダイアログボックスのガイドにしたがって、作業を続けることになる。もちろん、毎回同じ調子で、フレーズを話す必要がある



7 最後に、認証できるかどうかをチェックする

マルチユーザー Q&A

マルチユーザーに関する疑問にお答えします

Q iBookやPower Mac G4にはマイクが付属していません。これらのMacで声紋認証を使いたい場合は、どのようなマイクを使えばいいのでしょうか？

A iBookにはマイク入力端子が用意されていないので、そのままでは声紋認証することができません。米国では、USBで接続して利用できるマイクの発売が予定されていますので、日本国内でも、まもなく入手できるようになると思われます。このようなマイクが入手できれば、iBookのUSBポートにUSBマイクを接続して使うことができます。Power Mac G3まではマイクが標準で添付されていましたが、Power Mac G4にはマイクは付いてきません。しかしPower Mac G4にはマイク入力端子が用意されているので、市販のマイクを使って声紋認証を行なうことができます。利用するマイクは、指向性の高いものを選ぶようにしてください。

余談ですが、iMacには、単体のマイクは付属していません。そのかわりに本体にマイクが内蔵されています。モニターの上部中央に黒い穴が空いていますが、これがマイク用の穴です。声紋認証のときに、ここに向かって話すようにしてください。

Q “パネル”モードで設定したユーザーがInternet Explorer 4.5を起動することができませんでした。そのとき、Macはアプリケーションを開くことができないか、ときどきフリーズしているかのようです。このような問題はどうすれば回避することができますか？

A マイクロソフト社のソフトウェアは、アプリケーションを初めて起動する際にインストーラーや、あるいは自己修復のアプリケーションを実行します。このアプリケーションはユーザーがアクセス権を持たない場合には、順序にしたがってシステムフォルダーの中に項目を置こうとするためです。アプリケーションに“制限付き”あるいは“パネル”ユーザーとしてのアクセス権を設定する前に、“通常”のアカウント環境から少なくとも1回は Internet Explorer、Microsoft Excel、Microsoft Word, PowerPointなどのアプリケーションを起動しておきます。これはマイクロソフト社の製品に限らず、他のアプリケーションでも起こる可能性があります。

新しい機能が満載！ Mac OS 9

小粒ながら、便利なMac OS 9

Mac OS 9には、Sherlock2やマルチユーザー以外にも、多くの機能が搭載されている。ここでは、そのほかの機能について紹介する。

Mac OS 9に搭載された数多くの新機能

前ページまでに、Mac OS 9の主要な機能であるSherlock 2とマルチユーザーについて詳細に解説をしてきた。しかし、それ以外にも、Mac OS 9にはさまざまな新機能が盛り込まれている。それらのなかから、注目すべき新機能の概要を解説する。

たとえば、キーチェーンや暗号化など、ネットワークを使ったときにより安全な環境を提供するためのものや、TCP/IPを使ったファイル共有やAppleScriptなど、インターネット経由での作業を効率化する便利なものもある。さらに扱えるファイルサイズが大きくなったり、多国言語が標準で扱えるなど、さまざまな機能が強化されている。また、いくつかのコントロールパネルの内容が変更になったり、標準で組み込まれていたアプリケーションが別の場所に移動されていたりというような変更もあるので、注意が必要だ。

Mac OS 9は全体として、インターネットを使った情報のハンドリングや作業アップを主眼に機能アップされているが、それ以外にも、細かな点までユーザーの使い勝手を良くしたいという考えで作られたOSであることは間違いない。

キーチェーンを利用したネットワークアクセス

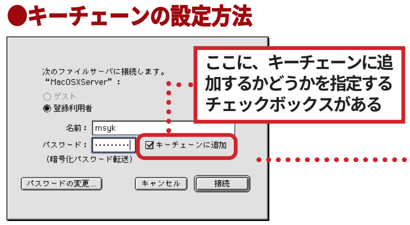
サーバーやシステムのパスワードを一括で管理できる

キーチェーンは、サーバーなどにアクセスするため必要なアカウントとパスワードを、複数まとめて管理するための機能だ。たとえば、ネットワーク内にAppleShareサーバーがいくつもあるとき、それぞれ異なるアカウント名やパスワードで利用すると、いちいち入力する必要があり、非常に不便だ。キーチェーンは、このような不便を一気に解決してくれる。

最初にキーチェーンにアクセスするためのパスワードを入力すれば、それ以降サーバーにアクセスするときは、キーチェーンに記録されているアカウントとパスワードが自動的にサーバー側に送られる。そのため、ユーザーはサーバーにアクセスする際に、毎回パスワードを入力する必要はない。

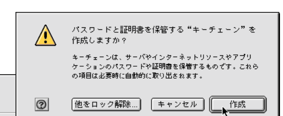
残念なのはアプリケーションがキーチェーンに対応しないと利用できないことだ。Mac OS 9ではAppleShareクライアントがキーチェーンに全面的に対応しているので、AppleShareでは利用できる。またFTPクライアントのNetFinderのように、すでにキーチェーン機能に対応しているアプリケーションもある。

●キーチェーンの設定方法

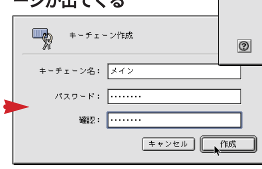


ここに、キーチェーンに追加するかどうかを指定するチェックボックスがある

1 サーバーに接続しようとした時、アカウントとパスワードを入力するダイアログボックスが出てくる



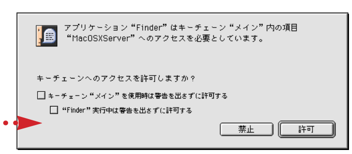
キーチェーンを最初に作る時には、このようなメッセージが出てくる



2 「作成」ボタンをクリックすると、任意のキーチェーン名と、そのキーチェーンを開くためのパスワードの入力を行なうダイアログボックスが表示される。パスワードは2回入力する

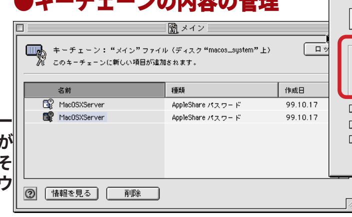


3 キーチェーンの機能を利用して、AppleShareサーバーなどにアクセスするときに表示されるダイアログボックス

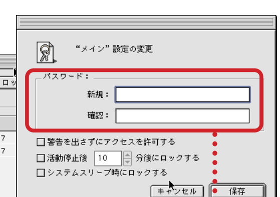


4 右図のようなキーチェーンを利用するかどうかを確認するメッセージが表示される

●キーチェーンの内容の管理



6 コントロールパネルの「キーチェーンアクセス」でキーチェーンの管理ができる。名前をダブルクリックすると、それぞれのキーチェーンに記録されたアカウントやパスワードの情報が表示される



5 「編集」メニューから『"メイン"の設定』を選択して表示されるダイアログボックス。メニュー選択時にアクティブなウィンドウに表示されているキーチェーンのパスワードなどの設定を変更できる



起動時にオープンするボリュームの設定でも、名前とパスワードをキーチェーンに保存することができる



7 上図の「内容を見る」を選ぶと、キーチェーンの1つの項目の情報を表示した。「パスワードを見る」で、パスワードを確認できる

▶新居雅行◀

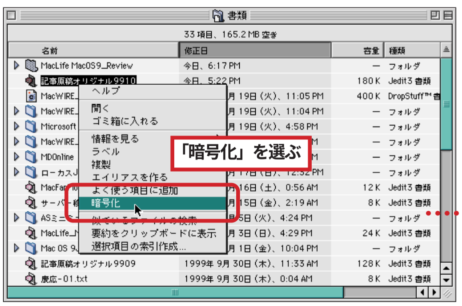
その他の新機能

新機能の数々

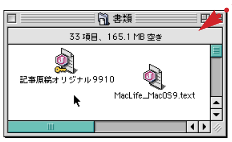
暗号化機能が組み込まれた

暗号化でファイルを他人に見られないようにする

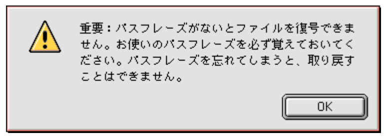
●ファイルを暗号化してみよう



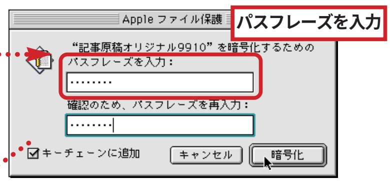
ファイルメニューからもしくは、Control+クリックして表示されるメニューで「暗号化」を選択



暗号化したファイル（左側）には、アイコンに鍵のマークが入る。右側は通常の文書ファイルのアイコン

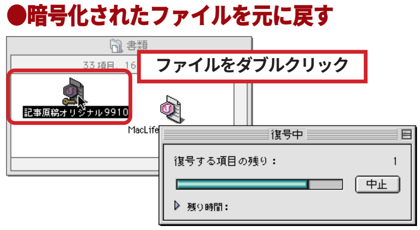


はじめて暗号化を使う時には、このメッセージが出てくる。その後はこのメッセージは表示されない

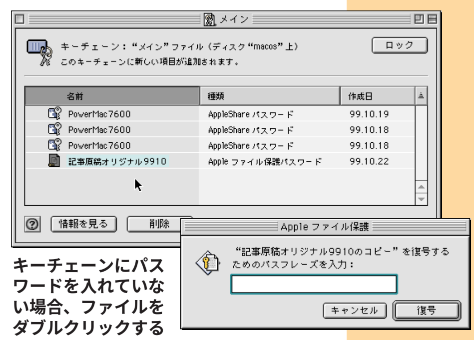


暗号を元に戻すのに必要なパスフレーズを2回キータイプする。必要ならキーチェーンに入れておく

●暗号化されたファイルを元に戻す



キーチェーンにパスワードを入れておけば、ダブルクリックで即座に復号が行なわれて元のファイルに戻され、同時にその文書を開くことができる

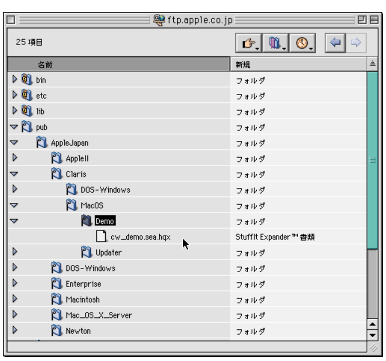


キーチェーンにパスワードを入れていない場合、ファイルをダブルクリックすると、パスワードを入力するダイアログボックスが表示される

ファイルを勝手に開かれないようにする方法として、ファイルを暗号化する機能がMac OS 9に実装された。暗号化できるものはファイルだけで、フォルダーは暗号化はできない。また複数のファイルを暗号化したい場合は、1つずつファイルを暗号化しなければならない。暗号化されたファイルはオリジナルのものから、新たに暗号化されたファイルに置き換わる。暗号化されたファイルは鍵マークがファイルのアイコンに付くので、一目でわかるようになっている。

ファイルの暗号化の手順は簡単で、ファイルを選んで「ファイル」メニューから「暗号化」を選ぶか、コンテキストメニューで「暗号化」を選べばよい。すると暗号化するときに、復号（解読）するときのためのパスワードを入力する画面が表示されるので、任意のパスワードを入力する。

暗号化されたファイルを元に戻すには、ダブルクリックする。パスワードを入力するダイアログボックスが表示され、ここに暗号化するときに指定したパスワードを入力する。ここで、パスワードをキーチェーンに保存していれば、そのパスワードを取り出して復号するので、非常に便利だ。



ネットワークブラウザの画面



アップルのFTPサーバーに接続したところ

ネットワークブラウザで、サーバー環境がひとめでわかる

ネットワークブラウザを利用したアクセス

ネットワークブラウザの機能もMac OS 9では強化された。前バージョンではAppleShareサーバーだけしか見ることができなかったが、今度はWebサーバー、FTPサーバー、LDAPサーバーも一覧できるようになった。

FTPサーバーに接続できるメリットは、ネットワークブラウザでファイルのアップロード／ダウンロードまでできることだ。手順はまず、ネットワークブラウザのウィンドウ内の指差しマークのアイコンをクリックして「サーバへ接続」を選択する。そして、ダイアログボックスでアドレスを指定すると、FTPサーバーに接続でき、ファイルをドラッグすれば、ダウンロードができてしまう。

パスワードの必要なサーバーへの接続も可能で、その場合はキーチェーンにアカウントやパスワードを記録することができる。接続したサーバーの特定のディレクトリーへのエイリアスをデスクトップに作成することも可能だ。

ただしWebサーバーなどはネットワーク設定によっては必ずしもサーバー内容の一覧が得られるとは限らない。

TCP/IPベースのファイル処理とAppleScriptをサポート

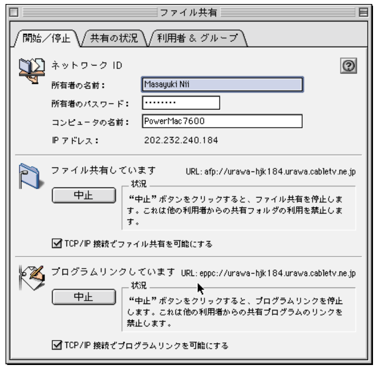
インターネットを使った作業が実現

Mac OS 9では、ファイル共有機能がTCP/IPに対応した。これにより、LAN内でのファイル共有だけでなく、たとえば遠隔地にあるMacをインターネットを経由して、あたかもLAN上にあるがごとく、自分のMacにボリュームとしてマウントできるようになった。いままでこのような機能を実現するためには、AppleShare IPというソフトが別途必要だったが、そのサーバー機能がMac OS 9の標準機能として利用できるようになったのである。

また、AppleScriptもTCP/IPに対応した。これまでも、ネットワークの先にある別のMacで動いているアプリケーションを、スクリプトプログラムを使ってコントロールすることはできた。しかし、接続にはAppleTalkプロトコルしか使えなかったのである。これがMac OS 9ではインターネットで一般的に利用されているTCP/IPで接続できるようになったのである。

したがって、インターネット経由でつながれているMac上で動いているアプリケーションを、離れたところのMacからスクリプトプログラムでコントロールできるようになった。

これに伴い、AppleScriptに関連する機能拡張がなされている。たとえば、ネットワーク越しに処理を行なうようなプログラムを作りやすくするコマンドが増えているほか、スクリプト編集プログラムがCarbon対応のアプリケーションとなった。

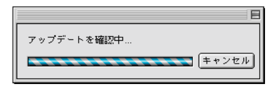


ファイル共有やAppleScriptによるコントロールも、TCP/IP対応になった。機能をアクティブにすると、そのマシンにアクセスするURLがダイアログボックスに表示される

システムの自動アップデート

システム関連ファイルの最新版をインターネット経由で自動入手する

システムのコンポーネントなどがアップデートされたとき、インターネットを通じて自動的にアップデートする仕組みがMac OS 9に組み込まれた。これはコントロールパネル「ソフトウェア・アップデート」で利用できる。単にボタンを押すだけで、必要なものをリストアップしてアップデートしてくれる便利な機能だ。また、その場でアップデートするだけでなく、確認する時間を決めて定期的にアップデートすることもできるが、サードパーティ製のソフトには対応していない。





ソフトウェア・アップデートのコントロールパネル。「今すぐアップデート」ボタンを押すと、インターネット経由で最新版のシステムソフトを探しに行き、バージョンアップされたものがあればダウンロードして組み込んでくれる

ファイル処理関連の機能アップ

巨大なムービーファイルも作成可能に

Mac OS 9では、同時に開くことができるファイル数が348から8,169個へと飛躍的に増えた。アプリケーションによっては、実際に開いている書類の数以上に、さまざまなファイルをバックグラウンドで開いて処理しているものもある。そのため、作業中に数多くの書類を開いて作業していると、従来のシステムでは348個の上限に当たってしまい、開いているファイルが多すぎるというエラーがでて、それ以降の編集作業ができなくなることもあった。しかしMac OS 9でファイルを8,169個まで開くことができるようになったので、そのようなエラーに悩まされることもなくなるだろう。

このほかに、動画を扱っている人にとって朗報なのが、ファイルの管理形式が変更されたことにより、1つのファイルの最大容量が、2GBから最大2TB（テラバイト：1,000GB）に大幅にアップされたことであろう。これで長時間の動画も、ひとつのファイルとして作成することができるようになった。

こうした大きな機能向上のために、ハードディスクのボリュームの情報管理方法にも変更が加えられた。普通のアプリケーションでは問題にならないが、ボリューム情報を直接チェックしているようなアプリケーションではエラーが出るようになった。そのようなアプリケーションはプログラムの一部を書き直して、Mac OS 9に対応しなければならない。たとえば、ファイル解凍ユーティリティのStuffIt ExpanderのVer.5.1.3まではこのエラーが出てしまう。Mac OS 9には問題を修復したVer.5.1.4が組み込まれているので、これを利用してほしい。

アップルオリジナルアプリケーションが移動

アップルメニューのソフトが別フォルダーに移動

Mac OS 9にアップグレードすると、アップルメニューが短くなっているのに気づいたはずだ。Apple DVD Player、Apple ビデオプレーヤ、AppleCD オーディオプレーヤ、Simple Sound、グラフ計算機は、いずれもハードディスクに作成される「アプリケーション」フォルダーにインストールされるようになったためだ。どうしてもアップルメニューから直接起動したいのであれば、手作業になるが、エイリアスをアップルメニューに登録すればいい。また、「ノートパッド」は「Appleエクストラ」フォルダーに移動している。ちなみに「ジグソーパズル」はMac OS 9には付属していない。

アップルメニューを見直して、よく利用するものだけに絞り込み、作業がより見通しよくできるようにしたのだろう。たとえばオーディオCDはコントロールバーで作業できるし、ビデオはすべてのユーザーが使うものではないという判断だったのではないだろうか。



いままでアップルメニューにあったアプリケーションは、「アプリケーション」というフォルダーにまとまって収められた

Language Kit

CD-ROMに多言語システムが付属

Mac OS 9には、日本語システム以外の言語機能を組み込むLanguage Kitが標準で付属している。Language KitはMac OS 9 CD-ROMの「Mac OS 9:Mac OS 特別付録:Language Kits CD Extras:」の中に、各言語ごとに用意されている。

用意されている言語は、アラビア語、中国語、韓国語などである。もちろん、各言語に対応したインプットメソッドも用意されている。なお英語版のMac OS 9には、Japanese Language Kitが含まれているので、「英語システムでMacを使いながら、たまに日本語の入力も」ということが可能になった。

サウンド機能が強化

サウンドコンパネが変更になった

「モニタ＆サウンド」コントロールパネルは、Mac OS 9では「モニタ」と「サウンド」コントロールパネルに分割された。「モニタ」の機能は従来と変わらないが、「サウンド」コントロールパネルはデザインが大きく変わっている。ほかにもステレオサウンドの警告音がいくつか用意されているなど警告音が増えているほか、警告音の録音もここでできる。また、左右のスピーカーに順々にホワイトノイズを出力して、サウンドチェックを行なう機能まである。

これまでは、たとえばオーディオCDを聞くために、サウンドのコントロールパネルで出力先や入力ソースを変更しないといけない場合が多く、「CDが聞けない」というトラブルに陥りがちだった。この新しいコントロールパネルによって、そのようなトラブルも解消される。



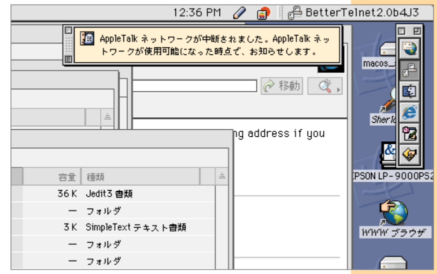
「内蔵CD」からは入力源がCDに固定され、「出力装置を通して鳴らす」はオフにできない。つまり、オーディオCDはドライブに入れれば必ず再生される。左右のスピーカーに順々にホワイトノイズを出してテストを行なう機能も用意された

わかりやすいアラートメッセージ

アラート表示がじゃまにならなくなった

バックグラウンドアプリケーションからのメッセージは、従来のシステムでは画面の真ん中に、いきなりダイアログボックスが表示されていた。そのため、使っているアプリケーションでの作業のじゃまになることが多かった。

Mac OS 9では、右図のように、メッセージは黄色い小さなパレットで表示されるようになった。このメッセージはフローティングウィンドウで、すぐOKボタンを押さなければいけないといった制約もないので、操作を中断させることもなくなった。



バックグラウンドで動作しているアプリケーションなど、アクティブでないタスクからのアラートメッセージは、黄色いパレット形式のウィンドウで表示されるようになった

FontSync

不便だったフォントのマッチングも簡単にできる

FontSyncは、使用システム間でインストールされているフォントのバージョンや書体の違いがあるような場合、適合性を調べるために利用するものだ。いままで自分のMacで作った書類に使われているフォントと出力センター側のフォントがマッチしていないと、うまく出力することができなかった。しかしFontSyncを利用することにより、フォント内のさまざまな情報を調べて適切なフォント情報をレポートして最適なフォントに置き換えて出力できるようになる。

ただし、この機能もアプリケーションがFontSyncに対応していないと利用できない。

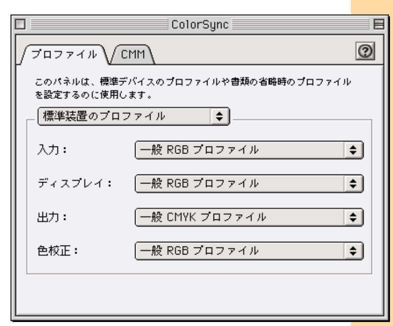


FontSyncのコントロールパネルで、比較するフォントの特性について、細かく設定することができる

ColorSync

効率でバランスのいい、カラーマッチングを実現

ColorSyncもMac OS 9になって、バージョンが3.0へアップした。主に強化された点としては、プロファイルの選択が簡単になったこと、AppleScriptへの対応とワークフロープロセスの改良があげられる。このほかにもカラーマッチングの設定を行なうワークフロー設定の保存／書き出しやモニタ調整アシスタント「上級者モード」の追加、周辺機器やドキュメントファイルのプロファイルを指定できるようになった。またProfile First Aidという、プロファイルが破損したときに修復するためのツールも用意されている。



ColorSyncのコントロールパネルは、見た目には変化がないものの、内部の機能は大幅にアップしている

システムファイルを把握する

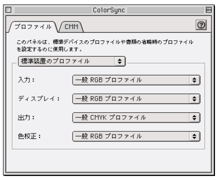
ここでは、Mac OS 9に用意されているコントロールパネル書類と、機能拡張書類がどのような機能を持っているのかを紹介する。Mac OS 9で新しく用意されたファイルは「New!」マークが付けられたものだ。あわせて、各ファイルのバージョンはいくつなのかを明記している。また、システムを起動する際に必要なファイルもわかるようにしている。

コントロールパネルの役割を知る

基本機能

ColorSync
J1-3.0

アプリケーションや入出力機器で正確な色を再現させるカラーマネージメントシステム



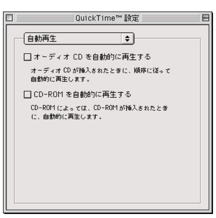
File Exchange
J1-3.0.3

作成元アプリケーションが見つからないとき、ファイルを開くアプリケーションの設定を行なう



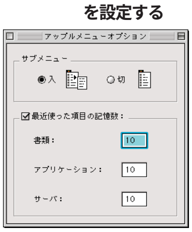
QuickTime設定
J2-4.0

QuickTime関連の設定を行なう。QuickTime以外のファイルの再生などを設定する



アップルメニューオプション
J1-1.1.6

アップルメニューのサブメニューのオンオフなどのオプションを設定する



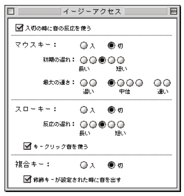
アピアランス
J1-1.1.4

メニューやスクロールボックスの色、デスクトップパターン、Finderやウィンドウ縮小の設定もここで行なう



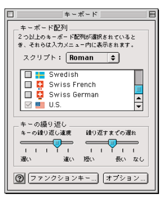
イージーアクセス
J1-7.2.1

ハンディキャップを持った人が操作しやすいように、キーボード操作の設定を調節する



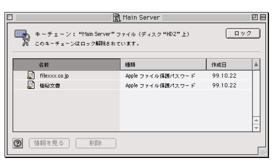
キーボード★
J1-8.3.2

キーボードを押し続けたときに連続入力される速さや、連続入力が始まるまでの時間を設定



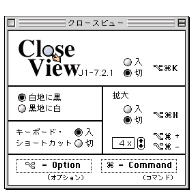
キーチェーンアクセス
J1-2.0 NEW

AppleShareサーバー、暗号化したファイル、アプリケーションなどのパスワードをひとまとめに管理する



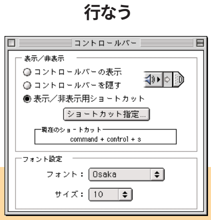
クロースビュー
J1-7.2.1

マウスポインターが指す場所を拡大表示したり、画面を白黒反転表示にしたりすることができ、視力の弱いユーザーなどに有効



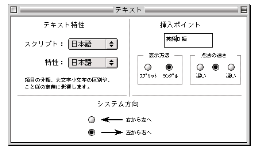
コントロールバー
J1-2.0

コントロールバーの表示/非表示や、そのためのショートカットキー、表示用フォントの設定を行なう



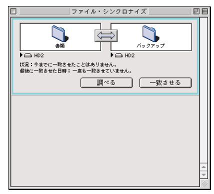
テキスト★
J1-8.0

特定の言語を入力するためのスクリプトシステムと、そのテキスト特性を選択する



ファイル・シンクロナイズ
J1-1.1

異なる場所にある2つのファイルやフォルダの内容を一致させ致させる設定



マウス
J1-8.0

マウスポインターの速さとダブルクリックの速さを設定する



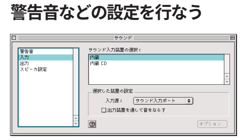
メモリ★
J1-8.1.1

ディスクキャッシュの容量、仮想メモリーのオン/オフと容量、RAMディスクのオン/オフと容量を設定できる



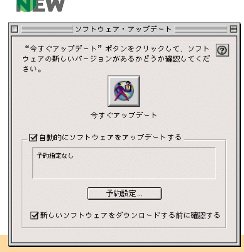
サウンド★
J1-8.1.2 NEW

サウンドの音量や入出力装置、警告音などの設定を行なう



ソフトウェア・アップデート
J1-1.0 NEW

最新のソフトウェアをインターネットから自動的にダウンロードして使用できるようにする



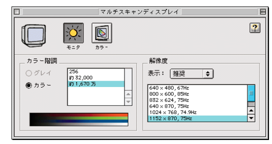
マルチユーザ
J1-1.1 NEW

Macintoshを複数の利用者で使用するための設定を行なう。ログインのためのパスワードを設定したり、特定の書類やソフトウェアの使用を制限したりすることができる



モニタ★
J1-8.5.1 NEW

モニターの解像度や表示色数、ColorSyncプロファイルなどの設定を行なう。モニタ調整アシスタントを使って、モニターの色補正を行なうこともできる



ランチャー
J1-3.1.3

ランチャーウィンドウを開く。ランチャーウィンドウのボタンを使って、目的のプログラムやファイルをすばやく起動することができる



一般設定★
J1-7.7.2

デスクトップの表示/非表示、フォルダの保護など、Finderに関する設定を行なう



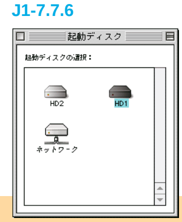
機能拡張マネージャ
J1-4.0.4

コントロールパネルや機能拡張の使用/停止を一括して設定し、管理する

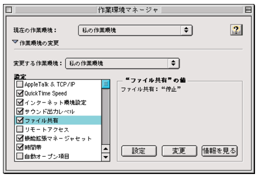


起動ディスク★
J1-7.7.6

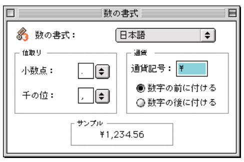
どのボリュームを起動ディスクにするかを指定する



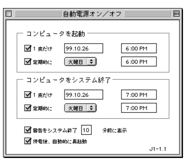
作業環境マネージャ
J2-2.0
ユーザーや、利用場所によって異なるシステム環境の設定を登録する



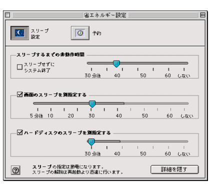
数の書式
J1-7.1
数の表示方法を設定したり、通過の記号を指定する。19カ国分の書式が用意されている



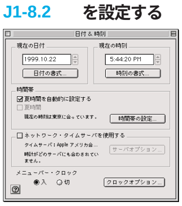
自動電源オン／オフ
J1-1.1
Macを自動的に起動または終了する日時の設定を行なう



省エネルギー設定
J1-2.5.2
Macを一定時間使用しないときに画面を消したりやハードディスクを停止する設定

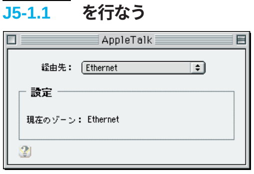


日付＆時刻
J1-8.2
日付と時刻の書式、夏時間、メニューバーでの表示、時報などを設定する



ネットワーク関連
▶Open Transport関連

AppleTalk
J5-1.1
ネットワーク方式の選択、使用するポートやゾーンの設定などを行なう



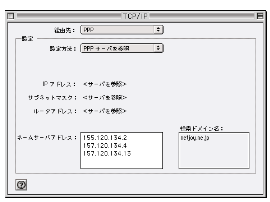
DialAssist
J1-3.5
ARA（Apple Remote Access）ーでホストサーバーに接続するための電話番号などを設定する



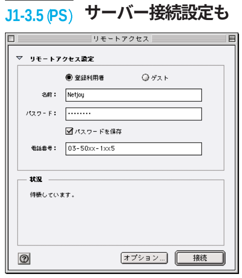
ファイル共有
J1-9.0
ファイル共有機能の開始/停止、Macや利用者の名前とパスワードを設定する。今回のバージョンで「利用者＆グループ」の設定項目が統合された



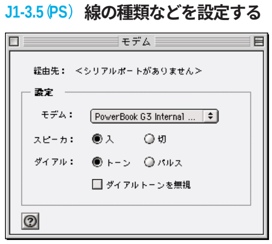
TCP/IP
J1-2.5
TCP/IPを使ったネットワーク接続設定を行なう。IPや接続先のサーバーアドレスなどを設定



リモートアクセス
J1-3.5 (PS)
電話回線を使ったネットワーク接続のための設定を行なう。ARAサーバー接続設定も

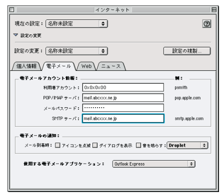


モデム
J1-3.5 (PS)
ダイヤルアップで使用するモデムを接続するポート、機種、回線の種類などを設定する

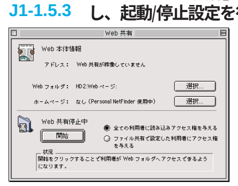


ネットワーク関連
▶インターネット関連

インターネット
J1-1.0.1
電子メールアカウントなど、インターネット関連のアプリケーションで必要な設定を行なう

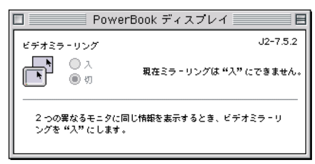


Web共有
J1-1.5.3
Macを簡易Webサーバーにする「Mac OS Web 共有」機能を実現し、起動/停止設定を行なう

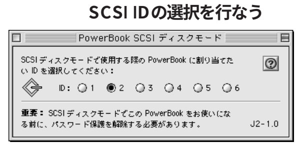


PowerBook関連

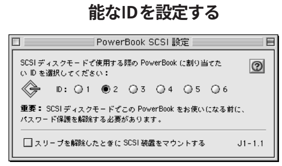
PowerBookディスプレイ
J2-7.5.2
PowerBookに接続した外部モニターに表示させる設定を行なう



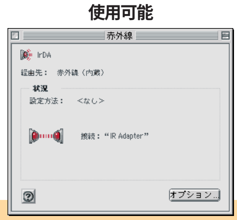
PowerBook SCSIディスクモード
J2-1.0
PowerBookがSCSIモードで使用されているときに割り当てるSCSI IDの選択を行なう



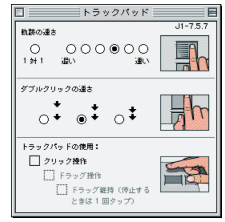
PowerBook SCSI設定
J1-1.1
PowerBookをSCSIディスクとして使用するときに割り当て可能なIDを設定する



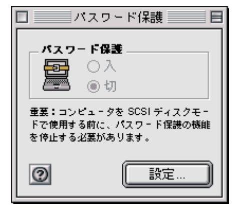
赤外線
J1-1.2
IrDA方式の赤外線通信に使用する方式を選択する。IrDAポートを装備したPowerBookでのみ使用可能



トラックパッド
J1-7.5.7
PowerBookのトラックパッドでのポインターの移動距離やダブルクリックの速さを設定する

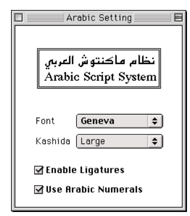


パスワード保護
J1-2.0.1
PowerBookでハードディスクにアクセスするためのパスワードを設定することができる



マルチリンガル環境

Arabic Setting
Z1-7.5.3
アラビア語のフォントを使うための設定を行なう

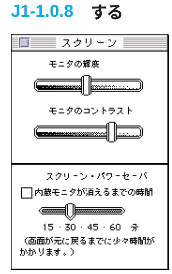


Hebrew Setting
Z1-7.5.3
ヘブライ語のフォントを使うための設定を行なう



特定の機種向け

スクリーン
J1-1.0.8
モニター一体型のMacで、モニターの輝度とコントラストを制御する



●マークによる分類
NEW 新しく加わった機能
★ システムの起動に不可欠なファイル
※青色の文字はバージョンを表わしています

機能拡張の役割を知る

基本機能

EM機能拡張★
読み込む機能拡張書類やコントロールパネルを設定する機能拡張マネージャを利用する場合に必要
J1-4.0.5 システム機能拡張

インライン追加機能★
アプリケーションやダイアログでのインライン入力を可能にする
J1-1.5.2 システム機能拡張

Color Picker
色選択のための標準インターフェイスで、カラーピッカーダイアログボックスを提供する
J1-2.1.1 システム機能拡張

SLPPlugin
SLP検索方式を使用するネットワークオブジェクトのリストを取り込むために必要
J1-1.1 ライブラリ

SOMobjects for Mac OS★
コンテキストメニューの機能拡張やInternet Address Detectorsが利用
J1-2.0.8（Rev.B） ライブラリ

Text Encoding Converter★
Mac OS標準以外の文字コードなどをエンコード（変換）するために必要
J1-1.5 ライブラリ

アプリケーション切替
アプリケーションメニューを切り離してツールバーにする機能を付加
J1-1.0 システム機能拡張

コンテクストメニュー機能拡張
コンテクストメニューを表示させるために必要
J1-1.0.2 システム機能拡張

コントロールバー機能拡張
コントロールバーを使用するために必要
J1-2.0.1 システム機能拡張

サウンドマネージャ★
サウンド入出力を必要とする特定のソフトウェアを使用する際に必要
J3-3.5.1 システム機能拡張

タイム・シンクロナイザ
日付＆時刻コントロールパネルでネットワーク・タイムサーバーを利用して現在時刻を設定する
J1-8.2 システム機能拡張

フォントアップデータ機能拡張★
旧フォーマットのフォントをMac OS 8.5からの新フォーマットに変換する機能を付加する
J-1.0.3 システム機能拡張

FontSync機能拡張
NEW
アプリケーションがフォントを識別できるようにする機能、FontSyncを使用可能にする
J1-1.0 システム機能拡張

Type 1 Scaler
NEW
ATSUI（Apple Type Services for Unicode Imaging）でPostScriptフォントを使用可能にする
J1-1.0 書類

WorldScript I
アラビア語やヘブライ語などの1バイト文字を表示する機能を付加する
7.5.5 システム機能拡張

ColorSync関連

ColorSync機能拡張
画像出入力装置で色表示の発色を統一するカラーマッチングシステムの一部
J1-3.0 システム機能拡張

モニタ調整アシスタント
モニタの色調整を行なうアシスタント機能をサポートする
J2-3.0 ライブラリ

Agfa CMM
ColorSyncで使用するAgfa社製機器に適したカラーマネージメントモジュール
3.0.9 システム機能拡張

Apple Color SW Pro CMM
ColorSyncでColor StyleWriterシリーズのカラー調節に使用される情報を収めた書類
J1-1.0.1 システム機能拡張

Heidelberg CMM
NEW
ColorSyncで使用される、Heidelberg社製機器に適したカラーマネージメントモジュール
3.0 システム機能拡張

Kodak CMM
ColorSyncで使用されるKodak製カラーマネージメントモジュール
4.0.4 システム機能拡張

QuickTime関連

QuickTime
デジタル映像やサウンド再生などのマルチメディア機能を付加する
J1-4.0.3 システム機能拡張

QuickTime MPEG Extension
MPEG形式のムービーファイルの再生機能をQuickTimeに付加する
J1-1.1.2 システム機能拡張

QuickTime PowerPlug
PowerPC搭載MacでQuickTimeの処理能力を向上させる
J1-4.0.3 システム機能拡張

QuickTime VR
360度のパノラマ形式ムービーとオブジェクトムービーの再生機能をQuickTimeに付加する
J1-2.2.1 システム機能拡張

QuickTime Musical Instruments
MIDI機器がなくてもMIDIサウンドを扱えるように音色データを持つ機能拡張書類
J1-4.0 システム機能拡張

QuickTime Extensions
NEW
QuickTime用の機能拡張を保存するフォルダー
— フォルダー

QuickTime Authoring
NEW
マルチメディアオーサリング機能をQuickTimeに追加する
J1-4.0.3 システム機能拡張

QuickTime Capture
NEW
ビデオ、オーディオの取り込み機能をQuickTimeに追加する
J1-4.0.3 システム機能拡張

QuickTime Effects
NEW
ビデオや写真のデジタルエフェクト機能をQuickTimeに追加する
J1-4.0.2 システム機能拡張

QuickTime Image
NEW
QuickTimeに静止画像を扱える機能を追加する
J1-4.0.3 システム機能拡張

QuickTime Internet Extras
NEW
動画、静止画などをWebで扱う機能をQuickTimeに追加する
J1-4.0.3 システム機能拡張

QuickTime Music
NEW
MIDI音源機能機能をQuickTimeに追加する
J1-4.0.2 システム機能拡張

QuickTime Player Extras
NEW
ムービーインフォメーションをQuickTime Playerに追加する
J1-4.0 QuickTime Player書類

QuickTime QD3D
NEW
QuickTimeでQuickDraw 3Dをサポートするための機能拡張ファイル
J1-4.0.3 システム機能拡張

QuickTime Streaming
NEW
ビデオやオーディオのストリーミング機能をQuickTimeに追加する
J1-1.0.3 システム機能拡張

QuickTime Streaming Authoring
NEW
ビデオやオーディオのストリーミング機能をQuickTimeに追加する
J1-1.0.2 システム機能拡張

QuickTime Streaming Extras
NEW
ビデオ、オーディオのキャプチャー機能をQuickTimeに追加する
J1-1.0.2 システム機能拡張

QuickTime Web Helper
NEW
マルチメディアコンテンツをブラウザー上で見るために必要
J1-4.0.3 書類

QuickDraw 3D関連

Apple QD3D HW Driver
Apple QuickDraw 3Dアクセラレータカードが装備されているMacで必要な機能拡張 J1-1.6 システム機能拡張

Apple QD3D HW Plug-In
Apple QuickDraw 3D アクセラレータカードが装備されているMacで必要な機能拡張書類 J1-1.6 ライブラリ

QD3DCustom Elements
QuickDraw 3Dに対応するアプリケーション上で3Dモデルに名前やURLを付ける機能を付加する J1-1.6 ライブラリ

QuickDraw 3D
QuickDraw 3Dの対応アプリケーションに3次元グラフィックスの表示、保存機能を付加する
J1-1.6 システム機能拡張

QuickDraw 3D IR
QuickDraw 3Dのインタラクティブレンダリング機能をサポートする
J1-1.6 ライブラリ

QuickDraw 3D RAVE
QuickDraw 3Dアクセラレーターのアクセラレーション機能をサポートする J1-1.6 ライブラリ

QuickDraw 3D Viewer
QuickDraw 3Dの表示機能をサポートする J1-1.6 ライブラリ

Sherlock関連

FBC索引スケジューラ
検索機能Sherlock 2で使用する索引の作成を、指定した時刻に行なうために必要
J1-3.0.1 システム機能拡張

コンテンツ検索
検索機能Sherlock 2で、内容による検索や索引の作成などを行なうため J1-3.0.1 ライブラリ

検索
検索機能Sherlockに必要な書類が収められたフォルダー — フォルダ

English Stopwords
NEW
英文の索引作成時に参照される書類
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

English Substitutions
NEW
索引作成や内容検索に使用する検索用の辞書
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

StopExts
索引作成から除外するファイルの拡張子を定義した書類
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

StopTypes
索引作成から除外するファイルタイプを定義した書類
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

Western European Abbreviations
索引作成時に参照する英語の省略語を定義した書類
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

Western European Stopwords
英文の索引作成時に参照する書類
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

コンテンツ検索索引作成
Sherlock 2で内容による検索に必要な索引を作成する
J1-3.0.1 アプリケーション

日本語トークナイザ
検索機能Sherlock 2で索引作成の際に文脈などの解析を行なうためのライブラリー J1-1.1 書類

コンテンツ検索プラグイン
NEW
コンテンツ検索に必要なプラグインを保存するフォルダー — フォルダ

HTML Text Extractor
NEW
HTMLテキストの索引作成や内容検索に使用
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

PDF Japanese Encodings
NEW
日本語のPDFファイルのエンコーディングに使用
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

PDF Korean Encodings
NEW
韓国語のPDFファイルのエンコーディングに使用
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

PDF Text Extractor
NEW
PDFファイル内のテキストの索引作成や内容検索に使用
J1-3.0.1 Sherlock 2書類

AppleScript関連

AppleScript
Mac上の作業の自動化を実現するAppleScript機能を利用するために必要な機能拡張書類
J1-1.4 システム機能拡張

AppleScriptLib
PowerPC搭載のMacでAppleScriptを使用する際に必要なライブラリー J1-1.4 ライブラリ

フォルダアクション
フォルダアクションの機能を実現するバックグランドアプリケーションを実現するために必要
J1-1.4 システム機能拡張

Appleガイド関連

Appleガイド
Macのオンラインヘルプシステムである Appleガイドを使用する際に必要 J1-2.5 システム機能拡張

Appleガイドについて
Appleガイドに関する内容が書かれた書類 J1-2.0 書類

Macintoshガイド
Macintoshガイドの内容が書かれた書類 J1-3.0.1 書類

Global Guide Files
Appleガイドに必要な書類が収められているフォルダー
— フォルダ

ことえりガイド
ことえりに関する解説が書かれたAppleガイドの書類
J-1.0.1 書類

ファイル･シンクロナイズガイド
ファイル・シンクロナイズコントロールパネルの解説が書かれたAppleガイド書類 J1-1.1 書類

作業環境マネージャ関連

作業環境マネージャ機能拡張 ★
作業環境マネージャコントロールパネルの使用に必要 J1-2.0 書類

作業環境マネージャヘルプ
Appleガイドが使用する書類
J1-2.0 書類

作業環境マネージャモジュール
作業環境マネージャに必要な書類が収められたフォルダー — フォルダ

AppleTalk＆TCP/IP環境
作業環境マネージャでネットワークに関する設定に必要 J2-1.1 書類

QuickTime Speed
NEW
ネットワークへの接続速度と保存を行なう、作業環境マネージャモジュール
J1-4.0 書類

インターネット環境
作業環境マネージャでインターネットに関する設定を行なうために必要 J1-1.0.1 書類

サウンド環境
作業環境マネージャでサウンド出力に関する設定を行なうために必要
J1-1.1 書類

ファイル共有環境
作業環境マネージャでファイル共有に関する設定を行なうために必要
J1-1.1.1 書類

リモートアクセス環境
作業環境マネージャでリモートアクセスに関する設定を行なうために必要 J1-3.1 書類

機能拡張マネージャ環境
作業環境マネージャで機能拡張に関する設定を行なうために必要
J1-1.1 書類

自動オープン項目
作業環境マネージャで環境変更後に開くファイルやアプリケーションの指定に必要 J1-2.0 書類

省略時プリンタ環境
作業環境マネージャでプリンタードライバーの選択に必要 J1-1.1 書類

日付＆時刻環境
作業環境マネージャで日付と時刻に関する設定に必要 J1-1.1 書類

日本語入力／ことえり関連

Apple日本語辞書 ★
日本語入力プログラム、ことえりの辞書ファイルを保存
— フォルダ

トークナイザ辞書
Sherlock 2の索引作成に必要な辞書ファイル J-1.2 書類

基本辞書 ★
ことえりの基本的な単語が記録されている辞書ファイル J-1.2 書類

基本辞書-逆引
ことえりの機能“変換のやり直し”に必要な辞書ファイル J-1.2 書類

単漢字辞書 ★
ことえりの単漢字変換に必要な単語が記録されている辞書ファイル
J-1.2 書類

単漢字辞書-逆引
“変換のやり直し”に必要な単漢字辞書ファイル J-1.2 書類

キーボードライブラリ ★
JISキーボードを利用する際に必要で、JISキーボード特有の機能を使用可能にする J-1.1.2 ライブラリ

ことえり ★
アップル純正の日本語インプットメソッド
J1-2.3.3 システム機能拡張

ことえり辞書ツール
ことえりの辞書ファイル編集用アプリケーション
J-2.3 アプリケーション

ことえり単語登録
ことえりの辞書ファイルの単語の登録と削除を行なう編集用アプリケーション J-2.3 アプリケーション

言語解析ライブラリ ★
ことえりやSherlock 2で行なわれる言語解析処理のための特別なファイル J-1.2 ライブラリ

日本語解析プラグイン ★
ことえりやSherlock 2で行なわれる言語解析処理のためのエンジン部分 J-1.2 ライブラリ

ネットワーク

LocalTalkPCI
PowerMac G3でLocalTalkネットワークを利用可能にする
J1-1.2 システム機能拡張

AppleShare ★
ネットワーク上のコンピューターとファイル共有を行なう場合に必要なセレクター書類
J1-3.8.5 セレクタ機能拡張

DNSPlugin ★
TCP/IPによるネットワーク接続で、DNSからネットワークオブジェクトのリストを取り込むために必要
J1-1.1 ライブラリ

File Sharing Library ★
ネットワーク上のコンピューターとファイル共有を行なう場合に必要なライブラリー J1-9.0 ライブラリ

Shared Library Manager
共有ライブラリーを利用可能にする。Open Transportを利用する場合に必要 J1-2.0.2 システム機能拡張

Shared Library Manager PPC
共有ライブラリーを利用可能にする。PowerPC搭載機でOpen Transportを利用する場合に必要
J1-2.0.2 システム機能拡張

ネットワーク設定機能拡張 ★
Open Transportの設定をAppleScriptを使用して自動化するために必要 J1-1.1.1 ライブラリ

ファイル共有機能拡張
ファイル共有利用時に、使用中のMacをネットワーク上のサーバーにする J1-7.6.5 システム機能拡張

Web共有機能拡張
Macを簡易Webサーバーにする機能、Mac OS Web共有を利用する場合に必要 J1-1.5.3 システム機能拡張

ネットワーク ▶ドライバ関連

Apple Built-In Ethernet
Open TransportがインストールされたMacで、内蔵Ethernetポートを利用するために必要 J1-1.0.5 システム機能拡張

Apple Enet
Open TransportがインストールされたMacでEthernetを利用するために必要 J1-2.3 システム機能拡張

Apple Ethernet CS
コミュニケーションスロット用のEthernetカードを装着する場合に必要
J1-1.0.3 システム機能拡張

Apple Ethernet CS II
コミュニケーションスロット用のEthernetカードを装着する場合に必要
J1-1.1 システム機能拡張

Apple Ethernet LC
LC III PDSスロット用のEthernetカードを装着する場合に必要
J-1.0.3 システム機能拡張

Apple Ethernet NB
NuBus用のEthernetカードを装着する場合に必要
J-1.0.3 システム機能拡張

EtherTalk Phase 2
Open TransportがインストールされたMacで、Ethernetのネットワークに参加するために必要
J1-2.5.7 システム機能拡張

ネットワーク ▶Open Tranceport

Open Transport
NEW
Open Transportを使用可能にする。ネットワークに接続している場合に必要
J1-2.5.2 書類

OpenTptSNMPLib
Open Transportによるネットワーク環境で、SNMPというネットワーク管理のためのプロトコルを使用する場合に必要
1.0.1 ライブラリ

●マークによる分類
NEW 新しく加わった機能
★ システムの起動に不可欠なファイル
※青色の文字はバージョンを表わしています

Open Transport ASLM Modules
NEW
PowerPC搭載機種でOpen Transportを使用する場合に必要
J1-2.5.2 ライブラリ

Serial (Built-in)
Open Transportで、内蔵のシリアルポートを使用する場合に必要
J1-1.3.3 ライブラリ

Open Transport SNMP
Open Transportネットワーク環境で、SNMPというネットワーク管理のためのプロトコルを使用する場合に必要 1.0.1 システム機能拡張

ネットワーク ▶リモートアクセス

OpenTpt Modem
Open Transportでモデムを使用する場合に必要
J1-3.5 (PS) ライブラリ

OpenTpt Remote Access
Open Transportでリモートアクセスを利用する場合に必要
J1-3.5 (PS) ライブラリ

OpenTpt Serial Arbitrator
Apple Remote Accessを使う際にでシリアルポート調停機能が必要なMacで利用 J1-3.5 ライブラリ

リモートのみ
Apple Remote Accessがインストールされている場合にApple Talkコントロールパネルが使用する
J1-3.5 システム機能拡張

Modem Scripts
モデムコントロールパネルでモデムを選択する場合に使用するモデムスクリプトを保存 — フォルダ

ネットワーク関連 ▶コミュニケーションツール

Apple Modem Tool
コミュニケーションツールボックスの一部で、標準的なモデムや通信機器を利用する際に必要
J1-1.5.7 コミュニケーションツール

Serial Tool
コミュニケーションツールボックスの一部で、モデムなどをシリアルポートに接続する際に必要
J2-1.0.2 コミュニケーションツール

インターネット

インターネットアクセス
インターネットに関連するアプリケーションを利用するために必要
J1-1.3.3 ライブラリ

インターネット設定機能拡張
インターネットコントロールパネルで、利用するアプリケーションの設定を一括で行なうために必要
J1-2.0.5 システム機能拡張

URL Access
NEW
インターネットを経由してさまざまなデータを得る場合に使用するソフトウェアライブラリー
J1-2.0 書類

Macromedia RuntimeLib
NEW
インターネットアクセスのMacromediaRuntime用ライブラリー
7.0r203 ライブラリ

Macromedia
NEW
ShockwaveなどのMacromedia社製ソフトウェアに必要なライブラリーが収められたフォルダ
— フォルダ

インターネットソフト ▶Internet Explorer

ActiveX Controls
Internet ExplorerのActiveXに必要なライブラリーが収められるフォルダー — フォルダ

IE 3.01 Control (PPC) v1.2
Internet ExplorerのActiveXに必要なライブラリー 1.2 ライブラリ

Microsoft Component Library
Internet ExplorerやOutlook ExpressなどMicrosoft社製アプリケーションのOLE機能にに必要なライブラリー 2.22 ライブラリ

MS Font Embed Library (PPC)
Internet ExplorerやOutlookExpressの実行に必要なライブラリー
2.1.3 ライブラリ

MS Library Folder
Internet Explorerに必要なライブラリーが収められたフォルダー
— フォルダ

インターネットソフト ▶インテルIndeo Video

Indeo Video
Internet Explorerの動画再生に必要な機能拡張書類
V3.22.24.09 システム機能拡張

Intel Raw Video
Intel Raw Videoフォーマットの動画再生に必要な機能拡張書類
V1.10.20.02 システム機能拡張

ディスプレイドライバー ▶Apple

内蔵GCアクセラレーション
Power Mac 7300/7500/7600/8500/8600で画像表示を高速化する
J1-1.0 システム機能拡張

7200GCアクセラレーション
Power Mac 7200シリーズの画像表示を高速化する機能拡張書類
J1-1.0.1 システム機能拡張

9600GCアクセラレーション
Power Mac 9600シリーズの画像表示を高速化する機能拡張書類
J1-4.06 システム機能拡張

PowerPC モニタ機能拡張
PowerPC搭載のMacでモニタコントロールパネルのガンマ補正などのオプションを利用可能にする
J1-7.5 システム機能拡張

Apple Monitor Plugins
ColorSync、Apple Studio Displayなどのモニタ設定を付加する
J1-1.8.1 システム機能拡張

ディスプレイドライバー ▶ATI Technologies

ATI 3D Accelerator
ATI社製3Dグラフィックアクセラレーターを装備したMacで3Dグラフィックス表示を高速化する
J1-4.8.4 ライブラリ

ATI Driver Update
ATI社製ビデオカードのディスプレイドライバーを更新する
1.4.8 システム機能拡張

ATI Graphics Accelerator
ATI社製ビデオカードを装備したMacの画像表示を高速化する
J1-4.7 システム機能拡張

ATI MPP Manager
NEW
ATI社製ビデオカードのドライバーが使用するライブラリー
J1-1.2f1 ライブラリ

ATI Rage 128 3D Accelerator
NEW
QuickDraw3DをATI社製3Dハードウェアアクセラレーターへリンクさせる J1-5.6.6 ライブラリ

ATI Resource Manager
NEW
ATI社製ビデオカードのビデオメモリーを管理する
J1-2.0.7 ライブラリ

ATI Video Accelerator
ATI社製ビデオカードを装備したMacの画像表示を高速化する機能拡張書類
J1-4.3.2 システム機能拡張

ATI Video Accelerator Update
NEW
ATI社製ビデオカードを装備したMacの画像表示を高速化する機能拡張書類を更新する
J1-1.0.2 システム機能拡張

ディスプレイドライバー ▶IXMICRO

Apple IX3D Graphics Accelerator
IXMicro社製ix3DグラフィックスPCIカードを装着したMacで必要な機能拡張書類
J1-1.0.4 システム機能拡張

Apple IX3D RAVE Engine
IXMicro社製ix3DグラフィックスPCIカードを装着したMacで必要な機能拡張書類 J1-1.04 ライブラリ

Apple IX3D Video Memory Manager
IXMicro社製ix3DグラフィックスPCIカードを装着したMacで必要な機能拡張書類 J1-1.04 ライブラリ

画面描画／印刷関連

PrintingLib
PowerPCを搭載したMacでセレクタ機能拡張のLaserWriter 8をサポートする J1-8.7 ライブラリ

デスクトップ・プリントモニタ
デスクトッププリンターの使用中にプリント状況を表示する
J1-2.2.1 アプリケーション

デスクトップ・プリンタ・スプーラ
デスクトッププリンター機能を使用可能にする
J1-2.2.1 システム機能拡張

デスクトップ・プリンタ・メニュー
デスクトッププリンターのリスト表示をメニューバーに追加する
J1-2.2.1 システム機能拡張

プリンタ共有
ネットワーク上の他のコンピューターにプリンターを共有させる。ネットワーク未対応のプリンターも共有できるようになる
J1-1.1.3 システム機能拡張

プリントモニタ
バックグラウンド印刷を行なうためのアプリケーション
J1-7.1.2 アプリケーション

プリンタ記述ファイル
セレクタ機能拡張LaserWriter 8使用時に必要な機種固有の命令を記述したファイルを保存
— フォルダ

LaserWriter 16/600 PS-J
PostScript対応プリンターLaserWriter 16/600 PS-Jを使う場合に必要な書類 J1-4.1.1 書類

LaserWriter Color 12／600 PS-J
PostScript対応プリンターLaserWriter Color 12/600 PS-Jを使う場合に必要な書類 J1-4.1.3 書類

LaserWriter II NTX-J v50.5
PostScript対応プリンターLaserWriter II NTX-Jを使う場合に必要な書類 J1-4.0.2 書類

LaserWriter Pro 400 v2011.110
PostScript対応プリンターLaserWriter Pro 400を使う場合に必要な書類 J1-1.1.3 書類

LaserWriter Pro 405 v2011.110
PostScript対応プリンターLaserWriter Pro 405を使う場合に必要な書類 J1-1.0.3 書類

LaserWriter Select 610
PostScript対応プリンターLaserWriter Select 610を使う場合に必要な書類 J1-4.1.1 書類

プリンタ関連
▶Apple製プリンタードライバー類

Color SW 1500
Apple Color StyleWriter 1500を使って印刷を行なう場合に必要なプリンタードライバー
J1-2.2.1 セレクタ機能拡張

Color SW 2500
Apple Color StyleWriter 2200／2400／2500を使って印刷を行なう場合に必要なプリンタードライバー J1-2.3 セレクタ機能拡張

Color SW Pro
Apple Color StyleWriter Proを使って印刷を行なう場合に必要なプリンタードライバー
J1-1.5.2 セレクタ機能拡張

ImageWriter
ImageWriter／ImageWriter IIを使って印刷を行なう場合に必要なプリンタードライバー
J1-7.0.1 セレクタ機能拡張

LaserWriter 300
Personal LaserWriter 300を使って印刷を行なう場合に必要なプリンタードライバー
J2-1.2 セレクタ機能拡張

LaserWriter 8
PostScriptプリンター用のプリンタードライバー機能拡張書類
J1-8.7 セレクタ機能拡張

CD-ROM／DVD-ROM関連

Audio CD Access
音楽用CD（CD-DA）をCD-ROMドライブで読み込むために必要
J1-5.2 システム機能拡張

Apple CD/DVD Driver★
アップル社製CD-ROMドライブ、DVDドライブを利用するために必要な機能拡張書類 J1-1.3 システム機能拡張

Apple Photo Access
フォトCDをCD-ROMドライブで読み込むために必要
J1-5.3 システム機能拡張

High Sierra File Access
High SierraフォーマットのCD-ROMを読み込むために必要
J1-5.3 システム機能拡張

ISO 9660 File Access
ISO 9660フォーマットのCD-ROMを読み込むために必要
J1-5.3 システム機能拡張

Foreign File Access
Mac標準のフォーマット以外で書き込まれたCD-ROMやDVDを読み出し可能にする機能拡張書類
J1-5.3 システム機能拡張

UDF Volume Access
Universal Disk Formatで記録されたCD-ROMやDVDの読み込みを可能にする J1-1.5.3 システム機能拡張

DVD Decoder Library
NEW
Apple DVD PlayerがDVDムービーを再生するために使用
J1-1.3 ライブラリ

DVD Region Manager
NEW
再生するDVDビデオディスクの再生可能地域コードを管理する
J1-1.0 システム機能拡張

PowerBook関連

Demo click&drag
PowerBookのトラックパッドの使い方を解説するムービー
J1-2.1 QuickTime Player書類

Demo drag/lock
PowerBookのトラックパッドの使い方を解説するムービー
J1-2.1 QuickTime Player書類

Demo single.click
PowerBookのトラックパッドの使い方を解説するムービー
J1-2.1 QuickTime Player書類

PCカード・モデム機能拡張
PCカードのモデムをPowerBookに接続して利用する場合に必要
J1-2.0.7 システム機能拡張

PowerBook 3400/G3 Modem
PowerBook 3400/G3でEthernetとモデムの機能を持った機能拡張カードを使用可能にする
J1-1.0.1 システム機能拡張

PowerBook G3 Series Modem
PowerBook G3シリーズで内蔵モデム拡張スロットをサポートする機能拡張書類
J1-1.0.2 システム機能拡張

PowerBook モニタ機能拡張
PowerBookシリーズで外部モニター表示や、ガンマ補正のオプションを利用可能にする
J1-7.5 システム機能拡張

PowerBook 内蔵モデム
NEW
PowerBookで内蔵モデムを使用するために必要
J1-1.1 システム機能拡張

IrDA Tool
コミュニケーションツールボックスの一部で、赤外線ポートでIrDAを利用する際に必要
J1-2.0.1 コミュニケーションツール

IrDALib
Open Transportがインストールされた PB2400／3400で内蔵赤外線ポートでIrDAプロトコルをサポートする J1-2.0.1 ライブラリ

IrLanScannerPPC
Open Transportがインストールされた PowerPC搭載のPowerBookでIrDA規格をサポートする
J1-2.0.1 ライブラリ

iMac関連

iMac ATI Driver
iMacでATI社製ビデオカードを使用する場合に必要
J1-1.0 システム機能拡張

iMac モデム機能拡張
iMacの内蔵モデムを使用する際に必要 J1-1.0 システム機能拡張

特定機種／機能向け

Iomega Driver
Iomega社製のリムーバブルディスクドライブZipやJazを読み込むために必要
J1-6.0.4 システム機能拡張

FM Radio Extension
Apple FMラジオを使用するために必要な機能拡張書類
J1-1.2 システム機能拡張

Video Startup
ビデオ映像をMacに表示するアプリケーション、Appleビデオプレーヤを利用するために必要
J1-1.7.3 システム機能拡張

Multiprocessing
マルチプロセッシング対応のCPUカードを利用するために必要な書類が収められたフォルダー ― フォルダ

Apple CPU Plugins
NEW
マルチプロセッシング対応のCPUカードを利用するために必要
J1-2.2 ファイル

PowerMac G3 Modem
NEW
PowerPC G3搭載のMacで内蔵モデムを使用するために必要
J1-1.0 システム機能拡張

内蔵V.90モデム
NEW
使用しているMacで内蔵モデムを使用するために必要
J1-1.0 システム機能拡張

CarbonLib★
NEW
Carbonベースのアプリケーションを実行可能にする機能拡張
J1-1.0 システム機能拡張

HTML RenderingLib
NEW
特定のアプリケーションでHTMLファイルを表示可能にする
J1-1.0.1 ライブラリ

System Monitor Plugins
NEW
Apple純正の特定のモニターを使用している場合に輝度調整などの機能をモニタコントロールパネルに追加する
J1-8.5.1 システム機能拡張

セキュリティ／マルチユーザー関連

音声認証
NEW
音声認証でコンピューターにログインする際に必要となる書類
J1-1.0.1 書類

Multi-User Startup
NEW
マルチユーザー機能に必要な機能拡張書類
J1-1.1 システム機能拡張

Security Library
NEW
ファイル署名、キーチェーンへのアクセス、電子証明書の解釈に使用される
J1-2.0.1 ライブラリ

Security Manager
NEW
キーチェーンやApple署名検証など、セキュリティ機能を使用するために必要
J1-2.0 ライブラリ

Security Policy Module
NEW
電子証明書で使用する情報や仕様（ポリシー）の取り扱いに必要
J1-2.0 ライブラリ

Security Strage Module
NEW
電子署名、ファイルの暗号化/復号、キーチェーンに必要
J1-2.0 ライブラリ

Security Cert Module
NEW
電子証明書の解釈に使用するSecurity Managerのモジュール
J1-2.0 ライブラリ

FireWire関連

QuickTime Fire-Wire DV Enabler
NEW
FireWire接続のDV機器デバイスを認識させるために必要
J1-2.1 システム機能拡張

QuickTime FireWire DV Support
NEW
FireWire接続のDV機器をアプリケーションから使用可能にする
J1-2.1 システム機能拡張

FireWire Enabler
NEW
FireWireポートに接続したFireWire対応デバイスを認識させるために必要
J1-2.2.2 システム機能拡張

FireWire Support
NEW
FireWireポートに接続したFireWire対応デバイスを使用するために必要
J1-2.2.2 書類

●マークによる分類
NEW 新しく加わった機能
★ システムの起動に不可欠なファイル
※青色の文字はバージョンを表わしています

OpenGL関連

OpenGLEngine
NEW
OpenGL対応アプリケーションで3Dグラフィックの作成や表示を可能にするために必要
J1-1.1.1 ライブラリ

OpenGLLibrary
NEW
OpenGL対応アプリケーションで3Dグラフィック用のライブラリーファイル
J1-1.1.1 ライブラリ

OpenGLMemory
NEW
OpenGL対応アプリケーションで3Dグラフィックのメモリー管理を行なうために必要
J1-1.1.1 ライブラリ

OpenGLRenderer
NEW
OpenGL対応アプリケーションでレンダリング機能を可能にするために必要
J1-1.1.1 ライブラリ

OpenGLRenderer ATI
NEW
ATI社のビデオカードでOpenGL対応アプリケーションでのレンダリングするために必要 J1-1.1.1 ライブラリ

OpenGLUtility
NEW
OpenGL対応アプリケーションで上で表示を可能にするために必要
J1-1.1.1 ライブラリ

ゲーム関連

InputSprocket Extension
NEW
ジョイスティックなど、ゲーム用外部入力デバイスを使用可能にする
J1-1.7.2 ライブラリ

HID Library
NEW
InputSprocket Extensionが使用するライブラリーで、ゲーム用USBデバイスを使用可能にする
J1-1.3.5 ライブラリ

SoundSprocket Filter
NEW
3Dサウンドを使用するためのフィルター
J1-1.7.1 システム機能拡張

SoundSprocketLib
NEW
ゲームなどで3Dサウンドなどのサウンド効果を使用するためにの情報が書かれた書類
J1-1.7.1 ライブラリ

NetSprocketLib
NEW
AppleTalkやTCP/IPのネットワーク上でゲームやアプリケーションを動作させる
J1-1.7.1 ライブラリ

DrawSprocketLib
NEW
ビデオゲームなどで、モニター解像度の変更、カラーパレット管理、描画のパフォーマンスを向上させる J1-1.7.2 ライブラリ

ネットワーク関連

Network Assistant Startup
NEW
コンピューターの遠隔操作に必要なNAクライアント機能拡張
J1-4.0.1 システム機能拡張

NSL UI Library
NEW
Network Services Locationでインターネットサービスを探すURL Dialogを利用可能にする
J1-1.1 ライブラリ

LDAP Client Library
NEW
LDAPディレクトリーサーバーへのアクセスを可能にする
J1-1.0 ライブラリ

LDAPPlugin
NEW
LDAPディレクトリーサーバーからネットワークオブジェクトを取り込むために必要なプラグイン
J1-1.1 ライブラリ

NBP Plugin
NEW
Network Services Location（NSL）を経由するアプリケーションで使用するプラグイン
J1-1.1 システム機能拡張

MRJLibraries
NEW
Mac OS Runtime for Java 2.1.4（MRJ）で使用する機能拡張書類などが収められているフォルダー
— フォルダ

MRJ Symantec JITC
NEW
Mac OS Runtime for Java 2.1.4（MRJ）用のJITコンポーネント
J1-2.1.4 ライブラリ

MRJLib
NEW
JavaVMをMac OS上で実現するライブラリー
J1-2.1.4 ライブラリ

lib
NEW
Javaの実行で利用されるプロパティライブラリーが収められたフォルダー
— フォルダ

MRJClasses
NEW
Mac OS Runtime for Java 2.1.4（MRJ）で利用するのClassライブラリー用フォルダー
— フォルダ

JDKClasses.zip
NEW
Java Developement Kit用のclassライブラリーファイル
J1-2.1.4 書類

MRJClasses.zip
NEW
Mac OS Runtime for Java 2.1.4（MRJ）用classのZIPファイル
J1-2.1.4 書類

QTJava.zip
NEW
QuickTime for Java用のzipファイル
3.0.1 書類

G4 ▶AltiVec関連

vectorOps
NEW
PowerPC G4に搭載されたマルチメディア拡張機能AltiVecで使用するBLAS のライブラリー
J1-1.1 ライブラリ

vMathLib
NEW
AltiVecを使ったプログラムが使用する数値演算、指数計算などの関数ライブラリー
J1-1.2L1 ライブラリ

vBasicOps
NEW
AltiVecハードウェアの能力を拡張する代数演算のライブラリー
J1-1.0 ライブラリ

vBigNum
NEW
AltiVecベクトル命令セットを使って、256、512、1024ビットの演算をする際に使用するライブラリー
J1-1.0 ライブラリ

圧縮関連

StuffIt Engine PowerPlug
NEW
圧縮ファイル解凍ソフトウェアStuffIt Expanderを使用するために必要 5.1.3J ライブラリ

StuffIt Engine
NEW
圧縮ファイルを解凍するソフトウェア、StuffIt Expanderを使用するために必要
5.1.3J 書類

ソフトウェアアップデート関連

Software Update Engine
NEW
ソフトウェア・アップデート機能を使用するために必要
J1-1.0 アプリケーション

Software Update Scheduler
NEW
ソフトウェア・アップデートの予約設定を使用するために必要
J1-1.0 システム機能拡張

USB&FireWire関連

USB Apple MonitorModule
NEW
USBコントロールを持った一部のモニターを使用する場合に必要
J1-1.8.1 システム機能拡張

USB Software Locator
NEW
USBドライブ用のソフトウェアをWebからダウンロードする
J1-1.3.5 システム機能拡張

USB Device Extension
NEW
標準のApple USBドライバーの一部の機能を含む機能拡張書類
J1-1.3.5 システム機能拡張

SerialShimLib
NEW
シリアル対応の機器をUSBやIrDAに接続し、使用するためのドライバーのライブラリー
J1-1.0.1 ライブラリ

Language Kit関連

Simp. Chinese Input Method
NEW
中国語の入力に必要なLanguage kit 1.0で使用するファイル
CH-2.1 システム機能拡張

파워 입력기
NEW
韓国語を入力するために必要となるLanguage kit 1.0で使用する機能拡張書類
KH-3.0.2 システム機能拡張

Trad. Chinese Input Method
NEW
台湾語の入力に必要なLanguage kits 1.0で使用するファイル
TA-2.1 システム機能拡張

MACABC.CWD
NEW
Language kit 1.0で使用する中国語の辞書ファイル
CH-1.1.1 書類

MACABC.OVL
NEW
Language kit 1.0で使用する中国語の辞書ファイル
CH-1.1.1 書類

Inliner
NEW
Language kit 1.0で使用する韓国語のインライン入力を可能にする機能拡張
KH1-2.2.4 システム機能拡張

Main Dictionary
NEW
Language Kits 1.0で使用する台湾語用のメイン辞書
TA-1.5.5 書類

Font Updater Extension
NEW
Language Kits 1.0で他国語のフォントのコンバートに使用する
Z1-1.0.3 システム機能拡張

Language Kit Additions
NEW
Language kit 1.0で使用するファイルを格納するフォルダー
— フォルダ

LaserWriter 8 Z
NEW
他国語のシステムで作成された書類をLaserWriter8で印刷するためのファイル
— 書類

PrintingLib Z
NEW
Language kit 1.0上で他言語で作成されたファイルを印刷するために使用する
— 書類

QuickTime Z
NEW
Language kit 1.0上で他言語作成されたQuickTimeファイルを再生するのに必要
— 書類

System Z
NEW
Language kit 1.0で他言語のシステムソフトウェアファイルを使用する
— 書類

●特集Ⅲ●

Welcome to the DVD World

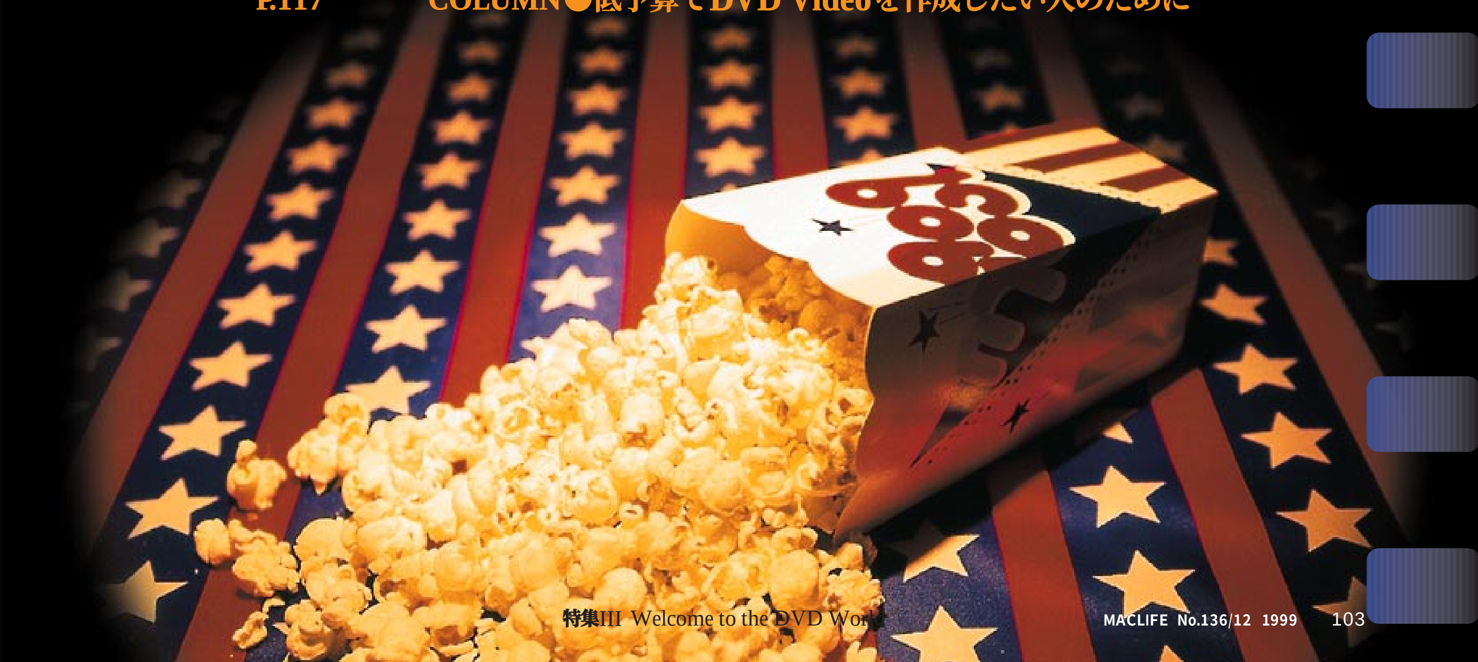
～Macユーザーのための DVD ビギナーズガイド～

その昔、
まだCDやMDと呼ばれる光ディスクが
日常的に使われていたころ、
パソコンはパソコン専用のCDを使い、
オーディオは音楽専用のMDを使い、
テレビはビデオカセットというものを使っていた。

そんな中、ある日突然、
DVDがこの世に現われた。
CDとMDとビデオカセットはこの世から消え、
パソコンとテレビとオーディオはすべて
DVDを使うことになった。

本特集は、そのようなDVD黎明期の様子を
克明に記録した
貴重な技術文献である…

目次



INTRODUCTION

DVDの世界へようこそ

乗り遅れるな！「Mac+DVD」革命を理解するためのビギナーズガイド



これが、今年米国のカウチポテト族（テレビを一日中観ている人たちのこと）を中心に大ブレイクしたDVD Videoタイトルの一例。ビデオテープよりも価格が安く、画質と音質も桁違いなのだ

あなたはDVD（ディ・ヴィー・ディ：Digital Verstile Disc）の世界をもう体験しただろうか？　DVDは、CD-ROMやMOに替わる次世代の光ディスクのことで、Macの世界でも今後標準のストレージ用として普及していくことが確実視されている新しい記録メディアである。しかし、その名前だけは聞いたことがあっても、実はどういうものなのかよくわからない読者も多いはず。本コーナーではまず、DVDの基本の解説から始めよう。

DVDの歴史は日本の家電の歴史でもある

「DVD」は、Digital Versatile DiscもしくはDigital Video Discの略称*1で、現在のCDベースの記録メディア（音楽CDやCD-ROMなど）を置き換えるために登場した新しい光ディスク規格のことである。

しかし、その歴史は意外に古い。10年以上前から、日本の家電技術者たちの間で、ビデオや音楽CDに替わる、マルチメディアを駆使した新しい娯楽機器への開発要求が高まっていた。そして、当初から時代を先取りするために、1）デジタルである、2）家電もパソコンも区別しない、3）安価な交換メディアである、などの厳しい条件が要求された。

その後大手家電メーカー各社から、いろいろな試作ディスクが発表された。そして、長年の議論と政治的な争いの末、1995年9月、それらの統一ディスクフォーマットとしてDVDが誕生した。翌々年の1997年には、そのDVDの規格標準化／普及推進をはかる「DVDフォーラム」*2という家電／娯楽／コンピューター分野の主要企業で構成される団体が結成された。

つまり、DVDというメディアは、特定のメーカーの産物ではなく、複数の業界・業種が合意のもとで産み出した究極のデジタルディスク規格なのである。

外見的にはCDそっくりしかし記録できる容量はGB級

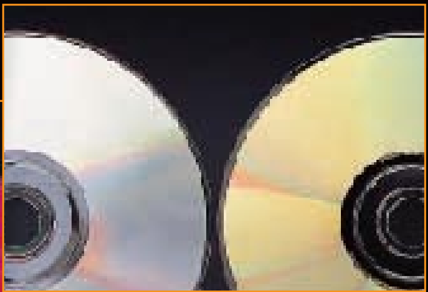
では、そのDVDというディスクの実物は一体どのようなものなのだろうか？

まず、外見的にDVDはCDとほとんど変わりがない。同じメタリックな風貌で、DVDの大きさもCDと同じ12cm（4.7インチ）版と8cm（3.1インチ）版があり、薄さも1.2mmとそっくりである。一般消費者が見て、両者の違いは、反射面の色合いでしか判断できないだろう。

しかし、外見的にはCDそっくりでも、その記録手法と容量は大きく異なる。レーザー光線をピックアップ部に使い*3、データをデジタル信号として記録する点は似ている。しかし、DVDではCDのように片面に1層ではなく、2層での記録も可能となっている。これにより、たとえば現行のCD（CD-ROM）の最大容量である640MB以上の、ギガバイト級のデータ記録が可能となっており、もちろん動画や音声の記録時間も大幅に増えている。

DVDでの実際のデータ記録容量／記録時間は そのデジタルデータの圧縮度や採用DVD規格の種類によって違うが、いずれにせよ大容量化への要求は十分に果たせるメディアであることは確かだ。


DVD自体は外見的にはCDそっくり。左が従来のCD（CD-ROM MACLIFE）で、右がDVD（DVD Videoタイトル）である。ぱっと見ではその違いはわからないだろう


見分けるコツとして、両者の反射面を比較してみること。DVDの反射面はCDとは違いゴールド色で反射している。これはレーザーピックアップの仕組みや光線色の違いによるものだ。もちろん、CDと同様、DVDもホコリや指紋には弱い

これからはMacでもDVD-ROMドライブが標準に

このように長年の議論のうえ誕生したDVDだが、今年1999年、ついに米国で大ブレイクを果たした。

まず、DVDの映画鑑賞規格であるDVD Videoディスクが米国で大ヒット商品となり、あらゆる映画やビデオ作品がDVD Videoディスクとして現地のビデオレンタルショップで並ぶようになっ

?

*1 DVDの略称：パソコンや医療機器などビデオ以外での用途を意識して、最近では前者Digital Versatile Discのほうを使う技術者のほうが多い。　*2 DVDフォーラム：中心的なメンバー企業は、松下電器／東芝／パイオニア／ソニー／タイムワーナー／トムソン／日立製作所／三菱電機／JVC／フィリップスの10社。　*3 DVDのレーザー光線：DVD記録面のピット（記録穴）はCDを比べてかなり小さく、ピックアップ精度を高めるためより短い波長のレーザーを使っている。

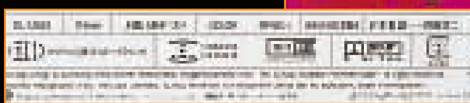
DVD Video再生環境を確保したら、まずDVD Videoタイトルを購入してその世界を堪能してほしい。写真はポニーキャニオン（03-5521-8041）から発売中の人気タイトル「オースティン・パワーズ」（定価4,700円）ちなみにこのVHSビデオ版の価格は定価16,000円





画像提供●ポニーキャニオン

DVD Videoパッケージの裏面には記録形式に関して細かい情報が記載されている。購入前に必ずチェックしておきたい



た。100ドル台のDVD Videoプレイヤー機器も多く発売され、2年後にはVHSの時代は終わるとまで言われるようになったくらいだ。

それに呼応するように、PC業界でもDVDのパソコンデータ再生規格であるDVD-ROM（ディ・ヴィー・ディ・ロム）ドライブも100ドル台に突入し、大半のWindowsパソコンで標準搭載されることになった。

そして、ついにApple社も、10月5日のiMac DV発売を皮切りに、DVD-ROM標準搭載への切り替えをスタートした。長年DVDの動向を注視してきたApple社だけに、今後登場するMac機種すべてにDVD-ROMドライブを標準搭載することは確実だ。もっとも、この動きはどのようなパソコンメーカーであろうとも不可避だろう。

今後登場してくるMacにDVD-ROMドライブが搭載されることで、いったいどのような展開が繰り広げられるのだろうか？

まず想像できるのが、既存の3Dゲームやマルチメディア系ソフト、教育系ソフトなどのDVD-ROM版発売だ。すでにCD-ROM版が発売されているこれらのソフトは、容量オーバーのためにたいてい数枚のCD-ROMを入れ替えるようになっている。軽く2.6GB～5.2GB程度のデータ記録ができるDVD-ROMでは、それらが1枚に収まるため、コスト軽減と利便性向上にもつながるわけだ。

80年台後半に起こった「CD-ROMショック」*4と同じように、来年「DVD-ROMショック」がMacユーザーを襲うことは必至だろう。

DVD革命は始まったばかり ビギナーはまず映画鑑賞から

以上を読んできて、多くの読者は「私のMacにはDVD-ROMドライブは搭載されていない！」「えっ、また新しいMacに乗り換えなきゃいけないの？」と嘆くことだろう。

しかし、慌てることはない。今年のクリスマス商戦を皮切りに、既存のMacユーザー向けのDVD-ROMアップグレード製品がサードパーティ各社から続々と発売される予定だ（具体的な商品カタログは次ページを参照のこと）。

そして、常に念頭に置いてほしいのが、DVD革命はまだ始まったばかりであるということ。DVD-ROMやDVD Videoはまだまだ単なる「一番バッター」的な規格であって*5、2～3年以内にはパソコン／ビデオ両者での混合記録を可能にしたDVDレコーディング規格の製品も登場するのだ（DVDレコーディング規格の詳細に関しては、P.108～109の松下電器インタビュー記事を参照のこと）。

では、DVDビギナーはまずどこから始めたらよいのだろうか？　MACLIFE編集部としては、やはりDVD Videoによる映画鑑賞からスタートすることをぜひお薦めしたい。

その理由は、DVD Video版の映画タイトルはすでに日本国内でも多数販売されており、大手のビデオレンタルチェーンでは300～400円程度で人気の映画タイトルをレンタルすることが可能になっている。DVD Video映画を再生するために、家電量販店で4～5万円程度で販売されているDVD Videoプレイヤーを購入してもいいし、iMac DVやPower Mac G4のDVD-ROMドライブで再生して楽しむのもよいだろう。

できることなら、DVD Videoの最大の特長である高音質3Dサウンドに対応したプレイヤーで映画を楽しみたい。はじめてDVD Videoを再生した時点で、現在あらゆる業界を巻き込んで起こっているDVD革命のすべてが理解してもらえるはずだからだ。

DVD革命はもうすでにMac業界でも起こりつつある。ベテラン・ビギナーを問わず、この流れには今後も要チェックである。



今年の後半あたりからDVD業界の最新動向やDVD Video新作を紹介する専門雑誌も数多く出版されている。なかでもお薦めの一冊は、ビー・エヌ・エヌ発売のMACLIFE別冊「DVDカムカム（780円税別）」



*4 CD-ROMショック：ベテランMacユーザーなら覚えていると思うが、当時Mac用CD-ROMドライブが安価になったことで、数多くのフロッピー版ソフトがCD-ROM版へ一斉に移行した。　*5 現在のDVD規格：このあたりが一部消費者の混乱の原因となっているようだが、現在のDVD-Video／DVD-ROMという規格は、記録ができず家電／パソコンを区別しているという点で、まだまだ過渡的な規格なのだ。究極の統一フォーマットは、まもなくDVDフォーラムで決定される予定。

CATALOG

Mac用DVDハードウェアカタログ

USB型からPowerBook G3専用まで、年末に次々と登場する注目のMac専用DVDハードウェアたち

2000年を目前にして、サードパーティ各社からMac専用のDVD関連ハードウェアの第一弾が発売される。DVD-ROMドライブや、書き換え可能なDVD-RAMドライブ、DVD Video再生に必要なMPEG-2デコーダーボード*1など、使い方や組み合わせはまさにユーザー次第。待ち切れない読者のために、期待のDVD関連製品を一挙に紹介しよう。



Boa Plus DVD

Power Macユーザーなら、まずこのDVDアップグレードキット





MDS　オープンプライス
URL● http://www.mds2000.co.jp/

PCI型Power Macシリーズ向けのATAPI型DVD-ROMドライブ＋デコーダーカードキット。旧Power Macユーザーですぐに DVD Videoを鑑賞したいユーザーにお薦め。店頭参考価格は39,800円

REALmagic Hollywood Plus

PC互換機の世界でのトップシェアのDVD Video再生ボード、ついにMac版も登場

バーテックスリンク　価格未定
URL● http://www.vertexlink.co.jp/

PC用DVD Video再生ボードでは圧倒的な知名度を誇るSigmaDesign社のREALmagicシリーズに、Mac版がまもなく登場予定。正式名称は「REALmagic Hollywood Plus MAC」、DVD Video再生には別途DVD-ROMドライブが必要となる（写真は米国のREALmagic製ボードです。実際の製品とは異なる場合があります）



クエスト　オープンプライス
問合せ● 03-3222-0598

PowerBook G3 333/14"対応のDVDアップグレードキット。拡張ベイ型DVD-ROMドライブをバンドル。Apple社のApple DVD PlayerソフトでDVD Videoが再生可能になる。11月22日発売予定

VST DVD-ROM Upgrade Kit

Power Book G3 333/14"をDVD Videoプレイヤーに！デコーダーカードも付いた注目パッケージ



?

*1 デコーダーボード：DVD Videoの映像は、MPEG2という形式で圧縮されているため、既存のほとんどのパソコンではリアルタイムで再生できない。そのため、DVD Videoの再生には、このMPEG2解凍作業を行なうための専用ボードが必要となる。これを通常「DVD Videoデコーダーボート」「MPEG-2デコーダーボード」などという。なお、最新のiMac DVやPower Mac G4では高速CPUとAGPバス採用のおかげで、このようなデコーダーボードは不要となっている。



PX-DVRM/U1

世界で初めてUSBに対応した意欲的なDVD-RAMドライブ

ピクセラ　オープンプライス
問合せ● 0722-24-7300

USB接続型のDVD-RAM*2ドライブ。書き換え型DVD-RAM以外にもPD／DVD-ROMドライブとしても使え、SCSIのないiMacなどにも対応済み。なお、ピクセラでは他社製DVD Video再生ボードとの併用動作は保証していない





LF-D102JA

書き換えも可能、DVD-ROMドライブとしても使えるSCSI型ドライブ

松下電器産業　79,800円
問合せ● 03-3834-2921

2.6GB／5.2GBの書き換え型DVD-RAMカートリッジをサポートした低価格SCSIドライブ。ドライバーソフトとしてB's Crew Liteが付属し、Macに対応。SCSIケーブルは別売。PDドライブ、DVD-ROMドライブとしても使える





ASTARTE DVDirector

DVDプロダクションを始めるなら必須のトータルパッケージ

ソフトウェア・トゥー　オープンプライス
問合せ● 03-5676-2177

独ASTARTE社製のDVDオーサリングシステム。MPEG2デコーダーカード、オーサリングソフト、エンコーディングソフト、ToastDVDなどを1つにシステム化したプロ向けの製品*3。MPEG2エンコーダーボードを同封したDVDirector Proも同時発売中。

*2 DVD-RAM：書き換え型DVDの規格。現バージョンでは片面あたり2.6GBのデータ書き換えが可能で、Power Mac G4シリーズの上位モデルではこのDVD-RAMドライブが標準搭載されている。DVD-RAMを用いたビデオレコーディング規格の発表もあり、今後家電への普及も見込まれている。　*3 プロ向けの製品：DVDirectorを実際に使った、MacでのDVD Video作成作業はP.110～116で解説している。

INTERVIEW

DVD-RAMで見えたMacの未来

スティーブ・ジョブズも選んだ「松下のDVD技術」、世界制覇へ

松下電器産業株式会社

iMac DVやPower Mac G4に標準搭載されているDVD-ROMおよびDVD-RAMドライブは、すべて松下グループの製品である。なぜ業界標準のハードウェア規格しか採用しないポリシーのApple社が、他社に先駆けてDVD-RAMの採用に踏み切ったのか。その裏には、現在コンピューター／家電／映像業界で急速に起こりつつある、「DVD-RAMへの一斉シフト」の動きがあるからではないだろうか？　その真偽を確かめるべく、DVD-RAM規格の本家ともいえる松下電器産業（株）光ディスク事業部を訪問した。

「結局VHSと同じ。DVDも松下で決まり」最近、日米の映画業界やパソコン業界でこのようにささやかれることが多くなった。

日本では先頃、「DVD市場はソニーのPlayStation 2で決まり」と報道するメディアがいくつかあった[*1]。しかし、それは単にDVD Videoプレイヤーとしての話。規格としてのDVDは、家電からパソコンに至るまで、松下主導になることがほぼ確実だという話もあるが、本当のところはどうなのだろうか。Apple社が突如、Power Mac G4で松下製DVD-RAMドライブの早期採用に踏み切ったのも、その流れを象徴するできごとかもしれない。

しかし、このような水面下の状況は、一般消費者の我々にはあまり知らされていない。そこで、大阪府門真市の松下電器へ、DVD-RAM担当の岡崎之則氏と長谷川正二氏を訪ねた。



長谷川　正二さん

松下電器株式会社　AVC社　光ディスク事業部
記憶デバイス事業推進部　主事

Macユーザーでもある長谷川氏は、DVDに関して語らせると止まらなくなるほどの熱血社員。まさに「パソコン業界のDVDエバンジェリスト」と呼ぶにふさわしい人物だ

そもそもDVDとはいったい何なのか？

――わかりやすい表現でお願いしたいのですが、そもそも“DVD”の定義って何ですか？

岡崎●コンピューターのさまざまな記憶装置はここ10年間ほどで急速に進歩してきましたが、残念ながらそれらはコンピューターでしか使えないという制約がありました。一方、家電業界でも、ビデオテープなどの記録メディアは家電製品でしか使えません。そこで、両者のブリッジ役として活躍できる記録メディアとして考えられたのがDVDです。

――我々が一般的にDVDという言葉を聞くと、「DVD＝次世代ビデオ」と勝手に想像してしまいますが、本来の目的はそれだけではないわけですね？

岡崎●はい。DVDは、家電だけで成功しても成功と呼べませんし、コンピューターだけで成功しても駄目なのです。両者に統一したメディアを提供し、それによって新しい世界を創造することが、DVDの使命であり宿命なのです。



10月に松下電器が試作品として発表した次期DVD製品群。注目の4.7GB DVD-RAMドライブや家庭用DVDレコーダーの姿も見える

次期DVD-RAMではビデオ録画も可能になる

――多くの読者が疑問に思っている点として、「いつになったら、現在の家庭用ビデオデッキみたいに、DVDでテレビやビデオを録画できるようになるの？」というのがあります。これはいつ実現されるのでしょうか？

岡崎●ご存じのとおり、電器店などで現在販売されているDVD Videoプレイヤーには録画機能はありません。しかし、我々が10月1日に発表した「DVDビデオレコーダー」ではそれが可能になります。ただ、これはまだ試作品なので、残念ながら実際の発売時期はまだ未定です。

長谷川●これは次期4.7GB型DVD-RAMをベースにした製品で、DVDフォーラム策定のビデオレコーディング規格に準拠したビデオレコーダーです。10月5日に東京で開催された「エレクトロニクスショー‘99」でも参考出品し、大変な反響をいただきました。今後はこれをベースに、家電業界での標準規格としても推進していく予定です。

――DVD-RAMベースの規格ということは、パソコンでも同様の映像記録は可能でしょうか？　現在パソコンショップで販売されている2.6GB型DVD-RAMドライブでは同じことができないのですか？

長谷川●はい。PC環境であれば、今でもDVD-RAMに簡単に映像記録をすることが可能です。

*1 PlayStation 2に関する情報：来年3月発売予定のソニー製の人気ゲーム機PlayStationの後継機。安価な家庭用DVD Videoプレイヤーとしても使えるため、家庭用DVD Videoプレイヤーの普及促進役になると他社からも期待されている。ただし、これはあくまでもプレイヤー機器としての話で、DVDがカバーする分野はそれよりももっと広大なのだ。

しかし、DVD Videoタイトルのような、高画質・高音質で記録するとなると、今はまだ高価な画像取り込み（MPEG-2エンコーダーボード）が必要になりますし、テレビチューナーなども必要になります。しかし、今後PowerPC G4のような高速CPUの登場により、ソフトウェアでMPEG-2圧縮が可能だと思います。
岡崎●記録できるDVDとして、現在の家庭用ビデオデッキに近いレベルの価格の製品を近い将来、ご提供できるよう努力します。ぜひ期待していてください。

――それはすごく楽しみですね。どうしてそのような優れた製品を今すぐに発売できないのですか？

岡崎●まだ開発段階ですし、商品としての完成度を高めています。著作権保護の仕組みづくりもまだ残っています。

――ライバル規格として、パイオニアが推進しているDVD-R／DVD-RWがありますが、それらはどうなるのでしょうか？

岡崎●現在DVDフォーラムでは、無駄な混乱をなくすため、次期DVD-RAM、DVD-R、DVD-RWを用途別に住み分けすることで協議中です。DVD-Rは1回しか記録できないので、実質的にはDVD-RAM（松下）とDVD-RW（パイオニア）の2者で、民生ビデオ／パソコン分野を担当することになると思います*2。

――なるほど、「VHSの松下」と「LDのパイオニア」の対決というわけですか。



岡崎 之則さん
松下電器株式会社　AVC社　ADDグループ　記憶デバイス事業推進部　技術グループ　主担当
岡崎氏は典型的なエンジニアタイプ。非常に静かだが、技術に関してはなかなか厳しいという

Apple社はMacの未来をDVD-RAMに託した

――Apple社は他のパソコンメーカーに先駆けて、松下製のDVD-ROMドライブとDVD-RAMドライブを正式採用しました。たぶん、これからのMacでは標準装備されることになると予想されるのですが、現時点での納入実績（売り上げ）はいかがですか？

岡崎●まずDVD-ROMドライブに関しては、製造は同じグループ企業の松下寿*3が担当してますので、数字面のことはわかりません。DVD-RAMドライブに関しては、今年1月からApple-StoreでG3用のオプションとして販売されています。Power Mac G4には標準搭載されていますが、実際まだPower Mac G4自体が出荷開始して間もないので、我々ですら正確な集計はまだです。
長谷川●Power Mac G4で初めて標準搭載されたわけですから、Macユーザーの間でのDVD-RAM普及はやはりこれからでしょう。ちなみにスペック面でいいますと、Power Mac G4の内蔵型DVD-RAMドライブはATAPI型で、OEM版なのです。当社が現在販売している「LF-D102JA」などの外付けDVD-RAMドライブはSCSI型で、少し違います。

――さきほど言われた次期DVD-RAM（4.7GB型DVD-RAM）ベースのMac用ドライブはいつ頃発売予定なのでしょうか？　来年の夏までには発売できそうですか？

岡崎●まだ未定ですが、我々としては、商品が完成すれば、早い段階でMac用にも取り組んでいきます。
長谷川●とくにOEM版の製造となると、パソコンメーカー側から製造コスト面でも厳しい要求がされるので、その点での詰めをやっているところです。当社としてコストパフォーマンスに優れた商品を提供しつづけたいと思います。

――Macユーザーとして、そのような大容量のDVD-RAMドライブを今後どのように活用していけばいいのでしょうか？

岡崎●まさにユーザーの想像力次第ですね。基本的にはMOやCD-Rに替わる大容量ストレージとしての使い方がされると思います。とくに大容量のビデオ動画ファイルの保存などにも耐えられますし、画像処理やデジタルオーディオ分野のメディアとしても使えますね。個人的な予想としては、安価なMPEG-2エンコーダーボード製品などが今後多く登場するでしょうから、自分のビデオライブラリーをDVD-RAM上で編集しながら楽しむ人が急増すると思います。
長谷川●DVDに関しては、当社とAppleは長年に渡っていろいろと議論してきました。ですから、Apple社がDVD-RAMを採用したことで、今後は他のパソコンメーカーだけでなく、ハリウッドもこの流れに参加してもらえると信じています。読者の皆さんにも、ぜひ一度当社のDVD-RAMドライブを体験していただくことを強くお薦めいたします。

――どうもありがとうございました。



松下電器本社のある大阪府門真市周辺には、「松下村」と呼ばれるほど松下グループの巨大工場や事務所ビルなどが数多く並んでいる。DVD-RAMを担当する光ディスク事業部もその広大な敷地の中の一角にあり、外国メディアからの取材陣も数多くここにやってくる



*2 DVD-Rの今後：ドライブ価格やメディア単価が非常に高価で、1回しか書き込めないDVD-RはDVD Videoクリエーターなど、一部のプロショナル分野のみで生き残っていくことになるといわれている。　*3 松下寿という会社：一般ユーザーにはあまり有名ではないが、パソコン用ドライブメーカーとしては世界的に有名な大手メーカー。Quantum製のハードディスクドライブの大半も、実は同社が製造している。

LET'S MAKE DVD VIDEO!

DVD VideoをMacで自主製作

DVDirectorで子供の成長記録DVDを作ってみる

石坂アツシ

「DVD Videoディスクで子供の成長記録ビデオを製作して、あらゆる親戚に配る…」親バカなビデオマニアならずとも、DVDの世界に一度でも触れたことがある読者ならこのような衝動にかられたことがあるのではないだろうか。鮮明な映像、臨場感あふれるサウンド、そして半永久的にその画質が劣化しない究極の記録メディア。しかし、DVD Videoを自主作成した人はまだほとんどおらず、ノウハウも明らかになっていない。そこで、今回はMacを使ってDVD Videoを自主製作することにした。本コーナーでは6ページにわたり、筆者の試行錯誤と奮闘の様子をレポートする。

親バカ読者は注目！ これからはDVD Videoの時代だ

実は近い将来の話ではなく、自宅でオリジナルDVD Videoを作ることはすでに可能なのだ。もちろん、できあがったDVD VideoはDVDプレイヤーにかけて鑑賞することができる。

子供の誕生に始まり、いろいろな旅行や行事をビデオに撮って編集し、きちんと保管しているお父さんも少なくないはずだ。そんな読者に打って付けのメディアが、これから紹介するオリジナルDVD Videoだ。まさに究極の親バカメディア。

もちろんオリジナルDVD Videoの製作は、会社のプロモーションや記録、お店の店頭ディスプレイなどさまざまな分野で需要がある。しかし、筆者はもっとも共感を得られるケースとして、子供の成長記録をDVD Videoにすることにした。

昔に撮ったビデオがそのままごっそり棚の中に眠っているお父さんも最後まで読んでほしい。

DVD Videoの最大のメリットは、高品質の映像と音声。製作には、録画したビデオをMac上でノンリニア編集*1し、MPEG-2*2の高画質でTVモニターに表示するというシステムが必要だ。VHSテープの編集で生じる画質や音質の劣化はここでは心配する必要がない。

二番目のメリットは、DVD Video独自のメニュー選択機能を使用することで、映像を簡単にランダムサーチできる点。年別に再生したり、場面ごとの頭出しがメニューボタンで行なえる。

三番目のメリットは、いろいろな素材を組み合わせることができること。子供が幼児期に描いた落書きや写真のスキャン画像、お気に入りの曲などのサウンドデータ、デジカメで撮った旅行先の写真データなど、ビデオ映像と共生させながら記録することができるのだ。

MacでDVD製作を行なうには 200万円程度の投資が必要になる

では、MacユーザーがDVD Videoを製作するにはどのようなシステムが必要なのだろうか？

MacベースでDVD製作を行なうトータルパッケージとしては、ソフトウェア・トゥーが販売している「DVDirector」シリーズしかない。

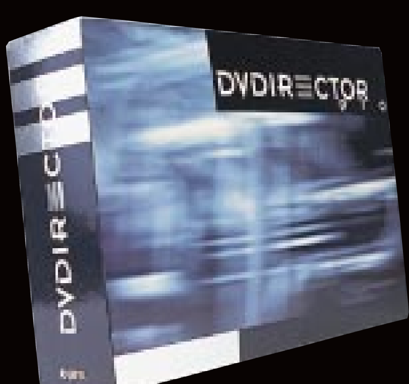
DVDirectorは、実際のDVD焼きドライブこそ付属しないものの、それ以外に必要なハードウェアやソフトウェアをワンパッケージ化している点で要注目のパッケージだ。上位パッケージの「DVDirector Pro」では、MPEG-2ビデオファイルを高速作成するための専用エンコーダーボードも付属しているので、プロユースにはそちらのほうがお薦めかもしれない。

DVDirectorシリーズ自体はオープンプライスで販売されているが、実売価格100万円以上もする高級システムだ。本格的なDVDプロダクションとして開業するのであれば、これにDVD焼きドライブなどを追加する必要があるので、総額200〜300万円程度の投資が必要になる。

たしかにこれは個人ユーザーにはとうてい捻出不可能な金額だろう。しかし、1年前まではこのようなシステムは600万円以上していたので、プロが聞くとこの金額でも驚くほど安いのだ*3。当面は中小のビデオプロダクションや病院などが主要なユーザーになると思うが、今後1年以内には、確実に個人ユーザーが購入できるレベルまで値下がりするものと思われる。そういう意味では、今から勉強しておいたほうがいい。

DVD製作システムを組む際に 事前に用意したいハードウェア

では、実際に筆者がDVDirectorをインストールした、DVD Video制作システムを見ていただきたい（次ページ上）。意外にシンプルに思われるかもしれないが、実はこれで十分完結しているシステムなのだ。見た目にはごく普通の環境にTVモニターが加わっただけのコンパクトなシス



独ASTARTE社の「DVDirector」シリーズの上位バージョン「DVDirector Pro」のパッケージ。業務ユースでは、より高機能なこの上位版を購入したほうがよいだろう。
問合せ●ソフトウェア・トゥ（03-5676-2177）



「DVDirector Pro」にはMPEG-2デコーダーボードばかりでなく、リアルタイムMPEG-2変換を可能にする専用エンコーダーボードも付属する。時間が命のプロユーザーにとっては、必要不可欠なオプションといえるだろう

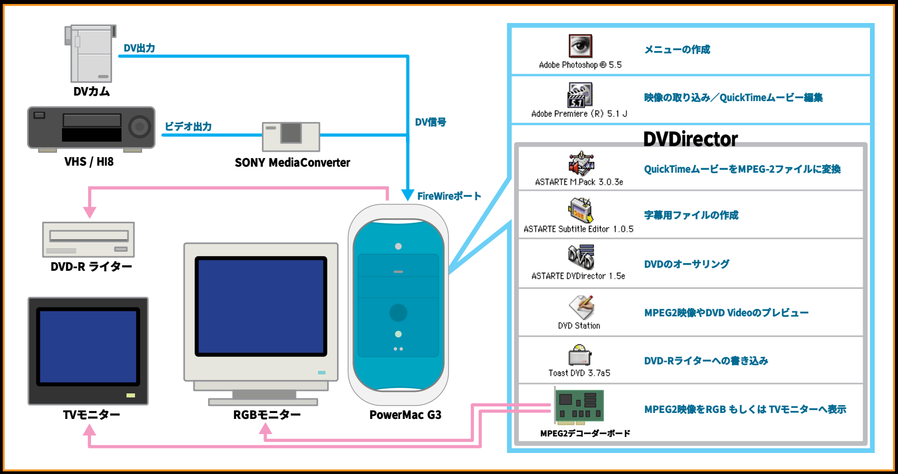


?

*1 ノンリニア編集：パソコンでのビデオ編集を一般的このように呼ぶ。一方、リニア編集はダビングのようにテープをリアルタイム再生させながら編集を行なうスタイルのこと。　*2 MPEG-2：ISOとIECの合同組織であるJTC1で標準化の作業が行なわれている動画圧縮の規格。DVD VideoではこのMPEG-2でのビデオ圧縮が一般的。　*3 従来のDVD Video製作システム：従来のシステムはワークステーションベースのものがほとんどで、なおかつ操作性もかなり悪かった。



今回セットアップした筆者のDVD Video製作システム。あまりのシンプルさに驚くかもしれないが、これでOKなのだ。左に確認用のTVモニター、右にDVD-Rドライブとアナログスイッチャーが見える



今回のシステムを図にするとこのようになる。DVDirector付属の関連アプリケーションが多くインストールされているのがわかるだろうか

テムである。

まずハードウェア面では、ビデオの取り込みにPower Mac G3に標準搭載されているFireWireポートを使用している。最近のDVカム*4を保有しているなら、そのDVカムに用意されているDV端子とMacのFireWireポートを1本のケーブルでつなぐだけで、DVカムの遠隔コントロールとDVビデオ（映像と音声）の入出力が可能になる。

もしDVカムがなく、VHSやHi8*5などのアナログビデオテープから映像を取り込む際にはソニー製などのメディアコンバーターを使用する。これはアナログビデオ信号をDV信号に変換してくれるものだ。やはりG3のFireWireポートと接続することで、VTRのコントロールこそできないが高品質の映像と音声を取り込むことができる。ちなみに、Mac側に取り込まれたビデオ映像は基本的にQuickTimeムービーとして保存されるので、QuickTimeプレイヤーで見ることも、ムービー編集ソフトで編集することも可能だ。

次に必要な機材は、プレビュー用のTVモニター。これは、MPEG-2形式に圧縮したビデオ素材や、すでにできあがったDVD Videoディスクの確認用に使用する。DVDirector付属のMPEG2デコーダーボード（後述）はMPEG-2映像をRGBモニターに再生することもできるが、最終的にDVD Videoを鑑賞する環境が家庭用テレビであることからTVモニターでのプレビューは必要となる。

DVD-Rドライブと一緒に DVD-RAMドライブを使え

次に、報映産業（株）による特別な配慮で、同社のDVD焼きドライブをレンタルすることができた。それが写真下に写っているのDVD-Rドライブ「DVR-1000」だ。別にDATドライブ*6に作品を落として、外部のDVDプロダクションにDVD Video化してもらってもよかったのだが、そこは親バカの筆者。ディスク焼き工程も、自分自身で行ないたいのだ。

ちなみにDVD-Rドライブとは、DVD Videoを焼くことができるドライブで、100万円近くするものだ。DVD Video形式で焼いたDVD-RディスクはDVD Videoマスターとして使え、もちろん家庭用DVD Videoプレイヤーで再生することもできる。しかし、DVD-Rディスクは1枚6,000円もするので、焼きミスは決して許されない。

そこで、筆者が究極のコスト削減策として別途導入したのが、松下電器のDVD-RAMドライブ「LF-D102JA」*7である。実売6万円代という非常に安価なドライブだが、規格の関係で、DVD-RAMディスクは家庭用DVD Videoプレイヤーで再生することができない。しかし、実はうれしい“裏ワザ”がある。DVD-RAMでDVD Video形式に焼いたディスクは、なんと松下製のDVD-ROMドライブを搭載したパソコンに限り、DVD Videoディスクとして認識されてしまうのだ！　この裏ワザ実行は非常に簡単で、DVD-RAMカートリッジの中から金色のディスク部分だけを取り出して、そのままMac用DVD-ROMドライブに挿入すればよい。そのMacはそれをDVD Videoディスクとして認識してしまうはずだ。

つまり、iMac DVなどのDVD搭載パソコンを使えば、事前に何度でも作品をDVD Videoディスクとしてシミュレーション再生できるわけである。おまけにDVD-RAMディスクは何度も書き換えができるうえに、単価も3,000円程度と割安。DVDクリエイターを目指す読者なら、必ず覚えておきたい必殺ワザだろう。

定番アプリケーションも やはり必要だ

最後に、必須と思われるMacアプリケーションの話をして下準備は終わりにしよう。



DVD Videoマスターディスク作成に不可欠なDVD-Rドライブ。今回試用したのは報映産業の「DVR-1000」、もともとは業務用ドライブなので価格は見積もり方式
問合せ●報映産業システム営業部（03-3665-3418）



松下電器の「LF-D102JA」のようなDVD-RAMも併用すれば有効なコスト削減策に。マスター作成は無理だが、Mac用DVD-ROMドライブでのシミュレーション再生が可能
問合せ●松下電器P3カスタマーサポートセンター（03-3834-2921）、写真はP.107参照のこと



*4 DVカム：DV方式のデジタルカメラを「DVカム」と呼ぶ。現在の個人向けビデオカメラの主流方式がこれ。　*5 Hi8：DVビデオカメラが登場するまでは、このHi8カセット方式が個人用ビデオカメラの主流だった。　*6 DATドライブ：DATテープを使ったバックアップ専用ドライブのこと。一部DVDプロダクションでは、DATによるDVD Videoマスター入れに対応している。　*7 LF-D102JA：ドライブ本体の写真はP.107のカタログコーナーを参照のこと。

ユーザーの趣味にもよるが、できればDVD Videoで表示されるメニュー画面を作成するためのソフトとしてAdobe Photoshop、そしてビデオの取り込みと編集にAdobe Premiereも用意しておきたい*8。どちらも画像作成、ムービー編集の代表的なソフトだ。もちろん、他社のソフトを使ってもかまわない。

そして、今回の中心的存在であるDVDオーサリングシステムのDVDirectorパッケージ一式。冒頭でも紹介したとおり、これはDVD Videoを作成するために必要なソフトとMPEG-2デコーダーボードがセットとなった製品だ。

では、DVDirectorのすべてを自分のMacにインストールして、次のステップに進もう。

基本は映画製作と同じ シナリオ構成から考えてみる

実際にDVD Videoを作る前に、どのような構成になるのかを事前にきっちり決めておく必要がある。これは、作業の無駄を省くだけでなく映像のトラック割りに大きく関係してくるからだ。

詳しく説明しよう。たとえば、1つの映画をそのままDVD Videoにするケースを考えてみよう。この場合、映画はそのまま1つのMPEG-2ファイルに変換され、見所場面の頭出しができるように、ファイルの任意の場所にマーカーを設定してそのマーカーから再生できるようにする。これを「チャプター（小節）」と呼び、LDユーザーならお馴染みの機能だ。

DVD Videoで再生すると、まず映画の冒頭から再生され、CDの曲を送るような感覚でスキップボタンを押すと、マーカーを設定したチャプター順にジャンプする。市販のDVD Videoタイトルには通常メニュー選択画面（チャプターリスト）が用意されており、この画面から好きな場面にジャンプできるようになっている。

無論、子供の成長記録をDVD Videoにする場合でもそのような構造にしたいという要望は出てくる。たとえば、1991年から1998年までの成長記録を収録するとして、1994年の映像だけを見たい。つまり、メニューの「1994年」ボタンを押すと1994年の映像の最初から再生され、終わると1995年の映像に進まずに再びメニュー画面に戻る、といった感じだ。

しかし、その一方で、1991年から1998年までを通して見ることもできるようにしたい。この場合には1991年から1998年までを1つのMPEG-2ファイルにせず、年別にファイルを分ける。つまり、別々の「映像トラック」にするわけだ。CDでいえば別々の曲にするのと同じである。さらに、年別に起こったできごとにマーカーを設定すれば、その頭出しもできるようになる。

まさにいたれり尽くせりのカウチポテト*9・タイトルだ（ただし、その分製作時間も手間も増えることを忘れてはいけない）。

このように、何をどのように見たいかを決めておかないと、最悪の場合はトラックを再分割しなくてはならない。つまりもう一度MPEG-2変換のやり直しという事態になってしまう。

筆者が実際にとったアプローチは、まず最初に撮り貯めたビデオの中からどのできごとを収録するかを決め、それを箇条書きにした。次にどのように見せるかを決め、フローチャートにまとめた。この時、メニュー画面とその中のボタンやトラックとマーカーの関係も決めておく。

参考のため、一般的な映画のDVD Videoのシナリオ構成フローチャートを本ページ左下図にまとめてみた。そして、今回筆者がチャレンジしたDVD Videoのシナリオ構成も右下図まとめておいた。通常のものに比べてよりインタラクティブになっている。これが筆者の親バカが高じたせいかあくなきチャレンジ精神なのかの判断は読者にお任せするとしよう（笑）。

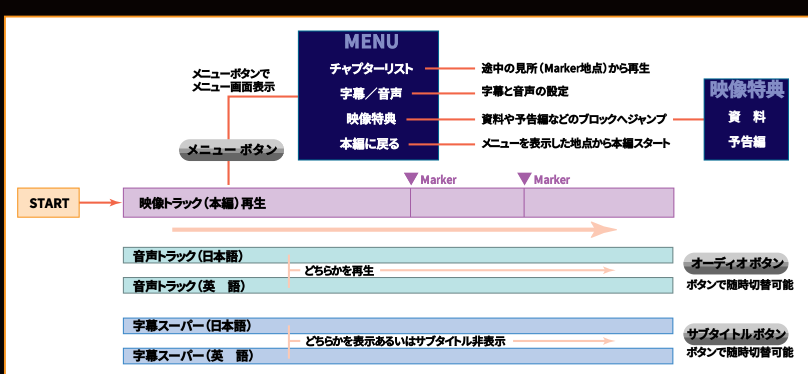
ビデオ素材を MPEG-2ファイルに変換する

作業の第一段階は、DVD Videoに収録する素材の作成だ。まずはビデオ素材をMPEG-2ファイルに変換する手順を説明する。

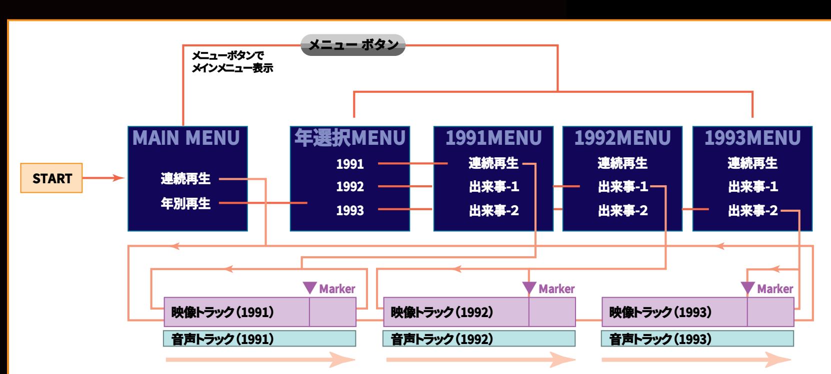
今回準備しておいた素材はHi8とDVの2種類のビデオテープ。この2者の違いが単に画質やテープの大きさと思ったら大間違い。DVは映像をデジタルで収録し、そのビデオデータはそのままMacに転送することができるのだ。そして、それを可能にするのが青白Power Mac G3以降のMacに標準搭載されつつあるFireWireポートだ。

一方、Hi8（およびVHS）などのアナログビデオテープの場合は、ソニー製のメディアコンバーターを使用してアナログビデオ信号をDV信号に変換する。こうすることでビデオキャプチャーボードを別途購入しなくても、高画質の映像をMacに取り込むことができるようになる。

参考までに、DVとHi8の取り込み方を簡単にまとめておく。



一般的なDVD Videoタイトルの作成アプローチ。このように順序立ててシナリオを組み立て、ビデオソフトとしての全体の構成に磨きをかけることになる



今回筆者がとったアプローチ。もともとMacromedia Directorユーザーでもある関係で、このようにインタラクティブ性を重視したシナリオ構成にした



*8 Adobe PhotoshopとAdobe Premiere：両方ともAdobe Systems製の人気アプリケーションソフト。前者はフォトレタッチソフトで、後者はノンリニア・ビデオ編集ソフト。なお、これらはDVDirectorにバンドルされているわけではないので、ご注意を。　*9 カウチポテト：米国では一日中テレビや映画を観ている人のことを「カウチポテト族」と呼ぶ。カウチ（小型のソファーのこと）に座ってポテトチップスばかりを食べている様子を表わしてこのように呼ぶ。



Adobe Premiereでビデオ素材を取り込んだところ。この後、そのまま編集画面に移り、DVD Videoに最適なトラックとして時間調整などを行なう

筆者が過去数年間に蓄積してきた子供の成長記録ビデオたち。アナログテープをデジタル化するには、メディアコンバーターなどが必要になる



DVテープ●DVカムのDV端子とMacのFireWireポートをFireWireケーブルで接続し、Adobe PremiereからDVカムを遠隔コントロールしながら取り込む。
Hi8テープ●Hi8カムのビデオ出力端子とメディアコンバーターのビデオ入力端子をビデオケーブルで接続。ビデオコンバーターのDV端子とMacのFireWireポートをFireWireケーブルで接続し、Adobe Premiereから取り込む。この時PremiereからのHi8カムのコントロールは不可能。

取り込まれた映像と音声はDVフォーマットのQuickTimeムービーで保存される。映像の画像サイズは720×480ピクセル。音声は16bit 32kHzステレオ。画像サイズが通常の4:3フルサイズ（640×480ピクセル）でないのはDVフォーマットによるもので、Mac上では横に引き延ばされた映像になるが、テレビ出力される時は再び4:3の映像となる。

いくら圧縮されているとはいえ、高品質の映像と音声であるからファイルサイズも大きくなる。1GBの容量で収録できるビデオの長さは約4分半。取り込んだビデオをさらに編集して1つのファイルにすることを考えると単純に素材の倍の容量が必要になるので、10GB以上のハードディスクを用意しておくこと。

次に、取り込んだビデオをAdobe Premiere上で編集する。今回は年別にファイルを分けるので、1年分の素材を1本にまとめる編集だ。通常のムービー編集ではここでテロップやBGMなどを入れるのだが、DVD Videoには字幕機能や音声切替機能があるので、今回の編集は単純に取り込んだビデオから使用する場面だけを抜き取ってつなぐだけの作業となる。

DVD Videoで全トラックを連続再生すると、トラックのつなぎ目（ここでは前の年の映像と次の年の映像の間）で少し映像が途切れるが、各トラックの始めと終わりを黒い画面にするなどの工夫をして自然につながるようにする。できあがったムービーはDVフォーマットのQuickTimeムービーとして保存するわけだが、Mac OS 8.6内部の制約の関係で、2GBを越えるファイルを扱うことはできない*10。そのため、1つのトラックが9分を越えないように常に気を付ける必要がある。もしどうしても長い作品になるようであれば、作品を途中で分割して複数トラックに再分割しなければならない。

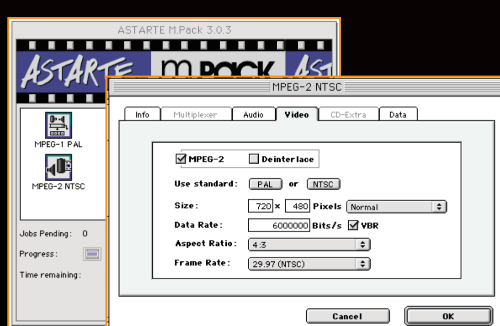
そして、できあがったQuickTimeムービーをDVDirectorに入っているMPEGエンコードソフトM.PackでMPEG-2に変換する。操作は簡単。M.PackでMPEG-2フォーマットを選び、転送レートなどの設定を説明書にしたがって設定する。次に圧縮するファイルをウィンドウにドラッグしてスタートするだけだ。複数ファイルの一括圧縮も可能なので、できあがったムービーを一気にMPEG-2ファイルにしてくれる。圧縮にかかる時間は、説明書には300MHzのG3マシンで元ムービーの再生時間の約40倍の時間を有すると書いてある。つまり1分のムービーの圧縮に40分かかるというわけだ。今回の圧縮では筆者はスタートボタンを押した後マシンまかせで寝てしまったので正確な時間は記録していない。読者の皆さんも多分そうすることになるだろう*11。

朝起きてできあがったMPEG-2ファイルをDVDirectorの再生ソフトDVDStationでTVモニターでプレビュー確認する。MPEG-2は映像と音声が別ファイル（MPEGビデオとMPEGオーディオ）として作成されるので、プレビュー作業は個別に行なうことになる。

メニュー画面の設計および作成

今回のDVD Videoで表示するメニュー画面は、メインメニューと年選択メニュー、そして1991年から1998年までの年メニューの合計10枚。それらのメニューに連続再生や年を選択するボタンが配置されることになる。

ボタンは、通常の状態／選択／決定の3モードで動くことになるので、Adobe Photoshopでメニューを作る際、それらを別レイヤーにしておく。たとえば、メニューにAとBの2つのボタンがある場合、レイヤーは、メニュー背景、ボタンAの通常／選択／決定、ボタンBの通常／選択／



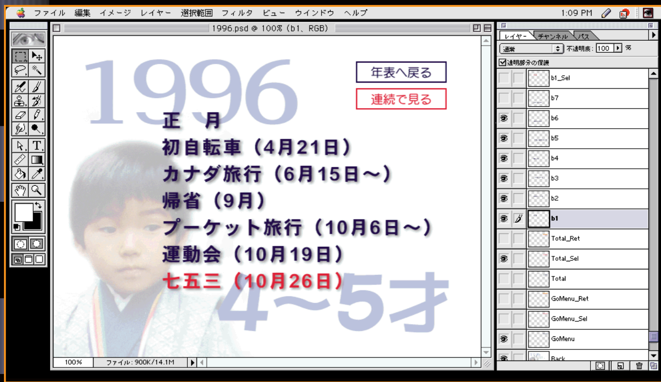
DVDirector付属のMPEG-2エンコーダーソフト「M.Pack」を使い、DVビデオファイルをMPEG-2ファイルに変換。ただし、これはソフトウェアによる作業なので、実際の変換作業は半日近くかかるものと覚悟しておきたい

MPEG-2に変換されたビデオ素材を付属のDVD Stationソフトで再生してみる。映像を小さく圧縮しているとはいえ、画質にはそれほど不満はないはずだ





*10 **2GB以上のファイル**：ちなみにMac OS 9では2,000GB（2テラバイト）まで拡張された。 *11 **M.PackによるMPEG-2圧縮**：この作業時間をできるだけ短縮したい場合は、DVDirector Pro版にアップグレードしてMPEG-2エンコーダーボードを入手することが必要になる。



Adobe Photoshopを使ってDVD Videoで使うメニュー画面をデザインしているところ。このようなメニュー画面作成の手軽さは、さすがMacといったところ。レイヤーウィンドウに表示されているレイヤーの数に注目してほしい

決定、の合計7レイヤーとなる。

画像サイズは通常のテレビ表示サイズである640×480ピクセルで作成するが、できあがった時点でDVDirectorの扱う画像サイズである720×480ピクセルに変倍する必要がある。はじめから720×480ピクセルで作成すると、家庭用テレビに表示した時に、“横詰まり”の画像になってしまうので気を付けよう。

なお、今回は年別だけでなく、その年に起こったできごとも頭出しできるようにしたため、その分のボタンが必要となり、メニューを作る行程にもっとも時間を費やすことになってしまった。ただし、この後DVD VideoのオーサリングをするDVDirectorはPhotoshopのレイヤー情報をそのまま読み込むことができるので、ボタンの数こそ膨大になったが、Photoshopのファイル数はメニューと同じ10ファイルだけで済み、実に整然とまとめることができた。

DVDならではの特集機能は他にもいろいろ

今回は時間の関係でテストでしか使用しなかったが、DVD Videoの字幕（サブタイトル）機能や音声切替機能、画像収録機能、などを使った構成も可能だ。

まず、サブタイトル機能を使った録画場所や日付などのテロップ。これはDVDirectorに入っているSubtitle Editorで作成することができる。テロップを入れるQuickTimeムービーを指定し、テロップを出すポイントと消すポイント（イン・アウトポイント）を決めてテキストを入力するだけだ。テキストの位置や大きさ、色なども自由に設定することができる。できあがったサブタイトルのデータはQuickTimeのテキストトラックとして出力され、そのファイルをDVDirectorにサブタイトル用として読み込むわけだ。

次に、音声切替機能を使用したサウンドファイルの作成。まさか映画のように日本語と英語に切り替える読者も少ないと思うので、ここではその年に流行った歌をCDからAdobe Premiereに読み込んで、映像の長さと同じにダイジェスト編集してみた。DVD Videoで扱うサウンドデータ（リニアPCM）は16／24bitの48／96KHzのデータなので、Premiereで扱うことのできる最高レベルの16bit-48KHzでサウンドだけをAIFFファイルで保存する。

最後に、子供の書いた絵のスキャンデータをメニューと同じ感覚で送り、戻し、などのボタンを付けたAdobe Photoshopファイルにしてみた。ページをめくる感覚で鑑賞することができるわけだ。もちろんデジカメやスチル写真の画像を入れることも可能である。

ここまで揃えれば、もはや完璧なデータベース。万人も感動する（？）親バカ作品が完成するわけだ。

最大のヤマ場は素材同士のオーサリング作業

さて、作業もいよいよ大詰め。揃った素材をDVDirectorでDVD Video形式にまとめていく。

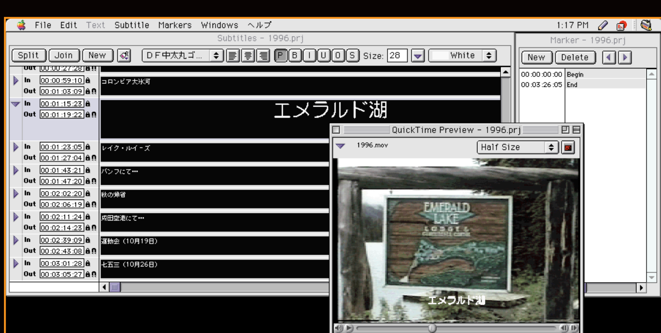
はじめに、全体の設定を行なうウィンドウでDVD Videoの映像方式を日本の映像規格であるNTSC方式に設定する。このウィンドウでDVD Videoのリージョナルコードも設定できる。これはDVD Videoを再生できる国や地域を限定するもので、著作権を守るために存在する。ちなみに日本のコード番号は2で、この設定をしたDVD Videoはコード番号の異なる外国のプレイヤーでは見ることはできない。自分の子供の映像をアメリカにいる友人に見てもらいたい読者は、このコードを「ALL」に設定してセキュリティを解除しておく*[12]。

次に、素材をすべてDVDirectorに読み込む。読み込まれたファイルはプロジェクトウィンドウのAssetsコンテナに収納されるので、ここから同一ウィンドウにある用途に応じたコンテナに振り分けていく。

そして、メニュー画面用のPhotoshopファイルをMenuコンテナにドラッグし、さらにMPEG-2の映像ファイルをTrackコンテナにドラッグする。映像ファイルをドラッグすると自動的にトラック番号が振られ、そのトラックに付随するオーディオ／サブタイトル／マーカー、そしてver1.5から追加されたストーリーといったサブトラックが自動形成される。このサブトラックに、その映像と同時に再生するMPEGサウンドファイルやAIFFファイル、サブタイトル用のQuickTimeファイルをドラッグする。

素材がすべてコンテナに収容されたら、いよいよ具体的なオーサリングだが、その前に次ページ上図を見ていただきたい。これはDVDプレイヤーの代表的なリモコンボタンだ。オーサリングはこれらのボタンに対応させることを考慮する必要があることを覚えておこう。

まずはじめにDVD Videoをスタートした時の最初のアクションを決定する。ここでは最初にメインメニューが出るようにしたいので、アクションをメインメニューのPhotoshopデータに設定

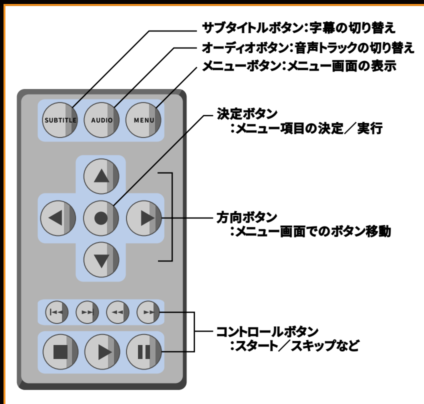


Subtitle Editorでの作業画面

子供の落書きも貴重な映像素材である



?12 **DVD Videoタイトルのコピー防御策**：通常、映画などの商用DVD Videoタイトルには、このリージョナルコード判定以外にも2種類の著作権保護策が施されている。これにより、ビデオテープのダビングのような作業はDVD Videoでは実質不可能となっている。



DVD Videoプレイヤーにおける一般的なリモコン機能

する。もしいきなり映像を再生したいのであればそのトラックを指定するわけだ。

次に、リモコンボタンに対する全般的な設定を行なう。たとえば、どのトラックの映像を見ていてもリモコンの「メニュー」ボタンを押せばメインメニューに戻れるようにするのであれば、リモコンのメニュー設定をメインメニューのデータに指定しておく。

素材がコンテナに収容されると、自動的にグラフィカルビューに全素材が表示されるので、これを元にメニューやトラックの設定を行なう。

オーサリング工程で各トラックの設定を行なう

各トラックの設定では、マーカーの指定やそのトラックの再生後のジャンプ先などを設定する。マーカーの指定ではスライダーを動かして映像を操作し、目的の場所を出してマーカーの名前を決めていくというインターフェイスだ。

トラックの設定が終わったら、メニュー画面にボタンを配置してトラックや別メニューへのジャンプ先を設定する。まずメニューの設定ウインドウを開き、そこで常時表示されるレイヤーや、ボタンの位置とそのボタンの動作（通常・選択・決定）に対応するレイヤーを指定する。操作はウインドウのポップアップメニューからレイヤーを選ぶだけだが、この時、マトリックスを使えばさらに簡単にボタン機能とレイヤーの関連づけをすることができる。

次に、それらのボタンのジャンプ先を指定する。ジャンプ先には先述のマーカーやストーリーも含まれるので、任意の場所の頭出しボタンなどもここで設定することができる。ここでもマトリックスを使うことが可能だ。

こうして次々にリンクを指定していくと、オーサリングは完了する。

プレビュー確認したらDVD-RAMで試し焼き

オーサリングが完了したら、全映像を最初から最後までプレビューする。プレビューでは簡単なリモコンウィンドウが表示されるので、そこでコントロールしながら全体の動作を確認する。

問題なければ、このオーサリングデータと素材データをDVD Videoのファイルに一括変換し保存する。できあがったフォルダーの中にはDVD Videoに必要なすべての情報が含まれている。このデータの最終的な確認はMPEG-2ファイルのプレビューに使用したDVDStationで行なうことができる。

企業ユーザーなどがプロモーション用DVD Videoのプレビューを上司や同僚に見せる場合は、冒頭で説明した“DVD-RAMの裏ワザ”を使って数多くコピーを配付*13し、意見を広く聞くことが必要だろう。もちろんいろいろと追加注文が出るだろうから、そのときは落ち着いてまたDVDirectorの画面に戻ればいい。

最後にDVD-R焼きついに自作のDVD Videoが完成

作品が完全に固まったら、最後は待ちに待ったオリジナルDVD Videoのマスター焼きだ。

今回使用したDVD-Rドライブの「DVR-1000」は、DVDの複製用として活用されているもので、DVD-ROMドライブとDVD-Rライターの2台が上下に連結された製品だ。

そのような特殊構造のため、MacのDVD-Rライターとして使用するためには若干の調整が必要となる。まず、DVR-1000の初期SCSI-IDは0番と1番で、0番はMac本体のハードディスクの固定番号であるため、これを変更しなければいけない。次に、DVR-1000を外付けドライブとして動作させるためのモードに設定する。この2点の作業が終われば通常のCD-Rライターと同じ要領でDVDirectorに付属しているToast DVDでDVD-Rディスクにデータを書き込むことができる。

こうしてオリジナルDVD Videoができあがった。家庭用DVDプレイヤーがあるところ、どこでもこの親バカ・インタラクティブタイトルを見る（見せる）ことができるのだ！

以上のとおり、米国で大ブレイクし日本でもその兆しの強いDVD VideoがすでにMacで作成できるということは事実なのだ。これからはMACLIFE読者の間でも、続々とオリジナルDVD Videoを製作する人が増えることだろう。

最後に忠告をひとつ。親バカDVD Videoタイトルを友人に見せすぎて嫌われないように気をつけよう。



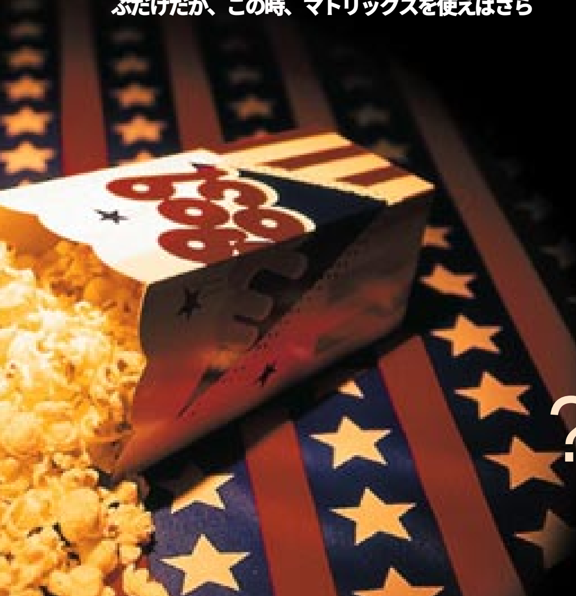
DVD-Rドライブで作成した自主DVD Videoのマスターディスク。これはそのまま家庭用DVD Videoプレイヤーで再生することもできる



自分の作品を一度DVD-RAMに焼いて、iMac DVでDVD Videoディスクとしてシミュレーション再生させているところ。ここでメニューボタンの動作などをチェックしている



MPEG-2での再生はまったく問題がないことを確認。今度時間があれば、ぜひサウンド面で凝った演出をしてみようと思う



*13 DVD-RAMでのコピー配付：P.111の本文で解説しているとおり、DVD-RAMディスクは家庭用DVD Videoプレイヤーでは再生できないが、裏ワザとしてiMacなどに内蔵されている松下製DVD-ROMドライブでのみ“DVD-Videoディスク”として再生することができる。最近ではこのDVD-RAMによるマスター入れを受け付けるDVDプロダクションも現れているとのことなので、そのような場合はDVD-Rドライブを購入する必要がないかもしれない。

COLUMN

低予算でDVD Videoを製作したい！

パーソナルユーザーでも始められる、低価格DVD製作ツール群をソフトウェア・トゥーがまもなくリリース

本特集を読んで「私もDVD Video作品を作りたいけど、やっぱりお金が…」という読者に朗報が飛び込んできた。前ページで紹介したDVDirectorの販売元であるソフトウェア・トゥーが、エントリーユーザー向けの低価格DVD製作ツールをもうすぐ発売することが明らかになったのである。製作にあまり予算を割くことのできないパーソナルユーザーでも、これらのエントリー製品を使うことで少しずつレベルアップできるはずだ。

DVD製作ビギナーはステップを踏むことが大切

DVDirectorなどのパッケージ製品が登場し、いくらMac単体でDVD製作が可能になったといっても、それはやはり映像の世界。プロレベルの作品をつくるには、十分なノウハウ・時間・体力が必要になる。

DVD Video製作に興味はあるが、ノウハウも時間も（そして予算も）ないパーソナルユーザーは、いったいどこから始めたらよいのだろう？そのような要求に答えるようなエントリー向け製品が今年の年末あたりから続々と登場してくることが明らかになった。

ダビング感覚で映像をMPEG-2化するDVDelight RT

DVDirectorの開発元でもある米国ASTARTE社の次期製品として噂されているのが、「DVDelight RT」だ。

この製品は、DV用のFireWire対応リアルタイムMPEG-2変換ボードと、MPEG-2映像／音声を単一のDVD Videoストリームに変換[*1]するDVDelightアプリケーションをバンドルしたパッケージである。

DVDirectorのように市販のDVD Videoタイトルに迫る派手な演出は一切できない。しかし、単なるダビング感覚で既存の映像素材をDVD Video用に変換したい場合には、必要十分なキットとなるはずだ。最近のDVカムでは簡単な編集／場面の切替効果／タイトル挿入が可能なので、このDVDelight RTとDVカム、そしてDVD-RAMドライブを組み合わせれば、DVD Video製作の練習キットとして大活躍することだろう。

既存のDTVユーザーも、本製品で手持ちのビデオ素材をそのままMPEG-2に変換することで、1時間の映像もわずか2GBで保存可能となる。これまでユーザーが頭を悩ませてきたハードディスク容量、取り込み時のコマ落ちなどからすべて解放されるはずだ。

DVDelight RTの国内販売元となる予定のソフトウェア・トゥーでは、この製品にデコーダーボードも付けた国内版をコンシューマー向けに企画中とのこと。パーソナルユーザーでも納得する低価格パッケージとなることが明らかになっているので、同社からの正式発表が待たれる。

VHSレベルの画質でいいのならVideo CD製作から初めよう

「高画質・高音質なんてこだわらない。なんでもいいから、自分の作品をみんなに配付したい」

そのような読者は、DVDではなく、ひとつグレードを下げてVideo CD[*2]制作から始めてもいいだろう。

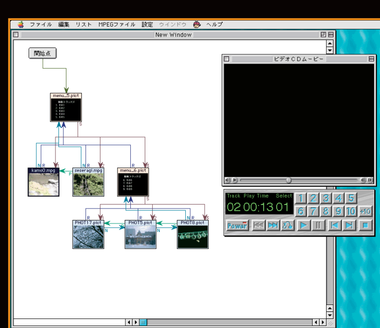
現在、Mac上でVideo CDの作成（エンコード、オーサリング、Video CD形式でのCD-Rへの焼込み）が、パーソナルレベルでできるソフトは1つも存在しない。しかし、なんとそれを可能にするアプリケーションもやはりソフトウェア・トゥーからユーザーの手の届く価格帯で近日中に製品化されるらしい（製品名は不明）。

すでにビデオ入力環境とCD-Rドライブを保有しているMacユーザーは、このソフトさえ購入すれば、すぐにでもプロレベルのVideo CD作品を製作することができる。Video CDの映像はMPEG-1方式なので画質と音質はVHSカセット並み。記録時間もVideo CD 1枚あたり1時間に制限されてしまう。MPEG-2方式で高画質・3DサウンドのDVD Videoにははるか及ばないが、しかし、エントリー製品と考えればこれでも十分満足できるはず。

おまけに、市販されているほとんどのDVD Videoプレイヤーはそのままvideo CD再生もできる。「最近DVD Videoプレイヤーを買ったんだ」と喜んでいる友人や仲間に、自分の子供の成長記録を収録したVideo CDを送りつけるというのもおもしろいだろう。

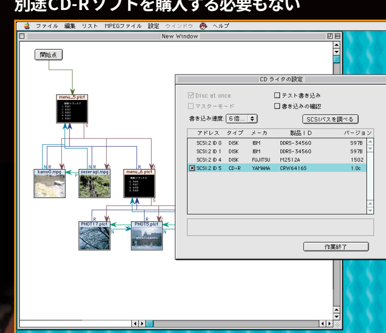


DVカメラとMacは持っているが、今ひとつ使いこなせていない読者も多いはず。そのような場合は、本ページで紹介されたエントリー製品から始めて、少しずつレベルアップしていくことをお薦めしたい。そこで得たノウハウは将来必ず役に立つはずだ



これがソフトウェア・トゥーが近日発表を予定しているエントリー向けVideo CDオーサリングソフトの画面。いっきにDVD Video製作から始めるより、このVideo CD製作で練習を重ねるというのも合理的な選択だ

これはCD-Rドライブの設定を行なっているところ。別途CD-Rソフトを購入する必要もない



*1 単一のDVD Videoストリーム：DVDelightは単に映像ソースを1つのMPEG-2ファイルに変換する機能しかもたない。つまり、兄弟製品のDVDirectorのように複数トラックへ振り分けてオーサリング編集するということはできないのだ。
*2 Video CD：CDのビデオ再生規格。1枚のCDにMPEG-1圧縮された映像を約1時間記録することができ、パソコン上でも直接再生できる。Video CD版の映画タイトルなども、種類は少ないが大手ビデオショップで販売されている。

集中レポート



文●村上みゆき
イラストレーション●戸田幸子

年賀状に最適な ソフト＆プリンター



今年も残すところあとわずか。
年賀はがきや年賀切手も販売され、
年賀状の作成準備を始める季節がやってきた。
今年は、1000年に一度のサービスとして、
1999年12月15日から20日までに投函した年賀郵便物に
「2000.1.1年賀」の押印をしてくれるサービスもある。
ちょっと早めに年賀状作りを始めてみてはいかがだろうか？
宛名書きソフトウェアもそれぞれバージョンアップされ、
プリンターも新機種が発売されている。
ここでは、宛名書きソフトウェア、
各社プリンターなどの紹介しながら、
美しい年賀状を作成するコツやポイントを紹介しよう。





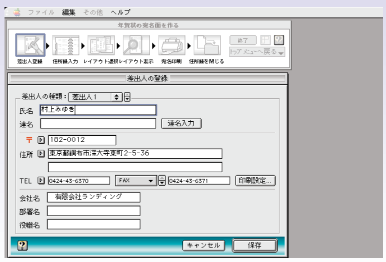
要チェック！

宛名書きソフトウェアを使ってみよう

美しい年賀状を作成するのに欠かせないのが、宛名書きソフトウェアだ。裏面は、グラフィックソフトウェアだけでも作成することはできるが、宛名面の作成には、宛名書きソフトウェアを使うことをお薦めする。宛名書きソフトウェアを使えば、簡単にきれいな年賀状を作成することができる。年末の忙しい時期に手間がかからないというのは重要なことだ。それでは宛名書きソフトウェアの使い方を簡単に紹介しよう。現在、いろいろな宛名書きソフトウェアが発売されており、細かい操作や、機能に違いこそあれ、基本的な操作の流れはどのソフトウェアも同じ。ここでは「宛名職人ver.7」を使ってソフトウェアの使い方を紹介するが、他のソフトウェアでも参考になるだろう。

1

最初に差し出し人を登録する。差し出し人の登録は、宛名書きソフトウェアによって異なるが、複数の差し出し人を登録できるものが主流となっている。

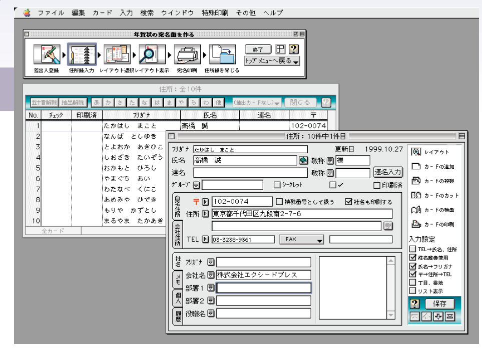


ワンポイントアドバイス❶

家族全員で使う場合は、それぞれに差し出し人を登録したり、夫婦連名、家族連名で登録するなど、使い分けが可能。また、会社の肩書き付きの差出人や肩書きナシの差出人など、ユーザーによっていろいろな使い道が考えられる。上手に利用しよう。

2

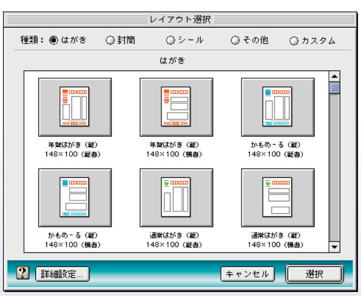
差し出し人を登録したら、次は住所録の作成。姓名辞書や郵便番号辞書、電話番号から住所を自動入力する電話番号辞書など、入力作業を軽減するいろいろな機能があるので有効に活用しよう。手間のかかる作業だが、住所録は来年も使えるのでがんばろう。



ワンポイントアドバイス❷

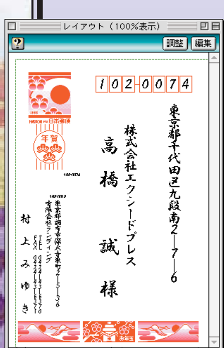
他に住所を入力したアドレス帳などのデータがある場合、データ形式や使用しているアプリケーションによって、そのデータを活用できる場合もある。最近の宛名書きソフトウェアは、データの読み込み、書き出しに対応しているものも多く、タブやカンマ区切りのテキストなどでデータを書き出せば、宛名書きソフトウェアの住所録の項目に対応させてデータを読み込ませることができる。

3



住所の入力が完了したら、宛名面のレイアウトを設定する。縦書き、横書きといった年賀状用のレイアウトは、どのソフトウェアにも必ず用意されているので、好きなものを選んでおこう。

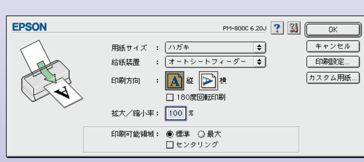
4



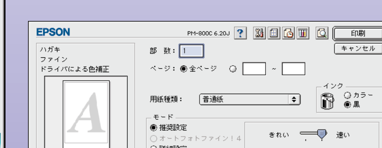
印刷を始める前にレイアウト画面で宛名書きを確認しよう。ここで、使用しているフォントや宛名書き、差出人の位置などを調整することができる。

5

レイアウトがOKなら、試しに1枚だけ印刷してみる。まず、アップルメニューのセレクタから使用するプリンターのドライバーを選択する。次に用紙サイズや印刷方向を設定。用紙のサイズは、「ハガキ」や「官製はがき」を選択する。そして、宛名書きソフトウェアで、印字可能範囲を見ながら、印字位置を確認し、1枚だけ印刷してみる。宛名面の場合は、用紙の種類はよほど特別なものを使用していないかぎり、普通紙を選択すればよい。ここでの詳細な操作は、使用しているプリンターやソフトによって異なるので、それぞれのマニュアルやオンラインヘルプを参照してほしい。

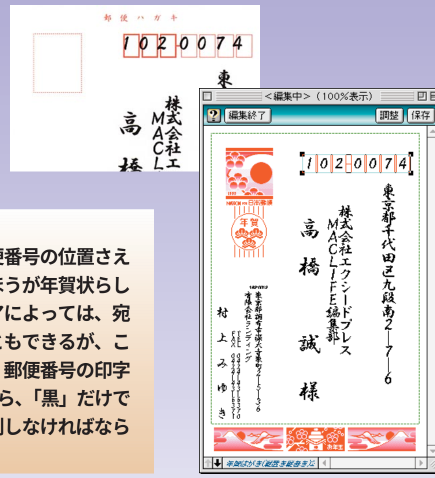


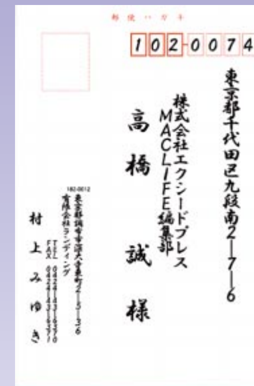




6

実際に印刷したハガキを見て、いろいろな位置を微調整しよう。とくに郵便番号の位置はズレることが多い。これは、プリンターの印字可能領域やハガキの種類による微妙な位置の違いによるものだ。こういった場合は、宛名面のレイアウト機能を使って、郵便番号の位置を調整する。目測でしか調整できないので、印刷と修正を繰り返しながら、根気よく調整しよう。



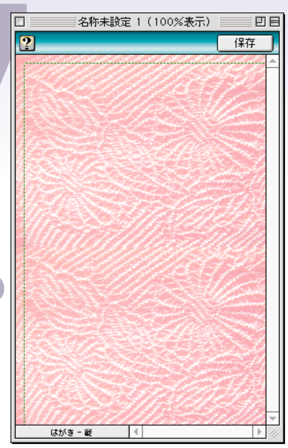


ワンポイントアドバイス ❸

郵便番号の枠は、印刷するハガキによって赤い枠線がない場合がある。郵便番号の位置さえ合っていれば、郵便局の自動仕訳は可能ということだが、赤い枠があったほうが年賀状らしい。どうせなら、赤い枠を自分で書き足してみよう。宛名書きソフトウェアによっては、宛名書き画面に表示されている赤い枠をそのまま印刷するように設定することもできるが、この機能のないものは、図形ツールなどを使って赤い枠を描く。この場合は、郵便番号の印字位置を微調整する必要がないので便利。ただし、印刷時に、住所氏名だけなら、「黒」だけで印刷できるが、郵便番号枠を印刷しなければならない場合は、カラーで印刷しなければならず、印刷に時間がかかってしまうので注意。

7

次に、裏面を作成しよう。まず、背景画像を配置する。プリンターには、紙送りの関係上印刷できない部分がある。ハガキ全面に背景画像を配置する場合は、まわりに白い余白ができることを考慮したデザインを考えるか、少し大きめの用紙に印刷して、後から切り落とすようにしよう。背景画像を配置したら、その上にイラストや写真をレイアウトする。背景画像の上に配置した画像の一部を透明にする機能がある宛名書きソフトもある。上に配置する画像の背景を白地、あるいは単色で作成しておくと、簡単に背景画像と合成できるので便利だ。





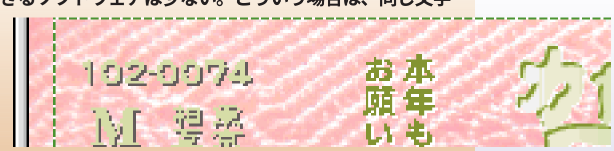
8



文面に文字を入力する。差し出し人の名前や住所、年賀状特有の決まり文句など、文字を入力し、色やフォントを設定する。

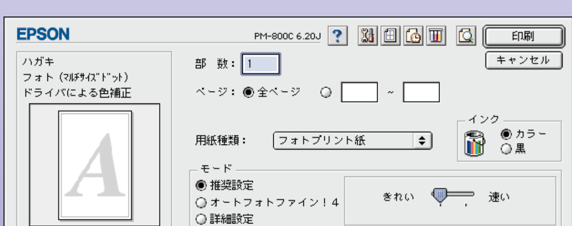
ワンポイントアドバイス ❹

背景に柄がある場合、文字の色が決めにくい場合がある。こんなときは、影文字を使うとよいのだが、影文字の影の色を設定できるソフトウェアは少ない。こういう場合は、同じ文字を2つ入力し、それぞれ違う色の設定にして少しずらすと、影文字のようになって文字が目立つようになる。ただし、やりすぎるとかえって読みにくくなるので、注意しよう。



9

レイアウトが完了したら、実際に印刷してみよう。文面を印刷する場合は、プリンターの設定を使用する用紙の種類にあったものに変えなければならない。使用する用紙によって、印刷の精度や時間が異なるので非常に重要だ。とくに印刷に使用するプリンターメーカー指定以外のハガキを使っている場合は、テスト印刷が必要だ。また、印刷の精度の設定を上げれば、それだけ印刷に時間もかかる。設定を変更しながら、テスト印刷を繰り返し、ちょうどよいバランスで配分するとよいだろう。また、プリンターの用紙設定を行なうと、印字範囲がレイアウト画面に表示されるので、レイアウトの変更を行なわなければならない場合もある。設定ができたら、必要な枚数分の印刷をしよう。





要チェック！

宛名書きソフトウェア紹介

宛名書きソフトウェアは、宛名面、裏面（文書面）の作成に加え、住所録としての機能も装備しており、使いこなせば非常に便利。最近では各ソフトとも、オールシーズンで使用できるような機能を付加するなど、それぞれに特徴を打ち出している。ここでは、主要な宛名書きソフトウェアを紹介しよう。

宛名職人ver.7

7,800円／(株)アジェンダ／011-700-2161／http://www.agenda.co.jp/

Macintoshでシェアno.1のソフトウェア。ガイドパレットで初心者でも簡単地図ソフトや携帯編集ソフトウェアとの連携操作が可能

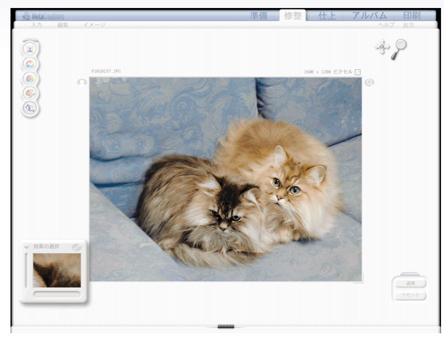
CD-ROM DEMO



「宛名職人」は、Macでは宛名印刷ソフトの定番ともいわれる人気の高いソフトで、シェアNo.1を誇っている。1つのアプリケーション内で、住所録の作成、宛名書き印刷、裏面作成の3つの機能を使うことができる。操作も簡単で、ガイドパレットに表示される手順どおりにデータを作成すればよい。宛名面の作成も微妙な位置調整が可能なので、初心者でも簡単に、宛名面、裏面ともに美しい年賀状が作成できる。

住所録は、住所や電話番号だけではなく、誕生日や趣味といった、さまざまな情報が入力できるように工夫されており、個人情報管理ツールとして年間を通して活用可能だ。また、前バージョンから搭載された住所録を会社、友人といったグループ単位で登録できる機能も健在で、送り先ごとにレイアウトを変えて印刷するときにも便利だ。住所録の処理速度も速く、ダイレクトメールが大幅に割引になるカスタマバーコードを自動生成する機能もあるので、小規模事業や商店での使用にもお薦めできる。

今回のバージョンアップでは、携帯電話メモリーソフトウェアと連携し、入力されている個人情報を携帯電話に登録することもできるようになった。さらに地図ソフトウェアとも連携し、入力されている住所で地図を表示させることも可能だ。



裏面作成機能はレイアウトが中心で、デジタルカメラの画像を取り込んだり、簡単な図形しか作成できないが、付属の簡易グラフィックソフト、トライペイントである程度のグラフィックスを作成できるし、Kai's Photo Soap 2（右下図）を使えば、フォトレタッチも可能だ。

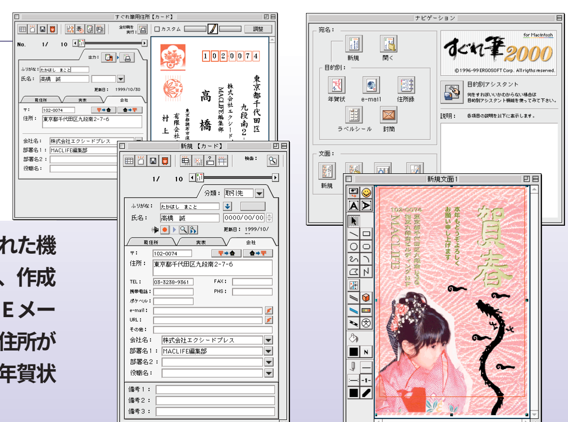
対応機種も幅広く、68030以降の機種でも動作するというところも好感が持てる。

すぐれ筆2000

6,200円／(株)エルゴソフト／045-565-3330／http://www.ergo.co.jp/

充実したグラフィック機能で、簡単な画像補正ならお手のものメール年賀状作成機能が付加され、インターネットで年賀状送付ができる

CD-ROM DEMO

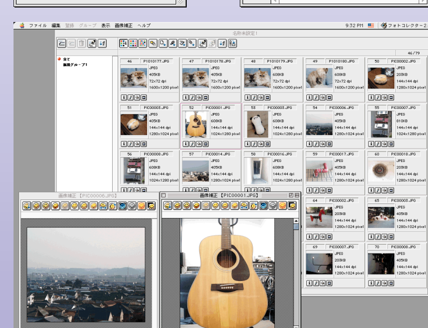


「すぐれ筆2000」は、宛名や住所録を作成する「すぐれ筆宛名」、裏面を作成する「すぐれ筆文面」、お知らせ機能を持つ「すぐれ筆アラーム」、すぐれ筆の操作を適切にナビゲートする「すぐれ筆2000」の4つのアプリケーションから構成されている。そのため、個々のアプリケーションの動作は軽快で使いやすい。前バージョンでは、アプリケーションが独立しているために操作がわかりにくいという問題もあったが、今回のバージョンアップから追加されたナビゲート機能「すぐれ筆2000」がその問題を解決している。これは、ユーザーが使用するべきアプリケーションや行なうべき操作などを適切にナビゲートし、「目的別アシスタント」機能によってウィザード形式で適切なアプリケーションを起動させたり、「すぐれ筆宛名」の目的別モードや「すぐれ筆文面」の文面アシスタント機能を起動するというもの。

そのほか、今回のバージョンから追加された機能に「e-mail年賀状機能」がある。これは、作成した文面ファイルをJPEG形式に変換してEメールで送信する機能で、これを利用すれば、住所がわからないメール友達などにもEメールで年賀状を送ることができる。

文面作成画面には、簡単にきれいな地図を作成できる地図作成機能、色調補正やエンボス、モザイクといったさまざまなフィルターを使用できる画像編集機能など、グラフィック作成に欠かせない充実した機能が搭載されている。

なお今回のバージョンには、フォトコレクター2.0も同梱されており、作成した画像やデジタルカメラから取り込んだ画像などを管理することもできる（右下図）。



対応機種は、PowerPC搭載機（青白G3、iMac対応）のみ。

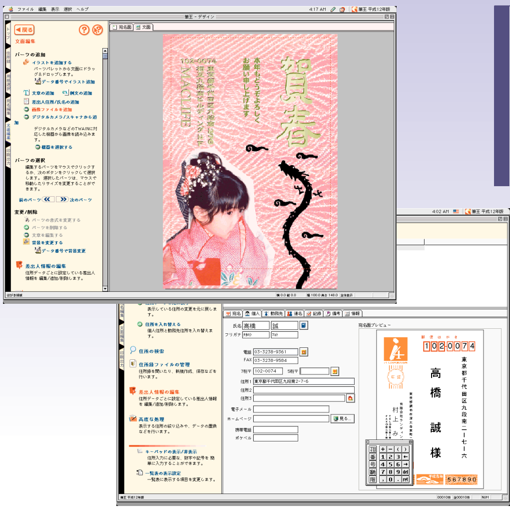
ワンポイントアドバイス

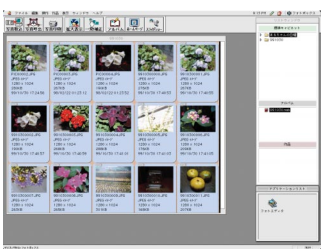
どのソフトを買ったらいいのか迷ったら？

昨年から引き続き、宛名書きソフトウェアを使っているのなら、今まで使っていた宛名書きソフトウェアをバージョンアップして使用するのが安上がり。しかし、今年初めてMacで年賀状を作成するという人にとっては、どのソフトウェアもそれぞれ特徴があり、迷ってしまうという人も多いだろう。そういう場合は、ソフトウェアの機能以外の部分で選んでみるのもよいかもしれない。

まず、第一のチェックポイントは、おまけのソフトウェア。画像管理ソフトウェアが付いているものや画像加工ソフトウェアが付いているもの、など、なにが自分に必要なのかということだ。

第二のチェックポイントは、添付されているイラストやフォントの数と種類。これは忘れがちだが、美しい年賀状作りに欠かせないアイテムだ。





筆王平成12年度版

4,800円(デジカメNinja付き6,800円)／(株)アイフォー／03-5436-7850／http://www.ifour.co.jp/

Webページ風インターフェイスで、初心者でも簡単操作
デジカメNinja付きバージョンなら画像データの管理も可能

CD-ROM DEMO

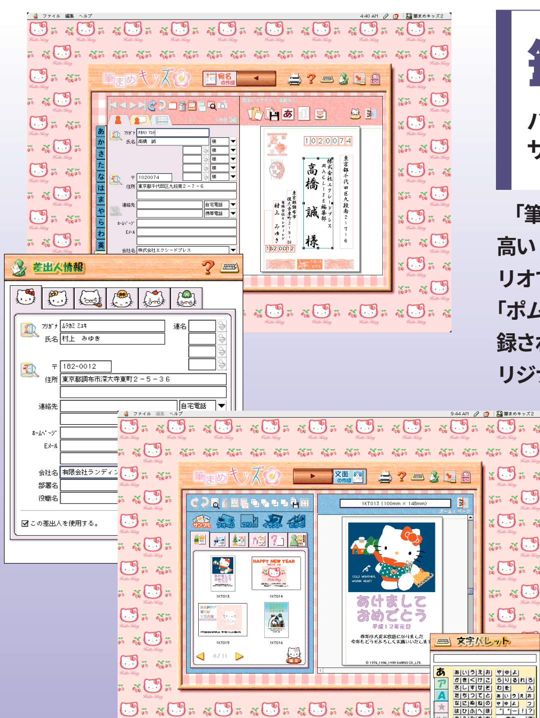
Webページ風インターフェイスが特徴のソフトウェア。起動すると、操作を選択するためのページ、右側に実際に操作を行なうためのウィンドウが表示される。左側の操作を選択するページ部分には、6つのページに目的の操作が分類されており、自分がしたい操作をそれぞれのページのタブをクリックして選べばよい。

住所録の作成も簡単だ。一番面倒な名前の入力も搭載されている24万件の姓名辞書により楽に入力することができる。住所も郵便番号や電話番号から変換することができる。付属の「電話番号CD-ROM」には1999年5月までに発行された電話帳をもとに作成された4,120万件が収録された電話番号辞書が搭載されており、電話帳に登録されている電話番号であれば、郵便番号、住所、氏名まで自動的に入力できる。

裏面の作成も簡単。デザインサンプルや文例、イラストなどのデータも4,700個以上添付されている。イラストデータは、フルカラーイラスト集の冊子に掲載された番号を入力して選択できるので、たくさんの数のイラストをブラウズする必要もなく便利だ。また、「デジカメNinja」付きも同時に発売されており、デジタルカメラから画像を取り込んだ、写真入りはがきを作成する場合は、これを利用するとよいだろう。

なお、Webブラウザーを使ったオンラインヘルプも付属しているが、1999年11月1日から2000年1月4日までの12:00～20:00の間、土日祝日、正月三が日も電話サポートを受け付けているので、初心者でも安心して使うことができる。

ただし、今回のバージョンは、iMacおよびPower Mac G3シリーズでしか動作しないので注意しよう。



筆まめキッズ2

5,800円／(株)クレオ／045-475-1491／http://www.creo.co.jp/

ハローキティのデスクトップ画面がかわいいソフトウェア
サンリオのキャラクター「ハローキティ」と「ポムポムプリン」のイラスト収録

「筆まめキッズ2」は、Windows版では評判の高い「筆まめ」のサンリオキャラクター版。サンリオで大人気のキャラクター「ハローキティ」と「ポムポムプリン」のイラストが約500点ほど収録されており、サンリオキャラクターを使ったオリジナルポストカードが作成できる。とくに「ハローキティ」は1974年の誕生から現在までの歴代デザインがすべて収録されており、「ハローキティ」ファンは、デジタルデータとして、キティの歴史を持っておくことができるという付加価値もある。サンリオキャラクター以外にも年間を通して使用できるイラストや写真、文例集、テンプレートなどもちゃんと用意されているため、自分だけの名刺やネームラベル、シールを手軽に作成することが可能だ。

また、操作方法もやさしく、タイトルの「キッズ」どおり、子供でも使えるように、アイコンをクリックするマウス操作だけで、年賀状を作成することができる。しかし、操作が簡単だからといって機能が少ないわけではない。電話番号から検索可能な約12万件の「7桁郵便番号辞書」と難しい氏名の漢字も簡単に入力できる約25万件収録の「姓名辞書」が添付されている。裏面の作成もトリミングや回転、色相、彩度、明暗の調整などのフォトレタッチ機能や点描画、スケッチ、色鉛筆といった簡単な特殊効果も搭載されているため、デジカメから取り込んだ画像や写真などを簡単に加工、調整することも可能だ。

残念なのは、iMac、Power Mac G3、Power Book G3（標準でPowerPC G3を搭載したMacのみ）にしか対応していないので、G3以前のMacを使っているユーザーは使用できない。

要チェック！

各社主要プリンター紹介

主要プリンターメーカーがこの秋発売したA4プリンター4機種を紹介しよう。
ここでは、宛名書きソフトウェアを使って、宛名面、裏面を印刷する際の印字速度、美しさ、使用感をテストした。
官製年賀はがきに刷った場合、インクジェット用紙に比べて、よい結果は得らなかったため、
テストは、光沢紙とインクジェット用普通紙の2種類（プリンターによっては他の用紙もテスト）で行なった。
一昨年からインクジェット用の官製年賀はがきも発売されており、美しい年賀はがきには専用紙をお薦めする。



印字方式	MACH方式
解像度(dpi)	1440×720dpi・720×720dpi・360×720dpi・360×360dpi
使用可能用紙サイズ	A6縦～A4縦、ハガキ
対応用紙の種類	専用紙､普通紙､光沢紙､光沢フィルム、ラベルシート、専用OHPシート、洋型封筒1号～4号、長型封筒3号/4号、専用ロール紙（89mm/100mm/A4幅)、官製ハガキ、往復ハガキ、官製ハガキ（インクジェット紙)、専用ハガキ
給紙方式	フリクションフィード（ASF付）
給紙可能枚数	普通紙（A4）：100枚（55kg紙)、ハガキ：30枚
インターフェイス	IEEE1284準拠双方向パラレルインターフェイス、USBインターフェイス
同梱物	マニュアル、インクカートリッジ、専用紙パック（5枚)、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROM（ガイダンスドライバ)、アプリケーションソフトCD-ROM(EPSON COLOR IMAGING LABO2&エプソンイメージパレット&私暦&デイジーコラージュ3&ニィス日本語TrueTypeフォント1書体&リョービ日本語TrueTypeフォント3書体)
大きさ/重さ	470×285×175mm/約5.2kg
消費電力・電源	約15W・AC100V±10%

エプソン PM-800C

価格●59,800円
問合せ●エプソンインフォメーションセンター(042-585-8444)
http://www.i-love-epson.co.jp/

速くて、静かで、きれい。三拍子揃った高性能プリンター

一番最初に驚いたのが、印刷中の音の静かさだ。日中印刷している場合は、ほとんど音が気にならない。深夜静かな時間に印刷していても、Mac本体のファンの音のほうがうるさい感じがするくらい静かだ。あわただしく作成することが多い年賀状の場合、深夜印刷することになってしまうケースも多い。この静かさなら深夜印刷する場合も回りに気を使う必要はないだろう。

印字速度も速い。以前からエプソンのプリンターの印字速度は速かったが、また一段と速くなったという印象を受けた。宛名面を10枚印刷する場合、印字速度は2分30秒。写真を使った文面では、一番きれいに印刷できる設定にして印刷した場合、10枚で13分40秒。エプソンから発売されているハガキ用紙は、フォトプリント紙とスーパーファイン専用紙の2種類があるが、どちらの用紙で印刷した場合も印字時間は変わらなかった。写真が使ってある画像の場合、見映えはフォトプリント紙の方がよいのはあたりまえだが、仕上がり自体は光沢があるかないかの違いだけで、ほとんど同じように見える。また、参考までに推奨設定ではないが、印字の速度を「きれい」から「はやい」に変更して印刷してみたところ、フォトプリント紙、スーパーファイン専用紙ともに、7分19秒、7分8秒と1/2に近い時間で印刷することができた。印刷のクオリティはやや落ちるものの、印字時間を考えるとこれでも十分なのではないかと思ってしまう。

耐水性もよい。フォトプリント紙の場合は、水につけても、宛名面、文面ともにまったくにじみは見られなかった。

少し、気になったのは印字範囲だ。用紙設定をハガキにした場合、左右の用紙の印字範囲が異なってしまう。ただし、このプリンターの場合、幅100mmのフォトプリントロール紙を使うと左右の余白ナシで印刷することが可能。ただ、この用紙はロール紙で連続しているため、上下は自分で切らなくてはならない。大量のハガキを印刷する場合には手間がかかることを覚悟しておこう。



●用紙
普通紙
●印字設定
推奨設定(はやい)、黒のみで印刷
●印字速度
2分30秒/10枚



●用紙
フォト・クォリティ・カード2(エプソン販売：400円/20枚)
●印字設定
推奨設定(きれい)で出力
●印字速度
13分40秒/10枚
●参考データ
「はやい」での印字速度
7分19秒/10枚



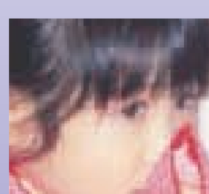
●用紙
スーパーファイン専用ハガキ(エプソン販売：500円/50枚)
●印字設定
推奨設定(きれい)で出力
●印字速度
13分40秒/10枚

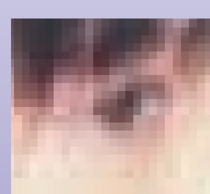


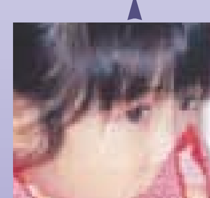
●用紙
スーパーファイン専用ハガキ(エプソン販売：500円/50枚)
●印字設定
「はやい」で出力
●印字速度
7分8秒/10枚

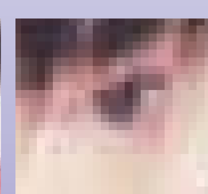

100%


300%


100%


300%


100%

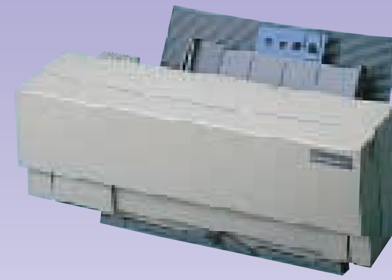

300%

集中レポート 年賀状に最適なソフト&プリンター

アルプス MD-5500

価格●59,800円
問合せ●アルプス電気（045-544-8240）
http://www.alps.co.jp/brand/printer/

用紙を選ばない、多色刷りが可能なプリンター



このプリンターの一番の特長は、紙を選ばないということだ。どの用紙でも印刷の方法によってほぼ同じクオリティで印刷することが可能だ。

アルプス電気のプリンターは、薄膜フィルムに水分を含まない、Micro Dryインクをコーティングしたインクカセットを使う。水分をまったく含まないので、インクが紙に浸透することがなく、紙によって印刷のクオリティが異なるということがなく、耐水性もよい。ただし、表面にざらつきがある紙の場合は、カラーを印刷する前にMFインクという紙をコーティングするインクで、下地を整えてから印刷する必要がある。光沢も同様に、用紙ではなく光沢インクで仕上げるため、官製はがきでも光沢で印刷できる。

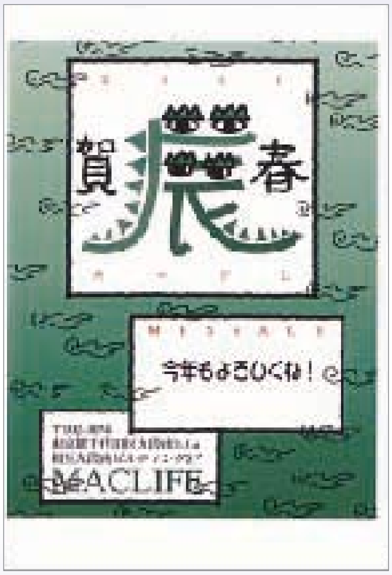
インクカセットは、各色ごとに別々に装着する。通常の印刷に使用するCMYKの各インクカセットのほかに、下地を整えるMFインク、光沢仕上げを行なう光沢インク、フラッシュゴールド、フラッシュシルバーのインクカセットも用意されているので、デザインの幅も広がるだろう。

ただし、この印字方式は、各インクカセットごとに紙を前後させて印字するために非常に時間がかかってしまうということが難点だ。たとえば、光沢なしの場合は、10枚あたり32分02秒で印字できるが、光沢ありで印刷する場合は、光沢インクを印刷することになるため、42分56秒とさらに時間がかかってしまう。これは、官製はがきに印刷する場合に使用するMFインクや多色刷りに利用する金、銀などでも同じことで、印刷時間は使用するインクカセットの数、要するに色数によって変わる。

また、用紙を選ばないのはいいのだが、専用のVDフォトハガキ以外では、上下の印字範囲が極端に狭く（余白が多く）なってしまうのも難点。さらに、専用のVDフォトハガキ用紙が、フラッシュゴールド、フラッシュシルバーのインクカセットに対応していないのも残念だ。

色の再現性などもよく、ソフトウェアRIPを使えば、PostScriptにも対応させることもでき、グラフィックデザイナーなどが使用するにはよいだろう。また、ネットワークにも対応しているので、小規模なデザイン事務所での使用にも向いている。しかし、ハガキの大量印刷に関するならば多少の不自由さを感じてしまう。

印字方式	溶融型熱転写方式（オプションキットにて昇華型熱転写方式も利用可能）
解像度(dpi)	テキスト：1,200×600dpi、VDプリンティング：2,400dpi相当、昇華フォトカラー：600×600dpi
使用可能用紙サイズ	A4タテ、A4ノビ、B5タテ、A5タテ、ハガキ、レタータテ、リーガルタテ、バナー紙
対応用紙の種類	普通紙、官製ハガキ、VD用紙、印刷本紙、VDフォトフィルム、VDフォトハガキ、専用光沢シール、専用OHPシート、アイロンプリントシート、名詞作成シート、厚紙、光沢転写フィルム、フォトカラーペーパー（A4/ハガキ/シール）
給紙方式	自動給紙、手差し
給紙可能枚数	普通紙：100枚、官製ハガキ：30枚、VD用紙：30枚、OHP：30枚、VDフォトハガキ：20枚、フォトカラーペーパー（A4/ハガキ）：20枚
インターフェイス	USBインターフェイス、双方向パラレル（Windows）、SCSI（Macintosh）*SCSIはオプション
同梱物	電源コード、マニュアル、インクカセット・紙用（CMY、MF、黒各1個）、プリンタドライバ、用紙受けトレイ、ダストカバー
大きさ/重さ	462×300×190mm/約5.2kg
消費電力・電源	約54W・AC100V



フラッシュゴールド、フラッシュシルバーを使って、特色印刷。きらびやかな感じで年賀状にはぴったり。印字範囲が限られてしまうのはちょっと残念。余白をなくすには、大きめの紙を使って独自の設定をして印刷し、自分で切り落とさなくてはならない。また、上図のハガキは1枚印刷するのに6分32秒かかった。大量に印刷する場合は多少時間がかかることを覚悟しよう

官製はがきで、下地仕上げあり、光沢ありで出力



官製はがきで、下地仕上げあり、光沢ナシで出力



●用紙
普通紙
●印字設定
下地仕上げなしで出力
●印字速度
5分45秒/10枚

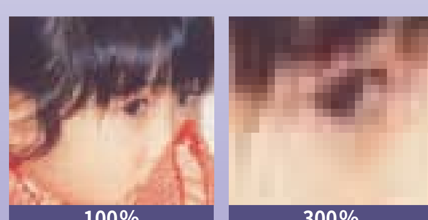


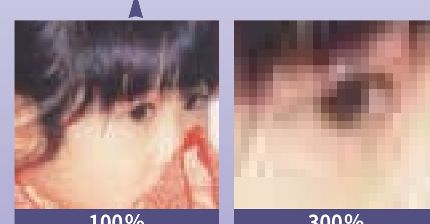


●用紙
VDフォト用紙（アルプス電気：500円/20枚）
●印字設定
光沢ナシで出力
●印字速度
32分2秒/10枚



●用紙
VDフォト用紙（アルプス電気：500円/20枚）
●印字設定
光沢ありで出力
●印字速度
42分56秒/10枚





キヤノン Wonder BJ F850

価格●59,800円
問合せ●キヤノン
お客様相談センター(0570-01-9000)
http://www.canon.co.jp/bj/

スキャナーで写真の取り込みもできるプリンター



キヤノンのプリンターのよいところは、カラーインクのカートリッジが1色ごとに分かれていて、なくなった色だけを交換できて、無駄なくインクを使うことができ、ユーザーによっては経済的であり、地球にも優しいというところ。もちろん、印刷も仕上がりも高品位で十分に満足できるものだ。

また、このプリンターにはオプションのスキャナーカートリッジを取り付けると、プリンターがスキャナーに変身するという機能もある。これはTWINに対応しているので、Photoshopで画像を取り込むこともできるし、プリンターと組み合わせて使えば、カラーコピーのように使用することもできる。使い方は簡単。インクカートリッジをスキャナーカートリッジに取り替えて、スキャンし、読み込みが完了した時点で、再度インクカートリッジを取り付けて印刷する。実際に写真をスキャンしてみたところ、キヤノン製の光沢用紙を使った場合、実物に近いものが印刷できた。この機能を使えば、ハガキ大の用紙に手書きで描いたものをそのままダイレクトに印刷でき、アナログの絵を大量に印刷することも可能になる。

印字速度もなかなか速く、画質も自然な感じの色合いで、好感が持てる。プリンタードライバーの設定もわかりやすく、初心者でも簡単に使える。ハガキの印刷もスムーズで、本当に簡単に使用することができる。

耐水性もよく、光沢紙に印刷した場合などは、水につけてもにじんだりしない。

印字範囲は他のインクジェットプリンターと同様に余白ができるのだが、左右上下すべての余白の幅がバラバラなのはちょっと気になるところ。プリンターの構造上、余白ができるのは仕方ないが、余白が揃っていれば、それはそれで見映えがよいものなので、なんとかしてもらいたいものだ。



●用紙
普通紙
●印字設定
文書：標準（速度優先）
●印字速度
2分50秒/10枚

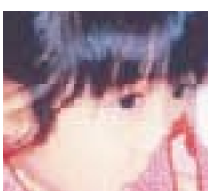


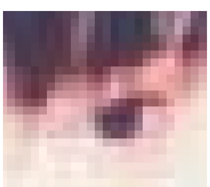
※キヤノン純正品には光沢以外のハガキがないため、ここではサプライメーカーのインクジェット用ハガキを使用

●用紙
普通紙（サンワ：350円/50枚）
●印字設定
写真：高品位
●印字速度
11分1秒/10枚

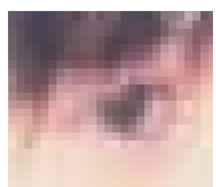


●用紙
フォト光沢ハガキ(キヤノン販売：600円/50枚)
●印字設定
写真：高品位
●印字速度
18分4秒/10枚


100%


300%


100%


300%

印字方式	ノンインパクト　シリアルカラーバブルジェット
解像度(dpi)	1,200×1,200dpi（リアル1,800相当）
使用可能用紙サイズ	A4～A5、レター、リーガル、ハガキ、封筒、バナー紙
対応用紙の種類	普通紙、カラー普通紙、専用紙（高品位専用紙、OHPフィルム、フォト光沢紙、フォト光沢ハガキ、フォト光沢カード、Tシャツ転写紙、マウスパッドキット）、専用シール（フォト、ボコボコ、ギラギラ、ピカピカ、透明、BJクロスヒート）、洋型封筒4号/6号、官製ハガキ(A6サイズ相当)、バナー紙
給紙方式	フリクションフィード、手差し
給紙可能枚数	普通紙(64g/m²)：100枚、官製ハガキ（A6サイズ相当）：40枚　など
インターフェイス	双方向セントロニクスインターフェイス（IEEE1284準拠/ECP対応）、USBインターフェイス
同梱物	BJプリントヘッド、インクタンクBCI-5Y/M/C/PM/PCBk各1個、プリンタドライバ&スキャナドライバ、リファレンスガイドCD-ROM、BJ SQUARE×CD-ROM
大きさ/重さ	450×333×205mm
消費電力・電源	待機時：5W、印刷時：23W・AC100V 50/60Hz

要チェック！

いろいろな用紙で印刷してみよう！

プリンターメーカーやサプライメーカーからは、さまざまな用紙が発売されている。変わった用紙を使えば、面白い年賀状を作成することもできる。他人に差を付けるには用紙も要チェックだ!

余白のない年賀状を作る

プリンターの構造上、左右上下の余白のない年賀状を印刷するのは無理。でも、一回り大きめの用紙を使えば、わりと簡単に余白のない年賀状を作成することができる。右図は、エプソンのフォトカード2で印刷したもの。この用紙は、他社のインクジェットプリンターでも使用することができる写真印刷用の光沢用紙だ。最近では、エプソンのプリンターだけでなく、他社のプリンタードライバーもこのサイズに用紙に対応しているものも増えてきたので、設定も簡単。

切り取り用のミシン目が入っているので、折り曲げるだけで、きれいに余白部分を切り落とすことができる。カッターやはさみが必要ないので、非常に簡単だ。

フォトカード2
（エプソン販売：600円/20枚）







ヒューレット・パッカード Deskjet970Cxi

ネットワーク対応のインクジェットプリンター

価格●57,800円
問合せ●HPカスタマ・サポート・センター(03-3335-8333)
http://www.jpn.hp.com/



ヒューレット・パッカード（以下HPと略）のプリンターは昔からAppleTalkに対応しており、Macintoshのネットワークプリンターとして、個人ユーザー、ビジネスユーザーともに親しまれてきた。このプリンターは、ダイレクトでAppleTlakに接続することができないが、別売りのネットワークサーバーを装着すれば、ネットワークプリンターとして活用することができる。印字速度もそれなり速く、美しく印刷できる。

しかし、ここでは年賀状の印刷ということに限ってテストしているため、正直なところ、このプリンターは、ハガキ印刷に適しているとはちょっと言い難い。

第二に設定したハガキは、通常の位置からは見えなくなり、残りのハガキの分量もわからない。

第三の理由は構造上の問題。HPのプリンターはどれも下から給紙して、奥で巻き戻して印字される。印字が完了すると、用紙をセッティングした位置のすぐ上から出てくる。用紙サイズの大きいものなら問題はないが、ハガキのように小さくて厚みのあるものだと、ロールにうまくからまず、用紙送りがうまくいかず、エラーが起きやすい。テスト中も用紙がうまく送られずに何回も止まってしまった。さらにこの方式のため、左右の余白はともかくとして、上下いずれか一方の余白が1cm以上できてしまう。

また、HPのみ、専用のハガキ用紙を発売していない。ハガキ印字に関して、ややサポートが悪いという印象を受けた。

もちろん、ハガキの印字以外の部分は問題ない。プリンタードライバーの設定もわかりやすいし、使いやすい。とくにこのプリンターから採用された、両面印刷機能などは、環境対策としてもメーカーの姿勢がうかがえる有用なものだし、先に述べたネットワーク対応など、ビジネスプリンターとしての使用には、威力を発揮するだろう。

●用紙
普通紙
●印字設定
ノーマル
●印字速度
3分22秒/10枚



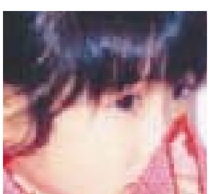


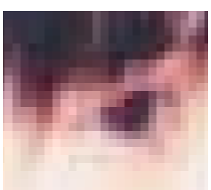
※HP純正品にはハガキ用紙がないため、光沢ハガキに関してはサプライメーカーのインクジェット用ハガキの中でよりきれいに印刷されたものを採用した。

●用紙
普通紙（サンワ：350円/50枚）
●印字設定
「ノーマル」で出力
●印字速度
11分36秒/10枚

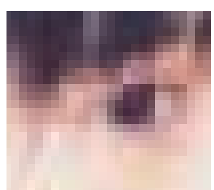


●用紙
光沢ハガキ（富士写真フィルム：500円/30枚）
●印字設定
「高解像度（フォト用）」で出力
●印字速度
33分58秒/10枚


100%


300%


100%


300%

印字方式	オンデマンド型サーマル・インクジェット
解像度(dpi)	最高2,400×1,200dpi
使用可能用紙サイズ	A4、B5、US No.10封筒、DL封筒、C6封筒、ハガキ
対応用紙の種類	普通紙、インクジェット専用紙、フォト用紙、専用OHPフィルム、バナー用紙
給紙方式	自動給紙、手差し
給紙可能枚数	普通紙:150枚、ハガキ:45枚、封筒:15枚、OHP:30枚、バナー:20枚
インターフェイス	IEEE1284準拠双方向パラレルインターフェイス、USBインターフェイス
同梱物	自動両面印刷モジュール、ユーザーズガイド、プリンタセットアップガイド、インクカートリッジ（黒・カラー各1個）、プリンタCD-ROM（Windows/Macintoshプリンタドライバ&グラフィルはがき倶楽部2.0&PhotoStudio3.0&Mega Stitch&Photo Base）、電源コード、保証書
大きさ/重さ	440×370×196mm/5.85kg
消費電力・電源	待機時：4W、印刷時：25W、AC100V 50/60Hz

ホログラムシールを使う

ホログラムシールのハガキ用のものを使うと、1枚のハガキで2度楽しめる、楽しい年賀状が作成できる。まずハガキの文面にシールの内側になる画像を印刷する。そしてホログラムシールに印刷した年賀状をその上から貼り付ける。はがすと中のハガキに印刷した画像がキラキラと光る。アイディア次第でいろいろな使い道が考えられる楽しいシールだ。



キラメール（サンワサプライ：980円/5枚）

変わった用紙を使う

左から印刷した用紙にアイロンを当てると発砲して立体的になる「ぼこぼこシール」（サンワサプライ：500円/5枚）、「和紙はがき」（サンワサプライ：500円/15枚）、印刷すると油絵のキャンバスに描いたみたいな感じになる「キャンバスはがき」（Too：500円/5枚）。このような用紙を使えば、ひと味違う年賀状ができるのは間違いなし。



シルバーとゴールド

インクジェットプリンターなら、対応する金、銀シール用紙がある。この用紙を使って、派手な年賀状を作ってみよう。印刷した用紙をハガキサイズに切り取り、官製はがきに貼り付ければ、雅やかな年賀状の完成だ。



インクジェット粘着用紙
光沢金仕上げ
光沢銀仕上げ
（プラス株式会社：各800円/A4×5枚）

要チェック!

年賀状作成に便利な素材集

宛名ソフトウェアにもさまざまなイラストや写真が添付されているが、それだけではものたりないという人には、素材集がお薦め。いろいろな素材集からお気に入りのイラストを探し出して、オリジナルの年賀状を作成してみよう!!







素材辞典2000年プレミアム

7,800円／(株) データクラフト／03-5772-2355／http://www.datacraft.co.jp/

「素材辞典2000年プレミアム」は、著作権フリーでおなじみの「素材辞典vol.48　クリスマス・お正月編」に干支の辰と2000年のイメージ、100点が収録された「2000年プレミアムディスク」が添付され、合計300点ものイメージが収録されているCD-ROM2枚組の特別限定版だ。プレミアムディスクに収録されているイメージは、写真や書などが中心で、ハガキサイズに加工されているので、文字を入力するだけで年賀状に利用できる。解像度も350dpiと72dpiの2種類用意され、商業印刷に使用することも可能だ。

イラスト玉手箱HGたつ

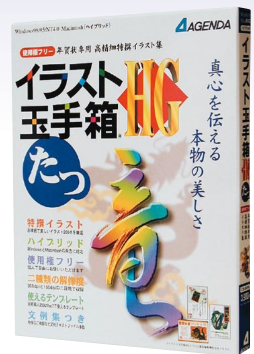
3,980円／(株) アジェンダ／011-700-2161／http://www.agenda.co.jp/

2000年の干支の辰を中心とした年賀状用のイラスト集。写真は収録されておらず、ペン、水彩、エアブラシ、3DCGなど、さまざまなタッチ、タイプのイラストが収録されているので、好みに合わせていろいろ選ぶことができる。解像度も300dpiと150dpiの2種類が用意されているので、インクジェットプリンター用だけでなく、商業印刷にも使用可能だ。その他、同社から発売されている「宛名職人ver.7」、「宛名職人2000」に対応した文字が入力されている裏面データ（テンプレート）や文例集も収録されている。





















年賀状イラスト全集2000

5,800円／(株) エム・ピー・シー／03-3291-6637

「年賀状イラスト全集2000」には、総イラスト数1,210点、すぐに使える年賀状デザイン233点と全部で1,443点ものデータがCD-ROM2枚に収録されている。収録されているデータは、辰年用のものから、縁起物、背景デザイン、デザイン賀詞などさまざま。これらを組み合わせれば、よりオリジナルに近いデザインの年賀状が作成できるだろう。また、すでに文字が入った年賀状デザインやカードデザインの画像データも用意されているので、すぐに年賀状を作成することも可能だ。その他、十二支のデータも収録されているので、毎年使うことができて経済的。

年賀自慢2000

1,280円／発行（株）エクシードプレス、発売（株）ビー・エヌ・エヌ／03-3238-1622／http://www.bnn.co.jp/

素材集はソフトウェアだけではない。最近では、この季節になると、その年の干支に合わせて、年賀状作成のための書籍も多数発行されている。ここで紹介する「年賀自慢2000」もそのうちの1冊だ。年賀状の上手な作り方、きれいにプリントするテクニック、デジタルカメラを使った年賀状作成など、内容もバラエティに富んでいる。プリンターやデジタルカメラの最近機種や、宛名書きソフトウェアなども紹介され、年賀状作成に役立つ情報が満載だ。また、添付の2枚組CD-ROMには、スージー甘金、伊川英雄、石川浩二、後藤えみこといった人気イラストレーターの作品も含む、2,000点以上のオリジナルイラストや写真（300dpiの高画質）が収録されており、この値段で内容は素材集にまったくひけをとらない。また、7桁対応郵便番検索ソフトウェアやオリジナルレイアウトソフトウェアが収録されているため、収録されているイラストを簡単にレイアウトすることも可能だ。









ファイルメーカーPro 5 ●井上利幸

定番データベースソフトの最新バージョン

Check Point

・ツールバー
Excelなどと同じように、各機能をツールバーから選択して実行させることができるようになった。もちろんツールバーは表示／非表示が選択できるだけでなく、好きな位置に移動させることができる。

・インポート機能[*1]を利用した更新
レコード取り込み機能はこれまでもあったが、一部制限があった。バージョン5では「現在の対象レコード内で一致するレコードを更新する」といった方法が追加された。また、「一致しないレコードを追加する」というオプションも。

・スクリプト[*2]定義の印刷
前バージョンまでは不可能だったスクリプトを印刷できるようになった。また、スクリプトファイルを読み込むこともできるようになった。

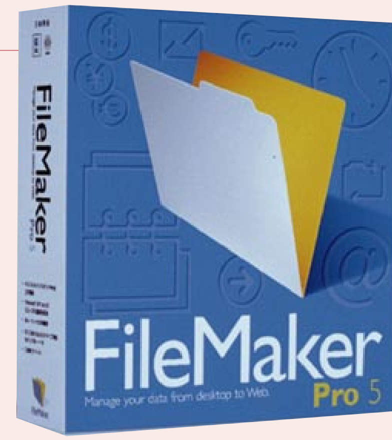
・インスタントWeb公開機能の強化
Webにデータベースを公開することは比較的簡単だったが、新たに「Webスタイル」という機能が加わり、Webに公開する際の表示イメージを選択できるようになった。

・ウィザード機能[*3]
Microsoftの製品におなじみのウィザード機能が加わり、表示されるダイアログに答えていくだけで集計レポートや、小計・総計の設定、ソート条件の設定、レポートデザインの選択、スクリプトの設定が簡単にできるようになった。

Get Information

開発元・問合せ●ファイルメーカー（株）（TEL 03-5977-7256／FAX 03-5210-9022）
URL●http://www.filemaker.co.jp/
価格●39,000円
対応機種●PowerPC601以上のCPUを搭載したPower Macintosh全機種
動作環境●漢字Talk 7.6.1以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●16MB以上
必要なハードディスクの空き容量●25MB以上

コストパフォーマンス	★★★★½
機能	★★★★½
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★½



2年ぶりのバージョンアップ

ファイルメーカーPro 5は、一般にデータベースと呼ばれるソフトだ。データベースと一口にいっても、基幹業務で使われる同時利用端末数千台をターゲットにしたものと、パソコンで少人数の利用を想定したものとでは全然違う。また、開発者向けの製品とエンドユーザー向けの製品とでは、必要とされる機能も違う。Macにも古くからデータベース製品があったが、今日まで存続しているのはファイルメーカーと4thDimensionくらいである。これは市場性もあるが、この両者がまったく違う性格を持ち、それぞれ他の追随を許さないほどの完成度と使い勝手があったことが理由だと思われる。

ファイルメーカーはMac用に開発されただけあって、初心者でも使える優しい使い勝手をもっているが、複雑なシステムができないかというと、工夫次第で十分業務システムが作れるほどの機能を持っている。また、Mac用として開発されただけに画面デザインなどの自由度が高く、見栄えのよいデータベースを作れる（図1）。

ファイルメーカーは昨年の10月にバージョン4.1が発売されたが、Windows 98への対応が中心だったため、Macユーザーにとってはその前年（1997年）の12月に発売されたバージョン4からの2年ぶりの大幅なバージョンアップとなる。バージョンアップの内容は多岐にわたり、発表資料によると新機能が19ある（表1）。また、メニュー構成が大きく変わった（図2、図3）。

では、その中からいくつか紹介しよう。

ツールバーの表示と表形式

最近のアプリケーションでは、メニューだけでなく、ツールバーと呼ばれるボタンに機能を配置したものが多く使われるようになった。ファイルメーカーProではよく使われそうなものをツールバーに配置している。もちろん、Excelなどと同様にツールバーを自由な場所に配置することができるし、非表示にすることもできる（図4）。

バージョン4では、「選択」メニューで「リスト表示」「フォーム表示」が選択できたが、ファイルメーカーPro 5では「表示」メニューに新たに「表形式」が追加された。表形式では現在のレイアウトで表示されているフィールドがExcelのように一覧表示される。一番上のフィールド名は変更できないが、フィールド名の部分をつかんでドラッグすることで列の入れ替えが可能だ。また、フィールド名をcontrol＋マウスクリックでソートや列幅の指定ができる（図5）。表形式のレイアウトは、レイアウトモードの画面から「レイアウト設定」で行なう。レイアウト設定の「表示」タブから表形式の横の「設定」ボタンを押す。ここで、枠線の色や種類の設定と同時に列タイトルの表示や、順序の変更の可、不可や列の選択でデータをソートするかしないかを選択できる（図6）。


図1●テンプレートの図書管理にデータを入力したところ

インポート機能を利用した更新

ファイルメーカーには以前からレコード取り込み機能があったが、単純に追加するか、選択されているレコードと置き換えるかしかできなかった。ファイルメーカーPro 5では「現在の対象レコード内で一致するレコードを更新する」という方法が追加された。さらに「一致しないレコードを追加する」というオプションが選択できる。この機能を利用すれば、これまで不便だった重複レコードの削除なども簡単だ。まず、全レコードをファイルに書き出しておき、「データなしのコピー」を作る。そして、新しいデータベースを開き、ファイルメニューの「レコードの取り込み」で重複チェックに使うフィールドを照合フィールドに指定する。取り込みのダイアログのマップ部分をクリ

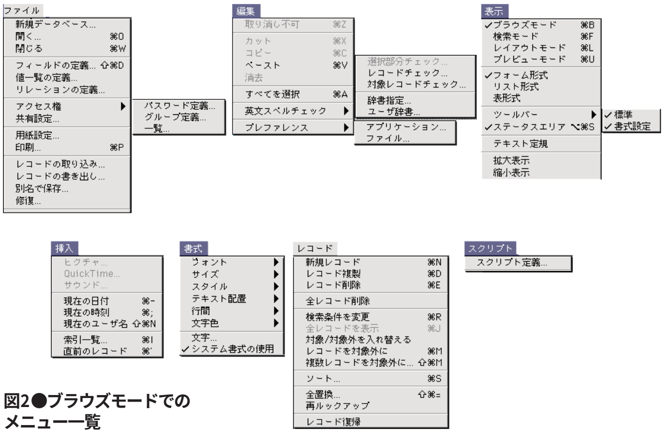


図2●ブラウズモードでの
メニュー一覧

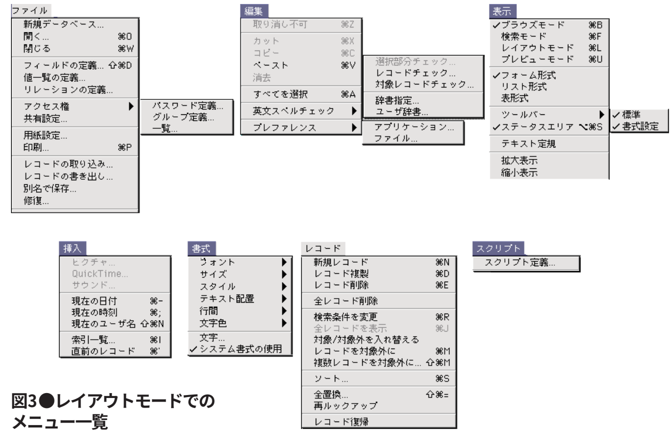


図3●レイアウトモードでの
メニュー一覧

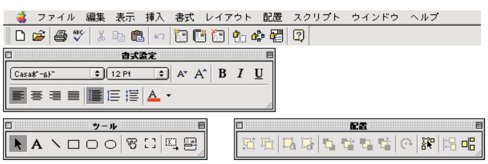


図4●ツールバーの種類。標準が最初から表示されている。ブラウズモードでは他に書式設定ツールバーが使える。レイアウトモードではさらに配置ツールバーとツールツールバーが選択できる

表1●ファイルメーカーPor5主要機能一覧

データ処理機能	1	Microsoft Officeとの親和性の高いユーザーインターフェイス 新しくツールバーを表示できるようになった。ツールバーは「標準」と「書式設定」
	2	新しいレイアウトの表示方法として表形式を追加 Excelのように、列幅を自由に変更できる。列の順序の入れ替えや、列見出しのクリックによるソートも対応
	3	サイズ変更が可能なダイアログボックス、リスト内の項目の同時選択 フィールド定義や値一覧の定義など、定義画面を自由なサイズに変更可能。複数項目を同時に選択可能
	4	スクリプト定義の印刷 スクリプト定義を定義画面から印刷することができる
	5	さらに強力になったODBC*4(Open Databese Connectivity)サポート ODBCによるインポートだけでなく、ODBC対応アプリケーションからファイルメーカーProのデータを更新できる
	6	新しくなったMicrosoft Excelファイルの直接取り込みとファイル変換 Excelの1行目をフィールド名として選択、設定できる
	7	ActiveX Automationのサポート(Windows版のみ) ActiveX による連携が可能
	8	インポート(取り込み)機能を使用した更新 レコードの取り込み時、照合フィールドを設定(複数選択可)することで、データの更新が可能になった 取り込み時、照合フィールドに該当しないデータを新規レコードとして作成。対象外のフィールドの設定が可能
	9	マルチユーザー(非表示) 共有設定で、マルチユーザー[非表示]を選択することで、他のユーザーから隠すことが可能
	10	新しいファイルフォーマット 新しいコードベースの採用で、オブジェクト指向アプローチが可能になった。前バージョンのファイルメーカーを新しいバージョンで開くと、フォーマットが変換され古いバージョンで開くことができなくなる
インターネット・イントラネット機能	11	インスタントWeb公開機能の強化 新規、更新画面では、ファイルメーカー使用時と同じデザインを表示できる
	12	新しいWebコンパニオンオプション Web公開時、データベースにアクセスできるIPアドレスを指定できる Webコンパニオンの動作をログに記録できる
	13	CSS(Cascading Style Sheets)をサポートするブラウザ上でのQuickTimeムービーの再生 インスタントWeb上で、データベースからQuickTimeを再生できる
	14	スクリプトのインポート(取り込み) スクリプト定義画面の取り込みボタンで他のファイルメーカーPro5のスクリプトを取り込むことができる
レイアウト機能	15	新規レイアウト/レポートアシスタント 新規レイアウト/レポートアシスタントのガイドで順に必要な設定を選ぶだけで印刷用、表示用のレイアウトを簡単に作ることができる
	16	レイアウトオブジェクトへの「3D(3次元)」表示機能の追加 浮き出し、彫り込み、影付きなどの要素をレイアウト上のフィールドやオブジェクトに適用できる
	17	色の作成および拡張したカラーパレット 色の設定に新たにWeb対応の216色パレットや256色カラーパレットを含むカスタム色選択が可能
	18	値一覧機能強化 1)値一覧をリレーショナルに基づかせることが可能 2)値一覧での表示に複数のフィールドの内容を表示するとき、どのフィールドの内容でソートするかを選択できる 3)他のファイルメーカーPro5のデータベースの値一覧を利用できる
日本語処理機能	19	ふりがな設定 他のフィールドへふりがなを送り出すことができる。ふりがなは半角仮名やローマ字も指定可能

ックすると、矢印が「取り込む」「照合フィールド」「取り込まない」に順に変化する。照合フィールドは複数のフィールドが指定できるので、特別にレコード番号などを持っていないデータベースでも重複チェックが実行できる。

この例では、空のデータベースにレコードを取り込み、取り込み時に重複データを読まないようにするが、当然まだないレコードは新規レコードを作成する必要がある。そこで、「現在の対象レコード内で一致するレコードを更新する」のオプションである「一致しないレコードを追加する」にチェックをしておく。これで重複しないレコードは新規レコードが作成され、照合フィールドがすべて同じレコードは内容だけが更新される(図7)。

また、他のシステムで販売管理などのデータを受け取る場合など、販売数量が変わるだけなのに、すべてを置き換えるのは時間的にも無駄だが、ファイルメーカーPro 5では「取り込まない」フィールドも指定できるため、変更のあるフィールドだけを更新することができる。

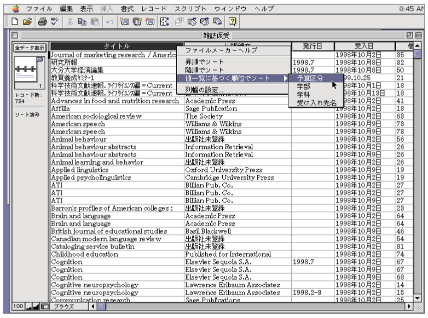
スクリプト定義の印刷と取り込み

ファイルメーカーのスクリプトは非常に便利なのだが、スクリプトは印刷できないし、コピー&ペーストでエディターなどに持っていくこともできなかったので、ドキュメント化できなかった。しかし、ファイルメーカーPro 5ではスクリプトを印刷できるようになった。印刷するには、スクリプト定義画面でスクリプトを選択して「印刷」ボタンを押す。ただし、印刷は複数できないし、フォントの選択などもできない。また、残念ながらテキストファイルにすることもできない。

ファイルメーカーPro 5では、スクリプトを取り込む機能も用意された。スクリプト定義画面で「取り込み」ボタンを押すとファイルを開くダイアログが表示され、他のファイルメーカーPro 5で作成したファイルが選択できる。以前のバージョンのファイルメーカーのファイルはここに表示されないので、あらかじめバージョン5に変換しておく必要がある(図8)。

*1 インポート機能:Import。Exportの反対に当たる言葉で、英語の意味は、輸入だが、こういったアプリケーションでは「取り込み」と訳される場合が多い。ここでは、書き出したデータを取り込むという意味。 *2 スクリプト:アプリケーション固有の機能を補完する、プログラムを実行させるための簡単な手順を記述したテキスト。 *3 ウィザード機能:連続するダイアログボックスを対話的に設定していくことで、複雑な操作を簡単にする機能のこと。「Mac OS 設定アシスタント」もウィザード機能といえる。

ファイルメーカーPro 5


図5●表形式の見出し部分をcontrol+ クリックしたメニュー

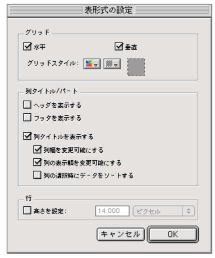
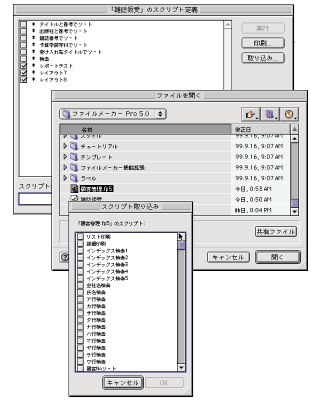
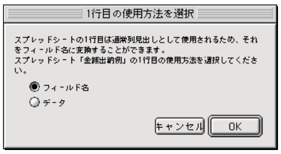
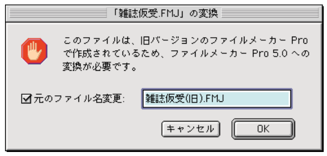
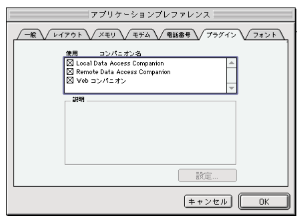

図6●表形式の設定画面。表形式はそれぞれのレイアウトごとに別の設定にすることができる

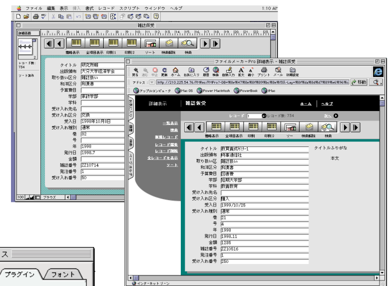

図7●レコードの取り込みの画面。マップの部分でマウスをクリックすると矢印が変化する

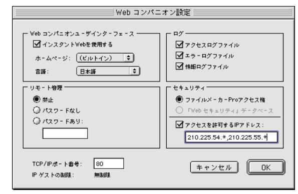

図8●スクリプトの取り込みの様子。スクリプト定義画面で取り込みボタンを押すと、ファイルを選択するダイアログが表示される。そこからファイルメーカーPro5のファイル開くと、そのデータベースで設定されているスクリプトの一覧が表示される


図9●Excelのファイルを開くと、使用方法の選択ダイアログが表示され、先頭行をフィールド名として利用することができる


図10●前のバージョンのファイル名を変更するダイアログ。もちろん変更しなくても問題はない


図11●Webコンパニオンのチェック。共有設定をしたあと、この画面でWebコンパニオンにチェックを入れればwebからデータベースが利用できる


図12●ファイルメーカーの詳細画面とWebブラウザの画面。ほとんど同じデザインで表示される


図13●接続可能なIPアドレスの設定。枠が狭いので複数のアドレスを書いて、確認するのは簡単ではない

Excelファイルの取り込み

ファイルメーカーでは以前からExcelのファイルを直接開くことができたが、フィールド名は「f1」のように機械的に作られてしまった。ファイルメーカーPro 5では、開くときに一行目を「フィールド名」にするか「データ」にするかを選択できる(図9)。

新ファイルフォーマット

ファイルメーカーPro 5はアイコンが新しくなった。つまりこれまでのファイルメーカーとは別のアプリケーションとなったため、ファイルメーカーPro 5を起動した状態でファイルメーカーPro 4を別に起動することができる。データベースのアイコンも新しくなり、古いデータベースを起動するときは自動的に新規のデータベースを作ってくれる。また、古いデータベースには「(旧)」の文字を追加して名称変更するようダイアログが表示される。(図10)

インスタントWeb公開機能の強化

ファイルメーカーProはもともとWebでデータベースを公開するのは非常に簡単だ。基本的には共有設定で「マルチユーザー」を設定し、「編集」「プレファレンス」「アプリケーション」で表示されたダイアログで「プラグイン」を表示し、「Webコンパニオン」にチェックを入れるだけで利用できる（図11)。しかし、実際にはどのフィールドを表示するか、データの削除を許すのか、新規作成をさせるのか、などの設定が必要だ。

こうした設定は「Webコンパニオン表示設定」で行なう。以前のバージョンでここで設定できたのは、詳細表示、リスト表示、検索画面のそれぞれでどのレイアウトを使用するかということだった。もっともレイアウトを選択しても、そのレイアウトが表示されるわけではなく、そのレイアウト上にあるフィールドが設定順に表示されるというものだった。これがファイルメーカーPro 5では、新たに「Webスタイル」を選択できるようになった。Webスタイルを変更するとWebでの表示全体のイメージを変えることができる。

ファイルメーカーPro 5では、CSS*5（Cascading Style Sheets）を使用したグラフィカルなデータ表示とこれまでの単純なデータ表示が選択できる。また、入力専用や検索専用の設定があらかじめ用意されている。標準で設定される「ソフトグレー」では、ファイルメーカーの入力画面とほぼ同じものがブラウザーに表示される（図12)。今回試したものはベータ版のせいか画面上に配置したスクリプトボタンがうまく動作しなかった。

Webセキュリティ

ファイルメーカーのデータベースを公開する場合、これまでのセキュリティ設定の他にIPアドレス*6を限定する方法が追加された。IPの設定は単純で、「210.225.54.*」のようにアスタリスクを利用して上位のアドレスが指定できる。また、「210.225.54.*,210.225.55.*」のように複数のアドレスを並記することができるので、特定の企業間での利用も可能となる。残念ながらアドレスの範囲指定はできないので、特定のグループを登録しようとすると、アクセス可能なすべてのIPアドレスを記入しなければいけない（図13)。

新規レイアウト／レポートアシスタント

Microsoft AccessやExcelなどMicrosoft製品ではウィザードと呼ばれるガイダンス機能が充実している。そのため、表示されるダイアログに答えていくだけで簡単に難しい機能を使うことができる。ファイルメーカーProはもともと操作が簡単だったこともあり、これまでウィザード機能がなかった。しかし、小計、合計のあるレポートを作ろうとすると、初心者には敷居が高く、独力では思ったレポートができない場合が多かったのではないだろうか。ファイルメーカーPro 5では、いよいよウィザード機能が用意され、次のような手順で、さまざまな項目を選択していくと、非常に楽にレポートを作成することができるだろう。

手順1●集計レポートの作成

レイアウト画面で「レイアウト」メニューをみると「新規レイアウト／レポートアシスタント」という項目がある。これを選択すると、最初の画面はこれまでの新規レイアウト作成画面同様、レイアウト名、レイアウトの種類が選択できる。ファイルメーカーPro 5では、ここでレイアウトのイメージが表示される(図14)。ここで「表レイアウト／

*4 ODBC：Open DataBase Connectivityの略。アプリケーションとデータベースサーバー間のAPI（仲立ちをするもの)。クライアントはこれを通じて、データベースにアクセスできる。
*5 CSS：HTMLにDTPソフトのようなレイアウト機能を追加するためのフォーマット規格。行間、カラー、フォントといったスタイルシートを持たせることができる。 *6 IPアドレス：インターネットに接続されているコンピューターを識別するために付けられているコンピューターの住所のような役割を果たす番号のこと。

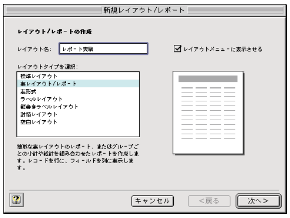


図14●作成するレイアウトの種類を選択すると、右側の絵が変化する。どのようなイメージになるか確認できるので、作業が楽になる

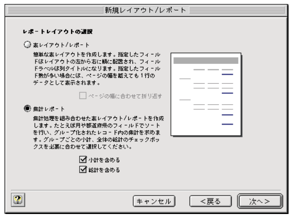


図15●レポートレイアウトの選択で、集計レポートを選択し、小計を含める、総計を含めるを選択すると、右側の絵で小計や総計の部分が青く表示される

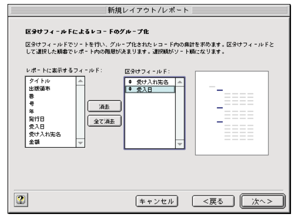


図16●グループ化するフィールドを選択し、ダイアログでの位置を変化させると、右側の青い印が変化する。どの順にグループ化をすれば小計がどう表示されるかを確認することができる

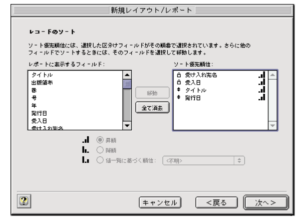


図17●ソート指定ダイアログ。グループ化したフィールドはソートしないとレポートが作れないが、それ以外にも表示順を指定する必要があればここでソートするフィールドを選択する

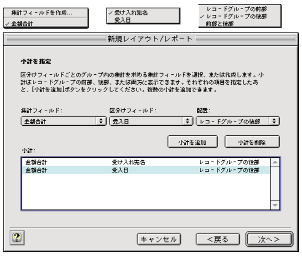


図18●小計の表示を設定する。集計フィールド、区分けフィールド、配置をそれぞれプルダウンから選択して、小計を追加ボタンを押す

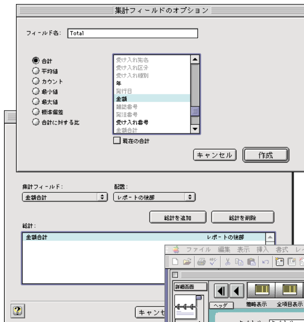


図19●集計フィールドを作っていなくても、この段階で集計フィールドを作ることができる。初めてレポートを作る場合など、この段階でフィールド定義ができるのはありがたい機能だ

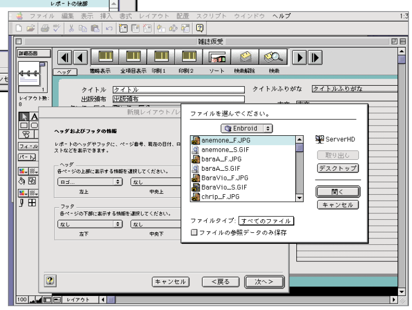


図20●ヘッダーなどに会社のロゴを入れることも多いが、ファイルメーカーのレポートでは、ヘッダーの設定でロゴが選択できる。ロゴを選択すると、図版ファイルを選択するダイアログが表示される。データベースにファイルを取り込まずにファイル参照データのみを記録することもできる



図21●実際に作成されたレポート。これをカラープリンタで印刷するのはちょっと怖いが、それなりの完成度のレポートが作成できる

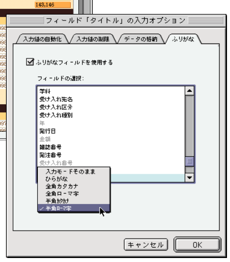


図22●ふりがな項目の設定画面。このフィールドへの入力に対して、ここで設定したフィールドにふりがなが入力される

レポート」を選択すると次の画面でレポートレイアウトの選択ができる。選択できるのは「表レイアウト／レポート」と「集計レポート」の2つだ(図15)。

手順2●小計・総計の設定

ここで集計レポートを選択すると、「小計を含める」「総計を含める」のオプションが選択できるようになる。ここを選択して次へ進むと、次の画面ではレポートに表示するフィールドを選択する。もちろん、リレーションしているデータベースのデータも選択できる。必要なフィールドを選択したら次に進む。「小計を含む」のチェックがあると、次の画面では「区分けフィールドによるレコードのグループ化」の設定画面となる。小計をとるには、何らかのデータでソートを行ない、そのフィールドの値が変わったところで小計を表示することになる。ここでは、小計を計算するために対象となるフィールドを選択する。フィールドは複数選択可能で、それぞれの値が変わったところに小計が表示される(図16)。

手順3●ソート条件の設定

次にソートの画面となる。ここでは、グループ化で選択されたフィールドは無条件でソート対象となるが、グループ化した中のソート指定はここで行なう（図17）。次に小計の表示を設定する(図18)。あらかじめ集計用のフィールがあれば、それが選択項目に表示されるが、集計フィールドがなくても、ここで集計フィールドを作ることができる（図19）。区分けフィールドはグループ化で設定したフィールドから選択する。小計の配置はグループ化の前と後ろと両方が指定できる。次に総計を設定するが、設定は小計とほぼ同じだ。

手順4●レポートデザインの選択

次に、レポートのデザインが選択できる。ここでは、表示用、印刷用にいくつかのレイアウトが用意されている。ここでレイアウトの色を選択すると次はヘッダーとフッターの設定になる。面倒だった当日日付やページ付けはここで左上、中央上、右上などのプルダウンから「ページ番号」「現在の日付」「レイアウト名」「カスタムテキスト」「ロゴ」などから選択する。カスタムテキストを選択すると、テキストを入力するダイアログが表示される。ロゴを選択した場合はファイル選択ダイアログが表示され、GIFやJPEGのファイルが指定できる(図20)。

手順5●スクリプトの設定

最後にこのレポートを作成するため、レイアウトを変更したり、ソートを実行する必要があるが、この一連の作業をスクリプトとして作成するかを尋ねてくる。ここでスクリプトを作成するを選んでスクリプトの名前を付けるだけで、次回からはスクリプトを選択するだけで小計の入ったレポートを作ることができる。ここまでできると、一応設定は完了だ。いよいよ表示となるが、小計の表示はプレビューモードでしか表示されない。そこで表示を「プレビューモードでレポートを表示」か「レイアウトモードでレポートを表示」のどちらかを選択することになる。実際には一度プレビューモードで結果を確認して、レイアウトモードでの修正となるだろう(図21)。

ふりがな設定

ファイルメーカーPro 5のふりがな設定は、漢字データを入力するフィールドの定義で、そのフィールドのふりがなをどのフィールドに記入するかを指定する。ふりがなのタイプとしては「入力モードそのまま」「ひらがな」「全角カタカナ」「全角ローマ字」「半角カタカナ」「半角ローマ字」の6種類が選択できる。ただし、ふりがなは漢字フィールドの確定後——つまり、他のフィールドに入力が移ってから——入力される。しかも、修正時は新たに入力された文字列のふりがなが前のふりがなに追加されるだけなので、注意が必要だ(図22)。

その他

ファイルメーカーPro 5では、この他ODBCによる他のアプリケーションからファイルメーカーのデータベースを利用する機能やActive Xの利用などがあるが、ベータ版ではテストすることができなかった。また、フィールドを3Dで表示する機能や、新しく多くの色が使えるなど細部にわたって変更、修正がある。

メニュー構成も変更になり、これまでのユーザーは、慣れるまで少し時間がかかるかもしれないが、新しい機能は大変便利なものなのでバージョンアップする価値は十分にあるだろう。

まとめ

ファイルメーカーProは、これまでもエンドユーザーが利用できるデータブラウザーツールとしては他の追随をゆるさない優れたツールだった。それがバージョンアップにより、初心者に難しかったり、他のソフトでは実現できるのにファイルメーカーにだけできないことなどが大幅に修正された。どんなデータでもそのまま簡単にデータベースに蓄積でき、高速に全文検索が実行でき、数分でWebで公開できる、完成度の高いデータベースソフトとなった。

SOFTWARE

Macware Selection

HARDWARE

※前月紹介分までの製品名の索引（Selection Index）を、CD-ROM MACLIFEにPDFファイルとして収録してあります。

SOFTWARE

HARDWARE

アドビ・アフターエフェクツ

Adobe After Effects 4.1日本語版

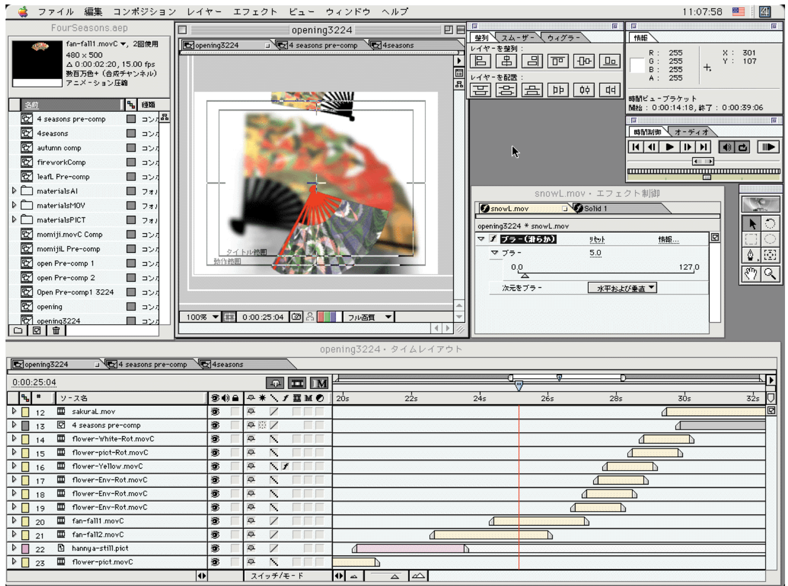
3DCGソフトとの親和性を一段とアップした動画制作ツールの定番

Get Information

開発元・問合せ●アドビシステムズ（株）（03-5350-0407）
URL●http://www.adobe.co.jp/
価格●オープン（市場価格は、スタンダード版が11万円前後、ProVersionが25万円前後）
バージョン●4.1
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 8.1以降、QuickTime 4.0以降
メモリー●32MB以上（64MB以上推奨）

Check Point

ムービー合成・特殊効果のジャンルの代表的なソフト、Adobe After Effectsが4.1にバージョンアップ。数多くの改良の中でも、3DCGソフトで作成した素材を効果的に扱う3Dチャンネルパックエフェクトは、最もインパクトのある新機能だ。



通常使用するウインドウ類、ツール類はバージョン4.0とほとんど変わらないが、ところどころに操作性が改良されている部分がある

今年の春にリリースされたAfter Effects 4.0。それから半年あまりで行なわれるマイナーバージョンアップということで、小さな変更だと決めつけるのは正しい認識ではない。実際には、期待以上の改良が加えられているのだ。

3Dチャンネルパックエフェクト

まずは、バージョン4.1 ProVersionで追加された目玉機能から見ていこう。3D Studio MAX、Softimage 3D、ElectricImage*1といった3DCGソフトでは、レンダリング画像やアルファチャンネル*2の他に、Z深度*3などの補助情報チャンネルのファイルを作成できる。ProVersionには、この補助情報チャンネルを利用するエフェクト、3Dチャンネルパックが装備されている。Z深度チャンネルはモデリングした3次元形状の画面内での奥行き情報を示すもので、使用する3DCGソフトに応じてRLA、ZPIC、EIZ形式*4ファイルとして作成される。レンダリング画像ファイルとこれらのZ深度ファイルは、After Effects 4.1 ProVersionには自動的にセットでインポートされ、フッテージの追加属性として扱われる。3Dチャンネルパックには以下の5つのエフェクトプラグインが含まれている。

●フォグ3D

Z深度情報を用いてフォグ*5をかける。開始深度／終了深度、フォグ不透明度などを設定。

●被写界深度

Z深度情報を用いて被写界深度ボケを表現する。ピントの合う深度、ピントの合う範囲、最大ボケ量などを設定。

●3Dマット

Z深度情報を元にしてマット*6を切る。しきい値深度、境界のぼかし、反転（奥を切るか手前を切るか）を設定。

●IDマット

3D Studio MAXやSoftimageでは、オブジェクトごとにIDを付けることができる。そのオブジェクトID情報を利用してレンダリング画像中の当該形状の部分のマットを作成する。

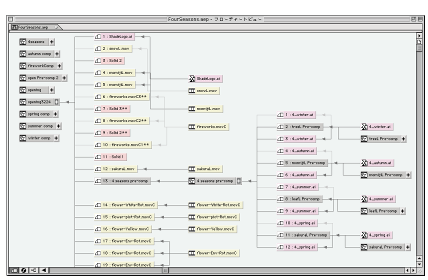
●3Dチャンネル抽出

Z深度やオブジェクトIDなどの各種補助チャンネル情報を、他のエフェクトで利用できるようにグレースケール画像に変換。

いずれも、従来ならこつこつと手作業でマスク*7を作成する必要があったり、あるいは3DCGソフト内で完結させなければならなかった表現を、単一エフェクトとして実現するものだ。Z深度チャンネルをはじめとしたこれらの補助情報チャンネルは、アルファチャンネルと同等かそれ以上の可能性をもっていることは疑うべくもない。3DCG素材を用いた合成処理を行なうユーザーにとっては、期待が広がる新機能だ。



ElectricImageのimageファイルおよびEIZファイルを読み込んだところ。ここでは補助情報チャンネルのうちZ深度を持ったファイルを使用

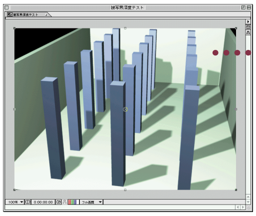


新たに追加されたフローチャートビュー。図はプロジェクトのもの。すべてのコンポジション、フッテージ、エフェクトがアイコンと矢印で表示され、コンポジションごとの使用素材と構成が一目で把握できる。展開／縮小表示の切り替え式。特にプリコンポーズ（階層化したコンポジション）を使用している際には、コンポジション全体の構造を理解しやすい

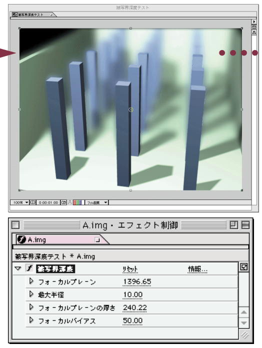
拡張されたネットワークレンダリング

After Effectsは従来のバージョンからネットワ

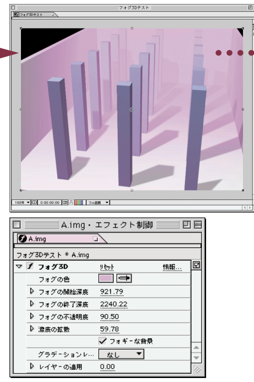
*1 3D Studio MAX、Softimage 3D、ElectricImage：ともにプロ向けの3次元グラフィックソフト。3D Studio MAXは、Windows NT専用で、Softimage 3Dは、SGIのワークステーションとWindows NTで動く。ElectricImageはMac用のアニメーション作成ソフトで、高速なレンダリングが特長。映画製作などでも使用されている。 *2 アルファチャンネル：RGB画像に付加される、画像の透過情報やマスク情報として使えるグレースケールデータのチャンネル。PICT画像ファイルなどでは、RGBチャンネルとアルファチャンネルを一つのファイルに保存することができる。 *3 Z深度：二次元画像データの横方向をX軸、縦方向をY軸とした場合、画面に対する奥行き方向はZ軸となることに由来する用語。Zチャンネルと呼ばれることもある。



Z深度情報を持ったオリジナル画像に3Dチャンネルパックエフェクトを適用してみた



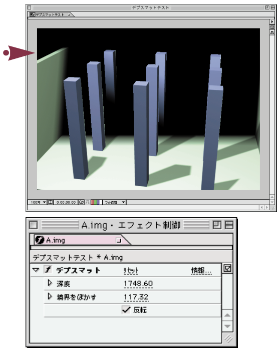
「被写界深度」エフェクトとそのエフェクト制御



「フォグ3D」エフェクトとそのエフェクト制御



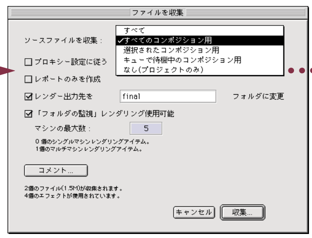
「3Dチャンネル抽出」エフェクトとそのエフェクト制御



「デプスマット」エフェクトとそのエフェクト制御

レンダーエンジンは、After Effects 4.1 ProVersionの諸機能のうち「フォルダを監視」コマンドのみが使用できる単体アプリケーションである。ネットワーク上の監視フォルダを設定し、レンダリング対象を待つ

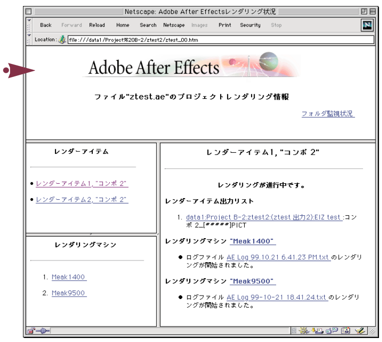




After Effects 4.1 ProVersionで「ファイルを収集」コマンドを用いて監視フォルダの中に必要なファイル一式を保存する



レンダーエンジンは当該プロジェクトを自動的に開いてレンダリングを開始する



監視フォルダに投入されたプロジェクトのレンダリング状況を示すHTMLファイルが自動的に生成されるので、ブラウザを用いて随時確認することができる

ークレンダリングに対応していたが、それぞれのコンピューターごとにAfter Effectsのライセンスが必要であったため、コスト的に手が出しにくいものだった。しかし、4.1 ProVersionでは、レンダーエンジンが無制限のライセンス付きで添付され、ネットワークレンダリングが一気に身近に感じられるようになっている。このレンダーエンジンはネットワーク上の特定のフォルダーを常に監視しており、レンダリング対象のプロジェクトファイルが「監視フォルダ」に入れられると即座にそれぞれのエンジンが1フレームづつレンダリングを実行する仕組みだ。1フレームのレンダリングが完了すると、未レンダリングのフレームのレンダリングを開始し、このサイクルを繰り返す。この「監視フォルダ」にはプロジェクトファイルと使用するすべてのフッテージファイルがひとまとめになっている必要があるが、そのための「ファイル収集」コマンドも追加されている。この機能により、レンダーエンジン用にiMacなどを追加導入すれば、容易にレンダリング速度の向上を図ることができるわけだ。

スタンダード版にも改良点がたくさん!

以上の新機能は、ProVersionにのみ装備されるものであるが、スタンダード版においても生産性を向上させる多くの改良が施されている。目新しい機能としては、フローチャートビューがある。これはプロジェクト中のコンポジション*8、それを構成するフッテージファイルおよびエフェクトの関連をアイコンと矢印で図示するものだ。

エフェクトテンプレート機能は、複数のエフェクトを、設定パラメータやキーフレームも含めたセットとしてファイルに保存するもので、複雑なエフェクトを何度も設定する際の手間は大幅に省けるだろう。

QuickTime 4にも完全対応した。従来バージョンではQuickTime 4環境で一部不具合が出たためQuickTime 3が推奨されていたが、これで安心してQuickTime 4が使えるようになる。

高解像度ファイルのハンドリングも向上している。従来は4,000×4,000ピクセルだった制限が、30,000×30,000ピクセルに拡張されている。これは事実上無制限とも言えよう。

After Effects本体で読み込みできるファイルフォーマットに3D Studio MAXのRLA形式とSoftimage 3DのPIC形式が追加された。いずれもプロ用3DCGソフトとして定評のあるものなので、After Effectsと組み合わせて使っている人も少なくないはずだ。

エフェクト関係でも機能追加が行なわれている。テキスト系エフェクトでは文字のアウトラインに対して「塗り」と「線」エフェクトを別個に適用できるようになり、「線」エフェクトではアニメーション化も可能になっている。また、従来はProVersionにのみ付属していたパスに対する「スムーザー」がスタンダード版にも標準装備されるようになっている。多くの素材を用いてカット編集を行なう際に、一発でタイムレイアウト上で順番に配置させる「シーケンスレイヤー」も便利な新機能だ。

その他、マスク処理の高速化およびマスク透明度のコントロール機能、RAMプレビューをムービーファイルとして保存する機能など、生産性・操作性を向上させる改良が目白押しだ。

バージョン4.1のすべての改良点は紹介しきれなかったが、基本的な操作フィーリングは従来のままであり、バージョンアップしても全く違和感なく使用できる。全体的に見ると、正統的な進化を遂げたバージョンといえる。とりわけ、Pro Versionを使っているプロフェッショナルユーザーは、バージョンアップしないと“損”するぞ、といい切ってしまおう。　●三阪英一

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★★
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★½

*4 RLA、ZPIC、EIZ形式：ともに3DCGソフトで作成されるファイル形式。RLA形式は画像データにZ深度などの付加情報が追加されたもの。ZPIC、EIZ形式は、画像データは含まないZ深度などの付加情報専用の形式。　*5 フォグ：霧やもやがかかっているかのように、遠くのものほど霞んで見えるようにする効果。　*6 マット：レイヤーの透明部分を定義するための画像データあるいはレイヤーを指す。　*7 マスク：マットと同様の効果を持つが、After Effectsではレイヤーごとに作成できるパスやアウトラインパスを指す。　*8 コンポジション：After Effectsで合成やエフェクトのステージになる構成単位。コンポジション中にレイヤーを配置して画面を構築することになる。

アマピ・スリーディ

Amapi 3D Ver.4.1.5

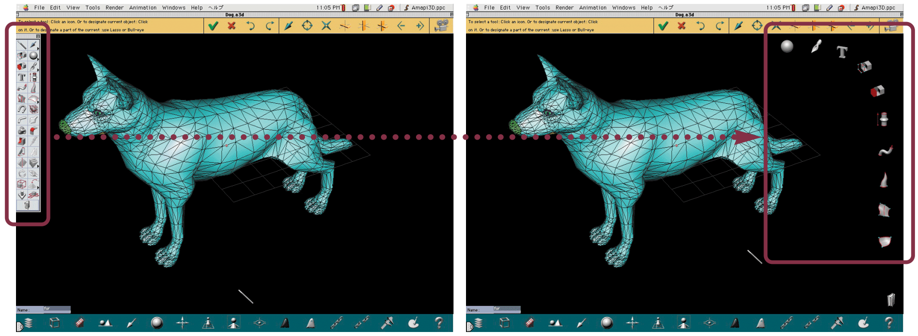
フランス生まれの独特の感性を持つ3Dアプリケーション

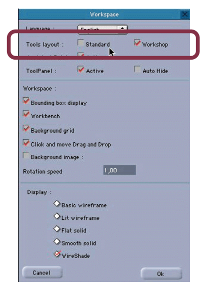
Get Information

開発元●TGS社
問合せ●フォーカルポイントコンピュータ(株)
(03-3445-3951)
URL●http://www.focal.co.jp/
価格●49,800円
バージョン●4.1.5
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 8.0以降
メモリー●16MB以上
その他●ハードディスクの空き容量15MB以上。Mac版とWindows版が入ったハイブリッド版で提供されている。

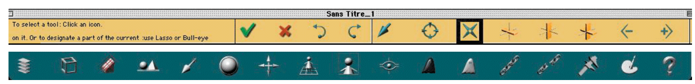
Check Point

Active Styles機能の追加と、Macのグラフィックアプリケーションでおなじみのツールパレットの追加が今回のバージョンアップで、目につく部分だ。





WorkSpaceのPrefernceの設定（左図）で、インタフェースを通常のツールパレットであるStandard（上左図）と、Natural Design InterfaceであるWorkshop（上右図)に切り替えることができる



アシスタントパレット（上）とコントロールパネル（下)。この2つは、インターフェイスをきりかえても同じように表示される。表示を消すこともできる

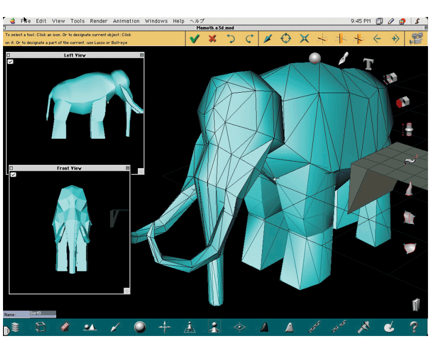
ユニークなインターフェイスを持つ強力な3Dモデリングソフトが、着実に機能追加され、レンダリングからアニメーションまで可能な統合3Dアプリケーションに進化した。

Amapi 3D独特のインターフェイス

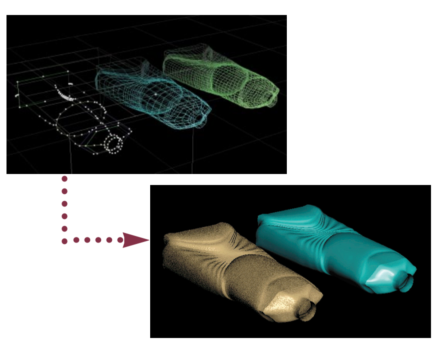
Amapi 3Dは、3Dモデラーとしてスタートし、ユニークなインターフェイスと独特の操作性でユーザーを獲得してきた。フランス生まれのAmapi 3Dの所属がアメリカTGS社に変わった後の今回のバージョンアップでは、細かいチューニングに加えて、通常のMacのグラフィックソフトで使われているツールパレットなどユーザーインターフェイスの追加が行なわれた。もちろん、従来の独特のユーザーインターフェイスも健在だ。新たにキーフレームアニメーション*1機能、レイトレーシングやアニメ的なトゥイーンレンダリング*2のできるActiveStyles機能が追加された。

Amapi 3Dは、独特のインターフェイスを持っている。1つの3D画面ですべての操作を行ない、その画面の右側に、機能アイコンが丸く配置され、ポインタを右側の画面からはみ出すように動かすと、機能アイコンのグループが変化する。この機能はNatural Design Interfaceと呼ばれ、最初はとまどうが、使い慣れると非常に便利で、モデリング作業の流れの中でスムーズに使えるように考えられている。

Amapi 3Dの独特のインターフェイスは、初めてのユーザーには違和感があるという人もいたが、LightWave、Bryceなど、Mac標準とは異なるインターフェイスを持つ3Dアプリケーションが、いくつか現れ、以前ほど違和感が指摘されることは少なくなった。今回、こうしたインターフェイスの違いをある程度緩和するために、ツールパレットを追加して、Natural Design Interfaceと切り替えられるようになった。



Viewer Windowをいくつでも開けるので、4面図のような作業環境を作ることも可能だ



Gordon Surfaceでは、3次元空間に複数の曲線を引き、それらをもとに複雑な曲面を作成することができる。下図はそのレンダリング結果

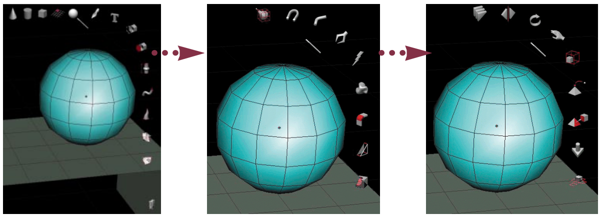
モデリング機能

モデリングとしては、ポリゴンモデラー*3がベースだが、NURBSモデラー*4も使用できる。今回追加されたMeta NURBSでは、デフォーメーション格子*5を使用して、ポリゴンモデルを変形する。

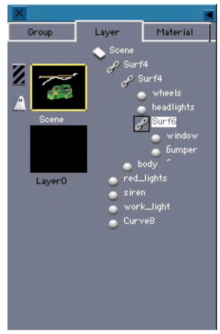
Amapi 3Dを起動すると、おなじみの格子とテーブルが表示されるので、その空間でモデリングを行なう。モデリングは、球や直方体といったオブジェクトを選んだり、平面図形を回転・押し出して立体化したり、3次元空間に線を4本以上引いてそれらを元に曲面を作ったりといったさまざまな方法でベースのオブジェクトを作り、これを自由自在に変形したり組み合わせたりして複雑なオブジェクトを作成して行く。Ver.3.0からサポートされたGordon Surface機能では、3次元空間にたくさん曲線を引き、それらをもとに複雑な曲面を作成できる。また、オブジェクトの表面で新たなオブジェクトが作成できるのもAmapi 3Dの昔からの特徴の1つで、オブジェクトの細かい部分の作り込みに力を発揮する。

作業中には、Narural Design Interfaceでもツー

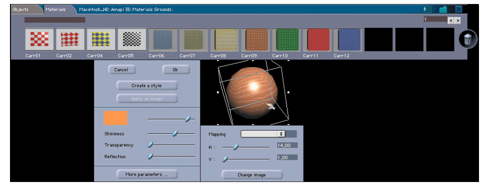
*1 キーフレームアニメーション：動きのポイントとなるキーフレームを設定し、2つのキーフレームの間をスムーズになるようつないで動画を作成していく方法。 *2 トゥイーンレンダリング：2つの要素の間をなめらかに変化するように計算しながら、3次元オブジェクトの表面を描画すること。 *3 ポリゴンモデラー：多角形を組み合わせて3D画像を作成するモデラー。 *4 NURBSモデラー：NURBSは、Non Uniform Rational B-Splineの略。有機的な形状や曲面を3次元作成に利用できるモデラー。 *5 デフォーメーション格子：あらかじめ立方体の格子を設定し、それを変形させておき、変形したいオブジェクトをその格子に通すと、格子を通過するにしたがって、オブジェクトが変形するというもの。



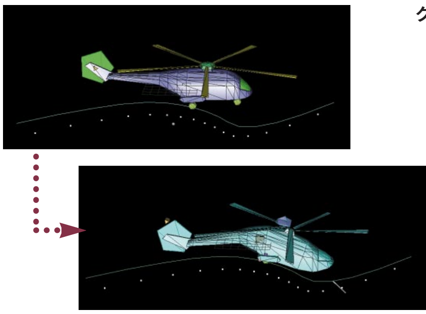
Natural Design Interfaceでは、ポインターを画面の右端から外に移動することでWorkshopのアイコン群が3種類に切り替わる



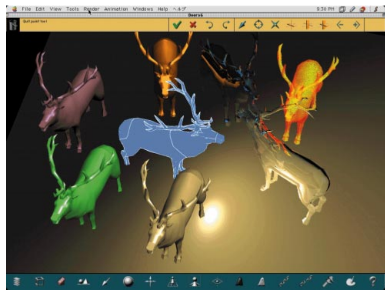
Scene ManagerでグルーピングやLayerの階層化表示が可能



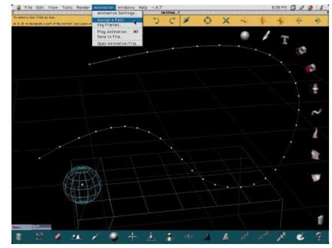
テクスチャーはMaterial Editorで設定する



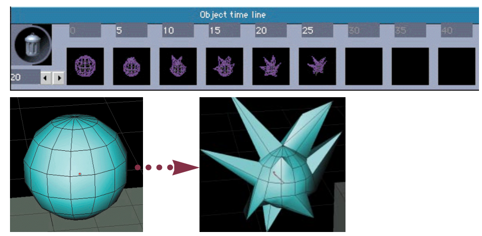
複雑なモデルを、Bendingツールを使って、自由に曲げたり変形できる。上図のヘリコプターをBendingツールを使って、その下に描いた曲線にそって変形すると下図のようになる



アニメ的なトゥイーンレンダリングができるActive Stylesは、オブジェクトごとにMateroal Editorで設定できるので、レイトレーシングと併用して、図のようにレンダリングが可能だ。図の真ん中の青い鹿にはActiveStylesを設定、真ん中上の鹿にはミラーを、その下の右側の鹿にはガラスを設定してある。レイトレーシングを行っているおかげで、反射ばかりでなくガラスの屈折も、ちゃんと計算されている



オブジェクトとその動きを指定する曲線を引いておき、Animationメニューの Assign Pathで指定すると、オブジェクトが曲線上を移動するアニメーションを作成できる



オブジェクトを指定し変形させるたびに、Key Framer（上）を開いて、空いたキーフレームにわりあててゆくことで、オブジェクトの変形アニメーションが可能だ

ルパレットのインターフェイスでも、画面の上下に、Assistant PaletteとControl Paletteという操作やモデリングのサポートを行なうツールアイコンが表示される。これらのPaletteは消すことも可能で、Natural Design Interfaceを使用すれば、Macの画面全体を使って作業することができる。作業中の画面切り替えなどにはすべてショートカットキーが割り当てられ、スムーズな作業が可能だ。また、Viewer Windowがいくつでも開けるようになったので、他の3Dアプリケーションのように、上下左右といった3面図や4面図状態での作業もできるようになった。Data Windowでは数字によるモデルの確認・入力も可能だ。

Scene Managerを使えば、グループ化による階層化構造はもちろんLayerやMaterialによるオブジェクトの分類も表示することができる。

複雑なモデルを、Bendingツールを使って、自由に曲げたり変形できるのもAmapi 3Dの最初からの特徴で、生き物のような車を作る、といった無機質の物体に有機物のようなふるまいをさせることが可能だ。

Exportと Importについては、もともとモデラーとして発達したため、Export能力は高く、DXFやVRMLはもちろんのこと、Strata Studio Pro、LightWave、3D Studio、Ray Dream Studio、RenderMan、TrueSpaceなどさまざまなファイル形式でのExportが可能である。

ImportもDXF、VRML、3D Studio、Artlantis Renderなどのファイル形式から可能だ。

テクスチャーはMaterial Editorで作成してオブジェクトに適用する。イメージマッピング*6で絵を張ったり、3Dテクスチャーで面によって違ったテクスチャーを設定するといったひととおりのことが可能だ。ライティングも平行光・点光源・スポットライトをサポートした標準的なものだ。カメラはオブジェクトの1つとして配置する。レンダリングは、サーフェイスレンダリングだけでなく、レイトレーシングやアニメ的なトゥイーンレンダリングのできるActiveStyles機能が追加された。

アニメーション機能

アニメーションはVer.3.0から追加された機能で、単純なキーフレームアニメーションだが、通常の3Dアプリケーションで使われるマルチオブジェクトが表示できるタイムラインはなく、あまり凝った設定はできない。

パスアニメーションはオブジェクトが動く軌道を3次元カーブとして描いておき、それにオブジェクトをわりあてる方法を使う。オブジェクトをカーブにわりあてると、そのカーブがデフォルトで50に分割され、これが個々のアニメーションフレームに相当する。フレーム数は自由に変更できる。パスアニメーションの対象として、カメラも設定できるので、フライスルー*7などが可能だ。その場合、特定のオブジェクトの方向に常にカメラを向ける、といったターゲットポイントを決める方法も用意されている。

オブジェクト変形アニメーションはKey Framerを使って行なう。Key FramerのTime line ウィンドウには、キーフレームごとのオブジェクトのプレビューとキーフレーム番号が表示される。オブジェクトを変形させては、Key Framerの空いたキーフレームに割り当てて行く方法だ。個々のキーフレームのプレビューが一覧で見られるので、変形の具合をつかみやすい。しかし、時間的な変化の感じはつかみにくい。

Amapi 3Dは、モデラーから発展したため、モデリング以外の機能は一般的で、特徴は少ない。特に、アニメーション機能はまだできたばかりで、Amapi 3Dのみで高度のアニメーションを作るというより、今のところ高機能モデラーとして使用し、他の3Dソフトと組み合わせて使う方法が一般的になるだろう。今後、モデリング以外の機能の充実により本格的な3D統合アプリケーションに進化することを期待したい。　●永田 啓

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*6 イメージマッピング：任意のグラフィックスを3次元モデルの表面に貼り付けること。　*7 フライスルー：飛んでいる鳥から見たかのように、カメラの視点が空中を飛んでいるように移動する映像。

筆王 for Macintosh 平成12年版

ふでおう

CD-ROM DEMO

簡単・きれいなハガキ&宛名作成ソフト、頼れる「筆王」がバージョンアップ

Get Information

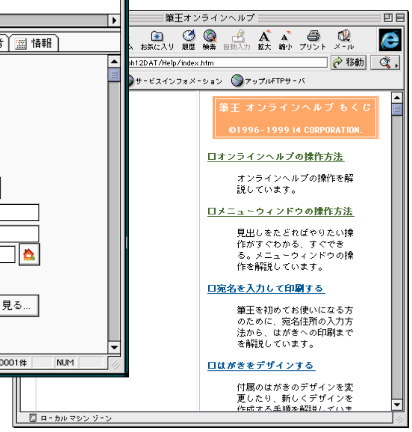
開発元・問合せ●（株）アイフォー（03-5436-7850）
URL●http://www.ifour.co.jp/
価格●4,800円（デジカメNinja付き6,800円）
バージョン●平成12年版
対応機種●iMacおよびPower Macintosh G3シリーズ
動作環境●Mac OS 8.0以降
メモリ●32MB以上（64MB未満の場合は仮想メモリの使用が必要）

Check Point

ホームページ感覚で操作できる操作性抜群のブラウザーインターフェイスを搭載し、初心者でも迷わず宛名印刷やハガキのデザインが可能。お得なデジカメNinja*1付きも発売されている。



機能ごとにページ区分けされたホームページ風のユーザーインターフェイス。行ないたい作業ごとにページを選択していけば迷うことはない



WWWブラウザーを使用するオンラインヘルプ。マニュアルを見なくても詳しい手順の解説を表示してくれる

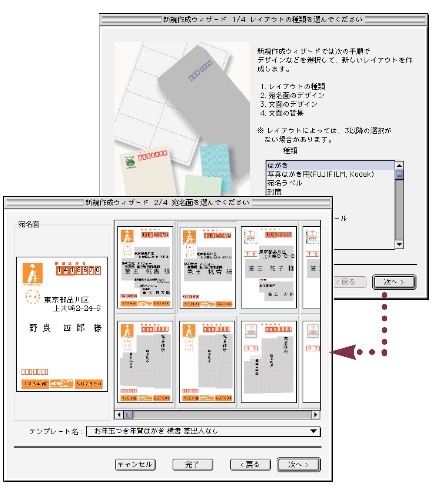
年末を控えて、はがき&宛名作成ソフトの「筆王」の最新バージョンが発売された。ユーザーインターフェイスを改良し、初心者にもよりわかりやすい操作性を実現している。

「筆王」ではメニューバー、ツールバーなどのかわりにお馴染のホームページ風インターフェイスが採用されている。今回の「筆王 for Macintosh 平成12年版」では、さらに工夫され、それぞれの機能ごとにいくつかのページに分類されている。ユーザーは目的の作業ごとにページを選択すると、作業に関係のない機能が表示されないため、間違うことなく操作を行なうことができるというわけだ。また、困ったときに役立つオンラインヘルプ機能も健在だ。この機能は、WWWブラウザー*2を利用して機能の解説を表示してくれる。操作方法がわからくなっても、具体的な手順を見ながら操作できる便利な機能だ。

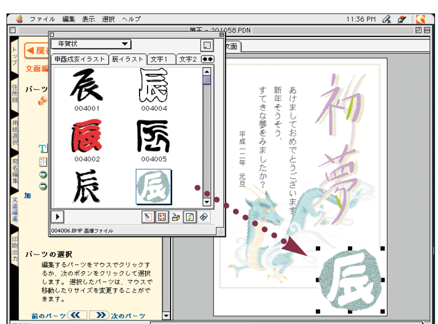
住所録の作成も簡単。搭載されている24万件の姓名辞書には、ほとんどの日本人の姓名が収録されており、読みがなを入力するだけで難しい漢字もリストから選択可能だ。住所も郵便番号や電話番号から入力することができる。さらに、付属の「電話番号CD-ROM」には1999年5月発行までの電話帳をもとに4,120万件を収録した電話番号辞書が搭載されている。これを利用すれば郵便番号、住所はおろか、電話帳に登録されている電話番号であれば、氏名まで自動的に入力してくれる。

また、宛名作成ソフトではある種目玉となるデザインサンプルや文例、イラストなどの添付データも4,700個以上と満載。特にイラストデータはフルカラーイラスト集付きといった力の入ったものだ。パーツパレットからドラッグ&ドロップで文面に挿入することができるほか、イラスト集から選択した番号を入力することでイラストデータを呼び出すこともできる。また、「デジカメNinja」付きも同時に発売されており、デジタルカメラから画像を取り込んだ、写真入りハガキを作成する場合はこれを利用するのもよいかもしれない。

より、使いやすく、初心者に優しくなった「筆王」だが、今回のバージョンから対応機種がiMacおよびPower Macintosh G3のみになったため、これ以外の機種でこれまで「筆王」を使用していた既存ユーザーには、あまりうれしいバージョンアップとはいえないだろう。　●貞岡 修



新規のレイアウトも新規作成ウィザードを使用して簡単に作成できる





データはパーツパレットからドラッグ&ドロップでOK。また、イラスト集のデータ番号を入力して指定することもできる

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 デジカメNinja：（株）アイフォーから発売されているデジタルカメラ総合ユーティリティ。デジタルカメラで撮影した画像の管理や簡単なフォトレタッチ機能もついている。　*2 WWWブラウザー：インターネットで提供されるHTMLファイルを閲覧するためのソフトウェア。代表的なものに「Netscape Navigator」「Internet Explorer」などがある。

ふでまめキッズ

筆まめキッズ 2

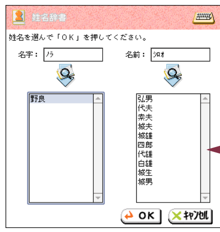
Windowsで評判の「筆まめ」シリーズが「ハローキティ」と「ポムポムプリン」を率いてMacに登場

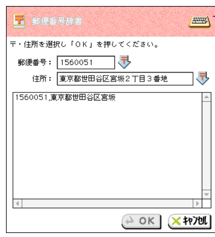
Get Information

開発元・問合せ●(株)クレオ (045-475-1491)
URL●http://www.creo.co.jp/
http://www.swtoo.com/
価格●5,800円
対応機種●Power PC搭載機
動作環境●Mac OS 8以降（日本語版）、Mac OS 8.6対応、QuickTime 4
メモリー●32MB以上（64MB以上推奨）

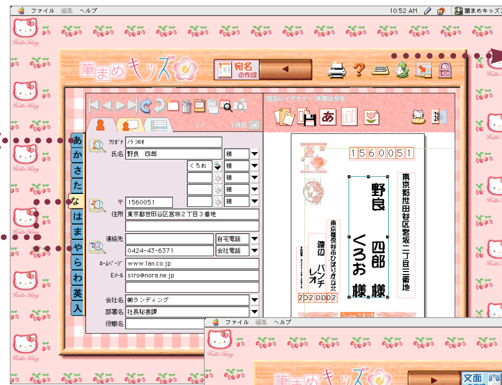
Check Point

サンリオの大人気キャラクター「ハローキティ」をメインキャラクターに据えた、子供、あるいはビギナー向け宛名作成ソフトウェア*1。Windows 版のベストセラー宛名印刷ソフト「筆まめ」シリーズが基となっている製品。年賀状だけでなく、クリスマスカードの作成も可能だ。





「姓名辞書」と「7桁郵便番号辞書」で住所録も簡単に作成で可能



「ハローキティ」、「ポムポムプリン」のキャラクターをはじめ、イラスト1,500点、写真200点、文例集100点、テンプレート100点を収録し、かわいい年賀状、写真シール、名刺などを簡単に作成することができる



キーボード入力が苦手でも「文字パレット」を利用してマウス操作での入力が可能



毛筆印刷ソフトとして評判の「筆まめ」シリーズが、キャラクターに「ハローキティ」と「ポムポムプリン」を使用し、子供や女性ユーザーをターゲットにした「筆まめキッズ2」を発売した。

「筆まめキッズ2」の最大の魅力は、やはりサンリオキャラクター「ハローキティ」と「ポムポムプリン」の500点にもおよぶイラストを使用して、年賀状やクリスマスカードを作成できることだろう。特に「ハローキティ」は1974年の誕生から現在までの歴代デザインをすべて収録しており、「ハローキティ」ファンには資料としての価値も高い、魅力のあるものとなっている。また、サンリオキャラクター以外にも年間を通して使用できるイラストや写真、文例集、テンプレート*2なども用意されているため、自分だけの名刺やネームラベル、シールを手軽に作成することが可能だ。

機能面では宛名の自動レイアウト、文面の作成機能など従来の「筆まめ」シリーズを継承した高機能を実現しつつ、ビギナーでも簡単に操作できるように工夫されている。たとえば、「文字パレット」を使用すれば、キーボード操作が苦手なユーザーでもマウス操作のみで文字入力を行なうことができる、また、住所録も電話番号から検索可能な約12万件の「7桁郵便番号辞書」と難しい氏名の漢字も簡単に入力できる約25万件収録の「姓名辞書」を使用して簡単に作成することが可能だ。

今回のレビューではβ版を使用したため、確認できなかったが、使い方がわからない場合でも、キッズナビゲーターの「キティ博士」が 画面を動き回って教えてくれる機能がある。インストール時に自分の誕生日を登録しておくと、誕生日の起動時に「ハローキティ」がお祝いしてくれるというイベントも付いている。登録していなくとも正月やクリスマスなどには、起動時に「ハローキティ」が登場するという機能もある。

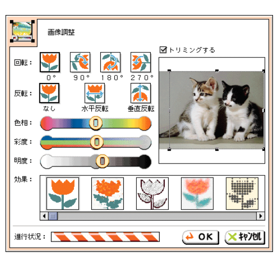
さらに、「筆まめキッズ2」には簡単なフォトレタッチ*3機能も搭載されており、トリミングや回転、色相、彩度、明暗の調整を行なうことができる。また、点描画、スケッチ、色鉛筆といった簡単な特殊効果も搭載されているため、他のフォトレタッチソフトを使用しなくても、デジカメから取り込んだ画像や写真などを簡単に加工、調整することも可能だ。

値段的にも手頃で、簡単にかわいいおしゃれな画像をプリントでき、ビギナーや、キッズユーザー、また女性ユーザーにはまさにお薦めのソフトだが、使用メモリーが大きいことが少し気になる点だ。

●貞岡　修



誕生日に起動すると「ハローキティ」が祝福してくれる。また、正月やクリスマスなどにも「ハローキティ」が登場する



簡単なフォトレタッチ機能も付属している



変形文字も簡単に作成することが可能

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★☆☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	――
総合評価	★★★★☆

*1 宛名作成ソフトウェア：ハガキなどに宛名を印刷するためのソフトウェア。ハガキ作成ソフトウェアとも呼ばれる。低価格な高性能インクジェットプリンターの普及や、デジタルカメラの普及により、簡単に美しいハガキが作成できるようになったため、最近ではいろいろな製品が発売されている。　*2 テンプレート：ひな形と呼ぶ場合もある。一部分を修正するだけで、使用することが可能なデータファイルのこと。ワープロやデータベースソフトなどほとんどのアプリケーションソフトに付属している。　*3 フォトレタッチ：写真のゴミ、傷の修整や色彩の調整を行なうこと。フォトレタッチソフトとして代表的なものにアドビシステムズ社の「Photoshop」などがある。

クラッカージャック

Crackerjack 3.0 日本語版

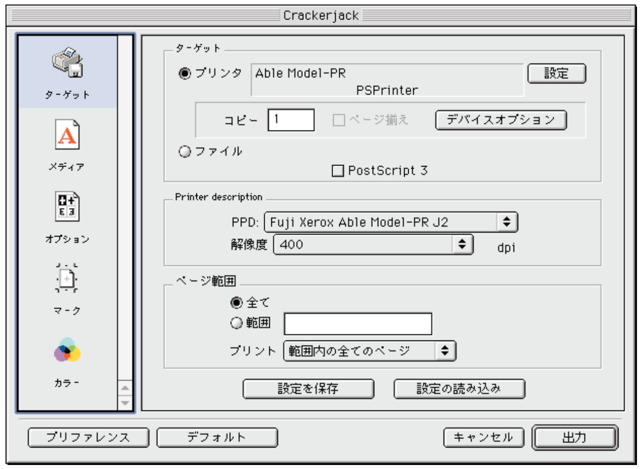
PDFファイルを分版出力するためのAdobe Acrobat 4.0対応のプラグインツール

Get Information

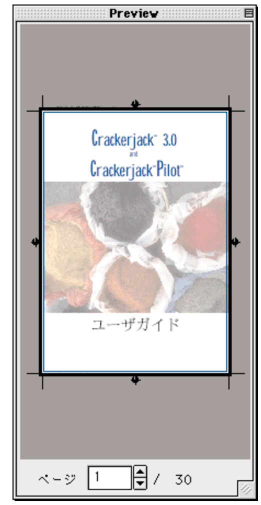
開発元●LANTANA RESEARCH社
問合せ●ケミカル・リサーチ（株）（045-984-0257）
URL●http://www.copstalk.co.jp/
価格●オープン価格
バージョン●3.0
対応機種●68030以降（PowerPC搭載機推奨）、Adobe Acrobat 3.0以降（Acrobat4.0推奨）
動作環境●Mac OS 7以降（7.2.1以降推奨）
メモリー●16MB以上

Check Point

RGBベースのPDFファイルをCMYKベースに変換し、4色分版を可能にするAdobe Acrobat用のプラグイン。プラットフォーム、フォントに依存せず、画質も向上し、PDFファイルの活用範囲が広がった。



「Crackerjack」ウィンドウ。プリント出力の細部の調整を行なう。左の「ターゲット」「メディア」「オプション」「マーク」「カラー」のアイコンとクリックし、それぞれの設定を行なう



PDFドキュメントのプレビューを表示する「プレビュー」ウィンドウ。サイズ、トンボ、拡大縮小などの設定を反映して表示する

Crackerjackは、PDFドキュメントを商業印刷用に分版出力できるAdobe Acrobat*1のプラグインだ。今バージョンではAcrobat 4.0に対応し、さまざまな機能が強化され、より実用的なツールとなった。

PDF*2ドキュメントを利用した商業印刷は、DTPの新しい方向性として注目を浴びている。これまでのDTPはQuarkXPress、PageMakerといったDTP専用アプリケーションを利用したものであったが、Crackerjackによって、Windows版のアプリケーションや商業印刷に未対応のアプリケーションで作成されたドキュメントであっても、PDF形式に変換することで分版出力が可能になった。また、Acrobat 4.0の登場により、日本語フォントが埋め込み可能になったこと、画像ファイルの処理がよくなり、画質が向上したことにより、PDFファイルの商業印刷への利用が一段と現実味を帯びてきた。

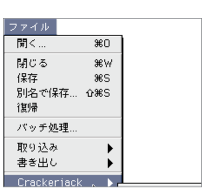
Crackerjackは、以前から注目されていたツールだったが、今回のバージョンアップでさらに強力なツールとなっている。

Crackerjackでは、検証、トンボ、オフセット、スケーリング、カラーコントロール機能など、出力に関する重要な要素をコントロールすることができる。今回バージョンアップされたCrackerjack 3.0では、出力前にオフセット調整などを確認できる「カラープレビュー表示」、PDFドキュメント内のブラックで定義されているすべてのテキスト、グラフィックなどを認識し、他の版に混じることなく、墨版のみに出力する「ブラックオーバープリント」、InRIPセパレーション*3未対応の出力機に対してもPDFドキュメントからダイレクトに分版出力が可能な「プレセパレーション機能」、生産性を向上するバッチ機能を標準搭載した「Crackerjack Pilot」、また、Photoshop 5のRGB変換プロファイルやSmooth Shading, Masked ImageなどのPostScript 3特有コマンドにも対応した。

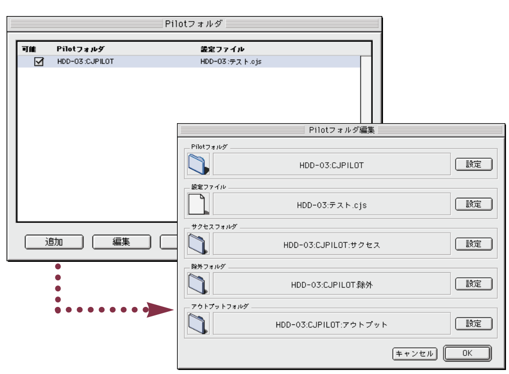
表示される「Crackerjack」ウィンドウでは左のアイコンをクリックして、PDFドキュメントを出力する設定を行なう。「ターゲット」パネルではPDFドキュメントの出力パラメータ、「メディア」パネルでは出力する用紙サイズの選択と方向、「オプション」パネルではオフセットなどの出力体裁を整えるためのオプション、「マーク」パネルではトンボのタイプやレジストレーションマークのタイプやその他の出力体裁を整えるためのパラメータ、「カラー」パネルでは出力時のカラーレンダリングや分版とスクリーニングの設定を行なう。オフセット、トンボなどの設定は「プレビュー」ウィンドウに反映され、目で見て確認することができる。商業印刷の現場で必要とされる機能に対応したバージョンアップといえるだろう。

●貞岡 修





Acrobat 4.0であれば、ファイルメニューから選択する以外に、直接PDFドキュメントからCrackerjack、Crackerjack Pilotを起動することもできる



Cracker Pilotで出力処理を自動化することができる

コストパフォーマンス	★★★☆☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	☆☆☆☆☆
総合評価	★★★★☆

*1 Adobe Acrobat：アドビシステムズ社から発売されているPDFファイルを作成するためのユーティリティ。印刷可能ならどんなアプリケーションからでもPDFを作成できる。なお、Acrobat 4.0からは簡単な編集も可能となった。 *2 PDF：Portable Document Format。Adobe Acrobatのファイル形式。Mac、Windows、UNIXなどプラットフォームにかかわらず、オリジナルのレイアウトのまま、表示、印刷が可能なので、電子的ドキュメントの標準となっている。表示専用ツールAcrobat Readerは無料配布されている。 *3 In RIPセパレーション：RIP内で4色分版を行なう機能。RIPとは、Raster Image Processorの略で、PostScriptデータをイメージセッター（あるいはPostScriptプリンター）の出力解像度に合わせてビットマップデータに変換するプロセッサーのこと。

ネットスケープ・コミュニケーター

Netscape Communicator 4.7 日本語版

CD-ROM

Macではもっともポピュラーなインターネット統合環境、Netscape Communicatorの最新版

Get Information

開発元●ネットスケープ・コミュニケーションズ
URL●http://home.netscape.com/ja/
（問合せはサポートページのみhttp://help.netscape.com/ただし英文）
価格●無料
バージョン●4.7
対応機種●PowerPCを搭載機
動作環境●Mac OS 7.6.1以降
メモリー●16MB以上（Mac OS 7.6.1）、24MB以上（Mac OS 8.0以降）

Check Point

基本的な機能は、前バージョンからほとんど変化していない。今回のバージョンアップの目玉は、オンラインショッピングサイトとのリンクや検索機能などの強化だ。





Ship@Netscapeボタンをクリックすると、Netscapeのページに用意された、ショッピングサイトへのリンク集へ接続するようになっている。登録されているサイトは豊富だ

定番Webブラウザー&メーラー&ニュースリーダー統合ソフト「Netscape Communicator」がバージョンアップした。今回のバージョンアップでは、英語版と日本語版が同時にリリースされた。

マイクロソフトのInternet Explorerと双璧をなすNetscape Communicator（以下、NC）は、WebブラウザーのNetscape Navigatorにメール&ニュースソフトなどを統合したインターネット統合環境だ。特に、Macユーザーの間では、古くからOSに添付されていたため、いまでもNCのほうが多く使われてるのではないだろうか。

そのNCが今回バージョンアップされ、4.7となった。ブラウザー部分のみのバージョンアップで、そのブラウザーの基本的な機能には、ほとんど変化はないが、新しいサービスが組み込まれ、Webブラウザーとしてだけではなく、ネットワークに対応した環境として利用できるように進化した。

今回搭載された主な新機能は、Shop@Netscape（ショッピングボタン）やMacromedia Flash 4.0 対応のプレイヤーの搭載などがある。このほか、デジタル証明書を入手するプロセスの簡略化や56ビットキーのDES暗号を追加し、2000年問題へも対応している。また、付属するオンラインコミュニケーションツール*1AOL Instant Messengerがバージョン3.0にアップデートされている。もちろん、細かいバグフィックスもされているので、より安定性が増したことはいうまでもないだろう。

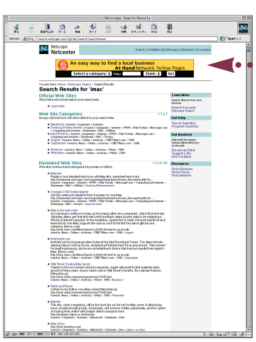
ショッピング関連ツール「Shop@Netscapeボタン」は、ブラウザーのツールボタンの1つとして新たに用意されたもので、クリックすると、Netscapeの用意したショッピングサイトへのゲートページが表示される。このページから多数のオンラインショップへジャンプすることが可能となっている。数多くのサイトが登録されているが、特に食品関係のサイトが充実している。地方の特産品を販売するサイトが多いこともあり、自分用だけではなく、お中元や御歳暮などの贈答用に利用するのも便利だ。

バージョン4.5から搭載されたインターネットキーワード検索が検索エンジン*2の充実により、より便利になっている。これは、Locationを入力するエリアに調査したキーワードを入力することにより、Netscapeの持つ検索エンジン、Net scape Searchへ自動的に接続して、検索を実行して結果を一覧表示する機能だ。もちろん複数のキーワードを入力することで、絞り込み検索もできる。

ところで、日本語版には搭載されていないが、NC 4.7英語版には、Netscape Radioという機能が搭載された。これはいわゆるインターネットラジオ*3放送局へ接続するためのページなのだが、今のところ日本語のサービスは提供されていない。日本で、このようなサービスはまだあまり見られないが、今後ネットワークインフラの整備とともに、普及していくだろう。

このように、ますます進化し続けていくNCは、今後ともスタンダードなWebブラウザーの地位を保持し続けていくのではないだろうか。

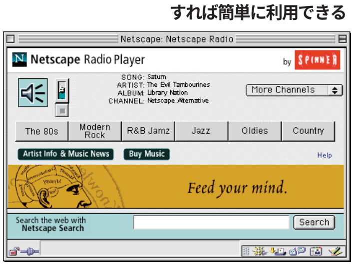
●結城月葉





Locationエリアに「Search」と打ち込み、その後ろにキーワードを入れることで、Netscapeの検索エンジンを利用して、Webページを探すことができる。わざわざ検索エンジンのページまで行かなくていいので便利だ

英語版4.7ではRadioサービスも行なわれている。Netcenterでユーザー登録すれば簡単に利用できる





オンラインコミュニケーションツールAOL Instant Messenger 3.0が標準でバンドルされる

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★★
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★☆☆
総合評価	★★★★★

*1 オンラインコミュニケーションツール：インターネットを介して文字でリアルタイムに会話をしたり、ファイルのやり取りをするツール。テキストでやり取りするためページャー（ポケベルのこと）ともいわれる。　*2 検索エンジン：ホームページ上のデータを検索するためのホームページ。goo（http://www.goo.ne.jp/）、Excite（http://www.excite.co.jp/）などが有名。　*3 インターネットラジオ：音楽データをリアルタイムにダウンロードしながら聞くことができるラジオのようなシステム。RealPlayerやShockwave、QuickTimeを用いる。

アドビ・フォトショップ・エル・イー

Adobe Photoshop LE 日本語版

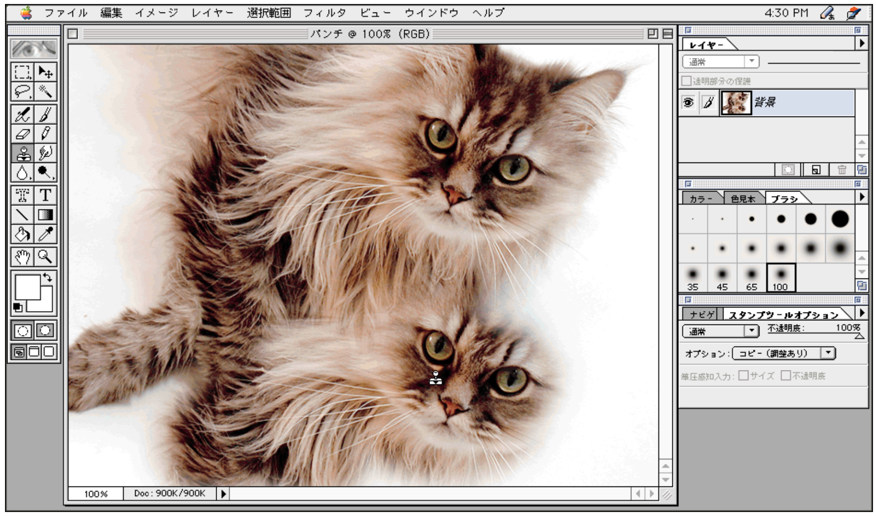
世界標準のプロフェッショナル・グラフィックツール、Adobe Photoshopの機能限定版

Get Information

開発元・問合せ●アドビ システムズ（株）(03-5350-0407)
URL●http://www.adobe.co.jp/
価格●オープン価格（市場予想価格15,000円前後）
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.5以降、Mac OS 8日本語版以降
メモリー●16MB以上（32MB以上を推奨）

Check Point

機能的にAdobe PhotoDeluxeとAdobe Photoshopの中間に位置する製品。PhotoDeluxeの機能では物足りないが、Photoshopは高価すぎる、また、難解すぎると思っているホビーユーザーやビジネスユーザーには最適。



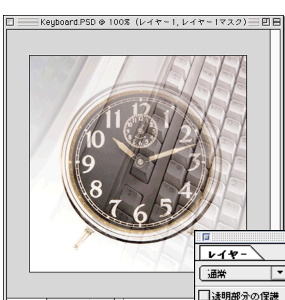
上位製品と同じAdobe独特ののユーザーインターフェイスを採用。操作感も上位バージョンと変わらない

Adobe Photoshop LEは、Adobe Photoshopの多用される機能のみに限定した、Photoshopの入門版だ。手頃な価格で高品質な結果を得ることができる。

デジタルカメラやスキャナー、プリンターの普及などにより、プロのクリエイターに限らず、一般ユーザーまで、グラフィックソフトを使用する機会は圧倒的に増えている。そんな中でもAdobe Photoshopは、最も知名度の高いグラフィックソフトであるといっていいだろう。ただし、その高機能に見合った値段の高さから、一般ユーザーにはなかなか手を出せないのが現状だ。Adobe Photoshop LEはAdobe Photoshopの機能限定版とはいえ、その実力は侮れるものではない。業界標準ともいえるAdobe Photoshopと同様の画像処理エンジンを搭載しているため、Adobe Photoshopと同様、レベルの高いプロ並みの画像処理を行なうことが可能だ。

LEに搭載されている機能は「なげなわ」「マグネット選択」「自動選択」などの選択範囲作成ツール、最大99枚まで使用できるレイヤー機能、「スタンプ」「覆い焼き」「ぼかし」「指先」など、高度に画像を修正するレタッチツール、「トーンカーブ」「レベル補正」「カラーバランス」などの色調補正機能、「ブラシ」「エアブラシ」「鉛筆」「グラデーション」などのペイントツール、「ぼかし」「ノイズ」「シャープ」「照明効果」など95種類以上にも及ぶ多彩な特殊効果フィルター、また、JPEG、GIFファイルなどWebの主要ファイル形式*1や、BMP、PICT、TIFF、Targa、Photoshop EPS、そのほかの画像ファイル形式の読み込み、書き出しをサポート、サードパーティー*2製のプラグイン類もAdobe Photoshopと同様に使用することができる。

Adobe Photoshop LEを立ち上げると、デスクトップには同社の製品を使ったことのある人にはお馴染みのユーザーインターフェイスが広がる。ぱっと見は、先日発売されたばかりのAdobe Photoshop 5.5とさほど変わりがない。このLEはひとつ前のAdobe Photoshop 5.0をベースにしている。フルバージョンのPhotoshopとの大きな違いは、カラーサポートが「RGB」「インデックスカラー」「グレースケール」のみであること、「調整レイヤー」「文字レイヤー」「レイヤー効果」が使用できないこと、「ヒストリー」「アクション」が使えないこと、Adobe Illustrator、Adobe Acrobat、Adobe PostScriptのファイルが読み込めないこと、カラーチャンネルの編集が行なえないこと、パスが使用できないことなどが挙げられる。CMYK*3がサポートされていないことでDTPなどに使用するのは厳しそうだが、Web用グラフィックスの作成や簡単な画像処理など、グラフィックソフトの入門版としては十分過ぎるできだ。また、このLEから最新バージョンのPhotoshopへのアップグレードも83,000円で行なうことができる。　●貞岡 修





レイヤーマスク、クリッピングレイヤーなどの機能も搭載されている



豊富なフィルターで簡単に画像に特殊効果を適用できる

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 ファイル形式：データを保存するときの保存形式、データ形式と呼ばれることもある。さまざまな保存形式があり、PhotoshopのPSDなどアプリケーション特有の形式やGIFF、TIFFといった他のアプリケーションと互換性のある標準的なファイル形式もある。　*2 サードパーティー：ハードウェアやソフトウェアを開発、販売したメーカー以外に、それ用に周辺機器、プラグインなどの製品を開発、販売するメーカーのこと。純正品に対してサードパーティー製品というように使用する。　*3 CMYK：C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）という色の3原色にK（ブラック）を加えた色の合成方式。一般のカラー印刷ではC、M、Y、Kの4色の版で印刷されるため、モニター表示に使用しているRGBデータは印刷のためにCMYKに変換する必要がある。

アトラスメイト4・フォー・マッキントッシュ

AtlasMate4 for Macintosh

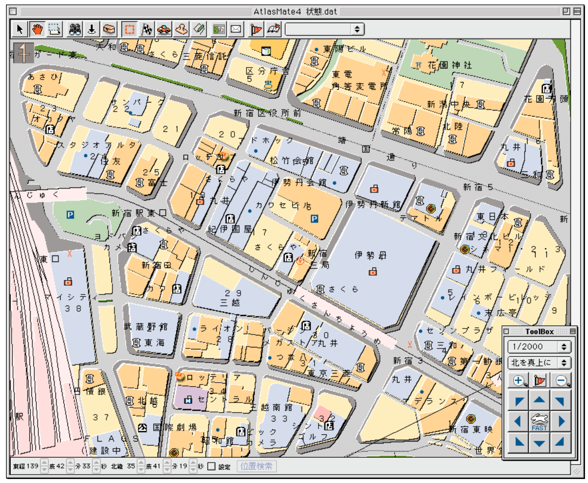
初心者からパワーユーザーまで使いこなせる、まるでカーナビのような地図ソフト登場！

Get Information

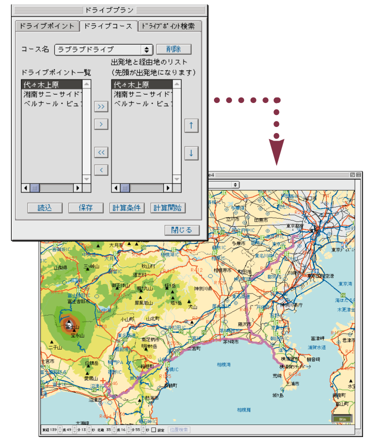
開発元・問合せ●住友電工システムズ株式会社（03-5273-7911）
URL●http://www.sesys.co.jp/
価格●12,800円
バージョン●4.0
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk7.5以降
メモリー●32MB以上（割り当てメモリー24MB以上推奨）

Check Point

2年ぶりのバージョンアップで大幅機能強化。最適なドライブコースを作成してくれるドライブプランニング機能が改良された。PowerBookやiBookなどがあれば、カーナビ*1代わりにも使える。ホームページ作成機能なども搭載された多機能ソフト。



AtlasMate4の基本画面。地図は1/2,000の縮尺で表示されており、建物の形もわかるくらいだ。表示範囲の移動は右下に表示されているパレットで行なう



複数のドライブポイントを指定すれば、そのポイントをつなぐドライブコースを自動的に作成してくれるドライブプランナー。図中のピンク色の太線がドライブコース

「AtlasMate4 for Macintosh」には、ドライバー向けの便利な機能が多数搭載されている。HTMLやJPEG形式での地図の書き出しも可能なので、ホームページの作成にも威力を発揮する。

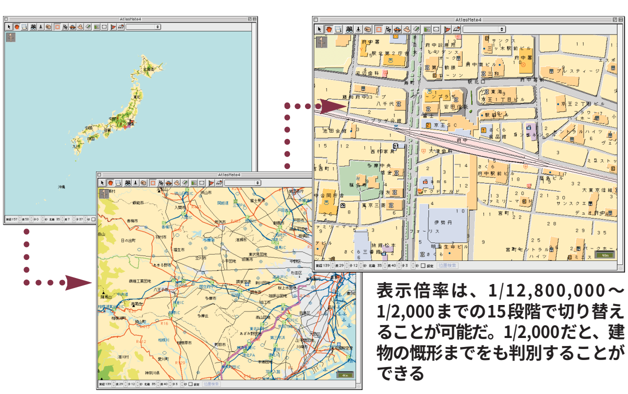
「AtlasMate4 for Macintosh」は、かなりモバイルすることを意識して作成されている電子地図ソフトだ。特に、ドライブに出かける場合などに、PowerBookやiBookにインストールして携帯しておけば、かなり役立つアイテムになることは間違いない。

AtlasMate4 for Macintoshの最大の特徴は、"ドライブプランナー"、"HOTドライブコース"が搭載されているという点だろう。ドライブプランナーとはドライブコースを作成する機能で、指定した複数のポイント間（最大50箇所）を最短時間、あるいは最短距離で効率よく回るドライブコースを作成してくれるというもの。コースを作成する場合、一方通行などの道路条件も考慮して表示してくれる。HOTドライブコースは、JAF*2のホームページにある「HOTドライブコース」をダウンロードして、ブラウザー上の地図にそのドライブコースを表示するという機能だ。JAF推薦のドライブコースなので、お薦めの観光スポットや割引協定施設のデータもバッチリ入っており、かなり便利に使うことができるだろう。

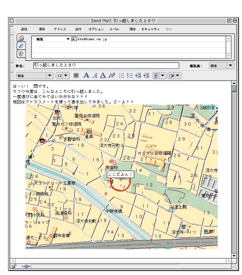
地図の内容に関しても、全国道路地図に加え、人口20万人以上の約170都市について「1/2,000」縮尺までの詳細街区地図が収録されているので、目的の建物や施設の概形までをも判別できるようになっており、非常に見やすくなっている。表示も、1/12,800,000（日本全土）から1/2,000（街区地図表示）まで15段階に拡大/縮小表示することが可能だ。

電子地図ソフトには、地図データ容量が大きすぎるという問題が常につきまとうが、AtlasMate4の場合、目的の県別、地方別にハードディスクにインストールできるようになっているので、モバイル*3パソコンで地図を活用したいという人も容量をさほど気にせずに使用することができる。

また、AtlasMate4は、モバイル時に威力を発揮するだけでなく、家にいるときも電子地図ソフトとしての威力を十分に発揮してくれる。特に、表示されている地図をHTML形式やJPEG形式で書き出せるという機能は便利だ。これらの形式で地図を書き出し、そのファイルをホームページや電子メールに埋めこむだけでブラウザー上やメーラー上に地図を表示させることができる（ブラウザーに表示させる場合には、添付されているAtlas Mateプラグインが必要）。ホームページやメールで地図が活用できるようになったことにより、地図活用の可能性がグッと広がることになる。他にも、地図上にマーク、コメント、音声ファイルなどを登録しておく機能や地名、駅名、施設名などの項目による検索機能も充実しており、機能的には申し分ないといえる電子地図ソフトといえるだろう。　●山本浩司



表示倍率は、1/12,800,000～1/2,000までの15段階で切り替えることが可能だ。1/2,000だと、建物の概形までをも判別することができる



地図にオブジェクトやテキストを挿入して、JPEG形式で書き出し、メールに貼り付けて送付することも可能だ

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★★
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 カーナビ：カー・ナビゲーション・システムの略。地図の中での自車位置を把握するための車に設置する車載システム。このシステムを上手に利用すれば、迷わずに目的地にたどりつくことができる。　*2 JAF：Japan Automobile Federation（日本社団法人自動車連盟）の略称。ジャフと呼ぶ。　*3 モバイル：mobile。英語を直訳すると「可動の」「移動性を持った」などの意味があり、屋外や出先といった、普段コンピューターを使用している以外の場所や環境でコンピューターを使用することを指す。最近では、携帯電話などでインターネットに接続し、情報のやり取りをすることをいう場合もある。



ノートン・アンチウィルス 6.0 Mac版

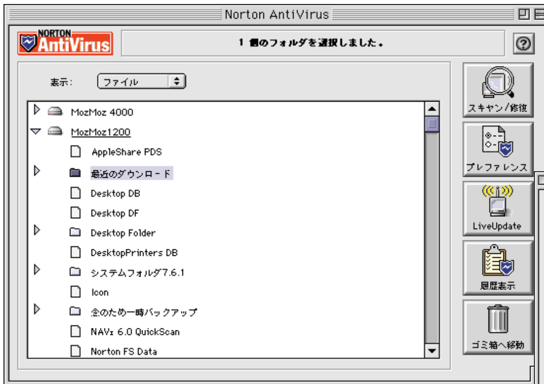
LHA形式に対応し、処理速度も早くなった定番アンチウィルスソフトの最新版

Get Information

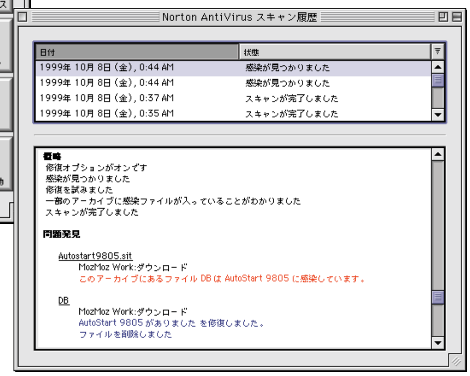
開発元・問合せ●（株）シマンテック（03-3476-1156）
URL●http://www.symantec.co.jp/
価格●9,800円
バージョン●6.0
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 8.0以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●6MB以上

Check Point

仕事で外部とファイルのやり取りがある人、特にMicrosft WordやExcelの愛用者ならマクロウィルス対策として必携。またLHA形式に対応しているので、新しいオンラインソフトをダウンロードすることが多い人も要検討だ。



アプリケーションを起動したところ。過去の結果を参照できる履歴ボタンが追加された。検査ファイルをアプリケーションにドラッグ&ドロップすると、自動的にスキャン開始する



履歴を開いたところ。過去の検査結果が一覧表示され、感染日時を特定するのに役立つ

忘れた頃に猛威をふるうコンピュータウィルス。それらを退治してくれる頼もしいソフトが「ノートン・アンチウィルス」だ。新バージョンでは、処理速度が改善し、対応する圧縮ファイルが増加した。

ある日、あなたのもとに某有名メーカーから電子メールが届いたとしよう。内容は新型のコンピューターウィルスに関するもので、添付のプログラムを実行して駆除してほしいと書いてある。しかし、うっかりこのプログラムを実行してしまうと一巻の終わり。あなたのシステムには悪意を持ったプログラムが巣食ってしまうのだ。差出人は偽者で、添付プログラムはトロイの木馬[*1]。PC用ではあるが、少し前に広まった実在するウィルスの話である。情報処理振興事業協会（IPA）[*2]によれば、コンピューターウィルスの最大の感染経路は電子メールによるものだそうだ。怪しいファイルをダウンロードしなければ大丈夫といった時代は終焉を迎え、各ユーザーが自衛する時代になったのかもしれない。

ノートン・アンチウィルス6.0 Mac版（以下NAV6.0）は、Mac用としては世界最大のシェアを誇るウィルス対策ソフトの最新版である。NAVM6.0は、ウィルスの検出や除去を行なうアプリケーションと、バックグラウンドで監視する機能拡張書類 Auto-Protectで構成されている。特徴は、未知のウィルスさえ検出するBloodHound機能、インターネットを経由してプログラム本体やウィルス情報のアップデートが行なえるLive Update、特定のフォルダーを常に監視してくれるセーフゾーン機能などが挙げられる。

新バージョンの目玉は3つ。まずスキャン処理が大幅に高速化されたこと。CD-Rなどの大容量メディアでファイルをやり取りしている人には朗報だろう。次に検査可能な圧縮ファイルの種類が増えたこと。Aladdin Systemsの最新の解凍エンジン[*3]を内蔵し、StuffIt 5.0形式やLHA形式[*4]のファイルを解凍することなく検査できるようになった（Auto-Protectは未対応）。最後はLive-Updateの処理時間が十分の一に短縮されたこと。ノートン・ユーティリティーズと同時にアップデートすることもできる。また地味ではあるが重要な改良点として、ネットワーク経由でWordやExcel書類を開く際に、マクロウィルスを事前にチェックしてくれるようになった。対応OSは8.6までだが、登録ユーザーにはMac OS 9が入った起動用CD-ROMが2,500円（送料込み）で提供されるとのこと。また、今回のバージョンからサポートされない68040搭載機ユーザーのために、前バージョンのNAV 5.0.3が同梱されている。

ライバル製品である「鉄壁（旧VirusScan）」と比較すると、処理スピードで追いつき、対応する圧縮ファイルで一歩リードした。しかし、コンテクストメニューやコントロールバーへの対応は見送られたこと、ウィルス定義ファイルが以前のものと互換性がなく、購入1年後からは更新が有料になった点は残念だ。

iMacやiBookの登場で、ますます初心者の増加が見込まれる。そうした最も狙われやすい層にも、やさしいソフトへ進化していくことを期待したい。　●毛利司津江



アプリケーションが含まれている圧縮ファイルを伸張しようとしたら警告された。当初は、こうした問題のない動作も警告されるが、驚く必要はない。記憶ボタンをクリックすれば表示されなくなる



LiveUpdateでは、ウィルス定義ファイルだけでなく、NAV6.0本体やNUMのアップデートも自動で行なえる。更新状況も非常にわかりやすい。また定期的に自動更新してくれるスケジュール機能も設定できる



セーフゾーンに移動したファイルにウィルスが含まれていたところ。書類に影響がなければ自動的に除去されるので、メッセージを読もうとしない初心者が、間違ってそのままにしておき感染してしまう、といったミスは起きない

コストパフォーマンス	★★★☆☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 **トロイの木馬**：一見すると普通のプログラムという偽装のウィルス。メッセージを表示したり、ファイルを消去するといったトラブルを引き起こすものもある。　*2 **情報処理振興事業協会（IPA）**：コンピュータウイルスの被害届を受付けている政府関係機関（特別認可法人）。http://www.ipa.go.jp/。　*3 **Aladdin Systemsの最新の解凍エンジン**：バージョン5.1のStuffIt Deluxe、StuffIt Expanderで用いられているエンジンのこと。　*4 **StuffIt 5.0形式やLHA形式**：StuffIt 5.0形式は、StuffIt Deluxe 5.0以降で採用された圧縮ファイルの形式。StuffItで圧縮したファイルの末尾には.sitを付けるのが慣例。LHA形式は、国内では標準的なLHAが採用している圧縮形式。末尾に.lzhをつけるのが慣例。LHAのMac対応の移植版にMacLHAがある。

ノートン・ユーティリティーズ 5.0 Mac版

完成度に磨きをかけた定番トラブル解決ユーティリティの新バージョンがお手頃価格で登場

Get Information

開発元・問合せ●(株)シマンテック（03-3476-1156）
URL●http://www.symantec.co.jp/
価格●19,800円
バージョン●5.0
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 8.0以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●8MB以上

Check Point

Macが起動しなくなった人や重要なファイルを消してしまった人は、すぐに購入したほうがよい。ただし、新機能は多くないので、アップグレードするかどうかは新OSの導入時に検討しても遅くはない。



メインのウィンドウ。旧バージョンと比較すると、Crash Guardが消えLiveUpdateが追加されている。また、ノートン・アンチウィルスをインストールしていれば、ここから起動することもできる



ディスクの診断を実行しているところ。複数のテストが同時に進行する。表面的には旧バージョンからの変更はないが起動ディスクが修復可能になるなど細かい改良は行なわれている

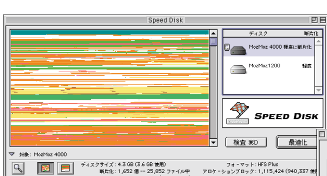
ソフト売り上げランキングでは常に上位に登場するノートン・ユーティリティーズがバージョンアップした。起動ボリュームがそのまま修復可能になり、FireWire*1機器にも完全対応している。

「ノートン・ユーティリティーズ5.0 Mac版（以下NUM5.0）」は、マックのハードディスクやMOといったメディアに関するトラブルを診断／解決してくれる定番ソフトだ。うっかり削除してしまったファイルの復活はもちろん、起動不能になったボリューム*2の修復、ファイルの断片化*3の解消、メディアの定期的な診断やMacの処理速度を測定するベンチマークなど、さまざまな機能を併せ持つ総合的で強力なユーティリティである。歴史の長いソフトだけあって操作性も洗練されており、ほぼすべてのトラブルがボタンをクリックするだけで簡単に解決できる。特にファイルの復活機能は優秀で、初心者でも容易に目的のファイルを復活できる点は大きく評価したい。

今回のバージョンアップでは、診断や修復に関する機能的な強化と、使いやすさが向上する改良とが行なわれている。機能的には、起動ボリュームが直接修復可能になった点に注目したい（Mac OS 8.5以降）。以前のバージョンでもある程度の修復は可能だったが、これでハードディスクがマウントされないほど深刻な問題でないかぎり、再起動することなく修復作業が行えるようになった。また、修復作業に問題が起きた場合に、作業前の状態に戻すことができるUndo機能も追加された。ファイルの断片化を解消するSpeed Diskでは、ディレクトリー情報*4を最適化する機能も追加されている。ディレクトリー情報とは、いわばハードディスクの住所録のようなもので、実際のデータを読み書きする時に頻繁に参照される。この情報を最適化することで、理論的にはさらに高速なアクセスが可能になるわけだ。さらに、FireWire機器への完全対応といった最新機種ユーザー向けの改良も加えられている。なお今回のバージョンでは、クラッシュ時にファイルを保護してくれるCrashGuardが除かれている。

使い勝手に関しても、ノートン・アンチウィルス6.0 Mac版（以下NAV）をインストールしていれば、NUM5.0のメインウィンドウから起動できるなど、ファミリーの融合が進んでいる。インターネット経由のアップデート機能も搭載された点も朗報だ（NAVと同時にアップデート可能）。NAV 6.0同様、登録ユーザーにはMac OS 9が入った起動用CD-ROMが2,500円（送料込み）で提供される。また、68040ユーザー用に前バージョンのNUM 4.04が同梱している。

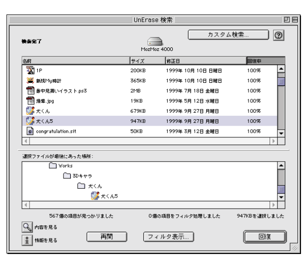
iMacやiBookのようなバックアップ用機器に追加投資が必要な機種のユーザーは保険の意味でも導入を検討することをお薦めする。価格も下がったのでお買い得である。しかし、変更点が地味なことや新OSの発売時期と重なっている点を考えると、旧バージョンのユーザーがアップグレードすべきかどうかは微妙だ（アップグレードの受付は12/31まで）。とりあえず新OS導入まで待ってみるのも悪くない選択である。　●毛利司津江



Speed Diskのメインウィンドウ。新たにディレクトリーの最適化が行なえるようになった。また、特定のファイルの場所を確認する機能も追加された



コントロールパネルのNorton FileSaverを開いたところ。変更点はほとんどないが、削除ファイル／フォルダの追跡オプションが追加された



削除したファイルを復活させるUnEraseのメインウィンドウ。項目のソートや内容表示、ウィンドウサイズの変更など、操作性は抜群である

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★★
総合評価	★★★★☆

*1 FireWire：Appleが開発した高速シリアルインターフェイス。IEEE1394で規格化された。最大64台の機器を接続でき、データ転送速度は100Mビット／秒、200Mビット／秒、400Mビット／秒の3種類。DV端子に採用されている。ソニーのiLinkも同じもの。　*2 ボリューム：ドライブが物理的なハードウェアを指すのに対し、ボリュームはハードディスクやCD-ROMなどをデスクトップにアイコンで表示されるディスクを指す。　*3 ファイルの断片化：ハードディスク内で1つのファイルが連続して格納されず、複数の部分に分割している状態。フラグメンテーションともいう。ファイルへのアクセス時間が遅くなる。　*4 ディレクトリー情報：ディスク上で、ファイル容量や作成日付、種類、場所などファイル管理情報が書き込まれた部分。

フュージョンピーシー

FUSION-PC 2.0

DOS/Vマシン上でMac OSを動作させるエミュレーションソフトの最新バージョ



起動画面。FUSIONを起動した時のスプラッシュスクリーン。結構濃いものがある

Get Information

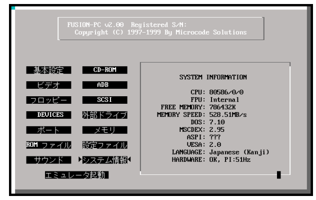
開発元●MICROCODE SOLUTIONS
問合せ●オープンテクノロジーズ（TEL03-5804-1821）
URL●http://www.opentech.co.jp/
価格●17,800円
バージョン●2.0
対応機種●80486/66Mhz以上のCPUを搭載したIBM PC/AT互換機
動作環境●MS-DOS3.2以上、VESA1.2サポートのビデオカード、MS-DOS用のMOUSE、CD-ROMドライバ／アップルの32bitクリーンな512KBまたは1MB ROMのイメージ（68040/68030ベースのMacintoshのおよびMacOSのユーザーライセンス）、システム7.5.3以降のMac OS
メモリー●8MB以上

Check Point

IBM PC/AT互換機（DOS/Vマシン）でMac OSを動作させるためのエミュレーションソフト。仕事場でMS-DOSマシンしかなく，不自由な思いを強いられていたユーザーには特にお薦めだ。



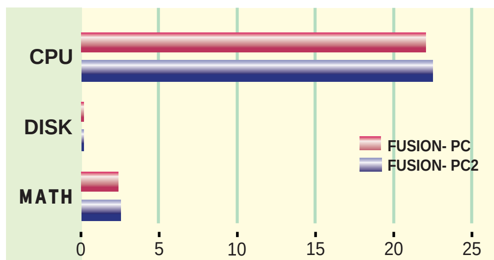
インストール画面。インストール時にはMS-DOSプロンプトでUSモードにしなければならない。インストールの最終段階でセットアップ時の言語を選択できる。今回から日本語にも対応した



セットアップ画面。日本語になったおかげでとてもわかりやすくなったセットアップ。完全に日本語化されており、Macユーザーでも間違えることはないだろう



Microsoft Flight Simulatorだって、とりあえずは楽しむことができる。OldMacを楽しんでいると思えば無機質なWindowsマシンが楽しく使えるようになるだろう



NortonのSystemInfoが正常に動作しないため，Speedometer 4.02を使って計測した。条件はFUSIONのメモリ48MB，AppleTalk切，ディスクキャッシュ128K，640×480，256色である。OS8.1Jを使って測定した。漢字Talk7.5.3でも測定したが，結果は同様であった。ディスクキャッシュの量によってDiskのパフォーマンスが大きく異なる

IBM PC/AT互換機（DOS/Vマシン）でMac OSを動作させるためのエミュレーションソフトウエアのFUSION-PCがFUSION-PC 2.0となり、Windows上で動作するようになった。

FUSION-PCはDOS/VマシンでMacの環境を実現する便利なソフトだったが、動作させるためにはMS-DOSの知識が必要であり、起動もMS-DOSモードでなければならないのであまり使い勝手のよいものではなかった。

それが今回のバージョンアップにより待望のWindows上での動作を（MS-DOSプロンプト*1のフルスクリーンモード）可能にした。特別なMS-DOSの知識が必要なく、仕事場のマシンにも手軽にインストールでき、起動もマウスでダブルクリックするだけでよい。さらにFUSION-PC 2.0を起動したときに現れる設定画面が日本語になるなど、Macオンリーのユーザーでも手軽に扱えるようになった。また、Windowsのドライバーを使用することでより互換性が高くなり、多くの環境での動作が可能になった。同時に、従来は問題のあったLibrettoのフロッピー認識やVAIO、Mebiusなどの特殊な解像度にも対応し、より汎用性が高まった。

FUSION-PC 2.0の基本的な部分は前バージョンと変わりはない。MC68040/FPUをエミュレート（MMU*2は未サポートのため，現時点では仮想記憶は使用不可）し，実機のMacのROMイメージファイルを使用することで完全にMac OSをエミュレートする。CD-ROMやSCSIデバイス，サウンドもサポートしており，ほぼ完璧なMacをDOS/Vマシン上に再現する。

FUSION-PC 2.0ではDOS/VマシンでありながらMacライクな操作を実現するため、フロッピーディスクのオートマウント、コマンド・オプションキーの割付、MO・CDのオートイジェクト、DOSハードディスクのマウント（PC Exchangeを使用）をサポートしている。

FUSION-PCを使用するにあたって問題なのが、ユーザーがMacのROMファイルを用意しなければならないことだ。付属のユーティリティを使用することで簡単に行なえるようになっているのだが、合法的かというとちょっとグレーな面もある。自己所有のMacを使うことと、ROMを吸い出したMacを同時に使用しないということでクリアしているようだ。なお、使用できるROMは32ビットクリーンROMで、512K・1MBのものを使用するが、動作しないROMの機種もあるので、事前にFUSION-PCの情報を扱っているホームページなどでチェックしておいた方がよいだろう。

インストール、起動ともにMS-DOSプロンプトから可能だが、言語モードをUSにしないと正常に動作しないので注意が必要だ。スタートボタンからMS-DOSプロンプトを選び、まずUSと入力してからファイル名を指定する。インストール後の実行ファイルであるSETUP.EXEに対してもショートカットを作成し、そのプロパティのプログラムタブのバッチファイルのフィールドにUSと入力し、画面タブで全画面表示を選択しておかないと日本語の画面が表示されない。

実行速度だが、今回のバージョンアップでの速度の向上は公称10％とのことだ。しかし、Celeron 448Mhzで50MBのメモリーを与えたFUSION-PC2.0では、FUSION-PC1.2に比べて体感的な動作速度の向上は感じられなかった。Speedometer4.02でのテストでもほぼ同じ結果であった。だが、今回のバージョンアップのもっとも大切な部分はWindowsから起動できるということで、逆にWindowsのオーバーヘッドを含みながらも前のバージョンと同等の性能を出しているということを評価すべきであろう。

VAIOやLibrettoにインストールし、最軽量のMacモバイルマシンにしたり、活用範囲はとても広く、かつ極めて実用的である。なお、販売元のオープンテクノロジーズ（http://www.opentech.co.jp/index-j.html）では、メーリングリストも開設しており、有用な情報を得ることが可能だ。

●櫟木義広

コストパフォーマンス	★★★½☆
機能	★★★★★
操作性	★★★☆☆
マニュアル	★★★☆☆
総合評価	★★★★☆

*1 MS-DOSプロンプト：Windows 95/98とWindows 3.1でMS-DOSのアプリケーションを動かす機能のこと。Windows上で起動すると、MS-DOSのウィンドウが表示され、入力待ちの状態になる。「DOS互換ボックス」とも呼ばれる。 *2 MMU：Memory Management processing Unitの略称。68030や68040といった68K MacのCPUに搭載されていたコプロセッサ。高度なメモリ管理をしてアドレス変換を行ない、仮想メモリーを実行させる。

バーチャルピーシー

Virtual PC 3.0 日本語版 with Windows98

Mac OS上でWindows 98を動作させるエミュレーションソフトウェアがUSB対応でバージョンアップ

Get Information

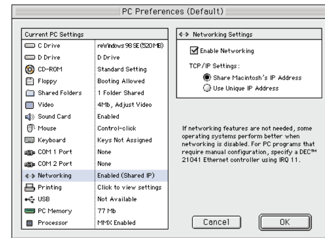
開発元●Connectix社
問合せ●（株）メディアビジョン（03-3263-0630）、（株）システムソフト（092-752-5264）
URL●http://www.mvi.co.jp/、http://www.systemsoft.co.jp/
価格●42,800円
バージョン●3.0
対応機種●G3/G4プロセッサを搭載したMacintosh（iBook/iMac対応）
動作環境●Mac OS8.0以降、Mac OS 9対応
メモリー●64MB以上

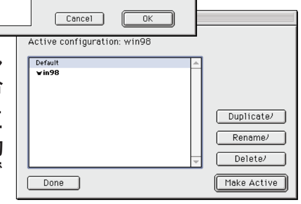
Check Point

1台のMacで、WindowsやMS-DOSを使用する場合に役立つ。Windowsでインターネットに接続したい場合はとくに便利。

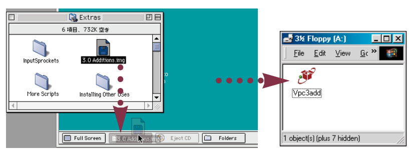


ネットワーク機能も改善され、インターネット接続も簡単になった。プレファレンスで、チェックボックスとオプションをクリックするだけで、IPアドレスを共有させることが可能





複数のOSをインストールした場合は、コンフィギュレーションマネージャーで簡単に切り替えることができる



Macのイメージディスクをドラッグして、FDとして読み込むことが可能。FDドライブのないG3やG4では非常に便利な機能

Mac OS上で、MS-DOS、Windowsを動作させるエミュレーションソフトウェア*1として人気の「VirtualPC」が3.0にバージョンアップし、USB機器や複数のOSの切り替えに対応した。

今回発売されるのは、IBM PC DOS 2000がインストールされた「Virtual PC version 3.0 日本語版（PC DOS）」（12,800円）とMicrosoft Windows 98 SecondEditionがプリインストールされた「Virtual PC version 3.0 日本語版（with Windows98）」（42,800円）の2種類。ここでは、後者の英語版を使ってテストを行なってみた。

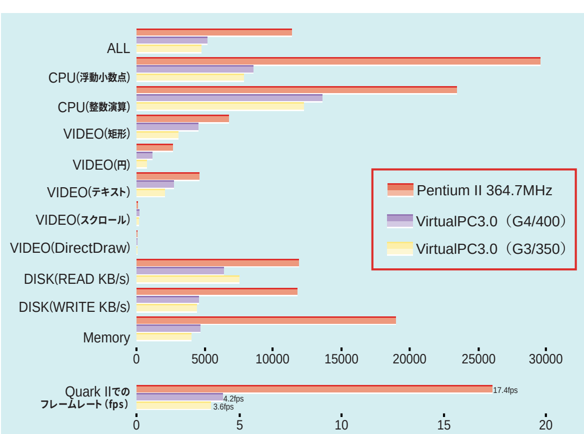
バージョンアップの主な変更点は、いくつかあるが、プログラムの構成上一番の変更点は、複数のオペレーティングシステム*2をインストール可能になったということだろう。これにより、MS-DOSやWindows 98、Windows 95、Windows NTをVirtual PC上で切り替えて使用することができる。切り替える場合は、Mac OSやVertual PCを再起動する必要はなく、Virtual PCのウィンドウ内で、WindowsやMS-DOSを再起動するので切り替えも早い。

今回のバージョンアップでは、USB機器にも対応した。いろいろなテストをしてみたところ、FDドライブ、キーボード、マウス（2ボタンマウスには未対応）、メモリーカードリーダー、ペンタブレットなどの機器は、問題なく使用することができた。しかし、Virtual PCを起動している間、FDドライブは、Windowsでしか認識できないようになるため、Mac上で使用することができない。これはやや不便。さらに、ゲームパッドやジョイスティック、プリンターといった一部のUSB機器は、Apple USB Manager 1.3以上にしか対応していないため、Mac OS 9でしか使用することができない。

USB機器ではないが、CD-ROM、MOドライブもVirtual PC上からアクセスすることができ、Macフォーマットのmoディスクを共有することも可能だ。

ネットワーク機能も改善されている。なんといっても一番便利なのは、MacとWindows環境の双方でインターネット接続を共有できるということだ。 IPアドレスを共有させることができるので設定も非常に簡単。ネットワークのアクセス速度も前バージョンより向上しており、Mac上で使用している場合より、多少遅い程度の速度で使用することができる。Windowsからしかダウンロードできない、あるいは解凍できないファイルを見る場合には重宝する。Mac OSとWindowsのファイル共有は前バージョンから変わっていないので、ドラッグ＆ドロップ、共有ディスクを介してファイルをやり取りすることもできる。そのほか、AppleScriptがサポートされ、WIndows環境でAppleScriptを実行することも可能。

全体的な処理速度も向上し、Mac本体のパフォーマンスも上がっているので、ちょっと遅いWindowsという感覚で十分に使用することができる。しかし、高速な画像処理が必要となる3Dゲームを使用するには、多少無理があるのは否めないだろう。 ●村上みゆき



Pentium II 364.7MHz、PowerBook G4/400、PowerBook G3/350、を使用し、ベンチマークソフトウェアHD Benchを使って測定した。測定条件は、解像度800×600、32ビットフルカラー、Virtual PCへのメモリー割り当ては84MB、Windowsで実際に使用されたメモリーは64MB、PC機のメモリーは64MB

Quark IIは4MBのビデオメモリーを割り当て、解像度640×480でフレームレート*3を計測

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 エミュレーションソフトウェア：異なるプラットフォームのマシン上で、他のオペレーティングシステムを動かし、これに対応したアプリケーションを動作させるソフトウェアのこと。Mac上で、WindowsやDOSを動作させるVirtual PCのほかにSoftWindows 98や、MacやWindows機でプレイステーションのソフトウェアを動作させるVertual Game Stationなどがある。 *2 オペレーティングシステム：略してOS（オーエス）と呼ばれる。コンピューターを動作させるための基本的なソフトウェア。Mac OSのほかに、Windows 95/98、MS-DOS、UNIXなどがある。 *3 フレームレート：ディスプレイ表示で、モニター画面で、1秒間に何回画面が書き換えられるかを表した値。3Dゲームの画面描画速度を表す場合によく利用される。

マックドライブ・98

MacDrive98 日本語版version3.1

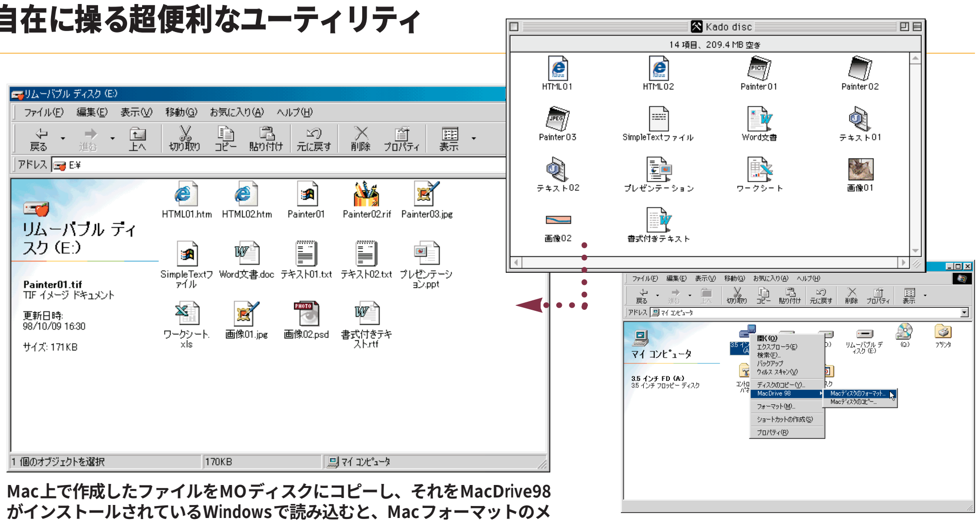
Windows上でMacメディアを自在に操る超便利なユーティリティ

Get Information

開発元●Media4 Productions Inc.
問合せ●（株）メディアヴィジョン（03-3263-0669）
URL●http://www.mvi.co.jp/
価格●9,800円
バージョン●3.1
動作環境●Windows 95/98/NT4.0を搭載している3.5インチフロッピードライブ付きIBM PC/AT互換機、PC98-NXシリーズ、PC-9821シリーズ。Windows互換SCSI/IDE/パラレルポートデバイス対応
HD空き容量●2MB以上

Check Point

　WindowsとMacで互換性のあるプログラムで作成したファイルなら、MacとWindowsでメディアを意識せずにファイルのやり取りをすることができて非常に便利。



Mac上で作成したファイルをMOディスクにコピーし、それをMacDrive98がインストールされているWindowsで読み込むと、Macフォーマットのメディアにもかかわらず認識され、アクセスできるようになる。Macフォーマットのメディアには、アイコンに赤いリンゴマークが付く。そして中身のファイルには自動的に拡張子が付けられ、すぐに開くことができる

MacDrive98によってWindowsのショートカットメニューに追加されたコマンド。Windows上でメディアをMacフォーマットにすることができる

MacDrive 98は、Macフォーマットのメディア、ファイルタイプをWindows上で認識させるユーティリティだ。バージョンアップによりMac拡張フォーマットの「HFS Plus」*1にも対応した。

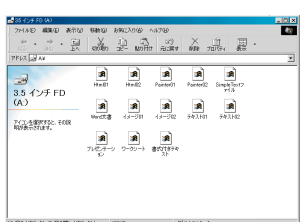
　ここ数年のうちに、MacintoshとWindowsとのオペレーティングシステムはずいぶんと近づきつつある。一般的によく使われているソフトウェア製品には、WindowsとMac OS の両方のバージョンが存在し、デザインや機能もそっくりで、ファイルの互換性もある。しかし、MacintoshとWindows間では、メディアのフォーマットが異なるため、ファイルをやり取りするにはいろいろと工夫が必要になる。
　Mac OS 8.5あるいは8.6では、PCでフォーマットされたほとんどのメディアを読み込むことができるが、現状のWindowsシステムではMacintoshフォーマットのメディアを読み込むことができない。このような問題をWindows側で解決できるのがMacDrive98だ。MacDrive98をWindowsにインストールすると、Macフォーマットのメディアが認識されるようになり、拡張子*2がついていないMacのファイルを識別してくれる。MacとWindows間でのデータ活用をよりスムーズにしてくれる、どちらのプラットフォームのユーザーにとっても重宝するソフトだ。
　MacDrive98は、Windowsのコントロールパネルとして常駐する。1.44MBフロッピーディスク、MOディスク、CD-ROM、HD、Zip、SyJET、Jazといったほとんどのメディアを認識し、Macの拡張フォーマットであるHFS Plusにも対応している。Windows 2000のRC1版でもすでにテスティングされ動作確認済みだ。
　使用に関しては、特別な設定は必要なく「拡張子マップ」に登録されているタイプとクリエータ*3の設定にしたがってファイルに拡張子が付けられ、アプリケーションと関連付けられるので、ダブルクリックすれば、作成元のアプリケーションで開くことができる。特定のファイルタイプで識別させたい場合は、目的のファイルタイプを登録すればよい。ただし、Macintoshのファイルタイプにより識別されて付けられた拡張子が.TXT、.DOC、.EPSなどといった複数のアプリケーションで読み込み可能なものの場合、ダブルクリックすると目的のアプリケーションとは別のアプリケーションで開いてしまうこともある。これは、Windows上での拡張子とアプリケーションの関連付けの設定によるものなので、その場合は開きたいアプリケーションを起動して、アプリケーションの開くコマンドを使えば、開くことができる。
　ほかにはWindows上でメディアをMacフォーマットにできる機能も用意されている。最近では、自宅でMacintosh、会社でWindowsなど、両方のマシンを使用するユーザーも多い。Windowsとファイルのやりとり必要のあるMacユーザーは、MacDrive 98をWindowsにインストールしてみてはいかがだろうか。　●渡辺みなみ



MacDrive98はWindowsのコントロールパネルだ。MacフォーマットのCD-ROMを認識させることもできる



主要なアプリケーションのファイルタイプはあらかじめ登録されているので、自動認識される。認識されない場合は、ファイルのタイプとクリエーターを登録すればよい



Macファイルが保存されているDOSフォーマットのフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入し、アクセスしたところ。ファイル名に拡張子がついていなければファイルは識別されない

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★☆☆
総合評価	★★★★☆

*1 HFS Plus：Hierarchical File System Plus。Mac OS拡張フォーマット。Mac OS 8.1より採用されているファイルシステムで、1ボリューム当たりに作成できる最大ファイル数は42億9496万7296個、最大ボリュームサイズは2TB。　*2 拡張子：MS-DOSのシステムで使われていたファイル名の後半のピリオドの後に続く半角3文字の文字列で、ファイルの属性や内容を表す。Windowsでもデータファイルの場合は、拡張子によって、そのファイルのアイコンをダブルクリックした時に起動するアプリケーションを決定する。　*3 クリエータ：Mac OSでのファイル属性。Mac OSでは、作成したデータファイルをダブルクリックしたときに、クリエータとファイルタイプによって、起動するアプリケーションを決定する。ファイルタイプ、クリエータはファイルに書き込まれているもので、目で見ることはできないが、この2つの情報によって、表示されるファイルのアイコンが決まる。

ぱぱっと家計ノート2000

Windows用ソフトとして好評の家計簿ソフトがMacintoshに初登場。シンプル操作でビギナーにも最適！

Get Information

開発元・問合せ●(株)アジェンダ (011-700-2161)
URL●http://www.agenda.co.jp/
価格●4,800円
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk7.5.3以上、Mac OS 7.6～8.6対応
メモリー●4MB以上 (8MB以上推奨)

Check Point

「ぱぱっと家計ノート」は、お金の流れが一目でわかる親切な設計になっている。入力や集計のボタンがアプリケーションウィンドウ内にわかりやすく表示されており、操作も簡単で、初めてでもすぐに使いこなせる。家計簿ソフトビギナーからベテランユーザーまでの幅広い人にお薦めできるソフトだ。



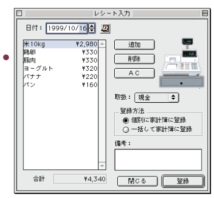
「ぱぱっと家計ノート2000」の基本画面。ウィンドウ内に表示されているボタンで、集計の作成、家計簿の編集などを行なうことが可能だ。データの入力は、右に表示されている入力方法から任意のものを選択する



「ワンタッチ入力」の入力画面



「クイック入力」の入力画面



「レシート入力」の入力画面

「ぱぱっと家計ノート2000」は、自分にあったデータ入力方法を選択することができる家計簿ソフト。インターフェイスも非常にシンプルで使いやすく、初心者でも安心して操作することができる。

「ぱぱっと家計ノート2000」は、Windows用の家計簿ソフト*1として好評の「ぱぱっと家計ノート」のMacintoshバージョン。iMacやiBookが、そのデザイン性から特に女性に人気があるため、今回、新たに発売されることとなった。

起動してみるとわかるのだが、「ぱぱっと家計ノート2000」のインターフェイスは非常にわかりやすい。集計や予算設定など、頻繁に使用する機能がボタン化されており、機能の種類別に分類されてアプリケーションウィンドウ内に配置されている。ボタンひとつで必要な操作を行なうことができるので、初めて家計簿ソフトを使用するという人でも簡単に使いこなすことができるように配慮されている。

家計簿をつける上で最も重要なポイントである入力に関しては、家計簿をつける人のタイプに応じて「ワンタッチ入力」「スーパーレシート入力」「スーパークイック入力」「通常入力」の4種類の中から入力方法を選択できるようになっているのが特徴だ。性格や時間に合わせて好みの入力方法を選択することができ、その日の気分によって使い分けることもできるので、家計簿を長続きさせるためにはかなり役立ちそうだ。

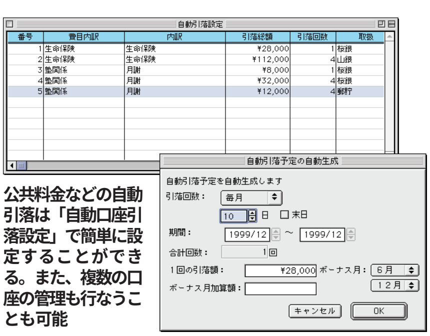
また、家計管理に役立つ機能も多数搭載されている。なかでも、複数口座の管理機能、キャッシングのリボルビング払い*2にも対応したカードの管理機能は非常にありがたい。

「ぱぱっと家計ノート2000」では、複数の口座の自動引き落とし設定や自動口座振替を簡単に設定することができる。これにより将来の引き落とし予定がわかり、残高不足を防止することができるようになっている。

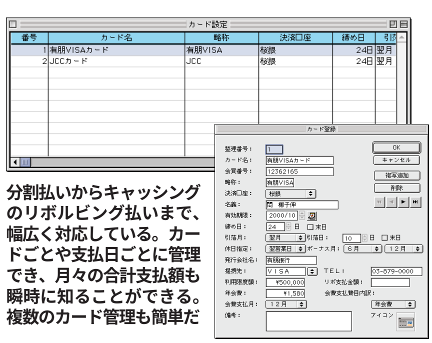
カード管理機能は、分割払いからキャッシングまで幅広く対応している。カードごとや支払日ごとに管理することも可能で、月々の合計支払額を事前に確認できるようになっている。加えて、複数のカード利用額を一覧表示させてカードの総利用額を把握することもできるので、カードの使い過ぎ防止に役立つこと請け合いだ。

ほかにも、実生活に即した予算設定機能、各種係数による家計分析機能、週間/月間/年間の集計表をグラフィカルに表示してくれるグラフ表示機能など、上手な家計のやりくりに役立つ便利な機能が多数搭載されている。ウィンドウ下部に表示されているやりくりママが、必要に応じていろいろな情報を教えてくれるので、楽しみながらしっかり家計管理を行なうことができるようになっているのもうれしい。

ただし、いくら便利な機能が多数搭載されていても、買い物をしたときのレシートをとっておかないと、宝の持ち腐れになってしまうということはいうまでもないだろう。　●門　泰伸



公共料金などの自動引落は「自動口座引落設定」で簡単に設定することができる。また、複数の口座の管理も行なうことも可能



分割払いからキャッシングのリボルビング払いまで、幅広く対応している。カードごとや支払日ごとに管理でき、月々の合計支払額も瞬時に知ることができる。複数のカード管理も簡単だ

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★☆☆☆
総合評価	★★★★☆

*1 家計簿ソフト：家計の収支を管理するためのソフトウェア。収入と支出を費目別に分類し、家計の状態を簡単に把握することができて便利。最近では、複数の銀行口座やクレジットカードの支払い状況などを管理したり、予算や貯蓄などの管理ができるものも増えている。そのほか、製品の差別化を図るために、カレンダーや日記といった家計簿とは直接関係のない機能がある製品もある。新年から新たに家計簿を付ける人も多いため、年賀状宛名書きソフトウェアと同様に年末に新たに発売、あるいはバージョンアップされることが多くなっている。*2 リボルビング払い：カードでのショッピング、キャッシングでの返済方法の一つ。利用した金額や件数にかかわらず、分割で毎月ほぼ一定の金額を返済する。

らくらく家計簿ゆとりちゃん 5

かわいいコアラが家計を応援してくれる!?らくらく操作の使って楽しい家計簿ソフトがバージョンアップ！

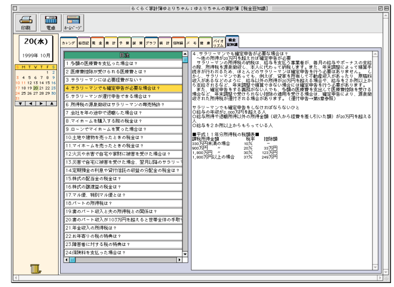
Get Information

開発元・問合せ●（株）コーパス（03-5275-0531）
URL●http://www.corpus.co.jp/
価格●8,800円
バージョン●5
対応機種●68040以降またはPowerPC搭載機（iMac、G3シリーズ全機種対応）
動作環境●漢字Talk 7.5以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●4MB以上

Check Point

バージョンアップにより、インデックス表示の各ページごとに色づけが行なわれ、よりわかりやすくなっている。レシート入力機能や検索機能、さらには税金豆知識機能も搭載され、パソコン初心者だけでなく、家計簿初心者にも扱いやすい。


「らくらく家計簿ゆとりちゃん5」の基本画面。新機能として「レシート入力」が導入されたことにより、時間がない場合でも、すばやくデータの入力が行なえるようになった


新たに搭載された税金豆知識機能。日常生活において、これだけは知っておきたいという税金の知識をわかりやすく解説してくれる

好評のインデックススタイルインターフェイスもさらに進化した「らくらく家計簿ゆとりちゃん5」。わかりやすい税金豆知識機能も搭載され、使いやすさはそのままに、充実のバージョンアップだ。

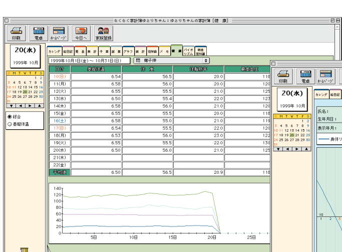
“家計簿をつける”という行為はかなり面倒で大変な作業だ。お店で買った品物は費目*1別に分類して記載しなければならないし、銀行やクレジットカードの入金／出金もこまめにつけておかなければならない。それも毎日だ。そのほかにもあれこれ面倒な作業がついてまわるので、始めてはみたけれど結局短期間で挫折してしまったという人も多いのではないだろうか？

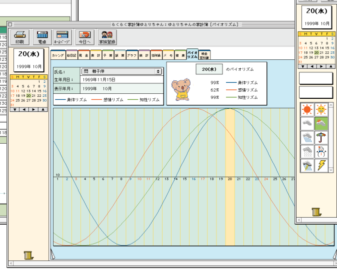
そんな面倒で複雑な家計簿作成作業を、単純化してスピードアップしてくれるのが、この「らくらく家計簿ゆとりちゃん5」だ。ゆとりちゃん5では、一度のデータ入力で「現金」「口座」「カード」「自動引き落とし」などの出納帳*2へ自動的にデータが転記されるので、同じ項目をほかの出納帳に記載するという手間を省くことができる。また、インデックススタイルのインターフェイスには、出納帳が項目別に表示されているので、見たい集計や探したいデータをクリックするだけで瞬時に表示させることができるのが特徴だ。ゆとりちゃんの使いやすさには以前から定評があったが、バージョンアップにより、一層磨きがかかった感がある。では、その新機能をざっと紹介してみよう。

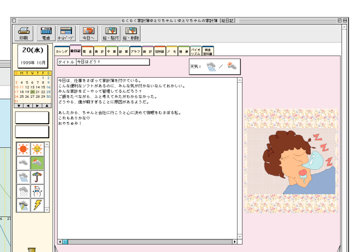
ゆとりちゃん5では、新たに「レシート入力」というデータ入力方法が追加されている。これは、スーパーのレシートを見ながら、品名や金額のみをすばやく入力していくという方法で、品名は登録リストから選択することも可能だ。品名の最初の数文字を入力すれば、その文字を含む品名が優先表示されるので探す手間を省くことができる。ゆっくりと入力している時間がない場合などには、威力を発揮してくれそうだ。

そして、今回、新機能の目玉として導入されたのが「税金豆知識」だ。日常生活において知っておきたい税金についての情報を、分かりやすく項目別に解説してくれるという機能なのだが、これが非常に便利だ。項目は全部で46あり、クリックすると説明が表示される。記載されている情報は、（財）大蔵財務協会／税のしるべ総局発行の「平成11年度　暮らしのポケット百科」（国税庁広報課長編）をまるごと転載したものなので、正確かつ安心だ。税金についての相談窓口、全都道府県電話リストも記載されているので、いざというときには役立ちそうだ。

また、家計簿の作成には直接関係しないが、毎日の基礎体温／体重／体脂肪／血圧などを記録することができる健康管理機能、写真やイラストを使用した絵日記を作成できる絵日記機能、毎月／毎日のバイオリズムを知ることができるバイオリズム機能なども搭載されている。これらの機能は家族全員を登録して使用することが可能になっており、単なる家計簿ソフトというより、生活管理ソフトとでもいったほうがいいくらいの充実のバージョンアップとなっている。　●門　泰伸


「健康」ページでは、毎日の基礎体温/体重／体脂肪率／血圧などを入力して、健康状態を管理することができる


「バイオリズム」ページでは、毎月／毎日のバイオリズムを知ることができる


「絵日記」ページでは、写真やイラストなどを使用した絵日記を作成することができる

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 **費目**：家計簿では、収入と支出を一定の項目に分類して記載する。この分類する項目を費目という。一般的には「食費」「光熱費」「交際費」「通信費」「娯楽費」「交通費」などがある。会社の帳簿と異なり、好きな費目を作って分類しても問題はない。　*2 **出納帳**：家計簿における出納帳は、その家計の全支出をまとめたものを指すことが多い。家計の支出は現金だけではない。出納帳には、銀行口座からの自動引き落としなども記載する。家計簿を付ける上で一番面倒なのは、銀行口座と現金支出をまとめる作業だろう。

家計のキホン

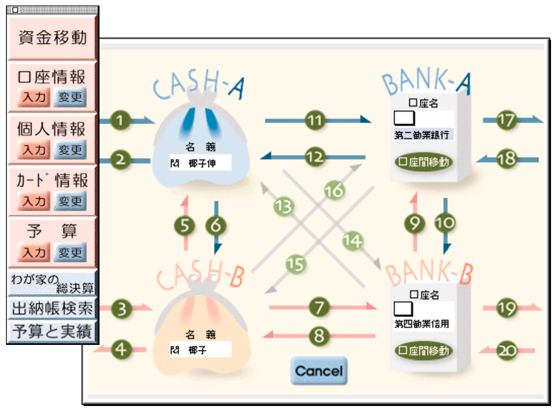
低価格、高品質で人気の「ビギンシリーズ」第二弾。きっちり基本を押さえた家計簿ソフト登場！

Get Information

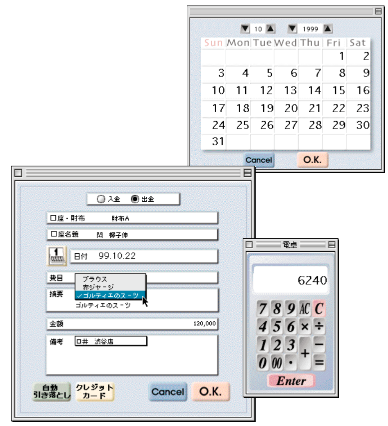
開発元●インテリジェンスコミュニケーション（株）
問合せ●（株）メディアカイト（03-5449-3181）
URL●http://www.media-kite.co.jp/
価格●3,000円（税別）
対応機種●PowerPC601以上のCPU搭載機
動作環境●Mac OS 7.6.1以降。Mac OS 8.6対応
メモリー●20MB以上（32MB以上推奨）

Check Point

パソコン初心者でも簡単にすぐ使えるソフト。3,000円と安価ながら、家計簿としての基本機能は装備されている。キーボードからの入力を極力少なくし、マウスクリックを多用した簡略入力ができる。また、2人のユーザーで使用することもできるので、共働きにもお薦め。



ユーザーは、パスワードを使用してそれぞれの家計簿を管理することができる。個人情報、口座情報、カード情報を登録した後、ほとんどの操作は「コントロールパネル」、「資金移動」パネルの2つのパネルを使用して行なわれる



入力作業のほとんどはマウスで行なうことができる。文字を入力する場合でも、一度入力した文字は次回からポップアップメニュー上で選択することができるようになる

「家計のキホン」は、現金、預金のそれぞれを夫婦別々に管理できるというニュータイプの家計簿ソフトだ。3,000円と安価でありながら、文字通り「キホン」はきっちりと押さえている。

会社で購入するならともかくとして、個人でソフトウェアを購入する場合、高いソフトウェアは易々とは買えない。なかにはパソコン本体の値段を軽く凌駕してしまうようなソフトウェアも存在する。しかし、最近パソコンを買ったばかりで、「クリエイティブなパソコンライフを送りたい！」と思っている人も多いはず。そんなパソコン初心者のために、「品質の良いソフトを安価で提供しよう！」という考えで始められたのが、メディアカイト社の「ビギンシリーズ」だ。シリーズのラインナップ上にあるソフトウェアの価格は、各商品低価格に押さえられている。

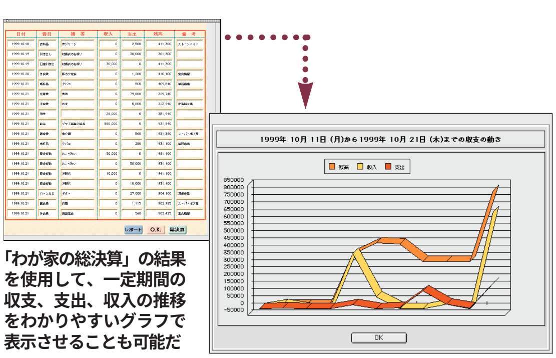
低価格、高品質があたりまえの第一弾は、画像データベースソフト「デジカメ3000」「デジカメiMAC3000」の2タイトルで、家計簿ソフトである「家計のキホン」はその第二弾にあたる。

「家計のキホン」には、2人のユーザーを登録することができ、パスワードを使用して別々に管理する。1台のMacintoshを家族で利用している場合やDINKS*1などの夫婦共働きの場合、別々にユーザー登録し、現金、預金をそれぞれ別々に管理することもできる。それぞれが複数の銀行の口座や複数のクレジットカードを設定することも可能だ。集計も、2人別々、あるいは合わせて「一家」の2通りで行なうことができる。ただし、この機能は便利なのだが、入力の際に「資金移動」パネルと入力ダイアログの間を何度も往復しなければならないという点がちょっと面倒だ。

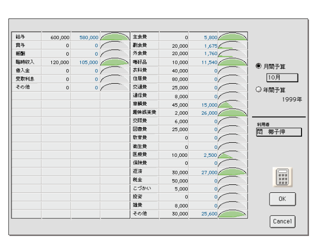
操作は簡単で、「コントロールパネル」と呼ばれるパネルを使用して、個人情報、口座情報、カード情報などを入力しておけば、後のほとんどの操作は「資金移動」ボタンをクリックすると表示される「資金移動」パネルで行なうことができる。パネル上には、資金の流れ*2が図解されており、お金の流れる方向の矢印をクリックして、表示されたウィンドウの各項目を入力していけば、自然と家計簿が作成されるようになっている。

家計簿が長く続かない原因として、入力作業の面倒さが第一の理由に挙げられるが、家計のキホンの場合、多くの作業をマウスだけで済ますことができる。当然、文字（店名、品目など）は入力しなければならないが、一度入力した文字は、その後ポップアップメニューから選択できるようになっているので、面倒な入力作業を簡略化することができる。

個別のユーザー、あるいは一家すべての現金口座を総合した集計を見たい場合は、コントロールパネルにある「出納帳検索」、「わが家の総決算」ボタンを使用する。任意の期間を指定した集計、過去5年間の年度別集計、月別集計を行なうことも可能だ。また、ユーザー別の年間予算、月間予算を設定し、現状の達成率とを対比して表示する機能なども搭載されており、機能的には申し分ないといえる。　●門　泰伸



「わが家の総決算」の結果を使用して、一定期間の収支、支出、収入の推移をわかりやすいグラフで表示させることも可能だ



ユーザー個別の年間、あるいは月間の予算を設定し、現状の達成率とを対比して表示することも可能だ

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★☆
操作性	★★★☆☆
マニュアル	★★★☆☆
総合評価	★★★★☆

*1 DINKS：Double Income No Kidsの略。夫婦共働きで収入が2つあり、子供のいない家庭のことを指す。ライフスタイルを表す用語として、経済調査などでよく使われる言葉。　*2 資金の流れ：会社などで使用する帳簿作成の簿記ソフトウェア（会計ソフトウェア）では、貸し方、借り方という項目で、資金の流れを管理するが、これは慣れないとわかりにくい。家計簿などでは、簡単に資金の流れを把握できるように、ソフトウェアによってさまざまな工夫がなされている。

はやどりエムピースリー

早録MP3 for Macintosh

カセットデッキ感覚でMP3を作成・再生できる、MP3ファイルエンコーダー/プレイヤー

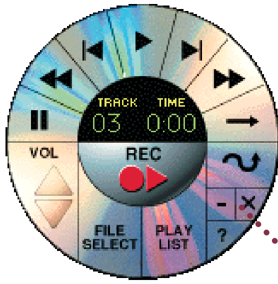
Get Information

開発元・問合せ●(株)ソースネクスト(03-5350-4844)
URL●http://www.sourcenext.co.jp/
価格●8,800円
バージョン●1.0
対応機種●PowerPC 603/80MHz以上(G3以上推奨)
動作環境●Mac OS 8以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●8MB以上

Check Point

オーディオCDから、AIFFを作成することなく、直接MP3ファイルを作成できる。再生するMP3をリストで管理可能。MDへの録音時に曲間ブランクも設定できる。

コストパフォーマンス	★★★½☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆





「早録MP3」のコントロールウィンドウ。CDを模したデザインで、再生中は曲名がスクロール表示される。エンコードや再生をカセットデッキ感覚で行なえるシンプルなインターフェイス

「早録MP3」は、MP3ファイルのプレイヤー／エンコーダーソフト。オーディオCDからMP3ファイルで作成したり、インターネットからダウンロードしたMP3ファイルをMac上や携帯型MP3プレーヤーで再生して楽しむことができる。

オーディオCDからMP3ファイルを作成する場合、リッピング*1とエンコード*2の作業が必要になるが、「早録MP3」ではこの2つの処理が同時に行なわれ、CDからダイレクトでMP3ファイルを作成できる。リッピングとエンコードそれぞれの専用ソフトを用意する必要がなく、中間工程で作成されるAIFFファイルによってハードディスクが占有されることもない。CDからのMP3ファイル作成にかかる時間は、データの内容や使用マシンにもよるが、演奏時間の35〜40%ほど。ビットレートは48kbpsから最高320kbpsまで設定可能。音質は、Mac上でヘッドホンを通して聞く分にはオーディオCDとの差がほとんど分からないほど良好だが、イコライジング機能がないのは残念だ。エンコードや再生の操作は簡単で、カセットデッキを模したウィンドウで録音や再生のボタンをクリックするだけ。「プレイリストマネージャー」を使うと、再生するファイルの順番を並べ替えたり、複数のプレイリストを結合させたりするなどのファイル管理が行なえる。MDやカセットテープへのデジタル／アナログ録音もでき、MDに録音する際に曲間ブランクが設定できるのはうれしい。　●渡辺みなみ

SoundJam MP 日本語版

人気のMP3プレイヤー/エンコーダーの日本語版が遂に登場

Get Information

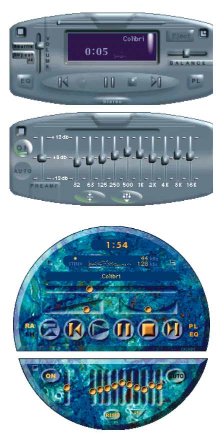
開発元●Casady & Greene, Inc.
問合せ●(株)ヒューリンクス (03-3590-2311)
URL●http://www.hulinks.co.jp/
価格●8,800円
バージョン●1.1.1
対応機種●PowerPC 603/100MHz以上(G3推奨。G4対応)
動作環境●Mac OS 7.6.1以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●4MB以上

Check Point

CDからMP3をダイレクトに作成できる。MP3のデコードも可能。スキンによる外観変更、ストリーミング、WebからのIDタグ情報取得もできる。Velocity Engine対応。

コストパフォーマンス	★★★★½
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	―――
総合評価	★★★★☆





スキン機能によって、コントロール画面のルックスを変えることができる。Webサイト「CDDB」から曲名などをダウンロードできる機能は秀逸。ちなみにSMAPのCDの曲名を取得することもできた

英語版として人気の高いMP3プレイヤー／エンコーダー「SoundJam MP」の日本語版がリリースされた。同じく米国生まれで知名度の高いMP3関連ソフトがプレイヤーやエンコーダーに特化しているのに対し、両方の機能を持っている「SoundJam MP」は、これだけでオーディオCDからMP3ファイルを作成し、再生して楽しむことができる。

MP3ファイルの作成は、オーディオCDの内容が表示されるウインドウから、エンコードしたい曲目を「コンバータ」へドラッグしてボタンをクリックするだけと簡単。CDからMP3を作成するのにかかる時間は、4分の曲で1分15秒ほどだった。使用状況にもよるが、平均して演奏時間の40%前後と見てよいだろう。CDからMP3への直接エンコードだけでなく、リッピングのみや、MP3ファイルのデコードも可能。再生時には10バンドのイコライザー機能によって、音質を好きなように調整するできる。また、ID3タグ*3に含まれる、アルバム名、アーティスト名、曲名などの情報をWebサイト「CDDB」から取得することができるのは大変便利。ID3タグは、Ver.1.0〜2.3に対応。スキン*4機能を使って、プリセットや自作のスキンで外観デザインを変更できる。そのほか、MP3ストリーミングにも対応。いち早くPower Mac G4のVelocity Engineにも対応している。MP3はこれ1つでOKという、非常にバランスのとれた好製品だ。　●渡辺みなみ

*1 リッピング：オーディオCDに収録されている音声データを、AIFF形式やWAV形式などのオーディオファイルとして取り出す処理のこと。 *2 エンコード：データを符号化し、他の形式のデータに変換すること。AIFF形式をMP3ファイルに変換したり、Eメールの添付ファイルをインターネットで送信可能なテキストデータに変換することなどが挙げられる。 *3 ID3タグ：MP3ファイルに含まれる、曲名やアーティスト名などの付加情報のこと。ID3タグの情報が再生時にプレイヤー画面などに表示されるソフトもある。 *4 スキン：MP3プレイヤーの外観を変更するための機能、またはそのために使用するプラグインファイルのこと。専用のソフトを使えばスキンを自作することもできる。

マークズツールス・サード

MARKZTOOLS III

困ったときに大活躍。QuarkXPress用のXTension

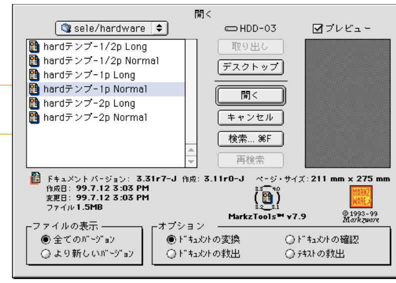
Get Information

開発元●Markzware社
問合せ●（株）ソフトウェア・トゥー（03-5676-2177）
URL●http://www.swtoo.com/
価格●29,800円
バージョン●3.0
対応機種●68KまたはPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.1以降、QuarkXPress 3.1/3.3/4.0、フロッピーディスクドライブ
メモリ●最低4〜8MB以上のRAM

Check Point

QuarkXPressドキュメントのバックアップや壊れたドキュメントの救出や修復などいざというとき頼りなる支援ツールだ。

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆



ドキュメントの変換、救出はここからドキュメントを選択し実行する



「MARKZTOOLS III」はQuarkXPressの補助メニューから選択することができる。ここから各モジュールを使用する

「MARKZTOOLS III」は次の7つのモジュールから構成されているQuarkXPressのXTension*1だ。「変換モジュール」は、QuarkX Pressの新しいバージョンで作成されたドキュメントを古いバージョンでも編集することができるモジュール。「救出モジュール」は、エラーで開けなくなったドキュメントを開きデータを救出するモジュール。「確認モジュール」は、ドキュメントの損傷を確認するモジュール。「安全保存モジュール」は、ドキュメントのオリジナルを保存する前に、一時ファイルを作成し、保存中のトラブルにより、ファイルの損失を防ぐモジュール。「テキスト救出モジュール」は、トラブルでドキュメントの損失がひどくページレイアウトのデータが回復できない場合でもテキストのみを救出するモジュール。「バージョン維持モジュール」は、古いバージョンで作成したドキュメントを新しいバージョンで保存する場合に警告メッセージを表示させるモジュール。「グレープレビューモジュール」は、画像のプレビューをフルカラーからグレーに変換し、ドキュメントのファイルサイズを縮小することのできるモジュールだ。

DTPユーザーの中にはQuarkXPressを使用しているユーザーが多いことと思う。いざというときのトラブルに対処するためにも、「MarkzTools III」は非常に有効なツールとなるだろう。ただし、本製品はCD-ROMではなくフロッピーディスクでのみの販売なので、G3ユーザーは注意が必要だ。 ●貞岡 修

キャドゲート

CADgate

DWG/DXFファイルとIllustratorファイルの双方向にコンバートするIllustratorのプラグイン

Get Information

開発元・問合せ●（株）アプリクラフト（03-5790-8431）
URL●http://www.applicraft.com/
価格●37,800円
対応機種●Illustrator8.0が動作する機種
動作環境●Illustrator8.0が動作する環境
メモリー●20MB以上

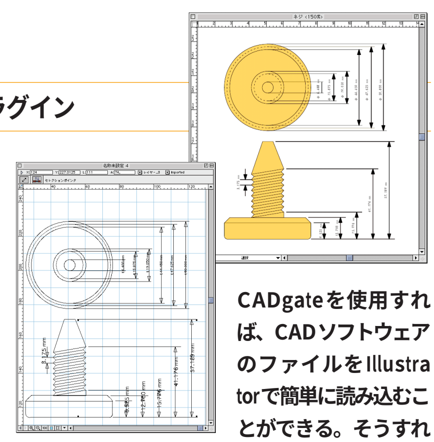
Check Point

Illustrator 8.0で簡単な図面データをCADソフトウェアで利用したり、CADソフトウェアで作成した図面データをIllustrator 8.0で色を付け、DTP用のデータとして利用することができ、それぞれのアプリケーションで作成したデータを再利用することができて便利。

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★☆☆☆
総合評価	★★★★☆



CADgateをインストールすると、ファイルメニューから「書き出し」コマンドを選択したときに表示されるダイアログボックスで、DXF/DWG形式を選択することができるようになる



CADgateは、Illustratorで作成した図面をDWG/DXFファイル*2に書き出す、あるいは、CADソフトウェアで作成したDWG/DXFファイルをIllustratorで読み込むための、Illustratorのプラグイン*3だ。

最近ではCADソフトウェアが一般的になってきてはいるが、設計が専門のユーザーならともかく、デザイナーなどは簡単な図面ならIllustratorで描いたほうが早いという人も多い。そんな場合、CADgateを使用すると、Illustratorで描いた図面を簡単にCADソフトウェアで読み込むことができる。

また、CADソフトウェアで描いた図面をDTPソフトウェアで作成するカタログなどに使用したい場合も、CADgateを使用すれば、CADソフトウェアのファイルをIllustratorで簡単に読み込むことができる。そうすれば、色を付けることができて、カタログなどの印刷用のDTP画像データとして利用することも可能だ。

対応しているファイル形式は、DWGとDXFの2種類。今回は、β版のため、Illustratorからの書き出し用のプラグインしかテストすることができなかったが、同社から発売されているCADtoolsというIllustratorプラグインと併用すると、寸法情報をそのままAutoCADやLTで編集でき、そのデータをまたIllustratorで取り込んだ際に再度CADtoolsで寸法の編集を行なうこともできるようになっているということだ。 ●村上みゆき

*1 XTension：QuarkXPressの機能を拡張するプラグインファイルのこと。 *2 DWG/DXFファイル：DWG、DXFともにパソコン用の標準的なCADソフトウェアとして普及しているAutoCADで採用されているファイル形式。他のCADソフトウェアでもサポートされているファイル形式のため、CADデータのやり取りに使用されるファイル形式でもある。 *3 プラグイン：アプリケーションの機能を追加したり、強化するための拡張ファイルのこと。IllustratorやPhotoshopの場合は、アプリケーションがインストールされているフォルダー内にあるプラグインフォルダーにインストールとして使用する。また、Photoshopのプラグインなどは仕様が決められているため、他のグラフィックソフトウェアでPhotoshop用のプラグインファイルを使用することも可能だ。

EPSON

PM-800C

デジタルカメラのデータも独自の自動補正で写真画質にするプリンターが「セルフラボプリント」を実現

Get Information

開発元●セイコーエプソン(株)
問合せ●エプソン販売(株)(045-585-8444)
URL●http://www.i-love-epson.co.jp/
価格●59,800円
対応機種●USBポート装備したMacintosh
動作環境●Mac OS 8 以降
形式●MACH方式(インクジェット)
解像度●1,440×720dpi、720×720dpi、360×360dpi
用紙サイズ●A6縦～A4縦(専用ロール紙ではA4幅まで)
対応用紙●専用紙、普通紙、光沢紙、光沢フィルム、ラベルシート、専用OHPシート、洋型封筒1号～4号、長型封筒3号/4号、専用ロール紙(89mm/100mm/A4幅)、ハガキ
インターフェイス●USBポート標準搭載
サイズ●470(W)×285(D)×175(H)mm、
重量●5.2kg
消費電力・電源●約15W・AC100V
付属ソフト●EPSON COLOR IMAGING LABO2、エプソンイメージパレット、私歴、デイジーコラージュ3、NIS日本語TureTypeフォント1書体、リョービ日本語TureTypeフォント3書体

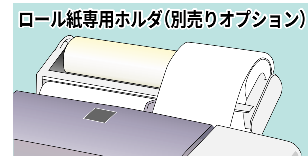




インクカートリッジは、クロ(K)とカラー5色一体型(Y・M・C・ライトM・ライトC)の2つに分れている。モニター上で、インク残量の確認もできる



オプション装着



ロール紙専用ホルダ(別売りオプション)

●賢いロール紙印刷方法



プリント後、給紙・排紙ボタンでロール紙を送りだして、切り取り線でカットする



再度、給紙・排紙ボタンを押すと、プリント開始位置にロール紙がフィードバックする

Check Point

年末商戦に向け投入された「PM-800 C」はより画質も向上し、写真を楽しむためのプリンターとしてお薦めできる。特に、デジカメからの印刷に向いており、年賀状制作以外でも重宝しそうだ。付属品も充実している。今回は競合他社の製品と比べながら、「PM-800C」の特徴をチェックする。

「PM-800C」は、インク粒子を微細化(4pl)し、新カラーテーブルの採用とガンマ値の変更で、写真画質を一層向上させたインクジェットプリンターである。EPSON独自の補正処理機能「オートフォトファイン」を活用することで、初心者でも綺麗な写真プリントを手にすることができる。

向上した写真画質とスピード

印刷解像度こそ、1,440×720dpi、前機種「PM-770C」と変化ないが、噴出するインク粒子を「PM-770C」の6pl(ピコリットル)から4plとさらに微細化し、出力解像度に合わせて、ドットを打ち分けるMSDT(マルチサイズドットテクノロジー)にも磨きがかかった。出力解像度に関しては、最近のインクジェットプリンターの高解像度化のなかにあっては、若干心配になる方もいるかもしれないが、こと写真(ピクセルデータ)の出力には十分な解像度である。階調表現を豊かにするにはインクの粒子を細かくし、ドットをコントロールする技術が重要だ。とはいえ、競合他社とのピコリットル競争も4pl、5plの世界に突入し、この部分での極端な格差*1はあまりない。

むしろ各社のプリンターの特徴を明確にしているのは、ドライバーのRGB→CMYKのイメージ処理であろう。つまり、色再現性を左右する部分だ。今回「PM-800C」は、プリンターの色空間(カラーテーブル)を見直し、フォトガンマを採用したことで、「PM-770C」よりもハイライトとシャドウ部のメリハリが上がり、写真画像の階調が豊かになった。ドライバーの詳細設定で「自然な色合い」を選んだときの写真の仕上りは、モニターの色調に忠実で、満足いくものだ。

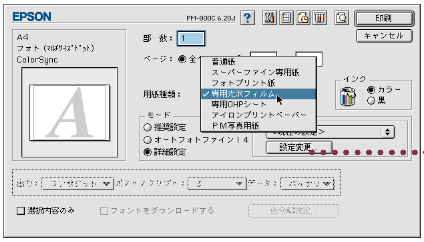
CMYKのほかに、薄いマゼンタ、薄いシアンの合計6色のインクを用いるのは、競合製品であるCanonの「BJ F850」と同様だ*2。今回「PM-800C」は、6色インクに改良を加え、発色性と耐光性を高めた(「PM-770C」とはインクカートリッジの型番自体違う)。

そしてEPSONの独自技術「オートフォトファイン」も改良され、デジカメやスキャナーで取り込んだ画像も、今まで以上にきれいに補正して出力できる。「オートフォトファイン」をオンにすると、CMYK変換時にドライバーが印刷ドキュメント上にある各々の画像のヒストグラムを解析し、各画像を印刷適性に合うように個別に処理してくれる。彩度・明度、コントラスト、カラーバランスなどを自動レタッチしてくれるわけだ(このとき、セピア調にするトーン処理や和紙に印刷したようなエフェクト処理もかけられる)。

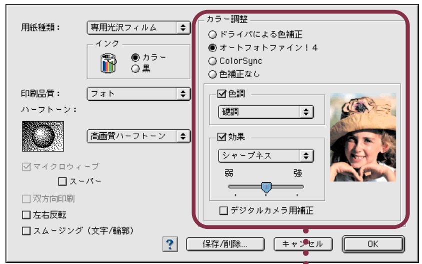
そして色補正されたデータは、その後ドライバーでの色補正(写真画像に適した「自然」、文字・グラフなどに適した「あざやか」、独自のカラーマネージメントを行なうアプリケーションに適した「なし」)を加えて、ハーフトーン(階調)処理される。ドキュメント全体に一括して補正をかけるのではなく、各画像に対して適切な処理を行なうところがミソだ。この点がEPSONのドライバーの優れているところであろう。ちなみに「オートフォトファイン」自体は、画像データ自体には手を加えるものではないし、モニター色の再現を目指したものでもない。実際、モニターよりも良好な結果を生む。あなたの作成したデータの可能性を、最大限に引きだしてくれる機能なのだ。

印刷スピードはどうであろうか。今回、Canonの「BJ F850」は同じマシンでタイムを計測できなかったので割愛したが、「DeskJet 970Cxi」*3や「MD-5500」*4と比較しても、かなり高速な結果が出た。「PM-800C」は各機構を改良し、双方向印刷を高精度化したことで、「PM-770C」に比べても、1.5倍近くスピードアップした。

また、セルフラボプリント(自分専用の写真工房)を楽しむオプションも用意されている。それが「世界初フチなし*5フォトプリント」だ。別売りの「ロール紙ホルダ(2,000円)」と「フォト・プリント紙2ロールタイプ(89mm×7m:



印刷の詳細設定でオートフォトファインの設定変更ができる





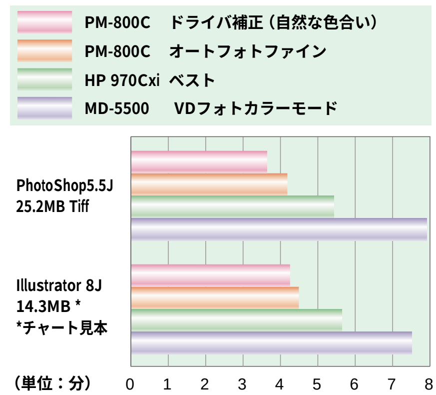
付属ソフトが多いのも、カラリオならではの魅力だ



普通紙への印刷結果を「DeskJet 970Cxi」（顔料系ブラックインクを使用）と比較してみた。「PM-800C」のブラックインクは染料系のため、普通紙では若干文字がにじみやすい（CanonのBJ F850も同様だ）



オートフォトファインで補正をかけた画像は、ハイライトとシャドウが綺麗に分離し、コントラストがついた



テストマシン:PM7500/G3-400/Memory352MB/UltraSCSIHD/ProFormance3

1,000円、100mm×8m：1,200円、210mm×10m：2800円)」を利用すれば、写真のような形状で印刷ができる。

気になった点をあげると

専用紙での写真画質は見事だが、普通紙印刷では、やはりインクが乗り過ぎてしまうようで、紙がふやけてしまった。6色インクは専用紙などでは画像のライト部分の表現に優れているが、中間調ではインクの乗り過ぎになる傾向がある。普通紙ではCMY3色で画像をプリントする「DeskJet 970Cxi」の方が良好な仕上りになることも多い。また「PM-800C」のブラックインクは染料系なので、顔料系ブラックインクの「DeskJet 970Cxi」よりも、普通紙だと文字がにじむ傾向がある。

次に動作音はどうであろうか。「PM-800C」は、HPのDeskJetシリーズでお馴染みの（音楽CDプレイヤーなどに使われている）DCモーターを採用し、「PM-770C」で指摘されていた動作音の大きさはかなり改善されている。ただし、ヘッドが左右折り返す時などは、まだ動作音が大きく感じられる。

また、今回からMacでのプリンター接続方法はUSB接続のみとなった。「PM-770C」までシリアルインターフェイスを搭載していたのに残念だ。しかし、従来のシリアルインターフェイスは、性能的にボトルネックになっていたので仕方ないことであろう。PCIスロットを持つPower Macユーザーは、PCIカードでUSBポートを増設すれば接続可能*6だ。

購入のポイント

「PM-800C」の目指すものは、「セルフラボプリント」の実現だ。今回の改良点は、いずれもこの目的に集約されているといってよい。メモリーカード用ドライブ(TYPE II PCカードスロット)を標準装備し、よりデジタルカメラとの親和性を増したモデル(PM-800DC：定価64,800円)も発売される。

競合製品と比較検討したいユーザーは、普通紙でスミ文字を大量に印刷したいなら、「DeskJet 970Cxi」と、印刷用紙の自由度と耐久性を求めたいのなら、「MD-5500」と比較するとよい。ただし、「BJ F850」との比較は悩むかもしれない。写真高画質、6色インクという点では、「PM-800C」とかなり近い部分がある。だが、「PM-800C」には「オートフォトファイン」機能がある。データよりも良好な出力結果が得られるのは、画像レタッチを得意としないユーザーにとって、とても嬉しい点だ。「PM-800C」は「より美しく出力したい」というユーザーの期待に応えてくれるであろう。もちろん実データをそのまま出力することもできるので、プロユーザーを含め、すべてのユーザーに薦められる。

また付属ソフトも「EPSON COLOR IMAGING LABO2」や「カラリオ年賀2000」など今すぐ使えるソフトが付いてくる。そして、説明用のCD-ROMもよくできているので、プリンターを初めて購入するユーザーも安心できる。●KIYOE



Konica「フォトシルキー厚手」に、用紙モード「専用光沢フィルム」：オートフォトファインでプリント

コストパフォーマンス	★★★★½
機能	★★★★
操作性	★★★★
マニュアル	★★★★½
総合評価	★★★★½

*1 **極端な格差**：独自のドットコントロールからくる、粒子の見え方の違いはある。　*2 **「BJ F850」と同様だ**：Canonでは「BJ F850」は低濃度のマゼンタ、シアンを従来よりも薄め（普通インクの1/6)、印刷時のドットは0.67pl相当になったと宣伝。　*3 **「DeskJet970Cxi」**：日本ヒューレットパッカード(株)のインクジェット方式プリンター。CMYKの4色インクのみだが、インク噴射量のコントロールに優れていて、普通紙でも良好な印刷を得意とする。自動両面印刷モジュールを標準装備。　*4 **「MD-5500」**：アルプス電気(株)の溶融型熱転写プリンター。詳しくは、本号P154-155に掲載。　*5 **世界初フチなし**：フチなしプリントは89mm幅、100mm幅のロールでのみ可能。　*6 **PCIカードでUSBポートを増設**：USBカードは6〜8,000円程度で購入できるが、対応機種の動作確認済みのものを購入したい。筆者はKeySpan社のUSBカード「UPCI-2」(国内正規販売代理店は(株)アスク http://www.ask-corp.co.jp ）を使用。

ALPS

MD-5500

2,400dpi相当のVDモードを誇る溶融型熱転写方式プリンターが、地味ながらも着実なリニューアル

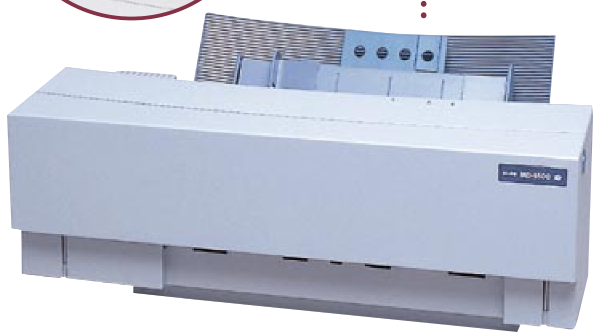
Get Information

開発元・問合せ●アルプス電気(株) カスタマーサポートセンター（045-544-8240）
URL●http://www.alps.co.jp/brand/printer/
価格●59,800円
対応機種●USBポートもしくはSCSIポートを装備したMacintosh
動作環境●Mac OS 7.6.1以降
形式●溶融型方式（オプションキットにて昇華型熱転写方式も利用可能）
印刷品質●テキスト1,200×600dpi、VDプリンティング2,400dpi相当、昇華フォトカラー600×600dpi
印刷速度●モノクロ：2ppm、カラー：0.4ppm
対応用紙●普通紙、官製はがき、VD用紙、VDフォトフィルム、VDフォトはがき、専用光沢シール、専用OHPシート、アイロンプリントシート、名刺作成シート、厚紙、光沢転写フィルム、フォトカラーペーパー（A4/はがき/シール）、印刷本紙（MDアート、MDマット、MDキャスト）
インターフェイス●USBポート標準搭載、SCSIアダプターは別売（定価6,800円）
サイズ●462（W）×300（D）×190（H）mm
重量●約5.2kg
消費電力・電源●約40W・AC100V

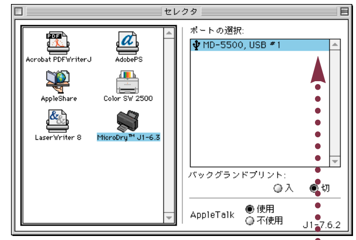
Check Point

「MD-5000」からの改善点は、ユーザーの声や要望を反映したものであり、評価できる。「ベースドホワイト」インクの採用と長尺印刷への対応は、創作を目的としているユーザーにはうれしい改良点だ。





ボディの色がグレーになった以外は、基本デザインに変更はない。防塵対策として、ダストカバーが付属する



セレクタ画面（USBポート使用時）



USBポートを標準装備。SCSIアダプター(別売り)での接続も可能だ



背面写真。本体左後ろ（この背面写真だと右）部分に冷却ファンがあるので、設置場所には注意

「MD-5500」はインクリボンを用いた溶融型熱転写方式によるVD（バリアブルドット）プリンティングの高精細画質と、インクジェットプリンターに真似のできない色再現性、印刷メディアの自由度を持つ。プロユーザーに支えられてきたその品質は、既存のプリンターの仕上がりに不満のあるユーザーにとっても、選択肢となるものであろう。

アルプス電気のMD（マイクロドライ）プリンターはインクジェット方式ではなく、溶融型熱転写方式のプリンターである。水分を含まない顔料系インクを、厚さ2.5ミクロンの薄膜フィルムに4層構造でコーティングしたインクリボンを用いる。そして、このインクリボンを微細なドットコントロール（10μm〜40μm）を可能にしたマイクロDOS（Deposition On Silicon）ヘッドで熱で溶かし、紙に転写する。つまり微細（マイクロ）なヘッドで、インクリボン上の水分を含まないドライインクを熱で溶かし、印刷メディアに転写する方式である。この方式によって、マイクロドライプリンターはインクジェット方式のプリンターにない特徴を持つ。前機種「MD-5000」までの特徴をまとめてみよう。

●顔料系のマイクロドライインクは耐水性、耐光性に優れていて、印刷用紙を選ばない。かつオフセット印刷の色再現域に近い。
●ヘッドの微細なドットコントロールによって、1ドットを16段階に制御し、最高2400dpi/190lpiでの印刷が可能なVD（バリアブルドット）プリンティングで、自然な階調を表現。
●普通紙でも、MF（メディアフレキシブル）インクを併用することで、紙面を平滑にしたうえで、高精細印刷が可能。
●CMYKインク以外にフラッシュゴールド／シルバー、光沢仕上げなどのインクを同時に使用できる。カートリッジは最高7本まで装着可能。

「MD-5500」の改良点

これらの特徴はすべて、「MD-5500」にも引き継がれており、このほかに次の点が改良された。

●USBポートを標準装備

「MD-5000」の時は、Macに繋ぐため、別売りのUSB変換ケーブルかSCSIアダプターを購入するしかなかったが、今回からはUSBポートを標準装備するMacではその必要はない。逆にUSBポートを標準装備しないが、PCIスロットを持つMacでは、SCSIアダプター（定価6,800円）を購入する代わりに、PCIカードでUSBポートを増設*1して、接続する手段もある。

また、日本コンピュータ工業（株）（http://www.jci.co.jp）から発売中の専用ミニプリントサーバーを利用することにより、ネットワークプリンターとしても活用できる。

●フィルムパッケージに欠かせない白下地印刷が可能な「ベースドホワイト」インクが登場

MD-5500からは、「ベースドホワイト」インクを使用して、濃いカラー布地へのアイロンプリントや、フィルムパッケージのカンプ制作で必要な白下地処理ができるようになった。

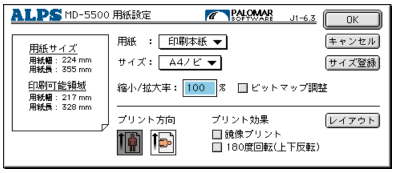
●最大224×594mmの長尺サイズへの対応

印刷可能サイズが長さ594mmまで伸びたことで、高品質なPOP制作にも活用できるようになった。また印刷本紙モード（160lpi）を追加し、（株）PCM竹尾から発売される3種類の印刷本紙（MDアート、MDマット、MDキャスト）を使っての商業印刷用のカンプ制作もできる。

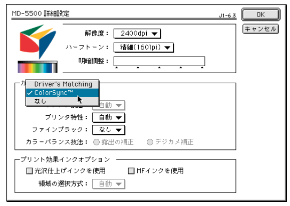
以上、一見マイナーバージョンアップで、地味に感じるが、創作ツールとして用途の幅が広がったのは喜ばしいことだ。「MD-5000」と比べて、解像度など画質スペック面での向上がないのは残念だが、すでにVDプリンティングが2,400dpi相当を実現していたことを考えると、仕方ないことかもしれない。

気になる印刷品質と使用感

インクジェット方式と違って、インクのにじみもなく、仕上がりは光沢感があり、写真の仕上が



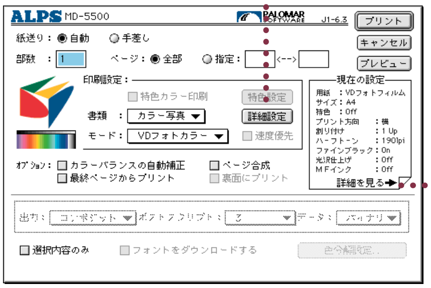
用紙設定。印刷本紙モードも選択可能だ



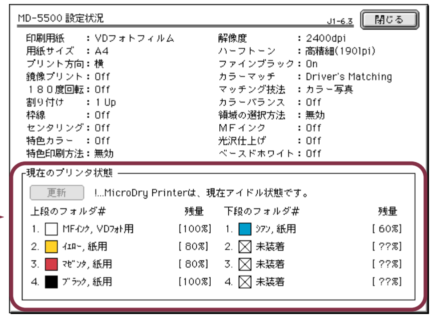
カラーマッチングは、デフォルの Driver's Matching 以外にColor Sync 2.0以上も使用可能。プロファイルも付属する



「Micro Dry Rip2.5J」との併用で、PostScriptプリンターに変身（写真は「Micro Dry Rip2.0J」）



Illustrator8Jからの印刷設定画面



設定状況ではインク残量も確認でき、わかりやすい

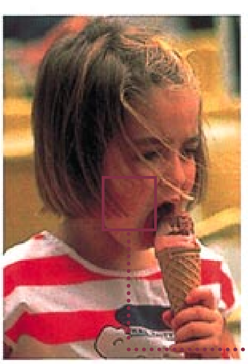


コンテスト入賞作品（プリンター付属CD-ROMに収録）。創造ツールとしてのMDプリンターの可能性を感じる

りもオフセット印刷のそれに近い。階調も滑らかだ。だがインクリボン方式なので、印刷物上にヘッドの動作した横筋が残る点は気になることもある（光沢仕上げインクの併用で目立たなくさせることは可能だ）。またIllustrator 8Jのように、文字にアンチエイリアスをかけるアプリケーションから直接カラー印刷すると、スミ文字の輪郭にCMYが入ったり、文字の輪郭が波打ってしまうことがまれにあった（Illustrator 5.5JやQuark XPress3.3Jではこの現象はみられなかった）。同じくカラー印刷時に、スミ網のみの色指定の部分にCMYの網が混入することもあった（ColorSyncカラーマッチングでも同様の結果）。

今回のチャート見本の文字がさほど綺麗でないのは、以上の理由からである。これらの問題はQuickDrawドライバー処理の問題*2であり、別売りのソフトRIP*3「MicroDry RIP 2.5J（定価59,800円）」を併用し、PSプリンターとして運用する場合は、PSアプリケーション上での指定通りの出力が可能である。「MD-5000」の時でも単体では同様の現象が見られることがあったが、「MicroDry RIP」との併用では改善される。もちろんそれにより、文字の輪郭もより滑らかに出力できる。もし印刷シミュレーションとしてのカンプ出力に使うのなら、「MicroDry RIP 2.5J」の購入は必須といえる（ただし「MicroDryRip2.5J」使用時の最大用紙長は355mmになる）。

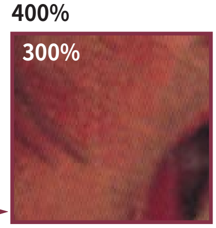
一方、印刷スピードはCMYK順次印刷方式なので、A4サイズでモノクロ2枚／分、カラー0.4枚／分（2分30秒／1枚）と、高速とは言い難い。ページプリンターとして頻繁に、もしくは大量に印刷したい用途には、残念ながら向かないと思う。ただし今回使用したIllustrator8Jファイル（14.3MBの画像ファイルを埋め込んである）の出力時間は、7分32秒（イメージング処理1分08秒／プリント6分24秒）と、決して遅いものではない。今回使用したマシンのCPUはG3/400に交換してあるので、イメージング処理自体がかなり高速だったためだ（604e/200だと、イメージング処理に4分12秒かかった）。







400%



VDフォトフィルムにVDフォトカラーモード、Driver's Matchingでプリント

購入のポイント

カラープリンターである以上、色の再現性と仕上りの美しさは、最も優先されるものである。商用印刷のクオリティと銀塩写真なみの質感を求めるのなら、「MD-5500」はユーザーの期待を裏切らないであろう。もしモニター色の再現にこだわるなら、「昇華スタータキット*4（定価6,400円）」の併用を、またPostScriptアプリケーションを使用するのであれば、プリントサーバーとしても運用できる「MicroDry RIP 2.5J」の導入も考えて欲しい。実売ベース約10万円で、このPostScriptプリンターが手にはいることは、制作に関わる人にとってうれしい限りだ。

そして忘れてならないのは、「印刷メディアの自由度（材質・サイズ）」と「耐水性・耐光性」だ。この点においては、「MD-5500」はインクジェットプリンターとは一線を画している。あなたの追及するものがまさにコレなら買いだ。

単に紙に印刷するプリンターとしてではなく、創造のツールとして使うつもりなら、「MD-5500」は最高のプリンターとなるであろう。　●KIYOE

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★½
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 PCIカードでUSBポートを増設：USBカードは6～8,000円程度の値段で入手できるが、対応機種の動作確認済みのものを購入したい。筆者はKeySpan社のUSBカード「UPCI-2」（国内正規販売代理店は(株)アスク http://www.ask-corp.co.jp ）を使用。　*2 QuickDrawドライバー処理の問題：IllustratorのようなPostScriptアプリケーションから、正確なオブジェクト形状や色指定通りの出力結果を得るには、PostScriptベースの出力機が必要である。　*3 ソフトRIP：PostScriptアプリーケーションやPostScriptドライバーが記述した印刷命令（ベクトルデータベースのポストスクリプト言語）を出力機の特性・解像度に合わせて、ビットマップ（ラスター）データ化するソフトウェア。　*4 昇華スタータキット：CMYの特殊インクを熱で気化させ、それを受像層を持つ専用紙に定着して印刷する濃度階調印刷を可能にするオプション。ドットが見えない階調表現を得意とし、モニター色や銀塩写真の再現に適している。

ニコン・ディー・ワン

Nikon D1

プロフェッショナル・デジタル一眼レフの新スタンダード



F5によく似たボディ。サイズもほぼ同じだ。F100と同じくマグネシウムを使用しているため重量はF5よりも軽くなっている

Get Information

開発元・問合せ●Nikon（03-3216-1010）
URL●http://www.nikon.co.jp/ei_j/
価格●650,000円
形式●レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ
記録画素数●2,000（H）×1,312（V）pixel
記録媒体●CompactFlashカード（Type I / II対応）
記録枚数●圧縮率（約）1/4時：約66コマ、1/8時：約132コマ、1/16時：約266コマ／非圧縮 YCbCr-TIFF時：約18コマ／非圧縮 RGB-TIFF時：約12コマ／非圧縮 Raw時：約23コマ（各96MB CFカード使用時）
ホワイトバランス●オート（1,005画素CCDによるTTL-ホワイトバランス）／マニュアル 6 種（+/- 3 段階の微調補正が可能）／プリセット



記録メディアはCFカードでType I/IIに対応してる。スロットは1つ



デジタルインターフェイスはIEEE1394（FireWire）で、最大400 Mbpsの高速データ転送が可能だ



電源は充電式のニッケル水素電池。専用クイックチャージャーで90分ほどでフル充電できる



リアビューもこの通り、無駄のない完成されたデザイン



ボタン+ダイヤル式の操作感はF5と同じだ。レンズはAF-SズームニッコールED17〜35mm F2.8D

Check Point

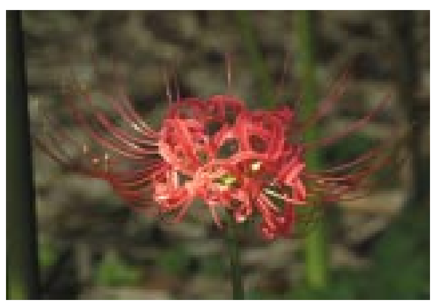
総画素数274万画素の大型CCDが作り出す画像はまさにプロフェッショナルレベル。高級機F5の操作性を継承し、ニッコールレンズをそのまま使用できる本格一眼レフで、破格ともいえる価格での登場である。このクラスでのスタンダードになりそうだ

Nikonデジタルカメラのフラッグシップモデルが登場した。レンズ交換式AF一眼レフ*1デジタルカメラ「D1」は、フィルム式高級機F5そのままの高性能と、高い画質を実現しながら驚きのハイコストパフォーマンスを持つ。

とにかく画質のよさに驚いた。大判のリバーサルフィルムをドラムスキャナーで取り込んだような画像である。デジタルカメラ特有の疑色やノイズが見当たらないし、コントラストの強調やシャープネス処理など、見かけ上の画質アップをねらった調整も見受けられない。実に素直な画像だ。

この高画質はどこからくるのか。目を引くのはやはりCCD*2の大きさだ。総画素数274万画素CCDのサイズは23.7×15.6mm。一般的な1/2インチCCDと比べると面積比では約12倍だ。1画素の大きさは約12ミクロン。パーソナルモデルでは高画質で知られるCOOLPIX950は約4ミクロンである。階調表現の豊かさやシャドー部のノイズの少なさはこの画素の大きさが要因である。また、疑色の抑制には新開発のローパスフィルターが大きく貢献しているようだ。

ところで、大きいといってもAPSフィルムより一回りほど小さいサイズである。35mmフィルム用のレンズを使用すると全画面を記録することができない。E3では縮小光学系を使用して小さなCCDに結像するようにしていたが、D1は縮小光学系を使わず画像の中央部だけを記録することで対応している。そのため同じレンズを使用しても35mmフィルム使用時の焦点距離が1.5倍ほど望遠的になる計算だ。専用設計のファインダーなのでフレーミングは一致しており実際の撮影に支障はないが、使い慣れたレンズの場合やはり違和感を覚える。



撮影サンプル。マニュアル、FINEモード（1/4圧縮JPEG）の撮影サンプル。ホワイトバランスはオート。画質に不満はない。撮影意図がそのまま再現された。レンズはPCマイクロ85mm F2.8D

操作感はF5そのものといっていい。本体サイズもほとんど同じで、撮影をしていてもデジタルカメラを操作しているという感じがしない。F5の先進的な性能は踏襲されており、ピントをどこに合わせるかフレーム内の5箇所から選択できるAF5点測距機能と、被写体の情報を小型のCCDで感知しシーンに合わせた適正露出を決定してくれる3D-マルチパターン測光機能も搭載されている。さらに、この小型CCDの情報を使いデジタルならではのTTLオートホワイトバランス調整や階調補整までこなしてしまう。画像生成能力はF5を超えたといってもいいだろう。

デジタルカメラの弱点といえるスピード面も高い性能を持っている。1コマ撮影モードでは記録に2秒ほどかかるが、連写モードでは最高4.5コマ/秒で最大21コマまで撮影できる。連写モードでも1コマずつの撮影が可能なので実質記録待ち時間はないといっていい。公表はされていないが、これだけの連写が可能なのだから数十MBのバッファメモリーが搭載されていることがわかる。

外見で唯一デジタルを感じさせる液晶モニタは2インチの低温ポリシリコンTFT*3。114,000画素で精細さはまずまずだが、視野角は特に広い方ではない。ファインダー機能はないので撮影画像の確認用として使用することになる。しかし、拡大再生ができないためフォーカスの確認には使えない。露出の細かいチェックにも不向きだが、設定変更で画像のヒストグラムを表示できるので、階調配分を見ながら露出補整の目安にはできる。

プロ向けといってもカメラマンだけが対象ではない。この価格ならば編集プロダクションの取材用やデザイン事務所での素材作り用など、さまざまな仕事の場で活用できるだろう。　●狩野千英

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★★
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★★
総合評価	★★★★★

*1 一眼レフ：カメラ内部に反射ミラーを持ち、フイルム面に当たる光を撮影直前まで見ることができる。ほとんどの一眼レフがレンズ交換できる。1眼レフを搭載したカメラは、さまざまな場面で使えるが、構造的に少々大きなカメラになってしまう。　*2 CCD：光（画像）信号を電気信号に変換するデバイス。いわば「電子の目」。通常フォトダイオードは、ライン状（リニア）あるいは平面状（マトリクス)に配置されて、そこに投影された光学像を読み取る。　*3 低温ポリシリコンTFT：TFT液晶の電極である薄膜トランジスタの（TFT）製法の1種である。従来は非結晶（アモルファス）シリコンで、薄膜トランジスタを形成していたが、低温ポリシリコンTFTは多結晶シリコンで形成している。

ディマージ・アール・ディー

Dimage RD 3000

CCD2板撮像システムを採用したレンズ交換式一眼レフデジタルカメラ



レンズ交換式一眼レフとしては低価格のRD 3000。レンズはAPS用のミノルタVレンズを使用する



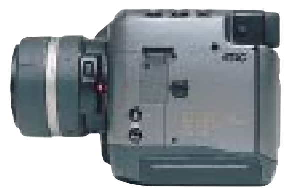
液晶モニタは5.1cmの低温ポリシリコンTFT。画素数は11万画素



プログラムフラッシュ5400HSを装着したところ。プログラムオートでのフラッシュ撮影が可能だ。カメラ側部にはシンクロターミナルもあるので外部フラッシュも接続できる



記録メディアはCFカード（Type I/II）。スロットは1つ



縮小光学系と画像分割のハーフミラープリズムを内蔵するため奥行きはかなりある



デジタルインターフェイスはSCSIで、ハーフピッチ50ピンのコネクタがつく。標準付属のソフトウエアで画像転送のほか、コンピュータからリモートで撮影もできる



フラッシュを使ったプログラムオートでの撮影例。露出を-1.5に補整している。ファインモードだが拡大してみるとわずかに疑色の発生がみられる

Get Information

開発元・問合せ●（株）ミノルタ（03-5423-7555）
URL●http://www.minolta.com/
価格●Dimage RD 3000（本体＋アクセサリーキット）：360,000円
Dimage RD 3000 システムパッケージ（500セット限定発売）：495,000円（Dimage RD 3000、Vズーム22-80mm F4-5.6、Vアポズーム 80-240mm F4.5-5.6、Vマクロ50mm F3.5 Vレンズ17mm F3.5RD、フラッシュSF-1、アクセサリーキットで構成）
形式●記録メディア交換型液晶モニター内蔵レンズ交換型一眼レフデジタルスチルカメラ
撮像素子●1/2型150万画素プログレッシブCCD 2個
撮像画素数●合成後約270万画素
記録画素数●1984（H）×1360（V）
記録媒体●CompactFlashカード（Type I II対応）
記録枚数●SUPER FINE 約 3コマ、FINE 約17コマ、STD. 約33コマ、ECON. 約52コマ（30MBのCF使用時）

Check Point

150万画素CCD2枚分の情報を結合して270万画素画像を作り出す「画面分割2板撮像システム」を採用。さらに縮小光学系を使用し、APS用レンズをそのまま装着できるレンズ交換式一眼レフデジタルカメラである。

コンパクトカメラ型のデジタルカメラの高画素化、高画質化が進む一方、高価だったレンズ交換式一眼レフの廉価モデルが次々に登場してきている。中でもこのDimage RD 3000は本格的な撮影機能を持ちながら、その価格の安さが目を引く。

レンズ交換式一眼レフデジタルカメラで、記録画素数は約270万画素。これだけを取り上げればニコンのD1と同じコンセプトの製品のようだが実際にはまったく異なる性格のカメラである。

270万という画素数は1/2型サイズの150万画素CCDを2枚使うことで実現している。ハーフミラープリズムで分割した画像を2枚のCCDで受光するもので、単純にいえば2枚の画像を貼り合わせているのだが、記録画像にその痕跡はまったくない。結果的に高解像度画像を廉価なCCDで生み出しているわけで、製造コストを抑えるための技術といっていいだろう。

CCDを2枚配置しているといっても受光面はフィルムと比べてはるかに小さい。フィルムカメラ用のレンズを使うカメラなので、フィルムと同等の画角を得るために縮小光学系を内蔵している。その結果、カメラの奥行きはかなり厚くなっている。しかし、グリップ部を独立させたような形状になっていて、操作性は思ったほど悪くない。本体重量も約1kgなので、さほど重いわけではない。これは、35mm用より小さいAPS用レンズシステムを採用することで縮小光学系を小型化できたことが要因だ。とはいえ軽量、コンパクトとはいいがたい。

撮影モードはプログラムオート、絞り優先オート、シャッタースピード優先オート、マニュアルの4種類。このクラスならではの本格的な撮影機能を持つ。フォーカスは基本的にオートだがレンズ（ミノルタVレンズ）の機能でマニュアルに切り替えることもできる。オートフォーカス使用時に一時的にマニュアルに移行できる機能だが、マクロ撮影*1などで微妙なピント合わせをするときに便利である。各設定操作はボタン＋ダイヤル式になっている。操作はわかりやすく、撮影時の露出補整なども素早く変更できる。ホワイトバランス*2はユーザー設定を含めて5種類。このカメラは専用の受光窓で環境光の色温度を感知するため、ほとんどの場合、オートの設定で問題はない。

画像の記録時間はファインモードで約19秒。かなり時間がかかるがこれは画像の合成処理などを行なうためだろう。もっとも、バッファメモリーを使用して5コマまでは待ち時間なしで撮影できるので通常は支障がない。

さて、画質であるがプロ向けのカメラということなのでシビアに評価する。疑色はローパスフィルターにより軽減されているようだが、わずかに色にじみが見られる。全体にシャープさに欠ける画像で、レンズの解像力を活かしてきれていない印象だ。基本的にCCD性能の問題であろうが、画像を分割するハーフミラープリズムなど、光学系の影響も考えられる。総合的にみた画像クオリティは、パーソナル向け200万画素モデルの上位クラスと同程度である。ただし、無理なシャープネス処理などがなされていないため、ユーザーによる画像補整後も劣化が少ない。その点はプロ向けといえる。

●狩野千英

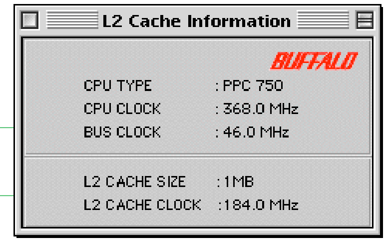
コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★½☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

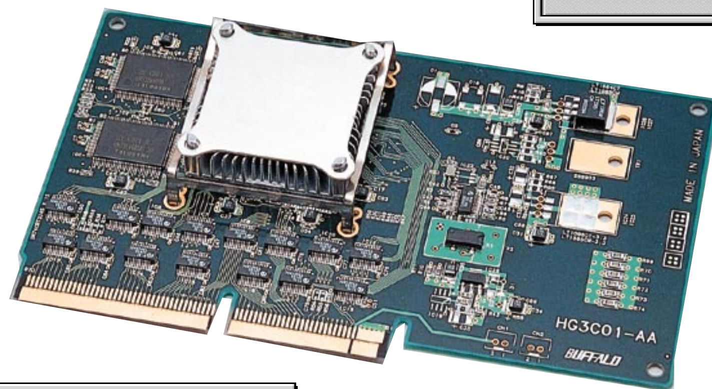
? *1 **マクロ撮影**：接写する機能のこと。最近のデジタルカメラでは、30〜70mm程度の距離で撮影できる機能がついているものが多い。 *2 **ホワイトバランス**：屋外の太陽光の下、あるいは室内の蛍光灯の下など、どのような条件下でも、白を白に見えるように調整して撮影する機能のこと。

MELCO

HG3-PM366

低価格PowerMac用PowerPC G3/366MHzアクセラレーターカード





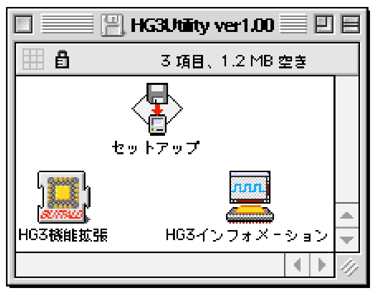
キャッシュ速度の設定やプロセッサーの温度状況までを調べることができるユーティリティが付属

Get Information

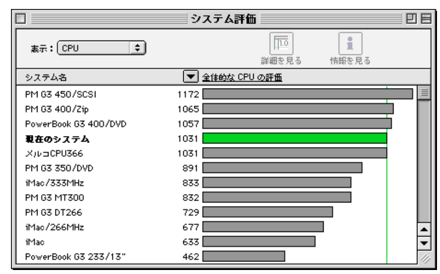
問合せ●(株)メルコ (052-619-1827)
URL●http://www.melcoinc.co.jp/
価格●61,800円
搭載CPU●PowerPC750 (G3) 366MHz
動作クロック●366MHz
セカンドキャッシュ●512KB 183MHz
対応機種●PowerMacintosh 7300/166/180、7500/100、7600/120/132/200、8500/120/132/150/180、8600/200ZIP/250、9500/120/132/150/180MP/200、9600/200MP/233/300/350
動作環境●漢字Talk7.5.2J、MacOS7.6以降
メモリー●8MB以上

Check Point

Power Mac 7000／8000／9000シリーズで使用できるCPUアップグレードカード。低価格ながら、旧マシンを現役のPower PC G3/366MHzとして復活させられるのが魅力



システム関係のファイルはインストーラーを使って組み込む



Norton System Info 5.0が付属しているので、パワーアップした結果が、実際に自分の目で確かめられる

PowerPC G4の登場で、これまでのPowerPC G3プロセッサーの価格が下がってきた。それを受けて、低価格なCPUアップグレードカードが新たに登場しはじめている。メルコの「HG3-PM366」も、そんな製品のひとつだ。

「HG3-PM366」は、CPUドーターカード*1方式を採用したアップグレードカードである。搭載するCPUはクロック周波数366MHzのPowerPC G3で、2次キャッシュメモリーは512KBを搭載している。バックサイドキャッシュバスの動作速度は183MHzとなり、CPUクロックの半分だ。このバスクロックは固定で、ユーザーが任意に変更することはできない。CPUドーターカード方式を採用しているPower Macシリーズが対象となり、7000／8000／9000の各機種で使うことができる。

カードは国産で、同社が独自に開発したものということだ。実物を見ると、非常にしっかりしており、安心感があるのは評価できるポイントだ。CPUの放熱を助けるヒートシンクは、同社のAT互換機用のものを使っているのか、金属フィンの特徴的な形状をしている。放熱効果は高そうだ。また、ヒートシンク部にはネジがついており、冷却ファンを別途追加することも容易になっている。同社ではオプションでファンも用意する予定という。

クロック周波数366MHzで動作するので、実際の使用にはまったく不足を感じない。十分に高速であり、ワープロや表計算などの日常的な作業を快適に行なうことができるだろう。性能に対して価格が安いこともポイントといえ、定価6万円台前半／実売価格5万円前後となる模様だ。これまで価格がネックになってアップグレードを躊躇していたユーザーには嬉しい選択肢といえる。

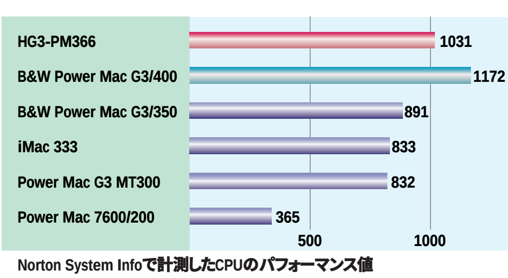
製品には、機能拡張ファイルとCPU／バックサイドキャッシュバスの動作速度を確認できるユーティリティが付属する。組み込みはインストーラーもしくは手動コピーで行なう。いずれの場合でも簡単ですぐに終わる。

このほかに、ベンチマーク*2ツールとしてシマンテック社の「SystemInfo 5.0」がCD-ROMで付属している。これは、「CPUをアップグレードしても、速くなったのか確認する術がない」というユーザーの声を反映させたものだという。このような形でテストツールが付属するのは意外と珍しく、ユニークな対応といえるのではないだろうか。

実際に使ってみても、動作は安定しており好ましい印象を受けた。今後CPUのクロック周波数ごとにバリエーションを設けていくことで、ユーザーも増えていくように思う。アップグレードをしようと考えているユーザーにはお薦めできる製品といえる。

国内メーカーなので、サポートに不安を感じることも少ないのではないか。製品としての安心感があり、かつ安価であることから、人気が出るものと思われる。

●三谷　森



ベンチマークの結果。およそPower Mac G3/350と同等の性能が得られた

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★½
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★½

*1 ドーターカード：交換が容易なように、マザーボード上に装着するタイプの小型プリント基板のこと。CPUやメモリーなどが、ドーターカード方式であることが多い。　*2 ベンチマーク（テスト）：測定用のユーティリティで、ハードウェアやソフトウェアの性能を計測するテストのこと。特定の命令を反復して行なわせたりして、それらの結果の比較で、ハード、もしくはソフトの性能を判断する。

TAXAN

WR420

PowerBook G3内蔵のCD-RWドライブユニット



PowerBook G3の拡張ドライブベイに接続したところ。使い勝手は通常のCD-ROMドライブとまったく同じだ



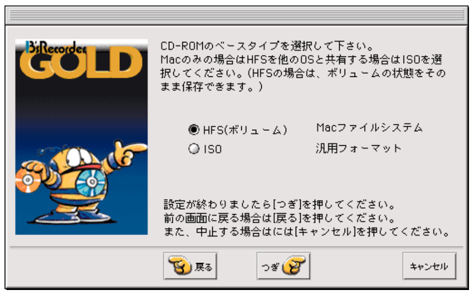
WR-420はPowerBook G3に内蔵するCD-RWドライブユニット

Get Information

問合せ●（株）加賀電子　情報機器事業本部商品課（03-03-3942-5228）
URL●http://www.taxan.co.jp/
価格●オープンプライス（実勢価格56,800円）
インターフェイス●ATAPI
記録速度●最大4倍速（600KB/sec）
再生速度●最大20倍速（CLV）
キャッシュメモリー●2MB
外形寸法●W128×D148×H22mm
重さ●296g
付属品●ライティングソフト（B's-RecorderGOLD）、取扱説明書

Check Point

PowerBookでもCD-Rを使いたい、、PowerBookG3（WallStreer）ユーザーにお薦めのドライブユニット。現行PowerBook G3で使えないのは残念。





付属する『B's Recorder Gold』を使って、メディアにデータを書き込むだけでよい

PowerBook G3のドライブベイに内蔵することができる機器は、サードパーティから意外と登場していないようだ。ここで紹介する「WR-420」は、ドライブベイ内蔵用CD-R/W*1ドライブである。対応機種は、先代のPowerBook G3。

WR-420

「WR-420」は、先代のPowerBook G3のドライブベイに装着して利用するCD-RWドライブだ。デザイン的には非常にマッチする製品となっている。ドライブとしての性能は、CD-R書き込みが最高4倍速、読み出しは20倍速となっており、標準的な性能といえるだろう。書き込み時の遅れを軽減するためのキャッシュメモリーは2MBを搭載している。対応するフォーマットは、CD-ROM XA／CD-DA／PhotoCD／VideoCD／CD-Iなどとなっている。

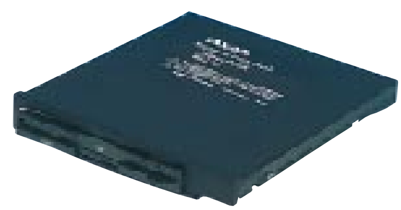
Mac OSなど、CD-ROMで起動するシステムが書き込まれているメディアを使う場合にも問題はない。ドライブユニットを入れ替えても、それまでと同じように自然に使うことができるのはポイントといえるだろう。CD-RWメディアを使うこともできるので、大容量ファイルのバックアップなどに活用できるようになる。

PowerBook本体内蔵型のユニットなので、外観などは当然のごとくシンプルである。ディスクトレイ部分には、イジェクトボタンのほかにアクセスインジケータが備わり、ドライブがどのモードで動作しているのかを示すようになっている。

このドライブユニットはPowerBook G3のホットスワップ機能*2に対応しているので、ディスクアクセス時でなければ、通電状態でもドライブユニットを入れ替えることが可能だ。ただし、デスクトップにCDがマウントされている状態では、Mac OSの警告ダイアログが現れるので注意したい。しかし、これ1台でCD-ROMとCD-Rを兼用できるので、よほどのことがない限り抜き差しする機会は少ないだろう。

CD-Rを製作するためのソフトとして、定番ともいえるビーエイチエーの「B's Recorder GOLD」が付属している。CD-Rソフトとしての機能は充実しており、使い勝手がよいのはポイントだ（ソフトについては、MACLIFE No.131／7月号P.139を参照のこと）。

SuperDriveのWS-120も用意



同じくPowerBook G3内蔵用のSuperDiskドライブのWS-120

同社では、PowerBook G3用の内蔵ドライブとして、CD-RWユニットのほかにも記憶容量120MBのSuperDisk*3タイプのドライブユニット、『WS-120』もラインナップしている。これは720KB／1.44MB／120MBのそれぞれのメディアに対応している。もちろん、ドライブユニットのホットスワップによる入れ替えも可能だ。こちらはドライバーソフトとして、「B's Crew Lite」が付属している。

いずれの製品も、開発コード名がWallStreetと呼ばれていた前型のPowerBook G3の全機種に対応する。現行モデルのPowerBook G3（Bronze）はドライブベイの寸法が異なるため、装着できないのが残念だ。

これらの製品はもう少し早く登場していればという印象もあるが、PowerBook G3をより活用できるようにしてくれるオプションの登場はユーザーにとって喜ぶべきことだろう。

●三谷　森

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★★（4.5）
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆（3.5）
総合評価	★★★★☆

*1 CD-RW：CD Rewitableの略で、1,000以上も書きこみと消去が可能なCDのこと。通常のCD-ROMと同じ650MBの容量を持つ。ちなみにCD-Rは1回だけ書き込みが可能な追記型CDのことである。　*2 ホットスワップ機能：一般的な周辺機器は、電源が投入されているときは接続を切り離すと故したり、コンピューターの処理に不具合をきたす。しかしいつでも周辺機器の交換が可能なように接続部やハード的に工夫をして、いつでも交換可能なようにした機能のこと。　*3 SuperDisk：次世代フロッピーディスクのことで、3M、ORテクノロジー、松下寿産業、コンパックが共同開発したもの。従来のフロッピーディスクの80倍にもなる120MBの容量を持ち、3.5インチフロッピーディスクと互換性がある。

TAXAN

Storage Fighter (SFT)シリーズ

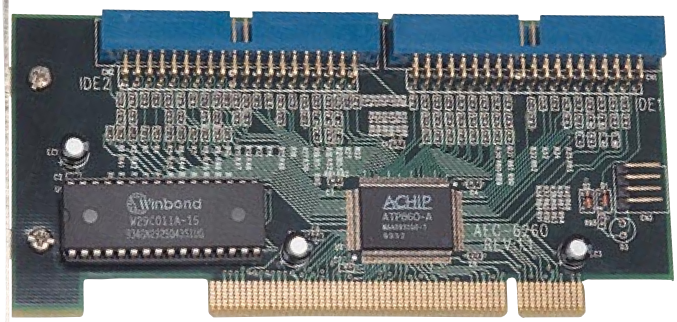
高速なATA/66対応ディスクドライブを利用するためのインターフェイスとドライブのセット

Get Information

問合せ●（株）加賀電子　情報機器事業本部商品課（03-03-3942-5228）
URL●http://www.taxan.co.jp/
価格●オープンプライス（実勢価格 STF-6G 35,000円、STF-13G 44,000円、STF-20G 70,000円）
インターフェイス●ATA/66×2ch
対応機種●PCIスロットを持つPower Mac
動作環境●Mac OS 8.5以降

Check Point

低価格なIDEドライブを使ってハードディスクのパワーアップを考えているPower Macユーザーにお薦め。特に初代PCI Macユーザーには最適なドライブシステム。



STFシリーズは専用のATA/66インターフェイスカードが必要。2ch分のコネクタが用意されているので、数多くのドライブを実装することもできる

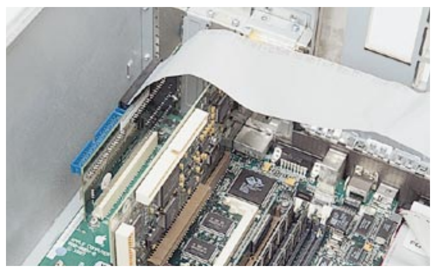


STFシリーズには、6GB,13GB,20GBのドライブが用意されている。ドライブは6GBのものではQuantum Firevall CX、13/20GBのものはIBM DataStarであった

ATA対応ドライブは、SCSI対応ドライブに比べて容量当たりの価格が安価な点がポイントである。加賀電子の「STFシリーズ」は、ATAインターフェイスカードと対応ハードディスクをセットにした製品として、注目できる。

「STFシリーズ」は、理論データ転送速度66MB/秒の性能を有するUltraATA/66*1インターフェイスを追加するための拡張カードと、同社が動作を確認したハードディスクをセットにした製品である。拡張カードはPCI*2バスに装着するようになっており、基本的にすべてのPower Macシリーズで使用可能だ。カード本体はかなり小さく、内部接続用コネクタ×2基のみとシンプルな構成である。ATA対応ドライブは、マスター／スレーブもしくはプライマリー／セカンダリーという形で設定・接続を行なうようになっており、基本的に内部増設のみに対応する。このため、「STFシリーズ」の拡張カードにも外部接続用のコネクターは設けられていない。また、増設可能なドライブ数も2基までという制限があり、この点ではSCSI対応ドライブに分がある。

しかし、ドライブの記憶容量が大きくても価格がかなり安価であることからコストパフォーマンスは高く、速度的にも問題ないことから人気が高まってきている。すでにPower Mac G3およびG4シリーズでは内部用ハードディスクインターフェイスはATAになっており、Macユーザーにとっても一般的な存在になったと考えていいだろう。「STFシリーズ」を使えば、SCSIインターフェイスを備えた旧機種でも、安価で大容量なATAドライブを使えるようになり、メリットは大きいといえるのではないだろうか。

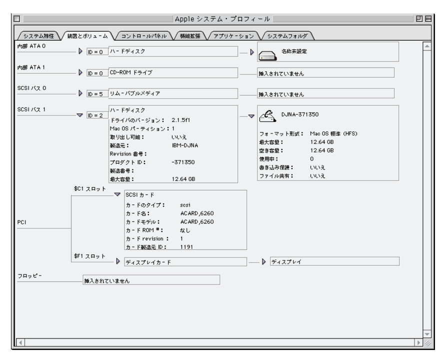


PCIスロットにインターフェイスカードを挿入し、ディスクドライブと付属のフラットケーブルで接続するだけだ。ドライバーソフトは必要ない

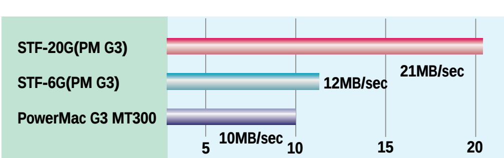
カードに接続したハードディスクは、Mac上では従来のSCSIドライブと同様に扱われる。初期化やパーティション設定なども問題なく行なえるので、使い勝手に不満はない。ユーティリティソフトなどは付属していないが、システムの「ディスクの初期化」でフォーマットが可能だ。

データの読み書き速度についても、問題ない範囲といえる。実際には、ハードディスクの物理的な性能の上限があり、UltraATA/66インターフェイスの性能を生かし切れないが、それでも実効値として20MB/秒に近い値となる。理論データ転送速度が10MB/秒のSCSIインターフェイスを採用している旧機種に比べれば、確実に高速な環境となる。

カードと6GBハードディスクのセットで35,000円であり、コスト面で有利なことは間違いないだろう。カードだけの販売も期待したいが、ハードディスクによっては相性の問題があるということで、当面は動作を確認できたドライブをセットにして販売していく方針とのことだ。●三谷　森



Appleシステムプロファイルで増設したドライブを確認



左のグラフは、データ転送レート（単位はMB/sec）の実測値。内蔵ドライブよりも高速である。この値は、ディスクドライブのデータ転送レートとほぼ1同じ値であった

コストパフォーマンス	★★★★½
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★½☆
総合評価	★★★★½

*1 Ultra ATA/66：米Quantum社と米Intel社が共同で発表した、新しいデータ転送方式のATA拡張規格のひとつ。ATA/66は最大転送速度が33MB/秒。現在策定中のATA/ATAPI-4として標準化される見込み。　*2 PCI：Peripheral Components Interconnectの略。DOS/Vパソコンや現行のPower Macなどで用いられている、32ビットバス規格である。最大転送レートは133MB/秒。高速なデータ転送能力が求められるSCSIボードやグラフィックカードなどで利用されている。

IO-DATA

USB-CCD

USBポートに接続するだけで、身近な画像をキャプチャーすることができるCCDカメラ

Get Information

開発元●(株)アイ・オー・データ機器
問合せ●ご購入案内窓口(076-260-1024)
URL●http://www.iodata.co.jp/
価格●21,000円
対応機種●USBポートを装備したMacintosh
動作環境●Mac OS 8.6以降
フレームレート●30fps(352×288 CIF SIZE)
フレームサイズ●動画:352×288〜80×60(19段階)、静止画:640×480

Check Point

ACアダプタが不必要なので、モバイルにも手軽に活用でき、いろいろなところに設置してキャプチャーすることができる。

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★☆☆
総合評価	★★★★☆



設置方法はクリップで留める方法とマウントしたスタンドをマジックテープで固定する方法の2つがある



添付のソフトウェアの操作は簡単。ボタンを押すだけで、ムービーやピクチャーが保存できる



重さはわずか70g。約3×3×4cmの手のひらに収まる小型サイズだ

アイ・オー・データ機器のUSB接続CCDカメラ「USB-CCD」が、Macintosh対応となった。同社のMac用キャプチャーソフト「HoldSight」が添付されているので、簡単に静止画や動画の取り込みを行なうことができる。セットアップは簡単で、付属のCD-ROMからドライバーソフトを組み込み、ケーブルをUSBポートに接続すればすぐに使える。付属品としてマウント用クリップやマウント用スタンドがついているので、あらゆるところに設置することができるのもうれしい。

このCCDカメラはUSBポートから電源を受けるバスパワー動作対応なので、ACアダプターなどの外部電源は不要だ。しかし、ある程度の電圧を必要とするので、本体にあるUSBポートに直接接続するか、電源を供給してくれるセルフパワーのハブなどに接続しないと動作しない。

機能についてだが、ピントはハードウェア本体のレンズに取り付けてある「フォーカスリング」を使用して調整することができる。また、画面の明るさの調整などは専用ソフト「HoldSight」で行ない、外部マイクを使用すれば音声も同時に録音することが可能だ。動画キャプチャー時の画面はコマ落ちした画面のように表示され少々心配になるが、作成されたファイルの動きは滑らかできれいだ。しかし、保存したムービーファイルのサイズは、大きくなってしまうのでハードディスクの空き容量がかなり必要となる。　●門　泰伸

INTERWARE

Booster PB2400 G3/400

PowerBook 2400を最速マシンに、PowerPC G3/400MHz版アクセラレーターカード

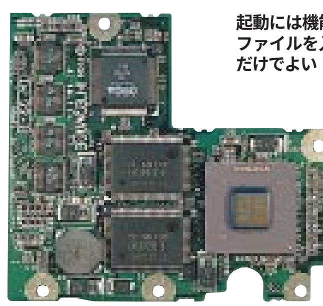
Get Information

開発元●(株)インタウェア
問合せ●(株)インタウェア(03-5411-8010)
URL●http://www.interware.co.jp/
価格●オープンプライス
バックサイドキャッシュ●1MB
対応機種●PowerBook 2400c/180, 2400c/240
動作環境●Mac OS 7.6 日本語版以降

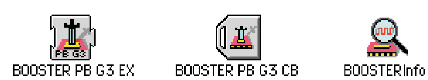
Check Point

PowerBook 2400cユーザーで、そろそろCPUアップグレードを検討しているのなら、本製品が有力候補。取り付けは面倒だが、表計算やヘビーな演算をさせるにもG3/400MHzは十分すぎるくらいだ。

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★½
操作性	★★★★½
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆



PowerPC G3/400MHzとバックサイドキャッシュを1MB搭載したBooster G3/400。このカード搭載により、PowerBook 2400もB&W G3クラスの性能になる

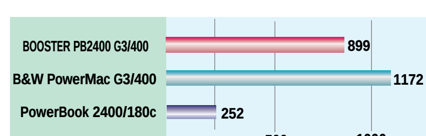


起動には機能拡張ファイルを入れるだけでよい

インタウェアから登場した「BOOSTER PB 2400/G3 400」は、PowerBook 2400シリーズ用のCPUアップグレードモジュールである。搭載するCPUはクロック周波数400MHzのPower PC G3で、2次キャッシュメモリーは512KBを搭載。バックサイドキャッシュ*1バスは200MHzで動作する。製品は内部に組み込むモジュール形態のため、ユーザーが自力で取り付けるのではなく、メーカーもしくはショップで取り付けてもらうことになる。

付属するユーティリティーは、機能拡張ファイルとコントロールバー用プラグインで、このプラグインを使うとバックサイドキャッシュ機能のオン/オフが行なえる。実際に組み込むと、Power Book 2400の通常モデルよりも少々発熱が増えるようだ。今回の試用では、動作が不安定になることはなかったが、冷却には気を使ったほうがいいかもしれない。

残念ながら、PowerBook 2400の仕様上、ビデオ周りの性能が向上しないので、実際の体感速度はそこそこといった感じである。それでも、ビジネス用途には十分すぎる性能だ。　●三谷　森



System Info 4.0（Mac OS 8.6J）で測定したベンチマークデータ。およそ3倍もの性能アップとなった

*1 バックサイドキャッシュ：2次キャッシュメモリーへの高速なアクセスを実現する技術で、CPUと2次キャッシュメモリーを結ぶ専用のバスのこと。

New Motion

iDock

iMacにシリアルポートを増設できる、USBハブ内蔵のスタンド型ユニット

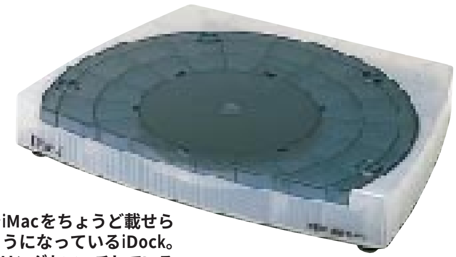
Get Information

開発元●New Motion Technology社
問合せ●(株)ソフトウェア・トゥー(03-5676-2177)
URL●http://www.swtoo.com/
価格●未定
対応機種●iMac全機種
動作環境●Mac OS 8.5以降

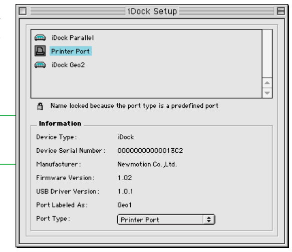
Check Point

iMacをちょっと拡張したい人や、Old Mac用のプリンターやモデムなど周辺機器をiMacでも引き続き使いたい人にお薦め。ただし、すべての周辺機器に対応するわけではないので、購入前に、自分の周辺機器が動くかどうか調べておきたい。

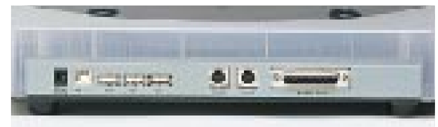
コストパフォーマンス	★★★½☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★½☆
マニュアル	★★☆☆☆
総合評価	★★★½☆



薄型でiMacをちょうど載せられるようになっているiDock。カラーリングもマッチしている



各ポートの設定はコントロールパネルで行なう



背面にはUSBハブ、シリアル、パラレルポートが用意されている

New Motion社の「iDock」は、iMacに拡張ポートを増設し、かつ回転スタンド代わりにもなるデザインを持った製品だ。テーブル部分は左右30度ほど回転するようになっており、iMacの向きを楽に変えることができる。

iDockの背面にはUSBポート×3基、シリアルポート×2基（GeoPort*1互換）、パラレルポート＊1×1基の各インターフェイスが備わっている。USBポートは、付属のケーブルでiMacと接続してUSBハブ*2として機能する。シリアルポートは付属ユーティリティにより、擬似的に旧機種のモデムポート／プリンターポートに相当する機能を担わせられる。シリアル接続を行なうプリンターやデジタルカメラなどを活用する際に重宝する。またパラレルポート*3接続のプリンターを使えるようにするユーティリティも付属しているので、DOS/V機用のプリンターを流用可能だ。

シリアルポート接続製品の互換性など、少々不安な部分もあるが、まもなくMac OS 9に対応したドライバーソフトもリリースされるという。また、iMac DVに対応し、FDを正面に装備し、ADBポートも用意した「iDock III」も近日発売になる。日本の総販売元もソフトウェア・トゥーに決定、今後が楽しみな製品である。　●三谷　森

New Motion

Mini-iDock

USBポートにつないでシリアルポートを2チャンネル利用する変換アダプター

Get Information

開発元●New Motion Technology社
問合せ●(株)ソフトウェア・トゥー(03-5676-2177)
URL●http://www.swtoo.com/
価格●未定
対応機種●iMac、USBポートを備えたPower Mac
動作環境●Mac OS 8.5以降

Check Point

iMacやB&W Power Mac G3、G4ユーザーで、モデムやプリンターなどのシリアル接続機器を複数台利用したい人向け。用途に応じて、本ページ上で紹介した「iDock」と使いわけたい。

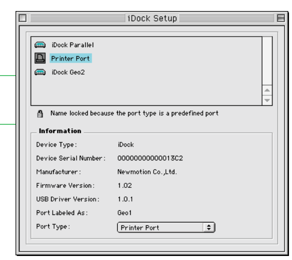
コストパフォーマンス	★★★½☆
機能	★★★½☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★☆☆☆
総合評価	★★★½☆



USB経由でシリアルポートを2つ使えるようにするMini-iDock



各面にポートが分かれている



コントロールパネルでモデムポートとプリンターポートを設定するだけ

モデムや一部のプリンターなど、シリアル接続を行なう周辺機器を持っているユーザーにとって、USB・シリアル変換アダプタは一、まだしばらく手放せないもののひとつだろう。New Motion社の「Mini-iDock」も、そうしたユーザー向けのUSB・シリアル変換アダプターである。

本体の形状はPowert Mac G4のような独特のもので、同社の「iDock」と同じように半透明になっている。シリアルポート2基を備えており、付属のユーティリティを使うことにより、それぞれのポートをモデムポート／プリンターポートとして割り当てることが可能になっている。

アダプター部の大きさがそれなりにあるので安定感はあるが、一方でこれほどの大きさが必要なのかどうか悩むところでもある。気軽に持ち運んで使うという用途を想定しているのであれば、もう少し小型化してもいいのではないかと思う。

この製品と互換性のある周辺機器の情報は、簡単な説明書に記してあるほか、同社のWebサイトでも確認できる。ドライバーソフトの問題なのか、最近リリースされた機種の名前が見当たらないのは残念だ。こちらも、まもなくMac OS 9に対応し、MIDIインターフェイスもサポートするバージョンがリリースされる予定だ。●三谷　森

*1 GeoPort：従来のシリアルポートよりも高速なデータ転送ができるシリアルポート。Quara 840AVから初代Power Mac G3に用意されていた。　*2 USBハブ：1台のパソコンに複数のUSB機器を接続するために必要な装置。　*3 パラレルポート：同時に複数の信号を送るデータ転送方式を採用した拡張ポートのひとつ。ここではDOS/V機などに使われているプリンターポートと同じ機能を持っているポートのことを指す。

present

1 ポケットトランサー　1名

最新版の時事用語付き
英日両方向翻訳ソフト
http://www.nova.co.jp/
株式会社ノヴァ　03-5287-7570

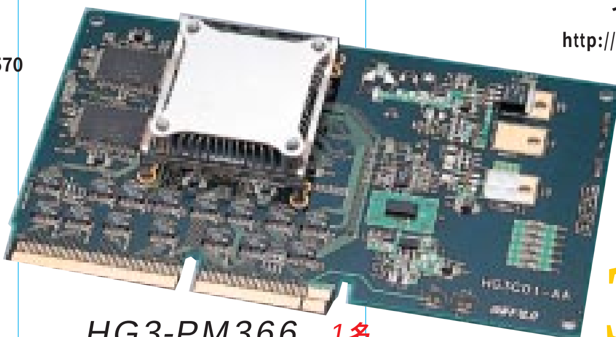


2 らくらく家計簿ゆとりちゃん5　1名

かわいいコアラのゆとりちゃんが案内する
インデックススタイルの家計簿ソフト
http://www.corpus.co.jp/
株式会社コーパス
03-5275-0538



3 HG3-PM366　1名



PowerPC604/604eを搭載した
PowerMacintosh用CPUアクセラレーター
http://www.melcoinc.co.jp/
株式会社メルコ

4 直子の代筆/Mac



3名

質問に答えるだけで
手紙やスピーチの文章ができる、
インターネットで人気のソフトが
Mac版で登場
http://www.teglet.co.jp/
株式会社テグレット技術開発
03-3932-9869

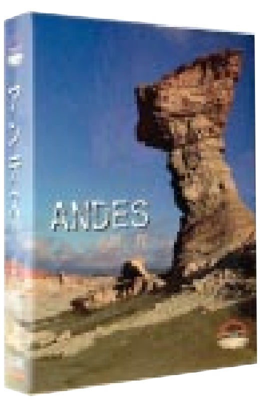
5 Life Nvigator1000「四柱推命～全体運/相性診断 1940～2009」

1名

ライフナビゲーターシリーズから
簡単な入力で、
複雑な四柱推命占いができるソフト
SME・インターメディア
03-3266-5791



6 デスクトップ・オアシス・シリーズ「ANDES～アンデス～」



1名

南米を撮り続ける
写真家高野潤氏の
美しい写真で見るアンデス
株式会社メディアカイト
03-5449-2581

7 ファイルメーカー Tシャツ　1名

ビッグサイズTシャツ
http://www.filemaker.co.jp/
ファイルメーカー株式会社



8 ミノルタデジタル機器キャラクター「ROY君とその仲間達」ぬいぐるみ＆バッグセット



各キャラクター1名

サンダーバニーでおなじみの
ロドニー・アラン・グリーンブラット氏
デザインのかわいいキャラクター達
http://www.minolta.com/
ミノルタ株式会社

9 ファイルメーカー 超ミニトートバッグ　1名

CDやCD-ROMが5枚入る、
ファスナー付きのかわいいバッグ
http://www.filemaker.co.jp/
ファイルメーカー株式会社



10 フォト満タン7　1名

はがき用の春夏秋冬著作権
フリーイメージ1,000点収録
2000年限定
「辰 COLLECTION ROM」付き
http://www.apjapan.co.jp/
エーアンドピーコーディネーター
ジャパン株式会社
03-5798-0210



●応募方法
巻末の綴じ込み読者はがきに、ご希望のプレゼント番号をご記入ください。CD-ROM MACLIFEに収録の「読者メール&資料請求テンプレート」にご記入のうえ、mlreader@bnn.co.jp宛の電子メールでも応募できます。申し込み締め切りは、99年12月17日です(当日消印有効。メールは当日到着分まで)。なお、当選者は2000年2月号にて発表させていただきます。

見ればわかる Mac活用語辞典

text & Illustration
インフォメディア
監修●富士写真フイルム

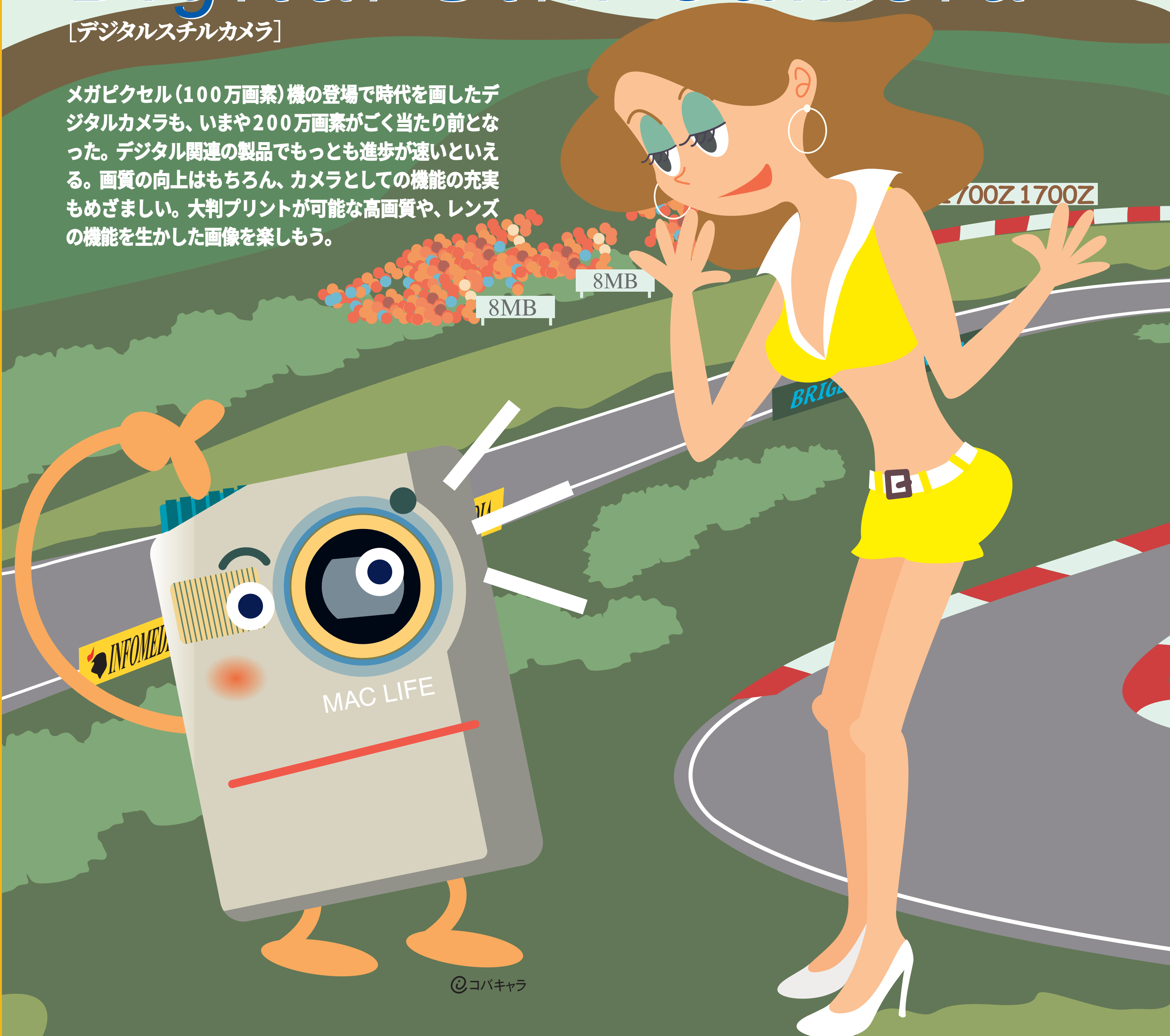
デジタルカメラは、CCDで撮影した画像を信号処理してデジタルデータとして保存する。このためフィルム現像は不要で、撮影したデータは電気や磁気を利用した記録メディアに保存する。現行のほとんどの機種は液晶画面のモニターが付いているので、画面を見ながらの撮影や画像の再生ができる。画像データをパソコンに接続できる記憶媒体にコピーすれば、画面表示したり、フォトレタッチソフトで加工して、Webページや印刷用のデータとしても

デジタルカメラの巻

Digital Still Camera

［デジタルスチルカメラ］

メガピクセル（100万画素）機の登場で時代を画したデジタルカメラも、いまや200万画素がごく当たり前となった。デジタル関連の製品でもっとも進歩が速いといえる。画質の向上はもちろん、カメラとしての機能の充実もめざましい。大判プリントが可能な高画質や、レンズの機能を生かした画像を楽しもう。



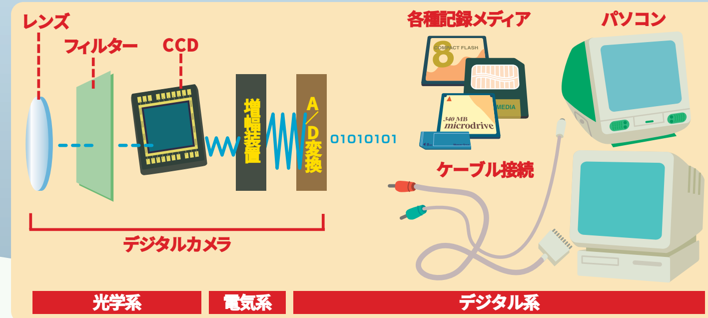
©コバキャラ

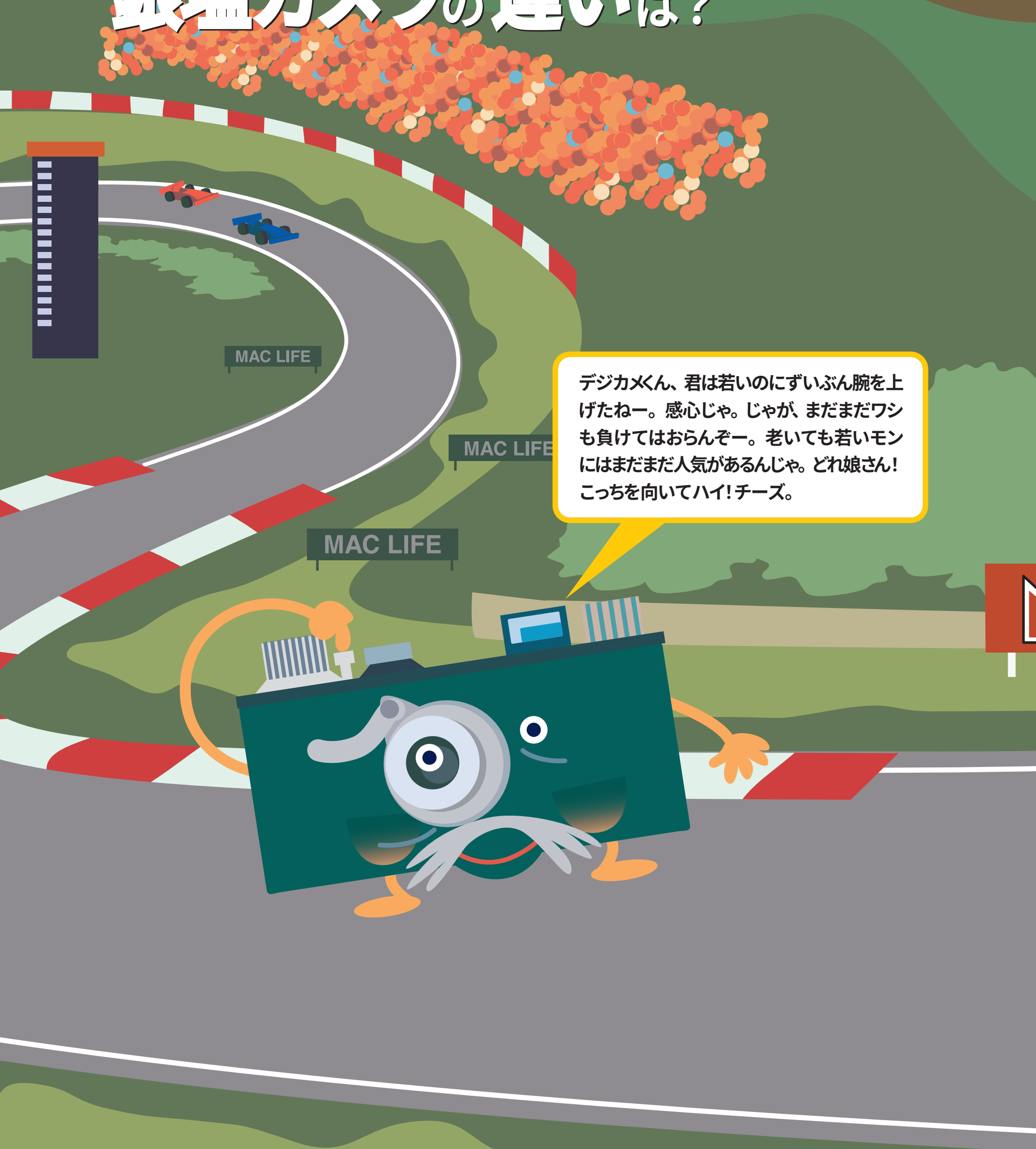
デジタルカメラと銀塩カメラの違いは？

利用できる。このようにデジカメとパソコンは、フィルムを使う銀塩カメラ（画像情報を感光材＝銀塩フィルムを利用して記録する）とパソコンの関係に比べて相性がいい。

デジタルカメラはビデオ（動画）との対比で、デジタルスチルカメラとも呼ばれ、スチル（静止画）を扱う点では、レンズを中心とした光学系は銀塩カメラと似ている。銀塩カメラも今日では、高度な電子制御技術の塊だ。光学系以後の、銀塩フィルムの現像に相当する工程は、デジカメ本体の画像処理回路が担う。スライド映写やネガのプリントに相当する部分は、テレビやパソコンモニターでの表示（各種の記録メディア装着や接続ケーブルを介する）か、プリンター出力が受け持つ。

CCDと同等かそれ以上にデジカメの画質に影響するのがレンズだ。絞りは画像の明るさを調整する機能で、その程度は「F2.8」のように表わす。レンズの明るさは絞りを全開にした開放F値で表わし、数値が小さいほど明るい。明るいレンズは暗い場所での撮影に有利だが、大型で高価になる。焦点距離（レンズを通った光が焦点を結ぶまでの距離）は小文字の「f」で表す。デジカメではいろいろな大きさのCCDとの組み合わせによって必要な焦点距離が変わってしまうので、ふつうは35mmサイズのフィルムに換算した焦点距離を表示する。デジカメのレンズには、f＝35mm前後の広角、105mm前後の望遠が使える3倍ズームが採用されることが多い。





パソコンへのデータ転送と画像ファイル形式

パソコンを使わないデジカメユーザーも多いが、デジカメを本格的に利用するのにパソコンは欠かせない。画像データをパソコンに移す方法には2種類ある。記録メディアをデジカメから取り外してアダプターや読み取り装置に装着してパソコンに送る方法と、デジカメとパソコンをケーブルで接続する方法だ。それぞれ必要な機器や費用、転送時間が異なる。デジカメで撮影した写真の画像ファイル形式はそのデジカメごとに決められているが、たいていの機種にJPEG（またはJPEG準拠のファイル形式）が採用されているので、JPEGデータを展開したあとは、パソコンで作成した画像データと同様に扱える。

CIFF（シフ）●Camera Image File Formatの略。キヤノンなどが中心となったデジカメ用のファイル記録形式の規格で、画像と一緒に撮影状況データなどを記録できる。サムネイル表示可。

DCF（ディーシーエフ）●Design rule for Camera File systemの略。個々のファイルだけでなく、フォルダーの配置構造まで共通化した規格が提唱されている。日本ではすでにJEIDA（日本電子工業振興協会）の規格としてまとまっており、ISOの規格として提案される予定だ。99年春以降に発売されたデジカメには、おおむねこの規格が採用されている。

DPOF（ディーポフ）●Digital Print Order Formatの略。出力サービス向けに提唱されている規格で、データに印刷の枚数を直接付記するため、店頭で枚数を指示しなくても自動で指定のプリントができる。

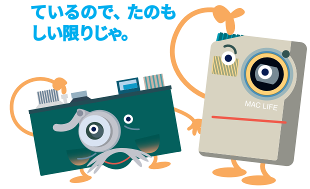
Exif（イグジフ）●Exchangeable image file formatの略。JPEG系の形式で、撮影した日付、インデックス、モニター用の小さな画像（サムネイル）などを規格化した形式。富士写真フイルムやコニカのデジカメに採用されてきた。DCFの画像ファイルはExif形式である。

FlashPix（フラッシュピクス）●イーストマン・コダック、ヒューレット・パッカード、マイクロソフト、ライブピクチャーの4社が共同開発した画像ファイル形式。1つのファイルの中に1/4ずつ解像度を下げた複数の画像データを持てるので、印刷のときは高解像度の画像データ、モニターで見るときは低解像度の画像データというように使い分けできるのが特徴。

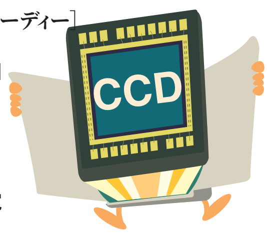
見ればわかるMac活用語辞典

デジタルカメラの巻

ワシはカメクラ（カメラクラブ）の会長パイカ先生じゃ。最近じゃデジカメ君たち若い衆が同好会を盛り上げてくれているので、たのもしい限りじゃ。



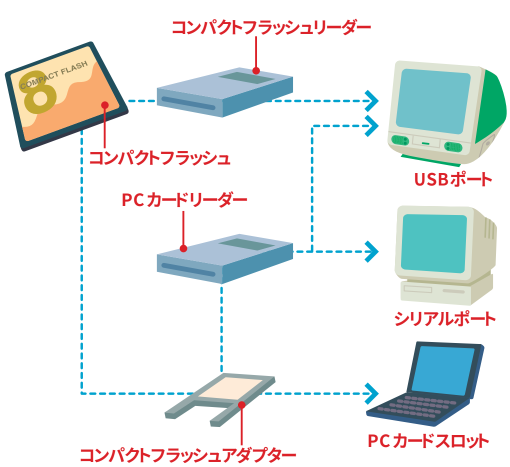
CCD
［シーシーディー］



Charge Coupled Deviceの略。光を電気信号（電荷）に変換するフォトダイオードと、電気を溜める蓄積部、電荷を転送する転送部で構成される半導体で、個体撮像素子の一種。デジカメは銀塩写真のフィルムの代わりにCCDを使用しており、画質に大きな影響を与える。CCDのサイズが小さいと消費電力や省スペースの面では有利だが、感度は低下する。サイズが大きければ暗さに強く、撮影のバリエーションも広がる。

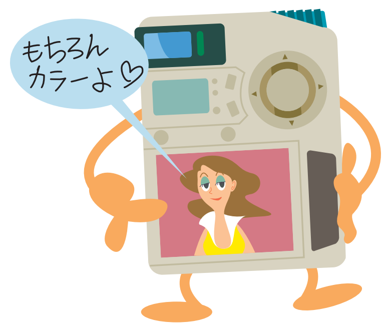
アダプター
［adapter］

パソコンはスマートメディアやコンパクトフラッシュを、直接読み書きできる装置をほとんど標準装備していないため、アダプターが必要。スマートメディアなら専用のフロッピーディスクアダプターを使えば、FD同様に扱える。PCカードスロットを経由してデータをやり取りする場合、ノートパソコンは最初からPCカードスロットを備えているのでPCカードアダプターがあれば問題ない。デスクトップ機はPCカードスロットを備えたモデルは少ないので、たいていPCカードリーダーが必要になる。また、マイクロドライブをパソコンで読み書きするにも、メディアをスロットに差し込むためのPCカードアダプターが不可欠。アダプターは別途購入する必要がある。



液晶ディスプレイ
［liquid crystal display］

液晶モニターともいい、デジカメには欠かせない。液晶モニターのポイントは3つ。大きさ（対角線の寸法で表す）、種類、画素数だ。液晶だけでは光らないので、バックライトで後ろから照明する透過型、外光を専用の窓から取り入れる採光型、液晶面から採光する反射型がある。採光型・反射型はバックライトを使わないため電池の持ちはいいが、暗い所では見えない。

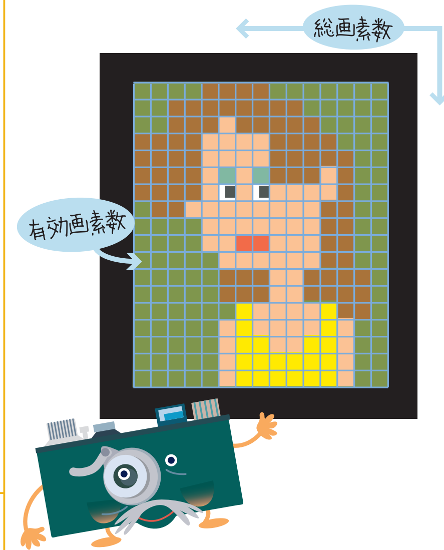


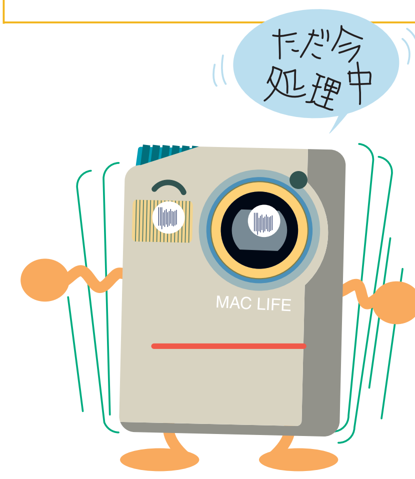
画像処理
［image processing］

デジカメはCCDからの信号をそのまま記録しているわけではない。CCDからの信号を、補正をかけて自然な色調にして記録するためにデータを圧縮し、記録メディアに書き込んで保存する、といった一連の工程が必要だ。これらの作業を行なうのが画像処理回路だ。画素数が増えるほど、処理には時間がかかる。処理用ICを高速にすれば時間は短縮できるが、消費電力は増える。CCDは松下電器産業、シャープ、ソニーなど一部のメーカーがつくっているだけだが、処理回路はほとんどのデジタルカメラメーカーで自社開発しているため、同じCCDや同じレンズを使っても異なった画質のカメラが存在することになる。

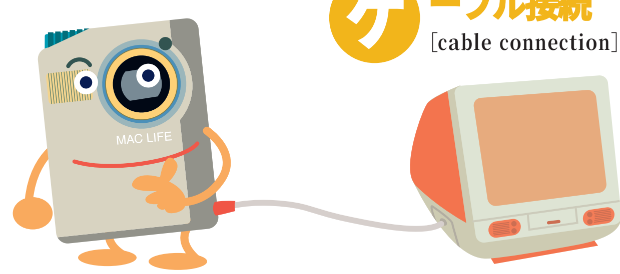
画素と画素数
［pixel and number of pixels］

画素はピクセルともいい、ビットマップイメージを構成する最小の単位。また、CCDを構成する素子のことも画素という。デジカメでは、画素数が多いほうがきめ細かく撮影できる。デジカメのカタログの画素数は、撮像素子を構成する画素（受光素子）の総数である「総画素数」を指すことが多い。一方、撮像素子の周辺の、撮影には使用しない画素を除いた画素数を「有効画素数」という。130万画素のCCDでも、有効画素数は1,280×960（1,228,800）ピクセルになることがある。





ケーブル接続
［cable connection］



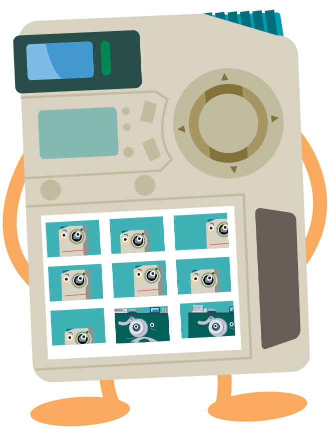
デジカメのデータをパソコンに移す際、専用の接続キットのケーブル（とソフト）を用いて行なうこと。Windows用かMac用かさえ間違えなければ問題なく、操作も容易だが、記録メディアを装着した場合よりも転送時間がかかる。

コンパクトフラッシュ
[CompactFlash]

フラッシュメモリー（半導体メモリー）による記録メディアで、対応機種も多い。基本構造はPCカードと同じ。カード自体にコントローラーを内蔵しているので、製造コストはスマートメディアより高い。最大容量の推移は、2000年に192MB、2001年に400MBと予想される。キヤノン、カシオ、エプソン、コニカ、ミノルタ、三菱、ニコン、パナソニック、ビクター、コダックなどのデジカメに採用。



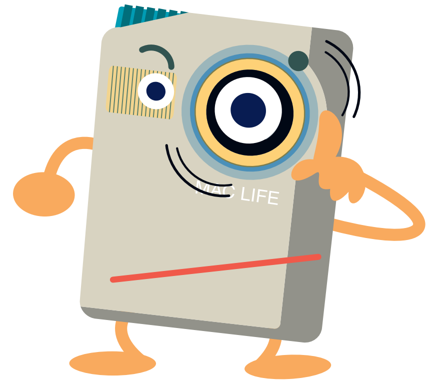
サムネイル
[thumbnail]



画像ファイル用の目次のようなもの。親指(thumb)の爪(nail)くらいの大きさの画像を一覧させる機能で、多数のファイルの中から目当ての画像を探したいときに便利。DCF準拠カメラでは、このサムネイルも一緒に記録されている。

デジタルズーム
[digital zoom]

カメラのレンズには単焦点レンズとズームレンズがある。単焦点は焦点距離が固定のもので、ズームレンズはある範囲で変えられ、同じ位置からでも画角や遠近感の違う画像が得られる。デジカメのズームには、レンズで実際の焦点距離を変更する「光学ズーム」と、デジタル処理で画像データを拡大する「デジタルズーム」がある。デジタルズームはCCDに写った映像の一部を拡大する機能で、パソコンの画像ソフトを使って拡大するのと同じ原理だ。ズーム時の画素数は、光学ズームに比べて落ちる（2倍のデジタルズームで画素数は1/4になる）。



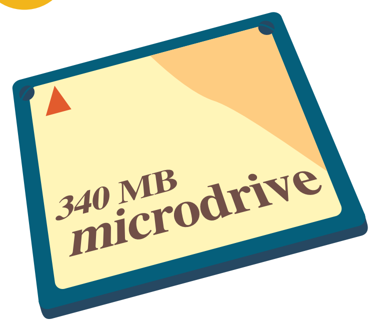
ズームはとても便利。なんたって自分は動かなくても遠くの被写体がこっちにやって来てくれる。それと“人間ズーム”というワザがある。ワイドの設定のまま自分で被写体にググーッと接近しちゃう。すると、パースペクティブな迫力のある写真が撮れるよ

プリントショップ
[print shop]

プリントショップには、全国展開している富士写真フイルム系の「メディアラボ　アビーズ」などがある。デジタルカメラで撮影したものをプリントする場合、どの写真が何枚いるかなど、ふつうの銀塩写真をDPEに出すのと同じように指定する。DPOF対応カメラでは、カメラで再生しながら、プリントするコマの指定やプリント枚数の指定ができる。プリントサービスの可能なメディアは、スマートメディア（Exif）フォーマット、PCカード（Exif）フォーマットなど。翌日には仕上がる。プリントサービスで、オリジナルのポストカードや顔写真入り名刺のほか、時計やマグカップ、テレカもつくれる。



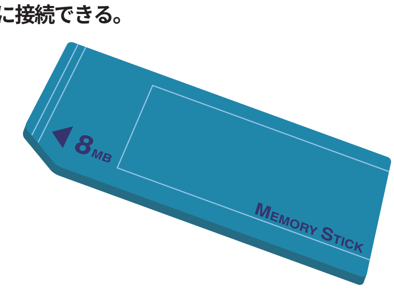
マイクロドライブ
[MicroDrive]



記録メディアのひとつ。超小型のハードディスク。ほかの記憶媒体と比較して、桁違いの大容量で、すでに340MBの製品がある。デメリットは消費電力が大きいこと。現在は一部の機種（カシオQV-2000UX、サンヨーDSC-SX150、キヤノンPowerShot Pro70など）に採用されている。

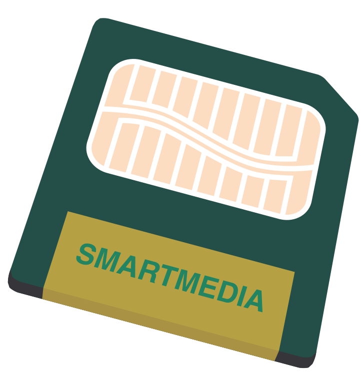
メモリースティック
[MEMORY STICK]

ソニーが提唱している、フラッシュメモリーを使った記録メディア。コンパクトフラッシュ同様、コントローラを内蔵するが、独自の転送方式をとる。99年秋に最大容量64MB製品が登場する。現在はソニーのサイバーショットにだけ採用。なお、コンパクトフラッシュ、スマートメディア、メモリースティックのどの記録メディアも、アダプターを使うことでPCカードスロットに接続できる。



スマートメディア
[SmartMedia]

フラッシュメモリー（半導体メモリー）による記録メディア。記憶素子（フラッシュメモリー）に接続端子が付いただけのシンプルな構造のため、安価だ。形状が薄いことから64MBが現在の上限の容量だが、2001年には128MBのものが登場する予定だ。富士写真フイルム、オリンパス、リコー、サンヨー、東芝などのデジカメに採用されており、デジカメ出荷台数の7割ほどを占める。



Manhattan Cyber Street

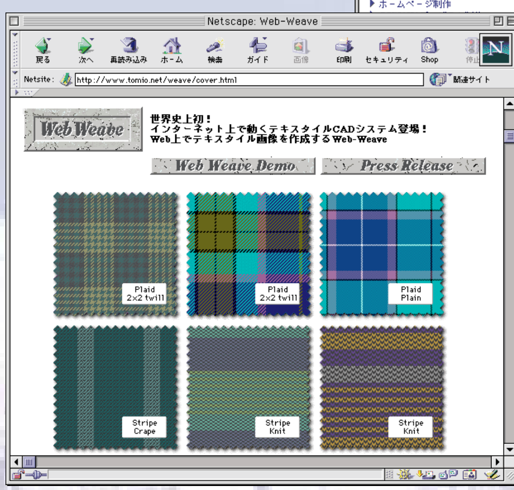
「Manhattan Cyber Street」ではシリコンアレーのほか、
New Yorkの先端技術、企業などを紹介します

New York最新デジタル事情●取材・文 渡辺史敏／Fumitoshi Watanabe

**マンハッタンを中心としたニューヨーク・メトロポリタン地区は
アメリカ最大級の日本人・日系人在住地域でもある。
日系人社会でのコンピューター利用は日本とは少し違っているが、
そのなかで活躍しているのがTomio Creations, Inc.だ。**

Vol.7 Tomio Creations, Inc.
http://www.tomio.com/





（上）Tomio Creations, Inc.のWebページ。（左）テキスタイルソフトのデモも行なえる

ハドソン川をはさみマンハッタンの向かいにあるニュージャージー州フォートリー。そこはマンハッタンへの通勤にも便利で、自然も多いなど環境が良いため、多くの日系人が住む街として知られている。その中心地に位置するオフィスビルの一角に今回訪ねたTomio Creationsの本社オフィスがある。

同社は後述のテキスタイルソフトをはじめとしたソフト開発、Mac、PCなどのハード販売、プロバイダー事業など、幅広い活動分野でニューヨーク地区のみならず東海岸の日系人、企業に知られる存在だ。

その多岐に渡る業務の中で現在中心になっているのは、クライアントからの依頼によるソフト開発。創業者で同社のシステムエンジニアを務めるTom Maeda氏によると「CGIやJava、イントラネットとエクストラネットのインターフェイスなどを開発業務の主体としています。最近はUNIXのサーバーを持っているところも多いですね。数は少ないですがMacをサーバーにしているところもあります」とのこと。

またニューヨーク近郊の日本人精神科医との共同開発で、クライアント（患者）側から各種データを入れて、サーバー側でグラフ化して処理するという一種の診断システムの作成など、7つのプロジェクトが進行中とのことだった。

にもかかわらずフルタイムで常駐するスタッフはたったの4名。実際にはハワイやバージニア、日本などに散らばるフリーランスのプログラマー15、6名が働いているそうだが、オフィスにいるのはこの人数でもすむのだという。

こういったことができるのも「インターネットのおかげ」とMaeda氏はいう。人材探しもインターネットのホームページなどを見て行なうそうだが、日本語の理解、といった点でインターネット普及前は人材探しで苦労していたそうだ。

そんなTomio Creationsをスタートしたのは、9年前。当初はコンピューター専門企業ではなかったという。コンピューターサイエンスの勉強のために留学し、ニューヨークのデザイン学校を卒業したMaeda氏だったが、第一希望のコンピューター業界は就職難で、最初はイヴ・サンローランに就職。コンピューターとはまったく関係のない、生地の買い付けやデザインなどを行なってていた。その業務の中でコンピューターを使ったほうがよいのではないかと感じることが多く、ソフトウェア開発に興味を持ち、独立。デザインスタジオを運営していくうちにコンピューター関連の顧客が増えたという。このため当初は日系企業よりもファッション業界で知られた存在だった。

テキスタイルからコンピュータへと中心業務が逆転したきっかけは、やはり約4年前に起こったパソコンブームだった。そしてインターネットでそれが加速したというわけである。

時代の流れ、ニーズに合わせ、軽やかなフットワークで業務を変化させ発展してきた同社だが、Maeda氏に今の悩みを聞くと「インターネットブームでやることが多くなりすぎた。もっと発展したプロジェクトがやりたくても、入ってくる仕事に追われている状態」と、忙しさによるオリジナリティ喪失の恐れが感じられる発言も聞かれた。それでも「ソフトウェアでニッチで独特なものを作っていきたい」と、意欲も見せてくれた。

いずれにしても日系社会というニッチな世界において、同社に期待されるものが一向に小さくならないことだけは事実のようだ。



大人でiMacを買う人はあまりいないですね

Tomio Creations, Inc. 創業者
Tom Maeda氏



本社にあるサーバーの一部



デジタル・メディア・デザイナーのMayano Onodera氏。ここではWebデザインなどが行なわれている

photo:Kyoko Watanabe

現在Tomio Creationsの顧客は約80%が日系企業だという。アメリカ、特に東海岸の日系企業、日系人のパソコンとの関わり方について聞いてみた。

――東海岸の日系の企業がコンピューターネットワークを導入し始めたのはいつ頃ですか？

Maeda●早いところでこの2年ぐらいです。本格化したのはこの1年ぐらい。それまではせいぜいPPPでダイヤルアップといった感じでした。インターネットを使って商売しようとか、インターネットを使って会社のいろいろな管理やプロダクトの案内をしようという動きが出てきたのはこの1年ですね。

――そんなに遅いのですか？

Maeda●遅いです。逆に日本は、アメリカのインターネット市場のブームに煽られているので、むしろ早いと思います。もちろん、アメリカの会社はもっと早かったのですが。アメリカの日系企業は遅れているんです。ブームがアメリカから日本にいったん行って、その波がアメリカに戻ってきたときに動き出す、というのが日系社会なんですよ。

――てっきりアメリカの日系企業は日本の本社などにアメリカの最新状況を伝えるような立場にあると思っていました。

Maeda●いえいえ（笑）。こちらに来ている人たちが新しいものを本社に紹介して、もし失敗するとたたかれたりするじゃないですか。むしろ保守的で、本社が動きはじめてからこちらも動くという傾向があると思います。東海岸の日系企業ということでいえば、まだまだ未開発な部分がものすごくあるのではないでしょうか。

――そのなかでMacを販売してきたのはどうしてですか？

Maeda●基本的にはMacが好きだから（笑）。ただそれだけです。始めた当時、漢字Talkをインストールして販売しているアメリカのディーラーはほかになかったと思います。PCを扱いはじめたのは、3年ほど前、アップルの業績が低迷してひょっとしたらつぶれるのではないかと思われたためです。

――始められた時の市場の様子と現在とでは、状況は変わりましたか？

Maeda●変わりましたね。今一番売れているのはiMacです。普通のMacを買うのは出版関係やデザイナーだけです。iMacを買うのは子供のいる家庭と学生が多いですね。大人でiMacを買う人はあまりいないですね。女性が少しいるぐらい。あとはWindowsベースになってしまいます。Macの人気が完全に回復するかどうかは2000年を超えてみないとわからないと思っています。たしかにアメリカでも日本でも全体的な数字はよくなっていますが、日系社会という点で見てみると極端に減ってきているんです。こちらにいる大人の日本人で移住してきている人は少なく、大多数は駐在員。日本に帰ってからも使うことを想定してコンピューターを買うので、どうしても周りがほとんどPCなのに、自分だけがMacを買うということができないんですよ。ただ、アメリカで自分の子供が学校でMacを使っているから、というケースは多いのですが。コーポレートベースでも、Macを使っている普通の企業は極端に少なくなっていますね。日本の親会社がWindowsになったため、データのやりとりでコンバージョンの問題もあるため、全社単位で変えてしまったところが多いんですよ。

――仕事のうえでシリコンアレーを意識されることはありますか？

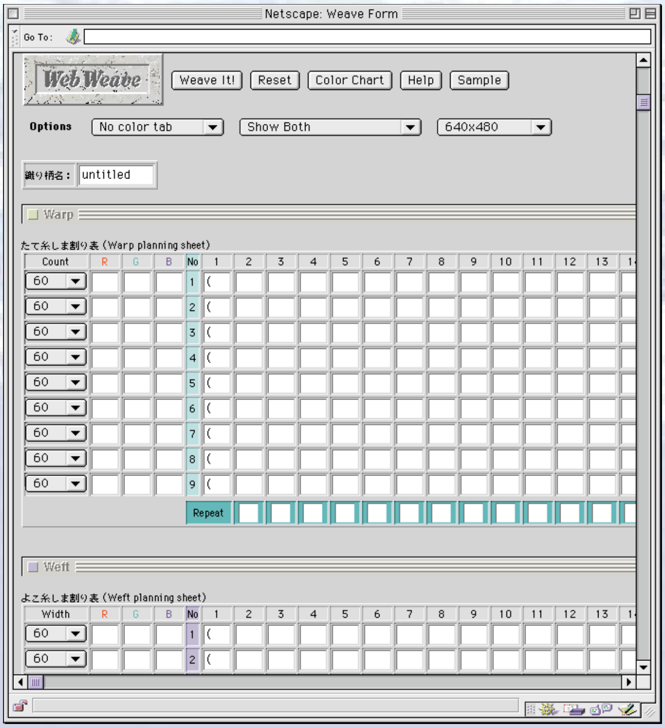
Maeda●まったくないですね。たとえばホームページを作って管理している人たちは、シリコンアレーに影響されることもあると思うのですが、ソフトウェアを開発するという点ではあまり関係ないですね。西、東ということもないです。とにかく、変わったおもしろいプロジェクトができるかということに興味がありますし、これからも非常に複雑なシステムをやっていきたいです。



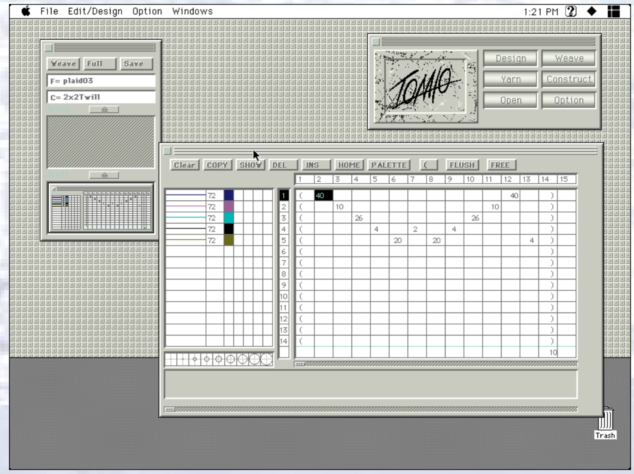
ニュージャージー州リッジフィールドにあるデジタル・デザイン・スタジオ

デジタル・デザイン・スタジオの外に広がる風景。
フォートリーの本社も含め、マンハッタンの近くながら恵まれた環境にある

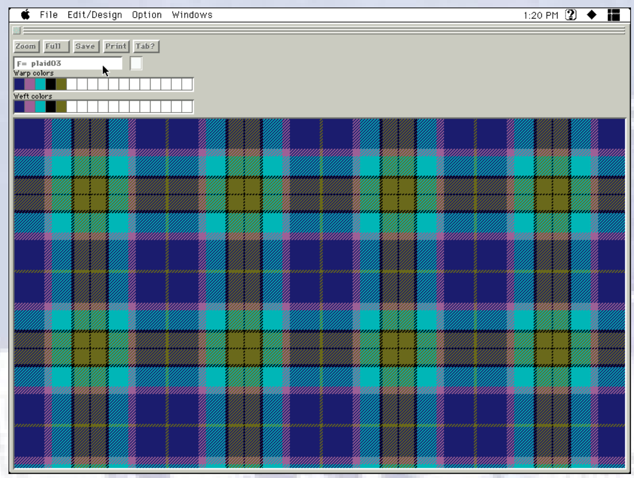




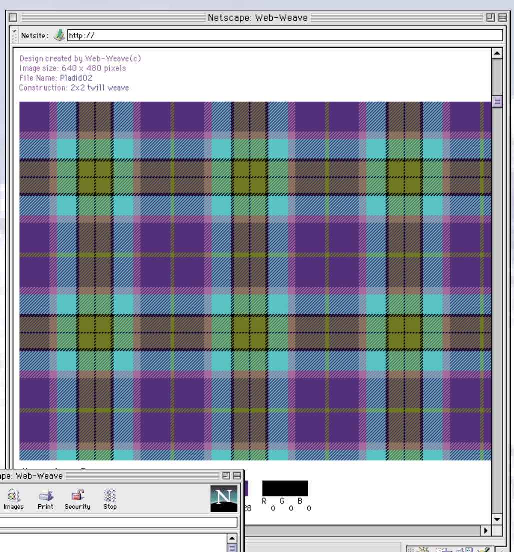
インターネット／イントラネット上で作動するテキスタイルのCADシステムWeb-Weave。Webブラウザー上からたて糸、よこ糸などの織りを指定できる



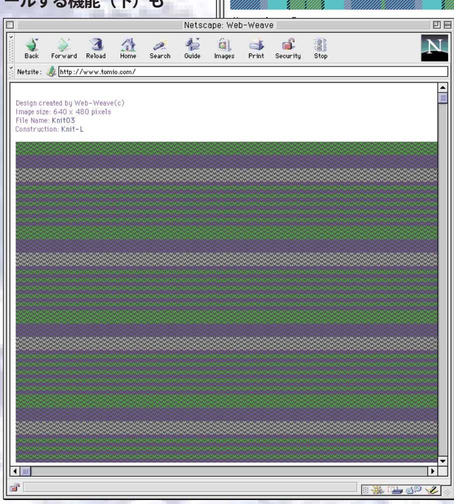
Web-Weaveの前に開発されたX-Weaveは最初UNIXのX Window用として開発され、その後Macに移植された

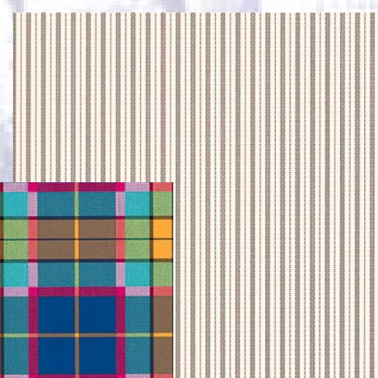


出力画面。モニターと実際の出力の色の違いがなくなるよう、開発には細心の注意が払われたという



指定をするとクライアント側にGIF形式で織りの結果が送り返される（右）。さらに織りの組織を再現するためのしま割表をメールする機能（下）も









完成したテキスタイル見本。さまざまな柄を作成することができる

海外在住者に優しいMac

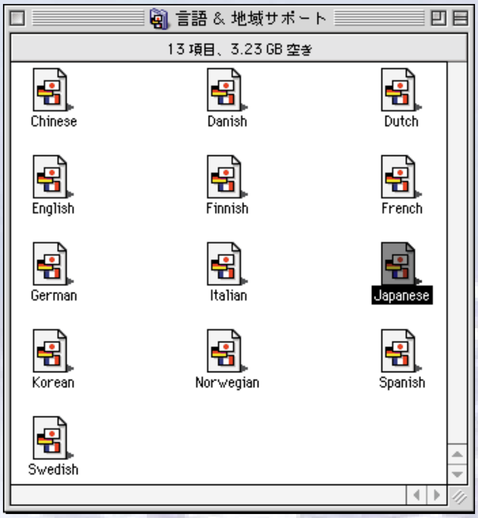
筆者を含め海外に住む日本人にとって、現地で購入したパソコンで日本語を使用できるようにすることは、とても大きな問題であった。特にWindowsの場合、ドライバーの問題などがあり、現地で購入し、ハードディスクをフォーマットした後、日本語版OSをインストールしても動かない周辺機器が多かったりと、苦労が絶えない。

その点で、Mac OSは漢字Talk時代からユーザーにとってフレンドリーな存在だった。英語版がインストールされたMacでもJapanese Language Kitを導入すれば簡単に日本語化でき、さらにそのまま日本語が使用できるアプリケーションも多かったのである。これは大きな優位点だったといっていいだろう。

10月末に発売されたMac OS 9ではもちろん、8.6の段階から、さらにその優位性が発揮されることになった。日本語をはじめ、これまでランゲージキットとして別に発売されてきた各種言語サポートが元となるOSにバンドルされたのである。これは、出費の問題だけでなく、使い勝手という点でも便利なことこの上ないのだ。

今回、Maeda氏のコメントで日系人社会でのMacの意外な劣勢が明らかになったが、こうしたMacの優位点に関する情報がしっかりと伝われば逆転する日も近いかもしれない。

もちろん海外在住者のみならず、このサポートは多言語使用者にとって朗報以外の何者でもない。



Mac OS 9の「言語&地域サポート」

テキスタイル画像ソフトの先駆けとして

現在、多く分野にまたがって活躍するTomio Creationsだが、その当初はテキスタイルにおけるコンピューター活用が主なフィールドであった。最初はカルバン・クラインやペリー・エリスといった有名ファッションデザイナーを中心に顧客の80%が米系企業だったという。

そんな同社が自主開発してきたのが、先染めテキスタイル画像ソフトである。これは糸の設定から始まり、その糸をさまざまな組み合わせで織った場合、どのようなテキスタイルになるかをデザインできるCADシステムのこと。

同社ではまずUNIXのX Windowで稼働するシステムを開発、その後、Mac上でも稼働するX-Weave Macを発表した。

Mac版を開発したのは「当初のシステムを見たデザイナーや顧客企業から、ぜひMac版を、と要望された」（Maeda氏）からだ。この分野でもMacを愛用するデザイナーが多いらしい。

さらに同社ではインターネット／イントラネット上で作動し、プラットフォームに依存せずWebブラウザーで指定の行なえるWeb-Weaveも発表した。

もちろん、こういったソフト開発は同社オリジナルのため、さまざまな苦労があったという。たとえば、モニターは光が増えていくと白になるが、物理的な印刷などでは色を重ねていくと黒になる。「その中間のところでインターフェイスを作り、マトリックスを使って計算させるという手法を独自に開発しました」とMaeda氏。

さらにWeb-Weaveでは、もっと根本的な問題につき当たったという。「あまり知られていないのですが、IEとNetscape Navigatorで同じ色を指定しても、色が出るものと出ないもの、そして色が違うものがあるんです。極端に違うことはないのですが、細かい差が出ます。たとえば、エッグシェルの色がネットスケープでは出ているのに、IEではトンでしまったり」という問題に頭を痛め、「最初はそのことがわからずバグだと思って一生懸命調べたりしました」。

その対策として「RGBの入った印刷見本を見ながら入力していく」というブラウザーに頼らない方法を最終的にとったという。

この経験によりMaeda氏は「本当に色にシビアな企業にとって、モニターの色はアテになりません」と断言する。

しかしそれでも最近コンピューターを導入するテキスタイル企業が増えているのは、昔のように実際の試織をやっていると「それだけで1億円ぐらいかかる」からだとか。

「それだったら多少色が違っても、紙でだいたいの仕上がりを見て進んでいったほうが経費が大幅に安くなるんです」というコスト面の理由が大きいらしい。このため、今後さらに高速で糸の質感まで表現するようなシステムが増えていくだろうとMaeda氏は予測している。

ただ現在、同社では徐々にテキスタイル関係の業務を縮小しつつある状況だという。「コンピューターのほうが忙しくなって、ソフトなどを開発しているとサポートができなくなってしまう」のが理由とのこと。先駆的企業であるだけにちょっと残念なところではある。

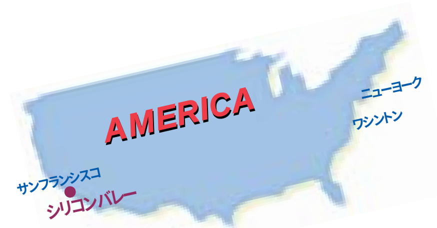
Fort Lee (New Jersey)



Tomio Creations, Inc.は、ハドソン河をはさみ、マンハッタンの向かい側、ニュージャージー州フォートリーにある

From A New World

世界のファインダーから





アジア系レストランの多い道。サンフランシスコのカストロと傾向はかなり違う

会社に置いてあるAustin Powersとの写真。センサーが付いており目の前を横切ると“Yeah, Baby!”などとわめく。あまりにもうるさく会社のだれかが電池を抜いてしまうことが日常的



大工原 マイクさん
Mike Daikubara
30才。工業デザイナー
6歳で渡米。ニューヨークのジャマイカ州で育つ。名前はハーフ風だが、実際は東洋人の顔をした生っ粋の日本人である。上智大学比較文化学部およびプラット・インスティテュート（米）卒業。フリーランスを経て、現在はシリコンバレーのフィリップス・デザイン勤務。
最初のコンピューターはRadio Shackのカラーコンピューター。音楽カセットでピーヒャララとソフトをロードするのがなつかしい。

ビバ！ シリコンバレー ハイテク産業がひしめく街



近所の公園。野外コンサート場、ウインドサーフィンができる人工池、自転車のコース、たこあげなど、いろいろなことができる



今回はアメリカ合衆国カリフォルニア州シリコンバレーでフィリップス・デザインに勤務する工業デザイナー大工原マイクさんのレポートです。

「シリコンバレーに引っ越す気はあるか？」

ニューヨークの美大を卒業し、1年間ほどいろいろなところでフリーランスの仕事をしていた僕には、願ってもない話だった。

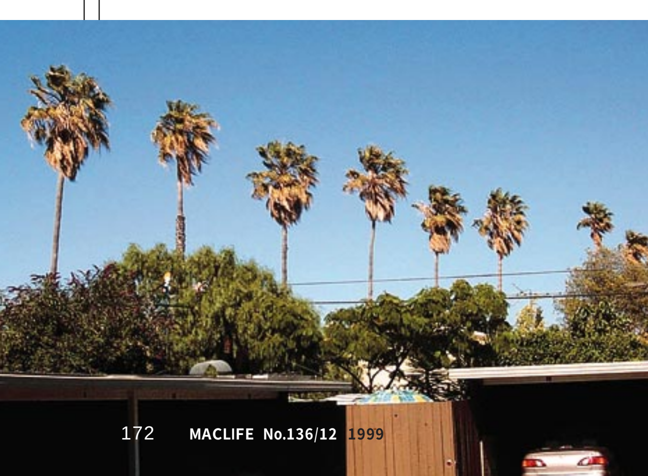
あるヨーロッパ資本の会社が、カリフォルニアにオフィスを開くことになり、デザイナーが急遽必要になった。そこで、数年前に就職活動で履歴書を送りつけていた僕に、白羽の矢が立ったのだ。

二つ返事で仕事を引き受け、1週間後には西海岸行きの飛行機に乗っていた。頭の中には、David Lee Rothの“California Girls”が流れていた。

人生の大半を東海岸のニューヨークで過ごした僕は、まずサンフランシスコの空港に降り立って外に出たとたん、その気候に驚いた。朝、昼、夜の温度差はかなり激しいものの、「全米で最も理想的な気候」と言われている場所だけあって、年間を通して300日近くが晴れていて、湿気もない。生活の場を移してから3年たった今でも、天気の良さが信じられない時がある。

シリコンバレーは、なにもシリコンが取れたためだけではなく、むしろ理想的な気候に恵まれた地域だからこそ、ここまでハイテク業界が発達したのだ、と聞いたが、その話は十分納得がいく。来る前までは、“ハイテク”という語感から、近未来的な高層ビルなどに囲まれた街を想像していたが、「街」というよりも「町」という表現がぴったりくるようなところで、はっきりいって「田舎」だ。

住み始めてまず感じるようになったのは、ここではコンピューターに関する知識の一般レベルが異常に高いこと。いつ、どこへ行っても、コンピューターに関する話題は街中でイヤというほど聞くのだが、いつだったか

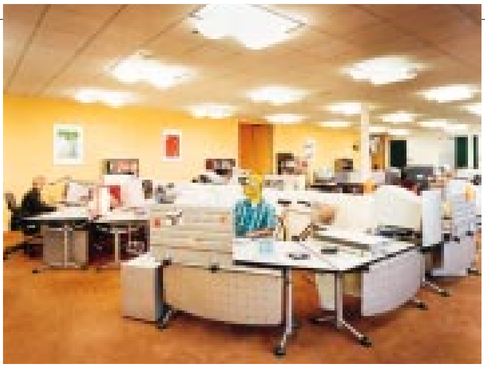


裏庭にある椰子の木。“ああ、カリフォルニアにいるんだなぁ”と毎朝見るたんびに思ってしまう



通勤に使っているリカンベントと呼ばれる自転車。平らの道には最適だが、ちょっとでも斜面になるとえらく疲れる（笑）

会社の写真。写っていたのは同僚ではなく写真用のモデルのため、もうすこし愛敬のある人物にいれかえた（笑）





「MacのOSがうんぬんかんぬん」と、かなり高度な内容の話が聞こえたので、なんとなくチラっと見てみると、どうみても60歳ぐらいの女性2人の会話だったのには驚いた。

ほかに、この地域の特徴といえば、会社で働く時の服装である。はっきりいって、だらしない。ジーンズにTシャツの恰好が多く、スーツにネクタイをしている人など、ほとんど見ない。たまにいたとしても、それはたいてい、シリコンバレーの外からきた人である。僕が入社したてのころ、いつも短パンにヨレヨレのTシャツ姿の人を見かけたのだが、後になってから、会社でかなり高い地位にいる人だと知った時には驚いた。今となってわかったのだが、仕事が有能な人間ほど恰好がひどい傾向があるようだ。

さて、僕が雇われた“フィリップス・デザイン”は、オランダを拠点にした、全世界に450人デザイナーがいるデザインコンサルタンシーで、主にフィリップス社の製品開発をしているのだが、昨年あたりから、外部からの仕事を引き受けるようになった。うちの部署は、さすがにシリコンバレーにオフィスを置いているだけあって、デジタルな電化製品のデザインが仕事の大半を占めている。

数年前まで、デザイン部の社員は、全員Macを使っていたのだが、一昨年から半分ぐらいの人がWindowsに乗り換えてしまった。今年までにはNTに総入れ替えする、とまでいわれるようになったが、社員たちがブーブー不平をいったお陰なのかどうか、現在では騒ぎも少しは落ち着いたようだ。





会社で使っているMacとSGI。最初は2台別々につかっていたのだがあまりにもテーブルのスペースを使いすぎるため、スイッチボックスを使い、1台のモニター／キーボードで切り替えている。配線の多さはなんとかならないものだろうか？

コンピューターはただの道具とはいえ、一日のうち画面に向き合っている時間が長いので、どうせなら使い心地が良くて、使って気持ちのいいマシンにしたいものである。会社でもう一台CAD用に使っているSGIの機械も、近々PCに変えられるようだが、これは大喜びだ……。ただのデザイナーにとっては、IRIXよりはNTのほうが、GUIがちょっと多いだけマシである。

まぁだらだらと思い付くまま書いてみたが、これが僕のシリコンバレーの生活である。



うちのオフィスでデザインされたHDR（Hard Disk Recorder)という新しいカテゴリーの製品。数年前に比べてハードディスクドライブがここまで安くなったからこそできた製品



ここら辺に住んでいる人間で知らない人はいない巨大電化専門店。1個1個、ものを見ようとしたら軽く半日はつぶれてしまう大きさ。iMacが発売されてからMacのコーナーにも多少力が入れられるるようになった

シリコンバレーインターネット事情

数年前までは、インターネットではせいぜい、軽く遊ぶ程度のことしかしていなかったが、今ではもう、仕事でもプライベートでも、これなしでは考えられない、というものにまで成長してしまった。

特にインターネットショッピングは、生活に欠かせない。手にとって見なくても説明だけでわかる物（航空券、電化製品、コンピューター関係のものなど）は、もうすべてオンラインで買うようになった。

まず、1）どこから買うのが安いのか、簡単に調べられる。2）デリバリーが早い。3）州外から購入する場合は、消費税がかからない。僕の住むカリフォルニアの場合、税率8.25％なので、かなり節約できる。4）商品が壊れていた場合、返品・取り替えが楽。

と、近くの店で買うよりも、有利な点がかなりある。手に取って見てから買いたい物は（よくこちらの人がやっているのだが）、近所のお店でじっくり手にとって見て、インターネットでもっと安い値段で買えばよい。

ほかには、インターネットでの毎月の料金の支払いが便利である。電気、ガス、ケーブルテレビ、クレジットカードなどを、オンラインで払うようになってからは、チェック（小切手）を切ることなく、封筒も切手も必要なくなり、だいぶ楽になった。

僕の今の不満は、日本から物が買えないことが多いことである。クレジットカードの番号を記入するところまで進んでも、郵送先の住所記入になると、「都道府県」しか入力できないようになっているのだ。

僕はまだ始めてないのだが、まわりにインターネットで株式投資をやっている同僚は結構いる。かなり楽しそうなので、そのうちやろうかと思っている。



■問い合わせ先
BOBLBE・E Concept Store
東京都目黒区自由が丘2-8-3
TEL:03-3725-8652
http://www.boblbee.com/

text：*Masahiro Sugimoto*

L I F E C O L L E C T I O N

斬新なフォルムと脅威の耐衝撃性能を持った「BOBLBE・E ハードシェルバックパック」。

たとえばレッドウイングのアイリッシュセッター。日本では大ブレイクしたワークブーツの人気の秘密は、確かに人気タレントがTVの中で履いていたこともあるだろう。しかし、そのもの自体の美しいスタイリングがなければ、やはりあれほど皆が履きたがらなかったはず。50年代のリーバイス501もしかり。カッコいいデザインは、あくまでもカッコいいのだ。ということで今回紹介したいのがBOBLBE・Eのバックパックだ！

ヨーロッパでは、すでに1998年に発表され、注目を集めていたBOBLBE・E。ハードシェルバックパックとしてあまりに堅牢な作りは、なんと金属バットで殴ってもビクともしない。それどころかバックパックの裏面につけられたクッションがその衝撃を吸収し、人体におけるショックを極力押さえてくれるのだ。なんて書くとあまりにハードなイメージが先行してしまうけれど、特筆すべきはそのデザインにある。バックパック上部から絞り込まれるスタイルは、しっかりと背中にフィットし、なによりも背負った姿がカッコいい。バックパックの下部にある窪みにはボールやインラインスケートなどのグッズが取り付けられ、まさにアウトドアでの遊びに使えるアイテムなのだ。

斬新なフォルムは人の目を集めるインパクトに溢れている。機能的にも優れていて、シェルに取り付けるストラップを使えば、ちょっとした荷物だってくくりつけることができてしまう。自転車やモーターバイクの移動には、もってこいのアイデアが盛りだくさんだ。鮮やかなカラーリングが美しいPEOPLE'S BURDENにメタリックが渋いMEGALOPOLISとカラーリングの豊富さもウリとなっている。さすがはデザインに定評のあるスウェーデンならではのバックパックだ。

そしてさらに今年の10月から日本に登場したBOBLBE・EのPEOPLE'S DELITEとBOBELINOのふたつのモデル。これはPEOPLE'S BURDENやMEGALOPOLISよりもサイズが63%に小さく押さえられ、女性でもラクに背負うことができるようになっている。もちろんスタイルはBOBLBE・Eならではで、まさにPEOPLE'S BURDENやMEGALOPOLISのミニ版といったところ。ハードなイメージは抑え目になっているが、背負った時のインパクトの強さはまさにBOBLBE・Eそのもの。ちなみにPEOPLE'S DELITEやBOBELINOは、モバイル用のバックパックとしてもかなり使える。デリケートなパソコンを守る耐衝撃構造は、かなりの衝撃でもビクともせず、バックパックの内部にはフロッピーやMOなどを整理できるポケットが多くついている。あのG3までもすっぽり収納できてしまうのだから驚きだ。もちろんモバイル用に使わなくとも、適度な大きさで街の中でもとても使いやすいPEOPLE'S DELITEとBOBELINO。不変のデザインと言えるハードシェルバックパックは、大ブレイクしそうな予感がする。



G3もラクラク入る収納力。もちろん衝撃に対する強さはかなりなものだけに、安心して愛用のギアを運ぶことができる



背負った時にしっかりと背中にフィットするデザイン。マウンテンバイクに乗っての移動にも、しっかりと使えるバックパックだ



左がPEOPLE'S BURDEN、右がPEOPLE'S DELITE。大きさの違いが歴然だ。ちなみにPEOPLE'S BURDENのサイズは56cm×30cm×15cm。PEOPLE'S DELITEは45cm×30cm×14cmとなっている。価格はPEOPLE'S BURDENは28,500円(メタリック塗装のMEGALOPOLISは29,500円)、PEOPLE'S BURDENは25,500円だ

実用レベルまでもう少し!?

MOZIO eメール サービス開始

さいとうよしこ

携帯端末でEメール――もともと、キャリアごとに違うタイプの文字メッセージ機能を持たせ、送受信する相手と同じキャリアのPHSや携帯電話を――とユーザーを増やす作戦だったようだが、現在はメール自体をEメールにし、キャリア間の壁をなくしていく傾向にある。「携帯端末だけでインターネットを」というよりは「相手を問わずに文字メッセージを送りたい」というユーザーの要望に応えてきたような気がするのだが、考えすぎだろうか?そして、今回ご紹介するアステルがEメールをスタート、携帯・PHSのほぼ全社がEメール対応になった。

「モジトーク」「Aメール」「Aメールプラス」「MOZIOサーバーメール」「MOZIOダイレクトメール」……これらはすべて最新のアステルのPHS端末で送受信できる文字メッセージの名称。アステル同士か否か、サーバー蓄積型か否かなどで細分化が進んだのだが、これを使い分けているユーザーは少ないだろう。ここに10月15日から「MOZIO eメール」が加わった（東京、九州、関西、中部、四国、中国のアステル各社で開始。北陸,東北,北海道は未対応）。電話番号1つに対し2つのEメールアドレスが発行される。送信した緯度・経度とタイムスタンプが自動的にメールに添付されるPナビ機能が利用できるという、2つの特徴がある。

2つのメールアドレスのドメインもシンプルでメインは＊＊＊＊@phone.ne.jp、セカンドは＊＊＊＊@###.mozio.ne.jpとなり、冒頭の文字列はメインとセカンドが違うものでもOK。セカンドアドレスのドメイン名（###部分）は用意されたものからユーザーが選択でき、banana、king、speedなどの楽しげなものからinoue、ishii、itoなどフルネームのアドレスが作れる実用的なものまで揃っている。それぞれに別のシグネチャーを付けたメールも送れるので、私用／ビジネス用の使いわけもできそうだ。

と、ここまでは後発のシステムらしく目新しい魅力的な機能に思えるのだが、実はとんでもない落とし穴があった。原則としてセンターにつないだままでないと、ほとんどのメール操作ができないのだ。オンラインサインアップはまあ仕方ないとしても、新規メールまでオンラインで作成させるのでは、通話料稼ぎなのかと勘ぐってしまう。そのうえ、メール着信通知、アドレスブック機能、シグネチャー登録機能など、主な付加機能はコマンドメールを送信しないと設定できない。たとえば「メール着信通知」の場合

//phs:07057121234//[改行]
//email:ruru@phone.ne.jp//[改行]
//1//[改行]

と送信しなくてはならないのだが、このメールを1度で間違わずに送信するのは至難のワザ。送信したメールを自分あてに回送する「ToMe機能」とはどういうサービスかなと思ったら、送信したメールが手元に残らないからこそ必要だったのだ。受信メールも基本的にオンラインで読むのが原則で、30日間センター保存されるが手元には残らない。後で

アステル（スーパースムーズ）の新色端末

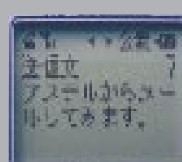


AP-32（by Panasonic）
価格●オープン
サイズ:115×40×18mm
重量:約69グラム
32Kデータ通信対応
MOZIO eメール対応
スーパースムーズ採用
色はプルシアンブルー、クレッセントホワイト、グレイスゴールド。全角256文字までの送受信メールを50件まで保存でき、メール端末としても高性能。



AJ-32（by JRC）
価格●オープン
サイズ:122×41×15.9mm
重量:約70グラム
32Kデータ通信対応
MOZIO eメール対応
スーパースムーズEX採用
色はソリッドシルバー、ミラージュブルーのほか、限定のシースルーカラー、ブルーベリー、タンジェリンが加わった。8桁×6行表示の大型液晶。

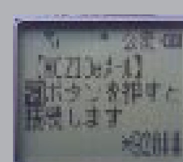
MOZIO eメールの送信手順



❶通常はオンラインでメール作成することになるが、料金は時間制で30秒9円。節約のため、別のメールシステムのために用意された送信文保存メニューであらかじめメール作成した。



❷もともとは文字情報サービスのためのサーバアクセスメニューだが、MOZIOeメールのサーバにアクセスする特番を追加で設定。これでアクセスが少しはカンタンになる。



❸基本的に文字情報サービスと同じ方法でメールサーバにアクセスする。初めてアクセスするときは、同じ方法でオンラインサインアップのメニューに行き、登録する。



❹メニューはオフラインで表示されることはない。スクロール時間も節約するなら、メニューナンバーを把握しておくべき。メール作成選択後、保存してあるメールを呼びだせばよい。



❺センター側にもアドレス帳機能はあるが、やはり端末側のアドレス帳にメールアドレスを保存、呼び出ししたほうがやや面倒だが、結果的に無駄な接続時間が節約できる。



❻ここでPナビ送信を選ぶと、送信のタイムスタンプと緯度／経度つきのメールになる。データはセンターで書かれ、端末には残らないので、送信側はその表示を見られないのが残念。

携帯ゲーム機がモバイル端末に!?

携帯ゲーム機のネットワーク化構想が次々発表されている。ワンダースワンに接続する通信カセット「ワンダーゲート」(バンダイ)と次世代ゲームボーイといわれる「ゲームボーイアドバンス（仮称)」(任天堂)だ。本来はネットワークゲームのためのシステムとはいえ、ワンダースワン100万台、ゲームボーイ8,000万台の普及台数を考えると、日本で一番メジャーなPDAにならないとも限らない。

ワンダーゲートは、2000年の春発売予定で価格は未定。ブラウザー(HTML3.2サブセット、テーブルタグ、GIF、アニメーションGIF、20件のブックマーク)、メールソフト(POP3/SMTP、アドレス帳50件、メール保存約100件、画像添付サポート)、ミニゲーム（約32KB）のダウンロード機能を搭載……とポケボーなみの機能を備える予定。接続できるのはデジタル携帯電話のみ。専用プロバイダーも用意されるが、既存のプロバイダーのIDも利用できる。また、TOMYから12月に発売の簡易デジタルカメラ「Me-xia（仮)」とワンダースワンを接続するキットの発売も予定。最大128Mビットの処理能力、見やすさでは群を抜くモノクロ8階調表示でソフトしだいでは、じゅうぶんPDAになりうるワンダースワンだけに、今後の展開に注目したい。

ゲームボーイアドバンスは任天堂とコナミが共同出資で設立した新会社「モバイル21」が開発する新しいゲームボーイ。2000年の8月に発売が予定されている。デジタル携帯電話・PHSを使ったインターネット接続、ネット対戦が主な新機能で、処理能力も8Mビットから32Mビットにアップ。ゲーム以外の展開もじゅうぶんあり得る。また、発売中のゲームボーイカラーとデジタル携帯電話、PHSをつなぐゲームソフトも2000年の4月に発売される予定だ。

気になるのはソフトウェアキーボードとコントロールキーによる文字入力の不自由さだが、携帯電話やPHSメールでもすぐに慣れてしまったことを思うと、シンプルでいいかもしれない。



ワンダーゲート（バンダイ）
デジタル携帯電話通信プロトコル「PDC」、およびインターネット接続プロトコル「PPP」「TCP/IP」を実装。ブラウザー、メールソフト内蔵。アダプターサイズ縦70mm×横40mm（装着時30mm）×厚さ23mm。



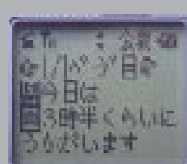
BANDAIのホームページ
http://www.bandai.co.jp/

●問い合わせ
アステル（0120-050-017）
バンダイ（03-3847-6030）

パソコンでゆっくり確認・処理しようにもメールコピーの自動転送がないので1通ずつオンラインで転送処理しないとダメ。普段使いにはつらすぎるシステムだが、幸い、前述のようにアステル端末は数種類の文字メッセージに対応している。オフラインでメールを作成、送受信できる「MOZIOサーバーメール」用のメール機能を利用すれば、なんとか接続料は節約できる。手順がややこしくなるのはしかたがないが、これならなんとか実用レベル。

また、メール着信通知は面倒くさいコマンドメールの設定があるものの、かなりスピーディーで、1分もしないうちに通知される。この早さは携帯・PHSのEメールではトップクラスの速さ（ただし、電波が圏外だと通知はキャンセルされ、再通知はない)。

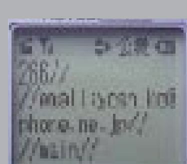
……と、スタートしたばかりの使用感はざっとこんな感じだが、MOZIO eメール専用の端末のリリースやシステム側の細かいシステム調整は、まさにこれから。ほとんどの不備はシステム側の見直しで改良できそうなことばかりなので、すでにアステルユーザーなら、なるべく早く好みのアドレスを取っておいたほうがいいかも。ちなみにEメールの使用料は無料、接続料金が30秒9円（東京契約の場合)。60日間、メールサーバーにアクセスしないとアドレスは取り消されるので注意。



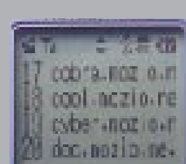
文字量の多い受信メールは数個のメールに分割され、ページ表示される。端末にページの保存はできるが、転送、返信はオンライン作業なので、慣れないうちは時間がかかりそうだ。



メールの着信通知は無料ですばやい。センターからAメール（Pメールのアステル版）で、ダイレクトメールとして来るので、第一印象は「知らない番号からメール？」。



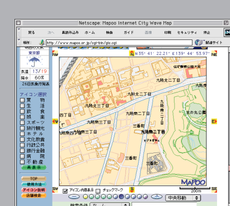
シグネチャー登録は、このコマンドメールにシグネチャーを続けて作成、送信する。オンラインで送信するのは至難のワザ。文字情報サービスをアレンジしたような操作感で使いにくい。

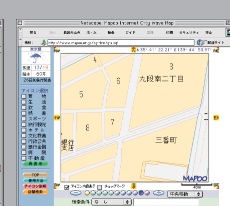


サブアドレスに必要なドメイン名は自由に選べて、さらに選択肢が多い。それぞれ意味のある文字列になので、登録前に候補を確認しておくと、ユニークなアドレスが作れそう。

Pナビ送信したメールの利用法







編集部から送信してみたPナビ送信メールには「pos=E139.44.53.97N35.41.22.21」という表示がある。これは、“東経139度44分53.97秒北緯35度41分22.21秒”という位置を表わしている。厳密には送信した時にPHSがあった場所ではなく、送信時につかまえていたアステルのアンテナの位置を表示するようだ。この位置の緯度・経度とMAPOO（http://www.mapoo.or.jp/jp-map.html）など、緯度・経度から実際の地図を検索／表示できるサイトをあわせて活用すると、さまざまな利用法が考えられる。また、アステルには、位置情報システムを利用した文字情報サービス「MOZIOナビ」があり、現在地から最寄りの飲食店などを検索できる。

定額制ISDN接続サービス開始！

インターネットの使い方はどう変わる？

ダイアルアップでインターネットを利用している人には待望の、いわゆる「無制限テレホーダイ」こと定額制ISDNサービスが11月1日より試験サービスとして地域限定で開始された。INS回線の片チャンネル（64kbps）を、月額8,000円で無制限に利用できるサービスだ。

参加予定プロバイダー
（順不同、カッコ内はサービス提供会社名）

interQ（インターキュー）、BIGLOBE（日本電気）、NEWEB（KDD）、Highway Internet（CSKネットワークシステムズ）、東京電話インターネット・コネクト24（仮称）（東京通信ネットワーク）、PSINet（ピーエスアイネット）、ニフティサーブ（ニフティ）、第二電電株式会社、InfoSphere（NTTPCコミュニケーションズ）、SANNET（三洋電機ソフトウエア）、ぷらら（ジーアールホームネット）、ASAHIネット（アトソン）、アレスネット（ビーイング）、ケーブル・アンド・ワイヤレスIDCインターネットアクセスサービス（ケーブル・アンド・ワイヤレスIDC）、インターネットWIN（ウインシステム）、IIJ4U（インターネットイニシアティブ）、OCN（NTTコミュニケーションズ）、Dream Net（ドリームネット）、IPCトライアルサービス（JENS）、So-net（ソニーコミュニケーションネットワーク）、JustNet（ジャストシステム）、AIRnet（アドテックス）、日本テレコム、DTI（ドリーム・トレイン・インターネット）、VC-net（ビジュアルシステム）、MAC InterNet（日本デジタルコミュニケーションズ）



IP接続サービスの概要を解説したNTT東日本のホームページ（http://www.ntt-east.co.jp/teigaku/）。説明、リンクとも充実している

8,000円＋αで常時接続

この「IP接続サービス」（仮称）では、NTTはISDN回線を経由したプロバイダーまでのIPネットワーク接続を提供する。利用者にはダイアル番号が付与され、まずNTT内のIPネットワークに接続される。このネットワークが各プロバイダーに接続されることで、利用者はインターネットへ接続する、という仕組みだ。

IP接続サービスを実際に利用するには、NTTの定額制契約に加えて、各ISPとの契約が必要となる。大手を中心に、多数のプロバイダーが試験運用として対応を表明しているが、その内容は大きく2種類に分かれた。NEWEB（KDD）やニフティサーブなどのような定額・無制限の料金設定と、So-netなどのように「一定時間までの定額制＋超過分の従量課金制」を適用するパターンだ。

常時接続のメリットの1つは、回線の接続・切断を意識しなくてすむことだ。この点だけを考えれば、プロバイダー側の従量制採用は、ユーザーにとって望ましくないのだが、結果的にはどちらも通話料金が大幅に抑えられることになる。

変わるインターネットの使い方

では、具体的にはどのような変化がもたらされるのか？

接続速度については、INS64回線の1チャンネルという点では通常のダイアルアップ接続と同一。プロバイダーへの直接接続が、NTTのIPネットワークを介するという点で異なる。従来型の接続は、プロバイダーまでの接続速度は64Kbpsが保証されていたが、IP接続サービスで利用するNTTのネットワークは「ベストエフォート型」、つまり「最大通信速度は64Kbpsだが、他の利用者も同一のネットワークを利用するため、必ずしもその速度は保証できない」という性格のものだ。NTTのIPネットワークは、インターネットには接続されていないクローズドなネットワークであるため、大幅にパフォーマンスが落ちることは考えにくいが、若干のパフォーマンス低下はありうる。

常時接続という点では、ユーザー側がサーバーを設置するということも考えられる。NTTではこのような使い方を否定していないが、サーバー用途を積極的に推奨しているプロバイダーは現状では皆無だ。IP接続サービスを用いた固定IPアドレスの取得は難しそうなので、サーバー用途には向かないだろう。

結局のところは、利用者の時間的な自由度が増すという点に集約されるだろう。テレホーダイタイムに縛られたり、接続時間を気にかけたりすることなく、インターネットに接続できるようになる。

接続料金が一定になったらどのようにインターネットを利用するかという、あるアンケート結果の第1位は「ゆっくりWebをブラウズする」だったという。インターネットへ接続する＝料金が発生する、という心理的抵抗感が取り除かれることが一番大きいだろう。

また、インターネットがより即時性のある通信手段となることも考えられる。たとえばメールチェックの回数が増える、インスタントメッセージをオンラインにしている時間が増えるなど、接続時間が増すことによって、インターネットの即応性が高まるだろう。

いずれにせよ、今回のサービス開始は全国的な実施に向けた1年間程度の試験という位置づけであり、東京都と大阪府のごく一部地域に限定されている。通信料金の低価格化に向けた嬉しい一歩ではあるものの、遅すぎた感は否めない。インターネットの利用者が急増している中で、インフラ側が本格普及の妨げとなっている状態はまだしばらく続きそうだ。　　　　（秋田克彦）

CHECK!

http://www.ntt-east.co.jp/teigaku/provider/



IP接続サービスに対応を表明したプロバイダの説明ページへのリンク集

チャットでカスタマーサポート

オンラインショッパーの強い味方「LivePerson」



Robert LoCascio社長兼CEO。LivePersonは、LoCascio氏が設立した2番目の会社。大学時代にも自分で会社を興したという積極派の同氏は、「卒業時に会社を売却して、大企業で半年間働いたよ。でも、他人のために働くのは性に合わなかったので辞めたんだ」と語る

オンラインショッピングは、便利なようで不便。クリックひとつで簡単にモノが買えるなんて場合は少なく、質問を電子メールで尋ねてもすぐ返事は返ってこないし、ネットからログオフしてサポートセンターへ電話しても、何分間も待たされてイライラしてしまう。ある調査によると、オンラインショッピングの3分の2以上が「質問の答えが得られない」という理由でキャンセルになるという。こうした問題を、チャットを使って解決したのがLivePerson（http://www.liveperson.com/）である。「チャットなんて、遊びで使うものなんじゃない?」と思うかもしれないが、これがとっても便利なのだ。オンラインショッパーは質問があればリアルタイムでオペレーターとチャットができる。電話のようにログオフしたり、電子メールのように数日待つ必要もない。しかも、これはWebベースのサービスなので、オンラインストアは低コストでこのサービスを使用できる。



LivePersonのオフィス。今年に入り社名をLivePersonと変更、本格的なオンラインチャットサービスの提供に乗り出した

ハードもソフトも必要なし

Fragrance CounterやCBS SportsLineのWebページを訪れると、LivePersonのアイコンがサイトの脇に現れる。ユーザーは、何かわからないことがあれば、このアイコンをクリック。するとオペレーターにつながって24時間、いつでもチャットができる。

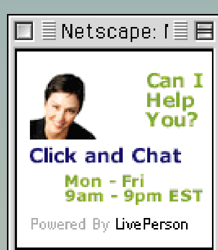
このサービスを取り入れる企業は、高価なハードウエアやソフトウエアを購入する必要はまったくなく、設定料金500ドル、オペレーター1人につき毎月250ドルを支払うだけでよい。オペレーターは、ユーザーからの質問がくればアラームで知らせを受け、回答をデータベースで検索してユーザーに送り返す。質問の7割は、データベースから答えが出せる類のもので、同時に4人のカスタマーを扱えるという。また、Webブラウザーのある場所ならどこからでもLivePersonのサーバーにログオンして仕事ができるので、オペレーターはオフィスに行く必要もないという。

ホントの狙いはチャットのあと?

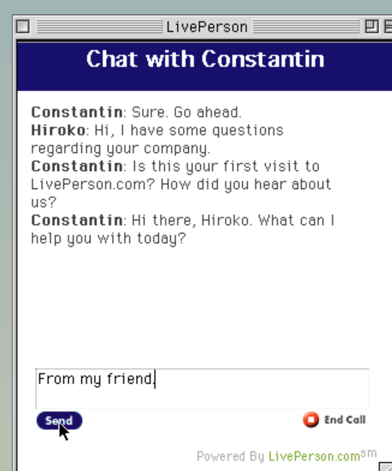
こうしたサービスの狙いは、ユーザーサポートに加えて、ユーザーの興味や好みを把握して効果的なマーケティングを展開することにある。最近、ユーザーと企業の関係を自動的に結ぶカスタマー・リレーションシップ・マネジメント（CRM）分野が大きな注目を浴びているが、これはユーザーの好みに基づいたマーケティングができるからだ。誰と何分話したか、チャットの内容、電子メールアドレス、興味のある商品、サイト訪問頻度といったデータはすべて、LivePersonのデータベースに蓄積され、次のマーケティングのために活用される。LivePersonのRobert LoCascio社長兼CEOは「たとえば、フラワーショップサイトがあったとしよう。カーネーションの質問をしたユーザーには、カーネーション関連情報をフォローアップメールで送る。チャットでカスタマーの好みを知り、パーソナライズドメッセージを送る『ポストチャット』マーケティングがカギ」と語る。ユーザーの側からすれば下手に質問もできないと思うが、企業にとってチャットはユーザーを知る大きなチャンスになるのだ。

夢は大きく、市場の波に乗って

Forrester Researchによると、インターネットでのカスタマーサービス市場は1998年の2,500万ドルから、2002年には6億5,800万ドル市場に急成長すると予測されている。同社もこの波に乗り、今年1月に460万ドル、8月には1,900万ドルの投資を受けた。また、4月から7月の4カ月間でクライアント企業は10社から100社に、社員は8人から40人に急増した。LoCascio氏は「はた目には、いきなり市場に登場し、投資を受けたように見えるが、下積みは長かった。この大きな動きは、ほんの数カ月のこと。ネットビジネスは、ブレイクすれば大きくて、驚くほど速い。だけど、それまでは忍耐強く待つしかない」と笑顔で語る。「将来の手強い競合相手は、小さなネット企業ではなく、Siebel Systemsなどのコールセンター大手になるのでは?」と聞くと、「もし、僕たちがSiebelを買収すれば面白いことになるだろう。笑わないでくれ。ネット業界では、十分起こりうることなのだから」と自信たっぷりに答えた。（取材・文：長野弘子／Hiroko Nagano）



Webページのわきに表示されるこのアイコンをクリックすると、メッセージを送れ、チャットが開始される



質問事項を書き込めばすぐに返事が返ってきて、電話で話しているような感覚だ



LivePersonのチャット画面。3人のオペレータの名前が出てくる。自分で話したいオペレータを選ぶ

On the Net

ウソツキは歌手の始まり（かも）

青柳美奈子

（あおやぎ みなこ）　http://www.alles.or.jp/~mina0724/index.html
94年、プロの作詞家としてデビュー。Romi、高橋由美子、田村英里子など、多数のアーティストをはじめ『ときめきメモリアル』のイメージアルバムやTV番組などの楽曲に作品を提供。現在、「自称歌手」から「公認歌手」を目指して修業中



Vo.のAoyagi（左）と、Cho.のKiyomi

第6回 私はコレで募集します

いきなりですが、これまで一緒に音楽活動をしてきたギタリストがやめてしまいました。というわけで募集中です。ライブはできるだけ月イチペースでやりたいです。サウンドは幅広い意味でのポップス（ギターをメインにした楽曲多し）。

条件としては、

・東京都、または東京近郊在住で都内での練習やライブ活動に参加できる
・作曲できる、もしくはやりたい
・プロ志望

そして何より大切なのは、

・ギターを弾くのがとにかく好きなこと

ちなみに、年齢、性別、職業問わずです。

「私にピッタリ！」だとか、「俺を呼んでるぜ！」とか思ったりした人、または、なぜかついニヤリとしてしまった、だとか（？）、そんな人がもしいたら仲間になりましょー！　ご連絡お待ちしてます。

コラムを書くはずだったのに、ついついメンバー募集の掲示板みたいな文章になってしまいました。いや、でも、ホントに、マジメに探しているので、どーぞ、よろしく。我こそは！　と思う方は私、青柳までメールくださいネ。

最近いきなり、飼ってるネコが血尿により膀胱炎が発覚しちゃうし、そのネコのお気に入りのエサにバレないように混ぜた粉末の薬も、すぐ感づいてなかなか食べてくれないし、病気じゃないほかのネコがそのエサを食べようとしちゃったり、ギタリストはいないしで、いろいろ大変なんです。

練習スタジオに『ギタリスト募集！』と書いたチラシを貼ったり、知り合い関係を探してみたりもしつつ、もちろんインターネットを使わない手はない！と、あちこちのメンバー募集のHPを覗いている今日この頃。

「goo」とかで『バンドメンバー募集』で検索をかけると、あるあるある、全部は見きれないほどあるメンバー募集ページ。なんだかそのパワーに圧倒されつつ見ていると、どの募集内容にも「音楽やりたい！」という気持ちがそこら中にあふれてて、自分もメンバーを探しているというのに、一晩中楽しく読みふけってしまいました。汗。

メンバーを募集している人達は、みんな何かを追いかけていて、夢を叶えるための出会いを一生懸命探しているからパワー全開で、パワー全開の人達のパワー全開の募集ページは読んでるこっちまでヤル気にさせてくれますねー。そしてそういうパワーを人々に与えてる音楽ってやっぱりいいなあと思ったり。ということで、自分のWebページでもメンバー募集コーナーを作りました。

出会いがあれば別れがあって、別れがあれば出会いがあるし！　どんな人と出会って一緒に音楽やれるのか、とても楽しみ。さて結果はいかに!?　次号へ続く！　って、ホント？　……汗、汗。

ギタリスト募集
http://www.alles.or.jp/~mina0724/wanted/index.html



12月13日(月)渋谷Egg-manにてライブ決定。(問合せ：渋谷Egg-man／03-3496-1561)

On the Net

Net で Get

第6回 おしゃれな夜を過ごすための大人のデリ

秋ですよ！　長かった熱い夏も終わって、冬に向けてまっしぐら。お洒落ゴコロにエンジンもかかるってもんです。さらに、静かな秋の夜長をお洒落に過ごすには、素敵な脇役が必要です。

ということで、今月紹介するのは、「うんちくデリ」。

「お酒とお茶を楽しむためのマガジン&ショッピングページ」とのことだが、内容は多彩。ナイスな食材や、通好みなお酒など、素敵な夜を演出するには十分な、強質のアイテムが揃っている。

商品紹介のページでは、「うんちくをきく」というボタンがあり、「YES」を押すと、このうんちくデリの「店長」（超人的味覚を持ち、ワールドワイドな機動力で世界のうまい物を集めてくる強者らしい）による、いやみスレスレの素敵なうんちくが楽しめる。

たとえば「ボランジェ＆ヴーヴクリコセット」については、「なんとイブ・サンローランもこれを飲むとナイスなデザインができるらしく、さらには、な、なんと、じ、実は、映画史上もっともシリーズ化されているあの名作『007』シリーズで全てのジェームズ・ボンドが、ドンペリよりもおいしいシャンパンとして愛飲しているのも実はコレなのです」という感じ。しかもこれはうんちくの一部に過ぎないのだ。

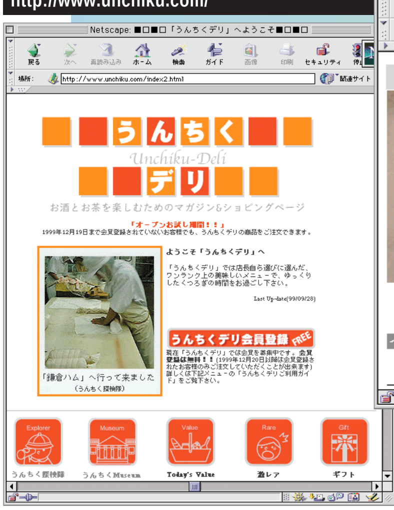
「うんちくMuseum」では珍しい世界の地ビール（『あのトム・ハンクスさんも好きなビール！』とかいうホットなコメント付き）を紹介。「Today'sValue」では、店長が趣向を凝らしたセレクトセット、たとえば「今まで食べていたおせんべいは何だったのか？ と人生を振り返らせる宮内庁御用達『棒錦』&お茶菓子セット」などを注文できる。

しかし、うんちくを語られてばかりでは癪に障るぜ！　という人のために「うんちく返し」では自らのうんちくを語り返すこともできる。

「うんちく探検隊」のページでは、うんちくデリで扱う商品がどんなところで作られているかを毎回レポート。第1回目は「鎌倉ハム」を製造している鎌倉ハム富岡商会の歴史。こだわりの職人達のエピソードなどを勉強できるので、うんちくを強化できるのだ。

このうんちくデリで買い物をするには、会員登録が必要だが（会費無料！）12月19日までお試し期間として登録なしでも利用可能だ。このうんちくデリ、ちょいと気が利いた大人のための食料品店という感じ。秋の夜長には、ナイスなお酒と、ナイスな食材、そしてエスプリのきいたうんちくを、ですよ！

うんちくデリ
http://www.unchiku.com/





「マイケル・ジャクソンが『一番うまい』と言ったビール」も買うことができる



Illustration：ケイコ・モス

山口桜子（やまぐち さくらこ）
規則正しい生活を心掛けるOL詩人。お仕事＆文章活動に励む毎日を送っている。ほかに女性美に関する研究会を主催

第６回 ハリウッド映画最前線

『RANDOM HEARTS』

マックス桐島（まっくす きりしま） http://www.saizensen.com/
ハリウッドの若手日本人プロデューサー。これまで8作品をプロデュース。現在、『Easy Rider2』の製作準備のほか、CBSとの提携によるインターネット用映画のプロデュースなどを手掛けている

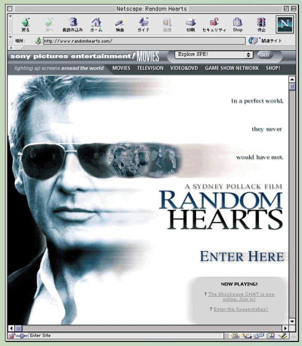
『サブリナ』でヒットを飛ばしたシドニー・ポラック監督と、最近“世界で最もポピュラーな映画スター”に指名されたハリソン・フォードが再びコンビを組んだロマンス・ドラマ『Random Hearts』。既婚者同士の「不倫」という現代の社会的風潮をテーマに、その影に泣く人々の傷心を、まるで1940年代の映画の如く描き上げた「大人の愛情物語」だ。

ワシントンDC警察の内部調査官ダッチ・バン・デン・ブロック（フォード）と、女性下院議員のケイ・チャンドラー（『モンタナの風に吹かれて』のクリスティン・スコット・トーマス）は、お互いの伴侶が、座席を並べての極秘旅行中に墜落死したことから、「不倫」の臭いを嗅ぎつける。職業柄、妻の行動の真実を追い求めるブロックと、夫の裏切りに傷つきながらも次期選挙へのスキャンダルの影響が気にかかるチャンドラーの二人は、それぞれの「裏切り行為」へのアプローチの違いや「裏切られた者」同士の屈辱の発見を経て、いつしか傷心をいたわり合う間柄になってゆく。

ポラック監督は、たとえ自分が傷つくことになろうとも真相を追求する「攻

オフィシャルサイト

http://www.randomhearts.com/



撃的人間」である刑事の正義感と、夫の不倫という事実に直面できない「弱虫人間」である自分を正当化しようと試みる女心という両極端の犠牲者心理を巧みに演出している。

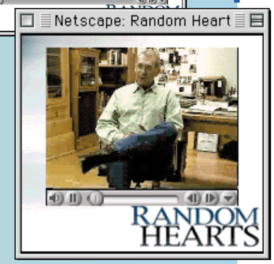
これも大人思考のWebページは、恋人や伴侶の「相性」や「信用度」を探るテストができるページのほか、ポラック監督のインタビューがQuickTimeで見られるページなどがあり、全体的に芸術性の高いオーソドックスなサイトになっている。

スターとのライブ・チャットが楽しめるランダム・コネクション・ページも興味深い。飛行機事故シーンや現場での遺体確認場面などは、撮影技術も









さることながら、残された遺族の心内が伝わってくるほど臨場感に溢れ、40歳以上の映画ファン向けの『慕情』（1955）などの名作ロマンスを彷彿とさせる作品だ。

Webページでは撮影風景（左上）をはじめ、QuickTimeによる予告編（右上）やハリソン・フォード、クリスティン・スコット・トーマス（左下）、シドニー・ポラック監督（右下）のインタビューを見ることができる

the Net

Check the Artist Vol.6

影山亜紀子（かげやま あきこ）
世界をまたにかける追っかけ。『ルーディーズ・クラブ』など音楽誌のライターとしても活躍

AERO SMITH

THE OFFICIAL AEROSMITH WORLD WIDE WEB SITE

http://www.aerosmith.com/



AERO FORCE ONE

http://www.fanasylum.com/aerosmith/



今月は、毎年恒例の地元ボストン公演を捨ててまで2000年へのカウントダウン公演を日本でやってくれるエアロスミスだ。初来日が77年、2度目が88年、その後何度か来ているけど、こりゃぁ99年も来なきゃいけないでしょうと思っていたら案の定の来日決定だ（実は、これを書いている時点では12/31公演は、まだ発表されていないんだけどね……）。しかしなんで急に日本でここまでビッグになってしまったのかねぇ、本国じゃいまだアリーナ・バンドなのに謎だわ。まっドーム公演は賛否両論あるけど、楽しんじゃうしかないよね。

まずはオフィシャルページ。ここのエアロスミソニアンというコーナーはお勧めよ。ものすごい数のビデオクリップをダウンロードできるんで、是非見てみてね。てっとり早く、最新情報だけをチェックしたい人は、オフィシャルファンクラブのAERO FORCE ONEへ。会員じゃなくても、情報ぐらいは見られるからね。会員になりたい人はここでサインアップもできるぞ。ファンには、そこまでするかっ、ていうぐらい優しい彼らだから、会員になっておくと美味しいこともあるかもね。

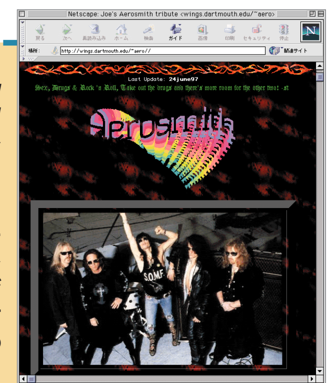
JOE'S AEROSMITH TRIBUTEのFAQのページは、ディスコグラフィやバイオグラフィが詳しく載っているので要チェックだ。ただし、94年以降データ更新されていない。でも、これ以降は皆もよく知っているはずだからいらないよね？

PANDORA'S BOX（http://www.geocities.com/SunsetStrip/Palladium/2696/aero.html）では、CD『ナイン・ライヴス』の隠された秘密を暴露してるぞ。CDケースの背表紙の裏側に「俺の頭の中のノイズが煩わしいかい？」っていうメッセージがあるとか、ささいなことだけど、知らない人も多いと思うので見つけてみてね。

RENATA'S MOSTLY JOE AERO PAGE（http://members.aol.com/dwmirrors/index.html）は、写真がてんこ盛り。特にジョーファンにお勧めだな。最後に、RDC'S AERO SMITH ART GALLERY（http://www.corax.com/aerosmith/index.html）では、メンバーのなかなかカッコいい絵がたくさん見れる。たまには絵画鑑賞っていうのはいかが？

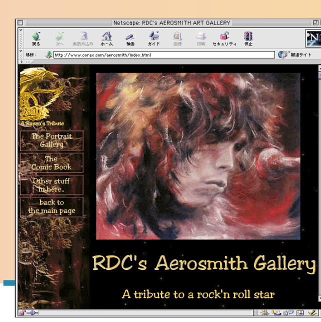
映画『アルマゲドン』でファンになった人達は、色んなホームページを見てからライヴに来てね。最近は新しいファンが多くて、昔の曲演っても受けが今ひとつで哀しいからさ。

それから、ラッキーにもメンバーに遭遇できた人や、無理やり遭遇しようとしている人に一言。彼らはファンの声はしっかり聞いてくれるので、聞きたい曲があったらリクエストするとライヴでやってくれる可能性大だぞ。事実、私はジョーにリクエストの手紙を渡した翌日にいきなり演ってもらいました！ 涙ものでっせぇ。偶然かもしれないけどね（笑）。



JOE'S AEROSMITH TRIBUTE

http://wings.dartmouth.edu/~aero//



RDC'S AEROSMITH ART GALLERY

http://www.corax.com/aerosmith/index.html

GAME NOW

シーザー3
〜古代ローマ建国シミュレーション〜
完全日本語版

ローマ帝国を舞台にした都市建設シミュレーション

イマジニア(03-3343-8900)/8,800円/http://www.imagineer.co.jp/



町の発展はこのウィンドウで確認できる。うまく町を発展させるには時間が必要なので、地道に産業を育てていこう



拳闘場を建設できればほぼローマ植民都市の機能を完備したことになる。もちろんライオンや拳闘士の供給も忘れずに

ローマ時代に興味があり、シムシティのような内政だけに飽き足らない人には、このゲームが最適。

シーザーはローマ帝国を創っていくゲームで、Windowsでもかなり根強い人気がある。シーザー3は、そのシリーズ最新作というわけで、Macでもファンが増えるに違いない。

このゲームにおいて重要なことはまず人だ。なにもない更地に住宅予定地を決めれば、マップの外から家財道具一式を積んだ移住者がやってくる。その移住者を定住させるためにまず必要なのものは、水。井戸もいいけど、やはりここはローマ帝国の技術により、水道を引くのがベスト。そのうえで、治安を守る守衛所、建物の維持を担当する技師詰め所を作っておけば、あなたの町はどんどん大きくなっていくはずだ。このとき守衛や技師の巡回路を確認しておかないと、彼らの効果が必要な建物におよばないことがあるので注意しよう。道は巡回できるようにループにしておけば安心だろう。

大まかな町作りは、将来発展したときのためのライフラインや公共施設を建てる余地を残しておかず、密に住宅地を作ってしまうと、後々都市の大改造をしなくてはならないはめになる。

最後に、食糧の問題がある。町の住人の食糧自給には、麦を育てる農場を作り、穀物を保存する貯蔵庫を建て、そして麦を市民に配達する商人のための市場までが必要となる。食糧自給がうまくいかないと、食糧不足に陥り、町の発展を致命的に低下させるので、これらの施設は一気に建築する。

町の人口が数百人を越えたら浴場、病院などとの公衆衛生施設や、神殿を建てることを忘れてはならない。疫病はせっかくの町を廃墟にしてしまうし、神の怒りはかなりのダメージだ。ただし、年1回のお祭りを忘れなければ、神様のご機嫌はよいままだし、歓喜の状態になれば、ありがたい効果がある贈りものまでしてくれる。

そのうえで、さらなる町の発展を目指すには、住民に職をも与えなくてはならない。そこで2次加工品を作り、さらに生産品を使った交易を始めることになる。また交易による輸入は、自都市では生産できない町の発展のための必需品や食料を手に入れる唯一の手段でもあるのだ。

さて、ある程度発展した植民都市にとって、一番頭が痛い問題は略奪者だ。史実でも、紀元前400年頃ケルト人はアルプスを越えてきたし、ガリア人によってローマは略奪された記録も残っている。防衛のための城壁は、敵の接近を知ったなら、人が通れない川や山を使って急いで作っておこう。城壁には塔を忘れずに。塔の兵器の射程はかなり短い点に気をつければ、軍団の出動なしに略奪者の撃退も可能だ。ある程度余裕があるなら軍団を作ろう。略奪者がマップ上にあるかぎり、戦争状態となって町は孤立状態になる。格好良く野戦で戦うのも良いけれど、あんまり被害をうけてしまうとモラルが下がって軍団が出動できなくなるので注意。なるべく城壁を使って弱らせてからのとどめに使ったほうがいいだろう。

さてこのゲーム、あんまり史実に近いものではない。本当なら共和制だった時代からシナリオが始まるのもご愛敬。ローマ都市建設のおいしいところだけ集めたシミュレーションだからゲームとしての敷居は低く、こまめなセーブさえ忘れなければ、誰にでも町を発展させることを楽しめるだろう。育てゲーが好きで、シムシティのような内政一辺倒な都市建設に飽きたなら、試して損はないソフトだと思う。(宮本高志)



城壁がない所から攻められたら、軍団だけが頼り。蛮族の襲撃は早めに撃退しないと町を壊されてしまう



敵が攻めてきても、塔と分厚い城壁があれば大丈夫。でも城門を忘れると自軍団も出撃できないので注意しよう(笑)



人口が増加するにつれ住宅地も進化する。石造りの集合住宅は治安も良くなり税金もたくさん徴収できる



発展しない住宅地があれば、OPTION+マウスクリックで状況を確認すること



神様のご機嫌を損ねると、さまざまな災難が降りかかる。海の神ネプチューンが怒ると、しばらく交易は断絶だ



お祭りは市民の支持率を上げるだけでなく、神様のご機嫌もよくなるので重要

ProCyber 3D

3Dゲームを立体映像で楽しむ

フォーカルポイントコンピュータ(03-3445-3951)／19,800円(グラフィックカードProFormance 3は別売、オープン価格、市場推定価格39,800円)／http://www.focal.co.jp/



着用すると自動的にスイッチが入り、グラスを外すと電源がオフになる仕組み。サイズはフリーで、メガネをかけた状態でも着用できる

「ProCyber 3D」は、ProFormance 3カードと3Dメガネを使って、立体視できるユニークなシステムだ。

「ProFormance 3」はビデオチップにPermedia3を搭載したハイエンド・ビデオカードだが、立体視に対応したユニークな機能を持っている。そのためのオプションがProCyber 3Dということになる。

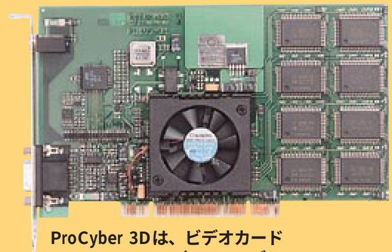
実際にProCyber 3Dを装着して、数本のゲームで遊んでみたが、アクションゲームの画面が、立体的に迫ってくる臨場感はかなりのもの。左右で違う画面を強制的に見ることで、目に負担になるということもなかった。

セットアップは非常に簡単で、❶ビデオカードのドライバーをインストールし、Macを終了してから、電源を外す。ビデオカードを装着し、再起動。❷付属のユーティリティで、ビデオカードのROMを最新のものにアップデートする。❸赤外線のユニットをカードにつなぐ。❹ProCyber 3Dグラスをかけ、ゲームを起ち上げる。

とこれだけ。

ただし、このシステムが対応しているのは、QuickDraw 3D Rave（Raveともいう）のみ。対応ゲームでいうと、Tomb Raider Gold、Tomb Raider II、QuakeやiMacにプリインストールされているNanosaur、Bugdomなどが挙げられる。

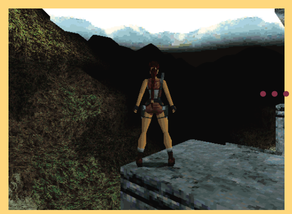
ただし、これだけのため、5万円以上もかかり、ちょっと敷居が高いことは確か。でも、こんな楽しみかたもあるのだ。



ProCyber 3Dは、ビデオカードProFormance 3（16MBモデルで実売4万円弱）のオプションなので、別途このカードが必要



モニターの画面書き換えに対応して、ProCyber 3Dグラスの片眼ずつを交互にシャッターする赤外線明滅ユニット





本来、左の画像のようなTomb Raider IIの画面が、ProFormance 3の設定用コントロールパネル書類で設定するだけで、右側のような画面で表示される。3Dで描かれている部分が奥行き（Zバッファー）に応じて、ずれて表示され、それをProCyber 3Dグラスで片方ずつ見ることによって、3D映像が見える

ポカポカボクシング

マイキャラを戦わせることができる

インナーブレイン(FAX03-5269-1402)/500円/http://www.sod.ne.jp/ppbxg/ppbxg.html

自慢のプログラムを積んだボクサー同士の対戦は手に汗握る。あなたもボクシングジムの会長になれるか？

「ポカポカボクシング」は名前のとおり、パーティーゲームそのままのボクシングだ。一応、人間の操作キーは6つ。左右のジャブ、フックとスタミナを奪うボディーブロー、パンチを避けるスウェイ。これらの組み合わせで相手の体力を減らしていく。

ただし、対人戦ではほとんどキーのたたき合いになってしまい、すぐ飽きるだろうが、これの本来のおもしろさはコンピューター同士の戦いにある。

このゲームでは戦いに使うキャラクターの見た目、能力値だけではなく、その戦略も自分で設定できるのだ。この戦略設定次第では、相手のパンチをタイミング良くカットすることで、ダメージを100%相手に与えるフックを決めたり、2回ダウンした後のリベンジモードを使ったロッキーみたいな試合もできる。プログラム次第で、なかなかおもしろい試合をしてくれるキャラクターとなるのだ。

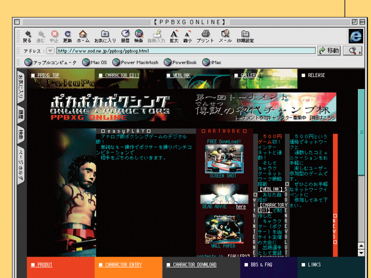
この自前のキャラデータは、メールに添付できる大きさなので、相手に送りつけて戦わせることもできる。メーカーの公式サイトでは、新しいデータもアップされているだけではなく、大会も開かれているので、納得のいくキャラクターができたならエントリーさせてみるのもいいかもしれない。キャラクターは、中身が違うのに、見た目があまり変わらない点がちょっと残念だけど、駆け引きのおもしろさは十分に堪能できるはずだ。　　　（宮本高志）



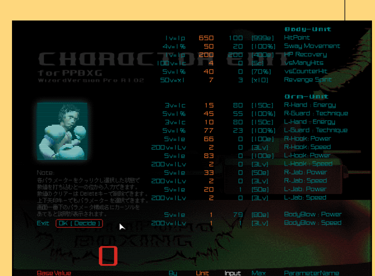
連打がヒット。カウンターなど、特殊な状況下のダメージはキャラの色が変わる



スウェイしてしまえば敵のパンチも当たらないけれど攻撃もできない



公式サイトでは、ユーザー参加の大会が開催されている(http://www.sod.ne.jp/ppbxg/cnt/top.html)



エディターで自分のキャラを設定中。強いボクサーを作るのは難しい

1人称シューティングをさらに楽しむ！

Windows版Quake II Mission Packを Mac版Quake IIで遊ぶ

Quake IIの追加シナリオMission Packは、The Reckoning (Xatrix)とGround Zero (Rogue)の2作が発売されている（国内版はアクティビジョン・ジャパン発売）。このWindows版Mission PackをMac版Quake IIで動作させる方法を紹介しよう。ただし、メーカーのサポートはないので、自己責任で行なってほしい。

▼まず必要なもの

Mac版Quake IIの開発会社であるLogicwareのFTPサーバー（ftp://ftp.logicware.com/pub/quake2/）にあるQ2MacMissonPacks.sit.bin（またはQ2MacMissonPacks.sit.hqx）をダウンロードする。

また、同じフォルダーにあるrefglmemory.sit.hqxは、Mission Packでの不具合をフィックスしたref_gl.lib（Quake II用のライブラリーファイル）なので、Mission Packを遊ぶためには、これもダウンロードしておく。

もちろん、国内版または米国版（どちらでもOK！）のWindows版Quake II Mission Packを入手する（国内版は各6,000円程度）。Quake IIのMac版ももちろん必要だ。

▼The Reckoning (Xatrix)の インストール方法

❶Quake 2フォルダーのなかにもともとあるref_gl.libをどこかに外して保存しておき、ダウンロードしたref_gl.libをコピーする。
❷Quake 2フォルダーのなかに“xatrix”フォルダーを作成する。
❸Q2MP1のDATA／ALLフォルダーにあるPAK0.PAKをQuake 2／xatrixフォルダーにコピーする。
❹Q2MP1のDATA／MAX／XATRIXフォルダーのなかにあるVIDEOフォルダーをQuake 2／xatrixフォルダーにコピーする。
❺Q2MacMissonPacks.sitを解凍し、Q2MacMissonPacks／xatrixフォルダーに入っているgameppc.libをQuake 2／xatrixフォルダーにコピーする。
❻Optionキーを押しながら、Quake 2を起ち上げ、出てくるダイアログに
+set game xatrix
と入力し、OKをクリックする。

▼Ground Zero (Rogue)の インストール方法

❶Quake 2フォルダーのなかにもともとあるref_gl.libをどこかに外して保存しておき、ダウンロードしたref_gl.libをコピーする。
❷Quake 2フォルダーのなかに“rogue”フォルダーを作成する。
❸GRNDZERO CDのDATA／ALLフォルダーにあるPAK0.PAKをQuake 2／rogueフォルダーにコピーする。
❹GRNDZERO CDの DATA／MAX／ROGUEフォルダーのなかにあるVIDEOフォルダーをQuake 2／rogueフォルダーにコピーする。
❺Q2MacMissonPacks.sitを解凍し、Q2MacMissonPacks／rogueフォルダーに入っているgameppc.libをQuake 2／rogueフォルダーにコピーする。
❻Optionキーを押しながら、Quake 2を起ち上げ、出てくるダイアログに
+set game rogue
と入力し、OKをクリックする。



Ground Zero
頭脳派向きの拡張キット。基地の内部はさまざまなギミックが仕掛けられて、その謎解きに頭をフル回転させなくてはならない。強力な武器を使い切ってしまうと、最後に困った事態になるかもしれないので注意しよう。図の武器は、接近戦での最強の武器チェーンソー。気分はジェイソンだ



The Reckoning
洞窟や水中、グランドキャニオンなど、いろいろな通路を進んでいくが、コースは直線的で迷うことない。謎解きではなく、敵との隠密作戦が好きな人には最適。敵は兵士や強力な半漁人だ。逃げ場のない通路が多く、どう進めても体力を削りとられる闘いになるので、なるべく離れたところから攻撃するのが基本

COMING SOON!!

Tomb Raider III & Quake III Arena

「Quake III Arena」と「Tomb Raider III日本語版」という、人気シリーズの期待の続編が、どちらももうすぐ発売される。MACLIFEでは、次号で詳細なレビューとCD-ROM MACLIFEへデモ版を収録する予定だ。乞うご期待！

■Tomb Raider III日本語版
アイドス・インタラクティブ（052-775-8380）／価格未定／http://www.eidos.co.jp/

人気アクションアドベンチャーの第3弾。人気モデル兼冒険家のララ・クロフトの今回冒険は、インドから宇宙からの秘宝を目指す。

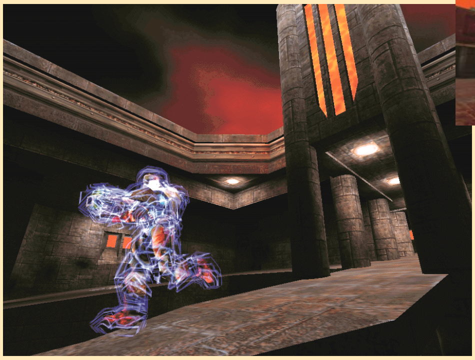
■Quake III Arena
P.&A.（042-525-9501）／6,800円／http://www.panda.co.jp/

Quakeの最新作は、対戦バトル専用として開発され、グラフィックやゲームエンジンを一新した。Windows版、Mac版が同時に発売される予定だ（開発元ではLinux版も同時に開発されている）。





Tomb Raider IIIデモ版の冒頭、SOUTH PACIFIC ISLAND。水面にできた波紋が美しい。もちろんララや背景のグラフィックもIIに比べて、すべてが美しい。謎が謎をよぶ凝ったシナリオが待っている





Quake III Arenaテスト版の画面。対戦ゲームを十分戦うためには、複数ボタンのマウス＋ジョイスティックがほしくなる。1人称シューティングの激しい動きにもかかわらず、すべてが美しく表示されている



ラショウ
（イタチョコシステム）

その拾伍　自分で書くゲーム紹介

掟やぶりもここまで来ると気持ちがいい。「ゲーム作者が自らのゲームを紹介する」である。解説史上初めての記念すべきこの大偉業に心を躍らす私と、苦りきった編集部の見事なコントラスト！

ネタ切れだから？　いやそうではない！今ここで語られる必要があったのだ。新製品だから？　いや、そうだけどそうではないのだ！

イタチョコシステム新製品「ロデムッチ」をプレイしてみた。

まず野良犬としてゲーム内に転生する。食べ物を探し、他の動物と争いながら自然のなかを生き抜くのだ。そして苛酷な死が訪れる。生き物なのだからそれはしかたない…。ゲームオーバー…。ここまでが以前創った「野犬ロデム」である。

さてここからが、「ロデムッチ」の醍醐味となる。動物の死骸は、まず「流木」に姿を変える。風雨にさらされ、しかし、決してなくならず、いつか再び、なにかの動物として生を得るのである。

ゲームのなかに配置されたすべてのものは、最後まで消えることはない。さまざまに形を変えて関係しあいながら展開を生み出していくのである。これがこのゲーム、いやさ！自然のすごいところなのである。と、まあこんなゲームができてしまいました。はっきりいってわけわからないゲームです（笑）。

私たちは、永劫のなかのほとんどの時間をモノとして暮らし、そして、偶然、わずかなチャンスを手に入れ、一時だけ生を得たのである。ならば、大事に生きてみたい！　前向きすぎだぞ。キャラに合わん…。

今までのゲームミイラ取りの成果、あったならいいけどなあ…。

【プレゼントのお知らせ】
「イタチョコシステム ファン雑誌月刊iTac創刊号」を10名にプレゼント。読者ハガキまたはCD-ROM MACLIFEの読者メール&資料請求テンプレートでお申し込み下さい。締め切りは1999年12月17日（当日消印有効）。なお、発表は発送で代えさせていただきます。



イタチョコ（http://www.pp.iij4u.or.jp/~itachoco/）で情報を確かめられたし！

海外Macintoshゲーム事情　第17回

音声認識対応のゲーム

桑原弘詩

最近、音声認識技術が脚光を浴びてきているが、Mac OSには昔から優れた音声技術が用意されており、ゲームにもさまざまな形で応用されている。

IndyCar Racing II●Sierra On-Lineのレーシングシミュレーター。古いゲームであるが、Mac版にはピットクルーへの音声指示など便利な機能が搭載されていた。

Marathon Infinity●お馴染みBungie Software Productsの1人称シューティング。新しいバージョンではInputSprocketの音声認識機能に対応し、さまざまな操作に割り当てることができる。

Warbirds●iMagic Entertainment NetworkのオンラインWWII空中戦シミュレーター。InputSprocketの音声認識機能に対応し、エンジン制御や火器操作などに重宝したが、バージョン2.5以降で非対応になってしまったのは残念である。

Hearts Deluxe●Freeverse SoftwareのシェアウェアカードゲームⅠ。捨て札選択などに音声認識機能をフル活用し、音声のみでプレイすることも可能。姉妹品のSpades Deluxeも同様の機能を搭載している。

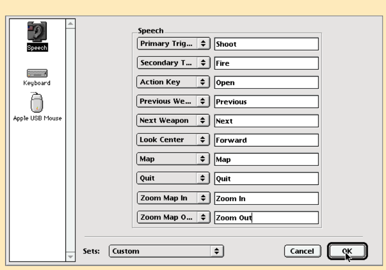
ほかにもフライトシミュレーターのFly!などが音声認識への対応を予定しており、今後の展開が期待される。

Mac OS標準の音声機能のPlainTalkはAV Mac以降ほとんど話題にされることがなかったが、面倒な設定や学習が不要なことから、ゲームにも手軽に活用できるものである。たとえ話題にならなくとも楽しめるものは徹底して楽しむ、これこそがMacユーザーの真髄ではないだろうか。

なお最近では、日本語Mac OSにもPlainTalkが標準添付されており、「Mac OS 特別付録」の中に「English Speech Recognition」という名称で収録されている。認識許容度が高くなっているため、アクセントにさえ注意すれば、日本人の発音でも十分に通用するはずである。



音声認識をフル活用したHearts Deluxe。ハンズフリーでプレイすることもできる



Marathon Infinityの音声認識設定画面。さまざまな操作に対し柔軟な設定が可能

GameOnline CD-ROM

Mikan Bee●
檜垣敬治／メールウェア
http://home.global.co.za/~higaki/
ユニークなパズル型2Dアーケード。ハチを操ってミカンを所定の場所に運べ。特殊ブロックによるトリッキーなレベルが充実。

French Toast●
ままごと倶楽部／フリーウェア
http://member.nifty.ne.jp/mother/
愉快な動物が闘うコンパクトな格闘アーケード。3種類の個性的な対戦キャラと駆け引き重視のシンプルなゲームプレイが特徴。

Wings―翼の軌跡―●
名取恒平／フリーウェア
http://www.vector.co.jp/soft/mac/game/se116653.html
近未来SF RPGスタック。サイボーグ少女が未来大戦後の世界を探索する。小説仕立ての凝ったストーリーとスピーディーな戦闘シーン。

脳震盪●
伊東悠／フリーウェア
http://www.vector.co.jp/soft/mac/game/se116931.html
独特なルールによるパズルゲーム。ブロックを入れ替えながら一列に並べて消していく。瞬間的な判断と深い読みを要する高難度仕様。

Ski3D●
Zaphara Arts／シェアウェア（15ドル）
/info-mac/game/
3Dアルペンスキーシミュレーション。リアルでスピード感溢れるスキーアクションと、起伏に富んだテクニカルなコースが特徴。

Ares●
Ambrosia Software／シェアウェア（25ドル）
http://www.AresCentral.com/
ミッション遂行型宇宙ストラテジー&2Dシューティング混成ゲーム。シェアウェアとして再リリースしGameRangerによる対戦にも対応。

文●宮澤誉樹

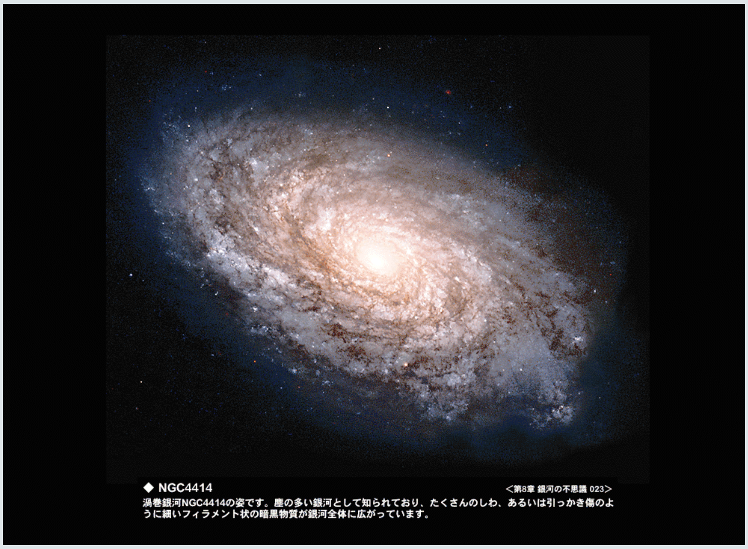


約20分あるNASA提供の貴重な資料映像

©AURA/STScI/NASA

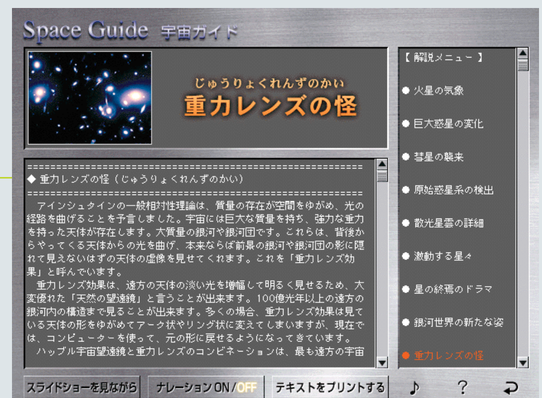


HSTのデータ集ではこの望遠鏡の次期計画まで紹介されている



渦巻銀河NGC4414。人知を超えた美しいかたちだ

©AURA/STScI/NASA



わかりやすくて面白い宇宙ガイド

ハッブル宇宙望遠鏡の世界

何万光年も彼方の光の芸術。宇宙望遠鏡で見る神秘の世界

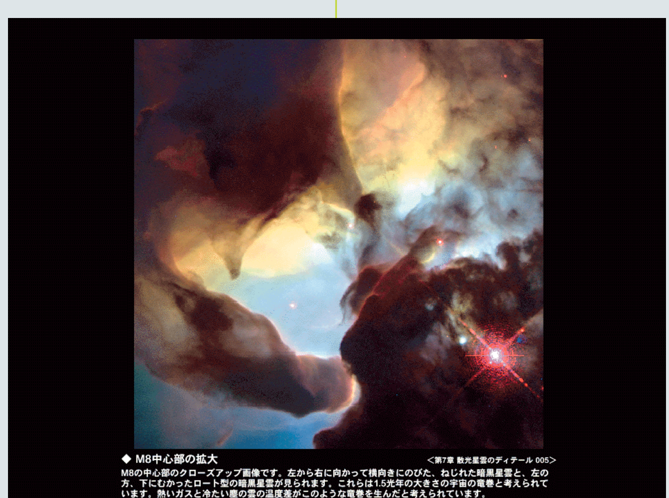
（株）シンフォレスト／03-3440-6108／3,900円／Mac & Win

地球上空600kmの宇宙空間で、大気の影響を受けずに宇宙を観測するハッブル宇宙望遠鏡、Hubble Space Telescope（略してHST）。このHSTが観測した天体写真を中心に構成されているCD-ROMだ。

約190点の写真が10章に分けて収録されている「ハッブル宇宙望遠鏡が撮影した画像集」がメインコンテンツ。そのほかに十数項目にわたる宇宙の不思議を解説する「宇宙ガイド」。画像イメージ、天体図チャート、星の種別や赤経、赤緯、明るさ、所属星座などから天体を探る「検索機能」。HSTの企画開発から次期HSTの計画までを綴った「ハッブル宇宙望遠鏡データ集」。HSTの組立から打ち上げ、宇宙における船外作業までを20分にまとめたNASA提供の「ハッブル宇宙望遠鏡ムービー集」など、HSTとHSTが観測した知られざる宇宙の魅力が盛りだくさん。さらに、10曲の幻想的なメロディがこの神秘の宇宙を盛り上げてくれる。

もちろん、壁紙やスクリーンセーバーとしての利用も可能だ。「太陽系天体のディテール」「SL9彗星の衝突」「星の誕生を捉える」「星々のドラマ」「星の死」「美しい星団」「散光星雲のディテール」「銀河の不思議」「宇宙の怪天体」「遠方の宇宙」の10章に区分されたスライドショー。その美しさをインテリア的に利用するのはもちろんよいが、わかりやすい解説は、知識や資料としての利用価値を高めている。

自然のなかでもとてつもなく大きい宇宙を、その中の地球という小さな1点の軌道上から遠く眺めているハッブル宇宙望遠鏡。この望遠鏡は、20世紀に人類が英知を結集して作り上げた科学技術の結晶だ。スペースシャトルに収まるくらいのちっぽけな筒が、広大な宇宙の美しさをここまで見せてくれる。肉眼では見ることのできない、何万光年も彼方の光が作り出した芸術を、この作品で堪能してみてはどうだろうか。



宇宙の竜巻と考えられているM8中心部の暗黒星雲もはっきりわかる

©AURA/STScI/NASA

昆虫館＆水族記

大自然をデスクトップで堪能できる「Wonderland大自然ライブラリー」シリーズ

(株)小学館／0120-665527／各4,000円／Mac＆Win

CD-ROM版「Wonderland大自然ライブラリー」という10月末発売の新シリーズから「昆虫館」と「水族記」を紹介する。両作品とも同シリーズなので基本操作やメニューは同じだ。「ガイドツアー」「図鑑」「ビデオ」「スライド」「プリント」の5項目で構成されている。

「ガイドツアー」は、ソフトの内容を約20分の動画やスライドで紹介してくれる。ナレーションもついていて、まるでテレビ番組を見ている気分になる。「図鑑」では、名前と写真、生息地や習性などの情報がある。「ビデオ」は、種類や特性などでわけられた項目別の映像集。「スライド」は写真集。「プリント」は、ナビゲーションに従って写真やフレーム、枠などを選んでいくと絵ハガキの作成ができる。印刷された図鑑では表現できない生きものの生態がよくわかるので、子供と一緒に鑑賞してみるのもいいだろう。

「水族記」は、地球で一番小さい生き物から最大のものまで、水の中に暮らす生き物を、博物学者の荒俣宏氏の解説で紹介した作品。七色に光るカプトクラゲや海の天使といわれるクリオネなど、愛らしい生物がいっぱい登場する。「ガイドツアー」では「水の惑星」「未知なる水の世界」「ミクロの世界」「生態の不思議」「19世紀の博物画」の5項目が紹介される。19世紀は水中の神秘的な色や形の生物が次々と研究発表された時代で、なかでも代表的なドイツの博物学者エルンスト・ヘッケルの博物画が収録されている。

もう1つの作品、「昆虫館」は名前のとおり昆虫を紹介したもの。昆虫は生物のなかでも天敵の多い生きもの。この図鑑は保身をテーマにまとめている。「ガイドツアー」では「虫たちの保身術」「二つの保身テクニック」「隠れる」「目立つ」「擬態のメカニズムの5項目」。生息地や種類で分けていないのが返って面白い。図鑑はわかりやすいように撮影された写真を使っているが、ビデオ撮影はありのままの姿を撮っているて、写真と動画が一緒に収録されているのでとても参考になる。

■昆虫館



操作の快適な図鑑画面



ガイドツアーは全編を20分程度で解説してくれる



どこにいるのかわからない隠れ型保身

■水族記



生き物の神秘的な造形を堪能できる写真の数々



昆虫館、水族記どちらもハガキ作成機能がついている



ビデオではテレビでもなかなか見ることのできない貴重な映像がいっぱい

サンリオピューロランドカーニバル

サンリオキャラクターと遊ぶファンタジーアドベンチャー

(株) サンリオ／03-3779-8097／5,700円／Mac & Win

キティズハウスにはみんなから手紙が届く





ここがキティズハウス

サンリオキャラクター
大集合のパレード風景



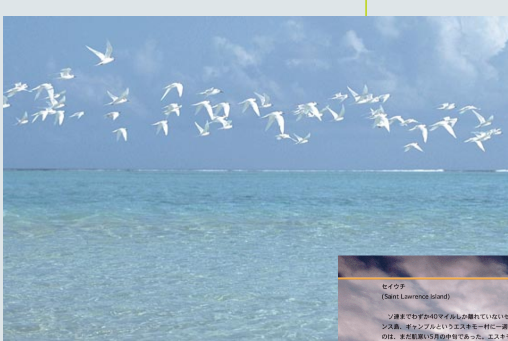
キティと一緒に、知恵の木を中心に広がる、ピューロランドの仲間の家を訪ねて遊ぶファンタジーアドベンチャー。

最初はキティハウスからスタート。人気者のキティの家にはいろいろな友達から手紙が来る。この手紙は各所で起こるイベントに影響しているので見逃さないようにチェックしよう。あとはピューロランドの中を気ままに歩くだけでOK。突然誰かに出会ったり、いろんなキャラクターのお家に遊びに行ったりできる。ちなみに収録されているのは「キキララ」「ポチャッコ」「ばつ丸」「プリンとマフィン」「ケロッピ」「もんきち」「メロディ」の7組。それぞれのキャラクターが個性豊かな家に住んでいて、歌や踊り、ゲームなど楽しい遊びが用意されている。操作は簡単で行きたい方向にマウスを動かせば、あわせてキティが動く。ほかにもピューロランドの中で興味があるものを見つけてクリックするとさまざまな仕掛けが隠されている。3Dに生まれ変わったサンリオキャラクターたちと思う存分遊んでみよう。

地球鼓動　北半球編

ありのままの自然を観賞できるシンプルな写真集

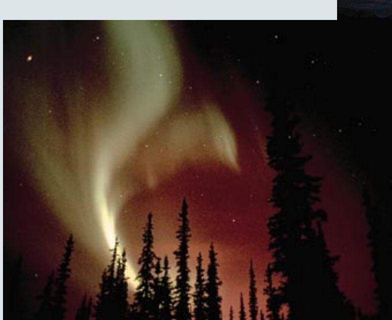
(株) メディアカイト／03-5449-3181／7,800円／Mac & Win



自然の雄大さを感じさせる写真の数々



メモでは撮影場所と被写体の解説を収録



自然の神秘、オーロラ

多機能性を排除し、できるだけシンプルに写真の持つ美しさや真実を伝えようとする写真集。「鑑賞」は、昇順、降順、ランダムの3種類のうちから選択して150枚の写真を表示するスライドショー機能。「メモ」は、それぞれの写真への一言コメント、一部の作品については撮影時のエピソードや、写真家がその光景にいかに感動したかが書かれている。唯一作品集以外の機能として、「Photo Quest」の機能限定版がバンドルされ、壁紙として好きな写真をデスクトップに使用できる。640×480ピクセルの標準画面と1,024×768ピクセルの大画面のいずれかを選択して再生する。

写真を提供しているのは、十数年に渡って地球の自然や動物、人を撮り続けている写真家柳木昭信氏。大自然との遭遇、その中で生きる動植物の命へのこだわり、興味は数々の神秘と感動のドラマを見せてくれる。残念ながらグラデーション表現のため、彼の作品の持つ美しさや、神秘性は100％表現されていないが、実際の写真、ましてや目のあたりにする自然の雄大さは想像に難くない。数社の出版社からいくつかの作品集も出版されている。また、「地球鼓動」は、彼の作品展の名前にもなっている。

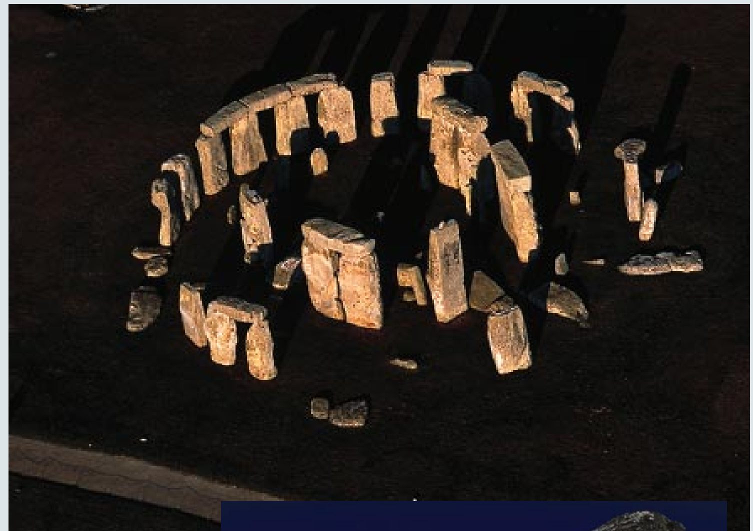
ミステリーゾーン

世界の不思議を巡るミステリーツアー

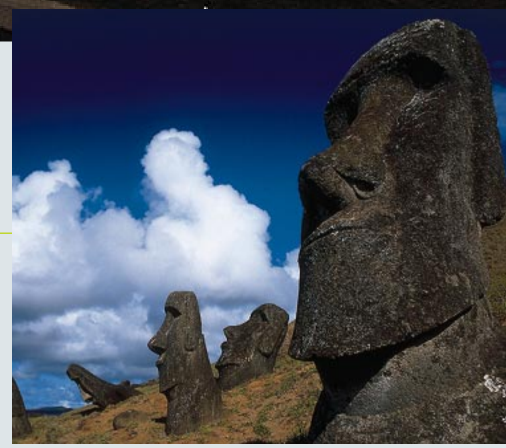
（株）シンフォレスト／03-3440-6108／3,900円／Mac & Win

世界各地に伝わる数々の伝説や謎の事件、未知の世界を写真やイラストのスライドショーで紹介した1枚。「メインスライドショー」は「アジア・オセアニア」「アフリカ」「ヨーロッパ」「南北アメリカ」の4地域と「伝説」「未知・謎・事件」の2つのカテゴリーからなる。ほかに項目や、地域、分類からの検索が可能な「世界のミステリーファイル」。ビザンティウムのフィロンが選出した「世界の7つの景観」「中世ヨーロッパの七不思議」、レオナード・コットレル選出の「古代の七不思議」の3つが納められた「七不思議リスト」、世界地図による「ミステリーツアー」のコマンドが用意されている。

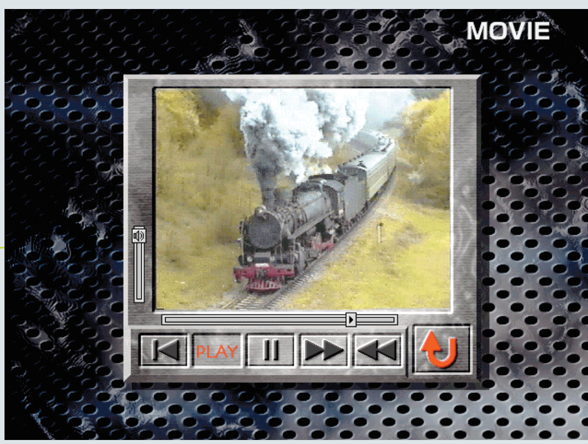
真実のわからない伝説から古代の権力者の力によって建造された貴重な建造物、人智の及ばない自然現象などミステリーの種類はさまざま。ストーンヘンジやイースター島のモアイ像、万里の長城からアトランティック大陸、ネッシーや自らの意志で動く石まで、この1枚で世界中の不思議を知ることができる。もちろんシンフォレストシリーズなので、壁紙やスクリーンセーバーに使用することも可能だ。世紀末ならではのミステリーツアーを堪能しよう。



ストーンヘンジのほか、世界の不思議がいっぱい



この巨像の謎はいつ解明されるのか



力走する蒸気機関車の雄姿

蒸気機関見聞録

CD-ROMで見る世界の蒸気機関車

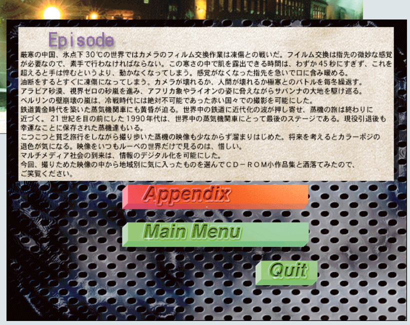
（株）アルメディオ／042-397-2411／2,980円（2枚組）／Mac & Win

世界各地を走る蒸気機関車をムービーとスライドショーで紹介する記録写真集。メニューは「アジア」「ヨーロッパ」「中東」「アフリカ」の4エリア。それぞれに「ムービー」「スライド」「データ」の3項目が収録されている。「ムービー」は蒸気機関車の走行シーンを1本にまとめたもの。「スライドショー」は4地域をあわせて100枚におよぶ写真集で、ムービーや写真にはサブメニューで解説と撮影データが付いている。このサブメニューは通常は表示されないので鑑賞の邪魔にならないし使い勝手もよい。また、気に入った写真やムービーがあれば、すぐにアクセスできて、情報が混乱することがない。「データ」は写真と解説、撮影データが一覧で表示される。そのほか、付録には壁紙とスクリーンセーバーへのデータ使用法とエピソードが収録されている。壁紙とスクリーンセーバー用のデータはもう1枚のディスクに収録されていて使用手順も簡潔で使いやすい。

撮影を手がけたのは世界中の車両撮影を目指している写真家井野博之氏。厳寒、猛暑の中で撮り集められた貴重な写真は黄昏の時代を迎える蒸気機関車の雄姿を余すところなく伝えてくれる。ベルリンの壁崩壊以降撮影が可能になった社会主義各国の車両を中心にコレクションされた蒸気機関車の貴重な写真集である。



データでは写真と解説、撮影データを一覧で紹介



Appendix（付録）では壁紙やスクリーンセーバーの設定の他撮影エピソードも紹介されている

＜その６＞
Macがクラッシュ！「少なくとも私は昨日からまったく眠っていません」

先週、私は山登りをしていた。福島県にある安達太良山という、『智恵子抄』に出てくる山だ。私などは、その名を聞いただけで胸がきゅんとなってしまうが、実際登った安達太良は、清潔で清々しい山だった。そこには、本物の空がある……わかるでしょ？　いや、山に限らず今月の私には素晴らしい旅が続いた。インド洋に浮かぶモーリシャスという島では、水上スキー三昧、昼からワインを飲んで夕暮れになると黄金色に焼ける海を眺めた。

浅井慎平さんとのラジオ番組の収録中には、浅井さんが、初体験という、カメディアのシャッターを、私に向けて押して下さった。

「あれ、撮れてない？　ほんと？」

なんて、大の大人のそんな姿はとても魅力的だ。写っている私は、小悪魔ちっくな表情をして、ウフフという感じである。……と、今月こそは、素材は完璧、デジデジ日記始まって以来のゴージャスなデジタル写真でお届けします……というはずだった、のである。

「大変なんです。Macがクラッシュしていて、みんな、ああ、もうどのデータもすべて……」

と、いきなり電話口で低く呻いたのはマネージャーのコマッチィである。

現在二人が所有するMacは計六台になる。私が部屋で使っているのは、iMacとパワーブックG3、彼女が事務所で使っているのがPerformaを二台と、パワーブックを二台。

「大丈夫だよ。だってMacはたくさんあるじゃん」

なので私は電話口で、のうてんきにもそう言ったのである。欠伸だってしていたかもしれない。

「そういう問題でしょうか？」

「何かで補えあえたりするんでしょ、よくはわからないけどさ」

「そういうものも、あるにはありますが」

コマッチィの声があまりに冷静沈着だったので、私はむしろ不安になった。

「あれ？　結構深刻なの？」

「少なくとも私は昨日からまったく眠っていません。何をバッグアップできるのか、ノートンをずーっと回しているんです」

「で？」

「何も戻ってきません」

「名簿とか？」

「それは、大丈夫です」

「ソフトなんてまた入れたらいいじゃん」

「写真が、」

「どんな？」

「ですから谷村さんのデジカメに入っていたこれまでの写真がすべて、です」

「モーリシャスも？」

まず私は一番遠い島の名を言った。だってモーリシャスは本当に遠いのだ。シンガポールまで七時間、そこで七時間もトランジットを待ち、また七時間のフライトを経てようやく辿り着く島なのである。

「はい」

「じゃあ、安達太良も？」

「もちろん」

あんなのも、こんなのも、と私は付け加え、最後にこうつけ加えた。

「浅井さんも？」

「そうです」

ごめんなさい浅井さん、モーリシャスが一番重要で浅井さんの写真が一番手近だったわけではないのです。ただ私の中にはそのときとてもデジタルに、世界地図が浮かんだのです。

「うんぎゃー！」

と、ようやく私は叫んだ。



Photo1



Pict1



Photo2

谷村志穂（たにむら　しほ）…作家。最新刊に、『おやすみなさい、と彼が言う』（世界文化社刊）がある。Macは3年前から使い始め、現在はiMacとPowerBook G3を愛用している。ホームページ「HOUSE」（http://www.age.ne.jp/x/shiho/house/）では、谷村さん自ら掲示板にメッセージを寄せることもあるので、ファンは必見。

それはイヤダと思った。イヤダが、きっとどうにもならないことなのだろうとも理解した。御臨終だ。Macのバカ。

「谷村さん、ごめんなさい」

コマッチィはなぜか、自分が悪いわけでもないのに、謝った。きっとその後Macを殴ったであろう。

「まあさ、コマッチィ、眠いかもしれないが、だが締めきりも迫っている。人生にはこういう時もあるのだから、約束した分だけは片付けてから眠るように」

「わかってます」

そうしてコマッチィは、我々のホームページ上に、『モルディブ』という新刊を紹介するページを約束通りに立ち上げてくれた（Pict1）。これは私の二年越しの書き下ろし、紀行長篇です。ぜひ、読んで下さい。

で、それから残り少ない日々の間の私の日記は何とも地味だ。一つは、フリマ（Photo1）。だが、これはただのフリマではない。私のBBSで去年から行っている、大フリマ・オフなのである。今年もたくさん集まってくれたよ。一緒に売る人、手伝ってくれる人、買いに来てくれた人、ただ会いに来てくれた人、来れないのでお弁当を作ってくれた人、照る照る坊主を作ってくれた人・・・、地味だ、なんてことはなくて、一年に一度の大切な日になっている。料理家の飛田和緒さんと二人で、車二台分の荷物を運びました。車は魚河岸の友達のハイエースと、ランドローバー・ディスカバリーである。かっこいいぞ。

BBSの新しいメンバーもたくさん集まってくれた。Photo2のサングラスのお嬢さんは、JALの国際線のスチュワーデス、何ともきれいな対応でずっと売り子さんをしてくれていました。贅沢だね。

と、そんな日々が続いているものだから、うちの猫チャイは今日も機嫌が悪い。モモちゃんのぬいぐるみを（Photo3）、自分の友達だと思い込んでいるようで、いつも口にくわえて連れ歩いている。寝床にも、食事のトレイの横にも。でもきっと愛する方法を知らないんだね。モモちゃんはもはやチャイの歯形で穴ぼこだらけで、涎まみれである。それにチャイは飽きっぽいから、連れ歩いていてもすぐに忘れて捨ててしまう。モモちゃん、ごめん、君は私のぬいぐるみだったはずなのに。

そして、我々人間たちも、ひと段落にほっとしていつものラボエム三宿店へ（Photo4）。食べましたね、やけ食い。新メニューのリゾットっていうのも、なかなかでありました。

思えば、リゾットがお腹にすっと染み入ってくるくらい秋も深まった感がある。雑誌の取材はすでに新年号であった。こちらは『通販生活』の撮影の様子（Photo5）。新年号なので、赤いセーターの私。

この撮影も終えて、じゃあね、と別れたコマッチィへ、だが私はもう一度電話をかけた。

「ねえ、まだ帰るな。気晴らしついでに＜マトリックス＞観ない？」

「いいっすね」

と、いつものポップな調子に戻っている彼女である。

「じゃあ、渋谷の劇場調べとく」

ところが、なぜか渋谷では上映が見当たらない。銀座まで行くのも遠いしなあ。

「ごめん、ない」

と、折り返した私。

「いいっす、じゃあ、今度」

と、女同士のやり取りは簡単でいいね。

だが、なぜかその夜私は＜マトリックス＞を観ていたことをまだコマッチィは知らない。横には、なかなかな男の子が一人いた、ということも。ごめんよ。だがね、だから言うわけじゃないが、頭でっかちな映画だったぜ、理屈っぽすぎ。というわけで、おーい、Mac、もうあんまりコマッチィを悩ませないでおくれ。



Photo3

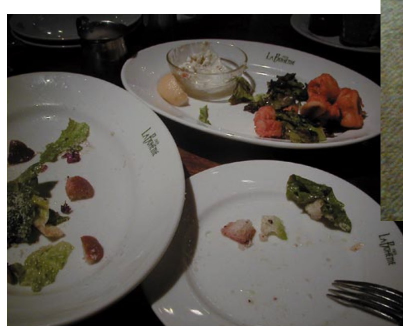


Photo4



Photo5

谷村志穂のdigidigi日記

Shiho Tanimura

倒れても起きあがるロボット「ひとりでおき太君」を作る

さて、先月の大谷研究員の発表に続いて、今回は私魚井が考えた「起きあがる」ロボットを紹介しよう。前回のバランス変化型とは異なり、今回のロボットは「体を持ち上げて」起きあがるようになっている。デザインの好みで少しだけRIS基本セットにない部品も使っているが、賢明な読者諸君ならば、簡単に自分の好みに改造できるだろう。

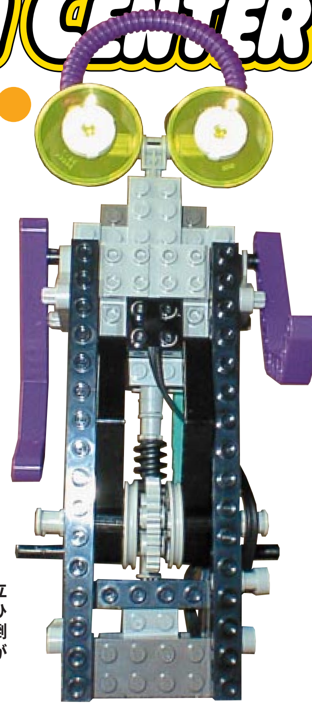


図1●制作してみた立ち上がるロボット「ひとりでおき太君」。倒れても自力で立ち上がるようになっている

支え棒式本体持ち上げ型自立ロボット

ちょっと大げさな名前だが、要するに倒れたら杖を使って自分で「よいこらしょ」っと体を持ち上げて立ち上がる仕掛けである。先月のバランス変化型では、横倒しになった本体の足を動かすことで重心を内側に移動させ、内側に倒れ込んだあとで足をおろして体を持ち上げていた。今回の「ひとりでおき太君」は、倒れたことを感知したら、補助足を出して本体を頭から持ち上げていくことで立ち上がるので、重心移動型とは考え方が違うものになっている（図1）。

このアイデア自体は「立ち上がるロボット」というテーマが決まったときからずっと頭にあったものである。はじめのうちはRCXも搭載した形での実現を目指していたが、どうしても大きなものになってしまうことや、杖の部分の強度、モーターの力不足などがあって、どうもうまくいかずじまいだった。やはりRCXはかなり重いので「持ち上げる」のには向かないようだ。

そこで、ちょっと見かけは悪くなるものの、RCXの搭載をあきらめて、RCXを外部の「電源&インテリジェントリモコン」として使うことにしたら、意外とあっさりできてしまったのが、このロボットだ。

制作上のポイントは、

- 縦長の人型スタイル
- モーター1つ、タッチセンサー1つのシンプルな構成
- ちょっと愛嬌のある外観

といったところだろう。

もともと人型にこだわりがあったとはいえ、このロボットでは、縦長の倒れやすい形をあえて採用して「倒して遊ぶ」ことを目的としてみた。RCXがないぶん、倒しても衝撃が少なくなり、それほど構造的には強度を持たせなくてすむという利点もある。起きあがる仕組みは図2を見てほしい。腹の部分に仕込んだ支えが前後から回転しながら出てきて本体を持ち上げて元通り立たせたあと、支えを元に戻す仕組みである。

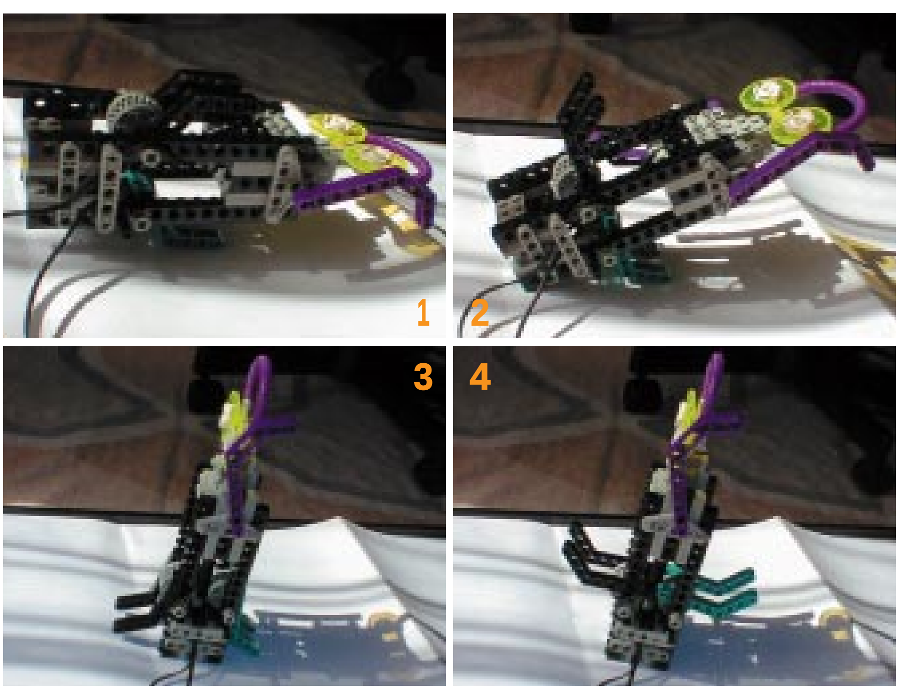


図2●腹の部分に仕込んだ支えが前後から回転しながら出てきて本体を持ち上げて元通り立たせた後、支えを元に戻すようになっている

おき太君の構造

それではさっそく、肝心の構造について解説しよう。おき太君は、大まかにいえば4つの部分から成り立っている。まず、動力となるモーター部分（図3）。ここは首から胸を形作る。モーターのシャフトにはウォームギアを付けて、前後の支えを動かす時に力不足でギアが空回りしないようにする。こういうときには普通のギアを使うよりも 回転方向も変えることができるウォームギアが便利だ。

図ではウォームギアを2つ使っているが、位置をきっちり固定すれば1つで構わない。倒れているか否かの判定は脚部（といっても特に「足」らしく見せてはいないのだが）にあるタッチセンサーで行なっている（図4）。センサーを床に向けて付けておくことで、センサーがオフになってしばらくすれば「倒れた」と判断することができる。なお、組み立てるときにはコードも一緒になっているので注意しよう。

稼働する前後の「支え」部分は図5のように作

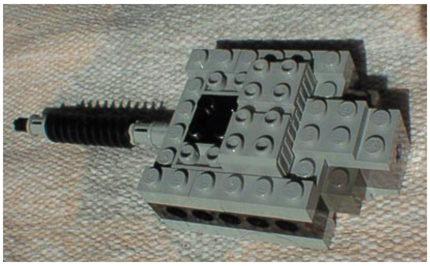


図3●胸から首のモーター部分

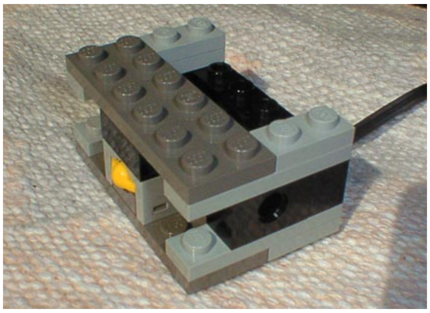


図4●脚部に取り付けるタッチセンサー

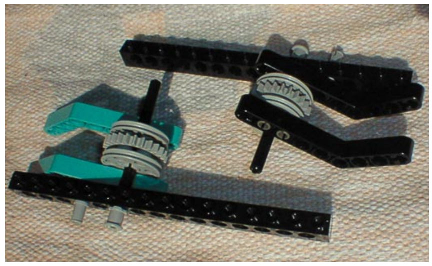
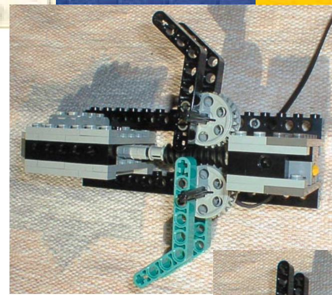


図5●稼働する前後の「支え」部分は、24歯のギアとプーリー2枚を長さ8のシャフトに通し、各々のプーリーにリフトアーム（曲がっているビーム）を1+1/2ピン（濃い灰色のピン）を2つ（計4つ）使って固定する。さらにシャフトの片方をを長さ16のビームに通してブッシュで固定する



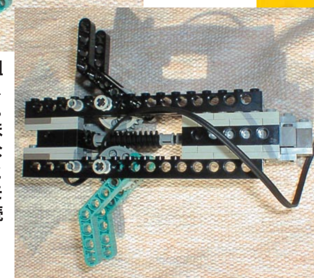


図6●同じものをもう一組対称に作って、モーター部、センサー部と組み合わせる。このとき、支えの角度がほぼ同じ（完全には一致しないので）様にしておくことに気を付けよう。また、モーターからのコードも接続しておく

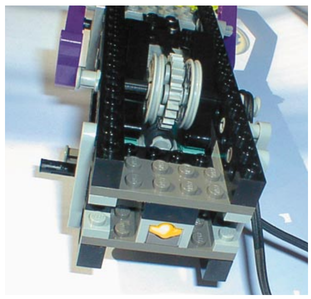


図7●基本部分を組み立てたところ。ここまでくれば、あとは楽だ



図8●飾りには、腕は長めのリフトアームに長さ3のピンを付けたものだが、これも適当なパーツで代用できる。頭はいろいろ考えられるが、あまりパーツを付けて重くならないように気を付けたほうがいい

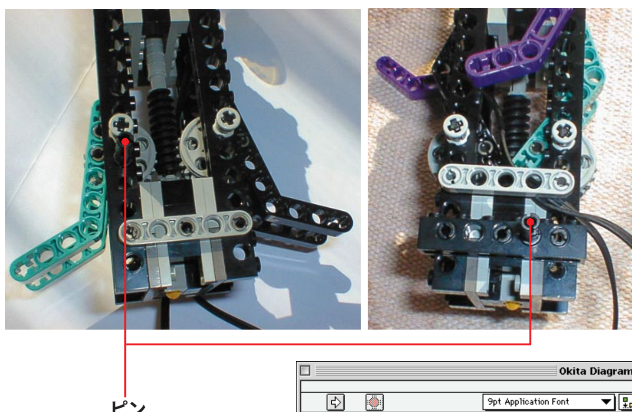


図9●横倒しにならないように、ストッパー代わりにピンを取り付けている。手持ちのパーツが足りなければ、支えを通しているシャフトを長め（12ぐらい）のものにしよう

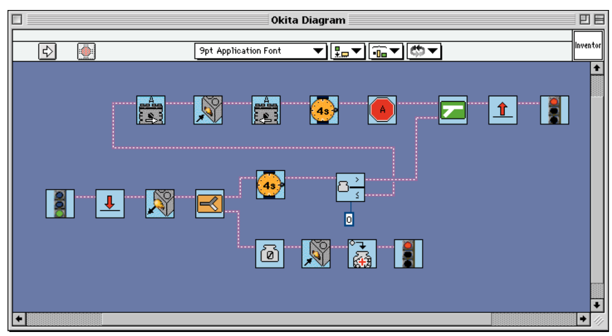


図10●RoboLabを使った「おき太君」のプログラム。今回は分岐する命令を使っている

った。同じものをもう一組対称に作って、モーター部、センサー部を挟むように組み上げる（図6）。RISの基本セットでは写真の緑のリフトアームの本数が足りないが、ここは長い方のリフトアームを前後4本使ってもよい。あとは長さ16のビーム2本をうまくはめ込んで基本部分はほぼでき上がりだ（図7）。

飾りの部分である腕と、頭はきわめてシンプルにした（図8）。全体を組み上げる時には補強も兼ねて、三角プレートや厚さ1/ 2 のビームなどを使っている。また、ケーブルの出口をまとめるためにちょっと工夫している。

さて、最後の工夫が足の付近に横に付けられた長さ3のピンだ（図9）。おき太君は正面と後ろに倒れる分にはちゃんと起きあがれるのだが、横倒しになってしまうと、もうどうしようもない。そこで、横に倒れないようにするために、ここを出っ張らせておくという重要な役割をしている。あとは、腕と頭を付けて完成だ。

おき太君のプログラム

もちろんRCXでもプログラムできるのだが、せっかく先月までRoboLabを解説してきたので、ここではRoboLabを使ってみよう（図10）。

大まかな流れは下記のようなものだ。

1）タッチセンサーがオフになるまで待つ

2）もし4秒以内に再度センサーがオンになるようなら、揺れただけとみなして何もしない。

3）4秒間タッチセンサーがオフ状態ならモーターを回して立ち上がり、タッチセンサーがオンになる（つまり立ち上がりきる）とモーターを逆に回して杖を格納し、モーターを停止する。

プログラムは、この3つの動作を無限に繰り返すように組まれている。ステップ2の部分で、4秒待つところと、タッチセンサーがオンになったらカウンター値を1にする部分、さらにプログラムが並行分岐（新しいタスクを作る）するところや、カウンター値を判定して、0の時に杖を動かす部分などが先月には解説しきれていなかった部分だ。

並行分岐（二股のアイコン）はプログラムの流れを、メインタスク（上側）とサブタスク（下側）へわけ、同時に動かすことができるものだ。サブタスクの方はカウンター（デフォルトは赤）の値を0にし、センサーがオンになるまで待って、カウンタに1を加えている。分かれてしまうと各々別のプログラムと見なされるので、サブタスクの方にも終了アイコン（赤信号）が必要になる。

なお、カウンター値により分岐するところは並行分岐ではないので、合流アイコンでまとめなければならない。杖はセンサーがオンになるまで出し続けて、そのあと4秒間で元に戻す。

以上が「ひとりでおき太君」の全容だ。これを元に、RCXを搭載した大型なものや横倒しになっても立ち上がるような機構を組み込んだりしたものを作ってみたらどうだろう。できあがった作品情報はどしどしMMRCへお送りいただきたい。

（魚井宏高）



図1●石井さんが最初に作られたカマキリロボットは、前端部のライトセンサーで床の有無（反射率の変化）を感知して姿勢の変化を判定し、腕を回して起きあがるようになっていた。しかし、これでは周囲の明るさや床材の影響を受けやすかった

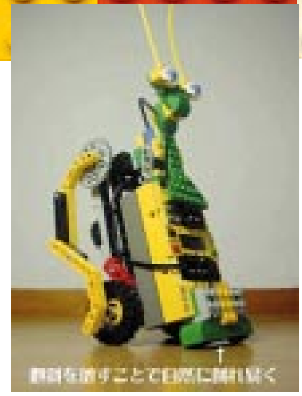


図2●そこで作られた改良型では、前端部は単に倒れ易さを実現するためのダミーブロックとし、ライトセンサーによる倒れ感知機構が首の裏側当たりに装着されている。これならば反射面が特定されており、周辺光も入りにくいので判定が正確になる



図3●起きて走行する姿勢におけるセンサー部分のアップ。この写真では、ロボットの正面は右方向となる。黄色いブロックの表面にライトセンサーからの赤い光が当たって反射していることがわかる

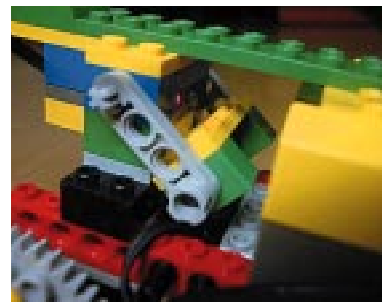


図4●倒れた姿勢におけるセンサー部分のアップ。この写真ではロボットの正面は上方向となる。倒れることで黄色い反射面がライトセンサーの正面からずれ、確実に受光量の変化が起こる仕組みだ

読者からの投稿作品を紹介

ここでは読者の石井 元さん（中学校美術教師）から寄せられた、倒れても起きあがるロボット「カマキリくん」の紹介をしよう。このロボットはライトセンサーを利用したシンプルなものだ。巧妙な倒れ感知機構を持っているが、最初からその仕組みが組み込まれていたわけではない。何回かの試作が、優れたアイデアを生み出したのだ。

センサーが鍵になる

前回、倒れても起きあがるロボットにはさまざまなバリエーションや工夫が考えられると書いたが、このカマキリくんは車輪で走行し、仰向けにひっくり返ると長い腕を回して直立の姿勢に復帰するようになっている。

基本的な走行メカの部分は、MindStormsのサンプルロボットに示されているRobo 2に等しい（つまり1個のモーターの反転によって、方向転換ができる）ものが採用された。しかし石井さんの職業柄か、表情豊かな顔のデコレーションを付けたことによって、愛嬌のある作品に仕上がっている。

コンテスト用のマシンなどでもそうだが、外界とインタラクトして面白い動きをするロボットは、たいていセンサーの使い方がうまい。というよりも、センサーによる入力なしには、インタラクションのあるロボットは作れないといってよい。入力された信号をプログラムでどう扱うかというのも重要だが、それ以前にセンサーをどこに配置し、何を監視させるかという点が、優れたロボット作りの鍵になってくるのである。

ライトセンサーをめぐる「影」と「光」

初代のカマキリくんは、ライトセンサーを使って、底部が床から離れたかどうかを判定させていたそうだ。ところが、夜の間に製作したこのロボットを朝になって動作させてみたところ、どうもうまく動かない。

ライトセンサーは、「明」と「暗」の判定の境目を決める閾値（しきいち）の設定をプログラム側で行なうのだが、これが夜と昼では周辺光の影響で異なってしまうため、固定的なプログラムでは対応しきれなかったのである。また床の材質によっても反射率の違いから、閾値の設定を変更する必要に迫られる。そういうわけで、石井さんは、よりよい判定法を求めて改良を加えることにした。

結局たどり着いたのは、ライトセンサーを利用して、独立した倒れ感知機構を作るという方法だった。ライトセンサーはタッチセンサーと異なって非接触式なので、動作させるのに特別な力を必要としない。したがって傾きの検知などには向いているといえる。

石井さんはライトセンサーの位置をカマキリの首の裏側に移動し、黄色のブロックを使って独立した反射面を用意することで、確実に動作する倒れ感知センサーを作った。同時に、周囲がいくつかのパーツで囲まれたことで周辺光の影響も受けにくくなり、カマキリくんの動作を安定したものにすることができたのである。　（大谷和利）

「レゴ マインドストーム日本語版」発売決定！
11月中旬より一部ショップにて先行発売スタート

前からアナウンスされていたが、ついにLEGO MindStormsに日本語版「レゴ マインドストーム日本語版」の発売が決定した。今回発売されるものは、「ドロイド　キット」（Droid Developer Kit）とロボティクス　セット（Robotics Discovery Set）の2セット。価格はどちらもオープンプライスだが、店頭予想価格は、19,000円、23,000円前後という。

11月中旬より先行発売として、LAWSON（Loppi）、TSUTAYA、bit TOUR's、銀座博品館、原宿キディランド、ヘクティク、ヴァキュームレコーズ各ショップなどの一部ショップ、一部インターネットサイトとなっている。ちなみに、来年1月より本格的な販売展開を行なうという。

いままでLEGO MindStormsの入手に悩んでいた人も、これで楽になることだろう。

問合せ●（株）メディアファクトリー／03-5469-4880

遊び心、全員集合！ MITメディア・ラボ、Mindfestレポート

去る10月22～24日、米国マサチューセッツ州ケンブリッジにあるMITのメディア・ラボで、MindStormsユーザーのお祭りともいえるMindfestが開催された。このイベントに、ケンブリッジ在住の大谷が地の利を活かして参加、取材をしてきたので、ここで特別レポートをお送りしよう。

20年で滅びる学校というシステム

そもそも僕がこのイベントの存在を知ったのは、MindStorms情報局（http://www.mi-rai.com/JinSato/MindStorms/）を主宰するカナダ在住のJin Satoさんからのメールだった。Jinさんは自らもブースを出展し、ロボット犬MIBOと、そのほかの代表作を持ち込まれるという。ならばと助っ人を申し出て、2日半に渡り、ブースに詰めながら取材を行なったのである。

会場となったメディア・ラボの1階と地下には31の展示ブースがしつらえられ、世界各地から400人近い参加者が詰めかけて、思い思いのセッションに参加する。子供がMindStormsのユーザーであるという親子連れも多く見受けられた。

中でも印象に残ったのは、教育用のプログラム言語として名高いLogoを開発し、名著「Mind Storms」の中で「オブジェクトを通じた知識とアイデアの習得」（これが後のLEGO MindStorms製品へとつながっていく）の大切さを説いたシーモア・パパート氏のキーノートスピーチである。

氏は、一般教育の尺度では知恵遅れと見なされた子供がLEGO MindSotrmsを与えられたことでほかの生徒をしのぐ知力を発揮した例を挙げて、人間の価値を計る尺度の多様化の必要性に言及。またLogoのクラスで起こった生徒間のアイデア盗用のエピソードから、子供達が「アイデアというものは、名前を付けたり、盗んだりできる」と認識したことが重要だったと振り返る。

特に傑作だったのは「現在の学校をより良くするために何が必要か？」という会場からの質問に対して「学校などという（旧式な）システムは今後20年も経てば滅びるので、その改革に力を注ぐのは無駄である」と答えたことだ。

楽しんだ者の勝ち

このほかにもNQCやlegOSの作者などMindStorms界の著名人がパネリストをつとめるセッションが開かれたり、セガのドリームキャスト用のビジュアルメモリーを使ったiBallと呼ばれる参加者同士の情報ゲームがあったり、ふと見ればすぐ横に認知心理学者のマービン・ミンスキー氏がいて話しかけられたりと、メディア・ラボならではの出来事にたくさん遭遇した。ここでは楽しんだ者が勝者である。来年は僕も、ぜひとも自分の作品を携えて参加したいと思う。（大谷和利）

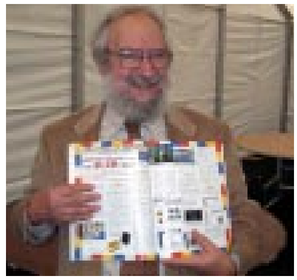

図1●その著書、Mindstormsによって、オブジェクトを媒体とする学習の大切さを説いたシーモア・パパート氏。キーノート後に、MMRCが掲載された本誌を持ってニッコリ微笑んだところをパチリ


図2●LEGO本社の副社長に自作のロボット犬MIBOについて説明するJin Satoさん（右）。自らMindStorms情報局サイトを主宰するJinさんの作品は、LEGOコミュニティの中でも高い評価を得ている


図3●僕が持ち込んだ白川裕記さん作の「めだまのおやじ」に興じる子供と、それを興味津々で見つめるLEGO社のスタッフ。左下のマシンは、ブロックを拾い集めて1箇所にまとめるフォークリフトロボット

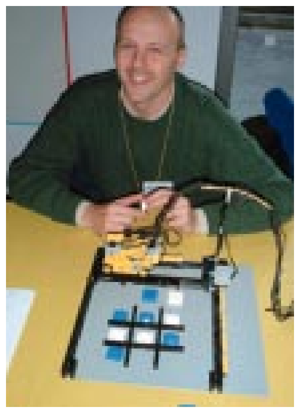
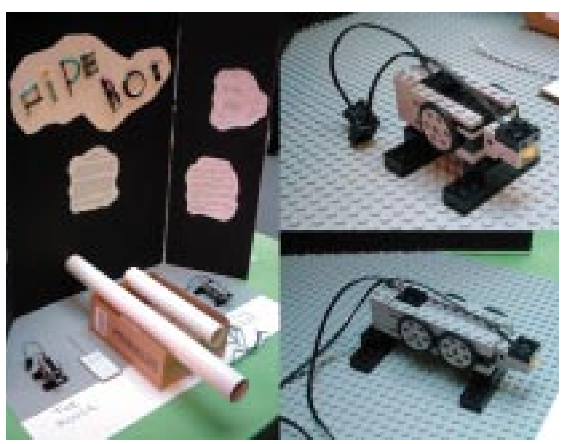

図4●イタリアのMindStormsフリークが作り上げたTic-Tac-Toe（○×）ゲーム。コマの位置を軌道上のRCXに付けられたライトセンサーで読み取り、戦略的に自コマを置いてくる。ソフトはNQC



図5●地元のNew England LEGO Users Group（NELUG）は、巨大なスターウォーズのジオラマを中心に出展。これはさすがに動かないが、その物量作戦で注目を集めた。個人コレクションだそうだ


図6●おそらく最年少の出展者、12歳のマイケル・クロウダ君のPIPEBOTは、標準的なPVCパイプの中を走り回ることを狙った細密充填メカだ。上の小型モデルをMouse、下の大型モデルをRatと呼ぶ

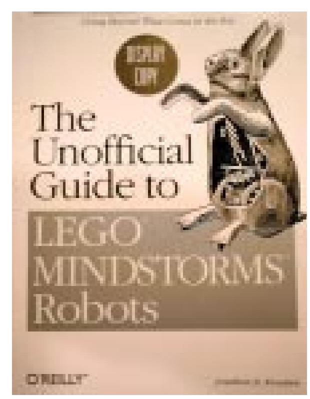


図7●MIT出版部のブースにあったMindStormsの「非」公式ガイド。"Going Beyond What Comes in the Box"のサブタイトルが示すように、RCXの内部解析情報を中心としたディープなマニア本だ

MMRCクリスマスプレゼント

今月は『Droid Development Kit』『Robotics Discovery』をそれぞれ1名にプレゼントします。

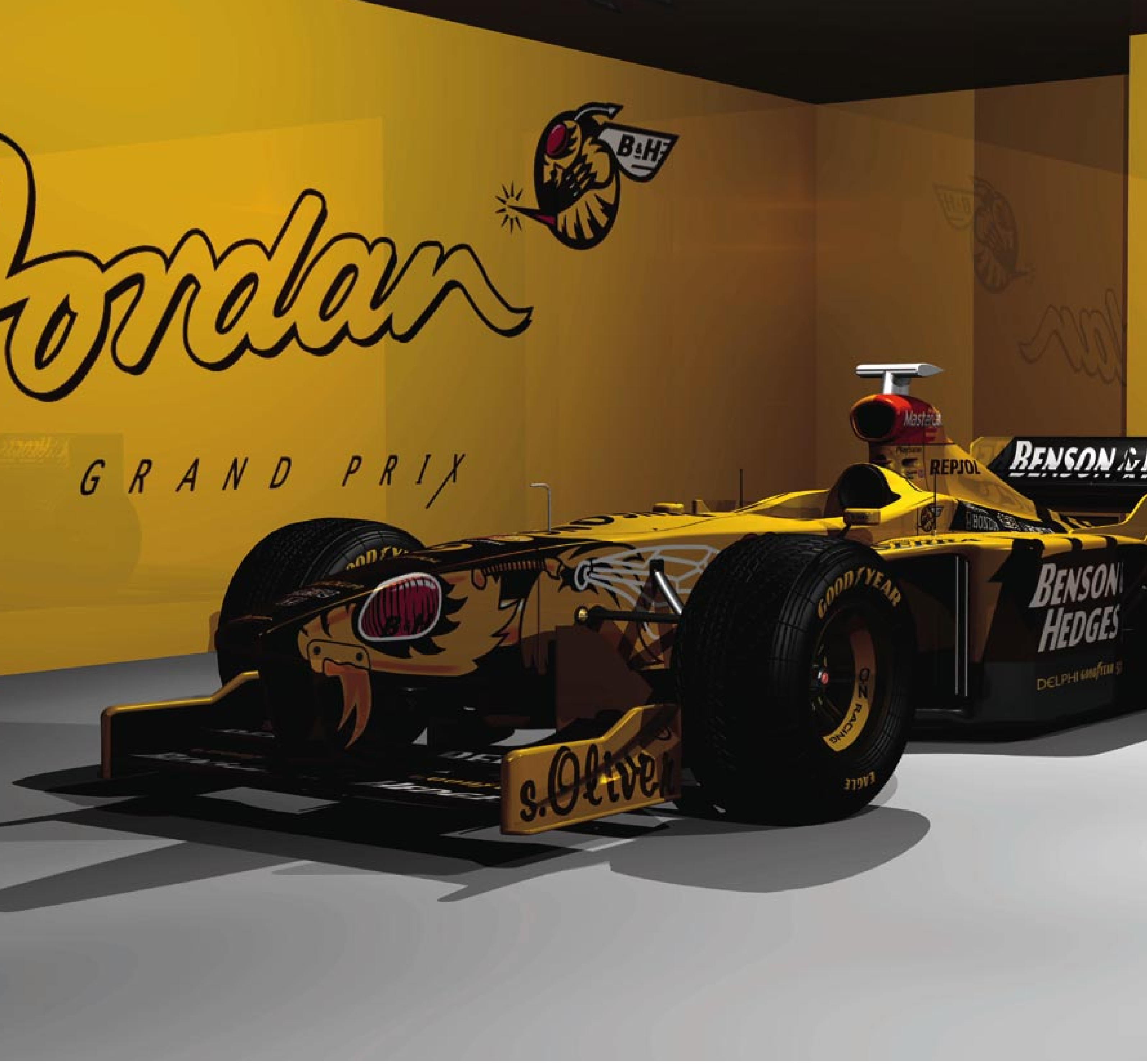
ご希望の方は、製品番号を読者メールのファイルもしくは読者はがきに必要事項を記入して申し込んでください。（注：プレゼント品は英語版になります）

提供●WiseWeb Trading Corporation
（http://www.wisewebtrading.com/ms/）



Droid Development Kit 1

2 Robotics Discovery Set





福永琢磨
(Takuma Fukunaga)
CMプランナー。フォーミュラ1一筋にCGを創り続け、ホームページでは22車種におよぶ作品が公開されている。必見。
http://plaza27.mbn.or.jp/~fukunagafactory/

99年F1世界選手権、終了

10月31日に鈴鹿サーキットで開催された最終戦によって今年のF1世界選手権は幕を閉じ、結果としてフェラーリチームが16年ぶりにコンストラクターズタイトルを、マクラーレンのミカ・ハッキネンが2年連続のドライバーズタイトルを獲得した。

時節柄というわけではないが今月のテーマは「F1」。間違ってもそのコックピットに座ることさえできないモンスターマシンの世界だ。

カーモデリングを志す人の中にも、潜在的にF1を作ってみたいと思っている人は多いだろう。日本GPの興奮醒めやらぬ今、さっそく作り始めるのもいいが、その前にぜひ今回の記事を読んでほしい。フォーミュラカーにこだわり続けて、これまで20車種を超えるF1マシンを制作してきた福永琢磨氏の視点を通すと、フォーミュラカーの世界がまた一段と興味深いものになっていくはずだ。

なお今回の作例はデーモン・ヒルが操縦した98年型ジョーダン198である。



CGで描く世界の名車 Shade編

THE CAR MODELING

極限のモータースポーツF1
JORDAN 198 Mugen-Honda

**ミハエル・シューマッハーのアクシデント、ミカ・ハッキネンの思わぬ苦戦など
数々のドラマを生み出した'99 F1世界選手権が終了した。
スピード、信頼性、高性能、そのすべてにおいて頂点を極めるモンスターマシンを
徹底した観察眼で緻密に描いているのが福永琢磨氏だ。
このコーナー初登場となるF1モデリングの神髄を訊く。**

モノを作るための観察眼

——F1を作り始めたのはいつ頃からですか？
福永●自宅用にPower Mac 7600/200を買った97年ごろからです。その1、2年前から3次元のものをやりたくて、当時、園田浩二さんが描いた戦艦大和を見て「Shade*[1]なのかな？」と思い始めたんですね。自分が作りたいのは“メカもの”というわけじゃないんですけど、そういう存在しているものをCG上で表現することがやってみたかった。

——最初からF1だったんですか？
福永●最初は自分でも乗っているミニ*[2]を作ったんですよ。Shadeを憶えていく過程で、まがいなりにもカタチを完成させると、乱暴な中でも大分使い方がわかってくるんですよね。一回作ってみて、「けっこういろいろなものが作れるのかもしれない」と思えるようになって、次に6輪タイレルを作りました。*[3]そのときから、だんだんF1を中心に作るようになってきましたね。

——乗用車タイプのいわゆる“ハコ物”とF1では作り方に違いを感じますか？
福永●ありますね。まず、ハコ物のクルマっていうのは、本物を見たことがある人が多いですよね。フォーミュラカーは、本やテレビで見たことのある人は多いけれど、本物を見たことがある人はあまりいないわけで、ある程度イメージの部分が大きいと思うんです。たとえば内装なんかは見える部分以外誰にもわからないし、アクセルペダルがどういう形なのかは絶対にわからない。そういう点がまず違います。それと作っていく過程で、タイヤが覆われているのか、いないのかっていうのは一番大きいと思います。ハコ物の場合、タイヤハウスをどうするかという所で、まず最初に大体の人が迷っちゃうと思うんですけど、フォーミュラカーの場合そういう迷いはないですね。逆にタイヤの質感というものがものすごく難しくなってきます。乗用車と違ってタイヤにパターンらしい溝もないので、それをおざなりにしていると、とてもCGっぽいものになってしまうんです。タイヤの質感には今でもずっと迷っていて、1台ごとに作り方を変えて「前よりよく出来たな」と思ったら以前に作ったクルマも同じように直したりしています。

——タイヤのリアリティに重要なのはカタチですか？ それとも材質の設定ですか？
福永●両方ですね。フォーミュラカーはタイヤの印象がすごくデカいんですよ。たとえばブリヂストンタイヤとグッドイヤーのタイヤは形が違いますから、“パッ”と見た印象が大分違うんですね。ブリヂストンタイヤは角が丸いけれどグッドイヤーはちょっと角ばっている。そういう部分をF1が好きな人っていうのは知らず知らずのうちに感じてますから、角を丸くしておかないとブリヂストンタイヤに見えないんです。それとF1のタイヤっていうのは特別なタイヤなので、表面の部分とサイドの部分の質感が全然違うんですね。


REPSOL
BENSON & HEDGES
s.Oliver

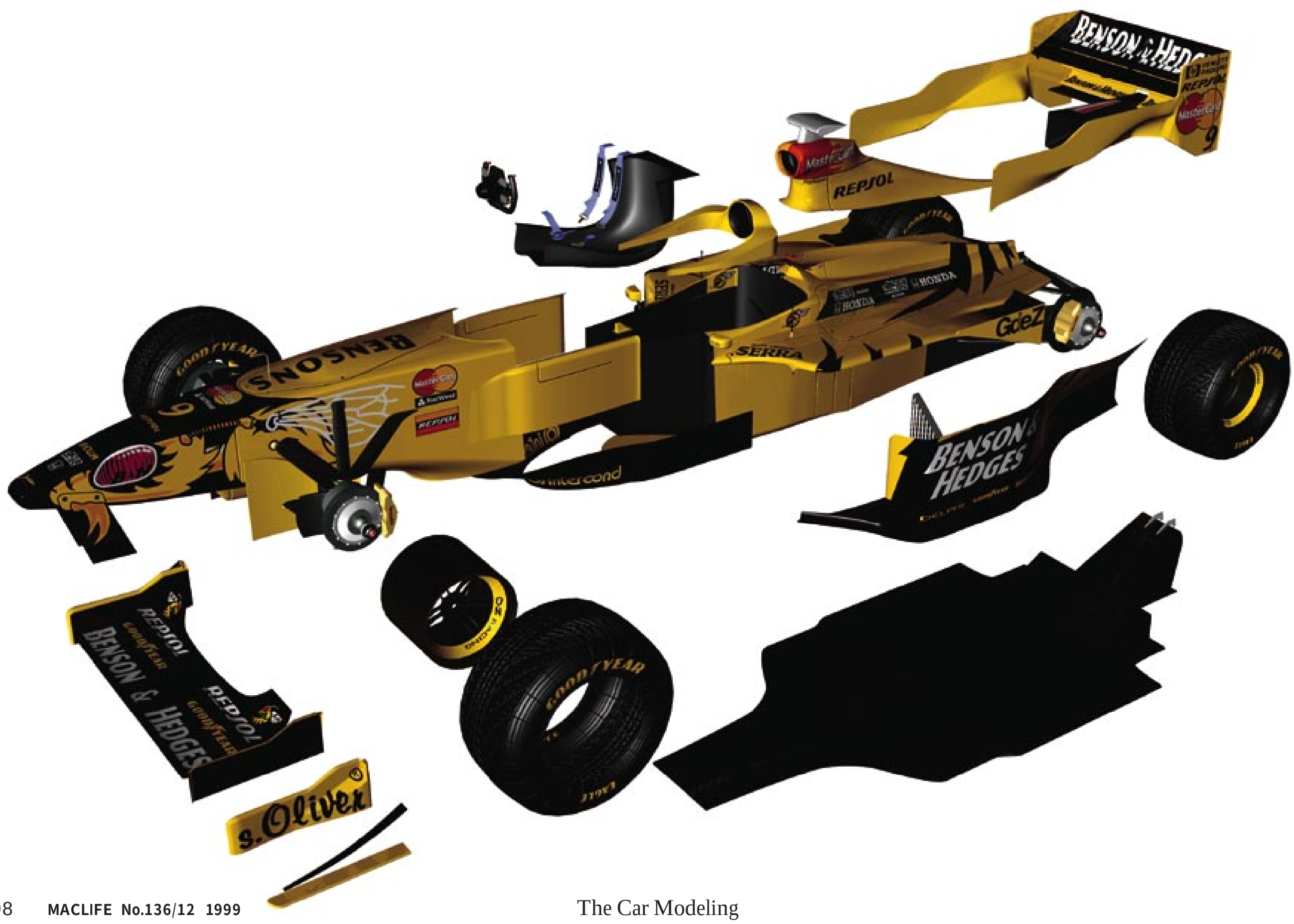
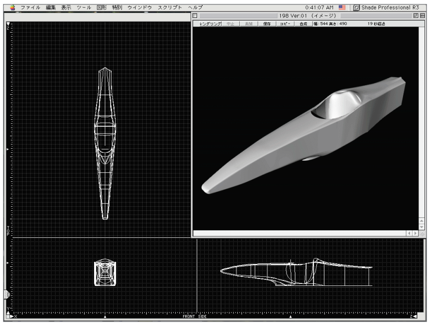
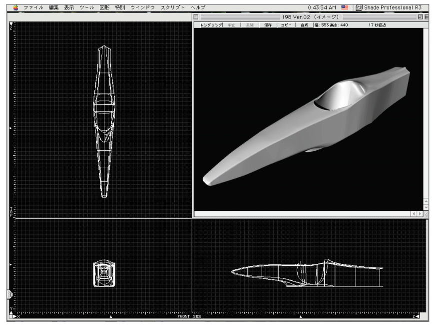

BENSON & HEDGES
REPSOL
SERRA
HONDA
GOODYEAR
BENSON & HEDGES
REPSOL
BENSON & HEDGES
s.Oliver

Figure 1



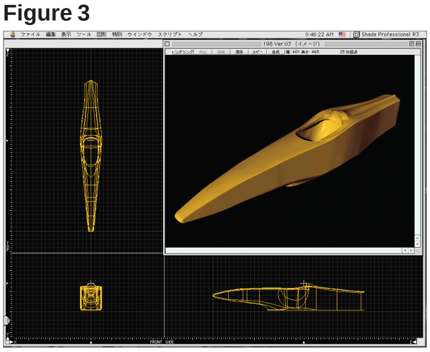
すべての基本となる部分なので、後々のモデリング行程を考慮しながらコントロールポイントを加えていく。コックピットの穴部分は折線ハンドルを鋭角的に曲げてくぼませている

Figure 2



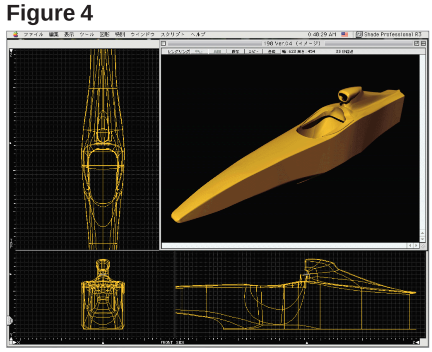
ベジェモデリングでは、コントロールポイントの位置や折線ハンドルの向きなどにより不自然な“皺”が発生することがある。これはその“皺”を修正しているところ

Figure 3



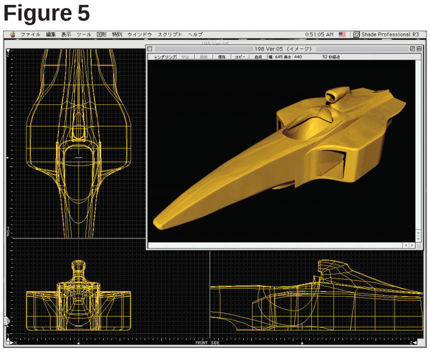
ドライバーの頭部を保護するプロテクターをコックピットの穴の周りに作成。その後部にはインダクションポッドがつくことを想定して形状を編集する

Figure 4



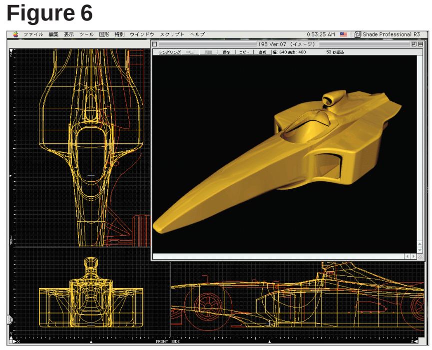
エンジンカウルとインダクションポッドが滑らかにつながるようにコントロールポイントの位置などを考慮してモデリングする

Figure 5



モノコックサイドの線形状をもとに、サイドポンツーンを作成。マッピング方法を意識したパーツ分割にする

Figure 6



ボディとサイドポンツーンをなじませる

それは年によっても違うんです。今のクルマは今のタイヤだし、昔のクルマは昔のもので違う。あと新品のタイヤと使い終わったタイヤっていうのも違うし、ドライタイヤとレインタイヤもまた全然違う色をしている。そのへんがいつも迷うところですね。

ビギナーへのお薦めはフェラーリ

――F1だと露出しているパーツが多いぶん作るのが大変ではないですか？

福永●まず難しいタイヤハウスがないという点で、僕はハコ物のクルマとフォーミュラカーだったらフォーミュラカーのほうが簡単だと思うんです。もしCGでクルマを作ってみたいという人がいて「最初に何を？」というのであれば、僕はF1を作ってみるのはいいんじゃないかなと思いますね。10年ごとぐらいにF1ってトレンドが変わってきたんですけれど、初心者の方は90年代前半ぐらいのフェラーリがいいかもしれません。というのは、80年代のターボ車の時代から今のハイノーズまで*4の間のクルマは、ボディカウルの中にエンジンが入っていますから。それと今のF1はすごく絵柄がデザインされているので、テクスチャーマッピングが難しい*5

Word explanation

＊1：Shade
ベジェ曲線によるモデリングが強力な、純国産3D CGアプリケーション。プロユースからホビーユースまでの製品ラインナップが豊富で、カーモデリングに使用するユーザーも多い。

＊2：最初は自分でも乗っているミニ
誕生から40年を数える英国の名車。時期によりオースチン、モーリス、オースチン・ローバー、ローバーといった製造会社の名称で区分けされる。日本でよく知られるミニクーパーの“クーパー”はスポーツタイプのシリーズ名。このミニを題材にしたShade用のチュートリアルCD-ROMがエクス・ツールス(株)より発売されている。

＊3：次に6輪タイレルを作りました
1976年第4戦スペインGPでデビューした史上初の6輪車。前輪を小さな4輪化することで空気抵抗を減らし最高速度を伸ばす目的で開発された。結果的にはコーナリングスピードの向上が目覚ましく好成績を残したものの、翌年にはデザイナーがチームを去りタイレルは開発を中止。現在のF1規定では車輪は4本と決められている。

＊4：ターボ車の時代から今のハイノーズまで
90年のティレル019で採用されたのをきっかけに、現在のF1はややフロントノーズが持ち上がって下側にウィングがつく“ハイノーズ”構造が主流になっている。それ以前の、前方に向かってノーズが滑らかに傾斜している構造をスラントノーズと呼ぶ。

＊5：すごく絵柄がデザインされているので、テクスチャーマッピングが難しい
Shadeではテクスチャーマッピングの位置設定が難しいため、複雑な形状に絵柄を貼るためには、事前に細かく分割するなどの工夫が必要になる。

んですけれど、ターボ車時代から90年代前半までは比較的そんなに模様がついていなくて一番作りやすいんです。フェラーリは昔から自分たちのマシンに関係するスポンサー以外を受け付けませんでしたから基本的にマークが少なくて、1個1個が模様ではなくただのマークなんですね。赤い胴体にシールを貼っていくだけでフェラーリに見えてくるので、最初にそういうのを作ってみるのがいいんじゃないかなと思います。



最高速の芸術品

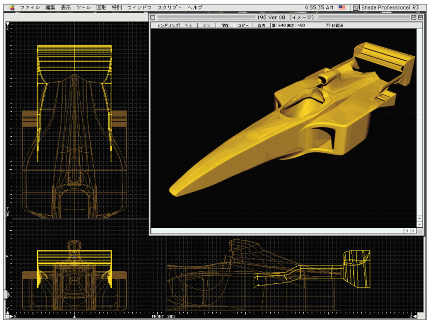
――ボディの映り込みの表現でこれまでに気づいたF1ならではのポイントはありますか？

福永●映り込みに関しては、やっぱりクルマの年代によって違うんですね。今のF1はピカピカですけれど、70年代のクルマは、塗装技術なのかはわかりませんが、ピカピカではないですよね。そういう意味では作りたいクルマの時代によってけっこう違うのかもしれませんね。ただ、実物を一度でも見たことがあれば、「あれは芸術品なんだ」っていうことが誰でも理解できると思うんです。たとえばフェラーリは真っ赤ですから、ほとんどの人はわからないと思うんですけれど、実車を見るとボディが風の流れを考えたものすごい起伏を持っていて、「こんなカタチしてるのか」っていうことがよくあるんです。平らだと思っていたところがそう見えていただけで実は曲面になっていたとか。

――福永さんはF1をCGで作るときに一番の見せ場として何を重視しますか？

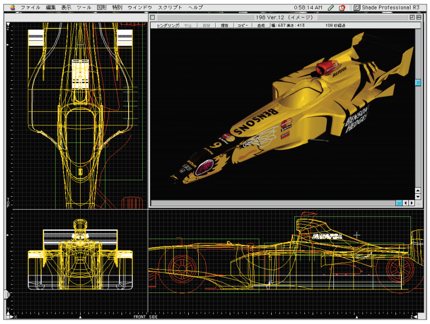
福永●僕はモータースポーツ全般が好きだというよりも、フォーミュラ・ワンというカテゴリーが好きなんですね。なんでかというと、ルールで「すべてのクルマはオリジナルでなければいけない」って決まっているんですよ。これってすごいことだと思うんです。市販のレーシングカーをベースにすることは禁止されているわけで、「全部自分たちで作ってきなさい」というのがフォーミュラ・ワンたる所以なんですね。そうなるとデザイナーという存在がすごく大きいんですよ。歴史的に有名なデザイナーっていうのは何人かいるわけですけど、やっぱり見ていると「この人はこういうデザインをする人なんだ」っていうのが分かってきます。たとえばフェラーリの黄金時代のクルマはみんな同じ人が作っていましたし、そうすると「この人はこういう形のクルマを信じていたんだ」ということが見えてきます。今は昔よりずっと研究が進んでいますから大体似たような形になっていますけれど、それでもやっぱり車体の上を流れる空気のことっていうのは、最後までは分からない。コンピュータ上の計算じゃなくてデザイナーの勘なんですよね。「自分はこういう形のほうが速いと思う」とか、そういうことです。だから今でも性能が違うわけで、最後はそういうデザイナーの勘でやっているから速いクルマと遅いクルマがある。で、速いクルマを作った人はやっぱりすごい人っていう、その人たちの存在を見てほしいですね。僕らはあるものを再現したくてやってるわけで、デザインしているわけじゃないですから。ただ、「ここのところがこうなっていると速いんじゃないか」と考えた人がいるんだというのを表現して、見ている人に少しでも「こんなものを考えた人がいるんだね」っていうのを感じてもらえるとうれしいですし、F1っていうものの見方がちょっと変わってくるんじゃないかなと思うんです。そういう点が僕はF1で一番面白いと思うし、やっぱり「人がやってることなんだな」っていうのを感じますね。

Figure 7



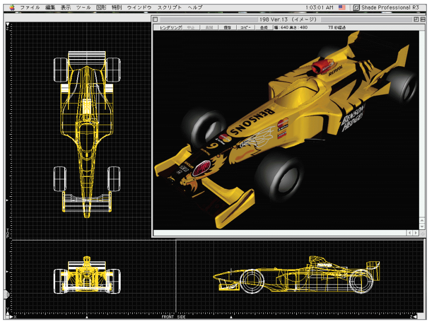
リアウィングは前方の整流板が3次曲面を描いているので、サイドポンツーンとのなじみに気をつける。モノコック上面に実車同様にふくらみをつける

Figure 8



この辺りから、実際にマッピングがうまくいくか試しながらモデリングを進めていく。三面図内の緑のラインはピクチャーマッピングの位置の目安で、レンダリングされないように設定してある

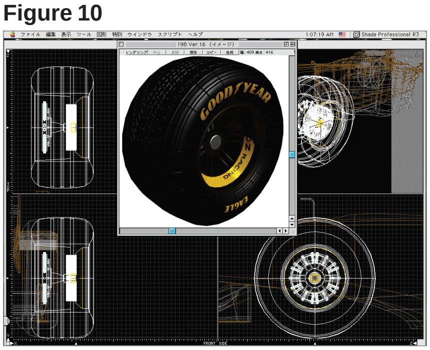
Figure 9



仮のタイヤを配置し、全体のバランスに間違いがないか確認する

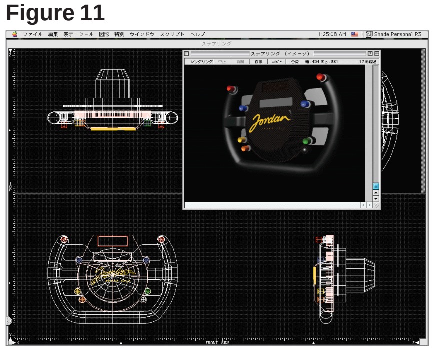


Figure 10



今回はウェット仕様なので、タイヤはグッドイヤーのレインタイヤをバンプマッピングで表現。レインタイヤはドライタイヤよりも黒々としていてトレッド面にも艶が多いという特徴がある

Figure 11



サスペンションや内装などのパーツを作って完成。ステアリングなどのパーツは別ファイルで作成し、後からインポートした方がオブジェクトの管理がラクになる場合もある

Figure 12



JORDAN 198の制作で用意したマッピング素材の数は、テスト用やバンプ素材などを入れると全部で80種類。すべてAdobe Illustratorで制作し、Adobe Photoshopでビットマップ化している。ピクチャー素材は、最初からペイントソフトで描いても構わないが、ドロー系のソフトで元素材を作っておくと、のちのち高解像度のレンダリングが必要になったときに対応しやすい、スポンサーロゴなどの流用がしやすい、などという利点がある

Information

●Shadeシリーズのラインナップ

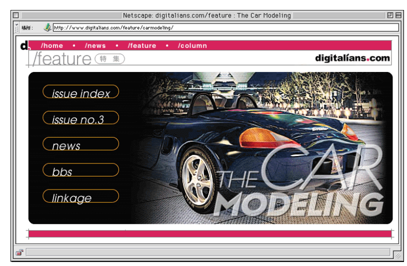
Shade Professional R3／148,000円
Shade Personall R3／49,800円
Shade Debut R3／23,800円
iShade／9,800円

入門モデルのiShadeから順に、Debut以上ではアニメーション機能、Personal以上はプラグイン／スクリプト機能、Professionalではネットワークレンダリングやサイズ無制限のイメージ作成機能（Personal以下は4,000ピクセル角）などを搭載。11月26日にはShade DebutはR4に、iShadeはmyShade 2としてそれぞれバージョンアップ。サブディビジョンサーフェスを実現するポリゴンメッシュの角の丸め、メタボール／メタキューブ／メタシリンダー、ブーリアンモデリングのほか、疑似コースティクスや収差表現などレンダリング機能も強化される。

問い合わせ：エクス・ツールス（株）／092-722-4552　http://www.ex-tools.co.jp/

●The Car Modelingバックナンバー

MACLIFE 9月号『ニュービートル』：諫山 洋
MACLIFE 10月号『アルファ156』：戸澤 徹
MACLIFE 11月号『ポルシェボクスター』：波戸井ヒロアキ



『The Car Modeling』専用ホームページ
http://www.digitalians.com/feature/carmodeling/

Chapter 1 プログレスインジケーター

今回必要なもの

●GirlTalk final
（今月号のCD-ROM MACLIFEに収録）

●S'Preview v1.3
（今月号のCD-ROM MACLIFEに収録）

●ResEdit
Appleが配付しているリソース編集ツール（ftp://ftp.apple.co.jp/pub/AppleJapan/Macintosh/Utilities/からダウンロードして下さい）

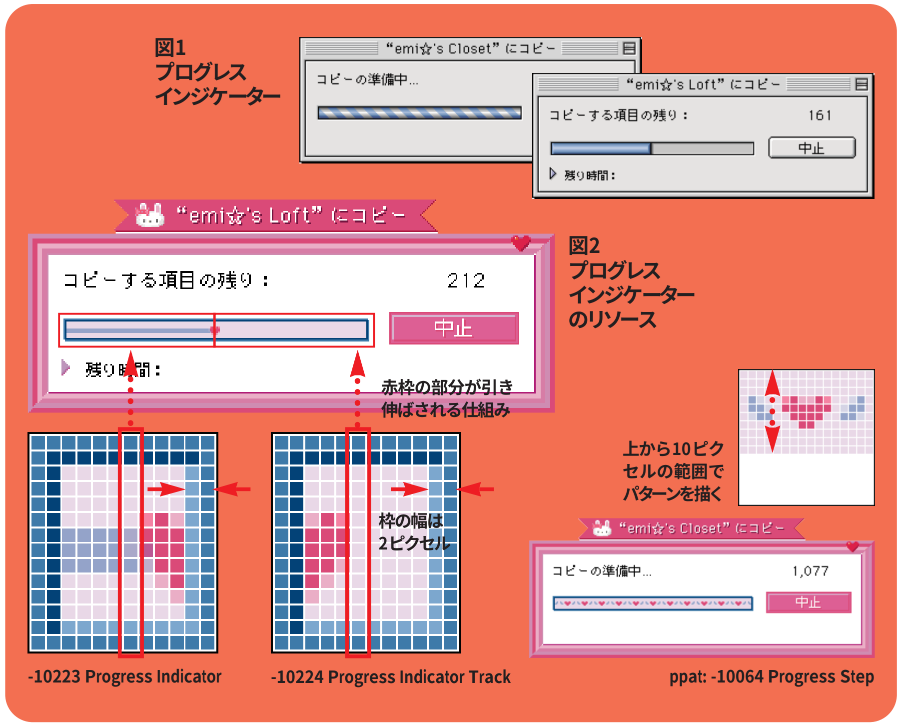
初めましてのかたへ

私のHP（http://cwaweb.bai.ne.jp/~emi/）にバックナンバーがあるので参考にしてね。

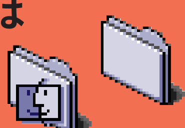
いよいよこの連載も最終回。完成までまだちょっと根気がいるけど、どれも簡単なものばかりだから最後まで頑張ってね！　いいスキームができたら、私にもぜひ使わせてほしいナ。

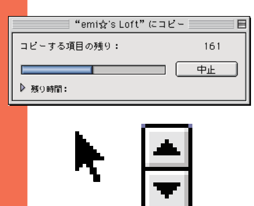
リソースID
cicn
-10224　Progress Indicator Track
（外枠と空の部分）
-10223　Progress Indicator
（外枠とバーの部分）
ppt
-10064　Progress Step（準備中状態）

どの部分がどのリソースなのかは図2を見てね。GirlTalkのインジケーターは、バーの先端にハートを入れてみたよ。



今月の課題は コレ 最後のまとめ 細かいもの





デスクトップカスタマイズユーティリティKaleidoscopeを使っていると「どれも素敵なスキームなんだけど、もっと自分好みのものってないのかなぁ」などと思うことはありませんか？
ちょっとした基本さえ押さえれば、誰にだって作れてしまえるのだ！
ここでは、超初心者向けにスキームの作り方を説明していくつもり。
誰だって最初は初心者、難しく考えないで一緒にやってみよう！



イラストレーション：佐々木亮

Kaleidoscope Color Scheme *簡単作成講座――最終回*



一緒にスキーム作りましょう

ResEditでタブなどの細かいもの編

CD-ROM Sample

emi☆

-10224　Progress Indicator Track

枠の幅は2ピクセル。左から6ピクセルの部分が引き伸ばされる仕組み。他の部分はそのまま表示されるのでワンポイントなどを描くことができる。

-10223　Progress Indicator

これも枠の幅は2ピクセルで、左から7ピクセル目が引き伸ばされる。他の部分でワンポイントを描くといっても、あまりにも範囲が狭いので使いものにならないよね。でも、-10224と合体させると少しは使える。GirlTalkは幅6ピクセルのハートを真っ二つに切って、それぞれに描きました。

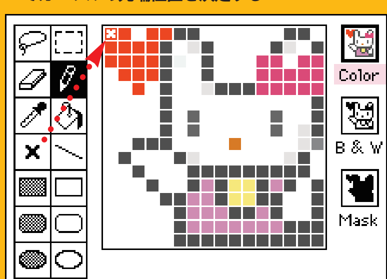
-10064　Progress Step

これはpptのリソース。書いたままパターン化されて流れるので、好きなデザインに描き換えてみよう。パターンサイズは16×16を選択し、そのなかの上から10ピクセルまでを使用。

図3　crsrリソース

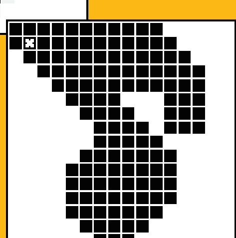


×でカーソルの先端位置を決定する



×でカーソルの先端位置を決定する





このカーソルの場合、黒の背景だと見えなくなってしまうので、マスクを1ピクセルぶん大きく描く必要がある

図4　カーソル

Chapter 2 カーソル

crsrリソースを開いてみて？　図3のように4つのカーソルが並んでるよね。

リソースID

-20488　Context Menu Finder Cursor

（コンテクストメニューを開いたときに出るカーソル）

-20487　Make Alias Finder Cursor

（Option+Command+ドラッグでエイリアスを作ってるときに出るカーソル）

-20486　Dupicate Item Finder Cursor

（Option+ドラッグでコピーを作ってるときに出るカーソル）

0　Custom Arrow Cursor

（通常時のカーソル）

これはどれも見たまま表示されるので簡単。といってもサイズの変更はできないので、この限られた小さな範囲で描かなきゃいけないの。

×印はカーソルの先端位置を示すものなので、それらしい位置に設定しよう（図4）。注意点はその先端位置のまわりの部分。先端の色と背景の色が同じものだとカーソルが見えなくなってしまう。そうならないように、先端のまわりだけでもいいので、マスクを1ピクセルぶん大きめに描ておく工夫が必要なの。

Chapter 3 カスタムアイコンたち

フォルダーや書類アイコン、システムフォルダの中のアイコンを作るんだけど、これってだんだん眠たくなってくるリソースだと思う。とにかく似たようなものばかりなのに数が多い。

icl8とics8を開いてみよう。icl8は通常サイズのアイコンで、ics8はスモールアイコン（図5）。ダダダっとたくさんのアイコンが並んでるけど、面倒ならこのicl8などのアイコンリソースは作らなくてもいいよ（そのときはMac OSのオリジナルアイコンが代用される）。

ゆるやかなカーブなんかを描くとギザギザが目立つことがあるけど、そんなときは中間色を埋め込んだりして誤魔化してみると、マシに見えるのでやってみて（図6）。

あとicl4、ics4の16色のアイコンと、ICN#、ics#の白黒アイコンは最初から作らない作者もいるぐらいなので、あんまし気合い入れて作らなくてもいいと思う。ただし、アイコンのマスクはきっちり作ること。

▼アイコン作りでとても参考になるホームページがあるので、こちらも参考にしてね。
Hide's Software Download（http://www.vcnet.com/hide/）

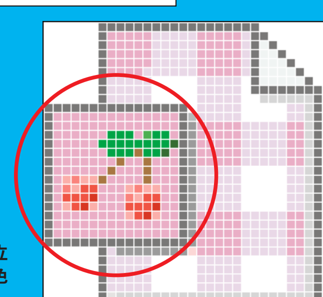
図5　カスタムアイコン



図6　アイコンの丸い部分の処理



カーブの部分でギザギザが目立つ場合。中間色などを使い、色で表現するとうまくいく



Chapter 4 clut

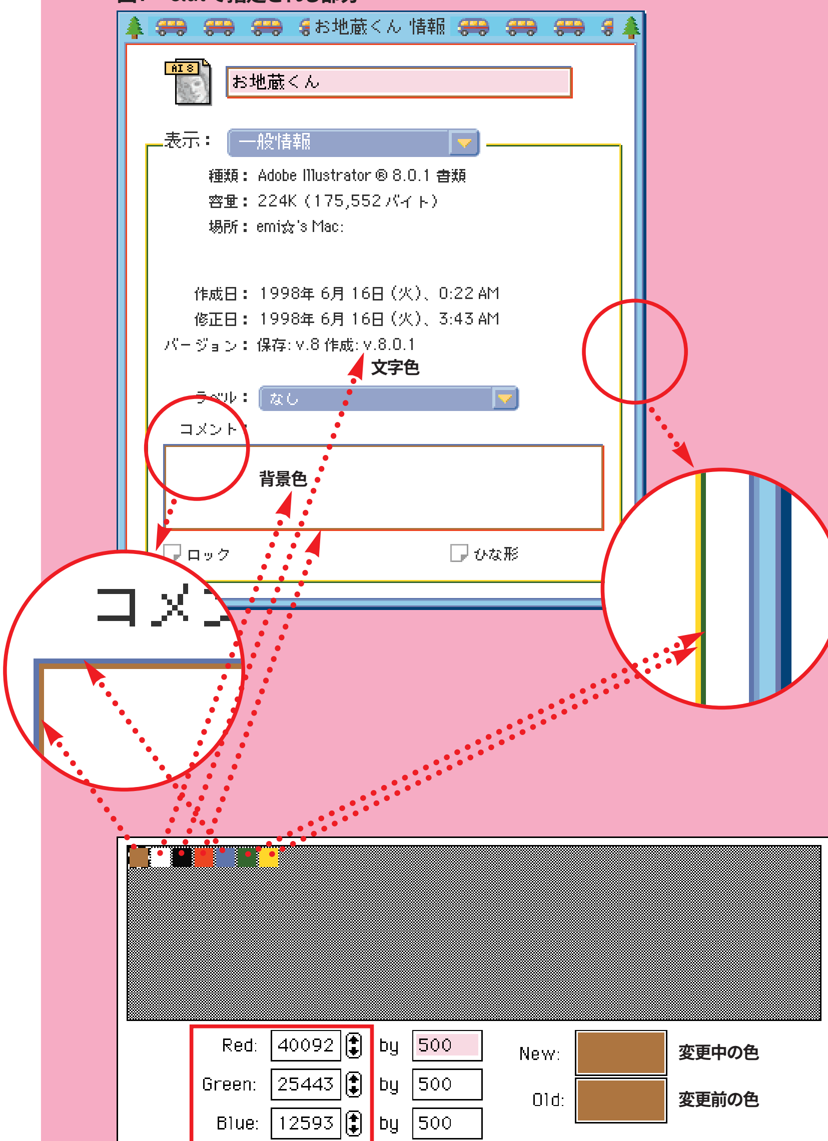
これはダイアログウィンドウなどの中の、ラインや文字、背景の色を設定するリソース。

「情報を見る」のウィンドウで確認してみよう。kindergartenというスキームのclutをわかりやすい色に変更してみたのが図7。

図7でclutというリソースの不親切さがよくわかる!?色が並んでるだけじゃどれがどのラインの色になるのかわからないよね。それぞれ、矢印で示しておいたのでちゃんと覚えてね。

色はRed、Green、Blueの数値入力で決定するんだけど、ややこしいって人はD'studioを使うとスポイドで色を決定できるようになってるので試してみて。

図7　clutで指定される部分



Chapter 5 小さな矢印ボタン

コントロールパネル書類の日付 & 時刻などを出したときに表示されるボタン（図8）。サイズは縦23ピクセル×横13ピクセルで、上から12ピクセル目を境に上下の矢印ボタンを描こう。インアクティブ状態と上下それぞれを押したときのものも作るのでリソースは全部で4つ（図9）。

-10048　Inactive Little Arrows
-10047　Little Arrows
-10046　Pressed Up Little Arrow
-10045　Pressed Down Little Arrow

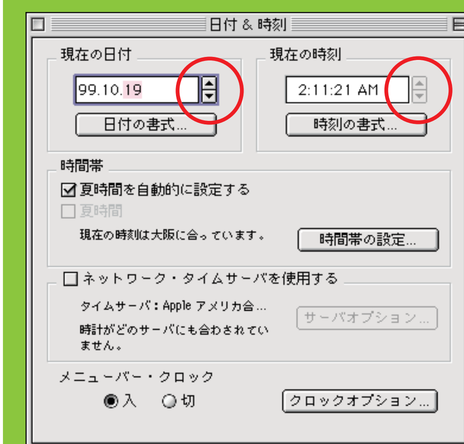


図8　小さな矢印ボタン



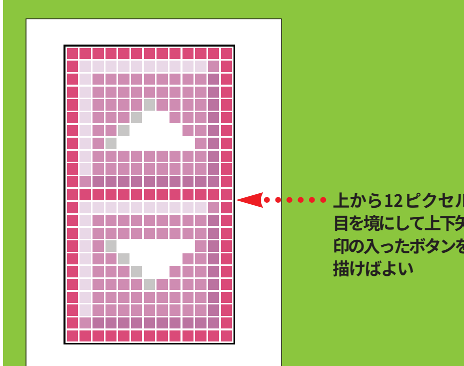


図9　小さな矢印ボタンのリソース

Chapter 6 オリジナルブランドの証し!?

vers、STR#

これらのリソースでは、そのスキームの名前やバージョン情報を入れる。特に、STR#に入れたものは「情報を見る」やKaleidoscopeの設定ウィンドウで表示されるので、忘れずにちゃんと入れておこうね（図10）。

STR#
NumStrings
1　　スキームの名前
2　　コメント（2行ぐらいにしよう。長いと切れてしまうヨ）
3　　URL（Kaleidoscope設定ウィンドウでクレジット画像をクリックするとなんと、ここで設定したURLにジャンプする仕掛け！）

PICT　-14336

Kaleidoscopeの設定ウィンドウで表示されるスキームのクレジット画像。スキームの名前やイメージをレイアウトして、このリソースにペーストしよう。GirlTalkのこの画像サイズは172×65ピクセル（図10）。



図10　クレジットなど

Chapter 7 プレビューアプリ

スキームを作ってて「これって実際は、どんな風に表示されるんだろう」って思うことがあるでしょ。そんなときは、プレビューアプリケーションを使うと便利。

私がいつも利用しているのは、CD-ROM MACLIFEに収録したフリーウェアのS'Preview（秀麗さん作）というもの。作ってるスキームをダブルクリックで使用状態にし、S'Previewを開くと図11のようにプレビューしてくれる、すごく便利なアイテム（ただし、図11のプレビューは一例で、タブのset1、set2、pref.を選ぶとそれぞれ違ったものが表示される）。他の作者の手によるプレビューアプリもいろいろリリースされているので、「このリソースって、どこで使われてるのかな?」と思ったら、どんどん利用してみよう。



図11　S'Previewによるプレビュー

Chapter 8 最後に

とにかく、いろんなスキームを開いてみること。自分のスキームにないリソースを見つけたらそれがどんなものなのかを把握し、どんどんコピーさせてもらってバージョンアップを図ろう！　自分でどうしてもわからない場合は、スキーム作者に相談してもいいだろうし、メーリングリストに参加して情報をゲットしてもよい。

スキームが完成したときの達成感、Webで配付するときの緊張感、初めて感想メールを貰ったときの嬉しさ、みんなも味わってほしいな☆

本当に長い間、お疲れさまでした。またお会いしましょ〜ね！

スキーム関連サイト

●Japanese Scheme Archives
http://www.schemers.gr.jp/
日本人の手によるスキームを紹介してくれることで有名なんだけど、スキーム作成やツールの情報もかなりのもの。

●desktopmania
http://www02.so-net.ne.jp/~jinsan/desktop/mania.html
デスクトップカスタマイズのカリスマ！　Jinさんのページ。作成講座も是非見て欲しいし、ハイレベルなスキームはemi☆の憧れ!

●Labyrinthe Noir
http://www.biwa.ne.jp/~hideki/
Scheme Factoryのページを読めば、こった面白いスキームが作れるようになるよ！

●KZ's Weekend Laboratory 3rd Season
http://www.kt.rim.or.jp/~_k_w_l_/
とても親切な中級講座があるの！　使いやすいスキームを目指すならぜひ読んでみて！

●Apple Mecanique
http://www2.odn.ne.jp/qwer/
Macなポータルサイト。スキーム作成者によるメーリングリスト「日本乃隙間達」はここから参加できる！　これから作ってみたい人でも参加OK。

プレステ2開発ツールで描くソニーの将来像

グラフィックワークステーションの新しい価値を生み出すPS2

山名一郎 ジャーナリスト

前号に引きつづき、今月号もソニー・コンピュータエンタテインメント(Sony Computer Entertainment.Ink以下、SCEI)のプレイステーション2(PS2)について考えてみることにしたい。先月号では、非常にすぐれた3DCGプレーヤーとしての、そしてDVD-Video普及の起爆剤としてのPS2の実力と可能性について注目し、さらに家庭内におけるデジタル機器の中核的存在になる可能性を秘めている――というところまで述べて紙幅が尽きてしまったのだった。

SCEIはSGIを目指す？

プレイステーションの現行モデルであるPS1が発売されたばかりの1995年ごろ、同機の、当時としては並外れたグラフィックス性能に驚嘆し、思わず以下のような“夢想”をしたことがある。PS1を10台くらい買ってきて、それを並べてグラフィック処理をさせれば、わずか数十万円程度の投資で、Macintoshの性能をはるかに超え、それどころかSilicon Graphics（SGI）のハイエンドさえ上回るモンスターマシンを出現させることができるのではないか、と。

むろんそんなモンスターマシンなど、あくまで1ユーザーが思い付いた、奇妙なアイディア以外のなにものでもなかった。しかしPS2をめぐる報道から、実はSCEIがその“モンスター”に本気なのだということを知ってひどく驚いた。「SCEIがSGIを目指す」というのだから。

もっとも、だからといって、PS2（テレビゲーム機＆DVDプレーヤー）がSGIの、たとえばO2やOCTANEのようなマシンに変身するわけではない。その仕掛けとは、PS2のエンジンをベースにした“PlayStation2 TOOL”（DTL-T10000）という、Linuxで動作する開発マシン*1をグラフィックスワークステーションに相当させようというものだ。

同TOOLはすでにロードマップが明らかにされている。2000年にはDTL-T10000比10倍、2002年には同100倍、2005年には同1,000倍（10×10×10倍）も性能を向上させたモデルが投入されていくことになっている。単純にいうと、あの“18ヵ月で2倍＝3年で4倍”の「ムーアの法則」を上回る超ハイペース！

すごいワークステーションが登場してくる。

プロのためのSGIと、万人向けのSCEI

それでいったい、SCEIはこの新種のグラフィックワークステーションPlayStation2 TOOLになにをさせようというのか。

PS2用やWebなどのコンテンツと製作する程度の目的だったら、「SCEIのワークステーション」にニュース的価値などあるわけがない。重要なのは、まずは放送や映画といった業務分野への“TOOL”の3Dグラフィックス技術の応用・展開であり、さらに将来的には、高速ネットワークを介したインタラクティブゲームやコンテンツ配信用の高性能サーバといったことも挙げておかなければならないだろう。

CM制作を含む広義の放送事業（映像制作）において、3Dグラフィックスは欠かせないテクノロジーになってきている。映画製作においては言うまでもなく必須だ。これらの分野間を横断するかのように“TOOL”が投入される――ということは、放送機器の世界的な巨人ソニーと、ソニー・ピクチャーズエンタテインメント（SPE）、および『Godzilla』や『City of Angels』といった作品のSFXで知られるビジュアルエフェクツ会社Sony Pictures Imageworksの、技術や知識、経験、ノウハウなどのいっさいが、非常に濃密に混交していくということにほかならない。

これらは、事業分野としては明らかに現在のSGIのそれと一部重なってくる。「SCEがSGIを目指す」と言ったのも以上の理由からだ（もっとも、SGIにはCAD／CAMなどのエンジニアリングや科・化学のビジュアライゼーションなどの事業分野もあるのだから、“TOOL”がSGIの育ててきたマーケットをすべて奪い取ろうとしているわけではない。念のため）。

クレイ社の買収が重荷となってか、以来いまーつ元気がなく、Windows NTへの参入もだいぶ遅れてしまい、参入したときにはLinuxの勢いに直面してしまったSGI……。同社にとって初のコンシューマー進出と期待されたゲームの分野は、Nintendo64こそ任天堂との共同開発だったものの（製造はNEC）、2001年に発売される任天堂の次世代機Dolphin（と、Dolphinからスタートするデジタルネットワーク家電戦略）の提携先を松下電器に奪われてしまったSGI……。

ユニークな企業であっただけに、ぜひとももう一度、元気を取り戻してほしいと願っているそういうSGIと、これまで述べてきたSCEIとのいちばん大きな違いは、新しい事業の芽をどれだけ潜ませているのか、ということではないだろうか。

SGIの事業は、確かに、放送や映画においては高度な製作支援ができるものの、必ずしもエンドユーザー（視聴者や観客）がSGIの技術の恩恵を直接受けられるわけではない。SGIはあくまでプロフェッショナルのための道具であり、放送や映画の質や事業の根が変わらなければ、SGIのビジネスモデルも変わらない。視聴者や観客は、SGIにとって「顧客外」なのだ。

その「顧客外」を取り込もうとしたのが任天堂との提携だった――のかもしれないが、任天堂にしてみれば、SGIは外注先の一つであり、事実、次世代機でSGIが選外になったことは上で見たとおりだ。クライアント（任天堂）が変わらなければ、SGIも変わることはできない。

ところがSCEの場合、エンドユーザーこそが彼らのもっとも重要な顧客である。これがSGIとSCEとの根本的な違いの第一点目だ。第二点目は、ビジネスモデルをSCE自身が構築していくことができるということだ（ゲームのビジネスモデルは任天堂がつくったものであるにせよ……）。

*1「PS2のエンジンをベースにした“PlayStation2 TOOL”(DTL-T10000)という、Linuxで動作する開発マシン」：PS2用プログラムの実行やデバッグのための動作モードに加えて、Linuxベースのワークステーションとしても使用できる。ネットワーク対応のソフトウェア開発の対応を第一に据えつつ、PS2と同様の環境でグラフィックスが制作できる点も特徴とする。

デジタル放送のプラットフォーム

最先端の技術をエンドユーザーに向けて直接提供するエンターテインメントのビジネスで、幸いにも彼らに圧倒的に支持され、その上で収益構造（ビジネスモデル）を提供者自らが自由に構築することができて、かつ、“TOOL”という高性能なワークステーションを介し放送技術や映画製作と混交していくということはいったいどういうことなのか。ひょっとして、たまたまこの瞬間は、SGIの一部の事業分野と重なっているだけで、SCEのPS2は何か別の地平を目指しているのではないだろうか――もし読者の方がそう感じたなら、その感覚はきっと正しいはずだ。

こんなことが考えられる。

それは「たとえばソニーファミリーのSPEが制作したフルデジタルムービー（ムービーといってもフィルムではない。劇場公開向け高画質・高音質デジタルコンテンツ）を、SPE自身が、衛星や高速通信回線を通して全世界の各家庭に同時に配信してしまう」というような仕掛けである。

これが決して非現実的ではないのは、一部のハリウッドの映画会社や制作会社はこういう形態の配信を真剣に描いているからだ。むろん、いまのままでは既存の劇場との間で大きなトラブルになるのは間違いない。だとすれば、劇場用は高画質（HDTV以上）、高音質（5.1チャネル）で、家庭に向けては現行放送並みの画質と2チャネルで、というふうに品質に差をつけて伝送すれば文句は出ない（はずだ？）。こういう芸当はデジタルならではの強みである。

そして、家庭に設置される受信端末はこの場合は当然PS-x（PS3以降になっているだろう）。インタフェイスはIEEE1394、家庭に引き込む回線には高額なNTTは利用せず、CS（Sky PerfecTV!）か、もしくはWLL（Wireless Local Loop）だ。

こんなふうに改めて“夢想”してみると、エンターテインメントをテレビ、ゲーム、映画といったように分けるのはまったく無意味なように思えてくる。また、いまの例のように、映画会社が直接全世界の家庭に向けて封切ったり、同じように、スポーツやコンサートなどを現地の事業者（プロモーターなど）が直接配信できるようになったりすると、現行のテレビの事業モデルはいったいなんなのか、BSデジタル、地上波デジタル放送の位置づけはどうなっていくのか、という気になってくる。

そして、私たちがこの話にそれほど驚かず、またあながち“夢想”ではもないと感じるのは、すでにインターネットのモデルにおいて、IP（インフォメーションプロバイダー）とエンドユーザーとが直接結びつくことを体感しているからである。要するにここに示したのは、家庭までの回線がいまよりもずっと高速化され、PS-xとテレビが接続される、というだけの話でしかない。

最も現実的な PS2のセットトップ化

むろん、PS2が発売される来春にこのようなサービスが提供されるわけではない。だがSCEIは2001年をめどに“e-Distribution”と呼ぶビットコンテンツの配信サービスを予定しているから“夢想”に一歩ずつ近づきつつあることがよくわかる。広報資料に「ゲーム配信」という文字がいっさいないのが象徴的だ。それは、映画配信は当然として、さらに、まだ私たちが一度も体験したことのない、リアルタイム3DCGを駆使した新しいデジタルエンターテインメントの出現を十分に予感させるものであるからだ。

ちなみに、PS2をe-Distribution仕様にするには、ケーブルモデム（Ethernet接続）とハードディスクを追加しなければならない。CATVの加入者が少ない日本においてケーブルモデムというのは意外*2だが、PS2をきっかけにCATVの事業者や加入者が増えるなら、PS2の効果は絶大ということになる。考えてみると、まだ発売されていないのにもかかららず、すでにPS2はDVDに明るい未来を約束したという実績をすでに持っている。とすると、Macintoshを除くとPCへの搭載が進まないIEEE1394も、PS2の採用を機に一気に搭載が進むかもしれない。PS2の効果はすでにさまざまなところで出はじめているといっていいだろう。

PS2はこのほかUSBやPCカードスロットも備えている。通信機能をもち、ハードディスクが接続でき、IEEE1394とUSBがあって、さらにDVD-ROMドライブとMPEG2のデコーダーを装備したということはPCなのか。PCとは違う、新しいデジタル機器というべきかもしれない。

近い将来、このデジタル機器はどのくらい普及しているのだろうか。

PS1はおそらく現在、ワールドワイドで6,000万とか7,000万といった台数が発売されているはずである。PS2の場合、PS1よりもはるかに前評判が高いから数千万台はすでに約束されており、早々に5,000万台を突破し（ひょっとすると1億台も超え）てしまうかもしれない。

2005年頃にはそういうおびただしい数のPS2というデジタル機器が世界中の各家庭にあり、テレビセットに接続されているという可能性はきわめて高い。純粋にゲーム機であったPS1と違って、PS2は家庭内の情報機器にもなりうるのだ。

そしてももしもこのときのビジネスモデルもSCEの思いのまま、ということだと、SCE（ソニー）は現在のマイクロソフトをしのぐ存在になっていてもまったく不思議ではない。 おそるべしソニー。逆に、ドリームキャストやDolphinには、いまの時点ではそういう「すごみ」が感じられない。

なお最後になりましたが、ソニーの創業者・盛田昭夫氏に深く哀悼の意を表します。戦後、井深大氏と盛田氏がソニーを創業しなければ、21世紀の我が国（のエレクトロニクス産業）に明るい展望を描くのはおそらく困難――どころか不可能だったでありましょう。ここに謹んでご冥福をお祈りします。

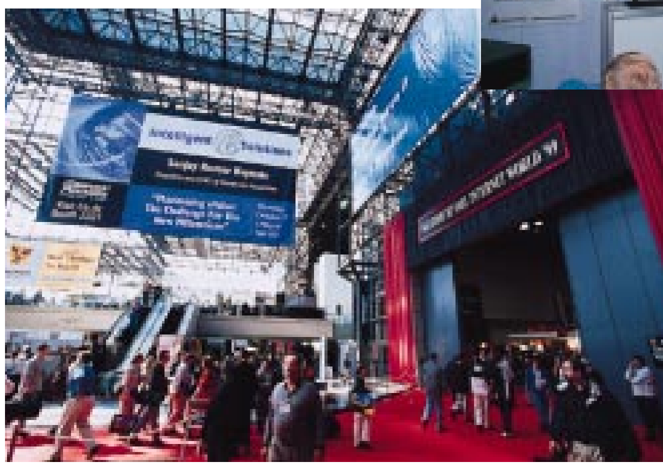


*2「CATVの加入者が少ない日本においてケーブルモデムというのは意外」：高速回線が必須という理由からケーブルモデムがチョイスされたらしい。

Fall Internet World '99開催
広帯域接続の普及に焦点
http://events.internet.com/fall99/



あのCU-SeeMeがWeb対応版として復活。出展ソフトの優秀賞を獲得した



5日間の期間中、来場者は50,000人を超え、出展社数は800社以上に上った

10月4日から8日までアメリカ・ニューヨークのジェイコブ・ジャビッツ・コンベンションセンターにおいてインターネット業界最大の展示会、Fall Internet Worldが開催された。

800社以上が出展し、5万人以上が集まったこの展示会でキーワードの一つになっていたのが、右ページで紹介しているDigital Hollywoodと同じく「広帯域通信*1」。こちらの場合はコンテンツよりもソフト、ハードなどを含めインターネット業界全体をカバーしているところが特徴だ。

最終日の8日に基調講演を務めたQwest CommunicationsのJoe Nacchio会長兼CEOはそのなかで、「現在広帯域接続を普及させることに焦点を絞っている」と語り、すでに発表されている地域電話会社、US Westの買収について、DSL*2接続のビジネス経験と通信インフラを得たかったためだと説明した。

またその前日の7日に基調講演を行なった地域電話会社ベルアトランティックのIvan Seidenberg会長兼CEOも「広帯域接続がすべてを変える」と言い切り、DSL普及への意欲とその影響力の大きさを示した。

そんななか別の意味であいかわらず強気な発言を行なっていたのがオラクルのLarry Ellison会長。クライアント／サーバーシステムはデータ分散を招くので事態をさらに複雑にするという点から、マイクロソフトを批判した。が、この内容は聞きなれたものであり、新鮮味に欠けたのも事実だ。ただし、その後の参加者との質疑応答で「いつもどのオンライン・デートサービスを使っているのか？」「普段使用しているコンピュータは？」という質問が出たのはこれまでになかったこと。ちなみに回答はそれぞれ「(苦笑いしながら）デートサービスは使ったことがない」「一時期PCも使ったが、Macに戻った」だった。

展示会場だが、やはり目についたのはDSL接続サービス。ベルアトランティックなど地方電話会社のほか、長距離電話会社のスプリント（展示会直前に買収された）と大手プロバイダーEarthlinkの共同サービスなど、さまざまな企業が個人・企業向けに市場参入しており、すでに価格競争が始まっていることを実感させた。これはちょうど3、4年前のプロバイダー・ブームを思い起こさせた。

また、DSL自体も個人、SOHO向けのADSL、企業向けのSDSLと色分けがはっきりしているようだ。

またインターネットでの新サービス、新ビジネスの出展もあいかわらず多かった。たとえば、monster.comは、Webでリクルーティングを行なう企業。アメリカでは好景気も手伝って今年に入り、Webで人材を探すこの手の業種は飛躍的な発展を見せている。

これまでなかなか日の当たらなかったコンテンツを大きなビジネスにしようとして注目されていたのがatomfilms。短編映画をWeb中心で宣伝、配信し、映画館やファンへのプロモーションやビデオ、DVDのオンライン通販などにつなげていこうという企業だ。

また、古くからのインターネットユーザーにとっては少し懐かしく感じられたのがWhite PaineのCU-SeeMe Web。あのビデオカンファレンス・ソフトがWeb版として再登場したのだ。今回の製品からはサーバーにインストールすることになる。これも広帯域接続をにらんでの再登場といえるかもしれない。

広帯域接続という新風によって、インターネット業界の進歩の勢いが一向に衰えていないことを実感した展示会であった。

（Fumitoshi Watanabe／渡辺史敏）



今回のホットな話題のひとつがDSL接続サービスの本格化。多くのプロバイダーが参入している



自社のイメージカラーであるパープルのiMacを展示に使っていたのはオンライン人材募集企業のmonster.com



小さなブースながら常に人が集まっていたのが、シアトルに本拠を置くatomfilms。短編映画のプロモーションを行なっていた

*1 広帯域通信：映像配信などを対象とした高速通信。*2 DSL：Digital Subscriber Lineの略。1.5 M ～9.2 M bpsのデータ伝送を実現するADSL、160 kbps ～2 Mbps のデータ伝送を実現するSDSL などがある。

エンターテインメントイベントDigital Hollywood開催
ビジネスモデルの確立が課題

http://www.digitalhollywood.com/



広帯域接続では、映像、音声などの高品質なストリーミング・サービスが普及しそうだ。リアルネットワークスはその担い手となるか

DTV Summitの様子。DTV普及に向けての取り組みが話し合われた。先は長そうだ



9月27日から30日まで、アメリカ・カリフォルニア州ビバリーヒルズのビバリー・ヒルトンにおいて、インターネット、エンターテイメント、家電、コミュニケーションと幅広い業界から関係者が集うカンファレンス、Digital Hollywoodが開催された。

そのタイトルが示すとおり、主にデジタルメディアでのエンターテインメント展開が話し合われるのがこのカンファレンス・シリーズの特徴で、今回大きなテーマになったのは左ページのInternet World同様、「広帯域接続」。DSLやケーブルTV網を使った広帯域によるインターネット接続の普及をにらみ、それを利用することでどんなエンターテイメント・ビジネスが考えられるか、特に映画・TV・音楽といったコンテンツ業界関係者により熱い議論が闘わされた。ここではその中でトピックとなっていた項目をいくつか紹介していこう。

まずどの参加者も熱心に語っていたのが「ビジネスモデルの模索」だ。これは要するに広帯域接続でどのような形でコンテンツを提供し、そこからどのように収入を得るか、方策を探しているということ。「インターネットとTVの融合」が成されるとして、ただTV番組のストリーミングを行なうというだけでは収入につながらない。TVのコンテンツとインターネットのコンテンツの何をどう融合させればお金になるか、ということがまさに模索段階にあるのだ。

そんななか、すでに成功している例として盛んに取り上げられていたのが人気プロレス団体、ワールド・レスリング・フェデレーション（WWF）のWeb（http://www.wwf.com/splash/）展開。同団体はファン向けに、Web上でグッズを販売するだけでなく、さらに試合のTV未放送部分をペイパービュー*1方式でストリーミングするなどして、かなりの売上を上げている。Webでファンの望むものがすべて揃う、という展開が一種のお手本になっているようだ。

また、ビジネスモデルとならんでトピックとなっていたのが「品質」である。ダイアル接続などでこれまで小さなウィンドウでろくに動かないビデオストリーミングを見させられてきたユーザーはもちろん、その品質ではペイパービューをはじめ、送り手側も収入につなげにくかったのは当然だ。広帯域ならば現行のTVに近い画質のビデオを流すことも簡単なので、この点は解消されそうだが、実はそうでもない。高品質のコンテンツ制作にはそれなりのコストがかかるのだ。この折り合いをどうするのか、制作側にとっては頭の痛い問題のようだ。

さらにちょっと意外でもあったのが、「ブランドの確立」というテーマだった。たとえば、NBCやMTVはアメリカを中心によく知られたTV局としてのブランド・イメージを確立しているものの、それはインターネットの世界のイメージではないということ。Yahoo!などのように世界に認識されるインターネット・ブランドを再度作っていかなければならないという認識が、特にTVや音楽業界にはあるようだ。

このほか、ビデオ視聴料など小額のオンライン支払いをどうするかといった「マイクロ・ペイメント問題」や、MP3ブームに端を発する「違法配布対策」なども盛んに話し合われていた。

さらに期間中の28日には全米家電製造者協会（CEMA）の主催という形で、アメリカでは地上波放送でも開始されているデジタルTV*2のカンファレンス、「DTV Summit」も併催された。

こちらでは、以前、高額な受信ユニットや高品位番組放送の少なさといった理由により、普及速度の遅いDTVを浸透させるための戦略が主に家電業界関係者によって話し合われた。ここでもWebと融合したサービスなど、従来のTVとは違った展開について話題になっていた。

広帯域接続やDTVはエンターテインメント業界に新しい市場を生み出しつつあるのは確実だが、どこに金の卵が埋まっているか宝捜しがちょうど始まったところ。そんな印象のカンファレンスであった。（Fumitoshi Watanabe／渡辺史敏）



映画、TV、レコード、放送など幅広い分野から主にネット部門の担当者が参加。数多くのディスカッションが行われた



展示コーナーでは、高品質ストリーミング・サービスやオンライン・コミュニティなどの企業が出展していた

*1 ペイパービュー：1回の視聴ごとに料金を支払うこと。　*2 デジタルTV：デジタル信号の送信によるテレビ放送。デジタル化によってコンピューター向けの双方向放送が可能になり、従来の放送に加えて、ほかのデジタルメディアを取り込むこともできる。



Power Mac G4のスペックが変更

G4プロセッサーの供給不足により50MHzずつダウン

http://www.apple.co.jp/

アップルコンピューターはPower Mac G4のスペックを改訂すると発表した。PowerPC G4プロセッサーの供給不足による製品数不足に対処したもので、当初の発表から変更されたのはプロセッサーの動作周波数のみ。これにより、最上位機種のプロセッサー動作速度は500MHzから450MHzへと変更され、G4のローエンド機は350MHzとなった。

米国でも同様に仕様変更のアナウンスが行なわれたが、当初の発表内容が「価格を据え置きのまま、プロセッサーのスペックを50MHzずつ下げたものを当初の価格で発売する」という内容だったため、すでにオーダーを済ませていた人々からの猛反発を買うこととなった。この動きを受けてすぐさま「予約分に関しては予約時の内容を尊重する」旨の発表を行ない、謝罪とも取れる異例のプレスリリースを発表した。この結果、発表時から10月13日までにPower Mac G4 400および450をオーダーした人は、ワンランク上のPower Mac G4を同価格で入手できることになる。

Power Mac G4は9月のSeybold Seminarsで発表、即日に予約が開始されるというセンセーショナルな登場を果たしたものの、プロセッサーの供給が追いつかず、ローエンド以外の出荷数はかなり少ない模様だ。また、米国のApple Storeでは、Apple Cinema Display*1が品切れとなり、1月に再度注文を受け付けるという旨の掲示が行なわれている。日本国内では11月より400/450MHzモデルが発売開始された。

●Power Mac G4 改定後のスペック表

	Power Mac G4/350 (M7826J/A)	Power Mac G4/400 (M7824J/A)	Power Mac G4/450 (M7825J/A)	Ultimateモデル (The Apple Store限定)
プロセッサー	350 MHz	400 MHz	450MHz	400MHz/450MHz
メモリ	64MB (DIMM)	128MB (DIMM)	256MB (DIMM)	128MB/256MB(DIMM)
二次キャッシュ	1MB (175MHz)	1MB (200 MHz)	1MB (225 MHz)	1MB (200 MHz/225 MHz)
ハードディスク	10GB Ultra ATA/33	20GB Ultra ATA/66	27GB Ultra ATA/66	約20GB / 27GB Ultra ATA/66
グラフィック	SDRAM 16MBビデオメモリー、ATI RAGE 128グラフィックコントローラー			
グラフィックスカード挿入位置	専用66MHzPCIスロット	専用133MHzAGP2Xスロット	→	→
内蔵外部記憶装置	32倍速CD-ROMドライブ	DVD-ROMドライブ (DVD-Video再生対応)、Zipドライブ	5.2GB DVD-RAMドライブ (DVD-Video再生対応)、Zipドライブ	DVD-ROMまたは5.2GB DVD-RAMドライブ (DVD-Video再生対応)、Zipドライブ
接続ポート	FireWire×2、USB×2 (各12Mbps、計24Mbps)	FireWire×3、USB×2 (各12Mbps、計24Mbps)	→	→
ワイヤレスネットワーク	オプション不可	オプション	→	→

有楽町西武で「iWeek in SEIBU」開催

iBook、iMacのあるライフスタイルを演出

http://www.apple.co.jp/、http://www.seibu.co.jp/

アップルコンピュータは10月15日から31日まで、東京・有楽町西武で「iWeek in SEIBU」と題したイベントを展開した。

今回の共同イベント「iWeek in SEIBU」は、知的で豊かな新しいライフスタイルを提案するというアップルと有楽町西武の目的が一致したもの。iBookおよび新型iMacの発売記念を兼ねたイベントで、iBookの発売日となった10月16日および17日には、会場となった有楽町西武でiBookの販売も行なわれた。

有楽町西武には店内各フロアにて、鞄や靴、家具などライフスタイルと関連のある商品とiBook、iMacが組み合わせて展示されていた。また、屋外のショーウィンドウにはグラファイトカラーのiMacが飾られ、吹き抜けの通路にはThink Different、iBookなどの大型フラッグが吊り下げられ、通行人の目を引きつけていた。

有楽町西武内の特設会場では新型のiMacやiBookが常時設置され、インターネットなどを利用できるスペースとして提供されていた。



吹き抜けの通路に吊された巨大なiBookフラッグ。Think Differentバージョンも



屋外のショーウィンドウにもiMac、iBookが飾られた

PowerBook G3、iBookのキーボード交換サービス開始

http://www.apple.co.jp/

アップルコンピュータは、PowerBook G3に装着されているJIS配列の日本語キーボードを、米国仕様の英語版キーボードに交換する「Apple Care Hardware Upgrade Service: PowerBook G3」を発表した。アップグレードのサービス価格は15,000円となっている。

このアップグレードサービスの対象は、最新のPowerBook G3 (M7304J/A、M7308J/A)。アップル正規サービスプロバイダを通じてサービスの申し込みを行なう。 アップルによれば、iBookについても、同様のサービスを年内に実施する予定だという。

(株) PFU:http://www.pfu.co.jp/service/ ／ウチダエスコ (株) :http://www.esco.co.jp/cs /apple/index.html／日本NCR (株) :http:// www3.ncr.com/ncr_japan/ doc/service/multib/garage.html／ビット・システム・サービス (株) :http://www. bitsystem.com/

*1 Apple Cinema Display：対角22インチの大画面液晶ディスプレイ。最大1600×1024pixelの表示が可能。単体では発売されておらず、Power Mac G4の「Ultimateモデル」とのセット販売のみとなっている。

ファイルメーカーがバージョンアップ

Web公開機能を強化、Officeとの連携も拡充

http://www.filemaker.co.jp/

ファイルメーカー社より、日本でのファイルメーカーPro5についての販売予定が発表された。1999年11月下旬にまず「ファイルメーカーPro5」をリリースする。価格は39,000円で、11月1日以降の前バージョン購入者には無償バージョンアップを行なう。また、アップグレードは19,000円で、ファイルメーカー社からも購入できるが、店頭でもアップグレードパッケージを買うことができる。さらに、サイドグレードとして、Windows版に限られるが、Excel、Access、Approach、五郎、TheCard、桐のユーザーに対して29,000円で販売する。なお、ファイルメーカーPro5のUnlimited版とServer版は2000年第一四半期に、いずれも129,000円で発売される予定だ。Develoer版については価格や時期は未定となっている。

ファイルメーカーProは、MacintoshとWindowsの両方のプラットフォームで利用可能なデータベースソフトだ。柔軟なフォーム設計が可能で使いやすいソフトとして定評があったが、リレーショナル処理にも対応し、さらにはWebでのデータベース更新や参照にも対応した。Ver.5ではMicrosoft Officeとの連係を強化し、Web公開機能をより充実させ、レイアウトのスタイルを拡充するなど、より機能向上が図られている。

従来は、通常版とDeveloper版だけで、Server版はさらに古いバージョンのものであった。Pro5より、通常版、Unlimited版、Server版、Developer版と4つの製品ファミリーを抱えることになった。通常版はデスクトップでの一般的な利用向けだ。Unlimited版はWebアプリケーション開発において、既存のIIS*2などのWebサーバーを用いる機能や、あるいは利用ユーザー数制限がないなど、より本格的なWebデータベース開発で利用できる。Server版は、LANで多くのユーザーがファイルメーカーを使って業務作業をなどをする場合に、パフォーマンスの点で有利になる。Deverloper版は、作成したアプリケーションを配付するときなどに使われる。

（新居雅行/DMO）

新型「AIBO」が12月に再発売

AIBOをテーマにした展示会「AIBO EXPO」も開催

http://www.sony.co.jp/soj/aibo/

ソニーは"自律型エンターテインメントロボット"こと「AIBO」の新型2種類を12月に1万体限定で発売する。今年6月に5,000体を限定販売した際には20分で完売したという超人気ロボットだ。新型はグレイシルバーとメタリックブラックの2色が用意され、耳や尻尾の形状を変更したり、ソフトウェアのマイナーチェンジが行なわれている以外は前モデルとほぼ同じ仕様だ。

新型AIBOの受付はインターネットのみで、残念ながら11月8日までで締め切られ、抽選される。価格も据え置きの25万円。

新型AIBOの発表を兼ね、10月末には東京・表参道で「AIBO EXPO」が開催。新型AIBOのデモに加え、AIBOの開発経緯やAIBOをモチーフとしたアート作品などが展示され、多数の来場者がさまざまなAIBOに注目していた。



AIBOの開発経緯やプロトタイプを展示した「AIBO HISTORY」（AIBO EXPO会場）



AIBOを体験できる数少ない機会。それほど広くはない会場は常に多数の来場者が押し寄せた（AIBO EXPO会場）

➡従来機種用のG4アップグレードカードが続々登場

プロセッサーアップグレードカードを提供するサードパーティ各社から、相次いでPowerPC G4搭載のプロセッサカードが登場し始めた。

XLR8では350MHzの「MACh Carrier G4」と「MACh Speed G4z」をそれぞれ749ドル、649ドルで発売した。Career G4はPDSカード形式、Speed G4zはZIFカード*3形式だ。同社が独自に開発したPhotshop 3.0/4.0用のVelocity Engine対応プラグインが付属するほか、Adobeでは近々G4対応プラグインを一般公開するとアナウンスされている。同製品は日本ではアスクが販売代理店となる。

Newer Technologyは、Power Mac G3（B&W）対応のプロセッサアップグレードカード「MAXpowr G4 400/200」を発売した。価格は799ドルとなっている。

PowerLogixはPDSカード形式の「Power Force G4 350/175」、同「400/200」、およびZIFカード形式の「PowerForce G4 ZIF 350/175」、「PowerForce G4 ZIF 400/200MHz」を発売した。価格は、350MHzタイプが599.99ドル、400MHzタイプが899.99ドル。

Sonnet TechnologiesはZIFソケット形式の「Encore G4 400/1M」を11月中に発売開始することを発表した。価格は999ドル。

●XLR8／http://www.xlr8.com/
●アスク／http://www.ask-corp.co.jp/
●Newer Technology／http://www.newertech.com
●PowerLogix／http://www.powerlogix.com
●Sonnet Technologies／http://www.sonnettech.com

➡Windows 2000の発売日は2000年2月17日

米マイクロソフトは、Windows NT 4.0の後継OSとなる「Windows 2000」を2000年2月17日に発売すると発表した。ワークステーション用途の「Windows 2000 Professional」、小規模サーバー向けの「Windows 2000 Server」、中規模サーバー向けの「Windows 2000 Advanced Server」の3製品が発売される。本稿執筆時点では日本語版の発売日は発表されていない。

●Microsoft／http://www.microsoft.com/

➡MACLIFE全号の表紙がブラウズ可能に

BNNのMACLIFEホームページ（http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/）に、月刊MACLIFEの創刊号（1987年）から最新号までの表紙をブラウズできる「Cover Gallery」が登場した。全135号の表紙画像が登録されている。

●MACLIFEホームページ／http://www.bnn.co.jp/ MACLIFE/

*2 IIS：Internet Information Server。マイクロソフトの提供する、Windows NT 4.0対応のWebサーバーソフトウェア。　*3 ZIFカード：ピングリッドアレイ（PGA）コネクタ経由でPowerPCチップを載せた小型プリント基板（インポーザーモジュールと呼ばれる）のこと。Power Mac G3/DT、G3/MT、Power Mac G3（B&W）で採用されている。

富士写真フイルムのデジカメ新2機種

「FinePix PR 21」と「FinePix1200」

価格●99,800円（FinePix PR21）、49,800円（FinePix1200）
http://www.fujifilm.co.jp/

　富士写真フイルムはデジタルカメラの新製品2種を11月中旬より発売する。

「デジタルインプリンターカメラ FinePix PR21」“プリンカム”はプリンターを搭載したデジタルカメラで、デジタルカメラとインスタント写真技術によるフルカラープリンターが融合した製品。撮ったその場ですぐにカードサイズのフルカラープリントが得られる。プリントには「インスタックスミニ」を使用。カードサイズなので、保管・携帯に便利。カメラ部は総画素数230万の1/2インチ高精細正方画素原色CCDを搭載。プリント部は新開発のインスタックス用VFPH（蛍光表示管プリントヘッド）を搭載。RGB各色256色、254dpiの高解像度プリントヘッドとインスタックスミニフィルムの組み合わせにより、深みのある美しいカラープリントを実現。サイズは113×127×60mm。約550g。

　「デジタルカメラ FinePix1200」は同社のFinePixシリーズのエントリーモデルで、基本性能の充実と簡単操作を実現している。総画素数131万の1/2.7インチ高精細正方画素原色CCDを搭載し、原色フィルターの採用やフジノンレンズの使用などで高画質を実現。電池、スマートメディアのほか、インターフェイスセットが同梱されており、購入してすぐに使えるオールインワンセットでMacへの取り込みも簡単。単3型アルカリ乾電池4本で、液晶ONで約200枚、液晶OFFで約500枚撮影することができる。さらに、連続自動再生130分以上が可能。サイズは110×77×33mmで約200g。



左がプリンカムこと、FinePix PR 21で右がFinePix 1200

●富士写真フイルム（株）／03-3406-2981

「キヤノン デジタル カメラ PowerShot S10」

価格●89,800円
http://www.canon.co.jp/

　キヤノンは「デジタル カメラ PowerShot S10」を発売した。PowerShot S10は同社「Aシリーズ」の上級機「Sシリーズ」の第1弾で、211万画素1/2インチCCDと非球面レンズを3枚使用した高性能2倍ズームレンズの搭載により、周辺部まで歪みの少ないシャープな画像が得られる。シャッター間隔は約2秒。沈胴式ズームレンズや小型化技術の導入により、超薄型ボディを実現し、アルミ合金のフルメタル外装を採用した。記録媒体はコンパクトフラッシュカードで、同梱の8MBタイプ1枚で約24枚（ラージ／ノーマルモード）まで撮影できる。CF Type IIにも対応。5種類の撮影モードのほか、多彩な撮影機能搭載。105.4×69.4×33.8mm、約270g。

●キヤノン販売（株）／0570-01-9000



230万画素デジタルカメラ「リコーRDC-5300」

価格●89,800円
http://www.ricoh.co.jp/



　リコーは230万画素デジタルカメラ「リコーRDC-5300」を発売した。リコーデジタルカメラシリーズの最上位機種で、光学3倍ズーム機能や、撮影間隔2秒以下の速写機能、起動時間5秒を実現し、快適な操作性を目指していている。コンパクトカメラの形状をイメージしたデザインとグリップ部のホールディング性を高めたことにより、簡単に高品質な撮影が可能。外部フラッシュ端子を搭載し、USBに対応している。液晶モニターカバーの装備、8MB内蔵メモリー、ビデオ信号NTSC/PAL*1の切り替え機能などを搭載する。サイズは131.1×68.8×54.0mm、約350g。

●（株）リコー／03-5763-2620

オリンパス CAMEDIA新製品

「CAMEDIA C2020 ZOOM」「CAMEDIA C-920 ZOOM」

価格●113,000円（C2020ZOOM）、オープンプライス（C-920 ZOOM）
http://www.olympus.co.jp/

　オリンパス光学工業は、デジタルカメラ「CAMEDIA」シリーズの新製品「CAMEDIA C2020 ZOOM」「CAMEDIA C-920ZOOM」を発売した。

「CAMEDIA C2020 ZOOM」は、総画素数211万画素の1/2インチCCDを採用し、デジタルカメラとしては世界初の広視野角液晶モニター、大口径3倍ズームレンズを搭載したモデル。高画素モデルの問題であったカメラのブレが出やすいという欠点を改良し、静止画像での失敗を少なくしている。また、絞り優先・シャッター優先・スローシンクロ・ISO感度設定機能など、銀塩カメラ*2の写真技術を取り入れている。マニュアル露出設定も可能。

「CAMEDIA C-920ZOOM」は、総画素画素数131万画素3倍ズーム採用のモデルで、モニターの正面以外からでもくっきり見える1.8インチ広視野角TFTカラー液晶モニターを搭載している。記録時間や、レリーズタイムラグも短縮され、すべての画質モードでの連写・速写が可能になった。SQモードでは2コマ／秒の速さを実現している。このほか、「C-920ZOOM」用のアクセサリーとして魚眼コンバージョンレンズとパノラマ合成が可能な画像張り合わせソフトも12月に発売される。

●オリンパス光学工業（株）／0426-42-7499



左が「CAMEDIA C2020 ZOOM」で
右が「CAMEDIA C-920 ZOOM」

*1 NTSC／PAL：NTSCは日本と米国で使用されているカラーテレビの放送方式で、ドイツなどの押収と中国で採用されているのがPAL方式。　*2 銀塩カメラ：銀塩フイルムを使った従来の一眼レフなどのカメラのこと。

214万画素CCD搭載デジカメ「カラリオ・フォト CP-800S」

価格●79,800円（CP-800S）、81,800円（CP-800SB、CP-800SP、CP-800SV）
http://www.i-love-epson.co.jp/

セイコーエプソンは214万画素CCD搭載デジタルカメラ「エプソン カラリオ・フォト CP-800S」を発売した。色はシャンパンゴールド。CP-800Sは、新たにデジタルズーム用に開発されたデジタルハイピクトズームテクノロジーを搭載し、被写体画像の輝度情報・色情報を解析し、自然な輪郭とシャープな画像を再現する。また、限定モデルとしてアイスホワイトのボディにスケルトンカラーの「エプソン カラリオ・フォト スペシャルカラーバージョン CP-800SB（ブルー）、CP-800SP（ピンク）、CP-800SV（バイオレット）」も用意。113×67.5×35.5mm、235g。
●エプソン購入ガイド・インフォメーション／042-585-8444



写真はスペシャルカラーバージョンのCP-800SB

Macの画面をTVに表示する「Tempest XGA Pocket」

価格●19,800円
http://www.compal.to/



コンパルはMacの画面をTVに表示するビデオエンコーダーのポケット版「Tempest XGA Pocket」を発売した。Tempest XGA Pocketは、相手先の大画面TVを使ってモバイル・プレゼンテーションをする、Macで再生しているDVDソフトやリアルなネットゲームをTVの大画面で楽しむなど、便利な使い方ができる。TV画面表示される位置を調整できるポジショニングスイッチ、画面拡大のできるZOOM機能も搭載。24ビットADコンバーター採用で1,670万色を再現。フリッカフリー技術採用でちらつきのない画面表示。サイズは95×55×33mm、95g。VGAケーブル、ビデオケーブル、キーボード電源ケーブル、テロップを作成する「てろっぷそふと」付属（ただしソフトはWindows版）。
●（株）コンパル／03-3299-5751

デジタルフィルムリーダー「USB CameraMate」

価格●オープンプライス
http://www.microtech-pc.co.jp/

マイクロテック・インターナショナルはデジタルフィルムリーダー「USB CameraMate」を販売した。USB CameraMateはデジタルカメラで主に使用されているスマートメディア（128MBまでの3.3Vと5Vカード対応）やコンパクトフラッシュ（3.5mm/CF II 5mm対応）をMacで使用することができる製品だ。デュアルスロットを採用し、スマートメディアとコンパクトフラッシュを同時にMacに接続できるほか、スマートメディアとコンパクトフラッシュ間でのデータ転送もできる。IBMのMicrodriveにも対応し、パソコン用の外部記憶装置として、PDAなどとのデータ転送に使用可能。
●マイクロテック・インターナショナル（株）／03-3526-4510



業務用レンズ交換式一眼レフデジカメ「Dimage RD 3000」

価格●360,000円（本体+アクセサリーキット）、495,000円（システムパッケージ限定500セット）
http://www.minolta.com/

ミノルタは携帯性に優れた業務用レンズ交換式一眼レフデジタルカメラ「Dimage（ディマージュ）RD 3000」を発売した。Dimage RD 3000は画面分割2板撮像システムにより、270万画素の高精彩画像を達成し、交換レンズや外部フラッシュにより多彩な撮影が行なえる。交換レンズには同社APS一眼レフカメラ「VECTIS S-1」用のVレンズ（Vレンズ17mm F3.5 RD/100,000円）を採用しており、広角17mm～超望遠400mmまでの撮影画角をカバーし、マクロ撮影も自由に行なえる。サイズは150×101×117mm、約1,000g。
●ミノルタ（株）／03-5423-7555、06-6271-2641



写真は、システムパッケージの製品構成。数量限定500セット

ビクターDVカメラ「GR-DVL700」

動画と静止画の同時撮影ができる、プログレッシブ方式デジタルカメラ

価格●230,000円
http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクターは動画と静止画の同時撮影ができるデジタルビデオカメラ「GR-DVL700（愛称：ポケットデュアルムービー）」を 発売した。

GR-DVL700は、ミニDVテープに動画を記録しながら、本体に装備したマルチメディアカードに静止画を記録できる機能を搭載。動画を撮影しながら、決定的瞬間の静止画を記録できる。新開発の1/3型68万画素プログレッシブスキャンCCD搭載により、水平解像度520本／垂直解像度480本の高画質動画が撮影可能。ワイド側0.7倍までの広角撮影ができる「プログレッシブスーパーワイド」を搭載。XGA*1サイズ（1,024×768ドット）の静止画を記録可能。

メモリーカードスロットを装備し、付属のマルチメディアカード（4MB）にXGA/VGA静止画が記録できる。DV入出力端子（i.LINK）や静止画デジタル出力端子（RS-232C）を装備しているので、外部のステーションを通さず、本体だけで直接デジタルダビングやパソコンへの画像出力が楽しめる。



別売のセットプリンター＆アクセサリーキット「GV-SP700KIT」に同梱されている専用プリンターは、310dpiの高画質ヘッドを搭載し、印画紙全面にプリントできるフチなしプリントに対応している。GR-DVL700には年賀状やカレンダーなどのプリントパターンが内蔵されており、専用プリンターと組み合わせて多彩なプリントが楽しめる。GR-DVL700のサイズは77×94×142mm、約600g。
●日本ビクター（株）／03-5684-9311

*1 XGA：eXtended Graphics Arrayの略。IBM社が採用したVGAの拡張規格。VGAとは、グラフィック制御用のLSIのひとつ。

Super Colorioに新製品続々登場
PM-760C、PM-800C、PM-800DC、PM3300Cなど

価格●39,800円（PM-760C）、41,800円（PM-760CB、PM-760CT、PM-760CS）、79,800円（PM-3300C）、59,800円（PM-800C）、64,800円（PM-800DC）、
http://www.i-love-epson.co.jp/

セイコーエプソンはA4サイズ対応マッハジェットプリンター「エプソン Super Colorio PM-760C」を発売した。PM-760Cはマルチサイズドットテクノロジー（MSDT）を採用し、微妙な階調表現に優れた色鮮やかな超写真高画質を低価格で実現しているモデル。なお、同時に3色のスペシャルカラーバージョンモデルが台数限定で用意される。PM-760CB（ブルー）、PM-760CT（タンジェリン）、PM-760CT（シルバー）だ。

このほか、同時発売のPM-3300C、PM-800C、PM-800DCは、フチなしフォトプリントを実現する。これは、写真と同じく縁なしに仕上げられる世界初のプリント機構で「フォトランチャー」と呼ばれる。オプションのロール紙の利用で、L判の写真、パノラマ写真を簡単にプリントできる。なかでも、PM-800DCは、デジタルカメラとの親和性を高めたモデルで、デジタルカメラのメモリーカード用ドライブを本体に標準装備しており、プリンターを通してMacへ画像転送することも可能となっている。

これらのモデルはすべてUSBインターフェイスを採用しているiMacやPower Macで利用できる。

●エプソン購入ガイド・インフォメーション／042-585-8444



左がPM-760Cで、上がPM-800C

エプソン Colorioスキャナシリーズ スペシャルカラーバージョン

価格●各46,800円
http://www.i-love-epson.co.jp/



セイコーエプソンはA4対応フラットベッドスキャナー*1「エプソン Colorio スキャナ GT-7600U」のスペシャルカラーバージョン「GT-7600UB（ブルー）」と「GT-7600UP（ピンク）」の2機種を11月中旬より発売する。1,200dpi/12ビット入力の高画質と高速読み取りをパーソナルプライスで実現し、USBインターフェイスを標準で装備しているGT-7600Uだが、今回Mac本体などとのマッチングを考えてカラーバージョン発売となった。カバーはブルー（ピンク）のスケルトンタイプ、スキャナビボタンの部分もスケルトンタイプになっている。

●エプソン購入ガイド・インフォメーション／042-585-8444

パーソナルレーザープリンター ブラザー工業「HL-1240」

価格●59,800円
http://www.brother.co.jp/



ブラザー工業はレーザープリンター「HL-1240」を発売した。HL-1240はオフィスでの印刷効率を追及した製品で、同社新開発の高速エンジンなどによりA4で毎分12枚の印刷が可能。また、標準でA4サイズ250枚の大容量カセットを装備。画質はTrue600dpi。用紙のセットやカートリッジの交換をプリンターの前面で行なうフロントオペレーション。トナーとドラムを分離したセパレート型カートリッジの採用により、トナーのみの交換時は約2.3円/枚という低ランニングコストを実現。パラレル、USBインターフェイス採用。

●ブラザー工業（株）／052-824-3097

Macintosh対応 Ultra SCSI外付型HDユニット

価格●38,800円（LHD-U13H/M、LHD-U15E/M）、48,800円（LHD-U20H/M、LHD-U22E/M）
http://www.logitec.co.jp/index.html

ロジテックはUltra SCSIに対応した外付型ハードディスクユニットに、Macシリーズ用のソフトおよびケーブルを付属した「Macintosh対応Ultra SCSI外付型HDユニット」シリーズを発売した。LHD-U13H/M（13GB／7,200rpm）、LHD-U20H/M（20GB／7,200rpm）、LHD-U15E/M（15GB／5,400rpm）、LHD-U15E/M（15GB／5,400rpm）の4製品で、縦横両用のデザインを採用した新シリーズだ。専用のスタンドが付属。アクティブターミネーターを内蔵。SCSIシステムケーブル、フォーマットソフト「B'sCrew 3 Lite版」付属。サイズは36×147×220mmで、重さは1.2kg。



●ロジテック／03-3377-0016

USB対応640MB MOドライブ「MOA-AX640S/USB」

価格●49,800円
http://www.iodata.co.jp/



アイ・オー・データ機器はUSB対応640MB MOドライブ「MOA-AX640S/USB」を発売した。3,600回転/分、平均シークタイム28ms、データバッファー*2 512KB。iMacやPower Mac G3に最適なスケルトンボディ採用（交換用カラーパーツでiMacカラーに対応）。冷却効率に配慮したアルミパネルをMOドライブの両サイドに採用しており、発熱量の大きいMOドライブが安心して利用できる。ダイレクトオーバーライト対応。USBコンバータケーブル（1m）、iMacカラーパーツ（6色）、縦置き用スタンド（ホワイトスケルトン）、横置き用ラバーフットなどが付属。

●（株）アイ・オー・データ機器／076-260-1024

*1 フラットヘッドスキャナー：原稿を下向きに置いてスキャンするスキャナーのこと。　*2 バッファー：CPUと周辺機器とのデータの入出力の際に、一般的にCPUのほうが動作が速いので、周辺機器側が動作するのをCPUが待つ状態になる。そこで、その待ちの時間を少しでも減らすために、間にメモリーを入れて、データの入出力の差のカバーをする。このメモリーのことバッファーという。

ポータブルMP3プレーヤー「JazPiper for Mac」

価格●オープンプライス
http://www.mds2000.co.jp/

エム・ディ・エスはポータブルタイプのMP3オーディオプレーヤー「JazPiper for Mac」を発売した。JazPiper for Macはトランスルーセントのブルーのボディで、手のひらにすっぽりと収まる軽量・コンパクトサイズ。標準で32MB（最大64MB）のフラッシュメモリー、スマートメディアスロット、データポート（MacとUSB変換アダプターで接続）、コントロールボタンなど、豊富な機能を装備。音楽CDをMP3フォーマットに変換できる「Jet Audio Software」付属。マイクロフォンが内蔵されており、最大2時間までのボイスレコーディングが可能。250件まで登録可能なデジタル電話帳機能も装備。サイズは66×90×18mm。

●（株）エム・ディ・エス／03-3834-5250



MIDIインターフェイス「MIDI Time Piece AV-USB」

価格●オープンプライス（予想価格90,000円前後）
http://www.cameo.co.jp/



カメオインタラクテイブは米Mark of the Unicorn社のMIDIインターフェイス*1「MIDI Time Piece AV-USB」を発売した。MIDI Time Piece AV-USBは、あらゆる同期信号に対応したマルチポートMIDIインターフェイスMIDI TimePiece AVをUSB版にしたもので、MIDIシーケンスのみならず、MTC/MMCを使用したADATやデジタル・オーディオ、ProToolsとの同期/制御が行なえる。従来はADATとのシンクに必要だったBRCコントローラーや、ビデオなどのシンクのためのその他のハードウエアを一切必要としない。8 in/8 out MIDIマージ配列、フロントパネルでの一括操作、スタンドアローンMIDIパッチベイ/MIDIマージ/MIDIプロセッサー、128MIDIチャンネル対応。MTS（MIDI Time Stamping）対応。

ヤマハ トーンジェネレーター「MU2000」&「MU1000」

価格●119,800円（MU2000）、99,800円（MU1000）
http://www.yamaha.co.jp/

ヤマハはサンプリング機能搭載のデジタル音源ユニット「MU2000」を12月10日から発売する。また、音色数や機能、拡張性などはそのままに、サンプリング機能などを省いた「MU1000」を11月20日から発売する。MU2000は128音同時発音の現行モデルMU128の音楽表現力を継承したうえで、音色数やエフェクトを増強し、サンプリング機能を内蔵。このほかスマートメディアドライブを備えており、新機能の「MU SEQプレーヤー」で、スマートメディアのMIDIファイルを読み込み、本体のみで再生できる。音色は1,396音色プラス58ドラムキットを内蔵し、8系統のエフェクトにより多彩な音作りが可能。USB端子、デジタル出力端子も装備している。

●ヤマハ（株）／053-460-2432



マウスボールがない光学式センサーマウス「GRAST type-WSR」

価格●各7,000円
http://www.elecom.co.jp/

エレコムは、マウスボールではなく光学式センサーでマウスの動きを認識するイメージセンサーマウス「GRAST type-WSR」を11月下旬に発売する。マウス接地面の表面イメージを、毎秒1,500回でスキャンしてDSP（DIgital Signal Processor）で処理することでマウスの動きを読みとる。専用マウスパッドもマウスボールも必要としない。USB接続で、ホイール機能が付属。マウス中央部分のホイールで、ブラウザーなどの画面のスクロールができる。

●エレコム（株）／03-3981-4491





iMac専用ライトアップ&ターンテーブル「iStage」

価格● オープン（予想価格19,800円〜24,800円）
http://www.meiko-plastic.co.jp/



明晃化成工業はiMac専用ライトアップ&ターンテーブル「iStage」を発売した。iStageは店頭での使用やおしゃれなユーザー向きのiMac専用机上パソコンラックだ。台部分中にライトが付いており、iMacをライトアップすることができる。ラック部分を付けてもはずしても使えるデザインなので、ライトアップテーブルとしてもライトアップラックとしても使える。360度回転するため、簡単に向きを変えられる。取り替え可能なネームプレート付き。ブルーベリー、ライム、タンジェリン、ストロベリー、グレープ、ボンダイ、メタリックシルバーの7色。サイズは46×43.5×46cm（ラックを付けたとき）、7.6kg。

●明晃化成工業（株）／06-6736-1760

MIDIインターフェイス「Fastlane-USB」

価格● オープンプライス（予想価格11,000円前後）
http://www.cameo.co.jp/

カメオインタラクティブは米Mark of the Unicorn社のコンシューマー向けMIDIインターフェイス「Fastlane-USB」を発売した。Fastlane-USBはUSB端子を装備したMacに対応し、USBハブを使用することによって複数のMIDIインターフェイスとの共用も可能。2in/2out、32MIDI Ch、MIDI Thru機能を装備。Free MIDI（CD-ROMで付属）、OMS2.3.7対応。スタンドアローンでMacの電源がoffの状態でもMIDIスルーが可能だ。なお今回発売されたのはグレープ、ブルーベリー、チャコールの3色で、ストロベリー、タンジェリン、ライムの各色も追って出荷予定。

●カメオボイスパック／03-3360-1558



*1 MIDI：シンセサイザーなどの音楽機器を外部からコントロールするための規格のこと。ヤマハやローランドが提案したもの。MIDIインターフェイスを接続するとMacでMIDI信号を扱えるようになり、MIDI対応の音楽ソフトを使用することができるようになる。

Microsoft Word 98 iMac
パワーアップパッケージ 新発売

価格●オープンプライス（推定小売価格11,800円）
http://www.microsoft.com/

マイクロソフトは、iMacとiBookのユーザー向けに「Microsoft Word 98 iMac パワーアップパッケージ」を11月5日より来年4月末日まで期間限定発売する。

同パッケージは、Microsoft Word 98 Macintosh Edition 日本語版（以下Mac Word 98）にiMacおよびiBookユーザーが、より容易に多彩な文章を作成したり、オリジナルのラベルやシールが簡単に作成できる楽しい素材を加えたもの。Mac Word 98では、日本語を美しく自然にレイアウトできる縦書き機能を搭載し、メニューから選ぶだけで縦、横書きをいつでも切り替えられ、テキストボックスを使えばそれらを自由に組み合わせられる。また、強力な英文チェック機能を備え、文書中の英文や英単語から間違いを完全に取り除いてくれる。

本パッケージに含まれるMac Word 98には、あらたに200種類以上の文例を追加、加えて2,000種類以上のイラストを追加し、合計5,000種類を超える付属イラスト集を使用することで、カラフルなポスターやチラシを作成することができる。そのほか、MDラベル用紙やVHSビデオラベル用紙、デジカメ写真用紙などが付属しており、すぐに活用できるようになっている。また、同パッケージは「Office 98 Macintosh Edition アップグレード版」の対象製品となっている。

●マイクロソフト(株)カスタマーインフォメーションセンター／03-5454-2300、06-6245-6995

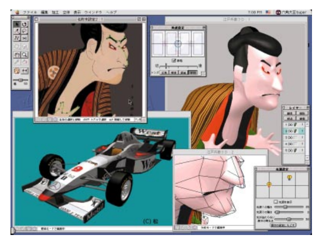


落書き感覚3Dソフト「六角大王Super2」

価格●12,000円
http://www.shusaku.co.jp/

終作は落書き感覚3Dソフト「六角大王Super2」を12月3日に発売する予定だ。強力なモデリング機能をもつ3Dソフト「六角大王Super」のバージョンアップ版で、「3Dマンガ機能」や「なめらか曲面機能」などの新機能を追加。「3Dマンガ機能」は2Dのイラストやマンガを立体化させる機能で、左右対称（面対称）のものを斜めから見た写真、イラストなどをなぞるだけで3Dモデルが作れる。モデリングはワイヤーフレームだけだが、マンガのようなラフな絵からでも立体化が可能。「なめらか曲面機能」は、作ったポリゴン*1形状を曲面化する機能で、米Pixar社のSubdivisionSurface技術を実装している。

●(株)終作／042-920-3243



MP3エンコーダー／プレーヤー「サウンドジャムMP1.1 日本語版」

価格●12,800円（キャンペーン価格8,800円）
http://www.hulinks.co.jp/

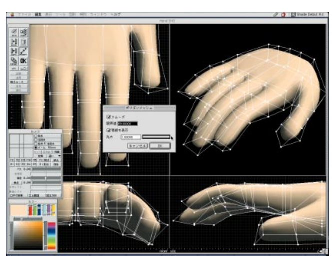
ヒューリンクスは米Casady & Green社製MP3のエンコーダー／プレーヤー「SoundJam MP」の日本語版を、11月20日から発売する予定。サウンドジャムMP1.1日本語版はPower Mac G4のVelocity エンジンにいち早く対応し、MP3のエンコード速度で最速タイムを達成している。きめ細かなエンコード設定が可能なうえ、ドラッグ&ドロップで簡単にエンコード、再生ができる。外観デザインの変更や、さまざまな視覚効果を楽しむことができる。Rio500用プラグイン機能により、Rio500との完全互換を実現している。

●(株)ヒューリンクス／03-3590-2311



高機能3Dソフト「Shade Debut R4」と「myShade 2」発売

価格●23,800円（Shade Debut R4）、9,800円（myShade 2）
http://www.ex-tools.co.jp/



写真はMyShade2の開発途中のもの

エクス・ツールスは、高機能3Dソフト「Shade Debut R4」と「myShade 2」を11月26日に同時発売する。Shade Debut R4とmyShade 2は、同社のShadeシリーズのベーシックモデルとエントリーモデル。ベーシックモデルのShade DebutはR3からR4になり、エントリーモデルの「iShade」（Mac版）と「myShade」（Win版）はmyShade 2（MacおよびWin版）に統合される。今回追加されるのは「サブディビジョンサーフェス」「メタボール」「モデリングブーリアン」機能などで大幅な機能強化を実現している。

●エクス・ツールス(株)／092-722-4552

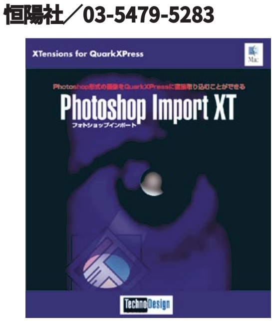
恒陽社 Quark用Xtension「Photoshop ImportXT」発売

価格●19,800円
http://www.koyoshagraphics.com/

恒陽社は「Photoshop Import XT」を発売した。

同製品は、QuarkXPress用のエクステンションで、Adobe Photoshopのマルチレイヤー機能を使用したPhotoshop形式の画像を、そのままQuarkXPress上で使用することができる。このほか、Photoshop上で作業したクリッピングパス*2やアルファチャンネル*3の情報を生かしたまま、QuarkXPressの書類に貼り付けられる。動作環境はQuarkXPress 3.3および4.0の日本語版。Photoshopのver4.0J以降対応。

●(株)恒陽社／03-5479-5283



*1 ポリゴン：多角形の意味だが、3Dアプリケーションの場合、頂点同士を結んで構成されたもののことを指す。レンダリング時に曲面などの形状データは、このポリゴンに分解して処理される。　*2 クリッピングパス：切り抜き画像を作るためのパスで、Adobe Photoshop上などで、画像の一部を切り抜く際に用いられるもの。　*3 アルファチャンネル：画像処理アプリケーションで、データを加工する際に用いられる補助チャンネルのこと。

「Color Chart Pro 1.0J for Macintosh」

価格●16,000円
http://www.swtoo.com/

ソフトウェア・トゥーは、QuarkXPress 3.3、4.0用エクステンションであるグラネット社の「Color Chart Pro 1.0J」の取り扱いを開始した。Color Chart Pro 1.0JはDTP業界・印刷業界で必需品のカラーチャートを、QuarkXPressにカラーパレットとして追加できるエクステンション。CMYK・特色の掛け合わせデータも目で確認して色指定できる。また、1%刻みのフリーチャートに対応し、DTP標準の10%刻みのカラーチャートも用意されている。カラーチャートはスクロール可能で、使いたい色をすばやく見つけることができる。プロ仕様の機能が、簡単な操作で利用できる。



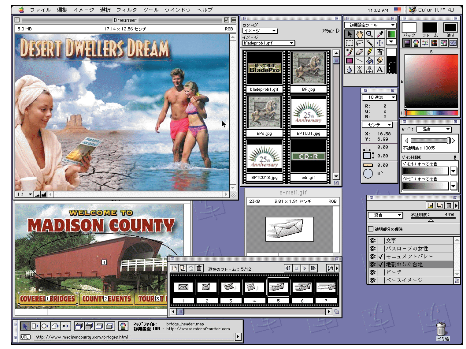
●(株)ソフトウェア・トゥー／03-5676-2177

「カラーイット！4.0日本語版」
フルカラーペイント&フォトレタッチソフト

価格●6,800円
http://www.gate.co.jp/

ゲートは、米MicroFrontier社製フルカラーペイント&フォトレタッチソフトソフト「Color It!」の日本語版最新バージョン「カラーイット！4日本語版（Color It! 4J)」を発売開始した。

Color It! 4Jはフォトレタッチ機能を備えたフルカラーペイント系ソフト。これまで製品版以外にもスキャナーなどの周辺機器に数多くバンドルされていたため、知名度はかなり高い製品だ。従来から好評だったAdobe Photoshop用プラグイン互換処理機能やレイヤー処理機能、Webページ用イメージマップ*1作成機能、多種多様なイメージ調整／フィルター処理機能などをそのままに、あらたにイメージカタログ作成機能やアニメーション作成機能などを備えた。また、MacOS 8.6にも完全対応している。今回のバージョンには米Flaming Pear Software社のPhotoshop用プラグイン「SuperBladePro 2.1J」の2週間試用版が同梱されており、Webページのタイトル作成やロゴ製作に威力を発揮するプロクリエーター向けの特殊効果フィルタをすぐに体験できる。



Color It! 4Jの登録ユーザーはSuperBladePro 2.1Jを3,800円で優待登録することが可能になっている。

なお旧バージョン（Color It! 3.5、Color It plus R）からのアップグレード料金は3,800円で、同社のWebページ（http://www.gate.co.jp/）か、電子メール（support@gate.co.jp)、電話（03-3865-5812)、またはファクス（03-3865-5105）で受け付けている。

●(株)ゲート／03-3865-5812

シンセサイジング&サウンドデザインソフト「MetaSynth 2.6」

価格●48,000円
http://www.hookup.co.jp/



フックアップはU & I Software社の「MetaSynth 2.6」を発売した。MetaSynth2.6は新しい感覚でシンセサイジングとサウンドデザインを行なえるソフト。ピクチャー・ウィンドウ上にペイント・ツールを駆使して色を塗ったり音程を描いたりすることで、音楽を作り出す。このソフトは無制限のオシレーター、強力なFMシンセシス、モーフィング*2機能等を持つハイパワーなシンセサイジングとグラフィックで音を制御する。完成したサウンドはパーソナルユースから、音響効果などのプロユースまで幅広く使用できる。

●(株)フックアップ／03-5256-2853

銀色特色版作成用プラグイン「Magictone Silver」

価格●79,800円
http://www.koyoshagraphics.com/

恒陽社は銀色特色版を作成するPhotoshop用プラグイン「Magictone Silver -Extended Process Separator 1.5日本語版」を発売した。Magictone Silverは、拡張プロセスカラーの色分解工程で銀色のインキを使用して自然なメタリック感を表現したり、重要な部分を強調したりできる。微妙で上品な感じから豪奢な印象まで、幅広く表現可能だ。画像全体に光沢を持たせたり、マスクを使用して強調する部分を分離して銀を加えたりする作業を、シンプルなインターフェイスでPhotoshop上で行なう。完成した作品はPhotoshopで5色分解のDCS 2.0 EPS形式で保存し、QuarkやPageMakerでレイアウト・印刷が可能。



●(株)恒陽社／03-5479-5283

企業向けライセンスプログラム「ダイナフォントサイトライセンス」

価格●各製品により価格は異なる
http://www.dynalab.co.jp/

ダイナラブ・ジャパンは企業向けに「ダイナフォントサイトライセンス」の販売を開始した。現在発売されているDynaFont Type Museum 100（True Typeフォント、ATMフォント）に収録されている書体の使用ライセンスを、必要な書体数分だけ契約することができるため、使用数量に応じた価格で効率的なフォントの導入が可能。サイトライセンスではインストールするためのマスターディスクひとつとソフトを使用する権利が提供され、ユーザーは取得したライセンスで使用許諾契約書に基づいて複製し、組織内に配布できる。価格は基本サイトライセンス（書体数とユーザー数に応じた価格）とフリーサイトライセンス（総コピー数に応じた価格）がある。



●ダイナラブ・ジャパン(株)／03-3224-3172

*1 イメージマップ：別名クリッカブルマップ。Web上で、1枚の画像上に複数のリンク先を埋め込むもの。クリックするとリンク先のURLにとぶ。　*2 モーフィング：異なった形状の物体を関係づけて、形状をなめらかにする技法のこと。

iMacをテーマにした「iWatch」新発売

価格●$39.99
http://www.JapanCentral.com/

PSPIncは同社直売インターネットサイト(http://www.JapanCentral.com/)で、米Sportime Watches社製の「iWatch」の日本向け予約販売を開始した。Sportime Watches社はApple社から唯一Appleロゴライセンスを受けてロゴグッズの時計を販売しており、www.JapanCentral.comでは全種類の取り扱いを行なっている。今回11月出荷予定のiWatchは、その名の通りiMacをテーマにしたもので、iMacと同様に5色から好みの色を選択することができる。米国定価$50.00の製品をwww.JapanCentral.comでは$39.99で予約販売している。
●PSP Inc／425-497-8080



iBookに適した、エレコム「レーテSワンボタンマウス」新発売

価格●各4,500円
http://www.elecom.co.jp/

エレコムはiBookに適した小型タイプのUSBマウス「レーテSワンボタンマウス」を発売した。レーテSは、レーテシリーズのシンプルなデザインと手にフィットする使用感を損なうことなく、持ち運びに便利なコンパクトサイズになっている。余計なものを一切付けず、マウス本来の機能に限った仕



様。カラーもiBookに合わせてブルーベリーとタンジェリンを用意。ケーブル長は0.65m。なお、同社ではグラストtypeWSホイール付きコンパクトUSBマウス（4,800円）にもブルーベリーとタンジェリンの2色を揃えた。携帯に便利なポーチやケーブルをまとめるケーブルタイ添付。ケーブル長1.5m。
●エレコム(株)／03-3981-4491

ロジクールのホイール付きマウス新登場

価格●10,000円（Trackman）、5,000円（Mobile）、6,800円（Blueberry）
http://www.logicool.co.jp/

ロジクールはトラックボールとマウス2製品を発売した。「TrackMan Marble Wheel USB Combo for DOS/V & iMac」はUSBとPS/2のインターフェイスに対応したホイール付きトラックボール。光でボールの動きを感知するため正確でなめらかな操作を実現する。パームレスト*1と一体のデザイン。「Mobile Wheel Mouse USB for DOS/V & iMac」は手のひらにフィットするモ



Wheel Mouse USB Blueberry for DOS/V & iMac

バイルユーザー向けマウス。サイズは60×35×104mmで、手に負担をかけない設計。「Wheel Mouse USB Blueberry for DOS/V & iMac」はWheel Mouse USB for DOS/V & iMacのカラーバリエーションモデルで、トランスルーセントブルーベリーのボディ。マウスボールは白と青の2色で、操作中のボールの動きがわかる。
●ロジクール・カスタマー・リレーションセンター／03-5350-6490

100BASE-TX対応プリントサーバー「Mini100」

価格●オープンプライス(参考価格17,800円)
http://www.planex.co.jp/



プラネックスコミュニケーションズは100BASE-TXに対応したプリントサーバー「Mini100」を発売した。Mini100は、パラレルプリンター*2をネットワーク上で共有する外付けタイプのプリントサーバーで、100BASE-TX/10BASE-Tに両対応し、回線速度はAuto Negotiation機能で自動的に切り替える。TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX、AppleTalkなど複数プロトコルをサポートし、プロトコル自動切換機能により異種ネットワークの混在環境でもプリンター共有を実現する。Win 98/95、Win NT4.0/3.5x、MacOS7.6以降、NetWare 3.x/4.x、各種UNIXをサポート。Linuxにも正式対応。内部httpサーバーにより各種設定はWWWブラウザーでOS・プラットホームを問わず、ネットワーク経由で行なえる。ネットワーク管理の表中であるSNMPプロトコル対応。ボディはブルースケルトンで、サイズは92.8×25.3×58mm。
●プラネックスコミュニケーションズ(株)／0120-415976

「素材図鑑シリーズ」2タイトル発売

価格●各9,500円
http://www.a-bic.co.jp/

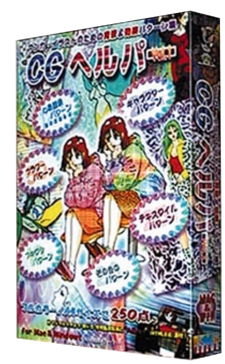
アビックはプロ向け素材集「素材図鑑シリーズ」の新タイトル2製品をリリースした。「Vol.2　クラフト図鑑　お



正月・クリスマス・ギフト編」は京都を拠点に活動するイラストレーター集団であるILLUST EXEの、ペーパークラフトを中心にしたオリジナルイラスト120点を収録。データは350dpi(20×16cm)。「Vol.3　3Dモデリング図鑑　日本のアンティーク編」は明治から昭和初期の街並を彷彿とさせる建物、グッズやオブジェなどのオリジナル3Dモデリング素材を100点収録している。データ形式はLWO、3DS、SHD、DXF。
●(株)アビック／075-313-5286

マンガ・イラスト用背景＆効果パターン集「CGヘルパー vol.1」

価格●6,800円
http://www.ks-art.com/



K's Artはマンガ・イラストのための背景＆効果パターン集「CGヘルパーvol.1」を発売した。CGヘルパーには、Photoshopなどを使うクリエーターに便利な背景や効果パターンがA4フルカラーで250点収録されている。画像データは心象風景、キャラクター、花、テキスタイル、フキダシ、その他の6つのカテゴリに分類され、心象風景はさらに喜、怒、哀、楽、驚、迷の6ジャンルに分類されている。マンガやイラストにおけるさまざまなシチュエーションに応じて使用でき、画像をより効果的に、スピーディに演出できる。デジタルカタログ、使い方、作例集などのファイルが付属。
●K's Art／045-546-6399

iBook用冷却＆回転台「iCoolPad」

価格●オープン（実売3,000～4,000円）
http://www.mds2000.co.jp/

エム・ディ・エスはRoadTools LLC社製のiBook用冷却＆回転台「iCoolPad」を発売した。iCoolPadはトランスルーセントブルーとタンジェリンの2種類が用意されており、各色のカラーボードと黒色のベースボードの2枚が一体型になったシンプルなデザインだ。ベースボードの背面の吸着板で机に固定したiCoolPadの上にiBookを載せれば、それだけでiBook下面に対して通気を確保する冷却効果、360度回転機能、適度な傾きで手首の負担を軽減する腱鞘炎防止機能、滑り止め効果が得られる。iBook向けの製品ではあるが、ほかのPowerBookでも使用することは可能だ。
●(株)エム・ディ・エス／03-3834-5250

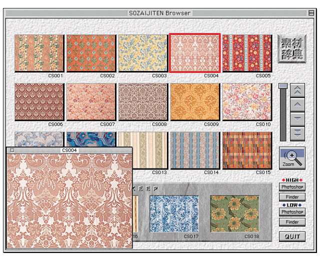


*1 パームレスト：キーボードを打つときに手のひらを置くスペースのこと。長時間キーボードを打つ際の疲労を軽減する。　*2 パラレル（インターフェイス）：同時に複数の信号を送ることができるデータ方式。プリンター用でいえば、IEEE1284、ハードディスクドライブでいえば、SCSIやIDEのことをいう。

「素材辞典Vol.66 <西洋模様・テキスタイル編>」

価格●7,800円
http://www.datacraft.co.jp/

データクラフトは「素材辞典Vol.66<西洋模様・テキスタイル編>」を発売した。素材辞典シリーズの中でも人気のテクスチャータイトルで、上品なペーズリーや優しい花柄、個性的なエスニック、スタンダードで応用範囲の広いチェックやストライプ、クラシックな感覚のアールヌーボーなど、西洋風ならではの美しいテキスタイルを、柄にこだわって編集している。ファッション、インテリア、建築関係など、さまざまなジャンルのデザインに効果的。収録素材数は200点。使いやすいブラウザー付き。
●(株)データクラフト／011-707-7780



企業向けウイルス対策ソフト「Sophos Anti-Virus for Macintosh」

価格●詳細はWeb参照
http://www.cseltd.co.jp/sweep/

シー・エス・イーは英Sophos社の企業向けウイルス対策ソフト「Sophos Anti-Virus for Macintosh」を発売した。ウイルス検索したいドライブやディレクトリー、ファイルを指定してのオンデマンドでのウイルス検索や、ファイルの開閉・コピーなどをした際、バックグラウンドでウイルス検索を行なうリアルタイム検索が可能だ。また、クライアント／サーバーでの運用が可能で、サーバーからウイルス対策を集中的に行なうことができる。サーバーからの自動インストールや自動アップデートができるため、ネットワークでの運用に適する。各種OSをサポートし、マルチプラットフォームに対応。
●(株)シー・エス・イー／03-3463-5633



エーアンドピーコーディネータージャパン 具-満タン12『情報キーワード編』

価格●7,800円
http://www.apjapan.co.jp/

エーアンドピーコーディネータジャパンは総合素材集「具満タンシリーズ」の12作目「具-満タン12『情報キーワード編』」を11月26日より発売する。「情報キーワード編」は、人間の生活を形成している経済・産業・社会生活・ヘルス・ハイテク・科学技術・カルチャー・娯楽といったジャンルついての問題を効果的にアピールできる素材集だ。家庭や学校での掲示物・回覧物作成から、企業・自治体での内部教育資料作成・外部へのPR活動、ビジネスシーンでの事業提案等の資料作成に適した写真、クリップアート[*1]、タイトル文字、シンボル・アイコン、サウンドなどを3,070点収録している。CD-ROM 7枚組。
●エーアンドピーコーディネータージャパン(株)／03-5798-0210



「スゴネタ 16オフィスナウ」「スゴネタ 17商売大繁盛」発売

価格●各8,800円
http://www.net.grapac.co.jp/

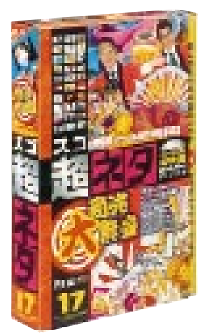
グラパックジャパンは総合素材集スゴネタシリーズの「スゴネタ 16オフィスナウ」と「スゴネタ 17商売大繁盛」を発売した。「オフィスナウ」はパソコンや携帯電話などのイラストや会議シーンの写真など、会社案内やプレゼンテーション作成に便利な最新のビジネス事情を切り取った素材2,260点を収録している。「商売大繁盛」は各種商店やスーパー、コンビニ等で店頭を飾るPOPやポスター、販促物の作成に便利な素材2,210点を収録している。いずれも使いやすいCD-ROMケース、ガイドブック、ブラウザー付き。ハイブリッドCD-ROM 8枚組み。
●グラパックジャパン(株)カスタマーサポートセンター／03-5213-5563

大人気3Dアクションゲーム「QUAKE III ARENA」

価格●6,800円
http://www.panda.co.jp/

P&Aは米id Software社の大人気3Dアクションゲーム「Quake III Arena」を11月26日に発売する予定だ。初代Quakeによって火がついた一人称視点シューティングゲームが、初代を上回るスケールで登場する。ひとりでも遊べるが、オンラインで知らない人と対戦することも可能だ。このQuake III Arenaの発売に際し、P&Aは専用線によるサーバーを設置し、月2回の定例オンライントーナメントの開催、各種イベントの実施など、オンラインゲーム環境整備を行なっている。Mac版とWindows版の同時発売。
●(株)P&A／042-525-9501





サザンオールスターズ「SPACE MOSA」

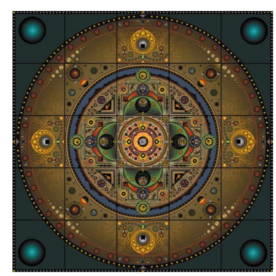
価格●7,800円
http://www.space-mosa.com/

オラシオンはサザンオールスターズの20年の活動を集大成した3枚組みCD-ROM「SPACE MOSA」を12月10日より発売する。宇宙ステーションSPACE MOSAはライブラリー、ミュージアム、シアターの3つのコアで構成されており、ライブラリーにはサザンのこれまでに発表された全楽曲221曲を完全収録（各1コーラスずつ）。ミュージアムには20周年を記念した展覧会“MOSA”で展示された展示物を収録している。シアターには未公開ライブ映像やシングルプロモーションビデオをメドレーで収録している。10月15日～11月24日の予約期間に予約すると、特製のCD-ROM「SPACE MOSAデスクトップアクセサリー」がもらえるようになっている。取り扱いはレコード店、パソコンショップ、一部コンビニ（予約のみ）など。
●(株)オラシオン／03-3481-8760



故池田友也氏の作品展「CGの世界」～池田友也のデジタルコミュニケーション～開催

価格●入場無料



TEPCO銀座館2階オープンスペースで、スクリーンセーバー「After Dark」のモジュールのひとつで世界中で愛用されている「フライングトースター」の作者であり、昨年10月に急逝された故池田友也氏の作品展、「CGの世界」～池田友也のデジタルコミュニケーション～が、12月2日から12月14日まで開催される。会場では生前、池田氏が発表した、クリップアート集やライフワークのひとつだった「曼陀羅」などが、モニターやパネルを使って展示される。水曜休館で入場無料。午前10時30分～午後6時30分まで。
●TEPCO銀座館／03-3575-0456

*1 **クリップアート**：クリップ（clip）とは、切り抜くという意味で、切り抜いたイラストを指す造語。本来は、雑誌などの挿し絵のことを指していたが、パソコン上では、文書などに貼り込んで使えるデータのことを指すようになった。

Daniel Barnet's
USA Headline News around Macintosh

Daniel Barnet, Daniel.Barnet@unbound.com

米国での8月のパソコンの売れ行きは絶好調。下がり行く平均価格が主な原因だが、さまざまな新しい工夫が登場してきていることも見逃せない。

どんどん安くなるパソコンの平均単価 Appleのシェアは5位に

8月の米国でのコンピューター販売数についての調査が、Intelect ASW Marketing Services社より発表された。これによるとこの1カ月に米国で販売されたパソコンは71万8384台で、前年同月の47万4442台から倍近い数字。メーカー別に見ると、Hewlett-Packardが好調で、マーケットシェアは前年同月の27%から35%へ向上、Compaq Computerを破ってナンバーワンの座を得た。2位に落ちたCompaqは、前年からほぼ同じ30%のシェアを堅持。iMacにそっくりのマシンを出したeMachinesが14%でなんと3位となり、IBMが10%で4位となっている。5位はわれらのApple Computerだが、ここでグッと差ができて2.5%と発表されている。Appleが取りたてて悪かったというよりも、Windows系の他社が伸びすぎている、ということ。

全体に数字が好調だった理由は、パソコン価格の急落が考えられる。特に、特定のインターネットプロバイダーとの契約を条件にしたり、各種リベートを適用することで、パソコンを低価格（ときに無料）で販売するケースが目立っている。実際にパソコンの平均価格は800ドルを切るまでに下がり、600ドルを切るパソコンの割合も47%まで上昇しているという（ZD InfoBeads調べ）。7万円程度のパソコンが半分を占めるというのだからすごい。しかしこのクラスでも、CPUにCeleron*1の400MHzくらいは積んでいる。さすがにメモリーは64MBほどだし、ビデオカードもG400*2やTNT2*3などといった最新鋭ではないが、ほとんどのユーザーは不満に思わないだろう。インターネットやWordやExcelを使った書類作成、そこそこのゲームを楽しむには十分な性能なのだ。そして何より、これまでパソコンを買おうなどと考えもしなかった層が、価格につられて買っているのである。タダだ、といわれたら、あなたの田舎のお父さんも買うと思わないか？

ちなみにパソコンの売上の伸びとともにMicrosoftは業績絶好調、昨年同期の41億9000万ドルから53億8000万ドルへと売上を伸ばした。11月のCOMDEXではWindows2000の発表を控えており、笑いがとまらない。

安くなるばかりというわけでもない 上がり続けるメモリー価格の今後

パソコンの値段は安くなったとはいえ、今年の年末にかけてはどうやら価格は短期的にあがっていきそうな雰囲気。AppleのG4価格騒動はMotorolaのチップ供給不足によるものだが、こちらは台湾中部で起きた大地震に端を発している。

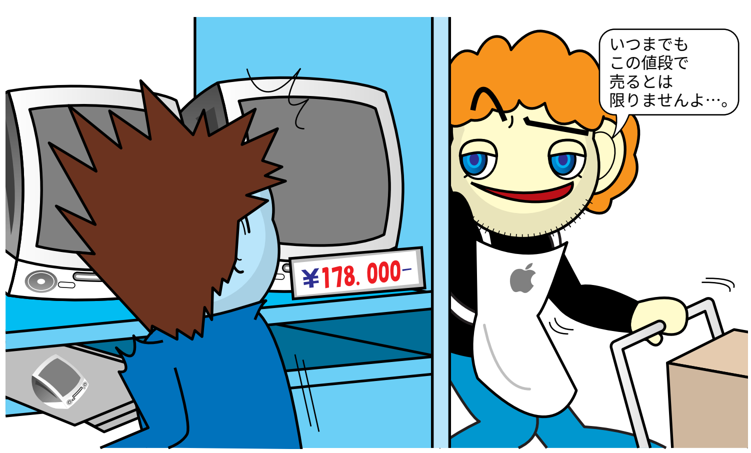
この地震によって、ロジックボードや各種チップ、液晶モニター、ドライブなどの工場の多くが2週間に渡り停止した。パソコンはどの部品がなくなっても出荷できなくなるのでメーカーは在庫切れが起きないか戦々恐々とする。CD-ROMドライブやグラフィックチップなど品薄が予想されている分野では、すでに価格上昇を発表しているメーカーもある。

一番目に見えて価格が上がっているのがメモリーだろう。夏前から価格は徐々に上昇傾向にはあったが、地震によって一気に跳ね上がった。たとえば128MB RAMの平均的な価格は夏ごろは2万円を切っていた。しかし現在は3万円を越えてきている。わずか1万円と思うなかれ、これだけ短期に50%以上の伸びというのはすごいことなのだ。この価格上昇は半年以上続くのではないかと見られており、いったいいくらまで上がるのか、誰もわからない状態なのだ。このため前述のような低価格パソコンは一時的に消えてなくなるのではないか、という見込みもあるほどだ。クリスマス商戦がどうなるのか、興味がつきない。

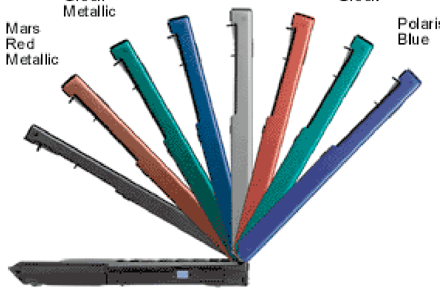
地震によるAppleの影響はどうかというと、iBookの生産が一時停止し、9月だけで30万の受注を持つにもかかわらず、6000台程度しか出荷できなかった模様だ。しかし今後はその遅れを取り返すと発表しており、この四半期に20万台以上出荷する見込みだ。iBookもG4のように、メモリーの供給不足を理由に突然価格が変わらないことを祈るだけだ。

1400という数字は 背中の色が変わるという意味か

いいかげん色のついたパソコンも珍しくなくなってきたとはいえ、パソコン製造の大御所、IBMからも出てきたとなるとニュースになる。同社の新しいノートブック「ThinkPad iシリーズ1400」は、IBMブルーを初めとする7色から選んで発注できる。残念ながらiBookのように全体的にデザインされているものではなく、カバー部分の色だけ選択できる。このカバーは取り外しが可能で、1色あたり29.99ドルで販売する（右ページ参照）。433MHzのMobile Celeronを搭載したモデルで価格は1,499ドルだ。作りはこれまでの同社のThinkPadとどう見ても同じで、iBookを見た後だと「やる気あ



*1 Celeron：Intel社のCPUでPentium IIの廉価版。低価格のWindowsマシンなどに使用されている。 *2 G400：Matrox Graphicsの3Dチップ「Matrox G400」のこと。Millennium G400などが搭載している。 *3 TNT2：NVIDIAの3Dチップ「RIVA TNT2」のこと。カノープスやダイヤモンド・マルチメディアなどからTNT2搭載のビデオカードがリリースされている。



るのか？」と思えてくるのが悲しい。それでも何かないのか？　と探してみると、あった、ThinkLight（TM）だ。ThinkLightは暗がりでもキーボードが見えるように、うっすらとキーボードにイルミネーションを点ける機能。うーむ。それにしても色のついた「i」シリーズで、型番が1400というのはできすぎではないですかね。

この他にも、DellのInspiron 3700（Tahoe BlueとStorm Greyの2色が選べるノートブック）や、GatewayのAstro（iMac形式の一体型デスクトップ、色は真っ白）などがおもしろいので、Webなどで一度ごらんになられるとよいだろう。Astroの方はiMacに似せまいとして変な造形になっている。

Athronの次はItanium なんだか硬そうな名前が続くCPU

Intelは、これまでMercedと呼ばれていた64ビットCPUの正式名称が、Itanium（アイテニアムと読む）と決まったと発表した。

同CPUはIA-64アーキテクチャー*4を使った最初のチップで、Pentiumのような32ビットCPUよりかなり高速。1クロック当たり最大6命令の並列処理が可能なうえ、3種類のメモリー（というかキャッシュ）をCPUに含んでいるのが特徴。3つめのメモリーは、なんと4Mバイトもの容量がある。Intelによると、RSAなどが開発したセキュリティアルゴリズムを2,000個のPentiumで処理するよりも3倍高速に実行できるとしている。来年半ばまでに生産を開始する。

こうなると黙っていられないのが、Advanced Micro Devices（AMD）。同社は、10月5日に強敵Intelの「Itanium」に対抗するためのプロセッサ強化プランを打ち出し、Itaniumの対抗となる64ビットプロセッサの名前をSledgeHammerと名づけた。同CPUはこれまで「K8」とも呼ばれていたプロセッサーで、現行の32ビットアプリと互換性を持たせようとしているのが特徴。

サポート費の削減に苦心する各社 フレンドリーな仮想技術者に期待

Appleに無料サポートを期待するというのはもはやヤボな話だが、GatewayやCompaqといった会社はその大切さがよくわかっている。しかしサポートには多大なコストがかかるため、これをなんとか食い止めなければ大きな利益は見込めない。パソコン価格はどんどん低落していっているからだ。

Gatewayは、サポートの電話を減らすために、E-Support Solutionsと呼ぶ電子サポートシステムを導入する模様だ。これは、ユーザーがシステムの故障を引き起こした可能性のある行為をした場合、簡単に取り消せるシステム。プログラム設定をうっかり変更しても、1回の操作でアンドゥできるという。このシステムには、Wild File社のソフトウェアを利用。AppleではCopland*5の時代からFinder操作のアンドゥを謳ってきた割には進んでおらず、この点でも下手をするとPCにやられかねない。Gatewayではこのシステムを他社にも販売していく模様。

Dellでも、インターネットを利用したシステム診断ツールを使ったサポートシステムを導入する見込み。ホスト側のオンラインサポートデータベースに、「自然言語処理」検索技術などの機能を追加しているのが特徴。ま、このあたりはありがちな展開だが…。

面白いのがCompaq。ここでは「AL（アル）」という名前の仮想技術者が登場する。Compaqのマークのついた帽子をかぶったこのおじさん（白い作業着を着ており、医者風なところがちょっとNortonおじさん系だ）はパソコン内部にあるシステムのデータベースを監視しており、異常を見つけると解決してよいかユーザーに問い合わせてくる。また、キーボードにある一種のヘルプボタンを押すことでもALを使うことができる。ALのかわいいところは、自分では直せないシステムエラーについては、生まれ故郷であるCompaqにメールを送って、技術者からの連絡を待つ点だ。ある種のトラブルはCompaqからの電話回線を通じたリモートアクセスで解決できるという優れモノだ。この自動的な診断によって、サポート費用は激減する模様。CompaqではALをすべてのPresario Internet PCシリーズに送りこむ（？）予定だ。

なおALは、Microsoft Officeについているイルカのように、向こうからあれこれ「こんな機能もありますヨ」とアドバイスを送ってくるようなことはないということなので安心して欲しい。

今月の MAC BEST 10 ニュース

No.1 G4 500MHzキャンセル問題
今月一番騒ぎとなったのは間違いなくコレだろう。500MHz版G4を準備できなくなったので、すでに注文している顧客には同じ値段で50MHz下げて出荷すると発表したので大騒ぎ。結局Appleはユーザーに謝罪文を出すという同社としては珍しい結末となっている。

No.2 Mac OS 9が登場
Sharlock 2、マルチユーザー、キーチェーン、加えてCarbonが入っているんだそうだが、Mac OS Xへのデベロッパーの関心がぜんぜん盛り上がっていない点が気になる。

No.3 G4アップグレードを阻止？
Appleが既存のマシンからG4へのアップグレードをさせないように、ファームウェアを細工したのではないか、という噂が広まっている。真相は不明だが、すでにアップグレードカードがサードパーティから出てきている。

No.4 新しいAppleCareが登場
新しいAppleCare Protection Planは、電話サポートや修理サービスを3年間に期間延長。使用しているマシンによって料金も異なる。

No.5 Startup Managerが機能アップ
新しいStartup Managerは、ブート時に起動ボリュームを選択できるようだ。これによって、コントロールパネルで設定して再起動する必要がなくなる。

No.6 Mac用OE 5.0が登場
MicrosoftがやっとOutlook Express 5 Mac Edition を発表した。5.0では、ジャンクメールをフィルタ処理する機能や、Palmハンドヘルドと同期をとる機能などがついている。

No.7 Voodoo3がMacでも使える！
PC用高速グラフィックカードVoodoo3のMac用ドライバーが入手可能になった。G400やTNT2も使えるようになればよいのに…。

No.8 7300をG4に
PowerLogix社は、Power Mac 7300から9600シリーズ向けのG4アップグレードカードを発表した。価格は500ドルから。

No.9 IBMがViaVoiceをMacへ移植？
IBMの音声入力技術であるViaVoiceを、本年末までにMacに移植する計画があるという。PostPetも新しいバージョンがMac向けに出るのだろうか。

No.10 Yikesのネットブートバグ
Power Mac G4/350（Yikes）のBootROMには、ネットブート時に発生するバグがあるらしい（G4/400 ・Sawtoothでは発生しない）。詳しくは、http://til.info.apple.com/techinfo.nsf/artnum/n58490を参照。

*4 IA-64アーキテクチャー：従来の32ビット・アーキテクチャーをエミュレーションで対応し、新たに64ビット命令群を実装したIntelの64ビット・アーキテクチャー。　*5 Copland：数年前に次世代OSとして名前が上がっていたOSのコードネーム。結局発売されなかった。

Maclife Developer News

Mac OS 9が10月末に日本でも発売されたが、多数のMac OS 9関連の文書が10月初頭よりアップルからリリースされている。ここでは代表的なものだけを紹介するが、おおむね、11月初頭までにひととおりが公開されたといえるだろう。Mac OS 9の新しい機能をチェックしたり、あるいは自分で作成しているソフトウエアに組み込むのであれば、すでに資料はかなり揃っているといえる。12月には、恒例の、そして日本では唯一のMacintoshデベロッパー向けの集まりである MOSA主催のミーティング「MacintoshSoftware Meeting」が開催される。

新居雅行●msyk@locus.co.jp

Carbonアプリケーションへの移植サービスを提供

インドの西海岸沿いにあるMan galoreに本拠を持つRobosoft Technologiesは、アプリケーションをCarbon対応に移植するサービスを提供している。同社はソフトウエア関連のコンサルティングを中心としており、Mac OSだけでなく、Win dowsやJavaについてもサービスを行なっている。移植作業やクロスプラットフォーム向けの開発、あるいはMac OS向けの開発などのサービスを提供している。Car bonへの移植サービスについては、ADC（Apple Developer Con nection）会員は割り引きが設定されている。

CarbonはMac OS XおよびMac OS 9に搭載される共通のAPIセットで、従来のMac OSのAPIに多くの部分が共通するため、従来のアプリケーションのMac OS X対応を早期に実現するための重要なテクノロジーとなっている。既存のアプリケーションのMac OS X対応は、まずCarbon対応からなされるのが一般的な順序となるだろう。

オープンソースのMozillaがMilestone10リリースを公開

オープンソース化したNetscapeである「Mozi lla」のMiles tone10というリリースが公開された。Mac OS対応のビルドも配付されている。現在はSeamonkey Pro jectとして、Mozillaのソースコードをベースに、商品としてのブラウザー、メーラー機能を持つクライアントを構築するプロジェクトが進行している。

M10というリリースは、特に大きな変化はなく、予定に従ったリリースのようだ。リリース計画では、2000年2月にベータ版となっている。MozillaはHTMLのエンジンとしてGeckoを備えており、HTML 4.0、CSS1/2、DOM、XMLなどをサポートする。

MOSAのミーティングが12月に開催、今年は泊まりもアリ

MOSA（Macintosh OS Software Association）は、毎年恒例となった「第6回 Macintosh Software Meeting'99」を開催する。1999年12月11、12日に、東京初台のアップルコンピュータ本社と、葉山の湘南国際村センターで行なわれる。初日にアップルよりのセミナーをアップル本社で行ない、夕方にバスで湘南国際村センターに移動し、2日目にはMOSAの企画によるセッションが開催される。セッションは11設けられているが、うち3つは初日に異なる時間帯に行なわれる。そして8つのセッションが2日目に開催されるが、同時にいくつかのセッションが開催されるため、3つまでセッションに参加できる。費用は、会員でツインルームの場合1万2000円となっており、シングルルーム、会員外では異なる値段設定となっている。

アップルからのセッションは、Mac OS、QuickTime、MLTE（MultiLingual Text Editing：Mac OS 9に搭載されたシステム機能で、32KBを超えるテキストの扱いも可能なテキスト編集コンポーネント）となっており、特にMLTEについては現在ドキュメントが配付されていないこともあって、情報が初めて公開される場になる可能性もある。2日目のセッションは、中野洋一氏のゲームプログラミング、福井裕之氏のPalmアプリケーション開発、K仲川氏によるREALbasicプラグインやオブジェクト指向の考え方、土屋一樹氏によるREALbasic入門、稲田元彦氏によるハードウエア解説、新居雅行によるJavaといったテーマで行われる。

1日目の夜にはスペシャルパーティとして、Apple Design Awardを受賞したコーシングラフィックシステムズ小池邦人氏に対するお祝も行なわれる。アップルが開催するデベロッパー向けのカンファレンスがWWDCに一本化して日本で開催されなくなったことから、昨年のミーティングより、アップルによって行なわれるセッションが重要な意味を持つようになっている。前年のミーティングはアップル本社のみで行われ、一昨年まで宿泊を伴う形式で開催されなかった。今年は、アップル本社を利用しながらも宿泊もプログラムに組み入れることで、参加者の懇親をより深めるという意図があるようだ。

Sherlockプラグイン作成方法の文書がSherlock 2に対応

Sherlockのインターネット検索プラグインを開発する方法が記載されたTech noteの「Tech note1141：Ext ending and Con trolling Sher lock」が更新され、Sherlock 2対応の内容になった。Sherlock 2では新しく「チャネル」という概念が組み込まれ、チャネルごとに異なるタイプを設定できるようになった。「ニュース」「ショッピング」では、検索結果から一覧を取り出す設定が、従来のプラグインとは若干異なっているがその点について触れられている。また、タイプが「人々」の場合は、Webサーバーではなく LDAPサーバーへ検索をかけるが、その場合のプラグイン作成方法も記載されている。一部変更されたAppleScriptの利用方法についても記載されている。Sherlockプラグインを作成している人や、新しいタイプに対応したプラグインを作っている人は、要チェックだ。

Mac OS 9アプリのパッケージの作成方法

Mac OS 9では、パッケージとして、1つのフォルダーにアプリケーション本体やヘルプファイル、スクリプトファイル、画像ファイルなど必要なファイルを1つにまとめた形態をサポートする。パッケージとしてまとめたフォルダーが、あたかも1つのアプリケーションのように見えるという形式だ。Mac OS X Serverのアプリケーションがすでにそういう形式になっているが、将来のMacOS Xのアプリケーションの形態としても、パッケージという形態をサポートするようになる。

このパッケージの作成方法について記載された「TN1188: Pack ages in Mac OS 9」というTech noteがリリースされた。パッケージ自体はCarbonだけというこ

とは記載されておらず、Mac OS 9向けの機能として利用できる模様だ。パッケージを作るには、それほど難しくはない。1つのフォルダー内に以下のような規則でファイル群が詰め込まれていればよい。

●パッケージのフォルダーのfrFlagの13ビットを立てる
●アプリケーション本体へのエイリアスが、フォルダーのルートレベルにある

これだけのことでいい。フラグのビットを立てることでFinderはパッケージと認識するが、クラッシュ後に誤認することがある。その場合、Mac OS 9に付属のPackage First Aidというユーティリティで修復ができる。また、トップレベルのエイリアスのアイコンがパッケージとなるフォルダーのアイコンにもなり、ドラッグ&ドロップ時の振る舞いを決めることになる。なお、このエイリアスのもとはアプリケーションだけでなく、ドキュメントなどでもかまわないとしている。パッケージのフォルダー内の構造は、以上の規則にあてはまっていれば、自由に設定することができる。独自にサブフォルダーを作って、さまざまなファイルを収めておくことができる。

Finderのパッケージサポートに伴って、odocイベントの処理に少し手を加えなければならない。パラメータとして、パッケージの内容をFinderから伝達されるのに対応する必要が出てくる。また、標準ダイアログはパッケージに対応していない点も注意が必要になる。このように、既存のアプリケーションも「パッケージ」へのサポートあるいは配慮が必要になる。なお、開発ツールでは直接パッケージを作る機能はサポートされていないものの、おそらくはある段階で対応するものと思われる。

Drawinの初心者向けWebページ

Drawinの利用方法を初心者向けに解説、インストール方法や基本的な利用方法などがまとめられている。バージニア大学の学生であるKeith Shepherd氏によって開設された「Darwin OS Beginners Guide」は、オープンソース化されたMac OS X Serverのコア部分であるDarwinの初心者向けページである。インストール方法はシンプルだが、CD-ROMのマウント方法や、もっとも基本的なコマンドの簡単なサマリー、トラブルシューティングなどがまとめられており、これからDarwinにとりかかろうという人にとっては、基本的なことがシンプルにまとめられていると言えるだろう。ただし、ページの制作者もビギナーであることが記載されており、まだ、詳細な情報源とまではなり得ていないとも言える。今後に期待したいサイトである。

Darwin OS Beginners Guide：
http://www.people.virginia.edu/~bks7g/darwin.html

Mac OS 9対応のMacsBugが正式リリース

バイナリレベルのローレベルデバッガー「MacsBug 6.6」が正式にリリースされた。これまではベータ版としてリリースされていた。6.6はMac OS 9に対応したバージョンであり、以前に配付されていたMacsBugはMac OS 9では機能しないので、Mac OS 9でMacsBugを使うには6.6を入手する必要がある。AltiVecやマルチプロセッサー対応もあるが、MacsBugの操作がマウスでできるようになった点が大きな変更点といえるだろう。MacsBugに入って「set menubar on」というコマンドを入力するなどして、マウスでメニュー選択できる。

WebObjects 4の トライアル版を無償提供中、 NTで開発と稼動が可能

アップルは、WebObjects 4の評価版を無償で提供している。開発環境および稼動環境の両方を無償で評価できる。ただし、使用期限が2000年2月1日までで、トランザクションが1分あたり25までとなっている。OSはWindows NT向けのものが提供される。WebObjectsの導入を検討している、企業や学校、あるいはシステムインテグレーター、プログラマー、SEを対象に配付する。以下のページからのリンクで申し込むことができ、直送される。申し込み期限は1999年12月24日まで。

Mac OS X Serverの導入でWebObjectsを使うというのも1つの手ではあるが、ある程度のものを作ってレビューしないことには、稟議を通したり導入に結びつかないということもあるかもしれない。この評価版を手に入れて、ビジネス現場で比較的利用されているNT上で評価あるいはプロトタイプを作成することで、現場でのWebObjectsの評価を高めるということも期待できるかもしれない。

■申し込みについて
http://enterprise.apple.co.jp/WebObjects/trial.html

Palm開発者向けの カンファレンスが日本で初開催

スリーコムジャパンは、携帯機器のPalmコンピューターでの製品を開発する開発者向けのカンファレンス「PalmSource Tokyo Summit（Palmデベロッパカンファレンス）」を開催する。1999年11月30日と12月1日に、東京台場のホテル日航東京で行われ、参加費は25,000円だ。初日の午前中にはキーノートセッションが開かれ、Palm Computing社副社長のMark Bercow氏が講演する。オーバービューからソフト開発の情報まで幅広く製品技術方面のセッションが開催されるが、プログラマー向けには12月1日に多くのセッションが開催されるという。展示もあるようだが、詳細は不明だ。カンファレンスの内容も、現時点では概要のみの発表だ。いずれにしても、日本で初めて開かれるPalmプラットフォーム向けのデベロッパー会議である。

PalmSource Tokyo Summit：
http://www.palm-japan.com/devzone/palmsource_j/



購読料は、6カ月で、5,000円。1年間で、8,000円
http://cserver.locus.co.jp/mdo.html

Macintosh Developer Online（MDOnline）

Mac OS分野の開発者、システム管理者、インテグレーターなどに向けて、Mac OSに関する技術情報を集めたニュースレターで、株式会社ローカス情報メディア出版局が配信している。公開されたTech Info Libraryの内容や、Te chnote、開発関連の文書の内容、開発ツールやサーバー系を中心にしたネットワーク関連の動向などを、ほぼ日刊のメールで配信している。また、過去の記事は、パスワードのかかったWebサーバーで閲覧できるようになっている。記事の執筆は、『Mac intoshアプリケーションプログラミング』や『実用Office98 for Macintosh』などの著書がある新居雅行が行なっている。

※本ページは、MDOnlineの許可を得て、その抜粋を掲載しています。

VERSION UP
バージョンアップ

ヤノ電器 バージョンアップ情報

ヤノ電器は、各ドライブ製品用ドライバーソフトのアップデータをリリースした。内容は以下のとおり。

■USB FD
UFDシリーズ用のドライバーソフト「USB FD」がバージョン1.2.2にバージョンアップ。キープロテクトフロッピーを使用するインストーラーとの互換性が向上し、フロッピーのマウント時間が短縮された。同社Webページ（http://www.yano-el.co.jp/support/updater/index.html）から無償ダウンロードできる。

■SCSI Device Pro
「SCSI Device Pro」がバージョン2.3.2にバージョンアップし、新PowerBook G3に対応。同社Webページ（http://www.yano-el.co.jp/support/updater/index.html）から無償ダウンロードできる。

■FireWire Utility
Ceruleaシリーズ用ドライバーソフト「FireWire Utility」がバージョン1.0.4にバージョンアップ。FireWire Card Bus PCカードに対応した。同社Webページ（http://www.yano-el.co.jp/support/updater/index.html）から無償でダウンロードできる。対応カードは、ラトックシステム社製「REX-CBFW2」、Newer Technology社製「FireWire 2 Go」。なお、FireWire Card Bus PCカードに接続してCeruleaシリーズを使用する場合は、別売りのCeruleaシリーズ用ACアダプター（価格3,800円）が必要。また、Mac OS 8.5.1および初代PowerBook G3では、FireWire Card Bus PCカードが動作しない。詳細についてはPCカード開発元に問い合わせのこと。

ヤノ電器(株)
078-993-0007
http://www.yano-el.co.jp/

亘香通商 Mathematica

亘香通商は、高等数学をはじめ、あらゆる分野の応用に使える汎用ソフトウェアシステム「Mathematica Professional 4.0日本語版」をリリースした。価格は358,000円。バージョン4.0では、膨大な量の数データを処理する際の効率の向上、新たなアルゴリズムや言語の搭載、数値計算の効率アップなどの改良が行なわれている。アップデートサービスは2000年3月末日同社必着分までの申し込みが有効で、料金は83,000円。

また、Mathematicaのインターフェイスとドキュメントを日本語で使えるようにするアドオン「Mathematica日本語キット」もリリースされた。価格は40,000円。日本語メニュー、警告メッセージやダイアログボックスの日本語表示などが実現する。アップデートサービスは2000年3月末日同社必着分までの申し込みが有効で、料金は40,000円。

亘香通商(株)
045-320-2711
http://www.senko-corp.co.jp/

演算星組 Mac書道山水

演算星組は、毛筆や習字のタッチを表現できるグラフィックソフト「Mac書道山水」のバージョン1.0.0から1.0.3へのアップデータをリリースした。使用機種によってスタート時に「編集サイズの設定」画面が見えないというバグが修正されている。同社Webページから無償でダウンロードできる。

(株)演算星組
03-3372-2970
http://www.enzan-hoshigumi.co.jp/

デジタルオリジン バージョンアップ情報

デジタルオリジンは、同社のDV製品のアップグレードサービスを開始した。アップグレード料金は、「EditDV1.5J」（Mac OS版）が24,800円、「PhotoDV1.4J」（ハイブリッド版）が5,800円、「MotoDV1.4J」（ハイブリッド版）が7,200円、「MotoDV1.4J＋PhotoDV1.4J」（ハイブリッド版）が13,000円。新バージョンでは、対応デジタルビデオカメラおよびデッキの充実、レンダリングスピードの高速化などが実現されている。アップグレードの申し込み方法については、デジタルオリジン日本代表サイト（http://www.digital-origin.co.jp/main/products/upgrades/upgrade_index.html）を参照のこと。

デジタルオリジン　マーケティング
03-5575-5891
http://www.digital-origin.co.jp/

ホロン iBase-Filo v.1.1

ホロンは、電子手帳ソフト「iBase-Filo」のバージョン1.1をリリースした。バージョン1.1では、クロスメール機能が強化され、監視中のメールボックスのメール一覧、メール転送、監視間隔の設定などをコマンドメールで指定することが可能になっている。既存のユーザーは、そのまま同一のキーコードで新バージョンを利用できる。価格は9,800円。発売キャンペーンとして、限定1,000本が4,800円で販売されている。

ホロン(株)
044-981-1075
http://www.hln.co.jp/

メディアヴィジョン MediaCreaner Pro 4

メディアヴィジョンは、「Media Cleaner Pro 3 英語版」以前のバージョンのユーザーを対象に、「MediaCreaner Pro 4 英語版」へのアップグレードサービスを実施している。アップグレードしたユーザーには「MediaCreaner Pro 4 日本語版」が発売後に無償で送付される。アップグレード料金は25,000円。申し込みは、同社Webページ（http://www.mvi.co.jp/support/info/mcp4ug.html）から記入フォームをダウンロードし、FAXで送付する。

同バージョンでは、クロスプラットフォームが実現したほか、QuickTime4、Real Video、Windows Media（ASF）などのムービー形式やMP3などのサウンドフォーマットに対応した。

(株)メディアヴィジョン
03-3263-0669
http://www.mvi.co.jp/

アイ・オー・データ バージョンアップ情報

アイ・オー・データ機器は、CCDカメラ「USB-CCD」（価格21,000円）、キャプチャーケーブル「USB-CAP」（価格14,800円）

がバージョンアップされた。従来、同2製品はWindowsでしか使用できなかったが、ソフトのバージョンアップによりMac OSでの使用が可能になった。対応機種はiMac、青白Power Macintosh G3、Power Book G3（USBポート標準搭載機種）、対応システムはMac OS 8.6。ただし、同製品に添付されているビデオメールソフトやビデオ編集ソフトなどはWindows用で、Mac OSでは使用できない。

アイ・オー・データ機器
076-260-1024（金沢）
03-5256-1024（東京）
06-4705-5544（大阪）
http://www.iodata.co.jp/

アクト・ツー ShrinkWrap 3.5J

アクト・ツーは、ディスクイメージユーティリティ「ShrinkWrap 3.5J」のオンラインでのアップグレードを開始した。バージョン3.0Jオンライン版のアップグレード料金は2,500円、バージョン3.0Jパッケージ版のアップグレード料金は4,500円となっている。また、バージョン3.0Jパッケージ版を1999年9月1日以降に購入したユーザーを対象に、バージョン3.5Jへの無償アップグレードも実施している。アップグレードの詳細については同社Webページを参照のこと。

新バージョンでは、ディスクイメージ分割、使用中ブロックのみをコピーするオプション、2GB以上のボリューム、バージョン6.3までのDiskCopyフォーマットなどに対応している。

(株)アクト・ツー
03-3328-8431
03-3328-9321（アップグレードセンター）
http://www.act2.co.jp/

アクセス バージョンアップ情報

アクシスは、CREATOR'S office/SOHO/MEDICAL officeをver 4.0にバージョンアップした。銅製品は、小規模オフィス向けの販売および会計ソフトウエアで、今回のバージョンアップにより仕訳辞書の搭載・販売管理用帳票追加・キーボードでの高速入力などが可能になっている。価格は38,000円。バージョンアップ料金は、8,800円で12月から2000年の3月までバージョンアップサービスを行なう。

アクセス
078-845-2223
http://www.ibook.co.jp/axess/

CAMPAIGN キャンペーン

エルゴソフト キャンペーン情報

エルゴソフトは、Power Mac G4などが当たる「エルゴソフト15周年キャンペーン」を開始した。今回のキャンペーンは「クイズキャンペーン」と「Wチャンスキャンペーン」とで構成されており、Power Mac G4やiMac、現金1万円などが当たる。応募方法は、ホームページからの応募と、ユーザー登録ハガキでの応募がある。ホームページを利用する場合、http://www.ergo.co.jp/から、簡単なクイズに答えて応募する。ひとり1回のみ応募できる。また、ユーザー登録ハガキの場合、キャンペーン対象製品（EGWORD Ver.10 、EGBRIDGE Ver.11、 EGWORD PURE Ver.5.0、EGWORD Ver.9.0、EGBRIDGE Ver.10 、EGWORD PURE Ver.4.0、すぐれ筆2000、フォトコレクター Ver.2.0、漢字職人 Ver.2.0）を購入し、ユーザー登録ハガキで登録をした人が、Wチャンスとして抽選対象者として自動的に登録される。対象商品のバージョンアップユーザーも対象になる。詳細は、エルゴソフトのWebページにて確認のこと。

エルゴソフト
045-565-3330
http://www.ergo.co.jp/

クォリタスジャパン キャンペーン情報

クォリタスジャパンでは、「Mathematica 3.0.1日本語版」を購入すると「Mathematica 4日本語版」に無償アップグレードできる、「Mathematica V3J→V4J Free Upgrade キャンペーン！」を実施している。期間は「Mathematica 4日本語版」発売時まで。対象製品は一般版、教育版のみで、高校版は対象外となる。なお、「Mathematica 4日本語版」の発売は1999年11月末以降の予定。

クォリタスジャパン(株)
03-3269-4241
http://www.qualitas-japan.co.jp/

アクト・ツー MacMP3キャンペーン

アクト・ツーは、MP3作成/再生ソフトウェア「MacMP3 v.1.0」（価格12,800円）を特別価格9,800円で販売する「MacMP3ありがとうキャンペーン」を実施している。また、バージョン1.1へのアップデータ無償配布、プレーヤーのフェイス（外観）作成仕様書公開、新しいフェイス公開、Power Mac G4のVelocityEngineへの対応、ユーザーを対象とした「フェイスデザインコンテスト」の実施などが予定されている。詳細および最新情報は同社Webサイト、またはMacMP3のサイト（http://mp3.act2.co.jp/）を参照のこと。

(株)アクト・ツー
03-3328-8431
http://www.act2.co.jp/

A&Pコーディネータージャパン キャンペーン情報

エーアンドピーコーディネータージャパンは、年賀状用素材を同社のWebサイト「gu-mantanWEB」（http://www.mantan.ne.jp/）から無償でダウンロードできるキャンペーン「gu-mantanWEB 年賀素材無料ダウンロード」を実施している。期間は11月15日〜12月末日まで。また、「GASBOOK7」発売に併せて、全国の書店、パソコン量販店において「GASBOOKフェア」を実施する。期間は12月10日〜12月末日まで。

エーアンドピーコーディネータージャパン(株)
03-5798-0210
http://www.apjapan.co.jp/

アイ・オー・データ キャンペーン情報

アイ・オー・データ機器では、同社のSCSIインターフェイス関連製品を対象にした保証システム「AAA保証」を実施しているが、同システムのスタート記念として、豪華賞品が当たる『「AAA保証」スタート記念プレゼントキャンペーン』を実施している。キャンペーン期間中、同社のSCSIインターフェイス関連製

品を購入し、ユーザー登録したユーザーの中から抽選で100名に、ハードディスクドライブ「HDVS-UM20G」、CD-RWドライブ「CDRW-RX6424G」、MOドライブ「MOF-R640」などが当たる。1999年12月31日まで。

(株)アイ・オー・データ機器
076-260-1024
http://www.iodata.co.jp/

コーシングラフィックシステムズ キャンペーン情報

コーシングラフィックシステムズは、マルチメディアオーサリングソフト「キューティアルバム2.0」を特別価格で販売するキャンペーン「キューティアルバム・フェアー」を同社Webサイトで実施している。キャンペーン期間中は、通常価格14,700円のところ8,400円で購入できる。1999年12月15日まで。なお、同製品はオンライン販売によるキーウェア。

また、同キャンペーンにともなって、画像データをアルバム化してCD-Rに整理する方法やサンプル作品などが掲載されたWebページ「誰でも簡単！ すごくうれしい！ キューティアルバムを使った超極楽情報整理術」(http://www.kohshin-graphic-sys.com/ALBUM-TUT/album-tut.html）も公開されている。

(株)コーシングラフィックシステムズ
011-281-9391
http://www.kohshin-graphic-sys.com/

富士写真フイルム デジカメキャンペーン

富士写真フイルムは、プリンターを搭載したデジタルカメラ「Fine Pix PR21プリンカム」の発売を記念して、「プリンカム新発売記念キャンペーン」を実施している。キャンペーン期間中に同製品を購入したユーザーに、「プリンカムくんスマートメディアケース＆プリンカムシールセット」がもれなくプレゼントされる。期間は1999年11月20日からプレゼント品が終了するまで。

富士写真フイルム(株)
03-3406-2948
http://www.fujifilm.co.jp/

エー・アイ・ソフト キャンペーン情報

エー・アイ・ソフトは、同社の創立15周年を記念して、「15周年thanks プレゼントキャンペーン」を実施している。キャンペーン期間中、同社製品を購入したユーザーにDVDプレイヤーやデジタルCSセットなどが抽選で160名に当たる。対象商品のユーザー登録ハガキに添付されている応募半券を、パソコンショップに設置の専用応募ハガキに貼付して応募する。応募期間は2000年1月15日まで、当日到着分まで有効。詳しくは同社Webページを参照のこと。

エー・アイ・ソフト(株)
03-3376-7440
http://www.aisoft.co.jp/

Announcement
お知らせ

アルプス電気・竹尾 プリンター展

アルプス電気は、竹尾、PCM竹尾と3社共催で、「いろにこだわる・紙にこだわるプリンタ展」を開催する。同イベントは、アルプス電気のマイクロドライプリンター「MD-5500」に印刷本紙モードが装備され、これに対応する印刷本紙がPCM竹尾から発売されることにともなって開催されるもの。同製品が印刷本紙に対応したことで、商業印刷と同等の印刷品質が得られるようになる。同イベントでは、同製品および用紙を使用した印刷のデモンストレーションなどが行なわれる。期間は1999年11月15日〜11月19日まで。場所は表参道の青山見本帖。神田錦町のショップ竹尾でも同時開催される。

(株)PCM竹尾
03-3295-7500

フォントワークスジャパン フォント無償アップグレード

フォントワークスジャパンでは、同社の全製品に、来年リリース予定のCIDフォントへの無償アップグレード申し込みシールを貼付している。対象製品を購入したユーザーは、製品に同梱されているユーザー登録カードに同シールを貼って同社に送付すれば、CIDフォントに無償でアップグレードすることができる。同シールが貼付されていない製品でも、1999年9月1日以降に購入した証明を提出すれば、アップグレードできる。申し込み有効期限は2000年3月末日まで。

(株)フォントワークスジャパン
03-5354-7604、092-722-4760
http://www.fontworks.co.jp/

フックアップ STUDI/O価格改定

フックアップは、PCIサウンドカード「Sonorus STUDI/O」の価格を129,000円から95,000円に改定した。また、ワードクロックとADAT 9Pin同期用のオプション「SYNC BACKPLATE」も25,000円から18,000円に改定された。

STUDI/Oは、最大デジタル16イン/16アウト、2アナログアウトの入出力が可能なサウンドカード。

(株)フックアップ
03-5256-2853
http://www.hookup.co.jp/

upgradeStuff 日本語版Webページ

Newer Technology社製品を専門に扱う、米国のオンラインストアーupgradeStuff（http://www.upgradestuff.com/）は、日本語によるWebページ「upgradeStuff日本語版」(http://www.japan.upgradestuff.com/）を開設し、日本語でのサービスを開始した。日本語によるオンラインサポートと意見交換の場「オンライン広場」が設置され、アップグレード・ケアサービスも提供する。

upgradeStuff
402-827-3124（米国）

ケミカル・リサーチ Crackerjack評価版

ケミカル・リサーチは、PDFファイルの分版出力を可能にするAcrobatプラグイン「Crackerjack ver.3.0J」の評価版をリリースした。同社Webページからダウンロードできる。正規版の価格はオープンプライス。バージョン3.0では、ドキュメント内の文字と画像を区別する「ブラックオーバープリント」機能、IN-RIP未対応の出力機器をサポートする「プリセパレーション」機能などが搭載されている。

MAC CALENDARイベント開催案内

	展示会名	開催場所	問い合わせ	
11／15(月)――11／19(金)	COMDEX／Fall '99	Las Vegas Convention Center	ZD EVENTS	http://www.sbforums.com/
11／15(月)――11／19(金)	Linux Bussiness EXPO	Las Vegas Convention Center	ZD EVENTS	http://www.sbforums.com/
11／16(火)――11／19(金)	INCHEM TOKYO 99	東京ビッグサイト	日本能率協会　産業振興本部	03-3434-1391
11／17(水)――11／19(金)	国際放送機器展	幕張メッセ	日本エレクトロニクスショー協会	03-5402-7601
12／1 (水)――12／3 (金)	セミコン・ジャパン99	幕張メッセ	SEMIジャパン	03-3222-5755
12／1 (水)――12／3 (金)	'99国際画像機器展	パシフィコ横浜	精機通信社	03-3367-0571
12／18(水)――12／10(金)	ビジュアル・エンジニアリング・エキスポ1999	東京ビッグサイト	日本経済新聞社　日経BP社	03-5255-2847
1／4 (火)――1／8 (土)	MACWORLD Expo San Francisco 2000	Moscone Convention Center	IDG Expo	http://www.macworldexpo.com/
2／17 (木)――2／19 (土)	MACWORLD Expo Tokyo 2000	幕張メッセ	IDGジャパン	http://www.idgexpo.com/MACW/
2／22 (火)――2／23 (水)	ベンチャー・エキスポ2000	マイドームおおさか	日本経済新聞社	03-5255-2847
2／29 (火)――3／8 (水)	アーバン・デザイン2000	東京ビッグサイト	日本経済新聞社	03-5255-2847
2／29 (火)――3／3 (水)	RETAIL TECH JAPAN 2000	東京ビッグサイト	日本経済新聞社	03-5255-2847
2／29 (火)――3／3 (水)	SECURITY SHOW+Network Society	東京ビッグサイト	日本経済新聞社	03-5255-2847
2／29 (火)――3／3 (水)	IC CARD WORLD 2000	東京ビッグサイト	日本経済新聞社	03-5255-2847
6／7 (水)――6／9 (金)	NETWORLD + INTERROP 2000 TOKYO	幕張メッセ	ソフトバンクフォーラム	http://www.sbforums.co.jp/

ケミカル・リサーチ(株)
045-984-0257
http://www.copstalk.co.jp/

Extensis 社名変更のお知らせ

PhotoshopやQuarkXPressのプラグインで有名な米国Extensis Corporationは、社名を「creativepro.com, Inc.」に変更するとともに、「Extensis Products Group」を結成したことを発表した。同時に新しいWebサイト「creativepro.com」(http://www.creativepro.com /)が開設され、同社製品の提供を行なう。Extensis製品の開発、マーケティング、サポートはExtensis Products Groupで引き続き行なわれる。Extensis製品のロゴなどの変更はない。また、同社Webサイトの日本での展開は 現在のところ未定。

(株)ソフトウェア・トゥー
03-5676-2177
(株)メディアヴィジョン
03-3222-6868

MOSA ソフトウェアミーティング

MOSA (Macintosh OS Software Association)は、「第6回Macintosh Software Meeting」を、12月11日〜12日にかけて行なう。現在参加者を募集している。同イベントはAppleの最新テクノロジーについて、デベロッパー・テクニカル・サポートの各担当エンジニアより直接話を聞くことができる。セッションでは、初日に初台のApple本社でセミナーを受けたのち、貸し切りバスで湘南国際村センターへ移動し、懇親交流パーティーなどを行なうもの。費用は12,000円〜。申し込みの詳細は、http://www.iijnet.or.jp/mosa/を参照。

MOSA
03-5292-7820
http://www.iijnet.or.jp/mosa/

テグレット技術開発 美穂の旅

文書作成自動Webサービス「直子の代筆/インターネット」を運営するテグレット技術開発は、無料の仮想旅行サービス「美穂の旅」(仮称、英題 "Miho Travels")を実施している。同サービスは会員制で、ユーザーの分身がインターネットで結ばれた世界中のユーザーのコンピュータを旅するというもの。詳細については、同社Webページを参照。

(株)テグレット技術開発
03－3932－9869
http://www.teglet.co.jp/

セイコーエプソン Webプリ年賀 de goo

セイコーエプソンおよびエプソン販売は、NTT-Xが運営するインターネットモール「gooショップ」(http://shop.goo.ne.jp/)で、グリーティングカードや年賀状を手軽に作成できるサービス「Webプリ年賀 de goo」を開始した。サービス期間は2000年1月15日まで。同サービスでは、著名アーティストが作成した写真やイラストなどの高品質な素材が約2,000点提供される。料金は基本コンテンツセットが1,000円で、サービス期間中は使い放題。

セイコーエプソン(株)
0226-52-3131
03-5321-4111

法事で日本に一時帰国したのだが、たとえ仮の住処でもケンブリッジというのんびりした大学街に暮らしていると、東京での生活は何だか知らないうちに疲れてしまう。逆に言えばそれだけ刺激に満ちているのだろうが、音楽にしても、あるいはさまざまな商品にしても、単なる流行モノばかりに思われ、じっくり付き合えるものが少なすぎるからかもしれない。かつて日本人を評して「エコノミック・アニマル」という言葉があったが、このままいくと、情報もファッションも商品も消費できるところまで消費しつくす「コンシューミング・アニマル」になってしまうのではないか……などと思えてくる。もちろん消費が悪いわけではなく、消費した分、何かを作りだしているかどうかが問題。これは自戒でもあるのだが……。



1●一時帰国していた日本からの帰路に、UA機内で見たTIME誌のスティーブ・ジョブズ特集号。Apple社とPIXAR社を率いる時の人として紹介されていた

スティーブの2 Jobs宣言

TIME誌でも特集が…

例によって日米往復の空路では機内誌を読むのが楽しみだが、今回は備え付けの一般誌のほうに目を奪われた。スティーブ・ジョブズの最近の活躍を特集した、TIMEマガジン(米国版)の10月18日号である(図1)。

AppleとPIXARの両社を率いる彼の2つの仕事を名字にひっかけた、“Steve's Jobs”のタイトルが目立つ表紙には、満面に笑みを浮かべたジョブズの笑顔(眉毛が意外と長い)と2台の新型iMac、それにToy Storyのメインキャラクター2体が描かれている。どちらも「2つの仕事」に因んで、2つずつのペアで登場させたに違いない。

記事によれば、ジョブズのApple社での肩書きを“interim CEO of lifetime”(生涯暫定CEO)と書いており、彼はこのまま引退するまで、iCEOの状態で通すであろうと決めつけている。

うまい書き方だと思ったのは、“Apple uses art to create technology. Pixar uses technology to create art.”(Apple社はテクノロジーのためにアートを使い、PIXAR社はアートのためにテクノロジーを使う)という冒頭の一文で、確かにその通り。少し変えて、「Apple社はアーティスティックなテクノロジー、PIXAR社はテクノロジカルなアート」と言うこともできるだろう。テクノロジーのためにテクノロジーを使うようなPCメーカーは、面白さに欠けるホワイトボックスしか作れないに違いない。

記事中には、Expoの舞台裏での珍しい奥さんとのツーショットもあったので、飛行機を降りてから買い求めようと思ったのだが、残念ながら下界ではもうすでに次の号に置き換わっていた。日本版でも同じ記事が掲載されたのだろうか?

ZIP vs. FD

ついでに、他に気になった話題を2つほど。

1つ目は、何とも大げさなZIPドライブの広告(図2)で、のんびりと海岸でPCを使う男を、大きな津波が今にも飲み込もうとするビジュアルが使われている。要は、「2000年問題を甘く見ていると大変なことになるぞ」という不安喚起型の内容なのだが、その対策がZIPでバックアップを取るだけというのでは、何とも頼りない気がする。しかし、飛行機から降りてさっそくにZIPドライブを買いに走りそうな人がいそうに思えるのもアメリカなのである。

ちなみに、不安喚起型というのは広告業界の常套手段の1つであり、化粧品メーカーはだいたいこの方法でビジネスをしている。その最新コンセプトが「加齢臭」なる年寄り臭さなのだそうで、確かに化学分析すればそういう成分はあるのだろうけれど、こんなものを気にして商品が売れるのは日本以外には考えられない。そういう度を越えた需要喚起の手段が蔓延しているのも、日本に帰って気疲れした要因のように思えている。

さて、話を戻して2つ目は、そのZIPに対抗するかのように頑張っているワシントン州の



2●「単に座っていたら大波に飲み込まれるぞ!」という大げさな2000年問題絡みのZIPドライブの広告。何のことはない、データのバックアップを取っておけば、Y2Kでシステムが壊れても安心であるという便乗商法だ



3●「ビル・ゲイツが100万ドルを稼ぐのと同じ速さでソフトウェアは陳腐化する」ので、多くのフロッピーがゴミとして捨てられてしまう。それをリサイクル(再フォーマット&チェック)したのが、このGreenDisk

大谷和利の

PowerBook Diary

恒例機内誌報告、イギリス版電子ブロック、業界人秘密会議に見る新製品動向、iMacに続いてOSTスイッチにも登場したコピー商品など

GreenDisk社だ。ここは不要になったフロッピーディスクを初期化して、再生品として売っているのだという（図3）。

3回のチェックを経て出荷されるGreenDiskはエラーフリーで高品質だそうだが、果たして新品と比べて価格的に対抗できるのか、そして逆に需要が高まった場合に対処できるのか、ビジネスとして見れば難しい部分も多そうだ。

何より、今さらフロッピーでもないだろうとも思えるのだが、それでもこういう製品を作らずにはいられない何かが、アメリカ人の中にはあるのだろう。

僕のY2K問題？

前回、「21世紀は2001年から始まると思っているので、云々…」と書いたが、そもそも西暦によるミレニアムの区切り自体が便宜的なものなので、世紀末とか21世紀という概念自体も本来は曖昧な存在である。

そんな風に考えてしまう僕にも2000年問題（？）は着々と近づいているようで、最近では愛用のPowerBook G3のLCDの調子が少しずつおかしくなり始めている。この分では、年内に表示不能になってしまうのではないかと思えるのだが、原因は明らかだ。移動時に詰め込まれた鞄の中でディスプレイカバーが圧迫され、液晶周辺の回路の接触が悪くなっているのである。

こういう症状は過去にも別のモデルで経験したことがあるので、保証期間も過ぎた今は、目星をつけたあたりを外側から指で圧着するテクニックを駆使して、騙し騙し使っている……と、そんなときに限って目に飛び込んでくるのが、パナソニックのノートPC、ToughBookの広告（図4）だったりする。

ライターの柴田文彦さんも、もしWindowsのノートを買うなら、防滴&対衝撃設計が施されたこれにしたいと話されていたが、このいかにも頑丈そのものに思える筐体だけは僕も欲しい（正確には、これに匹敵する頑丈さだけがあれば良い）。現在のPowerBook G3の流面形デザインは美しいし、来年のはじめにも登場が噂されるニューモデルも基本的なデザインポリシーは変わらないと思われるものの、アフターマーケットでそういうボディの換装サービスなどがあったら、それなりの需要を集めそうだ。

That's My System

LOGIBLOCSの面白さ

僕は、別ページでMind Sotrmsの連載を始めてしまったほど、エデュテイメントトイに対して尽きない興味を持っている。その意味で、ケンブリッジにはエデュテイメントトイの専門店のThe Larningsmithもあるし、トイザらス以外の地域密着型の小さなオモチャショップも結構独自の品揃えで楽しませてくれる。

先日見つけたLOGIBLOCS（図5〜9）は、イギリス製の電子ブロックといった趣の製品だが、それぞれのパーツが実際にセルフロッキング式につながり、その状態でどこへでも持っていって遊びや実用に供することができるという点で大きく異なっている。

ここで採り上げたのは、7種類以上の回路を作ることが可能なELECTRIC CITY 1と呼ばれるセットだが、別のセットでは宇宙船のような形を作ることができ、子供はそれを手に持ってスペースオペラの真似事をしつつ、電気回路に関する知識も得られるように工夫されている。

具体的なオブジェクトの形を借りて、特定のアイデアやコンセプトを伝える方法論は、MindStormsにも似たシーモア・パパート流教育の根幹を成すものであり、このLOGIBLOCSもその流れに沿った傑作オモチャの1つではないかと思う。

ちなみにパッケージには日本語での説明書きもあったので、おそらく日本でも販売されているのではないだろうか。Macユーザーたるもの、コンピュータショップばかりでなく、ときにはデパートのオモチャ売場なども覗いてみることをお薦めしたい。

デジタルフォトの部屋

業界人秘密会議

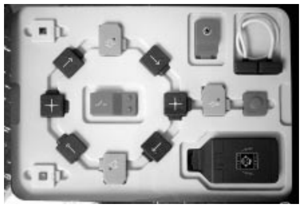
前回、約半年前に日本に帰ったときにも小さな集まりを持ったが、今回はその規模が数倍に膨らんでMac業界の人たちが交流を兼ねてささやかな食事会が開かれた。ここで一人一人のお名前を挙げることはしないが、楽しいひとときを過ごさせていただいた皆さんにお礼を言っておきたい。



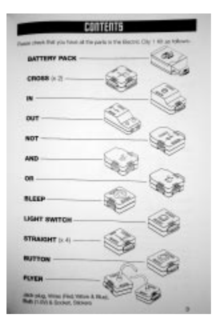
4●相変わらずの広告展開でタフさをアピールする、パナソニックのヘビーデューティPC「ToughBook」。最近、運搬時の圧迫によってPower Book G3のLCDの調子が悪いので、この手の頑丈さには憧れてしまう



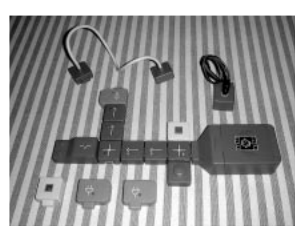
5●イギリス製「電子ブロック」ともいえるLOGIBLOCS。ユニークなのは、特別なレイアウト用の台などを必要とせずに、その場でカチカチと回路を組んでいけるところ



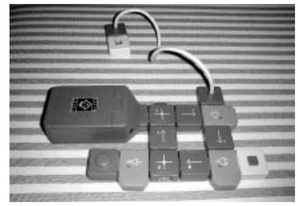
6●パーツのブロックが美しく収まったLOGIBLOCSの収納箱。パッケージを開けるときから製品との対話が始まるとして、初代Macなどの収納手順に細かい注文を付けたジョブズの哲学にも通じるパッケージングだ



7●Electric City1と呼ばれるこのパッケージに含まれるブロックの一覧。AND、OR、NOTという基本論理回路の他、外部機器に接続できるIN/OUTモジュール、ライトセンサーなどが揃っている



8●LOGIBLOCSを使ってベーシックな回路を組んでみたところ。右端にあるバッテリーボックスによって駆動され、白く見える（本当は黄色）スイッチを押すと、その下側のブザーが鳴り、同時に左端のOUTモジュールに何かつながっていれば、そこに電流が流れる。上端にあるNOTのモジュールは、スイッチの状態と逆の動作をする



9●一見すると奇妙な循環システムを形成しているように思える、上級サンプル回路。延長ケーブルの先のライトセンサーが反応すると電流が流れてブザーが鳴り続け、右下のスイッチを押すまで鳴りやまない。防犯ベルなどに応用できる回路の例だ

進化増＆Lenda

その席では、メーカー系の参加者の人が開発中の秘密兵器を携えてやってくるのが恒例となっている。今回は、パワーサポートさんが最新型のスパルタかますである「進化増（しんかます）」、またアイディー・イーストエンドさんが超剛性キーボード「LENDA16」のそれぞれ最終試作品を持ち込まれ、食事の途中で大お披露目大会となった（図10〜15）。

進化増は、外付けキーボードの収納機能を設けてさらなる省スペース化を図り、またモジュラー構造を採り入れることで、生産の合理化とパーツ交換のみで複数の機種に対応できる利便性を狙ったものだ。構造上、初代のシンプルさが失われたのはやや残念だが、マシンの前でペーパーワークなどを行なう際にはキーボードを簡単に片づけられるので、特にオフィスなどでは重宝されそうだ。

「LENDA16」は、ソリッドなタイピング感覚の実現という基本コンセプトには変更がないものの、新たに３分割構造が採り入れられ、大幅なコストダウンが図られる見込みとなった。最初のプロトタイプの段階では価格的に98,000円程度になってもいたしかたないという状況だったが、買いやすくなればそれだけ気持ちよくタイピングできるユーザーが増える。次の段階としては、もうこの中に基板を収めたカスタムMacを作るしかないのではないか、と思える完成度の高さだった。

ちなみに、静冷台やLENDA16を自らデザインするアイディ・イーストエンドの小松広克さんは、Vellum CADを愛用されている。この製品は、Apple社が苦戦していたときもMac版の開発が続けられ、日本でも小松さんのように熱心なファンを抱える優れたCADソフトだ。興味のある方は、日本での代理店であるファモティック（株）のサイト（http://www.famotik.co.jp）にアクセスしていただきたい。

同社は、サポート情報なども積極的に公開しており、ユーザーとともにVellum CADをより優れた製品へと高めていくことに大きな意義を見いだしている。

謎の熱吸収体

インタークーラーでおなじみのバード電子さんは、まるで氷枕のような謎の物体（図16）を持ち込まれた。

実はこれ、製品化には至らなかったものの、常温では塩のような顆粒状だが、28度以上の熱を吸収して溶解する、冷却剤の１種が中に入っている。室温では解けた後の再凝固に時間がかかることなどから製品への導入はあきらめたそうだが、素材としてはとても興味深い。何か良い製品アイデアを思いつかれた方は、ぜひとも編集部までその発想をお寄せいただきたい。

ニセOST騒動

iMacのコピー商品に関する騒動はひとまず落ち着いたようだが、その後も富士通のプリシェ（http://www.fmworld.ne.jp/pliche/index.html）など、訴訟スレスレのデザインが横行している。

と、思っていたら、パワーサポートさんが販売している旧



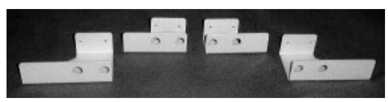
10●静冷台で知られるアイディ・イーストエンドの小松広克さん（左）と、パワーサポートでスパルタかますなどを手がけた五十嵐真さん。ガッチリ握手する2人は、業界人秘密会議（？。実際には、単なる交流食事会）でのワンシーン



11●これが両氏の新製品。超剛性キーボード「LENDA16」と、進化の度合いが増したスパルタかますの「進化増（しんかます）」である。どちらもこの時点では最終試作の段階だったが、本誌が発売される頃には正規版が完成しているものと思われる



12●進化増は、ノートPC本体の支持角度を変化させられるようになった。不使用時にはこのようにキーボードを収納して、さらに省スペース化を図れる仕組みである



13●また、進化増ではモジュール構造が採り入れられ、ノートPC本体の受けの部分のパーツを交換することで、さまざまな機種に対応できるようになった。この図にあるパーツは、両端がPB G3用、中央がB5サブノート用のものである



14●LENDA16は、初期の試作モデルから改良されて新たに巧妙な3分割構造が導入され、外観イメージや操作性に影響を与えることなく大幅なコストダウンができる見込みとなった。基本的にはUSB接続だが、ここではアダプタを介してPowerBook 2400cに接続している



15●LENDA16のこだわりの一端を示す、capslockキーの美しい青色LED（カラーでないのが残念）。キーボードパーツそのものは、企画室ゆうさんが商品化されたトランスルーセントタイプのものを採用している



16●これは、インタークーラーシリーズでおなじみのバード電子さんが持ち込まれた謎の熱吸収体である。28度以上になると、内部の塩のような物質が溶解しながら熱を吸収する。6時間程度は変形なしに利用できるが、再凝固に時間がかかるなどの問題点があるため、これを応用した製品開発は中断されたとのこと



17●食事会でも話題になった、iMac用リセットスイッチ「OSTスイッチ」のコピー商品である台湾製の「iSafe」。新型iMacではリセットスイッチが指先で押せるようになったため、旧モデル用に駆け込みで販売開始したようだ



18●企画室ゆうさんが食事会での話のネタにと取り出した、iSafeの実物。見れば見るほど、OSTスイッチの細部を変更しただけのモノマネ商品であるにもかかわらず、Unique Designと銘打ってしまうところが盗人猛々しい



19●しかも、iSafeのパッケージには、あたかもこれが純正品であるかのようにAppleロゴとThink Differentの文字が印刷されている。これだけでも、著作権を侵害しており、Apple社から訴えられてしかるべきだ

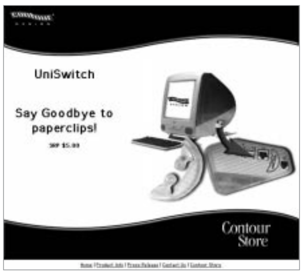
iMac用のリセットスイッチ「OSTスイッチ」を真似した製品も現れた（図17〜19）。小さな製品だけに目立たないが、特にiSafeのほうは、あたかもApple社の純正品のようなパッケージに入っているなど悪質である。

確かに、コピーが出回るようになれば一流品という考えもあるが、こういうまがい物が一日も早く一掃されることを願いたい。

iBOOK JAPAN

最後に１枚の名刺をご覧にいれよう。Mac業界の裏の顔役とも言えるフランシス・ボワベールさんの「最新の」名刺である（図21）。彼は、（それだけではないが）こういうことを考えさせると天才的で、僕もすぐにそのURLにアクセスしてみたが、各国語で「工事中」の文字のあるページを見るはめになった。まあ、今後も時々はチェックしてみることにしよう。

なお、今、僕の手許には、インタークーラーの最新作であるGTBと静冷台G3がある。また、食事会に参加された方々の中に、Macを活用してユニークな工業デザインを手がけられている羽田隆志さんがおられた。しかし、今回は誌面が尽きたので、このあたりの話題については次回でじっくりと紹介したいと思う。



20●こちらは、多少差別化の意図が見られるものの、やはりOSTスイッチのソックリさんの域を出ないUniSwitch。発売元のContour DesignはUniMouseなども出していて、好感を持っていただけに残念だ



21●食事会には、新製品の陰で暗躍する（？）謎の国際人、フランシス・ボワベールさんも参加。さっそく、iBOOK JAPANなる秘密結社を組織し、そのChief iBooker（！）に就任して、名刺を配っていた



22●フライヤーに「カメラ界のi-Mac（原文のまま）」というキャッチフレーズまで登場するほど人気を集めてきたロシア製カメラLomoの展覧会「Tokyo Lomo Heads」の告知。バックはポスターではなく、生のLomo写真を並べたLomoウォール式の展示の一部だ



23●Tokyo Lomo Heads会場のラフォーレ・ミュージアム原宿のウィンドウに貼られたアイキャッチ。Lomoは単なるカメラではなく、アートムーブメントの核となるツールであり、こういうビジュアルの作りかたが非常にうまい



24●展示されたカスタムLomoの中に、iMacのキャンディカラーを意識したトランスルーセントカバー付きのスペシャルモデルを発見。これもカラーでお見せできないのが残念だが、iMacにはないレモンイエローのバリエーションもある。市販品ではなく、オールドMac改造と同じく有志によるカスタマイズだ



25●大阪に住んでいた時の知り合いである（有）ワーク・ド・クウさんがデザインした「PET TRASH」。PETボトルの再生プラスティックで作られたゴミ箱で、これ自体がPETボトルを意識したフォルムになっている。半透明なのは、中に入れるカラフルな袋の種類で用途が一目でわかる仕組み。デザイン作業には、もちろんPower Mac G3が使われた



26●麻布探検隊の一員としての行動中に目黒区内で発見した「〆切地蔵」の標識。この号の原稿も諸般の事情で遅れ気味となり編集担当のNさんに迷惑をかけてしまったが、出版関係者ならば一度はお参りしたい旧跡のひとつだ（本当か？）



27●文具の伊東屋で入手した100円なりのMAPED鉛筆削り。カラーでお見せできないのが残念だが（こればっかり）、左がタンジェリンで右がブルーベリー（グレープ的な色でもある）だ。日本製造でメーカーはフランス。これは、まあ、許せるデザインかなと…

From My PowerBook Diary

PowerBook日記から

10月1〜18日　法事のために日本に一時帰国。併せて、たまっていたさまざまな用事を済ませる。余裕があるようで、その実、ぎっしりのスケジュールだったため、お会いできなかった人や、短い時間しかとれなかった人たちも多くおられた。申し訳ありません。次回は是非ともお時間を取らせていただきます。

その限られた時間の中で印象に残っているのは、だいぶ以前にこのコーナーでも2回ほど紹介したことのあるロシア製カメラLomoの日本での人気がかなり高まり、原宿のラフォーレ・ミュージアムでTokyo Lomo Headsなる展覧会が開かれていたこと（図22〜24）。大阪時代の知り合いで建築設計事務所やデザインオフィスを営む黒木夫妻が、PETボトルからの再生プラスティックを利用したユニークなゴミ箱「PET TRASH」をデザインされていたこと（図25。問い合わせ先：有限会社ワーク・ド・クウ、電話06-6449-0303）。そして、麻布探検隊の世田谷撮影行の途中で、〆切地蔵（図26）やiMacライクな鉛筆削り（図27）を見つけたことなどが挙げられる。ちなみに、再生PET素材の利用例は衣料品にはあるものの、工業製品としては「PET TRASH」が初めてという快挙だ。

池田友也さん回顧展の告知

昨年、惜しまれながら亡くなったデジタル・アーティストの池田友也さんの回顧展「CGの世界」が12／2から12／14まで、東京のTEPCO銀座館（03-3575-0456）で開かれることになった（入場無料）。フライングトースターなどをデザインした彼の代表作をぜひともご覧あれ。

「究極のMac道を目指して今日も頑張るぞ」
「ガッテンでさあ、ご隠居！」
Macユーザーが抱える難問奇問に長屋の住人たちがずばりお答えします。

あ★かるいMac道のススメ・其ノ二十

文・塩川 泉／絵・まつむらまきお

みんなのアイドル、お鈴でえす。左にいるご隠居さんは、あたしのおじいちゃんなのよ

長屋のご意見番、Macの生き字引とはわしのことじゃ。Macのことならなんでも知っとるぞ

ども、大工の留吉っす。「だいく」じゃなくて「でぇく」って発音してくれると嬉しいな

やっほう、あたし魅亜（みあ）。なりはちっこくても齢ン百歳、由緒正しい猫又なのさっ





そういや、あとひと月ちょっとで2000年なんすねえ。

ほんと、月日が経つのは早いわね。まさに「光陰矢の如し」だわ。

ところで留、お前は2000年に備えてちゃんと準備をしておるか？

そりゃあもう、ばっちりでさあ。カレンダーは買ったし、凧も作ったし……。

そうじゃなくて、2000年問題に対して何か対処はしたかって、そう訊いてるのよ。

あ、ああ、2000年問題ね。ええと、そのお、とくにこれといった準備はしてやせんけど……。あらたまってそんなこと訊くなんて、なんか危なそうなんすか？

交通機関や電力、ガスに水道、金融といったライフライン関係の大手企業はそれぞれチェックを済ませておって、なにも問題は起きないといっておる。じゃがなあ……。

現代社会は複雑なネットワークで構成されてるし、すべての企業がチェックを済ませてるってわけじゃないわ。実際に2000年を迎えてみないと何が起きるかわからない、それが2000年問題の不気味なところね。

それじゃあやっぱり、何か準備しといたほうがいいんすね。

まず、4〜5日分の食料と飲料水を買っておくことじゃ。使わんで済んだら、そのまま防災用の非常食に流用すればええ。

それと、預金通帳は記帳しておいたほうがいいわね。手元に多少の現金も用意しておけば、より万全よ。

まもなく2000年になりますが、2000年問題に備えてどんな準備をしておけば安心ですか？

それからな、もしかしたら原子力発電所がトラブルを起こして放射性物質がばらまかれるかもしれんから、シェルターも用意しといたほうがええじゃろう。

うう、シェルターなんて買う金ありやせんよ、おいら。どうしよう、どうしたらいいんすか？

じゃあな、軒下に穴を掘ってそこに入っておれ。ええか、正月はずっと穴の中にいて、けっして外に出てきちゃいかんぞ。

そっかあ、そこまでやらないと無事に2000年を迎えることはできねえんすね。じゃあおいら、家に帰ってさっそく穴を掘りやすんで、今日はこれでっ！

ちょっとちょっと留さん――て、もう帰っちゃったか。あたしは知らないからね、あんな嘘ついて。

なあに、いくらなんでも留だって、ええ加減なところで気づくじゃろうて。それにほれ、シェルター以外の話は嘘じゃないから、さして問題はなかろう。

それにしてもさ、西暦2000年を迎えるときにこんな大問題が起きるなんて、ちょっと予想外だったよね。

いやはや、まったくじゃな。予想以上にコンピューターが発達し、しかも生活に密着してしまったということじゃろう。

あら、留さんが血相変えて走ってきたわよ。ほら、おじいちゃんが嘘なんか教えるから怒ってるのよ、きっと。

ご隠居おっ、この始末はちゃんととってくれるんでしょうね、え？

ちょ、ちょっと待て。つい出来心であんなデタラメを教えたわしが悪かったから、そんな形相で詰め寄らんでくれ、な。

え、デタラメ？　デタラメって、一体なんの話っすか？

あら、シェルターの話で戻ってきたんじゃないの、留さん。

そう、そのシェルターなんすけどね、穴を掘ってたらいきなり大量の水が吹き出てきたんすよ。どうもおいら、水道管をぶち抜いちゃったみたいで……。

あ、いかん、頭が痛いうえに寒けまでしてきおった。お鈴、わしゃちょっと病院に行ってくるから、後はよろしくな。

おじいちゃんったら、一人で逃げるなんてズルい……。そうそう、おばあちゃんから買い物を頼まれてたんだっけ。あたしったら、うっかりしてたあ。じゃあ留さん、またねっ!

ちょっと、二人ともどこ行くんすか？　おいらはどうすりゃいいんです？　ねえ、ねえったらあ〜。

ホームページを公開しようと思ってるんですが、何か注意する点はありますか?



ねえ、聞いて聞いて、ご隠居さんに留さん。あたし今度ね、自分のホームページを作ろうと思ってるんだ。

ほほお、魅亜もホームページが作れるようになったのか。そりゃ大したもんじゃな。

でもご隠居、ホームページなんて誰でも簡単に作れやすぜ。便利なツールだってたくさんあるし。問題は中身っすよ。

そう、中身が問題なのよ、中身が。でね、ちょっと訊きたいんだけど、何か注意しなくちゃいけないことってある？

そうじゃのお。まず、自分のプライベートな情報はあまり出さんほうがええじゃろうな。住所とか電話番号といった個人情報は、悪用される恐れがあるんじゃ。

とくに若い女性は、気をつけたほうがいいっすよね。ほら、新聞にもよく、あちこちに個人情報をバラまかれてイタズラ電話や迷惑メールが殺到したって事件が出てるだろ？

なあるほど、自分の情報は自分で守らなきゃってことね。うん、これはちゃんとメモしとこっと。

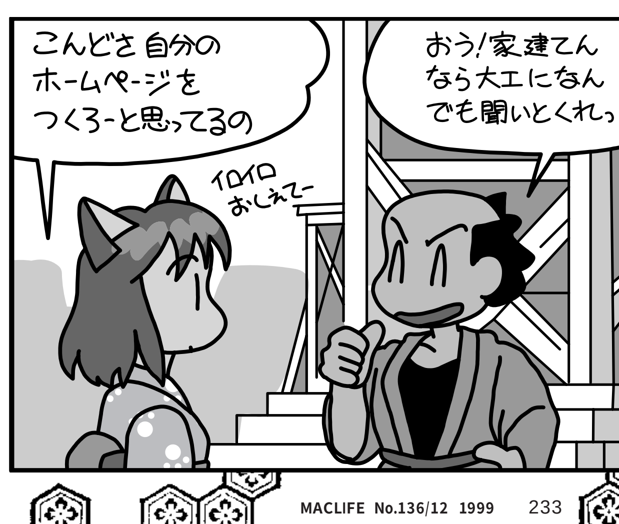
それからな、これはもう当然のことなんじゃが他人を誹謗中傷したり、根拠のない噂話なんかも書かんほうがええぞ。

なにせインターネットは、噂が広まるのも速いっすからねえ。俳優のだれそれはカツラだなんて話が、あっという間に広がっちゃうから……。

じゃあさ、それを逆手にとるってのはどうかな？　このコーナーについてあることないこと書きまくったら噂が広がって、単行本の売れ行きがよくなるかもよお。

単行本が売れるのは大歓迎なんじゃが、いいかげんな嘘をばらまくのは感心せんなあ。

じゃあ本当の話を書けばいいじゃねえか、魅亜。ご隠居が飲み屋の女将に入



あ★かるいMac道のススメ・其ノ二十



れあげてるとかさ。

なななんてこというんじゃ。そういう留こそ、あちこちの茶屋でナンパしまくっとると、もっぱらの噂じゃぞ。

そりゃまた聞き捨てならねえっすね、ご隠居。いつだったか奥方と盛大に夫婦喧嘩やらかして、家から叩き出されたでしょ。

ふ、ふん、お鈴の尻をなで回してひっぱたかれたのはどこの誰じゃったかな。ハアハア。

うぐぐぐ……。そういや道を歩いてて、ドブに片足突っ込んだジイさんがいたそうですぜ。年はとりたくないっすねえ。ゼエゼエ。

ちょ、ちょっと待て、留。さっきからどうも気になっておるんじゃが……。

お、おいらもね、やけに静かなやつがいるなあって、そう思ってやした。

あら、どうしたのかなあ、二人とも怖い顔してあたしをにらんじゃって。

とか言いながら、なにをメモしておるんじゃ、お前さん。

まさか今の話、インターネットで暴露するつもりじゃねえだろうな、え？

や、やだなあ、あたしがそんなことするとでも思ってるの？　ささ、あたしに構わないで続けて続けて。

そういやご隠居、この前そこの魚屋から魅亜が魚をくすねるところ、おいら見ちゃったんすよ。

ほほお、そりゃ奇遇じゃな。わしは魅亜が、通行人から鯛焼きをめぐんでもらっとるのを目撃したぞ。

そそそそそんなの嘘よ、根も葉もないでっちあげだわあ。

こないだなんかゴミの日に、生ゴミをあさってたそうですぜ。みっともないからやめろよな、魅亜。

わしが聞いた話では、飼い犬のエサまで横取りしてたそうじゃよ。みじめじゃのお。ま、あくまで噂じゃがな。

あ、あたし、そんなことしてないよお……。うう、噂話って怖いにゃあ。

iMacをデザインした人たちって、日本の特撮モノ番組の影響を受けていると確信しています。そう思いませんか？

前々から怪しいとは思っておったが、これを見てわしは確信したぞ、留。

やっぱりご隠居も、そう思いやしたか。こりゃもう、いかにもってデザインっすからねえ。

あら、二人揃って何を見てるのかと思ったら、新しいiMacのカタログじゃないの。

とくにこの、グラファイトのiMac。これはもう間違いなく、ハカイダーだあ！

な、なによなによ、そのハカイダーって。どうしてiMacがハカイダーなのよ？

説明しよう！　ハカイダーとは『人造人間キカイダー』という特撮番組に登場したロボットで、正義の味方キカイダーを倒すために作られた悪の手先なのじゃあ！

いやだから、そうじゃなくてね、なんでグラファイトのiMacがそのハカイダーと関係あるのかって訊いてるの。

ハカイダーってのは全身黒ずくめで、頭部だけが透けてるんだよ。この色合いといい透け具合といい、どことなくハカイダーをイメージしちゃうんだよなあ、うん。

でな、わしは考えたわけじゃ。もしかしたらiMacのデザインチームは、日本の特撮物に影響を受けたんじゃなかろうかと。

いくらなんでも、それはちょっと無理があるんじゃない？　だってさ、グラファイトiMacがなんとなくハカイダーってロボットに似てるってだけなんでしょ。

いやいや、わしが確信を抱いた根拠は他にもあるぞ。ほれ、この5色のiMac、これがなによりの証拠じゃ。

4色でも6色でもなくて5色ってあたりが、戦隊物シリーズの番組を彷彿とさせやすよねえ。

そりゃ確かに、日本のアニメや特撮モノが好きなアメリカ人ってたくさんいるけど……。

ほれ、少し前に公開された「マトリックス」という映画も、日本アニメの影響を強く受けとるじゃろ？　5色のiMacにハカイダーのようなiMac、こりゃもう間違いなく、日本の特撮番組の影響じゃ！

この路線が継承されるとなると、今後出てくるiMacがますます楽しみになりやすね。

まずはじゃな、ほれ、Mac OS 9に声紋認証機能が搭載されたじゃろが。あれがバージョンアップされて、「パイルダーオン！」とか「搭乗！」とか叫ばんとログインされなくなるんじゃ。

うう、懐かしいなあ、そのセリフ。でもご隠居、「ロケットパーンチ！」って叫んだら前面のスピーカが飛び出してきそうっすね。

な、なにがどうなってるの？　今回はあたし、話がぜんぜん見えないよお。

スピーカーが飛び出してもええんじゃが、ハードはやはり変形せんとなあ。これはお約束ってやつじゃ。

そのときもやっぱり、マイクに向かって「ゴッドバードチェーンジ！」とか叫ばないといけないんすか？

当然じゃろうが。でな、iMacの底から車輪がせり出してきて、どこでも自由に移動できるように変形するんじゃ。

戦隊物の次はロボットで、今度はそれが変形するってわけ？　あ〜、あほらし。

そうと来りゃもう、次は合体で決まりっすよ。でしょ、ご隠居？

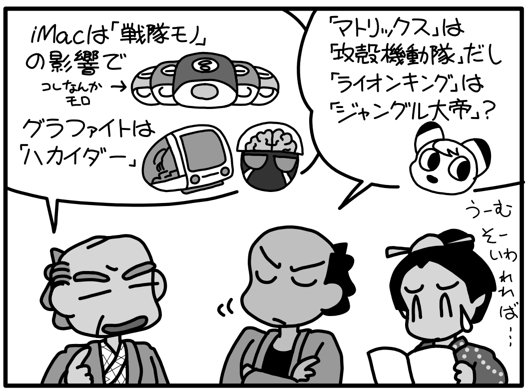
よくわかったのお。車輪が出てきたらオプションパーツを次々と合体させてな、そうしてでき上がるのは……。

な、何ができるんすか、じらさないで早く教えてくださいよお。

なんと、中身が見えてインターネットにも接続できる掃除機になるんじゃあ！

そりゃすごい、iMacもとうとう家電製品の仲間入りだあ！

そんなiMac、あのアップルが作るわけないでしょ。いい大人が二人して何を興奮してるんだか、まったく。



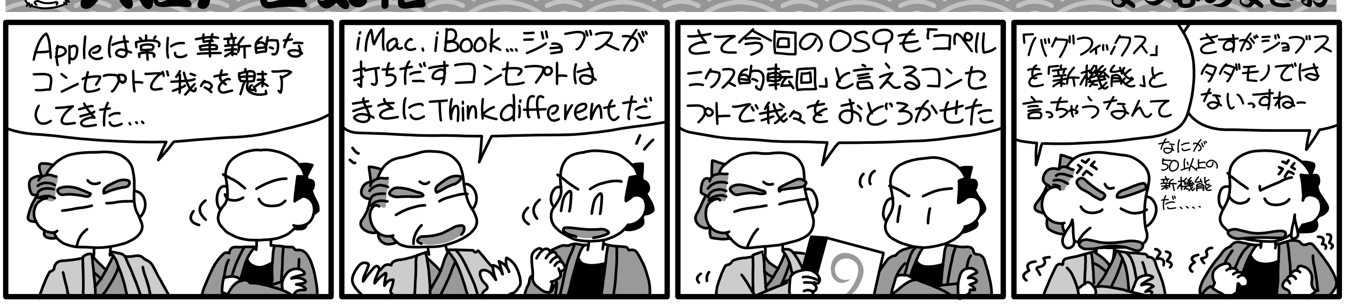


質問募集のお知らせ

このコーナーでは，みなさんが普段から疑問に感じている質問を電子メールで募集しております。「Sherlock 2の人名検索で『Steve Jobs』と検索したら、Sjobs@apple.comと出てきましたが、ここにメールを出したらiCEOは見てくれるんでしょうか？」とか「OS/9で開発を行なっている者ですが、そのことを友達に話すと『いつからMacに転向したの？』と言われてしまい、困っています」といった難問奇問に，いろんなキャラクターが誠心誠意（？）答えますので，ドシドシご応募ください。採用された方にはマドマド星人マグカップを差し上げます。メールアドレスはmaclife@bnn.co.jp。メールの題名は「Mac-Do」としてください。

大江戸呑気帖

まつむらまきお



KandaNewsNetwork

The smallest digital TV station in the world
http://www.knn.com/

▼今月はどこから何をリポートするのか？　世界で一番小さなデジタル放送局が巻き起こす、奇想天外で型破りなMacintosh LIFE！



いよいよ、発売になったｉＢｏｏｋとiMacDV！しかし、発売の日には思わぬ在庫不足で困った一日になってしまいました。日米を比較してレポート！

kanda News Network
神戸発！　世界で一番小さなデジタル放送局

神田 敏晶
URL:http://www.knn.com/
mail:kanda@knn.com

KNN OF THE MONTH

発表＆広告宣伝まではよかったものの、予約までさせて物がないのはなんのための予約なのか？

1999年10月16日は、アップルのマーケティングにとって忘れ得ぬ日となってしまったことでしょう。この号が出てくる頃には、無事品不足が解消されていると願いますが、10月16日の日本の発売日、そして23日・24日の米国でのキャンペーンは、アップルユーザーは思いもよらぬ品不足でドギモを抜かれてしまいました。

「2日前に話を頂戴してから、大急ぎでイベントステージをつくりました。iMacDVも午前中には売り切れてしまいました」と語るのは、ソフマップ大阪８号店の道原店長。そう、最近のアップルの新製品発表はいつもビッグサプライズ！ばかり、今回ばかりはそれが裏目にでてしまいました。

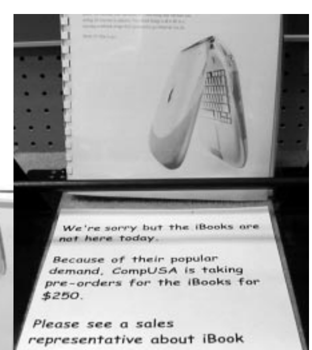
「予約をしていただいた方にしかiBookをお配りできないのは、とてもつらいです。このように山積みしている予約済みiBookを、ほかのお客様に売るわけにはいかないのですから」と嘆くのは、ニノミヤMac館の宮原店長。製品が目の前にあるのに買えないとは、予約しなかったとはいえ、ため息つきながら帰るお客を見るのは見るにしのびないと両店長の心を察ししてしまいました。

それは日本ばかりではありません。実は米国でも同じ状況だったのです。アップルの有力協力店のひとつでもあるComp USAショップでさえもiBookは売り切れ状態でした。「アップルの製品は常にウオッチしていないと買えないよ。素人には買うことでさえ難しい」と皮肉る店員までも……。アップル製品の品不足はよくいわれますが、発売日から製品がないのは、戦勝国のアメリカでも、まるで戦後の物不足時代のようでした。カウントダウンで盛り上がりの発売日に、かくも慣れてきたボクたちの熱いこの想いは、やるせない気持ちにかわってしまったのです。

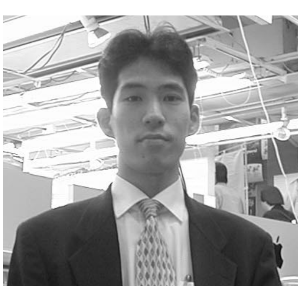
当然、今回の件でアップルのマーケティングや流通は大きく変わることと期待しています。だって、これだけアップルの新製品というだけで、物を触ったこともないけど予約する人がいるのですから(^^)。

そこでボクからアップルへ向けて販売促進アドバイスをひとつ。昔、ミシンが積み立て販売方式だったのですが、それをやるのです。１%ローンをやるのではなく、プリペイド方式にするのです。毎月１万円、年間12万円づつ、アップルにプリペイドして積み立てるのです。そこで予約権利を獲得するか、製品をディスカウント価格で買えるか、という方式です。

2年に一度アップル製品を買えば元がとれる。アップルも売れ行きにこだわらず、冒険ができる。ぼくらも喜ぶ！　販売やマーケティングでもThink differnt.なアップルであってほしいゾ！



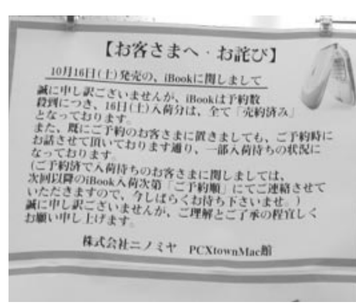
「The iBooks are not here today」と書かれたポップ。米国のComp USAでさえも販促強化日に在庫がない始末。世界のでどこでもアップル製品が品不足で困り果てているようです



ソフマップ大阪8号店MacCollectionIIの道原店長。
突貫で作成したデモスペースを前に、「買えないiMacDVを次から次へとお客様がお求めになるので申し訳ない」と語る



ニノミヤMac館の宮原店長。
山積みされたiBookの引き渡し場所も、予約した人だけのiBookが発売初日に並んだだけ。一般の人はただ、iBookを眺めるだけ、せっかくの販売の機会なのに…。まったくをもって残念



発売初日から掲示されたおわびのビラ。「iBookは予約数殺到につき…売約済み」と表示されたニノミヤのPCXtownMac館

「KNN2001年宇宙の旅Tシャツ」発売開始！

http://www.easy.ne.jp/html/knn/2001.html



シリコンカフェ（http://www.siliconcafe.com/）の森川さんとEasy（http://www.easy.ne.jp）の岸本さんが作ってくれた「KNN2001年宇宙の旅Tシャツ」。ありがとうございます！　しかも販売までしていただけるとのこと。さらにさらに、ありがとうございます。Macのイベントや何かで、今後このTシャツをお目にする人が増えると思いますが、ぜひ、ボクも私も1枚欲しいとリクエストしてください。あなたも今日からKNNのサポーターだ！



KNN神田敏晶とシリコンカフェ＆G-TOOLのデザイナー森川眞行、そしてインターネット通信販売の老舗、Easyの岸本栄司のトリオが、がっぷりと組んで、「KNN2001年宇宙の旅」のサポートTシャツの販売を開始します！

KNNは西暦2001年に実施される宇宙旅行に、強引にも予約してしまい、1,200万円もの支払いのためにメールマガジンを1,000円で募集／開始したのがきっかけです。現在、読者申し込みが500人程度なので、あとの1,150万円分をどうするかとの問題を、ネット僚友である森川眞行が「Tシャツを売って宇宙へ行かしたる！」というところからスタートしました。

Tシャツは1枚2,800円。この収益金が「KNN2001年宇宙の旅」の旅費に補填されることとなります。もしこの企画が成功すれば、Tシャツの利益で宇宙に行く第一号者になると業界関係者は予測しています。さらにTシャツによるドネーションというか、Tシャツ決済という新しい商取引の実現も今後可能になるか？　と、真剣に考えています。

KNNの「KNN2001年宇宙の旅」は2001年の12月の予定。まだ、あと2年もありますが、それまでにTシャツは何枚売れているのでしょうか？　あなたがTシャツを着れば、KNNは宇宙に行けます。もし2万5000枚以上売れれば、今度はボクが誰かをもう1人抽選で、宇宙へ招待しましょう！

THIS MONTH'S TOPICS

大阪・日本橋でソフト探すならココ！ソフマップ６号店ＭＡＣＬＩＦＥキャンペーン！

iMac、iBook、そしてG4と、本体はいつも人気のアップル製品。しかし、いざソフトやアプリケーションとなると、どうでしょう。パソコンショップの中では、売り場面積縮小や撤退が目立って、とっても悲しい思いをさせられています。

しかし、大阪・日本橋のソフマップ6号店には、しっかりとMacのソフトをそろえて、しかもデモまでついて販売しているではありませんか?!

またWindowsではなく、ハイブリッド製品も多数そろえられているので、Mac&Win両生類の人も要チェックです。



Sofmap6号店 パソコンソフト専門店 TEL.06-6634-9001
大阪市浪速区日本橋5-12-4
[営業時間]平日11：00～20：00／日・祝日10：00～19：00
http://www.sofmap.co.jp/

モリサワフォントもしっかり小売りでそろえているので、DTPのプロにもお薦め！Macのソフトで悩んだ時には、一度ソフマップ6号店の店内を覗いてみる価値はありそう！

これはぜひ！応援したいと思い、ここでキャンペーン提案します！ソフマップさんに、このMACLIFEをお持ちのお客様に限り、500円割引の提案を引き受けてくださいました。ぜひ皆さんもソフマップ6号店に足を運んでください。

（西暦2000年1月末まで有効。雑誌などを除くソフトのみ有効です。）



Sofmap MACLIFE キャンペーン
Sofmap6号店
パソコンソフト専門店で
のみ有効！
500円値引き！



Editor-in-Chief
神田敏晶　TOSHIAKI KANDA
Chief Columnist
魚井宏高　HIROTAKA UOI
Photographer
濱村和恵　KAZUE HAMAMURA
Animator
いのうえさきこ　SAKIKO INOUE
Writer
正月孝広　TAKAHIRO MASATSUKI
Editor
樋口美妙子　MISAKO HIGUCHI

特集●～マルチメディア・ライフスタイル in Kansai～

「COMMUNET'99」
(COMMUNICATIONS and NETWORKING EXPO'99)

TEXT&PHOTO by 正月　孝広

台風が来阪し、残念ながら天候に恵まれなかった9月14日～6日の3日間、再開発の進むウォーターフロント大阪南港のATCホール（アジア太平洋トレードセンター内）において『COMMUNET'99(COMMUNICATIONS and NETWORKING EXPO'99)』が開催された。これは昨年まで大阪市内で開催されていた「パーソナルコミュニケーション・ネットワーキング展」と「NETWORK KANSAI」が1つになった新しいイベントでもある。会場には海外からも含め79社もの出展が行なわれた。またセミナーも充実しており、多彩なスピーカー迎えて非常に内容の富んだものとなった。


アウトレットマーケットとして再び活気を取り戻してきた大阪南港。横に長いのが特徴的なATCにおいて、COMMUNET'99は開催された

出展ブースで目を引いたのが「NTT Group」。COMMUNICATIONSとNETWORKINGというキーワードでは十八番中の十八番ということで、会場奥にかなりのスペースを確保し、その巨大な存在感をアピールしていた。次世代携帯規格である「W-CDMA」のコンセプトモデルの展示を始め、個人から企業までのあらゆるビジネスモデルを展開。常に人垣ができる大変賑わったブースであった。

その他のブースでは、Voice over IP（インターネット電話サービス）をテーマとしたものや、EC（電子商取引）をテーマにしたものなど、次世代の技術を扱った出展がかなり多く、新しいテクノロジー社会がすぐそこまで来ていることが実感できた。

セミナーでは2日目に行われた「ネット社会における学校と教育」と題したセッションを紹介する。天体のインターネット中継を行なう「インターネット天文台」として世界的に有名な「みさと天文台」天文台長 尾久土正己氏が、天文学と地域学校教育、そしてインターネッとの関わりあいについて語った。



NTT Groupの出展ブース。会場の奥に位置しその巨大な存在感をアピール。多伎にわたる展示内容は来場者を常に引きつけていた



携帯電話の次世代規格「W-CDMA」のコンセプトモデルが多数展示。市場に出回るのが今から楽しみである


ビジュアルから音声、さらなる国際的な通信の可能性も「W-CDMA」の本格的な普及によって実現されつつある


NTTが提唱する「W-CDMA」は多才なマルチメディア環境をもたらし、モバイルマルチメディアの可能性をひろげるだろう


みさと天文台天文台長、尾久土正己氏。非常に背が高く、優しさを漂わす雰囲気が印象的。次の企画にも大きく期待したい

授業中に唯一実験観察が行なえないのが天文学の分野。なんとか子供たちに観察の楽しみを伝えたいとして考え出されたのが、地球の裏側の望遠鏡の映像をインターネットを通じ、授業中に観測するという「夜空の出前」である。この試みは成功し、現在もいろいろな方向で観測システムの改良が行われているという。将来的には世界中の天文台をネットワークでつなぎ研究を行ないたいと夢を語った。

●今月のお題●

「鞄」のこだわり



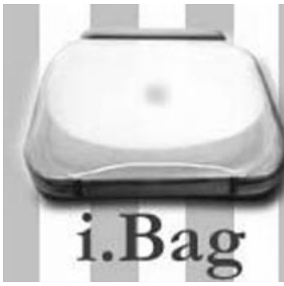
ちょうどこれを書いている時にiBookやら新型iMacやらが発売になったけれど、市場はかなり混乱しているようだ。特にiBookのような魅力的な製品を、予約まで取った上で発売日に潤沢に供給できないというのは、まったく情けない話だ。この文が掲載される頃には、注文から妥当な期間内で提供されることを期待したい。

まあ（どうしても書きたかった）堅い話はこれぐらいにして、今月は鞄の話だ。

僕のようにPowerBookを普段から持ち歩いている者にとっては、どんな鞄を選ぶかは重要な問題なのである。今、僕が愛用しているのは、Bananafishさん（banafish@pd5.so-net.ne.jp）で作っていただいた黒のソフトアタッシュで、ちょうどPowerBook G3が入って、あと書類や本が1冊ぐらい持って歩けるようになっている。荷物が少ないときや、ちょっとフォーマルな場でもPBを持って行けるのでかなり重宝している。

さて、鞄へのこだわりは当然、ほかのPBユーザーにもあるわけだし、それだったらiBookユーザーもかなりこだわりがあるだろうことは言うまでもない。そこで、僕自身は以前に書いたように、（まだ）iBookを欲しいとは思わないものの、自分で持つとしたらどんな鞄にしたいだろうかというアイデアを2人で出し合って、それを鞄メーカーのポームさんにお願いして作っていただいたのがiBook用ケース第一弾のi.Bag（http://www.e-mono.co.jp/iBag.html）だ。

ビーチバッグのような厚手のビニールでiBook本体を見せつつ、きっちりガードすることや、ジッパーが本体に傷つかないようにガードされているところなどに工夫がある（と自画自賛してしまおう）。評判もいいようなので、ぜひ一度見て欲しい。（魚井宏高）







新しいiMacはメチャクチャお安くなってお買いドク。これなら何台でも買えそうだ!?



福山庸治（ふくやま　ようじ）・・・福岡県生まれ。1970年「納屋の中」（週刊漫画アクション）でデビュー。主な作品に「私鉄前線」「死神交換イタシマス」「夜は散歩者」「マドモアゼル・モーツァルト」「ドン・ジョヴァンニ」など。自身で運営しているホームページ（http://www.din.or.jp/~yojira/）もある。

■たくさんのiMacと、大勢のアシスタント。これで収入も倍増するはずが……



次号(1月18日発売号)に続く・・・

2.5はここが新しい

さる10月半ばに前ぶれもなくリリースされたPalm Desktop 2.5*[1]。内部的には大分改良されているようだが、表面上は2.1と大きな違いはない。使い勝手を向上させる改良点を2つ紹介しよう。

Instant Palm Desktopの改良

従来から、メニューバーに追加されるInstant Palm DesktopメニューでHotSyncマネージャを起動することができたが、2.5からは直接セットアップ画面やインストール画面を呼び出せるようになった（図1）。操作の手順が少なくなったことは歓迎できる。

HotSyncとPalm Desktop Organizerの統合

ツールバーにユーザーを選択するメニューが追加され（図2）、カレントユーザの切り替えが容易になっているほか、メニューバーにはHotSyncメニューが追加され、HotSyncマネージャーとの統合が図られている。

2.5への移行手順

2.1から2.5への移行は難しくはないのだが、日本語化のために若干の注意が必要だ。

2.1の日本語キットを作成した見口氏が今回も「MacPac2 日本語Kit R6b2」*[2]を作成してくれた。見口氏のWebサイト*[3]から日本語キットをダウンロードしてから、以下の手順に従って作業を行なってほしい。

バックアップ

何をインストールする際にもいえることだが、ハードディスクのバックアップを行なってから事に挑めば安心だ。安全第一。

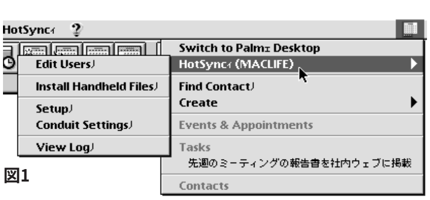


図1

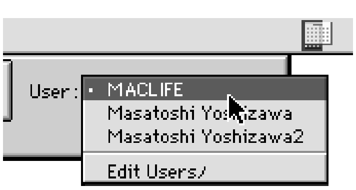


図2

“Users”フォルダーの待避→2.1をアンインストール

2.1をインストールした“Palm”フォルダーを開き、その中にある“Users”フォルダーをデスクトップに待避した後、以下の3つのアイテムをゴミ箱に移動する。

- 機能拡張の“Instant Palm Desktop J”
- 機能拡張の“HotSync ェ Memory”
- 2.1をインストールした“Palm”フォルダー

リスタート→ゴミ箱を空に

一度再起動した後、ゴミ箱を空にする。

2.5をインストール→リスタート

“Palm Desktop Installer”を起動し、インストールを行なう。このとき、起動ディスク以外へのインストールを指示すると問題が発生する場合があるので注意しよう。

日本語キットR6を実行→shiftを押しながら再起動

“MacPac2 日本語Kit R6b2.smi”を実行することで仮想ディスクがマウントされる。この中の“読みませう R6b2”をよく読んだ後、おもむろに“MacPac2 日本語Kit R6b2”を実行することによってPalm Desktop 2.5の日本語化が行われる。

日本語化処理が終了したら、Instant Palm Desktopの動作を抑止するためにshiftを押しながら再起動を行なう。

以前のUsersフォルダーを上書き

先程デスクトップに待避した“Users”フォルダーを、2.5のインストーラによって作成された“Palm”フォルダーにDrag&Dropして上書きする。

ゴミ箱を空に

日本語キットがゴミ箱に入れた英語版のPalm Desktop関連ファイルを、ゴミ箱を空にすることで完全に削除する。

再起動→デスクトップの再構築

option+commandを押しながら再起動を行ない、デスクトップの再構築を行なう。

Palm Desktopの起動と設定→完了

日本語化が確実に行なわれたことを確認後、HotSyncマネージャ、Palm Desktop Organizerの設定をひととおり行なってインストール完了となる。

Palm Desktop Organizerをもっと活用するTips

2.5へのアップデートはPalm Desktop Organizerを見つめなおす良い機会といえるかもしれない。

かつて高機能PIMソフト、クラリスオーガナイザーとして名を馳せたPalm Desktop Organizer(以下Organizer)は、名前が変わっ

Palmデバイスと Macの連携を実現してくれるPalm Desktopソフトウェア。本来、多彩な機能を備えているPalm Desktop Organizerであるが、ふと気がつくと単なる「Palm用データ入力ソフ

もっと使えるPalm Desktop 今日から



た現在でもそのパワーは健在だ。むしろ、Palmデバイスという「データ入力端末」を得たことで、生活のあらゆる場面のデータが集結するデータベースエンジンとしての活用が可能になったという考え方はできないだろうか。そのデータを活用しない手はない。

検索とExportの合わせ技！

OrganizerのExport(ファイル書き出し)機能はかなり強力だ。アドレス帳やスケジュー

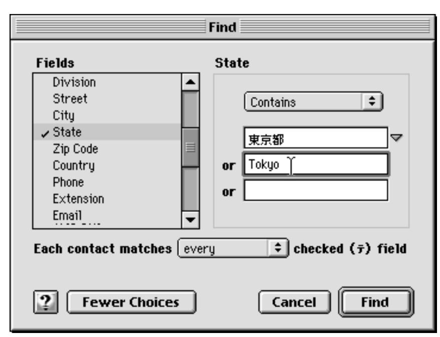


図3●Findダイアログの[Mode Choice]をクリックすることで、複数の選択条件を組み合わせる検索が可能

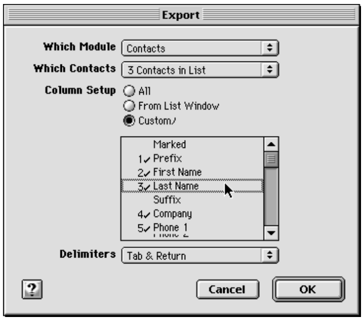


図4●ファイル書き出し時には、書き出しもと、書き出すフィールドやその順序などを指定できる

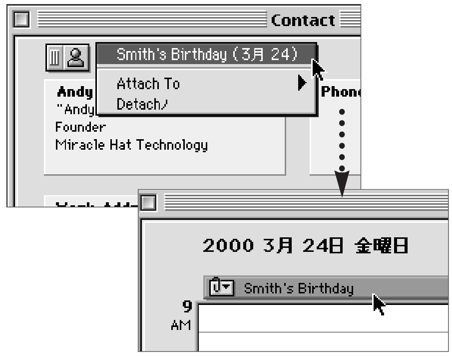


図5●コンタクト編集ウィンドウ左上のアタッチアイコンのメニューでアタッチ/デタッチ/アタッチしたアイテムへの移動が可能。上記のふたつのアイテムは相互に参照可能

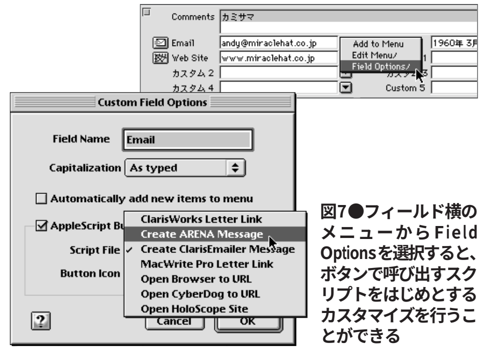


図7●フィールド横のメニューからField Optionsを選択すると、ボタンで呼び出すスクリプトをはじめとするカスタマイズを行うことができる

ト」と化していた、などということはないだろうか。今回は、先日リリースされたPalm Desktop Software 2.5の紹介とともに、もっとPalm Desktop Organizerを活用する方法について考えてみたい。

始まる Palm DAYS

吉沢正敏

ルなど、ほとんどすべての情報を一般的な「タブ区切りテキスト」として書き出すことができる。Excelやファイルメーカーなどであれば、そのまま読み込んでデータとして処理することのできる形式だ。

一方、 Organizerの検索機能はContacts（アドレス帳）、Tasks（ToDo）、Notes（メモ帳）に対して、「Display Resulst in List Window（結果をリストにして表示）」という指定が可能で、条件にあったレコードをリストにして一覧表示することができる（図3）。Exportする場合、このリストに抜き出したものだけをファイルにして書き出す（図4）、という指定が可能になっている。

つまり、これらを組み合わせて使うことで、「ビジネスのカテゴリーのうち、東京に住んでいる人」という条件に合致するアドレス帳情報だけを抜き出して、Excelで一覧表を作成する、ということがいとも簡単にできてしまうのだ。

アタッチメントを張りまくる！

たとえばアドレス帳に「Smith」という人の誕生日付きのコンタクトを追加すると、自動的にスケジュールに「Smith's Birthday」という毎年繰り返されるイベントバナーが追加される。このイベントバナーとSmith氏のコンタクトは相互にリンクされて、お互いを簡単に呼び出すことができるのだ。この状態をアタッチ（添付）と呼ぶ（図5）。このように自動的にリンクされるもの以外にも、ユーザーが指定することでOrganizer上のアイテムを自由にアタッチすることが可能だ。

アタッチはOrganizer内にとどまらず、Mac上の任意のファイルと結びつけることができる（図6）。コンタクトにハードディスク上のJPEGファイルをアタッチしておけば、いつでもSmith氏の顔写真を見ることができるというわけだ。Macというシステム全体を、Organizerを中心とするデータベースとして活用する、という言い方もできるだろう。

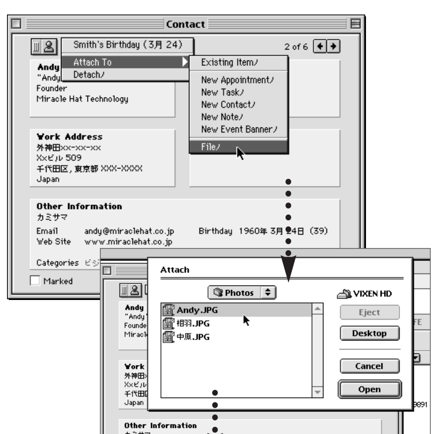




図6●さらに、Mac上のいかなるファイルにもアタッチ可能。アタッチしたファイルはアタッチアイコンのメニューから開くことができる

AppleScriptでカスタマイズ！

旧クラリス製品はAppleScriptのテクノロジーを上手く製品に取り込んでいることが特徴だが、Organizerもその例にもれず、細かい挙動を外部から操作したり、機能を追加することができる（図7）。

コンタクトのOther Informationのエリアでは、Email、Web Siteなどの入力フィールドの左にボタンが置かれていることに気がつくだろう。実は、これらのボタンはAppleScriptにより機能が定義されているのだ。

これらのボタンの機能を記述したAppleScript書類を"Palm"フォルダーの中の"Scripts"フォルダーに入れておくことで、図7のようにしてボタンに割り当てることができる。たとえば、ARENAでmailを出すためのAppleScript書類を作ってここに入れておくことで、E-mailボタンのクリックでARENAを起動することも可能となる。

あとは日本語版さえ出れば…

実際のところ、上記のようなTipsも、添付されているPDFのマニュアルを読めばきちんと書いてあったりもする。日本語を使用可能にしてくれた見口さんの功績は素晴らしい。しかし、やはりメーカーによってきちんと日本語化され、日本語による情報が提供されるのがベストである。せっかくの素晴らしいソフトなのに、それが十分に活用されないのは残念なことではないだろうか。

3com、Palm Computing両社の今後の対応に期待する一方で、私たちもPalm Desktopとうまく付き合うやりかたを模索してゆきたい。

●脚注

*1）以下のURLからダウンロードできるが、CD-ROMとして販売されているMacPac2の内容も順次2.5に置き換わると思われる。
http://www.palm.com/custsupp/macintosh/palmdtmac.html

*2）本記事執筆時点ではβ2だったが、本誌発売時にはバージョンが上がっていることもあり得る。

*3）見口氏のweb page「Pilot Room」：
http://member.nifty.ne.jp/mig/pilotroom/

PowerBook●カスタム講座（17） ●Hero、Big Muff、まーくん

Duoシリーズにおけるシステム環境構築&トラブル対処方法

このコーナーは、愛してやまないPowerBookをより活用するための講座である。
日々悩んでいる問題の解決方法から、世界に1台だけのPowerBookにカスタマイズする方法まで、
Macintoshユーザーグループ『POWERBOOK ARMY』のメンバーが、リレー形式でそのテクニックと
アイデアをわかりやすく披露してくれる。今回は、Duoシリーズについてトラブル対処法を紹介する。

●Duoのシステム・ソフトウェアセットアップ

近頃中古市場の相場が下がってきたおかげなのか、「ようやく念願のDuoを買うことができた」という話をよく耳にする。しかし、その一方で「いざDuoを買ったはいいけど、オールインワンタイプのマシンではないため、システムのインストールひとつをとっても難しく、どうしたらよいのかわからない」、または「扱い方がよくわからず、うまく動かないので、なんとかしてほしい」との相談を受ける機会も増えた。

インストール方法

まず最初に、Duoを使いこなすためのシステムのインストール方法について話をしよう。

DuoにMac OSをインストールする際に重要なことは、どのような周辺機器を使うか（というか、どのようなものが、使えるか）ということである。ここでは所有している、または借りられる、周辺機器別に整理して最適なOSインストール方法を説明しよう。

1――DuoDock（または MiniDock、SCSI MicroDock）＋外付けCD-ROMドライブの場合

まず最初に説明する方法は最も一般的な方法であるCD-ROMからのインストールである。ここではDuo全機種にインストール可能なMacOS 7.6を例に採って具体的な手順を説明しよう。

❶ Mac OS 7.6 CD-ROM（MacOS 7.6のインストーラーや起動システムを収録したCD。以下7.6 CDと呼ぶ）からDuoを起動する。Cキーを押しながら起動すると、内蔵ハードディスクよりも外付けCD-ROMを優先して起動システムを読みにいく。
※注意：CD-ROMから起動するにはそれに対応したCD-ROMドライブを使う必要がある。あらかじめ自分のCD-ROMドライブがCD-ROMからの起動に対応しているのか取扱説明書を読んだりメーカーのサポートセンターに連絡するなどして確認しておこう。

❷ 7.6 CDの「ユーティリティ」フォルダーの中にある「Disk First Aid」を用い、システムのインストール先に指定したいハードディスクに異常がないかチェックしておく。

Disk First Aidを起動し、「検証するボリュームの選択：」という、接続されているドライブの一覧を示すウィンドウから（外付けハードディスクを繋いでいるなど特別な場合を除いて内蔵ハードディスクのみが現れる）、起動ディスクに指定するハードディスク（通常はDuo本体に内蔵しているハードディスク）のアイコンをクリックして選択する。「検証」（または「修復」）ボタンを押してボリュームの検証（または修復）を実行する。

Disk First Aidの詳しい使いかたは起動中の画面に表示される「検証と修復のレポート：」に書かれている。

❸ 必要に応じて（修復箇所があまりに多かったときなど）、インストール先に指定するハードディスクを「ドライブ設定」を用いてイニシャライズする。

ドライブ設定を起動し、「ドライブの一覧」からシステムをインストールしたいハードディスクのドライブ名をクリックして選択する。ウィンドウ右下の「初期化...」ボタンを

●DuoDock（or MiniDock、SCSI MicroDock）＋外付けCD-ROMドライブでのMac OS 7.6のインストール

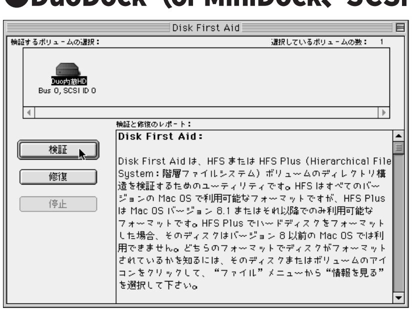


図1 「Disk First Aid」にてシステムのインストール先に用いるハードディスクを検証する

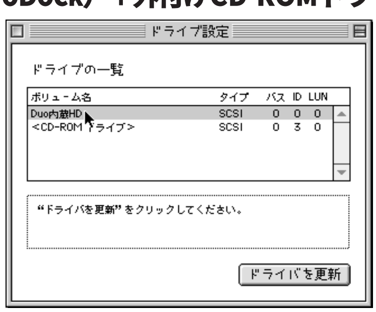


図4 新規インストールの実行

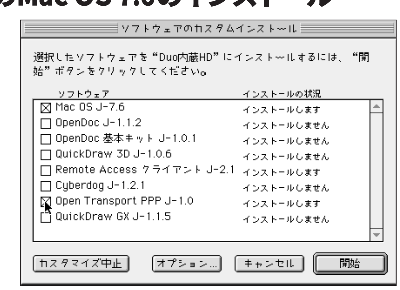


図3 インストール内容のカスタマイズ

押してイニシャライズを実行する。

❹ 7.6CDに収録されている「Mac OSインストール」を起ち上げる。ウィンドウに現れるステップを順に実行する。

特に、2番目の「ハードディスクのドライバを更新する」は重要なので、省略せずに必ず実行すること。ウィンドウ右のアイコンを起動してMac OSインストールからドライブ設定を起ち上げる。「ドライブの一覧」からシステムをインストールしたいハードディスクのドライブ名をクリックして選択する。続いてウィンドウ右下の「ドライバを更新」ボタンを押してイニシャライズを実行する。

3番目の「インストール先ディスクを選択する」で、インストール先のディスクを選択し、先に進む（普通の環境ではDuo本体に内蔵されているハードディスクは1台だけであろうから間違える心配はないだろう）。

❺ 最後のステップ「ソフトウェアをインストールする」を、ウィンドウ右下のアイコンをクリックして実行する。

まず、「オプション・ソフトウェア」からインストールしたいものを選択する（左のボックスにチェックを入れる）。さらに細かく設定したい場合には、「カスタマイズ」ボタンを押し設定を続ける（必要がなければ飛ばしても構わない）。

ここで注意する点は、すでにOS（たとえば漢字Talk 7.5.5など）がインストールされているハードディスクに、そのままOS 7.6をインストールする場合、「新規インストール」をお薦めする。そのためには、「オプション...」ボタンを押し、「新しいシステムフォルダを作成する（新規インストール）」のボックスにチェックを入れればよい。「OK」ボタンを押して設定を完了する。元の画面に戻ったら「開始」ボタンを押してインストールを実行する。

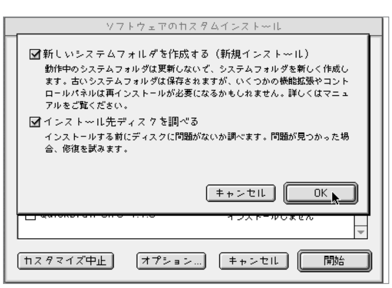


図4　新規インストールの実行

❻ インストールが終わったことを示すメッセージが表示されたら、「再起動」をクリックする。

❼ 無事に起動作業が終わりFinderが立ち上がればインストール成功である。

7.6以外のOSをインストールする場合もほとんど同じ操作でよい。手順の進め方（順番）や設定する項目が多少は異なるだろうが、上の手順を適宜読み替えて対応してほしい。

2――DuoDockのみ（またはMiniDock、Floppy Adapter＋FDドライブ）

この場合、FD版のシステムインストールディスク（たとえば漢字Talk 7.1）しかインストールできない。ここで手順を説明するのに取り上げるのは「PowerBookDuo 210/230用」漢字Talk7.1のフロッピディスク版インストーラーだ。

❶「ディスクツール1　PowerBookDuo 210/230用　（Disk First Aid）」からDuoを起ち上げる。Disk First Aidを起動し、必要に応じて表示されるウィンドウにある「ドライブ」ボタンを押して内蔵ハードディスクを選択し、「開く」ボタンを押す。新たに現れるウィンドウの「開始」ボタンを押してディスクの検証を実行する。終了したら一旦システムを終了する。

❷「ディスクツール2　PowerBookDuo 210/230用　（Apple HD SC Setup）」からDuoを立ち上げる。必要に応じてハードディスクのイニシャライズを実行する。

❸ システムインストールを実行するには、まず「インストール1」からDuoを起ち上げる。それ以降は、CD-ROMを利用するインストール方法と基本的には同じなので、インストーラーの指示に従って、適宜フロッピーディスクを入れ替えながら作業を進める。

3――MiniDock（またはSCSI MicroDock）のみ、デスクトップ機が別にある－SCSIディスクモード－

まず、SCSIディスクモードによりデスクトップ機に接続し、Duoの内蔵HDをデスクトップ機にマウントする。インストーラーを起動し、インストール先のディスクをDuo内蔵HDに指定し、Duoの使用環境に合わせてカスタムインストールを行なう。

漢字Tal 7.5.xインストール用CD-ROMに収められているインストーラーは、機種IDの応答を用いてマシンの機種を認識し、インストールするファイルの選択を行なっている。したがって、システム情報を偽装するフリーウェアのツール「Wish I were...」（http://www.macintouch.com/files/wish.hqx）を利用してデスクトップ機の機種IDを、Duoの機種IDに変更しておくと、手作業でカスタムインストールを行なう必要がなくなる。

必要に応じて、Duoの内蔵HDのイニシャライズを行ってからインストール作業を行なうのは、他の場合と同様だ。

4――周辺機器一切なし、デスクトップ機あり

Apple Talk接続（Local Talk経由）によりデスクトップ上にマウントしたCD-ROMなどからインストールする。

まずはじめにデスクトップ機側のセットアップを行なう。コントロールパネル「共有設定」（または「ファイル共有」）を開き、共有を開始する。Apple Talkの経由先はLocal Talkに設定する。

このときあらかじめデスクトップ機側にシステムインストールCDをマウントし、共有できるように設定しておくことを忘れずに。さもないとDuoにCD-ROMをマウントできない。

Duoとデスクトップ機をLocal Talk用ケーブルで接続する。

Duo側のセレクタを開き、左のアイコンリストからApple Shareをクリックして選択する。続いて右の「ファイルサーバーの選択：」からデスクトップ機を選び、続けて「OK」ボタンを押す。デスクトップ機の設定に合わせて登録利用者の情報を入力し（またはゲスト利用者を選択し）「接続」ボタンを押す。続いて現れる接続可能なボリューム名のリストからシステムインストールCDを選び「OK」を押す。

DuoにマウントされたCD-ROMボリュームを用いてインストールを実行する。

共有のホストとゲストを逆にしてインストールを行なう（デスクトップ側にDuoの内

●Expressモデムソフトウェアのカスタムインストール



図5　カスタムインストールを選択

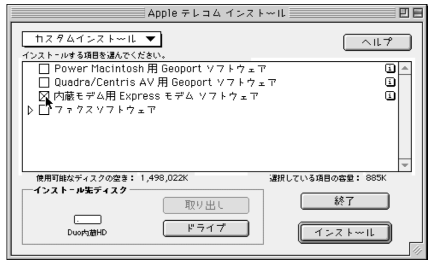


図6　内蔵モデム用Express モデム ソフトウェアを選択



図7　インフォメーション

蔵ハードディスクをマウントする）こともできるが、その場合にはインストーラーがデスクトップ機に見合ったシステムをインストールしようとするので、あまりお薦めできない。

この方法の応用として、Ethernetに接続するためのDockを使ってEthernet経由で同じ方法でインストールを行なうことも可能ある。

5――上記すべての方法を実施できない環境

この場合、システムのインストールは不可能なので、何か周辺機器を入手する必要がある。

※補足事項

【Mac OS 7.6（日本語版）】

日本法人であるアップルコンピュータの公式発表では、Mac OS 7.6の日本語版の動作環境に68030搭載のPowerBook Duoは含まれていない。しかし米Appleは、68030搭載のPowerBook DuoをMac OS 7.6（英語版）の動作対象機種に含めている。実際にMac OS 7.6を68030搭載のPowerBook Duoにインストールしても、問題なく動作する。

またMacOS 7.6（日本語）に含まれる、機能拡張書類Apple CD-ROM（CD-ROMドライブ用ドライバーソフト）は、歴代最多の対応ドライブ数を誇っているため、インストールしておくと便利だ。

【新規インストール】

起動ディスクに設定してあるハードディスク上にシステムフォルダ（現在使っているシステム）がインストールされている場合、既存のシステムフォルダとは別に、新しいシステムフォルダを作る作業のこと。既存のシステムフォルダは、「古いシステムフォルダ」と名前を変えて保存される。この方法のメリットは、システムフォルダ内の各ファイルが完全に新規に作成されるため、動作が安定すること。

【SCSIディスクモード】

PowerBookの内蔵ハードディスクを他のマシンの外付けハードディスクとして使う機能。PowerPC搭載Duoの場合、4GBを超える容量のATA（IDE）ハードディスクを内蔵していると、MacのROMの制限により、正しく動作しなくなるので要注意。

モデムソフト（Appleテレコム）のインストール

Mac OS 7.6をインストールした場合、上述の手順にだけでは、Duoの内蔵のExpressモデム用のソフトウェアはインストールされない。内蔵モデムを利用するには、別途専用のファイルをインストールする必要がある。

Mac OS 特別付録→ Apple テレコム → Apple テレコム→For Others→Apple テレコムディスク1とたどって、インストーラー書類「Apple テレコムインストール」を実行する。ここで、「カスタムインストール」から「内蔵モデム用 Express モデム ソフトウェア」を選んでインストールを実行する。

英語版Mac OS（7.0、7.1、7.5.3、7.5.5）のインストール

Duoにインストールできるシステムディスクを持っていない場合にはどうすればよいのだろうか？　新規に購入できればそれが最善だ。OS 8.1ならば、今でもショップに行けば手にはいるだろう。しかし、それ以前のバージョンになると、パッケージは、もはや市場から姿を消している。ライセンスの問題などもあって中古のOSを入手することも難しい。

そのような場合には、アップルが無料で配布している旧バージョンのOSを入手することをお薦めする。残念ながら現時点（99年8月末）で日本語版は提供されていないが、たとえば英語版システムならば、7.0から7.5.3（＋7.5.5アップデータ）までがアップルのFTPサイト（http://www.apple.co.jp/ftp-info/）からダウンロード可能だ。

●Duo対トラブル基本対処法

数時間前までは問題なく起動していたDuo、しかし、そのようなDuoでも予期せぬトラブルに遭遇することがある。ここではDuoの挙動に異常が発生した際の対処法を簡単に説明しよう。ただすべてのトラブルについてここで触れることはできない。この解説にあてはまらない場合、解決しない場合はDuo-Zone（http://www.powerbook.org/duo-zone/）内のDuo専用会議室、D-Roomを参照してほしい。

まず最初に説明するのはDuoのトラブル発生時の3つの必携対処法である。

❶PRAMクリア

方法は起動時にCommand＋Option＋P＋Rキーを押しながら起動する。するとハッピーマックが出る前に自然に再起動する。これでPRAMクリアの完了である。起動後、いくつかのコントロールパネルの設定がリセットされるので、再度設定しなおそう。

❷内蔵バッテリー交換

内蔵バッテリーは、メインバッテリーとは別に、Duoの時計やスリープ時の状態等をバックアップするために必要な電源である。時計が狂う、スリープからの復帰時にフリーズして、スリープからの復帰ができないなどの

場合、内蔵バッテリーの消耗が原因として考えられる。内蔵バッテリーはクリックボタンの裏部にあるため、分解せずには交換不可能だ。交換する際には、T-8トルクスドライバーを使用し、バッテリー、ヒンジ部カバー、キーボード、トップカバーを外す。クリックボタンの裏部にある、青または茶のビニールコーティングされた丸いものが内蔵バッテリーである（下図参照）。これを新品の内蔵バッテリーと交換すれば、不具合が改善されるケースがある。交換後、初めて起動するときには、ACアダプターを挿し、内蔵バッテリーが充電されるまで数分待ってから起動する（カラー液晶搭載のDuoの場合には、スリープランプが充電中に点灯する）。

❸パワーマネージャーのリセット

バッテリー、ACアダプターを挿した状態で起動しない場合、Duoの電源関係を管理しているパワーマネージャーの異常が原因として考えられる。パワーマネージャーのリセット方法は以下のとおり。

①バッテリー、ACアダプターを挿した状態で起動しない場合はバッテリーを抜く。

②ACアダプターを挿してパワーオンキーを押す。

③パワーオンキーで起動しない場合は、ここでACアダプターを抜き、パワーマネージャーをリセットするため、背面のリセットスイッチを30秒くらい押し続け、30秒経ったらパッと放す（バッテリーを抜くのがポイントである）。

1度では効かないこともあるので、何度か試してみよう。

これら3つの対処法で症状が治らない場合は、パーツを分解しながら問題を切りわけていくとよい。切りわける手順は、不具合の症状によって変わるため、一般的な症状、原因を以下に説明しよう。

・サッドマック

まず、各コネクター（メモリー、ハードディスクなど）が、確実に挿さっているかを確認する。各コネクターが抜けかかっていてもいなくても、各コネクターを挿しなおし、再度起動する。なにごともなく起動すれば、コネクターが正常に挿さっていなかったことが原因である。正常に起動しない場合はメモリーを抜き、Shiftキーを押しながら機能拡張を外して起動する。これで起動する場合は、メモリーが原因として考えられる。それでもサッドマックが現れる場合は、ロジックボードが原因として考えられる。

・起動時にフロッピーアイコンが表示

ハードディスクを外し、SCSIが使用可能なDockに接続し、内蔵ハードディスク以外の外付けドライブから起動してみる。これで起動すればハードディスクが原因として考えられる。それでも起動しない場合は、ロジックボードが原因として考えられる。

・液晶が表示しない

液晶のコネクターを挿しなおし、再度起動する。これで起動すれば、コネクターが正常に挿さっていなかったことが原因である。それでも液晶が表示しない場合は、外部モニターが使用可能なDockに接続し、外部モニターを接続して起動する。ここで起動すれば液晶まわりが原因として考えられるため、液晶フィルムケーブルの断線などを検証する。それでも液晶が表示されない場合は、ロジックボードが原因として考えられる。

・輝度、コントラスト調整が効かない、音が出ない

液晶まわりが原因として考えられる。コネクター、液晶フィルムケーブルの断線等を検証する。

・キーボードが効かない

Duoのキーボードを外して、Dockに繋いでADB経由でキーボードを接続して検証する。それでもキーボードが効かない場合は、ロジックボードが原因として考えられる。

・バッテリー駆動中に突然電源が切れる

Duo本体の歪みや組み付けが悪い場合に接触不良が起こる。この場合、バッテリー接点を慎重に調整する。それでもバッテリー駆動時に突然電源が切れる場合は、分解、組みなおしをするとあっさりなおる場合もある。

ほかにもあるが、要は原因と思われるパーツを外し、それを補えるパーツが付いている状態で起動させて試すのである。最小限の部品での起動には、ロジック、ON/OFF PCBボード、モニター、起動ドライブ、マウスがあれば、筐体に入ってなくても起動可能である。検証する際に、もう1台Duoがあればパーツを交換して検証することも可能である。これを機にトラブル対策をされるのもよいのではないか？

根強い人気でいまやビンテージの仲間入り〜PowerBook Duoシリーズ

PBC fleamarket
http://bbs.powerbook.org/fleamarket/



PowerBook Duoシリーズは、最初のモデル、PowerBook Duo 210、230が1992年秋に発表された。MPUに68030/25MHzを搭載したDuo 210、33MHzを搭載したDuo 230はドッキングステーションと接続することで、デスクトップの拡張性とサブノートの携帯性を併せ持とうという野心作である。しかも、ドッキングステーションとのインタフェイスとなるPDSの仕様が公開され、サードパーティからも独自の拡張が施されたドッキングステーションが多数登場するはずだった。しかし、PowerBook Duoシリーズの寿命は長かったものの、ドッキングステーションのマーケットは広がらず、シリーズ最終モデルである、PowerBook Duo 2300cが販売されていた頃は、本体は手に入るもののドッキングステーションの入手が困難というような状況だった。

現在でも、Duoシリーズのドッキングステーションは値落ちせずに売買がされており、中古市場では特異な存在となっているが、iBookの登場に呼応するように68K PowerBookの価格も一段と低下する傾向にある。ここはひとつ、ビンテージカーを購入するつもりで、個人売買にチャレンジしてみてはいかがだろうか？

（POWERBOOK ARMY代表／飯嶋　淳）

関連サイト

●青組
http://www.linkclub.or.jp/~hero/
●BM Selection!
http://www.linkclub.or.jp/~bigmuff/
●まーくんの診察室
http://www.linkclub.or.jp/~maakun/

注意!!

原則として、PowerBookをユーザーが分解したり改造した場合、メーカーやショップから保証が受けられなくなる。すべて自己の責任において行なってほしい。筆者およびMACLIFE編集部はこの記事によって生じた、いかなる事態に関しても一切の責任と保証を負わないので、覚悟を決めてから実行すること。また、質問にも一切答えられません。

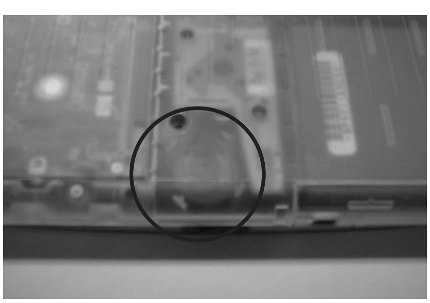


図8　裏から見た内蔵バッテリーの位置

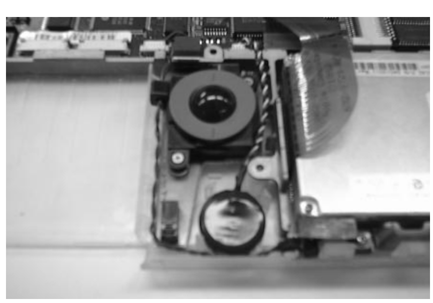
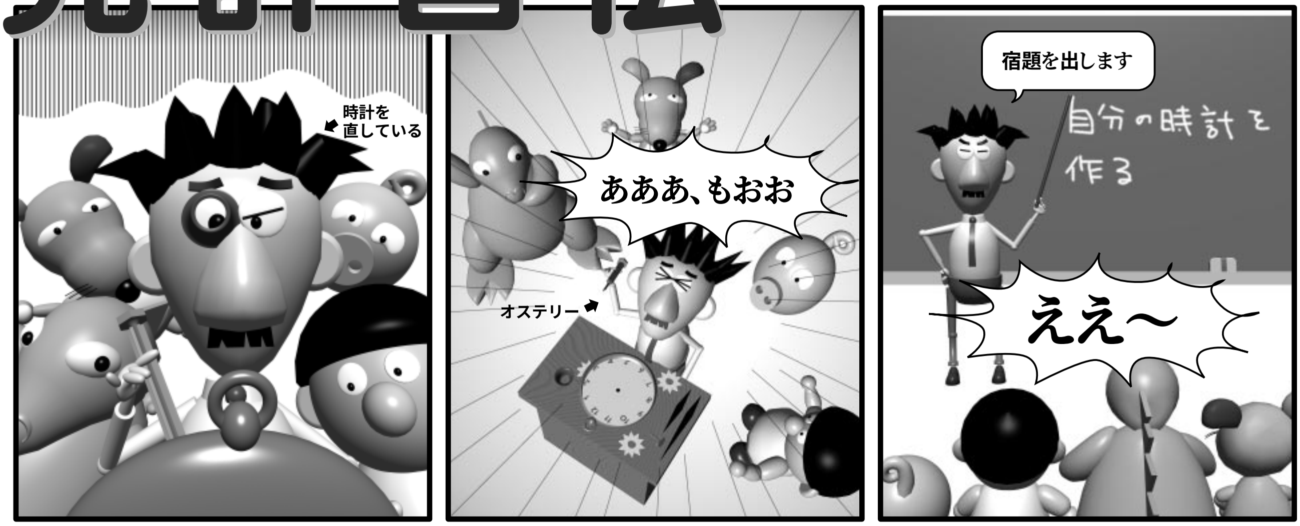


図9　トップカバーを外すと内蔵バッテリーが見える。この内蔵バッテリーを外して交換する

オンラインソフト

免許皆伝

●毛利司津江●http://home.att.ne.jp/gold/gapi/



秋の夜長は手作り時計!

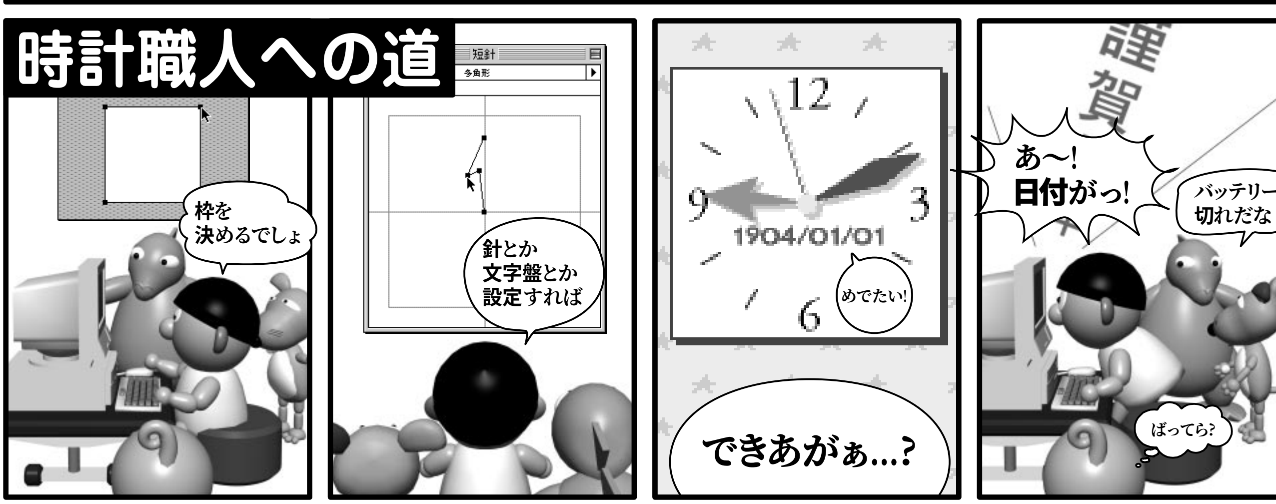
『Zenmai Clock』の巻 (基礎編)

メニューバーの時計には飽きちゃった。
子供の写真の時計がほしい。
どこにもないなら自分で作るぞ。
そんなあなたにZenmaiClock!



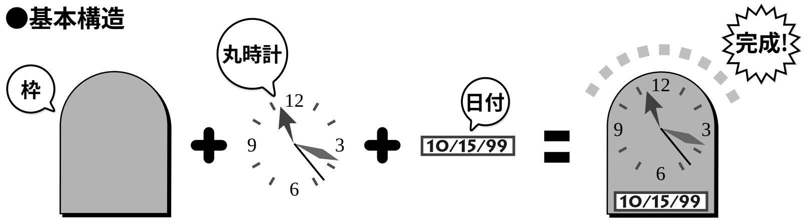
ZenmaiClock
作者●藤原克哉氏
バージョン●3.0.4
ジャンル●フリーウェア/ドネーションウェア
URL●http://www.vector.co.jp/authors/VA008942/library/zenmaiclock/

時計職人への道



何事も基本が大事

●基本構造

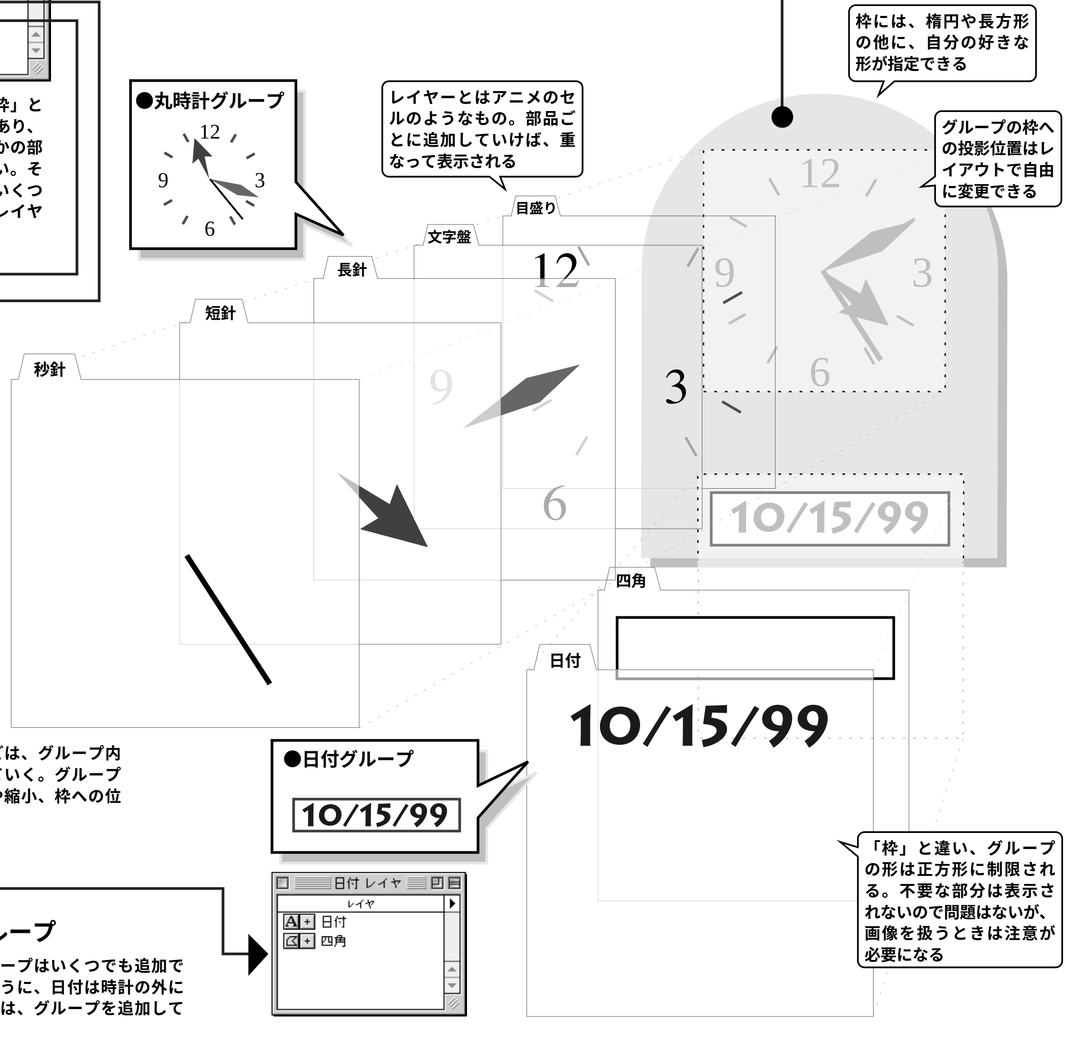


ZenmaiClockはアニメのセルを重ねたような構造になっている。まず時計の土台となる「枠」があり、その上に時計本体のグループを重ね合わせていく。上図の例は、「枠」、「時計」グループ、「日付」グループで構成されているが、シンプルな時計なら枠と時計グループ1つで完成だ

●枠とグループ



もう少し詳しく見ていこう。まず「枠」というのは時計に使う部品の「親分」であり、1つの時計に1つしか存在しない。ほかの部品は、この枠の外側には表示されない。それに対してグループは子分であり、いくつでも追加可能だ。その中身は複数のレイヤーで構成されている



グループには複数のレイヤーが含まれている。リストの上にある部品ほど、手前に表示される

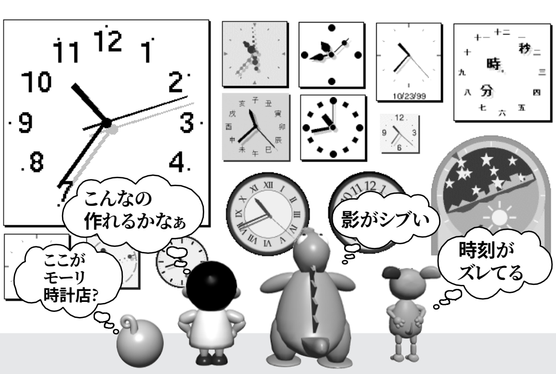
●レイヤー



秒針や文字盤、目盛りなどは、グループ内にレイヤーとして追加していく。グループにまとめておくと、拡大や縮小、枠への位置決めがまとめて行える

●ほかのグループ

必要に応じてグループはいくつでも追加できる。この例のように、日付は時計の外に出したい場合などは、グループを追加してやればよい

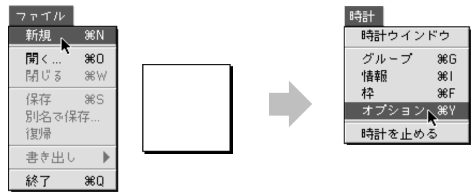


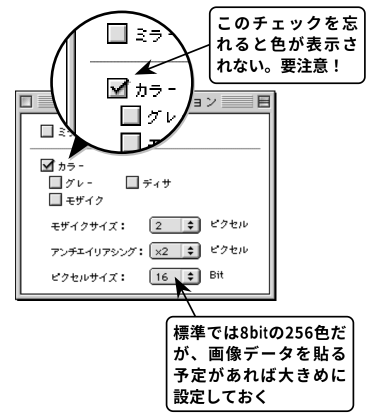
最新機種の情報やバージョンアップに疲れたあなた。ここらでMac本来の「知的な自転車（最近の機種は戦車だという話もアリ）」としての楽しみ方に触れてみてはいかがだろうか。ZenmaiClockは、Mac上で時計を作れるアナログ時計シミュレーターである。簡単に作れて奥が深く、凝り性のあなたでも大満足の逸品だ。自作した時計は、専用のプレーヤーで表示させたり、AfterDarkのモジュールやDAに変換して楽しむことができる。あなたも世界に1つしかない自慢の時計を作ってみてほしい。

オンラインソフト免許皆伝

これなら作れる最初の時計

① 一番大事な下準備





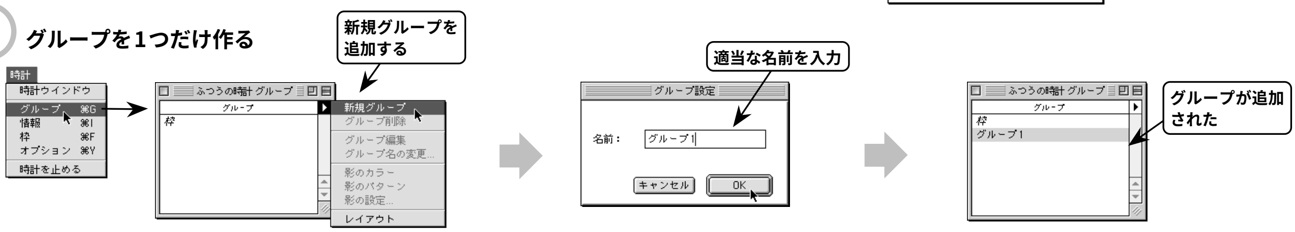
Zenmai Clock起動直後は何も表示されないので、まずはファイルメニューから新規を選ぶ。次に、オプションから「カラー」を選ぼう。これを忘れると、筆者のように「色が出ないぃぃぃ」と悩むことになるので注意しよう。もちろん、モノクロの時計ならチェックする必要はない

② 枠の形を決める



次は枠の形や色を決めよう。「カスタム…」オプションを選べば自由な形が指定できるが、ここでは標準で用意されている「楕円」を使うことにする

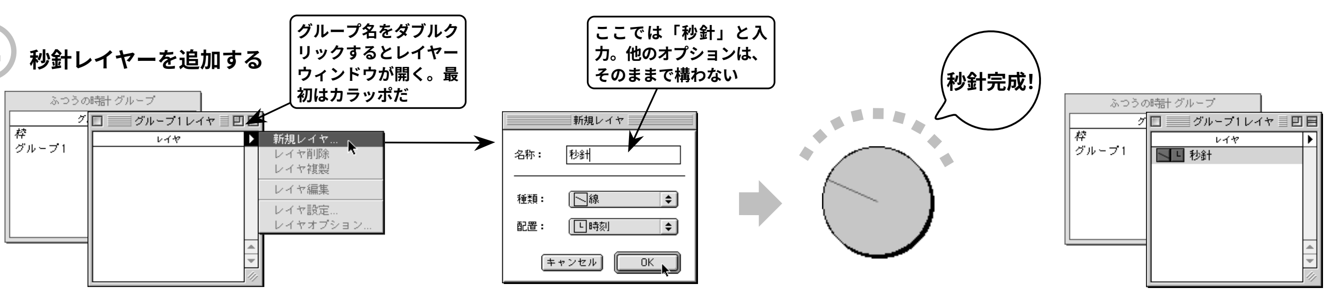
③ グループを1つだけ作る



この段階では、画面には時計の枠しか表示されていないので、まずグループウィンドウを表示し、サブメニューからグループを追加する。グループというのは、これから作っていく秒針や短針などの時計部分をまとめるフォルダのようなものだ

これでグループの完成である。秒針や短針、文字盤は、すべてグループ内にレイヤーとして追加していくことになる。日付を表示するグループや、ちょっとしたアクセントに画像を追加するときは、新規にグループを作成しよう。そうすれば、枠上の好きな場所に配置できる

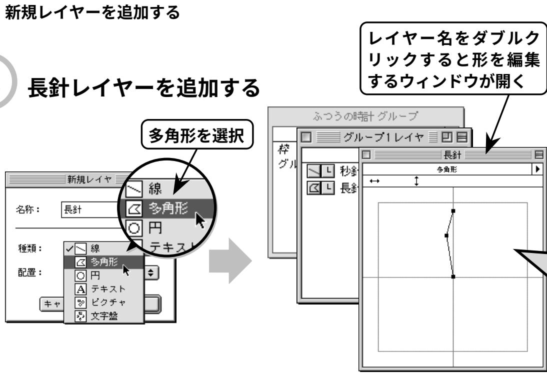
④ 秒針レイヤーを追加する



地味な作業はここまで。今度は動くものを追加してみよう。グループ名をダブルクリックしてレイヤーウィンドウを開き、新規レイヤーを追加する

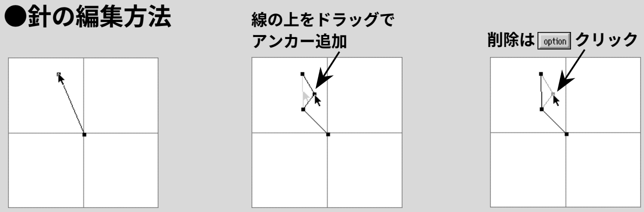
たったこれだけの作業で秒針が完成する。グループやレイヤーウィンドウの下にプレビュー用の時計が隠れているので手前に移動しよう。着々と時を刻んでいるはずだ

⑤ 長針レイヤーを追加する



秒針だけでは寂しいので長針や短針も追加する。秒針と同様にレイヤーを追加するわけだが、このとき種類に多角形を指定しよう。これで、好きな形が作れる。編集方法は右図を参照してほしい

●針の編集方法

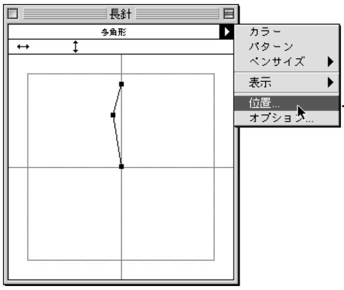


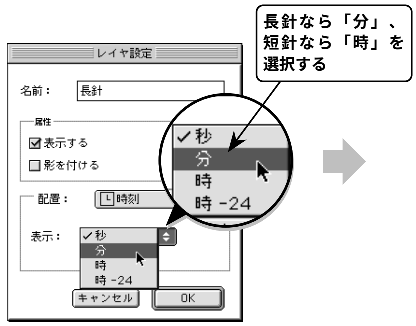
まず適当なところをクリックして、そのままドラッグし、線分を作る。これで線が引ける。中央から始めると楽だ

線の上をクリックし、そのままドラッグするとアンカーができる。これをドラッグして適当な形に仕上げていく。標準では左右対称の図形になるので半分だけ作ればよい

option クリックすれば、不要なアンカーは削除できる

⑥ 針の動きを指定する





長針完成と思いきや、なんと動作は秒針と重なっている。そこで、位置オプションから「分」を設定する。これでちょっぴり時計らしくなるはずだ



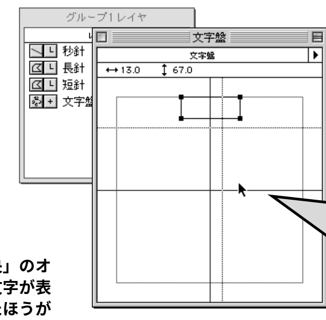


同様な方法で短針を作成し、位置オプションで「時」を指定した。これで、時刻の確認はできるようになったが、まだ実用的とはいえない

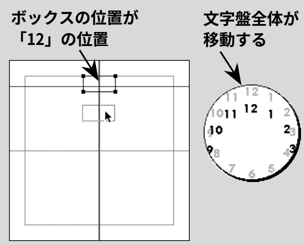
⑦ 文字盤を追加する



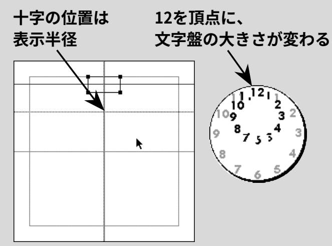
新規レイヤーで「文字盤」と「中央」のオプションを選択する。これだけで文字が表示されるが、好みの位置に調整したほうがよいだろう



●文字盤の編集方法



まず、アンカーで囲まれたボックスは「12」の位置を示している。四隅をドラッグすると表示範囲を、全体をドラッグすると表示位置を変更できる

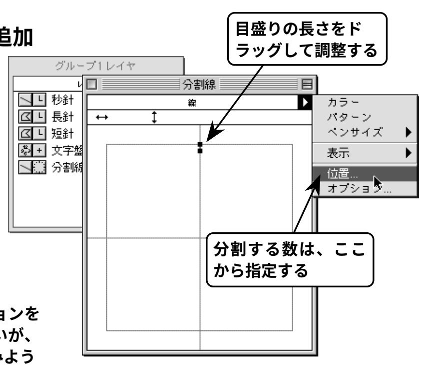


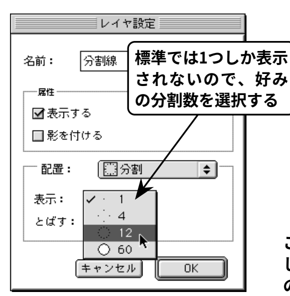
ボックス以外の所をドラッグすると十字グリッドが移動する。これは、中心からの半径を示している。ボックスの中央に移動するとよいだろう

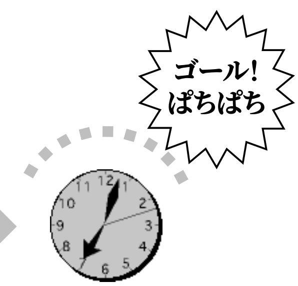
⑧ 最後の仕上げに目盛りを追加



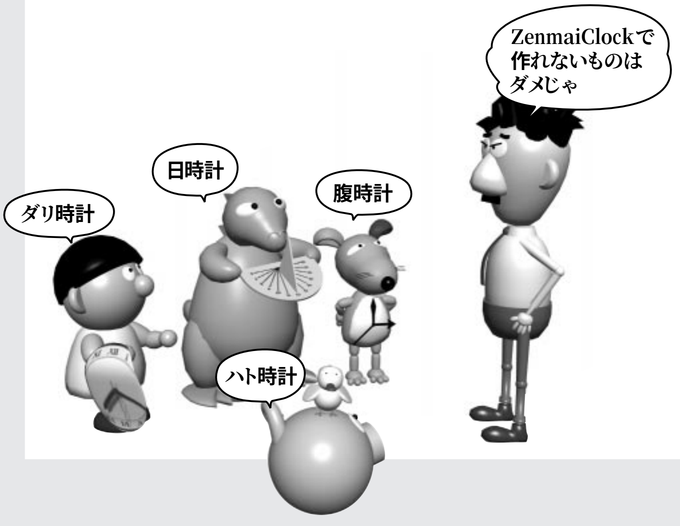
目盛りは「線」と「分割」のオプションを組み合わせて作る。なくても困らないが、ちょっとしたアクセントに追加してみよう







これで完成だ。まだまだ地味だが、時計としては十分である。慣れてきたら、文字盤の書体や色の変更に挑戦してほしい



今回は「時計を作る」楽しさを味わっていただくのに必要な最小限の説明を行なった。これだけじゃ物足りない、という人は、ソフトに付属しているサンプルを開いてみてほしい。あっと驚く裏ワザが見つかるに違いない。また、ZenmaiClockのサポートページには自作時計作者へのリンクも多数登録されている。他人が作った時計には参考になる点が多いので、ぜひダウンロードしてみよう。次回は画像表示などの応用編を解説する予定である。奥方のデジカメ写真などを準備して待っていてほしい。

エッセイ

花谷育雄

年末恒例のプレゼントはもうすぐそこに

読書の秋も過ぎ去ろうとしているが、毎年この時期になると、12月が待ち遠しくてたまらない。何といっても、極上のミステリーに出会えるからだ。パトリシア・コーンウェルの作品のうち、ケイ・スカーペッタ女性検屍局長シリーズ（講談社文庫）がそれで、4作目の「真犯人」から本稿執筆時点で最新の第9作「業火」までの6冊は、いずれも12月15日に第1刷が発行されてきた。ちょっと早めのクリスマスプレゼントと思って、いつも楽しみにしている。

主だったミステリー新人賞を独占したことなど何も知らないまま、処女作品の「検屍官」を読んだときの充実感は、今もって忘れない。かつて、時間つぶしに映画でも見ようと、それほどの前評判も耳にしないまま「ダイハード」を選んだところ、エンドクレジットが流れ始めてもしばらく席を立てなかったあの衝撃に似ている。

主人公ケイはもちろんだが、脇役陣の素晴らしさが魅力をいっそう醸し出しているのではないだろうか。FBI心理分析官のウェズリーには第9作で悲劇が訪れたが、コンピューターにかけては天才的な姪のルーシーや、異常性格者でち密な殺人犯キャリー、そして中でもマリーノ警部のぶっきらぼうな気配りがたまらなくいい。また、時おり登場する電子メールや、AOLといった言わば小道具たちも、フィクションを身近なものに感じさせてくれる。

そんな一級作品を送り出しているコーンウェルの素顔に触れるには、http://www.patricia-cornwell.com/を訪れてみよう。ここは、ファンのために開設されたオフィシャルサイトだ。幼少時代や、ハイスクールでテニスに興じているスナップから、結婚式当日の表情なども掲載されている。また、Cornwell Enterprises Inc.のロゴが入った読者宛てのレターやFAQコーナーでは、彼女の生の発言を読める。そして何より嬉しいのが、未邦訳の作品タイトルを目にできることだ。間もなく邦訳出版されるのはScarpetta's Winter Table、もしくはBlack Noticeになるのではと思っているが、はたしてどうなることやら。

コーンウェルに限らず、これはと思った著者の作品は徹底して読むというのが、私の読書スタイルになってしまった。ちょっと書棚に目を向けても、アーサー・C・クラーク、光瀬龍、クライブ・カッスラー、トム・クランシー、真保裕一などの作品があふれ返っている。こんな読み方をしていて一番困るのは、どれがどんな内容だったのか、あとで容易に思い出せないことだ。そんな悩みを助けてくれるのが蔵書管理ソフトで、Mac用にも各種のオンラインソフトがリリースされている。

「おてがる文庫管理」（作者：経澤和樹氏）は寸評や評価欄もあって使いやすい。最近公開された「LibraryCatalogue」（作者：Yoshikazu氏）もなかなか便利だ。ファイルメーカーを持ってなければ、「BibNote」（作者：西野至氏）や「Selfish Library」（作者：小林稔氏）などのハイパーカード・スタックもある。

いよいよ忘年会のシーズン。連チャンでアセトアルデヒドが抜けきれない脳には、一杯の味噌汁とともに、重厚なミステリーの刺激はいかがかな？

快適MACLIFE FORUM Library最新登録ソフト

LIB No.	登録No.	FileName	バイト数	参照数	コメント（1999年09月30日登録分まで）
LIB:03	507	Parite	268288	12	相手の手詰まりを狙って盤上の空間を支配していくシンプルなルールの対戦型思考ゲーム
	506	DonDen v2.0	176512	10	毎回の手番で相手の石を選んで動かせるようにしたトリッキーな四目並べ
	505	ohana110.sit	1352704	13	パズルゲーム、赤い花の咲いたプランターの駒を動かし花を全部満開にすると一面クリア
	503	漢字クロス 7×7 Ver.1.0	222208	5	7×7マスの問題が100問楽しめるツメクロスと呼ばれる種類の漢字のクロスワードパズル
LIB:04	236	NetFinder 2.0.1J	2647040	8	使いやすい FTP（File Transfer Protocol／ファイル転送プロトコル）クライアントプログラム
	235	SmartWrap 1.1b1J	353408	8	字下がりやワードラップが読めないほど汚い電子メールを簡単にすばやく整えてくれるツール
	232	Web Confidential 1.3J	331520	6	ユーザーID、パスワード、登録番号、クレジットカード番号、暗証番号などのデータを管理
	231	PetTerm 68K 4.0i	353664	14	自動巡回とチャット機能に優れたNIFTYSERVE用通信ソフト68K版。インターネット経由も可能
	230	PetTerm PPC 4.0i	404992	37	自動巡回とチャット機能に優れたNIFTYSERVE用通信ソフトPPC版。インターネット経由でも可能
LIB:05	965	TypePopper 1.3J	336000	6	ファインダーで選択したファイルのタイプやクリエーターが簡単ですばやく変更可能に
	964	CopyPaths 1.5J	342144	6	ファインダーで選択したファイルのパス名を簡単ですばやくクリップボードへコピー
	963	StartupDoubler 2.1J	117504	15	ソフトウェア加速によってハードディスクのパフォーマンスを向上、コンピューターの起動時間が加速
	962	WindowMonkey 1.3J	516992	5	ウィンドウの背景にPICTファイルなどを貼りつけたり，メニューバーにウィンドウ切換メニューを追加
	961	Menuette 1.3J	566272	8	メニューバー内のテキストのかわりにカラフルなアイコンを表示してくれるコントロールパネル
	960	FileBuddy 5.3.1J	1270144	25	定番のファイルやフォルダーを処理するための高機能ファイルユーティリティ
	958	ぷれーんの達人ver1.1.1	348928	17	ブラウザーやメールソフトからテキスト保存したファイルを段落推定を行ないプレーンテキストに変換
LIB:06	543	Bon2 Clock ver1.0J	107816	29	Macのデスクトップを飾るレトロな雰囲気の振り子時計。PowerPC搭載機を推奨
	541	K.S's Address Book 3.1.1 update	1105300	7	K.S's Address Book3.0.Xユーザー用のアップデートパッケージ
	540	K.S's Address Book 3.1.1	1854015	15	親しみやすくて使いやすいインタフェイスの高機能マルチユーザー対応アドレス帳
	537	RocketPrint0.6.1	456448	9	デジカメの写真データをまとめて、撮影日も入れて、お手軽に印刷したいときに便利なツール
	536	JJWorks v2.35	929664	16	住所録、スケジューラー、To Do、カレンダー、ダイアリーなどの機能を持った個人情報管理ツール
	535	JJCommander v1.15	366464	7	ファイル名を入力してドキュメントやプログラムを起動できる一風変わったランチャー
	533	K3jack 3.0.2.sea	35584	15	画面の下端に常駐できる大きさの快適計算ツール。DTP作業のヘルパーとしても最適
	532	iMaCalc 1.0	111872	19	6色の電卓カラーを選択でき、自分の好みに合わせて楽しく使用できる電卓
LIB:07	343	Quit CSM 1.7.6 J	208384	15	起動中のアプリケーションをいちいちアクティブにせず、個別にもしくはすべて終了できるCSM

※MACLIFEステーションは、8月1日からリニューアルされ、快適MACLIFEフォーラムになりました。快適MACLIFEフォーラムへの参加は、GO FMACLIFEです。
※この欄で紹介しているソフトウェアは、NIF TY SERVEの快適MACLIFEフォーラム内のデータライブラリの各コーナーに登録されています。
※なお、CD-ROM MACLIFEには、作者の許可を得たソフトのみ収録。使用にあたっては、ファイルに付属している説明書（ReadMeファイル）を必ずお読みください。

Bon2 Clock

CD-ROM

バージョン：ver.1.0J
ジャンル：アプリケーション
作者：山下　渉 <yamadon@ba2.so-net.ne.jp>
分類：Freeware（Mailware）
代価：気に入ったら作者へメールしよう
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB6-543

レトロな雰囲気の振り子時計ソフト。これからの秋の夜長はのんびりと時を刻む振り子時計をMacのデスクトップに設置するのもなんとも風情があってよいのではないだろうか？　筆者は実家にあるねじ巻き式の古い柱時計を思い出し、ついでに子供の頃のことも思い出してしまい、本当に懐かしかった。Bon2 Clockを立ち上げておけば30分で1回、各時にその数だけボンボンと鐘が鳴る。振り子をスムースに動作させるにはPowerPC搭載機を推奨。



C/S Calendar

CD-ROM

バージョン：ver.1.04
ジャンル：アプリケーション
作者：カナデアソフトウエア
<SR004952@nifty.ne.jp>
http://member.nifty.ne.jp/Kanadea/
分類：Shareware
代価：8,900円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB6-551

ネットワーク上で共有可能なメモ付きカレンダー。ネットワークプロトコルはAppleTalk、TCP/IPの両方に対応している。シェアウェア料金は8,900円と一見高く感じるが、これはホスト側で共有するカレンダー1つについての料金で、クライアント側はいくつで使おうが無料なので、大学の研究室や中小の事務所などで、実験や授業、出張など、大まかなスケジュールを管理するソフトとしては、シンプルで使いやすい。



DonDen

CD-ROM

バージョン：ver.2.0
ジャンル：ゲーム
作者：赤シャツ★☆ <KHF02461@nifty.ne.jp>
http://member.nifty.ne.jp/redshirt/
分類：Shareware
代価：$5(US)もしくは600円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB3-506

五目ならべなどをしていて、誰しもここで相手の石が動かせたら…と思ったことがあるのではないか？　そこで毎回、相手の石を選んで動かせるというルールを加えた四目ならべがDonDenだ。しかし，動かせるがゆえの新たな悩みも…相手の駒を四目並べて自爆してしまったり、四目ならべなのに，3手で負けてしまったり…（笑)、一筋縄ではいかない奥の深いトリッキーなゲームだ。新バージョンは思考ルーチン、盤面の種類などのグラフィックスなどを全面改訂した。

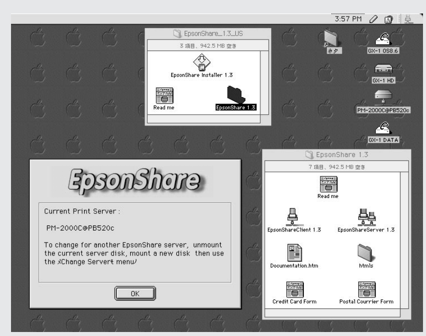


EpsonShare

CD-ROM

バージョン：ver.1.3 US
ジャンル：ユーティリティ
作者：Gerard Ceccaldi <ceccaldi@ses.fr>
http://www.ses.fr/epsonshare
分類：Shareware
代価：$24.00から
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB6-553

ネットワークに対応していないEPSON製プリンターをネットワークで共有して使えるようにするツール。iMacやiBook、B/W G3、G4などからでもEthernet経由で簡単にプリンターを共有して印刷できる。試用期間は10日間となっているが、1回使うと便利でやめられず、登録は必至かも。ホームページからカードでシェアフィーが払えるようになっていて便利だ。シェアフィーはネットワーク上で使えるプリンターの台数に応じて増加する。Mac OS 9にも対応。

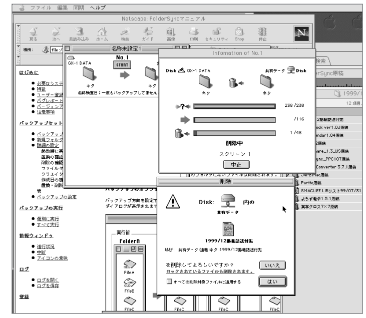


FolderSync

CD-ROM

バージョン：ver.1.8.7
ジャンル：ユーティリティ
作者：山下　誠　<moh@inh.co.jp>
http://www.inh.co.jp/~moh/index.html
分類：Shareware
代価：700円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB6-554（PPC版）、LIB6-555（68K版）

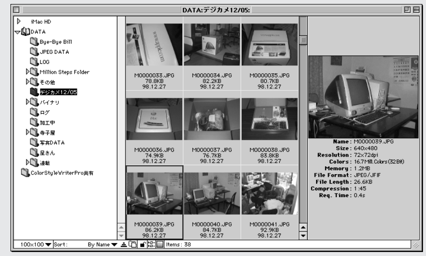
バックアップツールとしてはアップル純正のファイルシンクロナイズというのがあって、けっこうシンプルでわかりやすく、気に入っていた。しかし、多くのファイルをシンクロさせていると、途中でエラーで落ちてしまうという欠点（致命的 (^^;) があり、バックアップ目的なのにいまひとつ安心できなかった。今回お薦めのFolderSyncは、筆者の環境では、安定しており、使い勝手も直観的でわかりやすく重宝している。



Graphic Converter

バージョン：ver.3.7.1(US)
ジャンル：アプリケーション
作者：Thorsten Lemke <lemkesoft@aol.com>
http://www.lemkesoft.de/
分類：Shareware
代価：$35（US）
日本語対応：○
登録場所：FMACLIFE LIB6-556

あらゆる形式の画像ファイルを変換したり加工できる便利な定番シェアウェアGraphicConverterの最新版。デジタルカメラの画像をいじったり、たくさんの画像ファイルをサムネイル化して整理したり、ファイルを複数もしくはフォルダーごとまとめて違うファイル形式へ変換したりとか、本当に便利なソフトだ。ホームページを作る人には必携のツール。ver.3.7.1では，バグの修正に加えて、今回も数々の機能追加やスピードアップが施されている。



四字熟語パズル(J4Pzl)

バージョン：ver.1.0
ジャンル：ゲーム
作者：山本昭良 <HDA01516@nifty.ne.jp>
http://www.netlaputa.ne.jp/~banyan/
分類：Shareware
代価：700円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB6-490

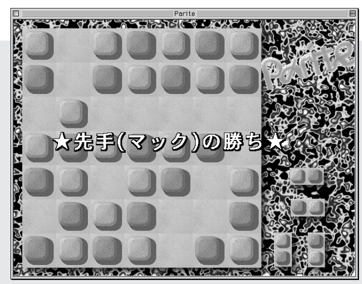
バラバラの漢字を組み合わせ四字熟語を完成させるパズル。ランダムに熟語を選択して問題を作るので、何度でも楽しめる。登録するまでは50個の四字熟語のデータしか楽しめないが，登録すれば300個の四字熟語データを選択することも可能。また、テキスト形式で作成した外部ファイルのデータを読み込み可能となり、オリジナル問題も簡単に作ることができる。漢字クロス7×7と同様、Shockwave 6.0.1以上をインストールしたWebブラウザー上で動作する。



Parite

バージョン：ver.1.1
ジャンル：ゲーム
作者：赤シャツ★☆ <KHF02461@nifty.ne.jp>
http://member.nifty.ne.jp/redshirt/
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB3-508

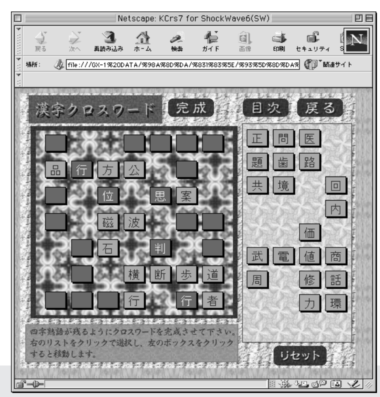
先手と後手で、7×7の盤面に、交互に2個ずつ石を置いていき、相手の手詰まりを狙って盤上の空間を支配していく、シンプルなルールの対戦型思考ゲーム。ただし、それぞれの手番で、タンジェリン石とブルーベリー石、各1個を、縦横に隣り合った空きマスに打つのだが、このとき同じ色の石が縦横に隣接してはいけないというルールだ。 このPariteは、作者の「赤シャツ★☆工房ホームページ」の12,000アクセス達成記念に作られたフリーウェアとのことだ。



漢字クロス7×7(KCrs77)

バージョン：ver.1.0
ジャンル：ゲーム
作者：山本昭良 <HDA01516@nifty.ne.jp>
http://www.netlaputa.ne.jp/~banyan/
分類：Shareware
代価：700円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB3-503

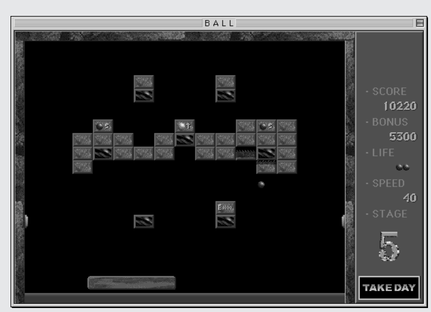
7×7マスの問題が100問楽しめる漢字のクロスワードパズル。ツメクロスと呼ばれる種類のパズルで、マウスのドラッグやクリックで操作しながら、リスト中の漢字でクロスワードのマス目を埋めていく。四字熟語が残るように完成すれば正解。操作は簡単でも、収録されている問題はけっこう手ごたえがあり、簡単には答が出ないものもある。ただ、極端に難しい熟語は使っていないということなので、中学生諸君もぜひ挑戦してほしい。



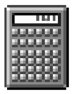
B.A.L.L

バージョン：ver.1.2
ジャンル：ゲーム
作者：竹本大悟<takemoto-e@mx3.tiki.ne.jp>
http://ww3.tiki.ne.jp/~takemoto-e/Take-Day/index.htm
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB3-509

マウスだけの簡単な操作で楽しめる、スピード感が爽快なブロック崩しゲーム。面が進むにつれて、ラケットの種類、ブロックの配置や種類、複数のボールや重さや反射の具合、スピードが違う種類のボールなどへ変化するなど、多彩なバリエーションで、なかなか飽きがこない仕上がりになっている。作者のホームページにてハイスコアランキングが開催中なので、どんどんチャレンジしてほしい。



電卓・計算機ソフト

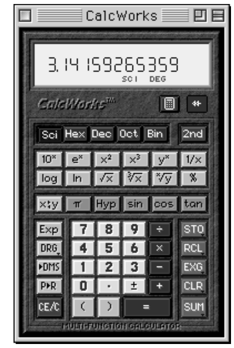


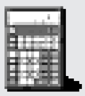
1 CalcWorks

CD-ROM

バージョン　1.5.4／作者　John Brochu／分類　Shareware／代価　$10(US)／日本語対応　◎／登録場所　http://sitelink.net/jbrochu/

多機能な電卓ソフトの老舗であるCalcWorksは、科学関数計算や２進数の計算などが可能で、ボタン操作により2、8、10、16進数で表示を切り替えることもできる。System 6.0.5からMac OS 8.6まで、幅広く対応しているのがうれしい。ボタン操作だけでなく、メニューからも豊富な機能を利用することも可能だ。特に、Conversions（換算）とConstants（常数）メニューは、単位換算や面倒な数値の入力が簡単にでき、とても便利である。メニューの編集もできるが、ユーザー登録しないと変更を保存できない。



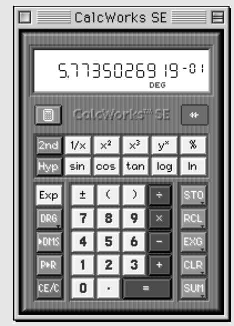


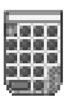
2 CalcWorks SE

CD-ROM

バージョン　1.6.0／作者　John Brochu／分類　Shareware／代価　$10(US)／日本語対応　◎／登録場所　http://sitelink.net/jbrochu/

iMacライクのインターフェイスを持った、CalcWorksの特別バージョン（Special Edition）である。表示切替えボタンがなくなってスッキリした感じになり、その他のボタンのサイズとカラーリングも、より識別しやすいものになった。Optionsメニューから「Keyboard & Colors」を呼び出すと、6種類のiMacカラーやグラファイト色を簡単に選択することが可能だ。CalcWorksのように好みのカラーを設定することはできない。単位換算や常数入力の手軽さ、およびPreferencesでの詳細設定機能などは、そのまま受け継がれている。



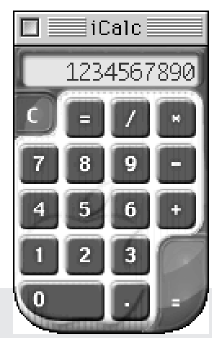


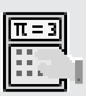
3 iCalc

CD-ROM

バージョン　1.02／作者　Sideways Design／分類　Shareware／代価　$5(US)／日本語対応　○／登録場所　http://www.sidewaysdesign.com/home.html

カラフルで楽しいiMacだが、アップルメニューから呼び出す標準装備の計算機は何とも素っ気ない。そこでお薦めするのがiCalcだ。曲線を取り入れたデザインがユニークで、何よりもボンダイブルーを含んだ6色のiMacカラーを簡単に選択できるのがうれしい。機能的には四則演算のみとシンプルだが、ふだん関数計算などと関わりがなければこれで十分だ。テンキーでの操作もできるし、表示内容をクリップボードにコピーする以外に、ドラッグ＆ドロップにより他のアプリケーションに直接コピーする機能も備えている。



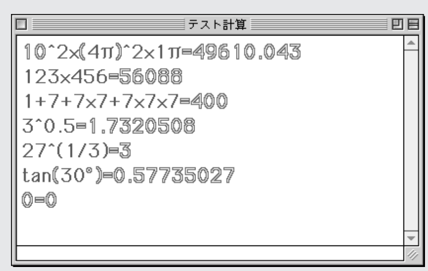


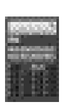
4 Calculator

CD-ROM

バージョン　1.0.1／作者　Harold Thimbleby／分類　Freeware／代価　-／日本語対応　○／登録場所　http://www.tribar.dabsol.co.uk/calculator.html

Calculatorは、ボタン操作によらない、記述式のユニークなインターフェイスが最大の特徴だ。算式と結果が表示されるので、計算ミスを避けられる。起動後のウィンドウに、眼鏡のような不思議な記号が表示されていると思ったら、Styleメニューでフォントサイズを小さくしてみよう。等号の両辺にゼロが代入された式であることがわかるはずだ。キーボードやメニューからユーザーが入力する数式部分と、マシンが自動応答する部分とは、書体や色を変えてわかりやすくできるのがよい。常数入力などのメニューも充実している。



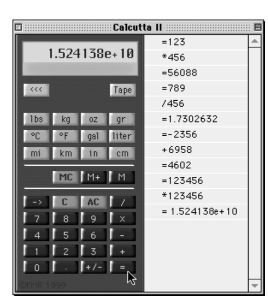


5 Calcutta II

CD-ROM

バージョン　1.0／作者　Frank Ryan (FMR Software)／分類　Shareware／代価　$2(US)／日本語対応　○／登録場所　http://thewiredshark.com/dlsarchive.html

四則演算のほか、ちょっとした換算機能を備えているのがCalcutta IIだ。ボタン操作だけで、重量、温度（セ氏とカ氏）、容積、および長さ（距離）の換算ができる。ただし、サポートしている単位はそれほど豊富ではない。最大の特徴はテープ保存機能だろう。Tapeボタンをクリックするとウィンドウが横に拡張して、計算ステップが表示される。さらに、Fileメニューから「Save Tape」を選ぶと、テープ保存内容をSimpleTextファイルに書き出すことができる。意外と便利なのが、直前に入力した1文字だけをクリアする「->」ボタンだ。



FreeWare

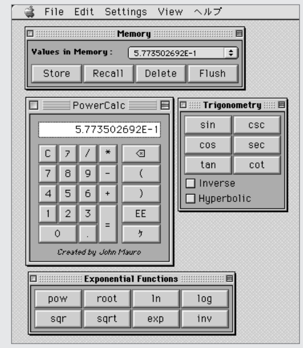
電卓・計算機ソフト

PowerCalc

CD-ROM

バージョン　4.0／作者　John Mauro Software／分類　Shareware／代価　$15(US)／日本語対応　△／登録場所　http://screech.cs.alfred.edu/~maurojc/software/

はじめて起動したときに現れるメインウィンドウは、テンキーとわずかな記号キー、それに表示窓だけの簡素なものにすぎない。しかし、Viewメニューからメモリーや各種関数、単位換算などのウィンドウを別々に呼び出して、自由に機能アップできるのがPowerCalcの大きな特徴である。日本語環境下では、一部のボタンが文字化けするのが残念だ。半角カタカナの「ア」は「±」、「ケ」は「π」に相当している。Systemフォントをchicagoにすると、すべて正しく表示されるが、当然アップルメニューなどは逆に文字化けしてしまう。

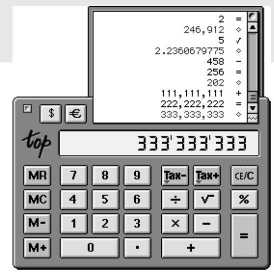


TopCalculette

CD-ROM

バージョン　2.0.2／作者　RubenSoft／分類　Shareware／代価　$15(US)／日本語対応　○／登録場所　http://www.rubensoft.com/Main_US.html

プリント装置付き卓上計算機のような、独特のウィンドウ形状をしているのがTopCalculetteである。もちろん、これは単なる飾りではなく、計算ステップをテープに記録する機能のためのものだ。普段は小アイコン化してデスクトップの隅の置き、必要なときにクリックで呼び出せる。出色なのはPreferencesダイアログと換算機能だ。前者は、アピアランスやテープ印字カラーなど、実に細かく設定できる。後者は、そのメニューの豊富さと使いやすさに優れており、特に通貨換算メニューには国旗アイコンが付属し、とても識別しやすい。



G-Culc

CD-ROM

バージョン　1.2.1／作者　Genuine Softhouse／分類　Freeware／代価　-／日本語対応　◎／登録場所　http://www.geocities.co.jp/Athlete/6560/

外見はとてもコンパクトなG-Culcだが、ユニークなタブ切り替え方式により、豊富な機能を実現している。四則演算以外に、普段よく使う関数の演算、1バイトおよび2バイト文字のASCIIコード取得、乱数の生成、それに時間演算といった具合に、便利さ満載だ。「擬似的テンキーモード」を備えているので、PowerBookのようにテンキーを備えていない機種でも、数値入力を高速に行なうことができるのがうれしい。アピアランスメニューで好みのカラーリングを行なったり、計算結果をクリップボードにコピーすることも可能だ。



YaCa

CD-ROM

バージョン　2.2／作者　Simon Richardson／分類　Shareware／代価　$10(US)／日本語対応　○／登録場所　http://www.cobalt.u-net.com/yaca.htm

キー操作時のサウンド機能まで備え、とてもリアルな外観をしたYaCaは、機能的にもなかなかの実力派だ。計算機能自体については、通常の関数電卓と大差はなく、3乗根キーが目立つ程度である。最大の特徴は、STOボタンとRCLボタンだろう。ポップアップメニューにより、10項目までの計算結果を保存し、呼び出すことができる。換算メニューも豊富だし、Fileメニューから「New Log」を選ぶとログウィンドウが現れ、計算ステップを保存することが可能だ。カスタマイズ機能も備えているが、背景色でなくボタンの色を変更できるのが面白い。

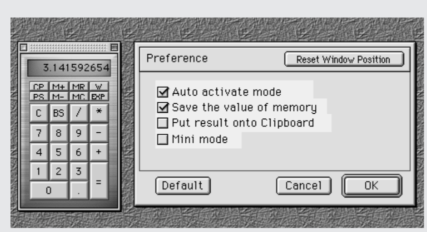


FloatingCalc

CD-ROM

バージョン　1.5.2／作者　Masato Saito／分類　Freeware／代価　-／日本語対応　◎／登録場所　http://www.MacOS.com/masato/

FloatingCalcは、常にモニターの最前面に表示される便利な電卓プログラムである。オートアクティベート機能を搭載しているので、マウスポインターをウィンドウの上に移動するだけで、直ちに利用することが可能だ。テンキーによる入力に対応しているほか、PowerBook G3などに搭載されているキーボードナンバーロック（Fn＋F5）もサポートしている。イコール操作ごとに計算結果が自動的にコピーされるオプション機能は、CPおよびPSボタンによるコピー＆ペースト機能とともに、思いのほか便利だ。好みの画像でカスタマイズすることもできる。



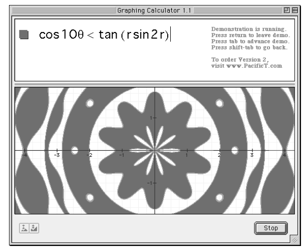
FreeWare
電卓・計算機ソフト

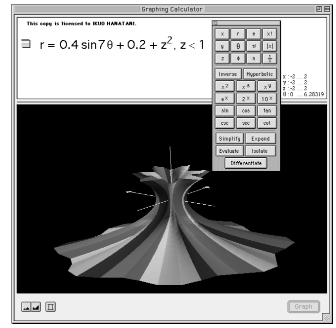
Graphing Calculator

CD-ROM

バージョン　1.1.1／作者　Pacific Tech／分類　Freeware／代価　-／日本語対応　◯／登録場所　http://www.pacifict.com/GraphingCalculator.html

Mac OSに付属するグラフ計算機はアップデートされ、より高機能なオンライン販売版（$39.95）まで存在している。最新のデモ版（ver.2.2）はサンプルデモ限定でタイプ入力ができないため、今回はいろいろと便利なアップデート版（ver.1.1.1）のほうを収録した。Mac OS付属版に比べて、グラフの色を変更するボタンや、商品版のデモ機能などが備わっている。もちろん、描いたグラフは、他のグラフィックソフトにコピー&ペーストすることも可能だ。数式を代入するには、Equationメニューからキーパッドを呼び出して、ボタン操作するとよい。数学が苦手でも、適当な式を入力して思いがけず美しいグラフができあがったときは、それだけで感激してしまうはずだ。参考画面としては、アップデート版とオンライン販売版の両方を紹介しておく。



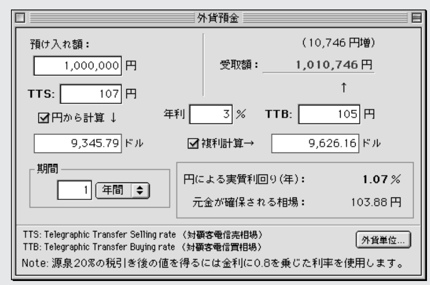


よろず電卓

CD-ROM

バージョン　1.5.2／作者　カナデアソフトウエア／分類　Shareware／代価　2,400円／日本語対応　◎／登録場所　http://member.nifty.ne.jp/Kanadea/

通常の電卓とは異なり、日常遭遇する意外と面倒な経理関連の計算作業を、1つのアプリケーションにまとめた計算機ソフトである。搭載されているのは、西暦と和暦の変換機能をはじめ、消費税関連の計算、複利計算、ローン返済額の計算、外貨預金計算、それに減価償却や年末調整の計算など、16種類にも及んでいる。まさに「よろず電卓」という名前がピッタリだ。起動すると、まずカタログ（計算機能一覧）ウィンドウが開く。ここで利用したい機能の欄をダブルクリックすればよい。それぞれ専用の計算ウィンドウがオープンし、容易に計算を進めることができる。

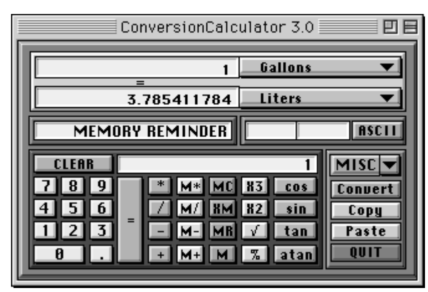


ConversionCalculator

CD-ROM

バージョン　2.2／作者　deMacInnovations and DeForest Shotwell／分類　Shareware／代価　$15（US）／日本語対応　△／登録場所　http://www.accessone.com/~shotwell/

ごく一般的な電卓に、高速換算機能をドッキングしたのがConversionCalculatorだ。Convertボタンをクリックして単位系を指定したのち、ボタン操作またはキーボードから数値を入力し、上下2段のポップアップメニューで換算したい単位を選べば、瞬時に結果が表示される。ユニークなのがMISCボタンで、いろいろなデータを呼び出したり、電卓画面を用途に応じて切り替えることが可能だ。温度換算をはじめ、気体の密度やローマ数字などを調べたり、都市の位置・標高・人口・郵便番号などを検索することもできる。ただし、米国内の都市しか登録されていない。

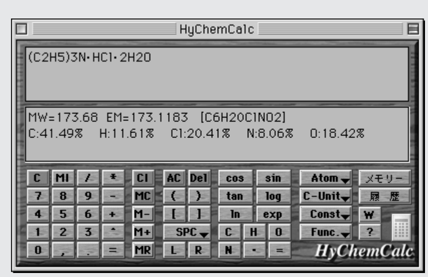


HyChemCalc

CD-ROM

バージョン　2.2.7/1.3.1／作者　山崎　宏／分類　メールウェア／代価　-／日本語対応　◎／登録場所　http://www.page.sannet.ne.jp/y-hirosi/index.html

HyChemCalcの場合は、通常の四則演算や22種類の関数計算に加え、分子式から分子量を計算するなど、化学に便利な多機能計算機である。数式入力形式により、複雑な計算式でも容易に計算することが可能だ。メインの計算ウィンドウ以外に、計算履歴など5つのパレットが備わっている。元素一覧、カスタム定数一覧、および置換基を登録するカスタムユニット一覧は編集／追加も可能で、これらによって複雑な分子式でも簡単に入力することができる。他のアプリケーションに切り替えると、デスクトップに小さなフローティングアイコンが現れ、マウスポインターをその上に置くだけで、計算ウィンドウを簡単に前面に呼び出せる。



キューティマスコット++入門講座



マはマスコットのマ

CD-ROM

小池邦人

第10回　マスコットでゲームにチャレンジ！──その3

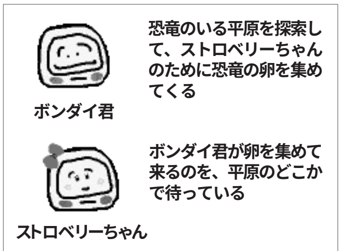


図1●メインキャラクターとサブキャラクター



図2●4種類の恐竜キャラクターを用意する

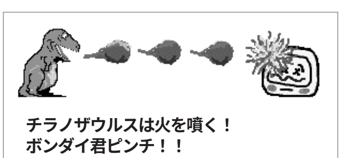


図3●チラノザウルスは火を噴いて攻撃してくる

プロローグ

米国で10月5日に開催されたApple Eventにおいて、新型のiMacが発表されました。私が新型iMacで一番感激したのは「冷却ファンがない」という点です。これはApple社のデスクトップパソコンでいえば、Mac Plus以来の快挙であります。家庭や学校で使うパソコンの騒音減少がCPUのクロックアップなどよりはるかに重要だと認識している私にとっては、この仕様だけで「花丸」を差し上げたいと思います。またAirPortはもちろん、吸い込みタイプのCD-ROMやDVD-ROMドライブも気に入りました。

旧型のiMacではCDの挿入がやっかいでしたから、おちびちゃんには難しかったと思います。逆に今回は何でもかんでもつっこまれそうで、お父さんやお母さんにとっては少々危険かもしれません（笑）。それにしても、こうした点に目を配るAppleのセンスは「サスガ」と言えるのではないでしょうか？

ゲームのシナリオを考える

前回は、自動スクロールや自作数値フォントなど、ゲーム開発に欠かせないユニークな機能についてお話しました。今回はゲームのシナリオを完成させて、それに必要なキャラクター（マスコット）を作成し、とりあえずオリジナルゲーム（β版）で遊べるところまで到達したいと思います。

ゲーム利用者を魅了するには格好良いキャラクターを登場させることが必要条件です。しかし残念ながら、私の本職はキャラクターデザイナーではないので、魅力的なキャラクターの創造はバツです。こうした場合にはキャラクター作りが得意な人に手伝ってもらうのがベストですが、今回はとりあえず、今まで連載で活躍してきたマスコット達に登場してもらうことにします。

まずはメインキャラクターにボンダイiMac（ボンダイ）、サブキャラクターにストロベリーiMac（ストロベリー）を任命します（図1）。ボンダイの任務は広大な平原を探索し、ストロベリーにプレゼントするための恐竜の卵を集めることです（どっかで聞いた話だなぁ）。卵を探索できる時間には制限があり、ゲーム画面の上部にそれが表示されます。この表示がゼロになった時点で探索失敗、ゲームオーバーとなります。

当然、スコア（得点）はゼロのままです。いくつかの卵を拾いストロベリーを見つけてタッチ（重なる）すると、残り時間と拾った卵の数を加味してスコアが決まります。また卵の中には特別な物があり、それを拾うと探索時間が増えるボーナスを得ることができます。

メインキャラクターの任務を妨害するキャラクターもゲームには必須です。今回は4種類の恐竜キャラクターを用意して平原に配置することにします。恐竜は「コリトサウルス」「デイメドロン」「ステゴザウルス」「チラノザウルス」の4種類とします（図2）。各恐竜にはそれぞれ個性があります。ステゴザウルスはあまり動きがなく、ボンダイの進行を邪魔するだけですが、平原内にはたくさん配置されています。デイメドロンはボンダイとぶつかると、せっかく拾った卵を割ってしまいます。チラノザウルスは、火を噴いてボンダイを攻撃してきます（図3）。これに当たると今まで集めた卵が「すべてパー」となってしまいます。

さて、最後のコリトサウルスはどうしましょうか？とりあえず任務を妨害する恐竜ばかりではボンダイがかわいそうなので、こいつにはボンダイを助ける役割を与えることにします。割れた卵を補充するとか、時間を延長させるなどですね。これを含めてゲームにたくさんの隠れ機能を盛り込むと面白いのですが、それは次回の宿題に残しておくことにします。

またゲームのシナリオは普遍である必要はありません。開発途中で面白いアイデアが湧いたらどんどん追加することにします。

ゲーム環境とキャラクター操作

ボンダイが動き回る平原のサイズは、探索を難しくするために2,048X2,048ドットと広大にします。本当はこのサイズの「画像背景」を用意すると美しいのですが、これだけ広い画像を使うと消費メモリーも膨大になります。メモリー消費量が最小限の「単色背景」がよいのですが、こちらはスクロールがわかりにくい欠点があります。よって、今回は「パタン背景」を使うことで妥協することにします（図4）。

ゲーム開始時には、現在のハイスコアと獲得者を表示するタイトル画面をオープンすることにします。タイトル画面には、ダイアログボックスのように「ゲーム開始」と「ゲーム終了」の2つのボタンを付けて、ユーザーのマウスクリックで処理を分岐させます。ゲームは第1ステージ（1面）をクリアするとスコアが表示されてタイトル画面に戻ります。スコアがハイスコアならば、タイトル画面に戻る前に、獲得者の名前といっしょにゲームに保存できるようにします。

キャラクターを編集する前に、ゲームで利用する背景やセルの階調（色数）も決めておきます。今回はセル画像をフルカラー（1,600万色）で作成してみます。ただし起動アプリのメモリー消費量を少なくしたい方は、プログラムメニューの「圧縮設定...」で背景もマスコットも「3万2千色」に制限しておくとよいでしょう（図5）。また前回ではゲーム実行時にMacのモニターを真っ暗にする表示方法を利用していましたが、実は私はこの方法が好きではありません。どう見ても「マックライク」じゃないんですね（笑）。ですから今回は、ゲーム画面を独立したウィンドウ上に表示します。

ウィンドウだとドラッグできますし、メニューからは終了やポーズ、サウンドのON/OFFも可能です。アップルメニューからはアバウトの表示もできます。ウィンドウを別ウィンドウの裏に回せば、ゲームで遊んでいることを即座にカムフラージュすることもできます。ただしこの表示方法では動作スピードの「超高速」は利用できませんので注意してください。

前回はメインキャラクターの操作にアルファベットキーを割り付けていました。ところが、使ってみると非常に使いにくいことが判明しました。そこで、その操作を上下左右の矢印キーに割り付け直すことにします。

これに伴い、メインキャラクターの斜め移動は廃止し、上下左右4方向のみ移動可能とします（図6）。古いMacのADBキーボードには、矢印キーの配置が一列（十字配列でない）のバージョンがあります。そうしたキーボドをご利用の方は、申し訳ないですが、ドキュメントを編集して移動をテンキーに割付けてください。

前回、キャラクター操作に用いていたマウスムーブイベントは、ウィンドウをインアクティブにしても発生してしまいますので、利用を止めることにします。加えてマウスカーソルは、ボタンクリックやメニュー選択といった操作が必要なので、表示したままです。ウィンドウ上にゲーム画面を表示する場合には、マウスカーソルを消すオプションは利用できません。

変数とタイトル画面

さっそくゲームのタイトル画面を編集してみることにします。タイトル画面はゲームの顔ですので、素敵なグラフィックを用意したいところです。しかし今回は勉強の意味合いが強いですから「単色背景」上にマスコット++の機能だけで表現してみます。

まずはゲームで利用する「変数」をいくつか用意します。タイトル画面に表示する文字列は、先んじて変数に代入しておくと便利です。ゲーム進行に必要な変数は「時間」「卵の個数」「スコア」「獲得者」「ハイスコア」「位置初期化」「ポーズ」の7つです。それ以外に表示用の文字列を保存しておくための変数をいくつか用意します。変数は後からの作業で追加される可能性もあります（図7）。「時間」はゲームの制限時間が保存されています。「卵の個数」は拾った卵の個数を記録します。「スコア」はゲームで獲得した得点が入ります。「獲得者」と「ハイスコア」はハイスコアを出した人の名前とその得点を保存します。残りの文字列用の変数には「現在のハイスコア：」や「ポイント」といった表示用の固定文字列を保存しておきます。

タイトル画面に使う「単色背景」を作成し、そのサイズをウィンドウサイズと同じにします。続いて「予定フォルダ」に予定セルを1つ作成し、タイトル表示開始のタイミングでプログラムを実行するように設定します。プログラムで行なう処理は、タイトル画面へのハイスコアや文字列の表示と、いくつかの変数の初期化です（図8）。通常変数はカラムに代入された値で起動時に初期化されます。

しかし今回は、ハイスコアを保存するために、ゲーム終了時に変数の内容をすべてアプリに保存します。よって、最初に初期化を行なわないと、新規ゲームに前回の「時間」や「卵の個数」が反映されてしまい、大変まずいことになります。以前は制限時間を減らしていく処理も予定セルで実行していましたが、今回利用する予定セルはこれひとつだけです。

残りの処理は「黒子マスコット」というマスコットを作成し、そちらにすべて任せてしまいます。この黒子マスコット関しては、のちほど詳しく解説いたします。

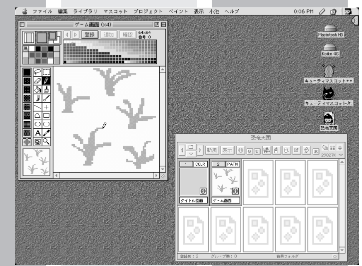


図4●「パターン背景」で広大な草原を作りだす



図5●「圧縮設定ダイアログ」による色数の制限



図6●上下左右の移動操作を矢印キーに割り付ける



図7●変数を作成して必要な文字列を入力する

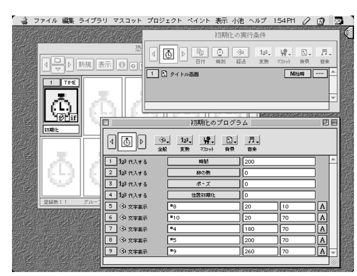


図8●タイトル画面表示時に編集の初期化を行なう

マはマスコットのマ

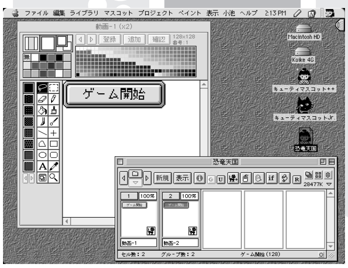


図9●画面キャプチャーでボタンマスコットを作る



図10●ゲームの開始と終了を処理するプログラム

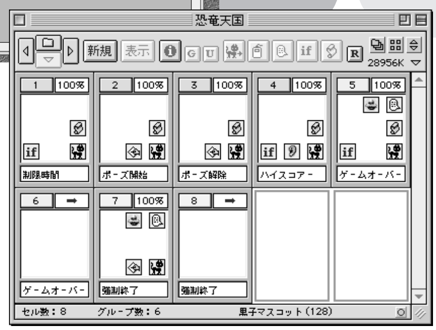


図11●「黒子マスコット」のプログラムを編集する

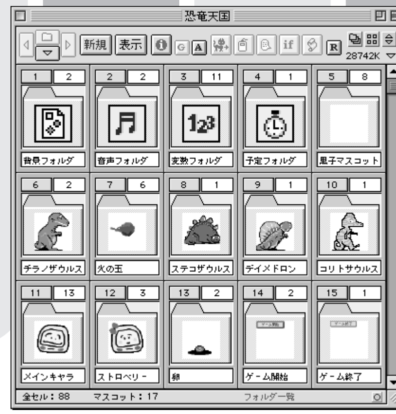


図12●ゲームに登場するキャラクター（マスコット）

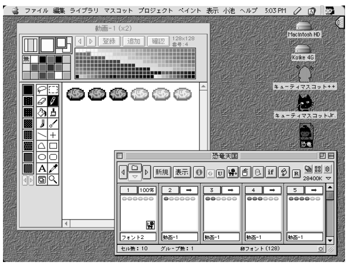


図13●拾った卵の数を表示するための自作フォント

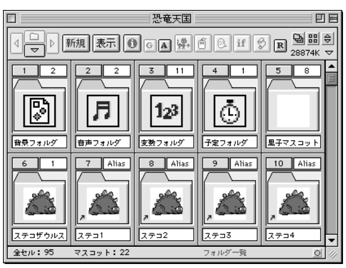


図14●複数体表示にはエイリアスマスコットを使う

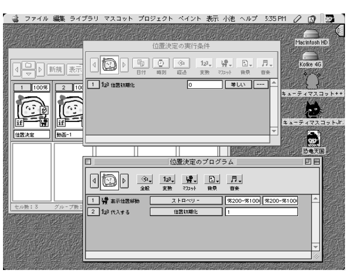


図15●ランダム値を利用したストロベリーの位置決め

ゲームの開始と終了はタイトル画面上の2つのボタンで選択できます。このボタン形状のマスコットは、何らかのダイアログボックスを表示して、画面キャプチャー（Command+Shift+3）でPICTファイルに保存した画像を使うと便利です（図9）。

タイトル画面上ではボンダイや恐竜などの登場キャラクターを動かしてゲームの雰囲気を盛り上げます。これらのキャラクターはゲームで実際に使用するのとは別個に作成しておきます。特にタイトル用ボンダイは、ゲーム開始時と終了時に異なった処理を実行させるのに活用します。

この仕組みには「コマンド送信」イベントを使います。「ゲーム開始」ボタンはクリックされると「start」というコマンドをボンダイへ送ります。それを受け取ったボンダイは、現在表示しているすべての文字列を消去し、背景やサウンドをゲーム用に切り替えます。ゲーム画面への切り替えにはビジュアルエフェクトを利用すると効果的です。

一方、「ゲーム終了」ボタンがクリックされると「quit」というコマンドがボンダイへ送られます。それを受け取ったボンダイは、ちょっとしたアクションを実行してからゲームを終了させます（図10）。

黒子とエイリアスマスコット

先ほどちょっとお話した「黒子マスコット」について説明しておきます。このマスコットは直接ゲーム画面には登場しませんが（だから黒子なんですね）、ゲームのスケジュールを管理する重要な役目を担います。そのうち一番重要な役目が定期的に「時間」変数を減らして画面上に表示することです。

またゲームオーバーや強制終了、ポーズ、ハイスコア獲得者の名称入力、メッセージ表示なども行ないます（図11）。たとえばポーズ処理ですが、これはゲームのウィンドウを別ウィンドウの後ろ側へ回した時に、時間の減少とサウンドを止める処理です。再度ゲームのウィンドウを選択すれば、ポーズは解除されゲームも再開します。

ハイスコア獲得者の名称入力では、文字列入力用のダイアログを表示し、名称の入力を促します。ゲームオーバの処理では、ゲーム画面に表示されている文字列を消去し、背景やサウンドをタイトル用に切り替えます。

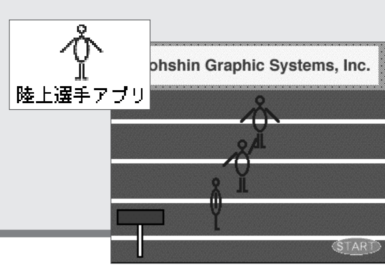
ゲームに登場するキャラクターは黒子マスコットを含めて、全部で7種類となります。それに加えて、卵やチラノザウルスの火の玉などの小物キャラクターが数種類必要となります（図12）。また、ゲーム画面に登場していないキャラクター（タイトルで使うものなど）は、表示をOFFにしておくことを忘れないでください。火の玉など、あるタイミングでしか表示されないキャラクターも同様です。

すべてのキャラクターは情報ウィンドウで「マウ

マスコット紹介コーナー

今回は、渡邊ルリさんの「サッカー」と、山本有由実さんの「陸上選手」をご紹介します。ご両人は、マスコット作成にどっぷりはまってしまったコーシングラフィックシステムズの女性スタッフです。両作品とも個性的でとても楽しい力作であります。どんな仕組みで動いているのかを推測するのも面白いですよ。起動アプリは本誌のCD-ROMに添付されておりますので、どうぞお楽しみください。





スドラッグ禁止」をチェックしておきます。キャラクター以外でゲーム画面に表示されるのは、残り時間と拾った卵の数です。前回は、残り時間は自作フォントで、得点をマスコットで表示していました。今回は両方とも自作フォントで表示してみます。こちらの方が、変数内容を比較してマスコットを表示するより簡単に実現できます。ただし、この自作フォントを使う方法では、拾った卵を9個までしか表示できない制限が付きます（図13）。

全キャラクターをすべて作成し終わったら、背景上に順次配置していきます。黒子マスコットは表示エリア外に配置します。ほとんど機能を持たないステゴザウルスは「エイリアスマスコット」として複数体用意してセル容量を節約します。

エイリアスとは、セル画像や挙動がまったく同じマスコットを別の場所に複数置きたい場合に利用する機能です（図14）。エイリアスマスコットの場合、マスコットフォルダーに上向きの矢印（Finderのエイリアス同様）が付き、各メニューでのマスコットタイトル表示が斜体となります。

ゲームを面白くするためには、プログラムでランダム値を発生させ、キャラクター（卵など）を毎回違う場所に置くといった演出も考えられます。しかし逆に置かれる場所が1カ所に集中するとゲームが面白くなくなります。それを防ぐにはランダム値の発生方法をひと工夫する必要があります。

今回はプログラムを簡単にするために、1体しか登場しないストロベリーにのみ、この方法を適用してみることにします。ストロベリーは記述されたプログラムにより、自分の配置位置を自分で決定します（図15）。

ゲームの開始と終了

すべての編集が終了したら、さっそく起動アプリにしてみます。このとき「アプリ作成」ダイアログで「アプリ終了時に変数を保存する」を必ずチェックしておいてください。そうでないと、ハイスコアーがアプリ自身に保存されません。それ以外のオプションはチェックする必要はありません（図16）。

アプリ作成が完了したら、さっそく起動してゲームを楽しんでみましょう。この時点でウィンドウ内のマスコットや文字の表示が異常ならば、アプリに割り当てられているメモリーが不足している可能性があります（初期値はマスコット++が自動に割り当てる）。Finderの「ファイル」メニューの「情報を見る」から「メモリー」を選択して、メモリーの使用サイズを増やしてください。

タイトル画面が問題なく表示されたら、「ゲーム開始」ボタンをクリックしてゲームをスタートします（図17）。できれば、低速なマシンを使ってキャラクターの反応速度などをチェックし微調整しておくと利用者に対して親切です。

ゲーム終了には3つのケースが考えられます。まず、ファイルメニューから「終了」を選択した場合。これは強制終了、つまりゲームの途中放棄と見なされます。次は、制限時間がオーバーした場合。残念ながらスコアはゼロのままでのゲームオーバーです。どの処理も黒子マスコットに表記されたプログラムが対処します。

最後は、ボンダイがストロベリーを見つけてタッチした場合。スコアが計算されて表示されます。スコアが得られても得られなくても、ゲーム終了時には画面上に何らかのメッセージを表示するのがベストです。もし、スコアーがハイスコアより高ければ、ゲーム実行者の名称を入力するダイアログが表示されます（図18）。

ボンダイとの衝突イベントを受け取ったストロベリーは、スコア計算後に黒子マスコットへ「end」コマンドを送ります。それを受け取った黒子マスコットが、この処理をプログラムにより実行します。そのあと、タイトル画面に切り替え、ハイスコアと獲得者の名前を表示し、ユーザーが再挑戦するかどうか判断するまで待機状態となります（図19）。

エピローグ

最近パソコンの世界でも3Dグリグリ映像のアクションゲームが大流行です。しかし、こうして簡単なゲームを開発をしてみると、結局基本的なアーキテクチャーは大して変わらないのかなぁ？　と思ったりもします（笑）。みなさんはどんな感想をお持ちになりましたか？

さて次回は「マスコットでゲームにチャレンジ！-その4」という題目で、各キャラクターを制御しているプログラムをざっと解説しながら、ゲームの完成度を上げていきます。最初のステージをクリアーしたら次のステージへ切り替える仕組みも導入します。いよいよ本連載も次回で最終回となります。お見逃しなく！

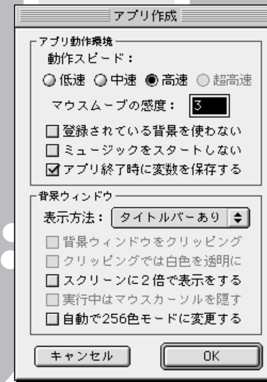


図16●「アプリ終了時に変数を保存する」オプション



図17●タイトル画面でボタンをクリックして開始する


図18●ハイスコアー獲得者の名称をダイアログで入力

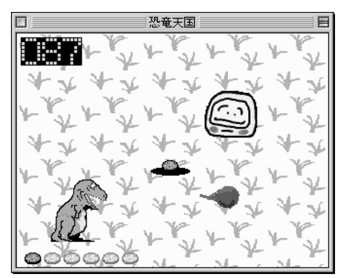


図19●でき上がった自作ゲームを起動して遊んでみる

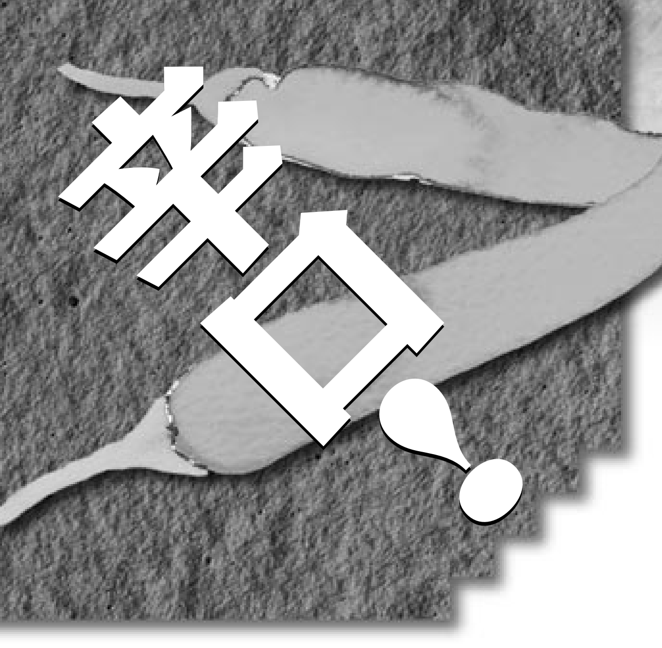
マスコットニュース

キューティマスコットに関する詳しい情報をお求めの方は（株）コーシングラフィックシステムズのホームページにおいでください。サイトには、いくつもの楽しいサンプルマスコットを登録した「マスコットがいっぱい」コーナがあります。お好みのマスコットをダウンロードしてお楽しみください。

●http://www.kohshin-graphic-sys.com/sr-mascot.html

また、キューティマスコット Jr.やキューティマスコット++はVectorの「プロレジ」（PRODUCT REGISTRATION SERVICE）のサイトからも購入することが可能です。ぜひ、ご利用くださいませ。

●http://www.vector.co.jp/swreg/



現場が教える本音DTP講座

DTP化のメリットのなかに、必ずといっていいほど挙げられるのが、データの流用性です。たとえば、写真の上に白抜きの文字がある印刷物の改訂があったとします。アナログ時代では、その文字の訂正が発生すると、版下やポジフィルムがあっても元ネガ・マスク版がなければ、写真を再スキャニングしなければなりませんでした。しかし、DTPなどのデジタルデータでは、文字を打ち直してフィルム出力すれば済んでしまいます。また、写真のリサイズが発生した場合、アナログではやはり写真を再スキャニングしなければなりませんが、デジタルデータではある程度のリサイズならばレイアウトソフト側で行なっても、品質的には問題がありません。

このようにDTPデータは、従来のアナログ時代の版下や元ネガ・マスク版を包括して余りある存在なのです。ですがその分、下版後のデータ保管には、細心の注意が必要でしょう。もちろん、一回きりしか使わないデータでは、終わったあとの保管は必要ありません。しかし、一度使用したデータの一部をパーツとして使うこともあるでしょうし、絶対にそのデータが必要ないと言い切れるようなものは、まれではないでしょうか。

今回はこのようなDTPデータの保管について、誰がどのようにして管理するべきなのかを考えてみたいと思います。

第8回 データ保守

文◉佐々木 剛 有限会社イメージエクスプレイン

アナログ時代の管理

中間工程生産物の行方

アナログ時代における各工程の中間生産物の管理は、下版後にはいったいどのように行なわれていたのでしょうか。

デザイナーや写植・版下制作会社は、版下を保存しておき、その版下を作るにあたって電算写植を用いていれば、そのデータをFDなどに記録しておきました。次工程の製版では、会社によってその対応がまちまちでした。下版後すぐに、元ネガ・マスク版を破棄するところもありましたし、数ヵ月単位で保管している会社も存在しました。しかし、数年単位で元ネガ・マスク版を保管している会社は、ほとんど見かけません。

印刷会社にいたっては、その仕事の内容にもよりますが、最終ポジフィルムをおおよそ5年単位ぐらいで保管している会社が多いようです。最終ポジフィルムを破棄するにあたっては、リストを作成し、クライアントに許可を求めるのが通例になっています。

もちろん、印刷会社が版下作成から受注しているケースでは、版下の保管もその印刷会社が行なっていたわけです。

再版時の訂正方法

アナログ時代の訂正は、どのように行なわれていたのでしょうか。一部のスミ文字訂正などでは、いわゆるストリップ修正や切り張り修正などで対応が可能です。しかし、冒頭でも触れたように、内容によっては製版の作業を、もう一度やり直さなければならないも

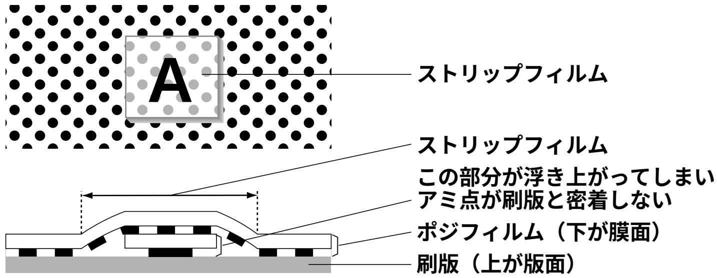


図1 平綱の上からストリップフィルムを貼ったところ。下図は横から見たもので、かなり誇張している。ストリップフィルムを貼ると、下図のようにその厚み分だけベースのポジフィルムが浮き上がってしまい、アミ点と刷版が密着しない。このようになってしまうと、刷版を焼き付けた際アミ点がぼける「焼きボケ」といった現象が起きてしまう。

著者紹介
◉
SASAKI Takashi



佐々木　剛

都内にて、プリプレスコンサルティング会社を主宰。G4 450Mzのマシンを体感してみた……速い！　シネマディスプレイも最初はバカにしていたが、実物を見たら……欲しい！　セットでメモリーまであわせると約100万円……高い。しかし、当時FXが同じぐらいの値段だったことを考えると……やっぱり買ってしまうんだろうな～ G4。

のがあります。

写真や平綱の上にある、白抜きや焼き込み文字に訂正があった場合、ほとんどのケースでその写真や版下を、再度製版会社に入稿しなければなりませんでした。なぜなら最終的なポジフィルムでは、絵柄の上に白抜き文字などがあった場合、その下地にあたる個所は絵柄がなくなってしまいますから、当然その

の責任

文字のみの訂正は不可能なのです。

もしも、元ネガ・マスク版が残っていれば、新しい文字のみを入稿しても訂正が可能ですが、前記のように製版会社では、それらを永久には保存していません。ですから、このような内容の訂正時には、下地となる写真や版下などが必要だったのです。

アナログ訂正の問題点

このような方法で訂正を行なうアナログ工程ではさまざまな問題が発生します。

起こりやすいのが、初校正以降の訂正に対して、各中間工程生産物が同じように訂正されているかという問題です。たとえば、下版間際に文字訂正が発生し、バラ打ちした写植などでストリップ修正を行なったとします。このとき、同時に版下を訂正しておかなければ、当然できあがった印刷物と版下には、相違が起こるわけです。そして増刷時などに数カ所のスミ文字訂正が発生し、またバラ打ちした写植などでストリップ修正を行ない版下を直しておかなければ、さらに相違点は増えていきます。

電算写植などを使用していた場合にはより深刻で、印刷物と版下、そしてデータにそれぞれ違いがあるなどといったことになってしまいます。

刷版を焼き付ける際に、焼き抜きなどの特殊なことを行なっていなければ、印刷物と最終ポジフィルムは同一のはずです。ですから、最終ポジフィルムを見て訂正個所がわかれば、版下との相違点は確認することができるはずです。一般的に、ストリップ修正を行なった個所は、製版会社によって青色の「ブルーコロジオン」を、コーティングの意味もあって塗っていますのですぐに判別できますし、そのようなことをしていなくても、注意深くポジフィルムを見れば判別できます。切り張り修正も、当然作業の跡が残っていますから、すぐにわかるでしょう。

しかし、訂正個所が同色の平綱にかかってしまう場合や、訂正個所の近くに同色の平綱がある場合はこのような方法では訂正しきれません。なぜならば、ストリップ修正はストリップフィルムを膜面から貼りますし、切り張り修正ではフィルムを止めるために数カ所セロテープを貼るからです。つまり、このような方法を用いると、その近辺にフィルムの段差ができてしまい、刷版に焼き付ける際に「焼きボケ」といった現象が起きてしまいます(図1)。ですからこの場合の訂正方法は、まずポジフィルムをいったんネガフィルムに反転してから、必要な個所の訂正を行ないます。そして、再度ポジフィルムに反転するので、ポジフィルムを見ても訂正個所を発見するのは不可能になってしまうのです。

あまり文字数が多くないものならば、全面校正や検版などを行なってもさほど労力を要しませんし、間違いもないでしょう。ところが、文字数の多い冊子などでは、たとえ全面校正や検版などを行なっても、校正ミスがおきてしまう可能性は否定できません。もしも初版と再版で、訂正部分以外の個所に違いが生じてしまったら、その内容如何では、印刷物を全数回収しなければならないばかりでなく、取引先や、ひいては社会に対する信用問題にさえ発展しかねません。

にもかかわらず、多くの写植・版下制作会社や印刷会社では、このような版下と印刷物とのメンテナンス（整合）を行なっていませんでした。これは写植・版下制作会社や印刷会社の、管理意識不足が原因だったのでしょう。現実にこのような問題が発生した場合、どのように解決していたかというと、最終ポジフィルムから印画紙を作成し、無理やり再製版していたのです。このようなずさんな管理の下では、時間もコストも無駄に費やすことになってしまいます。

文字訂正のために写真を再スキャニングしたときにも、問題が生じてしまいます。なぜなら同じ写真原稿からスキャニングしても、オペレーターや機械が違えば、必ずしもスキャニング結果は同じにはならないからです。かといって、オペレーターや機械が一緒でも、複数存在するスキャニングの設定値を、オペレーターがすべて覚えていることはないでしょうから、やはりまったく同じ結果になることは、まずあり得ません。

さらに、クォリティーの高い写真製版では、スキャナーでは補正しきれない色調などを、レタッチオペレーターが修正作業を行ないます。このような補正・修正作業を、初版時とまったく同じように行なうことは、まず不可能といってよいでしょう。

このように、アナログにおける改訂時の問題はさまざまなものがあります。人為的に防げないものが存在するのは、アナログゆえの欠点ともいえるでしょう。

辛口！

現場が教える 本音DTP講座

デジタル時代の管理

デジタルの優位性

QuarkXPressやPageMaker、Illustratorなどの、いわゆるDTPデータといったものは、アナログに対してどのような優位性があるのでしょうか。

DTPデータは、文字をアウトライン化していない限り、電算写植のデータや元ネガ・マスク版といった性質を持ち合わせています。写真のリサイズや後加工も、ある程度は再スキャニングの必要がありません。ですからDTPデータは、アナログ時代の電算写植のデータや版下、元ネガ・マスク版などの持つ情報量を、上回っているといえます。

つまり、DTPデータにおいて出力エラーがない限りは、初校正と同一のイメージセッターを選び、キャリブレーションを常に一定に保っていれば、たいした労力も使わずに問題のないポジフィルムを作ることができるのです。また最近のRIPでは、文字バケなどのエラーが発生した場合は、各種のアラートメッセージがログファイルに記録されるようになっています。そのため、ログファイルを注意深く見て、出力のオペレーションミスさえしなければ、予想外のトラブルが起きるようなことはめったにありません。

このように、アナログでは人為的にどうしても解決できないさまざまな問題も、DTPデータにおいては、ほとんど存在しないといっても過言ではないのです。

それでも存在する問題点

さきほど、人為的にどうしても解決できないとされた問題は、DTPではほぼ解決されたと述べました。しかし、それでもなお人為的な問題点は残ります。

初校正以降に発生した訂正を、ストリップ修正や切り張り修正したのち、データを同じように訂正しておかなければ、再版時などに問題が生じるのは当たり前です。もちろん、DTPだからといって、どのような訂正でもフィルムを再出力すればよいといっているわけではありません。ストリップ修正や切り張り修正は、コスト面やスピード面でも優れていますし、訂正個所以外は校正する必要がまったくありませんから、とても安全な訂正方法ともいえます。つまり、訂正に関しては従来のアナログ的な訂正方法でもよいのですが、要はDTPデータをメンテナンスしておくことが肝心なのです。

カラー写真の色調に関する問題も、存在します。たとえば、A1のフィルムに写真が100点あり、そのうち1点の写真に「空をもっと青く」といった色調修正が発生したとします。DTPでは多くの場合、このような修正は写真1点、1版のみの修正でも、Photoshopなどで修正後、全面4版再出力をしなければなりません。しかし、目先のコストや時間だけを考えて、このような修正方法ではなく、「カッチング」などと呼ばれる減力修正法を行なっているケースを見かけます。これは、デジタル出力したポジフィルムを、いったんアナログ用のネガフィルムに反転し、特殊な溶液を使ってアミ点の面積を増やす作業のことを意味します。このような方法で補正された最終ポジフォルムとデータでは、当然違いが生じてしまいますから、やはり問題があるといってよいでしょう。

最後に最も重要で、かつ深刻な問題があります。それは文字やデータの訂正を、データ作成者以外の人が行なっているケースです。

デザイナーなどから入稿されたデータの初校正以降の文字訂正などを、製版・印刷会社が行なってしまうと、データ作成者の保存しているデータはまったく意味のないものになってしまいます。しかし、訂正を行なった製版・印刷会社が、完全な最終出力データを保存しているかというと、そうとも限りません。なぜならスミ文字の「トルママ」訂正などでは、データを訂正せずにポジフィルムを直接削ってしまうことが多いからです。

実際、最近このような問題は、各所で見られます。では、いったい誰に責任があるのでしょうか。これは発注の形態などにより、その責任の所在が違います。たとえば、クライアントがデータ作成は制作会社に、出力・印刷は印刷会社に発注していたとします。色初校正に訂正が入り、大きな訂正でないからといって、クライアントが印刷会社に訂正を依頼し、制作会社には連絡をしなかった場合は、やはりクライアントの責任でしょう。しかし、クライアントの責任だからといって、依頼を受けた印刷会社はまったく責任がないのでしょうか。筆者はそのようには思いません。今後問題が起きることは容易に想像ができるのですから、その時点でクライアントや制作会社に注意を促すべきではないでしょうか。このような訂正を受注するのであれば、その製版・印刷会社がデータのメンテナンスや保管まで行なう責任がありますし、できないのであれば依頼を断るべきでしょう。

データ保守の意味

せっかくクライアントのさまざまな訂正個所を完全に直して印刷物を作成しても、再版などで問題が起きては意味がありません。このような問題は本来、DTPだけの問題ではありません。しかし、完全な印刷物の納品と、それに伴うデータの保守は、クライアントとの信頼関係における非常に重要な問題です。真剣に考えていきたいものです。

＊

最近のDTPは技術的な問題より、それを管理・運営する側に多くの問題があるようです。せっかく最新の機器や素晴らしい技術があっても、それをうまく管理・運営できなければ、宝の持ち腐れでしょう。

次回は「ネット入稿の是非」をお送りします。

Q&Aコーナーは、随時募集しています。Virtual MACLIFE（http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/）の掲示板「MACLIFE会議室」に、書き込んで下さい。質問以外の、ご意見などもお待ちしています。

[Design & Layout'Usui Design Office]

Q&A CORNAR Tips

オンデマンド印刷やCTPって？

最近、『オンデマンド印刷』とか『CTP（コンピュータ・トゥー・プレート）』という言葉を聞きます。なんでも、印刷の納期が極端に短くなるとか、印刷コストが画期的に安くなるとか、いいことづくめの印刷システムのようですが、それぞれ具体的にどのようなもので、本当にメリットはあるのでしょうか。当方、中小の専門書出版社に勤めるDTP作業も兼務する編集者でして、社長より今後の印刷コストについての見直し案を調査して提出するよう命じられています。ぜひぜひ明快なご回答をお願いします。（東京都　tanazo　出版社勤務）

オンデマンド印刷や、CTP（コンピュータ・トゥー・プレート）は、従来のオフセット印刷とは違った、新しい印刷の形体です。

オンデマンド印刷は、概念的にはいわゆるプリンターの延長と考えられ、DTPデータから直接印刷（プリントアウト）ができます。機種も最近ではさまざまありますが、総じてカラー印刷タイプでは、A3ワイドまで印刷できるものが主流です。しかし、最近では一部の機種に、A2ワイドなどを印刷できるものも出てきています。またカラー印刷タイプの中でも、有版タイプと無版タイプがあり、クオリティーなどに違いがあります。どちらの方がキレイかというと、筆者の個人的な見解ですが、有版タイプのほうがムラが少ないなど優位なようです。

モノクロ（1色）タイプも、ほとんどのものがA3ワイドまで印刷できるようになっています。印刷スピードが非常に高速なのが特徴で、先頃のIGAS'99で発表された機種では、A4両面200枚／分という高速な機種も存在します。

オンデマンド印刷を利用するにあたっては、いくつかのポイントがあります。まずはランニングコストですが、一般的にオンデマンド印刷とオフセット印刷の分岐点としては、500部〜800部位が分岐点とされています。つまりオンデマンド印刷は、少部数の印刷物ではコスト的なメリットがありますが、1,000部を越えるようなものではかえって割高になってしまうのです。またオンデマンド印刷では、いわゆるプロセス4色インクしか使えず特色が使えません。

いろいろな制約があるオンデマンド印刷ですが、どのような分野で利用されているかというと、いわゆる少部数のマニュアルやハガキ・名刺などが多いようです。また、本誌1999.5月号　No.129の連載でも述べましたが、最近ではデータベース印刷などでの需要が増えています。

一方のCTPですが、簡単にいってしまうと、従来のオフセット印刷におけるポジフィルムをなくした、いわゆる「フィルムレス」印刷の総称です。いままでのDTPでは、DTPデータをイメージセッターでポジフィルムに焼き付けていましたが、ポジフィルムのかわりに刷版に直接焼き付けるといったものです。

発表された当時は、単に中間工程生産物であるポジフィルムをなくすことによる、コストの削減をメリットとしていました。しかし最近では「CIP3」と呼ばれる自動化のための新しい規格ができましたので、再度注目を集めています。CIP3とは、刷版にデータを焼き付ける際、印刷見当の自動化、面積率によってインク量を算出しインキ壺を自動的にコントロール、製本・断裁のデータを記録し自動化するための規格です。このようなCIP3を使うには、CIP3に対応した印刷機や製本・断裁機が必要になりますので、注意が必要です。

オンデマンド印刷・CTP、どちらにもメリットがありますが、本紙色校正がとれないのが現状の課題でしょう。日本の印刷業界では、色校正に赤字を入れるのが当たり前といった慣習があります。このため、オンデマンド印刷機で数枚印刷したり、CTPでは本機で少部数印刷をして色校正にしている会社があるようですが、これではメリットが少なくなってしまいます。つまり、これらを導入しコストダウンや納期短縮をはかるためには、モノクロやカラープリンターによる校正（ゲラ）で、「校了」にする必要があります。

tanazoさんの会社にて、コストダウンや納期短縮のためにゲラによる校了が可能なのであれば、導入をお薦めします。きっとメリットが多いことでしょう。

Tips

Tipsではありませんが、最近一部の方が誤解しているようなので、再度確認しておきましょう。

過去の連載でも何度か述べていますが、モリサワ・アドビのNewCIDフォントとOCFフォントはプリンター上で混載できません。これはNewCIDフォントとOCFフォントのプリンターフォント名が同じためです。たとえばOCFフォントがインストールされているプリンターに新たにNewCIDフォントをインストールすると、上書きされて（OCFフォントはなくなって）しまいます。

一部の販売店の方が混載できるといっているようですが、これは新ゴLはNew CIDフォント、新ゴRはOCFフォントといったように、異なるフォントなら可能という意味です。同じ新ゴLで、NewCIDフォントとOCFフォントをプリンターに共存できるという意味ではありませんので、注意して下さい。

DTP ユーザー強化連載

AppleScriptで楽々Quark ⑨
――はじめてのFace Span

CD-ROM DEMO

倉持 哲也 (株)千明社 システム開発課

まもなく2000年になる。今年の5月にWWDCで発表された内容によると、MacOS Xが来年早々にも発表される予定だ。11月から12月にかけてMac OS X DP2やMac OS X Serverの次バージョンが発表されているかもしれない。周知の通りMacOS XではAppleScriptが搭載されることが約束されており、特にデザイン&パブリッシング市場から大きな注目を集めている。今後、DTPワークフローの合理化という観点からAppleScriptは重要な技術になることは間違いないだろう。多様な処理にも耐えられるよう、基本的な操作には慣れておきたいものだ。

大量の画像を扱う

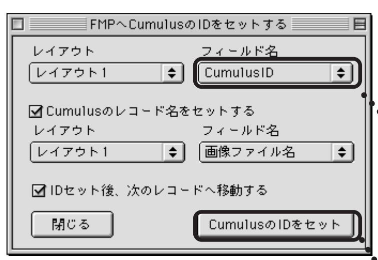
前回はファイルメーカーProから文字を流し込み、かつ指定したフィールドをファイル名とし画像を流し込んでいく手法の簡単な例を紹介した（簡単といえどもかなり実用的なものなので、複雑ではないパーツの作成に十分役立つだろう）。

ただし、画像ファイルに関していえば、指定したフォルダーの画像ファイルしか流し込めないという仕様にしたため、大量の商品を扱う（効率よく管理する）必要があるカタログには向いていない。

ファイルメーカーProは画像ファイルのプレビューを登録することができるが、DTP現場では、DCSやTIFFファイルを扱うため、さまざまな面で、ファイルメーカーProで画像データを管理するのでは、都合が悪い。

DCS、TIFFなどのさまざまなファイル形式の画像を効率よく管理するソフトウェアとして「Cumulus」がある。画像データベースとして紹介されるケースがほとんどだが、画像ファイルだけではなく、プラグインフィルターを用いることで、PDFや、Windows版ではExcelも管理できるメディア・マネージメント・システムと呼んだほうが妥当だろ

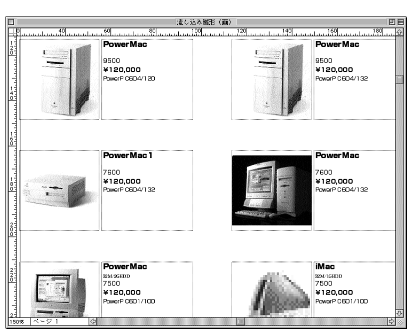




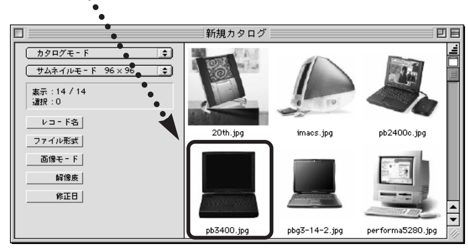
Cumulusで選択されたレコードを、ファイルメーカーProの指定したフィールド名にIDと、レコード名がセットできるようにするウィンドウ。Cumulus側が複数選択された場合は表示されているレコード順で一番最初に登録されているレコードのIDをセットする



ファイルメーカーProにはCumulusのIDを登録する数値型のフィールドを用意する。IDだけではわかりづらいかもしれないため、Cumulusで登録されているレコード名（ファイル名）も登録できるようにした



先月号から比較するとFace Spanに配置するオブジェクトの数が減って幾分スッキリした感がする。ファイルメーカーPro上にCumulusのレコードIDがセットされているフィールドに「画像」をチェックすれば、ファイルメーカーProのレコードにセットされているIDでCumulusから画像データのフルパスを読み込んでQuarkXPressへ流し込む。使用した画像ファイルは筆者独自で用意したものだが、著作権の問題を考慮し、CD-ROMには収録していないので、読者ご自身で適当な画像を用意し、Cumulusのデータベースを構築してファイルメーカーProのフィールドへレコードのIDをセットしなおしてほしい



諸般の事情によりCumulusのデータベースと画像ファイルはユーザー自身で用意してほしい

う（事実、9月にサンフランシスコで開催されたSeyboldでは、メディア・マネージメント・システムという分野が確立され、各社さまざまなソフトを発表していた）。

Cumulus（原稿執筆時点ではVersion4.0）はほとんどの操作をAppleScriptで制御することができる（正確にいうとCumulus Desktop PLUSが対応している）。マニュアル、サンプルとも豊富に取りそろっており、初心者でも入りやすく扱いやすい。

今回はCumulusのごく基本的な操作をAppleScriptで制御しているだけなので、実用的なアプリケーションを構築したい場合は、製品版に添付されているドキュメントやサンプルアプリケーションを参考にしよう(Cumulusで制御したいほとんどの操作が、AppleScriptのサンプルとして添付されている)。

ファイルメーカーPro&Cumulus&QuarkXPressの連携

今回はファイルメーカーProのレコードとCumulus上のデータを連携させ、1つの商品データとしてQuarkXPressへ流し込む手法を紹介する。

違う種類のソフトウェア同士をどのようにして関連づけるかがポイントになるが、今回は、「ファイルメーカーProの特定のフィールドにCumulusのレコードに設定されているユニークなIDをセットし、QuarkXPressへ流し込む際、そのIDで画像を検索・読み込んでセットする」という手法を選択した。

Cumulusには、画像ファイルを登録する際、1レコードごとに不変でユニークなIDが割り振られる。画面上には見えない数値だが、AppleScriptで参照することができる(QuarkXPress 4.0でも、ドキュメント上に配置されるオブジェクトには、不変でユニークなIDが割り振られている)、ユーザーに変更されることのない数値ということと、扱いやすさからこの数値を使うことにする。

ファイルメーカーProへCumulusの情報をセットする

ファイルメーカーProのフィールドへCumulusのIDを登録する方法は、Face Span上で作成した専用ウィンドウを用いる。先月号で紹介した、ドラッグ&ドロップしたファイルパスを指定したフィールドへ登録する手法に似ている。

CumulusのIDを登録する際、ファイルメーカーPro上に表示されているのがID（数値）だけでは、どういった画像か判断するのは難しいため、IDだけではなく、Cumulusのレコード名（nameプロパティ）もファイルメーカーProへ登録できるようにしてある。

実際のスクリプトだが、Cumulus上で選択されているレコードのIDを、(先月号と同じく）ファイルメーカーProのどのレイアウト、フィールドへ情報をセットさせるのかを、いったん変数へ待避している。tell application“File Maker Pro”〜内にCumulusを処理をするtell文を記述しても問題ないが、複雑になりやすい（読みづらくなる）ことと、予期せぬスクリプトエラーが起こる可能性があるため、別々の処理として記述しておくことを強くお薦めする。

Cumulusの選択されたレコードのIDを得る場合、複数選択されている可能性がある。try〜on error 〜end try文で、Cumulusのレコードが複数選択されているかどうかをcount文などでチェックして警告を出す方法が一般的かもしれないが、今回は、複数選択されていた場合は、選択されたレコードすべてのIDをいったんlist型の変数へ待避させ、一番最初のitemを変数へ入れる手法を取った。

今回のサンプルアプリケーションではファイルメーカーProの1レコードで複数の画像を扱えないような設計になっている。実際の商品カタログを想定した場合、1つの商品情報に複数の画像データを使用する場合もあるので、アプリケーションを設計し直すことになる。また、この手法を実現させるアプリケ

```
-- ポップアップで選択されたファイルメーカーProのフィールドへ、Cumulusの選択されたImageのIDをセットする
on hilited theObj
                                                                    「CumulusのIDをセット」
                                                                    ボタンを押したときの処理
	tell application "Canto Cumulus Browser"
		tell front database
			--複数選択されていた場合の保証はしないが、動作するように、リストの最
初のitemをセットする
			try
				set list_of_ids to first item of ((id of every row of selection of
table 1) as list)
				set Fname to name of row id list_of_ids
			on error
				display dialog "Cumulusのアイテムが一つも選択されていま
せん" buttons "キャンセル" default button "キャンセル"
				error number -128
			end try
                                                  Cumulusのレコードが一つも選択されていな
		end tell                                  い場合も想定し、エラー処理も忘れないように
	end tell
	
	--チェックボックスの値をあらかじめgetしておく
	set Chk1 to hilite of checkbox "chkName1" --イメージ名をセットするチェック
	set Chk2 to hilite of checkbox "chkName2" --自動次レコードチェック
	
	set Fld1 to contents of selection of popup "fmpFld" --IDをセットするフィールド
	set Fld2 to contents of selection of popup "fmpFld1" --レコード名
	
	--ファイルメーカーProへCumulusのデータをセットする
	tell application "ファイルメーカー Pro v3"
		tell document 1
			try
				tell current record
					set cell Fld1 to list_of_ids --CumulusのID
					if Chk1 = true then set cell Fld2 to Fname --レコード名
				end tell
				
				try
					if Chk2 = true then go to record after current
record --次のレコードへ移動
				on error
					display dialog "最後のレコードです"
				end try
				
			on error
				display dialog "ファイルメーカーProへCumulusの情報をセッ
トすることができませんでした。ファイルメーカーProのフィールドが選択されていることを確認してください"
			end try
			
		end tell
	end tell
	
	
end hilited
```

実行ボタンが押されたときの処理

```
on hilited theObj --流し込み処理実行
	set DelmStr to "" --区切り文字列

	--ファイルメーカーProのレコード数とフィールド数をGetする
	tell document 1 of application "ファイルメーカー Pro v3"
		show layout "レイアウト1"
		set rcd_cnt to count record
		set fld_cnt to count field
	end tell

	tell document 1 of application "QuarkXPress3.3j"
		activate
		set current page to page 1 --流し込み開始ページを1ページからにする
		set box_cnt to count every text box of page 1 --ボックスの数
		set box_inc to 1 --現在どのテキストボックスに流し込んでいるかを示す変数


		repeat with roop_cnt from 1 to rcd_cnt --ファイルメーカーProのレコード数繰り返す

			set RData to my GetFmpData(roop_cnt) --レコード内のフィールドデータをGetする

			repeat with ParCnt from 1 to fld_cnt --フィールドの数繰り返す

				tell text box box_inc of current page
					if my TableDataGet(ParCnt, 10) as string = "true" then --「出力」フィールドがTrueの時だけ処理する ParCnt
						--文字を流し込み
						set last paragraph of contents of text 1 to item ParCnt of RData & return
						--流し込んだあと、テキストボックスが何行あるか？
						set pCnt to count paragraph of contents of text 1
						--プロパティを一気にセット
						set properties of paragraph (pCnt - 1 as integer) of contents of text 1 to {font:(my TableDataGet(ParCnt, 2) as string), color:(my TableDataGet(ParCnt, 4) as string), size:(my TableDataGet(ParCnt, 3) as real), base shift:(my TableDataGet(ParCnt, 5) as real), left indent:(my TableDataGet(ParCnt, 6) as real), right indent:(my TableDataGet(ParCnt, 7) as real)}


					end if --my TableDataGet(ParCnt, 10) as string = "true"

				end tell

				----------- 画像を流し込む
				if my TableDataGet(ParCnt, 11) as string = "true" then
					--ファイルメーカーProにセットされているCumulusのIDで検索するサブルーチン
					set PictFpath to my CumulusSearch((item ParCnt of RData) as integer)
					tell picture box box_inc of current page
						try
							set properties of image 1 to {contents:PictFpath, bounds:proportional fit}
						on error
							--画像ファイルのセットに問題があった場合は何もしない（画像は流し込まれない）
						end try
					end tell
				end if


			end repeat

			set box_inc to box_inc + 1 --次に流し込むテキストボックスの番号をセットする
			if box_inc > box_cnt then --もし、番号がテキストボックスの総数を越えていた場合改ページ処理をする
				make spread at end
				set current page to (page ((index of current page) + 1)) --改ページをする

				tell current page
					set master spread to spread 1 of master document 1 --マスターページの内容を割り当てる
				end tell

				set box_inc to 1
			end if

		end repeat --with roop_cnt from 1 to rcd_cnt

	end tell --document 1 of application "QuarkXPress 4.05"

	beep
	display dialog "終了しました"


end hilited

--ファイルメーカーのレコードからデータGetする
on GetFmpData(RPoint)
	tell document 1 of application "ファイルメーカー Pro v3"
		return record RPoint
	end tell
end GetFmpData


--配置されているTableコントロールからフォントなどのデータをGetする
on TableDataGet(dRow, dCol)
	return row dRow of column dCol of table 1
end TableDataGet


--Cumulusから指定したIDで検索し、画像データが保存されているフルパスを返す
on CumulusSearch(CumID)
	tell application "Canto Cumulus Browser"
		try
			--データベースに登録されているファイルパスをセットする
			set fRef to file reference of row id CumID of front database
		on error
			set fRef to "" --指定されたidでレコードが見あたらない場合は空文字を返す
		end try
	end tell
	return fRef
end CumulusSearch
```

ーションは、とても誌面上で紹介しきれる内容ではなくなる。複雑な商品スペックと複数の画像ファイルを扱う場合はXTentionを利用したほうが賢明だろう。

Cumulusから画像情報を得てQuarkXPressへ流し込む

「実行ボタン」を押したときの処理は、前回と比較するとCumulusに関する処理を追加しただけではあるが、細かい部分で前回とは異なっているため、スクリプトをすべて掲載しておく。

こみー君Lite上で指定したファイルメーカーProのフィールドの「画像」チェックがON（true）になっていれば、流し込む際、ファイルメーカーProの各レコードにセットされているID（何度もしつこいが、先ほど説明した、CumulusのIDを登録する機能でセットしたID）でCumulusに登録されているデータから、該当するレコードの実際に保存されているファイルパスを読みとって流し込む。

この手法のメリットとして、画像ファイルの管理をCumulus側に一任することができる点が挙げられる。特に大量の画像ファイルを扱う場合や、データが保存されている場所がMO、サーバーなど多岐にわたる場合など

に威力を発揮する。また、Cumulusはクライアント／サーバー型のシステムを構築できるため、大量ページのカタログ、流用画像が多いチラシなどに最適だ。

スクリプティングテクニック

スクリプトの最後に、QuarkXPressの処理内から呼びだす、Cumulusから画像のファイルパスを得るサブルーチンがある。

Cumulusは、登録件数が多くても一定した速度で実行する高速な検索機能が装備され、もちろんAppleScriptで制御できるようになっている（Cumulusのtell文内でfindというコマンドを用いる）。

実は筆者も勘違いしたのだが、今回のサンプルでは流し込む際、CumulusのIDを用いるときに、検索コマンドでIDをキーとするとエラーを出す。

たとえば、以下のスクリプトでは、

```
tell application "Canto Cumulus Browser"
	tell front database
		find (every row whose
name = "aaaa") in all records
	end tell
end tell
```

としていて、すべてのレコードから指定した名前のレコード名を検索するが、nameプロパティをIDに変えるとエラーを返す。

IDは全レコード内では常にユニークな数値のため、検索するというよりは、これ、と特定した1つのレコードを呼び出すといったほうがよい。したがって、

```
tell application "Canto Cumulus Browser"
	tell front database
			file reference
of row id 100
	end tell
end tell
```

といった具合にIDを直接指定している。処理速度も普通の検索処理と同じくらいだ(file referenceプロパティはCumulusの各レコードに登録されている実際のデータのファイルパスを返すプロパティ)。

改良のポイント

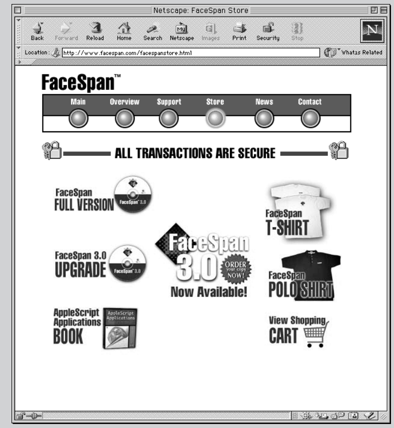
エラー処理については、最低限の処理しか記述していない。また、機能面でも設定データの保存／読み込み機能は、複雑になってしまうため今回は外してある。これらを実現するスクリプト処理を考えてみてはどうだろうか？　保存情報をタブ区切りテキストファイルとしておけば、データ処理と条件分岐の処理が続くだけの内容になると思われる。定義データの保存と読み込みは、他のアプリケーションでも活用できると思う（誌面上で紹介できなかったのは残念だ）。

今回で最終回

DTPユーザー強化連載ということで、日本語版が発売されていないFace Spanと、同じく情報が少ないQuarkXPressのスクリプティングをベースに、DTPワークフローを自動化するアプリケーションの構築手法を中心に紹介してきたが、今回で最終回となった。最初に宣言したとおり、まったくの初心者向けではなく、その領域を脱した次のステップを目指している人向けの内容にした。

新バージョンのQuarkXPress、InDesign、そしてMac OS X を控え、AppleScriptはますます需要が高くなってくるだろう。そうしたなかで、DTPワークフローを中心としたエンタープライズ・スクリプティング（筆者が勝手に呼んでいるだけだが）に関する情報は非常に乏しく、日夜努力しているかたがたに、この連載が役に立ってくれればと願っている。

■Face Spanの情報・購入について



Face SpanのHome Page。支払いはクレジットカードのみだが，確実に入手できる。購入時の為替レートにもよるが3万円程度●http://www.facespan.com/

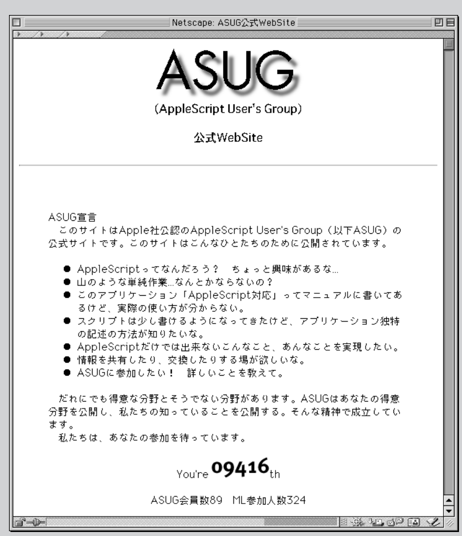
筆者は、ASUGのメーリングリストやWebで情報の交換、ツールの公開などに参加しているので、今後、なんらかの形で読者の方と接触する機会があるかもしれない。そのときは、よろしくお付き合い願いたい。

※著者紹介
倉持 哲也
1974/11/27 生まれ。(株) 千明社に勤務する社内SE。連載も今回で終わりということで、少し時間をとって新たなツールの開発にいそしみたいと考えている。今考えているのはInDesign向けと、より深くつっこんだDBPアプリケーションだ。公開した際にはぜひお試しあれ。
URL：http://www.asahi-net.or.jp/~qq8t-krmc/
E-mail：qq8t-krmc@asahi-net.or.jp

君もスクリプターを目指せ！

AppleScript User's Groupの紹介

AppleScript User's Group（以下ASUG）はアップル公認のユーザーグループだ。DTP 関連のAppleScript界で著名な鎌田幸雄氏が代表を務める。活動はさまざまで、会合でAppleScript関連の技術情報交換などが行なわれている。発足して1年近くになるが、特にMLの情報交換が活発で、DTP関連のスクリプティングだけではなく、Finder、 インターネット関連、ファイルメーカーProなど幅広い分野のアプリケーションについての質問にパワーユーザーが答えてくれる。もちろん筆者も参加しており、不慣れなスクリプティングに際しては質問するときもある。これからAppleScriptを始めたい人は、ASUGに加入することをお薦めする。URLは、http://www.abc.ne.jp/~ASUG/。



第11回

Macで快適！ビジネス・ネットワーキング

河野省二

G4のスペックダウンに伴って、G4サーバーのリリースも怪しくなってきたが、皆さんの期待は変わらずG4でMac OS X Serverを動作させることなのではないだろうか。G3でも十分といえるパフォーマンスがG4になればどの程度向上するのか、非常に期待が固まるのは無理はないだろう。また、Mac OS 9用のAppleShare IPもリリースされるに違いない。こちらも期待したい。

AppleShare over TCP/IP編

TCP/IP経由のファイル共有の設定方法といくつかの注意点

Mac OS 9のファイル共有機能

Mac OS 9が発売され、既に導入している方も多いのではないだろうか。ネットワーク関連のうれしい話はあまりなく、Apple Share over TCP/IP（TCP/IP経由のファイル共有）が実装されたことが唯一のアップデートといってもよい。Mac OS 9のメインの機能はやはりマルチユーザー対応である。

ユーザー管理という面ではネットワークアシスタントのクライアントが付属されたのも大きなメリット。ネットワークアシスタントを利用することでマシンの管理が簡単になるだけでなく、教育現場では授業にその機能を生かすこともできる(図1)。

AppleShare over TCP/IPが実装されたことにより、インターネット接続したマシン同士でファイル共有ができるようになった。しかし、これはメリットばかりではない。インターネットに接続しているときにファイル共有がONになっており、なおかつゲストアクセスが許可されていたら、あなたのハードディスクはインターネットを通じて世界中に公開されたことになる。もちろん、ファイルはアクセスし放題、セキュリティは無いことになってしまう（図2）。

OCNエコノミーなどを利用していたり、ケーブルテレビ経由でインターネットに接続している場合には気がつかないうちに危険な状態になっていることがあるので、特に配慮して欲しい。ただし、インターネットからアクセスできるのはグローバルIPアドレスを割り当てられている場合だけで、ISDNルータなどを利用してネットワークアドレス変換などが行われている場合にはこの限りではない。ISDNルータを利用してインターネット接続している場合は多くの場合がNATまたはIPマスカレードによってプライベートIPアドレスが割り当てられている。この場合はインターネットからマシン（ホスト）を特定することができないため、接続をすることができない。

ファイル共有のサービスを提供しているポート番号がわかれば対応できる可能性もあるが、現在はこれらの情報が公開されていないため、利用をするのは難しいと考えたほうが良いだろう。実は、今回搭載されたTCP/IPによるファイル共有機能はケミ

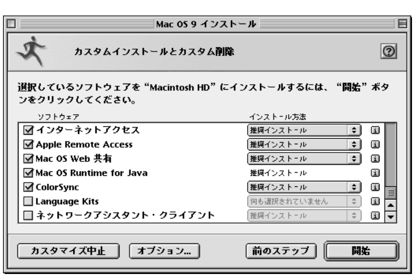


図1●Mac OS 9のインストールのカスタマイズ画面。Mac OS 9ではマルチブート用のさまざまな機能拡張に加えて、ネットワーク環境で利用することを前提にネットワークアシスタントクライアントが標準添付された。ネットワークアシスタントを利用することで非常に簡単にネットワーク構成の管理ができることを考えるとMac OS 9は本格的ネットワークOSに発展したといえる。ただし付属しているネットワーククライアントは4.0で、Mac OS 9 専用である

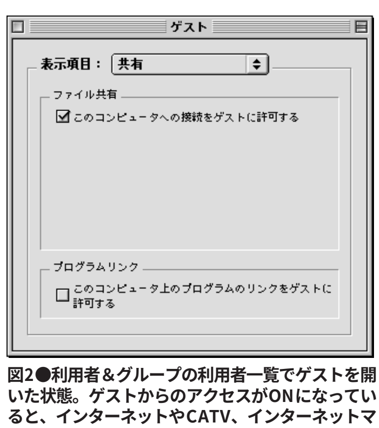


図2●利用者＆グループの利用者一覧でゲストを開いた状態。ゲストからのアクセスがONになっていると、インターネットやCATV、インターネットマンションなど、TCP/IPで接続できる全てのネットワークからファイルが見られてしまうことになる

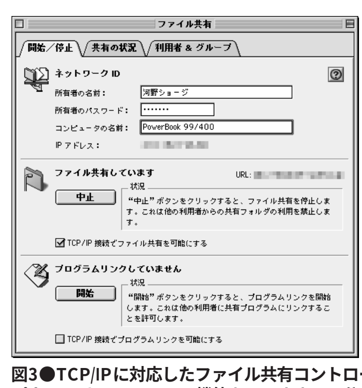
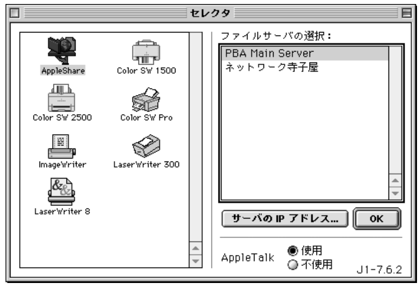


図3●TCP/IPに対応したファイル共有コントロールパネル。ShareWay IPの機能をそのままに、分かりやすくインタフェイスを詰め込んである。DNSの無い環境では名前の解決に時間がかかるのが難点だが、それもIP接続のメリットに比べれば気にならない



図4●リモートのみを選択したApleTalkコントロールパネル。リモートのみを選択していることで、Ethernetをとおしてのんびりプロトコルが外に出ていくことはない。AppleTalk嫌いのネットワーク管理者対策として是非とも知っておきたいTipsである



セレクタのサーバー一覧画面。TCP/IPのみで公開されているファイルサーバには一覧からアクセスすることができない。［サーバーのIPアドレス］ボタンをクリックしてIPアドレスを直接入力する必要がある



暗号化のパスフレーズの入力画面。暗号化のパスフレーズはキーチェーンで管理できるので、離籍するときにログアウトする几帳面な方はキーチェーンを利用することをお薦めする。しかし、マシンは付けっぱなし、ログインしっぱなしという方はキーチェーンでなく、ファイルごとに暗号化したほうが良いだろう

カルリサーチが販売しているShareWay IPがMac OSにバンドルされたものであり、afpというプロトコルを利用して接続することができる。ファイル共有コントロールパネルを開いてみればURLを知ることができる（図3）。

AppleTalkを使わない共有

ところで、TCP/IPでファイル共有ができるようになったのだから、AppleTalkは使いたくないという場合もあるだろう。そういった場合でもAppleTalkはONにしておかなければいけない。TCP/IP接続とはいえ、プロトコルの概念はAppleTalk over TCP/IPであり、AppleTalkがONになっていない状況ではファイル共有を行なうことはできないのである。どうしてもAppleTalkをネットワークに流したくないというのであれば、AppleTalkコントロールパネルで経由先を「リモートのみ」にしておけばよい。これで、AppleTalkは自分のマシンのみでサポートされることになり、Ethernet経由でAppleTalkが生のままで流れてしまうことはない（図4）。

もちろんこの様な設定をしているファイルサーバーは、セレクタのAppleShareのファイルサーバーの選択リストボックスやネットワークブラウザーにはコンピューター名が表示されない。ファイル共有は「サーバーのIPアドレス」ボタンをクリックし、ダイアログからIPアドレスを直接入力してやる必要がある（図5）。

ただし、この場合でも前述した「ゲストアクセスの許可」をしている場合には、IPアドレスを入力するだけで、誰でもアクセスできてしまう。インターネット接続をしている環境では必ず以下の点について気をつけて欲しい。

・ゲストアクセスを許可しないこと
・単純な利用者名やパスワードをつけないこと
・ハードディスク全体を共有せず、共有フォルダーを作成すること
・Finderのファイルメニューから暗号化を利用してファイルのセキュリティを構築すること

Mac OS 9の新しい機能としてマルチユーザー利用を前提としたファイルの暗号化が付加された。マルチユーザ環境を売りにしているだけあって、セキュリティにも力を入れているのは素晴らしいことだ（図6）。

何でもかんでも電子化ということで、重要なデータもコンピューターに入れっぱなしにしている方も多いと思うが、モバイルマシンを電車に置き忘れて大問題になったという話も、最近では珍しくない。また、マルチユーザー環境では、誰かが故意にではなくファイルを開いてしまったりすることも多いだろう。こういったトラブルを最小限に抑えるためにも、この暗号化を最大限に利用することをお薦めする。

暗号化は非常に簡単である。暗号化したいファイルを選択し、ファイルメニューから暗号化を選択する。アップルファイル保護というアプリケーションが起動し、パスフレーズを入力するだけである。パスフレーズというとわかりにくいが、要するに解除キー（パスワード）のことである。キーチェーンで管理することができるので、自分が暗号化したファイルであれば、ダブルクリックで簡単に利用することができる。

インターネット接続は安心だと言われてきたMac OSも、便利になると共に様々な点に配慮しなければならないようになってきた。ウィルスだけでなく、ファイル共有などについても十分な注意を払って欲しい。

もうひとつ気をつけなければいけないことがある。それはTCP/IPによるファイル共有をオンにしておくと、TCP/IPのリクエストが常に発生してしまうことである。Ethernet接続をしているLANならば問題ないのだが、PPP接続の場合はインターネットプロバイダーに接続をしてしまう。もちろん接続時には電話代がかかることになるし、従量制のプロバイダならば接続費用もバカにならないだろう。

速度は速くなったのか？

TCP/IP接続による速度向上についてはこの連載でもAppleShare IPを題材にして解説をした。もう一度おさらいをしておくと、「AppleTalkは対話式のプロトコルであり、パケットサイズが小さいので帯域幅が向上しても速度は向上しにくい。対してTCP/IPは投げっぱなしのプロトコルなので、帯域幅に応じた速度が出やすい」ということである。10Mbpsではそれほど大きな差は出ないかも知れないが、100Mbpsのネットワークならそれなりの恩恵を受けることができるようになる。だからといってAppleShare IPは必要ないかといえばそうではない。やはりサーバー専用で利用するにはAppleShare IPの方が格段にパフォーマンスがよい。それはサーバー専用にさまざまな設計がされているからであり、同時接続の負荷分散などもうまく行なわれており、安定して運用することができる。簡単なファイル転送の実験では、100Mbpsのネットワークで3倍くらいの速度が出ているようだ。大きなデータ（ひとつのファイルで数10MB）の方が、よりパフォーマンスがよいようだ。

また、Windows NTと比較してた場合、簡易的なサーバーとして利用するのであればWindows NTよりも高速なのではないかと思われる。Windows NTはAppleTalkを利用しているので、やはりプロトコルの壁を破ることはできないからである。

Mac OS X ServerとMac OS 9の運用

Mac OS X ServerとMac OS 9

さて、Mac OS 9を利用したマルチユーザー環境でのネットワーク構築については機会を見て解説するとして、今回はMac OS X ServerとMac OS 9の運用について確認することにしよう。まずはMac OS X Server上のMacOS.appをMac OS 9にアップデートすることができるかという点である。残念ながら現在のところ対応していない。Mac OS 9のイメージファイルを作成しても起動することはできないので、気をつけて欲しい。ただし、MacOS.appがNetBootやAppleファイルサービスの管理ツールを立ち上げるための簡易的なシステムであることを考えるとMac OS 9にする必要はないだろう。また、Mac OS X Server自体がマルチユーザーに対応しているので、マルチユーザー環境を構築したいだけというユーザーでも特に必要はないだろう。

NetBootではどうだろうか。NetBootでは問題なくMac OS 9を運用することができる（NetBootは運用できるのだが……）。Mac OS 9のイメージを作成し、これをNetBoot環境で運用することができる。しかし、AppleのホームページではNetBootでMac OS 9を運用する場合、NetBootで起動するクライアント分のライセンスを購入する必要があることを以下のURLで告知している。

http://til.info.apple.com/techinfo.nsf/artnum/n60542

クライアント単位ということはユーザー単位ということではなく、NetBootで利用するBOOTPクライアント単位、つまりマシン単位ということになる。40台のiMacをNetBootで管理しているのであれば、40本のMac OS 9を購入する必要があるということ。ただし、これからMac OS 9がプレインストールされるマシンについてはその時点でライセンスを取得していることになるので、新規に購入する必要はない。



図7●NetBootデスクトップ管理のフォルダー。NetBootデスクトップ1.0はFirst Disk Aidなどの検査ツールで問題が起きていた。バージョン1.1ではこれらの問題についてバグフィックスされ、Mac OSイメージのバージョンアップやディスクの容量アップを問題なく行うなことが可能

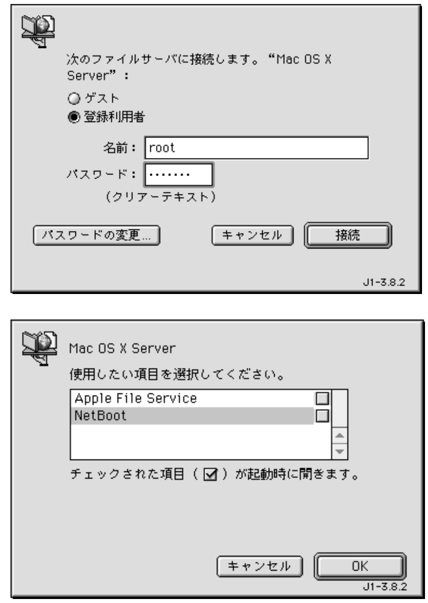


図8●管理者アドレスでNetBootをインストールしたボリュームにアクセスする。NetBootをインストールしたボリュームにはrootなどの管理者アドレスでアクセスしなければならない。実際の処理はMacintosh Managerのグローバル管理者が行なう場合でも、root権限を持つ管理者の利用者名とパスワードが必要になる

NetBootのイメージをアップデートしよう

では早速、NetBoot環境でMac OS 9を運用する準備をしよう。もちろん台数分のMac OS 9を購入してから試してもらいたい。また、インストール前に利用しているアプリケーションがMac OS 9に対応しているかどうかも確認する必要がある。機能拡張などのセットについても気をつけて欲しい。ただし、今回実験できるのはMac OS 9がNetBootで起動するところまでである。

実際の運用では、NetBootでMac OS 9が起動してから、MMログインが起動しMacintosh Manager環境に移行するのだが肝心のMMログインが執筆時点ではMac OS 9に対応していない。今回はバージョンアップ方法を確認していただくところまでということになる。

NetBootのディスクイメージを変更する

NetBootのディスクイメージをMac OS 9にアップデートするには以下の点に気をつけてほしい。

・NetBoot デスクトップ管理者のバージョンを1.1にする
・グローバル管理者の利用者名とパスワードが必要（アカウントは作成しておく必要がある）
・NetBootがインストールされているボリュームに読み書きの権限を持っている利用者名とパスワードが必要
・Mac OS 9のライセンスをNetBootクライアントマシンの数だけ購入する

以上の準備ができたら、早速NetBootのイメージをアップデートすることにしよう。もしもNetBootデスクトップ管理のバージョンアップがまだならば、Appleのホームページからダウンロードすることができるので、アップデートの前にダウンロードしておくとよいだろう。ダウンロードが終了したらbinファイルをデコードし、J-NBDA 1.1.smiを取り出す。smiファイルはイメージになっているので、ダブルクリックするとNetBoot Desktop Admin 1.1ディスクができる。後ほど、管理者としてログインしたときに入れ替えることにしよう（図7）。

まずはNetBootクライアントから、NetBootで起動し、グローバル管理者としてアクセスする。グローバル管理者の設定はあらかじめMacintoshマネージャで行なって

おく必要があるので、登録をしたことが無いのであればまずはMacintoshマネージャを起動して欲しい。Macintoshマネージャでの利用者登録については過去のこの連載を参照してほしい。NetBootのディスクイメージ（シャドウイメージ）を変更するには、グローバル管理者としてアクセスしたのちに、さらにNetBootがインストールされているボリュームにMac OSX Serverの管理者などのNetBootボリュームに読み書きの権限を持っているユーザーでアクセスする必要がある（図8）。

アクセスができたら、NetBootデスクトップ管理のバージョンを確認しよう。NetBootデスクトップ管理バージョンが1.0のままだった場合は、まずNetBootデスクトップ管理を1.1にアップデートする。ファイルの上書きで更新すれば良いだろう。ここまで準備ができたらNetBootデスクトップ管理を起動する。

NetBootデスクトップ管理を起動すると、NetBoot HDイメージ、Application HDイメージのそれぞれのイメージファイルの情報が表示される。現在の空き容量と全体の容量がそれぞれのイメージについて表示され、イメージファイルの大きさを変更することができる（図9）。

最初にしなくてはいけないのは、これらのコピーを作成することである。「プライベートコピーの作成」をクリックし、イメージファイルのコピーを作成する。Mac OS 9をインストールするにはNetBoot HDの空き容量が足りないはずなので、実容量で500MBから600MBを確保するようにしたい。もちろんバックアップをとるのだから、バックアップ用にハードディスクの空き容量も必要になる。コピーの作成が終了すると自動的に再起動されるので、再度グローバル管理者としてアクセスをし、マウントされているNetBoot HDのシステムを上書きアップデートする（図10）。

上書きインストールをするのを奨めているのは、NetBoot HDの容量を気にしてのことである。また、容量不足でアプリケーションがインストールできなかったとしてもインストールを中止することはない。システムさえインストールされてしまえば、後のアプリケーションはNetBoot HDにある必要はないからである。できる限りインストールをして、再起動をする（図11）。

これでMac OS 9がNetBoot経由で起動する。ただし起動後、MMログインには移行せず、アラートメッセージが表示される。仕方がないので、Macintosh マネージャはあきらめてFinderを起動することにする。これ以降の作業は今回は無駄になってしまうのだが、新しいMacintosh マネージャがリリースされたときのために、やり方だけでも覚えておいて欲しい。

Mac OS 9をインストールするとアプリケーションまでNetBoot HDにインストールされてしまう。まずはこれをApplication HDに移動させる。移動させることによってエイリアスのリンクが切れてしまうので、これも気をつけたい。また、余分な機能拡張などの整理もしておいたほうがよいだろう（図12）。

環境が整ったら、もう一度セレクタからMac OS X Serverの管理者権限でNetBootがインストールされているボリュームにアクセスをする。再度、NetBootデスクトップ管理を起動し、「保存」をクリックする（図13）。

これで環境が保存され、次回からはMac OS 9が起動する。ただし、今回はMacintosh マネージャー経由でアクセスしていないため、NetBootデスクトップ管理は正しい動作をしない。Mca OS 8.5.1（もしくはMac OS 8.6）が起動してしまうのである。

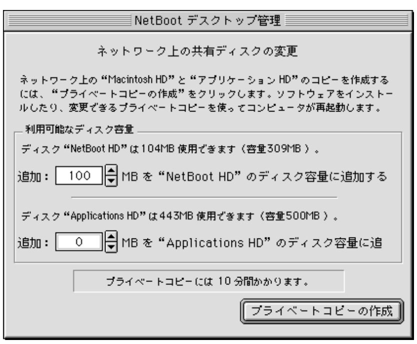


図9●NetBootデスクトップ管理の画面。「NetBootデスクトップ管理」はMacintosh マネージャを利用してログインしたときのみ利用できる。誰でもがイメージファイルを変更できるわけではなく、グローバル管理者の権限を持ち、なおかつNetBootボリュームに関して読み書きの権限が必要になる



図10●Mac OS 9のインストール画面。Mac OS 9のインストール画面。基本インストールに256MBものディスク容量が必要になる。実際にはこれだけの空き容量が必要になるが、システムだけなら100MBたらずでインストールできるので、カスタマイズインストールを行なえばよい



図11●Macintosh マネージャのエラーダイアログMacintosh Manager 1.0はMac OS 9のマルチユーザー機能に対応していないため、Macintosh Managerログインをすることができない。執筆現在開発テスト中ということなので、これを待つのがよいだろう。

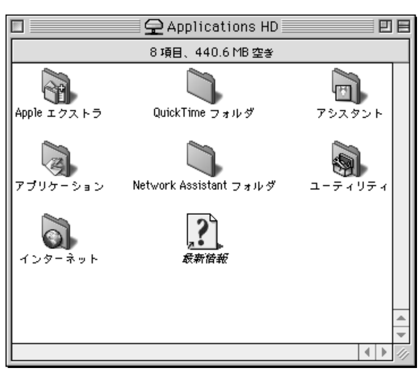


図12●Application HDにファイルを移動した。NetBoot HDにはシステムだけを置くことにし、Application HDにさまざまなユーティリティを置いたほうがよい。インストール時とボリュームが異なるため、エイリアスの再配置をグローバル管理者があらかじめ行なっておく必要がある。



図13●最後のワンクリック。これで作業は完了。環境の構築はグローバル管理者が行なう。最低限の設定が終了したら、再度、NetBootデスクトップ管理アプリケーションを起動し、イメージを保存する。これで次回のNetBootからは新しいシステムで起動する



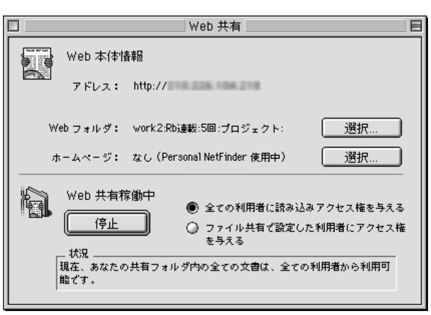
第5回 Macで作る！ オープンソースな競馬予想ソフト

今月は競馬データベースのWeb発信の方法を模索します

前回は、REALbasic Pro（以後Rb）を使ったAppleEvent命令の受け渡しの話をしました。

今月はその応用編です。つまり、Mac OSの「Web共有」機能を使って、自分が構築した競馬データベースを世界中のどこからでもアクセスできるようにインターネットで公開することに挑戦してみます。

ギャンブラーにとって、「敵を知り、己を知る者は、百戦危うからず」という言葉どおり、情報の収集＋メンテナンスは非常に重要です。モバイルが流行の昨今、競馬場でiBookをひろげてインターネット分析する予想スタイルが定着するかもしれません。ぜひ今回の内容も参考にしてみてください。



Mac OSの「Web共有」コントロールパネル。ここで「開始」ボタン（本図ではすでに稼働しているので「停止」ボタンになっている）をクリックすると、指定のフォルダー／ファイルがWeb公開されることになる。ギャンブラー1号でもぜひ活用してしたいOS標準機能だ

Mac OSのWeb共有でCGIを使う方法

Mac OS 8.6、そしてリリースされたばかりのMac OS 9では、「Web共有」コントロールパネルが標準インストールされます。この「Web共有」を使うことで、サードパーティ製品を購入することなく、Mac OSをWebサーバーとして使うことを可能にします。ちなみに「Web共有」は、コントロールパネルの形式をとっていますが、実際にはバックグラウンドで動作するアプリケーションです。

もちろん、Webサーバーである以上、CGIを利用することも可能になっています。インターネットプロバイダーなどで提供されているホームページサービスでは、UNIXベースのサーバー専用機を利用しているところが多いせいか、Perlというスクリプト言語でCGIを書くことが主流です。しかし、「Web共有」を利用した場合、このサーバーとCGIアプリケーション間はAppleEventを利用してパラメーターと結果のやりとりを行ないます。

MacOS側での準備 まずはWeb共有を始動！

それでは作業を始めましょう。

「Web共有」コントロールパネル画面で、「Webフォルダ」欄でHTMLやCGIが収められたフォルダーを指定し、「開始」ボタンを押すだけでOKです。

「ホームページ」を指定しない場合、フォルダーの中のindex.htmlというファイルを優先的に表示します。index.htmlがないフォルダーを指定した場合は、apacheなどでもおなじみの、フォルダー内のファイルの自動リスト表示を行なってくれます。他にも、メニューにはいくつかの設定も用意されているのですが、CGIプログラムはきちんとAppleEvent対応さえしていれば、単にフォルダーに置いておくだけで動作します。

RbでのCGIプログラミングは簡単に考えよう

さて、いよいよRbでのプログラミングに移ります。といっても、実はCGIアプリケーションは、難しいことを考えなければ、AppleEventの部分を処理する簡単なひな形をもとに、出力するHTMLを文字列でオン・ザ・フライに書き出す部分に集中するだけなのです。

基本的に、「Web共有」とCGIアプリケーションは、リスト1（次ページ）に紹介するようなHandleAppleEvent関数をとおしてデータをやりとりします。このリストの中でコメントにもあるとおり、パラメーターを受け取ってHTMLを出力する関数をHandleAppleEvent関数の外で定義することで、メ

リスト1■CGIアプリケーションのHandleAppleEventのひな形

```
App.HandleAppleEvent:

Function HandleAppleEvent(event As AppleEvent, eventClass As String, eventID As String) As Boolean
 //
 dim myParamString as string
 //
 select case eventClass
 case “WWWｽ”// “ｽ”は、Option+『Z』で入力
  select case eventID
  case “sdoc”
   //
   // フォームのactionを”POST”にした場合の
   // CGIに渡されたパラメータの取得
   myParamString = event.stringParam(“post”)
   //
   // 結果は、HTMLを文字列として出力する任
   // 意の別関数をとおしてevent.replyString
   // に代入することで、『Web共有』がその結
   // 果をブラウザに送信する
   event.replyString = handleQuery(myParamString)
   //
   return true
  end select
 end select
 //
 return false
 //
End Function
End  Function
```

リスト2■CGIを呼び出すHTML例

```
<html>
<head>
<title>Rb CGIテストページ</title>
<meta http-equiv=”Content-Type” content=”text/html; charset=iso-2022-jp”>
</head>

<body bgcolor=”#FFFFFF”>
<form method=”post” action=”rbtest.cgi” name=”test1”>
 REALbasicを利用した、ウェブアプリケーション<br>
<br>
 <font size=”-1”>テスト用文字列</font>
 <input type=”text” name=”rb_test_query”><br>
 <input type=”submit” name=”submit” value=”送信”>
 <input type=”reset” name=”reset” value=”リセット”>
</form>
</body>
</html>
```

ンテナンス性を高めることにしましょう。

次に、受け取ったパラメーターの値の取得について考えてみます。

リスト1でmyParamStringという変数に納めた値は、よくCGIを利用したWebページのURL欄に記入されるような、「rb_test_query=%1B%24B%243%24I%24O%25F%259%25HJ8%3BzNs%24G%249%1B%28B」というような形で送られてきます。

これは、具体的な例としてはリスト2のようなHTML書類において「送信」ボタンを押したときにrbtest.cgiに対して送られます。rb_test_queryというフィールドの文字列が、変な記号として送られてきている、と考えられます。

このURLとして送られてくる文字列を、もとのフィールドに入力した文字列に戻すには、ある規則を利用してのデコードが必要になります。Yahoo!などの検索サイトで「URL デコード」などと検索すると、Javaで記述されたソースコードなどの資料を見つけることができますので、そういったものを参考にしながら、この部分をRb側で実装させることも可能です。

しかし今回は、重松修氏が作成したプラグインを利用して、このURLデコードを行なってみます（本ページコラム参照）。

このプラグインにはURLデコードの反対の過程を行なうURLエンコードの関数が含

REALbasicの究極～プラグイン

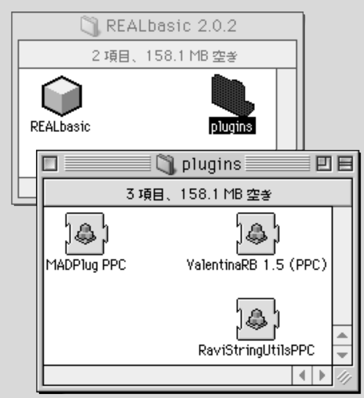
前回紹介したValentinaというデータベースエンジンもそうでしたが、Rbでは足りない機能をユーザーがプラグインという形で開発・拡張していくしくみがあります。

たとえば、今回のプロジェクトでは重松修氏作成のRaviStrUtilsSrcという文字列処理機能を拡張するプラグインを利用しています。重松氏のホームページ（http://www.ravi.ne.jp/）にはほかにもいくつかのプラグインが公開されているため、注目です。

プラグインを利用するには、Rb本体と同じ階層のフォルダーに『plugins』というフォルダーを作り、そこにいれておくだけです。追加したプラグインがコントロールだった場合、次回起動時にツールパレットにそのコントロールが追加さているのがわかるでしょう。

さて、このようなプラグインは、CodeWarrior（メトロワークス）で作成することができます。SDKも公開されているのですが、きちんとしたドキュメントは用意されていません。しかし、重松氏のプラグインのいくつかはソースコードもいっしょに公開されていますので、そのような実際のソースを読んでいくことで、勉強をすすめていくことは可能です。

Rbに物足りなさを感じたとしても、すぐにすべての開発過程をCodeWarriorを利用したものに移行する必要はないのです。



Rbと同じ階層の『plugins』にプラグインを配置しておく



パレットの一番下に、追加したプラグインのコントロールが表示されている

リスト4■handleQuery関数（文字列をそのまま返す版）

```
Function handleQuery(theParam as string) as string
 //
 dim myCRLF as string
 dim myResult as string
 dim myParam as string
 //
 // URLデコード。本文にあるとおり、デコードする
 // 値本体だけを、まず取り出して、それをデコード
 // ここでは、デコードする値が一つだけと考えて、
 // myParamをデコードした文字列で上書きしている
 myParam = nthField(nthField(theParam, ”&”,1), ”=”,2)
 myParam = decodeURL(myParam)
 //
 // よく利用する改行コード(CRとLF)を
 // ひとつの変数にしてしまう
 myCRLF = chr(13) + chr(10)
 //
 // 標準的なHTMLを出力
 myResult = “HTTP/1.0 200 OK” + myCRLF + “Content-type: text/html” + myCRLF + myCRLF
 myResult = myResult + “<html>” + myCRLF
 myResult = myResult + “<head>” + myCRLF
 // HTMLのタイトル
 myResult = myResult + “<title>Rb CGI RESULTS</title>” + myCRLF
 myResult = myResult + “</head>” + myCRLF
 myResult = myResult + “<body>” + myCRLF
 //
 // ここからHTMLの本文(といっても、先ほどデコー
 // ドしたmyParamのみですが)
 myResult = myResult + myParam + myCRLF
 //
 // ここまで
 myResult = myResult + “</body>” + myCRLF
 myResult = myResult + “</html>”
 //
 return myResult
 //
End Function
```

リスト3■URLデコードを行なう関数の例

```
Function decodeURL(theURL as string) as string
 //
 dim myResult as string
 dim myConverter as textConverter
 //
 // RaviDecodeURLは、重松修氏作成のプラグイン
 // に実装された関数。
 myResult = RaviDecodeURL(theURL)
 //
 // RaviStrUtilsSrcプラグインにも文字コード変
 // 換のための関数があるが、ここではRbの機能を
 // 利用しての変換を行う例を紹介する。
 myConverter = getTextConverter(GuessJapaneseEncoding(myResult),getFontTextEncoding(“Osaka”))
 return myConverter.convert(myResult)
 //
End Function
```

まれています。このほか、Rbももっている機能ですが、日本語の各文字コード間での変換を行なう関数をもっており、インターネット用アプリケーションを作成する際に役立つプラグインのひとつです。このプラグインを利用したURLデコードを行なう関数の例を、リスト3（本ページ）に紹介します。

リスト1ではhandleQueryという関数で送られた値を処理してHTMLを返すようにしていますが、リスト3の関数はこの中で呼ぶようにします。リスト1でhandleQueryを呼ぶ前にevent.stringParam(“post”)で送られたパラメーターを入手したときに変換してもいいではないか、と思うかもしれませんが、送られた値は先ほどの例のとおりrb_test_query=xxxという形で、<値の名前>=<値自身>として送られてきます。

また、複数のフィールドを含むフォームの場合には、それぞれの値が「&」で結合された文字列として送られてきます。つまり、まずはURLデコードを行ないたい部分だけをnthField関数を用いるなどして切り取ることが必要になります。

では、まずは単にHTML書類を返すだけの例としてのhandleQuery関数の例を紹介します。リスト4（本ページ）では、送られてきた文字列をそのまま表示するものです。HTMLの文章を生成する部分で、かなり冗長な表現になってはいますが、実際には<body></body>で囲まれた部分がブラウザーソフトに表示される内容になりますので、2回目の作成以降はコピー&ペーストでこの部分を流用するとよいでしょう。

さて、今回の記事でのメインとなる部分、つまり、データベースとの結合に話題を移します。

リスト4では、URLデコードされた文字列はmyParamという変数に納められます。ですから簡単にいえば、このmyParamをキーとしてあるテーブルを検索し、そこで得られた結果は文字列として返ってきますので、それをmyParamの代わりに<body></body>で囲まれた部分に挿入するだけでOKです。結果は1つとは限りませんので、先月説明したような形でdatabaseCursorが終わりになるまでループさせせることになります。

このときに、単に
タグをいれて得られた結果を箇条書きにしてもよいでしょうし、見栄えにこだわる場合には<table>タグを利用してテーブルに整形してもOKです。

実験的に、先月でも紹介した、getUmaというテーブルから馬情報を取得する関数をHTMLで出力する場合のhandleQueryをリスト5（次ページ）に紹介します。先月紹介のリストと比較すると、データベース処理の部分はまったく同じになっています。簡単にいうと、HTML文章を生成するところで少々余計な文字列操作が加わっている、そう考えてもらっていいでしょう。

CGIアプリケーションは、「Web共有」から起動されてバックグラウンドで動き続ければよいため、基本的にはウインドウを定義したりするような必要はありません。しかし、ここではCGIアプリケーションを作成する際のデバッグの効率化という点を考慮した上で、あえてウインドウは作っておくべきだと考えます。このウインドウは、単一のEdit Fieldを配置したものでかまいません。そして、そこにはたとえばhandleQuery関数内で文字列に対して処理を行なう際に、逐次その結果を追記していくような形にします。

handleQueryという関数として、HTMLを出力する部分を独立させることで、Rb開発環境にて実行している場合でもhandle Queryに実験的に値を送って呼び出すボタンをつくったりしてhandleQueryのデバッグを進めていくことは可能です。しかし、実際にAppleEventをうけて処理を行なっていくためにはアプリケーションにする必要がありますし、アプリケーションにしてしまうとデバッガーは利用することができなくなります。そのような場合、つまり実行時にどのような動作をしているかという確認のためのしくみを用意しておくことは、この連載を離れてRbを開発に利用しようとするときに確実に必要となってきます。

余談になりますが、Rbの2.0より、開発環境から実行している場合、またはアプリケー

リスト5■データベースと結合した形のhandleQuery

```
Function handleQuery(theParam as string) as string
 // theParamでは、レース名が送られてくると仮定する
 dim myCRLF as string
 dim myResult as string
 dim myParam as string
 dim myStr as string
 dim i as integer
 //
 myParam = nthField(nthField(theParam, ”&”,1), ”=”,2)
 myParam = decodeURL(myParam)
 myCRLF = chr(13) + chr(10)
 //
 myResult = “HTTP/1.0 200 OK” + myCRLF + “Content-type: text/html” + myCRLF + myCRLF
 myResult = myResult + “<html>” + myCRLF
 myResult = myResult + “<head>” + myCRLF
 myResult = myResult + “<title>Rb CGI RESULTS</title>” + myCRLF
 myResult = myResult + “</head>” + myCRLF
 myResult = myResult + “<body>” + myCRLF
 myResult = myResult + “<table>” + myCRLF
 myResult = myResult + “<tr><td>馬ID</td><td>馬名</td><td>予想</td></tr>” + myCRLF
 //
 for i=1 to 16
  myResult = myResult + “<tr>”
  myStr = getUma(i,theParam)
  myResult = myResult + “<td>” + nthField(myStr, ”,”,1) + “</td>”
  myResult = myResult + “<td>” + nthField(myStr, ”,”,3) + “</td>”
  myResult = myResult + “<td>” + nthField(myStr, ”,”,2) + “</td>”
  myResult = myResult + “</tr>”
 next
 //
 myResult = myResult + “</table>” + myCRLF
 myResult = myResult + “</body>” + myCRLF
 myResult = myResult + “</html>”
 //
 return myResult
 //
End Function

Function getUma(theID as Integer,theRaceName as String) As String
 //
 dim myUmaID as String
 dim myDB as database
 dim myDBCrsr1 as databaseCursor
 dim myDBCrsr2 as databaseCursor
 dim myResult as String
 //
 myResult = “”
 myUmaID = “horse”+str(theID)
 myDB = openREALDatabase(gDBFile)
 if myDB<>nil then
  myDBCrsr1 = myDB.SQLSelect(“select “+myUmaID+” from race where name= ’”+theRaceName+”’”)
  myDBCrsr2 = myDB.SQLSelect(“select id,est,name from horse where id= ’”
+myDBCrsr1.idxField(1).stringValue+”’”)
  myResult = myDBCrsr2.idxField(1).stringValue+”,”+myDBCrsr2.idxField(2).stringValue+”,”
+myDBCrsr2.idxField(3).stringValue
 end if
 //
 // つまり、得られた馬のID、予想順位、馬名が、『,』
  // で区切られて文字列として返される
 return myResult
 //
End Function
```

リスト6■実行環境による動作の場合わけの例

```
・・・任意の関数の中で利用する　　　　　　・・・
・・・たとえば、これをPushButtonの中で記述して・・・
・・・デバッグ環境とアプリケーションにした場合・・・
・・・とで表示される文字を比較してみてください・・・

#if debugBuild then
// 開発環境から実行した場合に表示されるもの
msgBox “Test Build!!”
#else
// アプリケーションにして実行した場合には、
// こちらを表示
msgBox “Application!!”
// #end ifと、半角スペースが入らないことに注意!!
// これをするとアプリケーションにするときにエラー
// がでます
#endif
```

ションにして実行している場合、など実行環境によって処理をわけるためのオプションが用意されています。#if <実行環境> then ～ #endifという構文で、リスト6（本ページ）のような形で利用します。

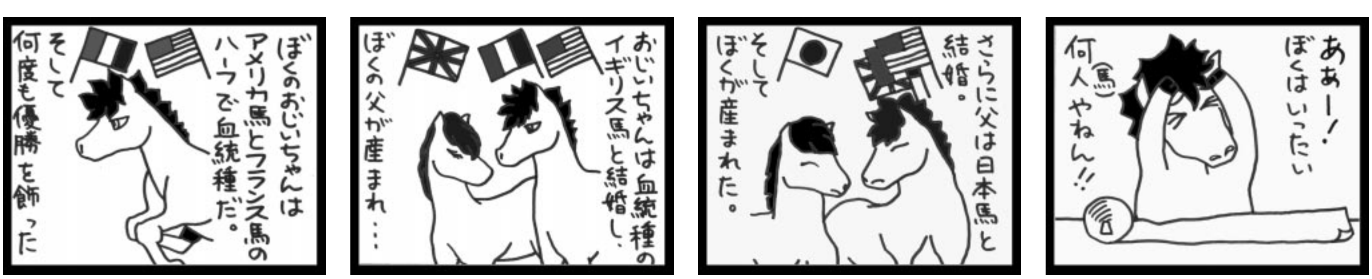
先ほどの例でいえば、デバッグ時にはEdit Fieldを利用しなくても変数の動きをトレースできるため、その場合にはEditFieldを利用しない…というような形で処理をわけるようにするとよいでしょう。

さて、本連載も次回で最終回となります

某Mac開発専門誌時代より原稿の遅さで担当者を困らせ続けている私ですが、はやいもので、この連載もとうとう次回が最終回となります。

私事ですが、今回作成しているアプリケーションで的中させる予定の大穴をあてにして、1%ローンでSilicon GraphicsのNTマシンを購入してみました。さて、購入資金の回収を目指して、次回は最後のアプリケーションのブラッシュアップといきましょうか！

第5回『競馬道なひと』 by しきやあけみ



再チャレ!! リナックス

Linux for PPC Japanese Edition 2.0



文●まえだひさこ　イラスト／漫画●Nuts Head

新バージョンを使ってLinuxに再チャレンジしよう！
Linux for PPC Japanese Edition 2の使い方（第2回）

今回は、Linux for PPC Japanese Edition 2で画像処理を行なう方法について説明していきます。Linuxといえばサーバー用途にしか向かないと思われるかもしれませんが、最近ではMacやWindowsにも負けないパーソナルユーザー向けのアプリケーションも数多く登場しています。なかでも今回紹介する「GIMP」というプログラムは、いずれ“Photoshopキラー”となることが確実視されているオープンソースの画像処理アプリケーションです。フォトレタッチもLinux上で行なう時代が、もうそこまで来ています。

Japanese Edtition 2には数多くのグラフィックツールが提供されている

Japanese Edition 2をフルパッケージでインストールした場合、「GNOME」メニューから「グラフィック」を選択すると、すでにいくつかのグラフィックソフトが登録されています。

たとえば、Electric Eyesというソフトは軽くて、小さなイメージにちょっとした色調変更したりするのに向いています。起動した後に右クリックをすることでファイルを開いたり、また編集のためのウィンドウを表示することができます。GQviewは画像ビューワーで、自身が編集機能を持っているわけではありませんが、前者Electric EyesやペイントツールのXpaint、また後述のGIMPを呼び出して編集することが可能なので、イメージファイルを管理するのに便利なソフトです（本ページ右下図）。

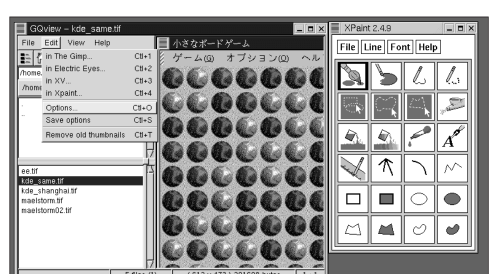
この他にも、「グラフィック」メニューには登録されていませんが、ImageMagicやXVなどたくさんのの画像処理系ソフトがあります。それぞれ、デスクトップのキャプチャー機能を持っていたり、いろいろな特徴がありますので、ぜひ遊んでみてください。

やはり横綱グラフィックソフトはGIMPに決まり！

さて、今回メインで紹介するGIMP（GNU Image Manipulation Program：「ギンプ」「ジンプ」などと呼ぶ）ですが、画像処理ソフトとしては商用のものと比較しても決しておとらない本格的なものです。本誌読者ならAdobe Photoshopはよくご存じだと思いますが、GIMPはそのPhotoshopによく似た本格的画像処理ソフトです。しかも、他の多くのUNIX系のソフトウェアの例にもれず、GIMPもフリーで入手できます（名前にGNUと付いているのでぴんとくるで



Electric Eyesの画面。基本的には画像ビューワーとして使うが、簡易な編集機能も搭載しているので、急ぎのときなどに重宝する



GQViewには編集機能がないが、他のグラフィックソフトと連携して使うことができる

しょうが)。グラフィックソフトは一般的に高価なものが多いですが、GIMPのおかげでプロ向けのソフトが一般ユーザーに簡単に手に入れられることになったのです。

フォトレタッチ作業には欠かせないレイヤーやマスクなどの基本機能を備えているのはもちろんのこと、他のプラットフォームのグラフィック処理ソフトと比較して、GIMPの優れているところは、なんといってもその拡張性だといえます。

たとえば、プラグイン拡張のためのPlug-In API、操作を自動化するためのScheme(スキーム)というスクリプト言語(後述するScript-FU機能)などなど……。

GIMP自体は、新しい機能などが次々に加えられながらますます開発が活発化しており、どんどんバージョンアップがされています。まずは、一度GIMPのホームページ(http://www.gimp.org/)を参照してほしいのですが、GIMPのバージョンには、バージョンナンバーが1.0系の安定バージョン(Stable Version)と、1.1系の開発バージョン(Developers Version)の2種類が存在します。Linux PPC JE2で採用しているのは、開発バージョンの方になります。こちらは安定バージョンに加えて、さらに多くのスクリプトが加えられています。詳しいマニュアルはFTP(ftp://manual.gim.org/pub/manual/)、日本語化されたドキュメントGUM(The GIMP User Manual)はhttp://pcv.awa.tohoku.ac.jp/で読むことができますので、とりあえず目をとおしておきましょう。

なお、年末には新しいバージョンである1.2がリリースされるようなので、私も楽しみに待っているという状況です。

GIMPの使い方

GIMPがインストールされていない場合は、rootでログインし、本誌'99/10月号の付録CD-ROMをセットして、マウントしてからGnoRPMを使ってインストールしてください。必要なファイルは、以下のとおりです。

```
gimp-1.1.8-1jp.ppc.rpm
gimp-devel-1.1.8-1jp.ppc.rpm
gimp-libgimp-1.1.8-1jp.ppc.rpm
```

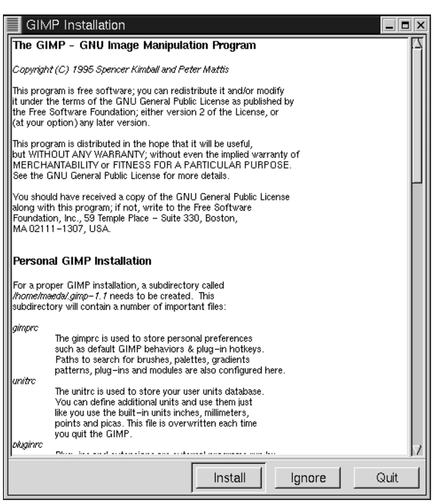


図1●はじめてGIMPを起動したときには、このようにインストール画面が登場する。ここで「Install」ボタンを選択して、インストール作業を開始させよう。ユーザー自身がとくに難しいディレクトリー設定を行なう必要はない

コマンドを使ってインストールする場合は、次のようにrpmコマンドを使って行ないます。

```
$ cd /mnt/cdrom/RedHat/RPMS
$ rpm -ivh gimp-1.1.8-1jp.ppc.rpm
$ rpm -ivh gimp-devel-1.1.8-1jp.ppc.rpm
$ rpm -ivh gimp-libgimp-1.1.8-1jp.ppc.rpm
```

起動方法は、「グラフィック」メニューからGIMPを選択するか、コマンドラインから次のようにして起動します。

```
$ gimp &
```



最初に起動した時、必要なディレクトリーや基本的な設定ファイルがコピーされますので、まずは「install」ボタンをクリックしてインストールを完了させます(図1)。

起動時に、リソースやスクリプトなどの読込が行われます。「今日の技」というウィンドウに、ちょっとしたTIPSが表示されます。毎回起動するので、必要ないならば、「次回も技を見せる」のチェックを外してしまえばよいのですが、GIMPをの機能を学習するのによいメッセージかもしれません。

起動時に表示されるのが、GIMPの基本インターフェイスであるツールボックスになります(次ページ図2)。Adobe Photoshopを一度でも起動したことのある読者なら、すぐぴんとくると思います。それぞれのアイコンの上にマウスのカーソルをあわせると、簡単なヘルプ説明が見られます。

まずは、「File」メニューから、「新規」や「開く」を選択して、処理を行なうためのファイルを開くか新しく作成してみましょう。新規作成する場合は、画像のサイズや塗りつぶしの種類などを指定します。初期画面では、ピクセルのみのサイズ指定になっていますが、「File」→「環境設定」でデフォルト画像のサイズなどを細かく変更することが可能です(次ページ図3)。

図3の例では、「矩形領域を選択する」をダブルクリックして「ぼかし」オプションを指定し、ぼかしのある選択範囲を作成してから、「グラデーションを用いて塗りつぶす」で、選択範囲をグラデーションツールで塗りつぶしています(図4)。

Macユーザーにはあまり馴染みがないかもしれませんが、画像操作のメニューは、作業ウィンドウの上で右クリックすることで開くことができます。このメニューからは、ファイルの保存などの基本的な内容の他に、「道具箱」の機能や、フィルターなども選択できま

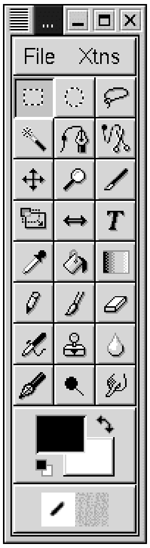


図2●GIMPを起動すると、ますツールパレットが画面に現れる。Photoshopでおなじみのツールも多いので、使い方もすぐに飲み込めるはずだ



図3●「File」メニューから「環境設定」を選ぶと、このように好みの単位でデフォルトウィンドウの寸法やその他設定値を決めておくことができる

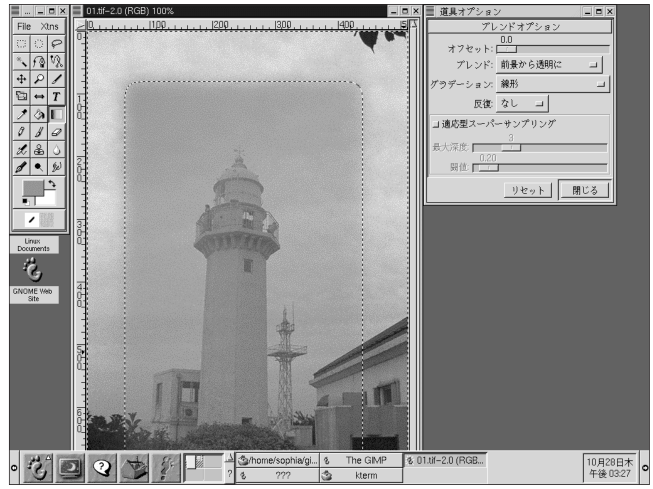


図4●GIMP上でのぼかし処理の例

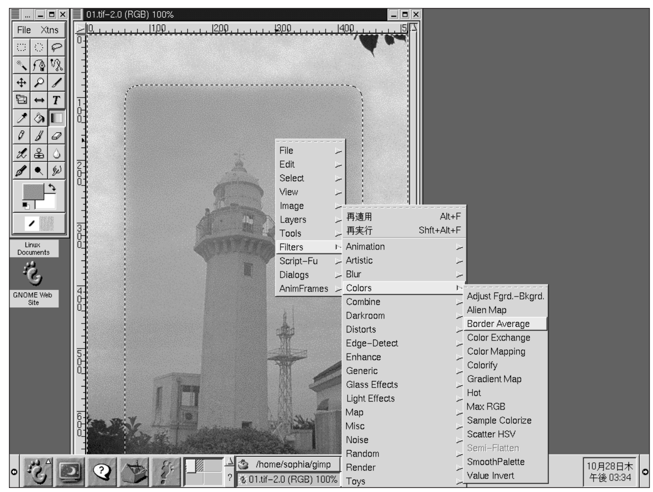


図5●マウスの右クリックを使えば、各種コマンドにアクセスすることができる

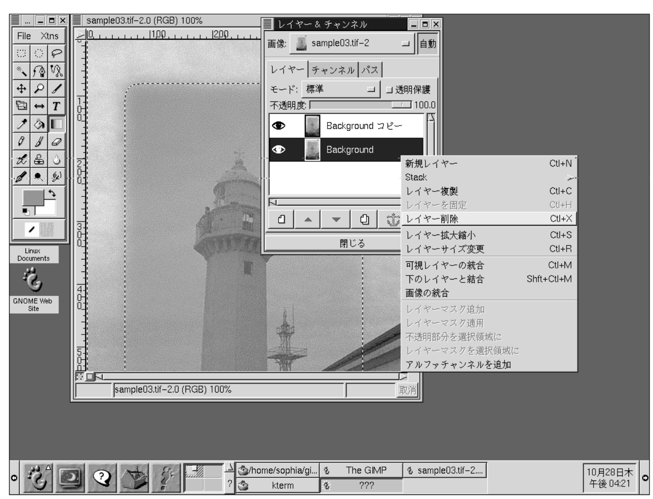


図6●GIMPのレイヤーウィンドウもこのようにAdobe Photoshopに近いインターフェイスで実現されている

す（図5）。右クリックして表示されるメニューから「Dialogs」を開くか、「File」メニューから「Dialogs」を開くと、ブラシやパレットなどについての細かい設定ができます。

そして、画像編集に必要不可欠な「レイヤー＆チャンネル」についても、「File」→「Dialogs」→「レイヤー＆チャンネル」、もしくは右クリックしたメニューの中の「Dialogs」で開くことができます（図6）。

フィルターについては、メニューが日本語化されていないので、一見わかりにくいかもしれませんが、とても多くの種類が使えるようになっています。図の例は、切り抜きツールで画像を切り抜いた後に、「Filter」→「Distorts」→「Emboss」でフィルターをかけています（図7）。

使用できる画像フォーマットですが、UNIXで標準のXPMやBMPやTIFF形式などはもちろんのこと、インデックスカラーを使えばGIF保存することもできます。

そして、本当のGIMPマスターはScript-Fu機能でスクリプトを組む

さて、基本のツールボックスメニューには「Xtns」という項目がありますが、これは拡張メニューで、インストールされているモジュールのブラウザーや、プラグインの一覧を表示するためのツールの他、画面キャプチャーをするための「Screen Shot」などが含まれます。そして、特筆すべきものが「Script-Fu」です。

先にもちょっと触れましたが、このScript-FuこそGIMPの機能として目玉ともいえる機能でしょう。この機能によって、繰り返しを要する作業を行なう場合、その処理を自動化することが可能です。「描画」から「ファイルの保存」「プラグインの呼出」などの操作を自動化できるのはAdobe Photoshopのアクション機能と同じですが、先述したスキームというスクリプト言語を使って、ほとんどすべての操作をひとつのダイアログにまとめてしまえる点はAdobe Photoshopにもない大きな特徴です。



図7●左がオリジナルの画像。そして右がGIMPを使ってEmboss処理した後の結果

スクリプトを新しく作成することももちろん可能ですが、GIMPにはすでに作成されているスクリプトがありますので、試しにそれを使っていくつか作成してみましょう。まずは、ホームページで使うアイコンなどを簡単に作成するためのスクリプトを実行してみます。リンクをたどるための矢印アイコンを簡単に作成するには、「Xtns」→「Script-Fu」→「Web page themes」で「Alien Glow」を開き、色やサイズなどのパラメーター値を指定します（図8）。色の上でクリックすると、カラーピッカーが開くので、好みの色を指定して、「OK」ボタンをクリックするだけです。これで右向きの矢印アイコンのでき上がりです（図9）。反対に左向きのアイコンを作成したければ、「Orientation」パラメータに「 ’ left」を指定するだけです。

ロゴを作成するにも同様に行ないます。たとえば、「Script-Fu」から「Logos」→「Neon」などを開いてパラメーターを指定するだけです（図10、図11）。

このように、すでにある画像に対してスクリプトを実行する以外に、なにもない状態からのアイコンを作成など、GIMPにとっては朝飯前と言ったところでしょうか。グラフィックに詳しくない人でも簡単にアイコンが作成できてしまいます。

付属のスクリプトに物足りないユーザーはオリジナルのスクリプト作成に挑戦してみてください。これで日々のルーチンワークから逃れることができるかもしれませんよ。

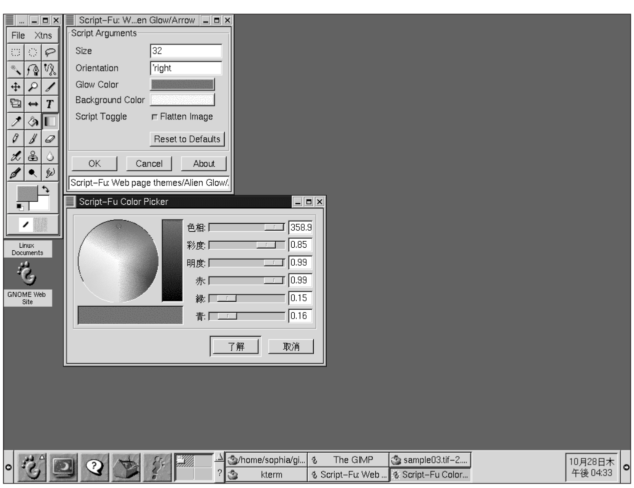


図8●「Alien Glow」でパラメーターを入力し、カラーピッカーで対象色を選択しているところ

GIMPばかりではない これからはLinux用ソフトが数多く登場してくる

今回は、簡単にGIMPの機能や使い方について非常に簡単に説明しました。もちろん、この限られたスペースの中でGIMPのようなプログラムを説明するのは無理がありますが、すでにMac上でAdobe Photoshopを使っているアーティストにとっては、機能的にほとんど同じですので、習得するのはそれほど難しくないはずです。また、参考書籍も何冊か出版されていますので、そちらを参考にじっくり画像処理について、取り組んでみてください。パワーのあるコンピューターならばレイヤーを駆使してのアニメーション作成などといった面白い使い方もできるはずです。

最後に他分野のグラフィックソフトも紹介しておきましょう。

実際にはLinuxプラットフォーム上で動く画像処理プログラムは、商用のものを含むと他にもたくさんあるのです。たとえば、3DCGソフトのAC3D（http://www.comp.lancs.ac.uk/computing/users/andy/ac3d.html）やBlender（http://www.neogeo.nl/）などなど、まさにプロフェッショナル向きのソフトウェアが今後も続々とLinux用に登場してきています。

この連載中で触れられる機会があれば、またそれらのソフトウェアについて紹介していきたいと思います。

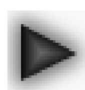


図9●試しに作成してみた矢印アイコン

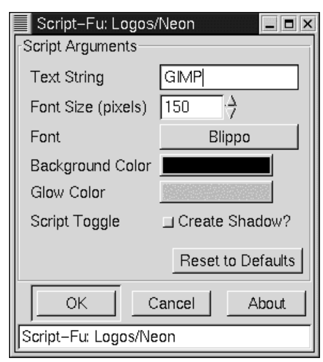


図10●Script-Fuを使えばロゴ作成も簡単。このようにテキストを入力すれば…

図11●指定したとおりのロゴが完成する。Script-Fuを使い分けるだけでも、プロ並みの結果を出すことができるのだ





Software Ranking

グラフィックソフトの王者、Adobe Photoshopが5.5にバージョンアップし
そのアップグレード版がランクインしてきた。
このほか、ウェブサイト作成ソフトのAdobe GoLove 4.0も
バージョンアップにより1位に輝いた。
これから年末にかけてボーナス商戦、クリスマス商戦で
ソフトウェアの売り上げ地図も激変することだろう。

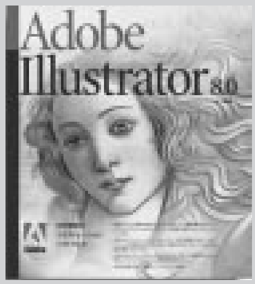
*掲載価格は10月31日現在のデータです

BUSINESS



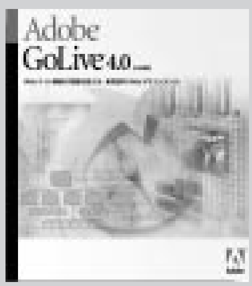
- ➡ 1 **Microsoft Office98 Macintosh Edition**
  ¥68,800　マイクロソフト
- ➡ 2 **ATOK12 for Macintosh**
  ¥9,800　ジャストシステム
- ⬆ 3 **Microsoft Office98 アカデミックパッケージ**
  ¥23,800　マイクロソフト
- ➡ 4 **ファイルメーカー Pro 4.1**
  ¥39,000　ファイルメーカー
- ⬆ 5 **宛名職人Ver.7**
  ¥6,800　アジェンダ

GRAPHICS



- ➡ 1 **Adobe Illustrator 8.0日本語版**
  ¥120,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ⬆ 2 **Adobe Photoshop 5.5日本語版**
  ¥155,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ⬆ 3 **Adobe Photoshop 5.5アップグレード版**
  オープンプライス　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ➡ 4 **Adobe PageMaker 6.5Plus日本語版**
  オープンプライス　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ⬇ 5 **Adobe Publishing Collection日本語版**
  ¥198,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン

MULTIMEDIA



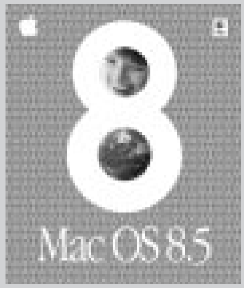
- ⬆ 1 **Adobe GoLive 4.0日本語版**
  オープンプライス　アドビシステムズ
- ⬇ 2 **Adobe PageMill 3.0日本語版**
  ¥12,800　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ⬇ 3 **Adobe Acrobat 4.0日本語版**
  オープンプライス　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ⬆ 4 **Macromedia Flash 4日本語版**
  ¥39,800　アスキー／システムソフト／ソフトウェア・トゥー
- ⬇ 5 **STRATA VISION 3D 5.5**
  ¥24,800　ソフトウェア・トゥー

ENTERTAINMENT



- ➡ 1 **北斗の拳 激打〜タイピング奥義〜**
  ¥4,800　ホロン
- ⬆ 2 **AI麻雀**
  ¥9,800　アイフォー
- ⬆ 3 **WinningPost4**
  ¥11,800　コーエー
- ⬆ 4 **信長の野望 烈風伝**
  ¥11,800　コーエー
- ➡ 5 **特打指令タイプコップ**
  \4,900　ソース

UTILITY



- ⬆ 1 **Mac OS 8.5**
  ¥13,800　アップルコンピュータ
- ⬆ 2 **Norton Utilities for Macintosh Ver 5.0J**
  ¥19,800　シマンテック
- ⬆ 3 **Norton AntiVirus for Macintosh Ver 6.0J**
  ¥9,800　シマンテック
- ⬆ 4 **Mac MP3（キャンペーン版）**
  ¥9,800　アクト・ツー
- ➡ 5 **ノートン安心パック**
  ¥13,800　シマンテック

ランキング協力店一覧(50音順)

あんこう・パソコン・ビジュアル館	03-3257-2511
イケショップ	03-3251-9688
ソフトランド	045-320-2711
ソフマップ	03-3251-3000
チャンプ	03-3829-8089
九十九電機	03-3251-9959
Power YU	03-3486-8866
ペン・ツー・シー	03-3253-1152
MacACADEMY2号店	03-5256-0981

MacCatalog 1999〈現行機種カタログ〉では、
アンケート調査時に流通しているMacintosh、
およびApple関連製品の価格、
おもなスペック等を紹介します。
場合によっては本誌発売日以降に品切れになったり、
価格が変更になることもありますが、ご了承ください

*掲載価格は10月30日現在のデータです

アンケート協力店一覧（50音順）

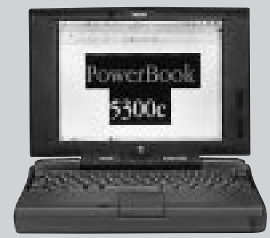
あんこう・パソコン・ビジュアル館	03-3257-2511
イケショップ	03-3251-9688
ソフトランド	045-320-2711
ソフマップ	03-3251-3000
チャンプ	03-3829-8089
九十九電機	03-3251-9959
Power YU	03-3486-8866
ペン・ツー・シー	03-3253-1152
MacACADEMY2号店	03-5256-0981

▶各項目の内容

デスクトップ型



ノートブック型



最低価格 888,888円　　**発売開始時期**
平均価格 999,999円

デスクトップ型：
システム構成
CPU（クロック）
最大搭載メモリ（メモリの種類）
／二次キャッシュ
搭載ドライブ（HD／CD）
汎用拡張スロット
付属システム
サイズ（HWD）／重量
その他スペック
（付属CD-ROMの内容は機種によって異なる）

ノートブック型：
システム構成
CPU（クロック）
最大搭載メモリ（メモリの種類）
搭載ドライブ（HD／FD）
汎用拡張スロット
ディスプレイ
バッテリ
付属システム
サイズ（HWD）／重量
その他スペック

Mac Catalog 1999 現行機種カタログ

iMac



最低価格 118,000円　'99/11
平均価格 118,000円

64MB／HD6000／CD
PowerPC 750（350MHz）
最大512MB（DIMM×2）／512KB Backside Cache
6GB IUltra ATA HD／24倍速CD-ROM（ATAPI）
Mac OS 8.6
381×381×435mm／15.8kg
ビデオ表示機能：標準8MB SDRAMで最大1,670万色（〜1,024×768）
インターフェイス：USBポート×2、Ethernet（10／100Base-T／RJ-45）ポート、56Kbpsモデム、16bitステレオ／SRSサラウンド入出力ポート×各1、マイクロフォン×1、ヘッドフォンジャック×2、スピーカー内蔵
付属品：キーボード、マウス、電源ケーブル、電話ケーブル、ソフトウェアインストールCD-ROM（Mac OS 8.6、付属アプリケーションソフトなど）、マニュアル、保証書
ボディ外装：ブルーベリー
オプション：AirPortカード（12,800円）、AirPort Base Station（38,000円）

iMac DV



最低価格 148,000円　'99/10
平均価格 148,000円

64MB／HD10000／DVD
PowerPC 750（400MHz）
最大512MB（DIMM×2）／512KB Backside Cache
10GB IUltra ATA HD／4倍速DVD-ROM（ATAPI）
Mac OS 8.6
381×381×435mm／15.8kg
ビデオ表示機能：標準8MB SDRAMで最大1,670万色（〜1,024×768）
インターフェイス：USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10／100Base-T／RJ-45）ポート、56Kbpsモデム、DB-15ビデオポート、16bitステレオ／SRSサラウンド入出力ポート×各1、マイクロフォン×1、ヘッドフォンジャック×2、スピーカー内蔵
付属品：キーボード、マウス、マニュアル、保証書ほか
ボディ外装：ボディ外装はストロベリー、ライム、タンジェリン、グレープ、ブルーベリーの5種類より選択可能
オプション：AirPortカード（12,800円）、AirPort Base Station（38,000円）

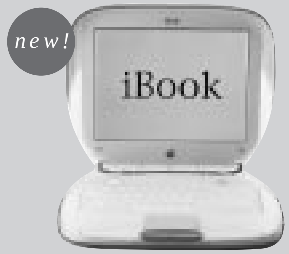
iMac DV Special Edition



最低価格 178,000円　'99/11
平均価格 178,000円

128MB／HD13000／DVD
PowerPC 750（400MHz）
最大512MB（DIMM×2）／512KB Backside Cache
13GB IUltra ATA HD／4倍速DVD-ROM（ATAPI）
Mac OS 8.6
381×381×435mm／15.8kg
ビデオ表示機能：標準8MB SDRAMで最大1,670万色（〜1,024×768）
インターフェイス：USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10／100Base-T／RJ-45）ポート、56Kbpsモデム、DB-15ビデオポート、16bitステレオ／SRSサラウンド入出力ポート×各1、マイクロフォン×1、ヘッドフォンジャック×2、スピーカー内蔵
付属品：キーボード、マウス、マニュアル、保証書ほか
ボディ外装：グラファイト
オプション：AirPortカード（12,800円）、AirPort Base Station（38,000円）

iBook



最低価格 198,000円 '99/10
平均価格 198,000円

32MB（SDRAM）／HD3200／CD
Power PC G3/300MHz
最大160MB／512KB Backside Cache
3.2GB IDE HD／24倍速CD-ROM
Mac OS 8.6（iBook専用）
34.4×29.4×3.15〜5.2cm／約3kg
ビデオ表示機能：標準4MB SDRAMビデオメモリー 最大1,670万色（800×600）
インターフェイス：12MbpsUSBポート、Ethernet（10/100Base-T）ポート、AC電源ポート、56kモデムポート（V.90、K56flex対応）、ATI RAGE Mobility グラフィックコントローラー、16ビットステレオ端子、AC電源ポート、ヘッドフォンジャック、スピーカ
付属品：Mac OS CD-ROM、電源ケーブル「YoYo」など
オプション：AirPortカード（12,800円）、AirPort Base Station（38,000円）

Power Macintosh G4/350



最低価格 198,000円 '99/10
平均価格 198,000円

64MB／HD10000／CD
PowerPC 7400（350MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
10GB Ultra ATA/33 HD／32倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13.6kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（〜1,600×1,200）
インターフェイス：、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3、56kモデムカード
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Power Macintosh G4/400



最低価格 318,000円 '99/11
平均価格 318,000円

128MB／HD20000／CD／Zip
PowerPC 7400（400MHz）
最大1.5GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
20GB Ultra ATA/66 HD／5倍速DVD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×3
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13.6kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（〜1,600×1,200）
インターフェイス：、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×3、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×3（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済のAGP 2Xスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3、56kモデムカード
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Mac Catalog 1999

Power Macintosh G4/450



最低価格 428,000円 '99/11
平均価格 428,000円

256MB／HD27000／DVD-RAM／Zip
PowerPC 7400（450MHz）
最大1.5GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
27GB Ultra ATA/66 HD／5.2GBDVD-RAM（ATAPI）
PCIスロット×3
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13.6kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（〜1,600×1,200）
インターフェイス：、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×3、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×3（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済のAGP 2Xスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Power Mac G4 Ultimate/400



最低価格 816,000円 '99/11
平均価格 816,000円

128MB／HD20000／CD／Zip
PowerPC 7400（400MHz）
最大1.5GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
20GB Ultra ATA/66 HD／5倍速DVD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×3
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13.6kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（〜1,600×1,200）
インターフェイス：、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×3、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×3（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済のAGP 2Xスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3、56kモデムカード
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書、Apple Cinema Display付属
＊上記は、モニターとのセット販売でアップルストア限定発売

Power Mac G4 Ultimate/450



最低価格 926,000円 '99/11
平均価格 926,000円

256MB／HD27000／DVD-RAM／Zip
PowerPC 7400（450MHz）
最大1.5GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
27GB Ultra ATA/66 HD／5.2GBDVD-RAM（ATAPI）
PCIスロット×3
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13.6kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（〜1,600×1,200）
インターフェイス：、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×3、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×3（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済のAGP 2Xスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書、Apple Cinema Display付属
＊上記は、モニターとのセット販売でアップルストア限定発売

PowerBook G3 400/14" 1MB



最低価格 424,000円　'99/5
平均価格 427,300円

64MB／HD6000／DVD-ROM
PowerPC 750（400MHz）
最大384MB／1MB Backside Cache
6GB IDE HD／2倍速DVD-ROMドライブモジュール
PCカードスロットType1/2×1もしくはZoomed規格PCカード×1
14.1" TFTカラー液晶（バックライト）
充電式リチウムイオン電池
Mac OS 8.6（PowerBook G3専用）
323×264×43mm／2.68kg
ビデオ表示機能：標準8MB SDRAM／ATI RAGE LT Proグラフィックカード装着済　最大1,670万色（1,024×768）
インターフェイス：USB×2、SCSI（HDI-30）ポート、16ビットステレオサウンド入出力ポート、赤外線ポート（IrTalk／IrDA）、外部ディスプレイポート（VGA）、外部TVモニタポート、Ethernetポート（10/100Base-T）×1、内部モデムポート（K56flex）、マイクロフォン、スピーカ×2
付属品：Mac OS CD-ROM、ケーブル類ほか

PowerBook G3 333/14" 512KB



最低価格 296,000円　'99/5
平均価格 297,300円

64MB／HD4000／CD-ROM
PowerPC 750（333MHz）
最大384MB／512KB Backside Cache
4GB IDE HD／24倍速CD-ROMドライブモジュール
PCカードスロットType1/2×1もしくはZoomed規格PCカード×1
14.1" TFTカラー液晶（バックライト）
充電式リチウムイオン電池
Mac OS 8.6（PowerBook G3専用）
323×264×43mm／2.68kg
ビデオ表示機能：標準8MB SDRAM／ATI RAGE LT Proグラフィックカード装着済　最大1,670万色（1,024×768）
インターフェイス：USB×2、SCSI（HDI-30）ポート、16ビットステレオサウンド入出力ポート、赤外線ポート（IrTalk／IrDA）、外部ディスプレイポート（VGA）、外部TVモニタポート、Ethernetポート（10/100Base-T）×1、内部モデムポート（K56flex）、マイクロフォン、スピーカ×2
付属品：Mac OS CD-ROM、ケーブル類ほか

Macintosh Server G3/450



最低価格 628,000円　'99/6
平均価格 628,000円

256MB／HD9000×2／CD
PowerPC 750（400MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
9GB Ultra2 Wide SCSI HD×2／32倍速CD-ROM
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAM／ATI RAGE 128グラフィックカード装着済
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3うち1はUltra2 Wide SCSIカード装着済、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3（空き1または2）
付属品：AppleShare IP 6.2やSoftRAID 2.1.6などソフト多数、キーボード、マウス、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

現行機種カタログ

Apple Studio Display/CRT

new!



最低価格 59,500円　'99/11
平均価格 59,700円

17"（対角）ダイヤモンドトロンCRTディスプレイ
表示可能サイズ16"
0.25mmアパーチャグリルピッチ
解像度／垂直走査周波数：640×480/85Hz、800×600/85Hz、832×624/75Hz、1,024×768/85Hz、1,152×870/75Hz、1,280×1,024/75Hz、1,600×1,200/60Hz
走査周波数：30～85KHz（水平）48～160Hz（垂直）
コントローラー：輝度調整、コントラスト調整、消磁、水平サイズセンタリング、垂直サイズセンタリング、コンバージェンス調整、回転、糸巻き歪み調整、台形歪み調整、平行四辺形歪み調整、ズーム、モアレ調整、色温度調整
コネクター／ケーブル：DB-15ビデオコネクタ、VGA-Macアダプター
427×411×447mm／20.8kg
付属品：Appleディスプレイソフトウェア、電源コード、VGA-Macアダプタ、マニュアル、保証書
システム条件：Power Mac G3／G4、Mac OS8.0以降

Apple Studio Display/Flat Panel



最低価格 158,900円　'99/1
平均価格 159,000円

15.1"（対角）TFTカラー液晶ディスプレイ
表示色数：1,670万色
視野角：120°（水平）、90°（垂直）
解像度／垂直走査周波数：640×480（60/67/72/75Hz）、720×400（70Hz）、800×600（56/72/75Hz）、832×624（75Hz）、1,024×768（60/70/75Hz）
コントローラー：ビデオモード、輝度調整、リセットボタン、OSDナビゲーション、OSD調整
コネクター／ケーブル：DB-15ビデオコネクター、ADBポート、S-video入力ポート、コンポジットビデオポート、オーディオ入力ポート オーディオ出力ポート、VGA-Macアダプター
249×399×175×mm／3.5kg（スタンド使用時381～490×399×249mm／5.5kg）
付属品：Appleディスプレイソフトウェア、電源コード、電源アダプター、フリップアウトスタンド、VGA-Macアダプター、マニュアル、保証書
システム条件：Mac OS8.0以降のPower MacintoshまたはPowerPCベースのMac OS搭載機

耳より 林檎ばなし

アップルコンピュータは、PowerBook G3の日本語版キーボードを英語仕様に変えられる「AppleCare Hardware Upgrade Service: PowerBook G3」というサービスを行なう。メーカー希望小売価格は15,000円で、アップル正規サービスプロバイダーの以下の4社で受け付ける。また、iBookに関しても同様のサービスが年内には開始される予定だ。

問い合わせは以下の4社まで。
（株）PFU
http://www.pfu.co.jp/service/
ウチダエスコ（株）
http;//www.esco.co.jp/cs/apple/index.html
日本NCR（株）
http://www3.ncr.com/ncr_japan/doc/service/multib/garage.html
ビット・システム・サービス（株）
http://www.bitsystem.com/

1999年も残すところあとわずか…
そろそろ、年賀状の準備を始める季節になりました

BookMark

エディトリアルデザイナー必携！ DTPの可能性を追求する



エディトリアルデザインとデスクトップパブリッシング。今やこのふたつは切り離しては考えられない時代となってきた。本書は、そんなエディトリアルデザインとMacintoshの関係をいろいろな方向から綴ったものである。

『装苑』の坂哲二、『BLINK』の岩淵まどか、『10+1』の松田行正、『広告批評』の中村至男の各氏、そしてキャラクターデザインのロボットメガストアーの各アートディレクターに取材した、エディトリアルデザインにおけるDTPの可能性を追求する「エディトリアルデザインの愉悦」は面白い。また、有名雑誌編集長に行なったアンケート調査などは、少ないページ数ながらも一般誌でのDTPの現実が垣間見られ、興味深いものがある。

そのほか、タイポグラフィーの変換や、海外事情、デジタル・デザイナーへのインタビュー、活版からDTPまでのデザインの変遷など、内容は盛りだくさん。DTPデザインによる雑誌・書籍のデザイン事例も掲載され、カタログとしても必携の価値ある一冊だ。

「DTP DESIGN NOW!」
編者●インフォメディア
発売元●ビー・エヌ・エヌ
ページ数●136p
価格●2,000円（税別）

今月のおすすめ

3DCGに挫折した人には特にお薦め！ 基礎からShadeを勉強しよう!!

「3D基礎トレーニングブック～Shade教室」
著者●ランディング
発売元●エムディエヌ
ページ数●363p
CD-ROM付属
価格●3,800円（税別）

3Dソフトウェアは、どれも非常に難しい。いろいろな書籍を読んで実際に作成してみてもどうもうまくできないという人は多いのではないだろうか？本書は、こういった3DCG初心者のために、最近人気の3Dソフトウェア「Shade」をマスターすることを目的としてレッスン形式で書かれたものだ。添付のCD-ROMに収録されているレッスン用のファイルを使って、記述通りに操作していけば、本書を読み終わるころには、Shadeの使い方をマスターできるようになるだろう。

まず、最初に3DCGの基本的な概念からウィンドウの構成や3Dソフトウェア独特の三面図の解説に始まり、ベジェ曲線の練習、簡単なオブジェクトを作成する。トレーニングのために作成するオブジェクトなので、最初は簡単なものが多いが、最終的には、カップ＆ソーサー、バイオリン、人の顔といった複雑な形状の作成方法についても説明されているので、挑戦する価値はあるだろう。また、添付CD-ROMには、完成データや制作途中のデータなども収められているので、わからなくなったら参照することも可能だ。

非常に丁寧に解説されているので、3DCGに挫折した人にも、十分にお薦めできる。



今月の新刊



あなたのネットワークは安全？

「PC-UNIXサーバのためのクラッカー撃退計画〜Driving the Crackers Out!」

まえだひさこ著　翔泳社　2,800円（税別）

本書でもおなじみのまえだひさこ氏著述のPC-UNIXサーバーのセキュリティー管理を目的としたクラッカー対策本。セキュリティーの考え方からセキュリティーツールの導入方法、防御方法までを掲載。サーバー管理者にはお薦めの一冊。CD-ROM付属



ママチャリとMacintoshの関係は？

「自転車散歩の達人」

山川健一著　講談社　1,500円（税別）

Macintoshユーザーとして有名な小説家山川健一氏がママチャリについて語る一冊。ところどころに現れるMacintosh関連の話が、山川氏のMacintosh愛好ぶりを感じさせてくれてGood！



Photoshopを知り尽くせ！

「Photoshop5.5 スーパーリファレンス」

井村克也＋ソーテック社編　ソーテック社　2,600円（税別）

9月に発売されたPhotoshop5.5のリファレンス本。オールカラーで、ツール、コマンドなど、全機能を解説

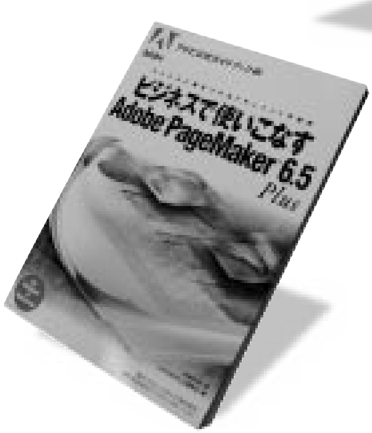


アイドル発掘！

「ミスLightWave3D〜デジタルで彩られた美少女たち〜」

エクシードプレス書籍編集部編　ビー・エヌ・エヌ　2,900円（税別）

株式会社ディ・ストームが主催した『Miss LightWave 3Dコンテスト』に出場した3D美少女たちの作品集。いろいろなタイプの3D美少女がアイドル写真集のようにポーズを決めてくれている。また、制作過程のポイントなども合わせて紹介されているので制作の参考にもなる。コンテストのムービーを収録したCD-ROM付属



DTPの基礎を学ぼう！

「アドビ公式ガイドブック3 ビジネスで使いこなす Adobe PageMaker 6.5 Plus」

岡嶋和幸著　アドビシステムズ社　1,500円（税別）

ビジネスユーザーを対象にAdobe PageMaker 6.5 Plusを解説した一冊。DTPユーザーやデザイナーではなく、ビジネスユーザーがワープロから一歩進んで、DTPソフトウェアを使って書類を作成するコツや基本的な手順を解説。これ一冊で、ライバルに差をつけるドキュメントが作成できる？



インターネットにはお金がつまっている？！

「ネットで儲けろ！〜インターネット株式投資大作戦」

オブスキュアインク他著　ビー・エヌ・エヌ　1,800円（税別）

株式取引とインターネット株式投資の基本的な考え方、専門家のアドバイス、海外取引の実際など、基本と実践について、インタビュー＆最新情報を交えて詳しく紹介。初めての人でもわかりやすい。インターネットには無限の可能性がある。もう眺めているだけのインターネットで満足できない！　そういう方は試してみてはいかが？



Linux激動の3年間を読む！

「特選　星降る夜のパソコン情話〜Linux狂想曲〜」

中村正三郎著　ビレッジセンター出版局　1,400円（税別）

愛と正義のパソコンエッセイとしてビレッジセンター出版局より発行されている「星降る夜のパソコン情話」シリーズのLinux編。朝日新聞からLinux Japanまで、中村正三郎氏がいろいろなところで著述した原稿をまとめた一冊。



21世紀のサウンドライフはこれで決まり！！MP3で遊ぼう！

「MP3&Rioファンキー GUIDE」

赤塩雅之著　コンピュータ・エージ社　1,800円（税別）

話題のMP3の基礎から作成方法までを解説。さまざまなエンコーディングソフトウェアも紹介されているので便利。さらには、MP3プレーヤー「Rio」の使い方も詳しく解説されており、思わず使ってみたくなる

Macintosh書籍トレンド ＆ランキング '99/10

順位	書名	出版社
1	Shadeの達人	翔泳社
2	おしえて!! F L A S H4	毎日コミュニケーションズ
3	Shade Professional 3D スーパーテクニック2	ソーテック社
4	Shade トレーニングブック	ビー・エヌ・エヌ
5	初歩からはじめるREALbasic	アスキー
6	Macではじめるlinux	日経BP社
7	DTPデザインのコツ	ビー・エヌ・エヌ
8	True Type フォントパーフェクトコレクション	インプレス
9	MissLightWave3D	ビー・エヌ・エヌ
10	Shade Professional 3D スーパーテクニック	ソーテック社

協力／書泉グランデ，T・Zoneミナミ

快適MACLIFEフォーラム通信 第4号

ますます快調!

MACLIFEステーションは、8月1日から快適MACLIFEフォーラムにリニューアルされた。快適MACLIFEフォーラムは、読者有志により運営される@niftyのフォーラムだ。今回もまた、新フォーラムのシスオペ、寺子屋こと川崎貴志さんからパレット(Web会議室)「快適MACLIFE温泉」とiMac&iBook専用の特設会議室を紹介してもらった。

快適MACLIFEフォーラム

今月のスタッフ

川崎貴志(寺子屋)

かわさきたかし(てらこや)

■快適MACLIFEフォーラムSYSOP■
SDI01107@nifty.ne.jp

パレット（Web会議室）「快適MACLIFE温（https://www.nifty.ne.jp/square/FMACLIFE/onsen)」がオープンしました。パレットには通常の会議室の機能に加えて、発言のなかにお絵かきした画像や写真データを貼りつけるなど、通常の会議室やRTでは楽しめない機能もあります。ポストペットの部屋の様子や飼い主の部屋（本物）の様子、自慢のグラフィック作品、デジカメの写真とかを発言の中に貼りつけたりすれば、楽しみも倍増です。ぜひ「快適MACLIFE温泉」へ来てみてください。

また、毎月第3土曜日の夜11時過ぎより定例ミーティングを行なっています。会議室のようにやりとりに時間差がなくリアルタイムだけれど、RTほど速いタイピングは必要とされない、ゆったりとしたやりとりが楽しめるパレットミーティングにしたいと思っています。

定例ミーティングではパレットに接続してもらったら、1、2分おきぐらいに1回ぐらいのペースでWebブラウザーをリロードしてもらいつつ、コメントをつけ合っていただく形の、セミリアルタイム会議みたいなミーティングです。RT（リアルタイム会議）には参加してみたいけど、あのチャット速さにはついてゆけない!とか、もう少しゆっくりRTを楽しんでみたい!って方も多いのではないでしょうか？　何をかくそう……タイピング速度の遅い寺子屋もこんな場を求めていました(^^;。このミーティングは、まさに温泉、ゆっくりとつかって、快適なひとときをお過ごしください。

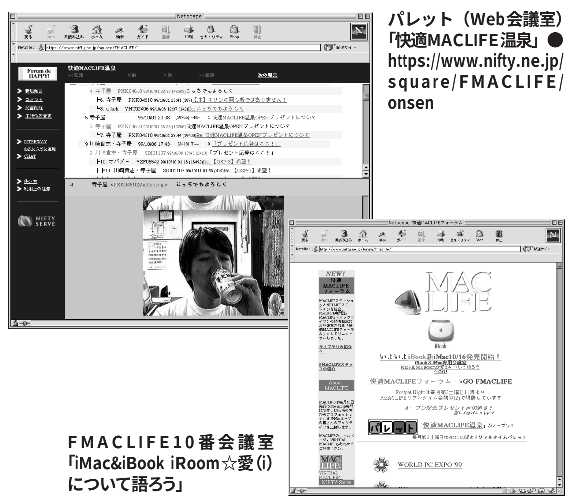
もちろん定例ミーティングのとき以外での通常の発言やコメント付けも大歓迎です。どんどん書き込んでくださいね。温泉旅館にある卓球台の様にみんなで集まってワイワイやりましょう。

FMACLIFE 10番会議室「iMac&iBook iRoom☆愛(i)について語ろう」はiMac&iBook専用の特設会議室です。iMac&iBookに関してなら、なんでも、談義が出来る会議室です。実は寺子屋もアップルストアで予約開始とほとんど同時に速攻で注文しました。ただ、残念ながらこの原稿を書いている時点（今日から日本シリーズ開始）ではまだ来ていません。台湾の大地震の影響もあり、かなり出荷にも影響が来ているようです。早く来ないかなぁ、願わくはこの原稿が掲載されているMACLIFEを見ている寺子屋のかたわらにiBookがあらんことを……。

今ここ、iMac&iBook iRoomではiBookは何色を注文したとか予約したって話に始まって、出張先のアメリカで購入してきた、TWINGさんのインプレッションや、新型iMacの購入者のインプレッションなど…盛り上がっています。

しかし、同時発売の新型iMacも良いですね。ベーシックモデルが118、000円、iMac DVが148、000円、iMac DV Special Editionが178、000円と性能ばかりでなく価格的にも魅力的で、iBookもチョッピリかすんでしまっちゃうぐらいです。ベーシックモデル、iMac DVが今まで同様5色、DV Specialのみがグラファイト（グレー）という構成。冷却ファンがなくて音が静かということに加え、スピーカーの音質へのこだわり、メモリー増設の容易さ、DVモデル以上はDVD、デジタルビデオ編集機能、モニター出力端子など中身も充実しています。今後はメモリー増設やソフト、使い勝手などなどより突っ込んだ話題も増えてくると思われますので、ご期待ください。寺子屋もiBookが届きしだい、メモリー増設から始まって、いろいろなインプレッションをお届けできると思います。

川崎貴志（寺子屋）●本業は超零細学習塾の塾長。1995年からBNNステーションSUBSYSを務める。新装なる快適MACLIFEフォーラムのSYSOP。現在本誌の新作FreeWareのコーナーを執筆中。



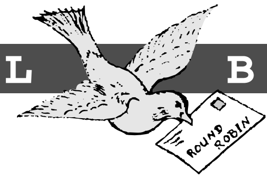
パレット（Web会議室）「快適MACLIFE温泉」●https://www.nifty.ne.jp/square/FMACLIFE/onsen

FMACLIFE10番会議室「iMac&iBook iRoom☆愛(i)について語ろう」

快適MACLIFEフォーラム（FMACLIFE）の会議室

1	From FMACLIFE	◆お知らせ・告知・発表	11	PowerBook Club	◇PowerBookとMobile PC
3	Library Info	◆新着ライブラリ情報	12	Amusement room	◇電脳遊戯室
4	KAITEKI Present!	☆プレゼント応募はココ	13	Welcome to music!!	◇まっくでおんがく!
5	Magazine Talk	◇Mac雑誌にもの申す	15	Hardware A to Z	◇ハード談義とQ&A
6	Tea Time	◇茶飲み話・自己紹介	16	Software A to Z	◇ソフト談義とQ&A
7	Just Buy It!	◇欲しいものは今買おう	17	Auto Script Club	☆自動通信自由自在
8	Web Satellite	◇Web情報・談義・質問	18	PostPet保健室	☆困った時の民間療法
9	Trouble Rescue	◇なんでも質問・相談	19	PostPet保育園PTA	☆うちの子が一番!
10	iMac&iBook iRoom	☆愛(i)について語ろう	20	Let's Mac"Win"tosh	◇MacとWinの素敵な関係

MAIL BOX



新型iMacはすばらしいけど

新型iMacの性能、価格は素晴らしいと思います。でも、これで、日本では198,000円もするiBookの爆発的なヒットがあやしくなったと思うのは杞憂でしょうか？　アップルのコンシューマープロダクト同士で食い合いになってしまうのではないかと危惧してしまいます。（愛知県　JOE　44歳　Power Mac 9500/120、PowerBook 2400c/180）

なかなか鋭い指摘ですね。値段や商品の魅力ということから考えるとiBookの最大のライバルはiMac DVということになりそうです。十分な数量のiBookが市場に出回っていないのは、アップル自身がiMacのために生産調整をしたのではないかと勘ぐってしまいたくなるような展開です。

New iMac……くやしい

iMacを買って10ヶ月、ローンもまだあるのに（2000年2月まで）もう3回目のモデルチェンジ。Windowsに負けない価格、性能アップを見ていてうれしいですが、なんかやりきれない。新製品が出る度にMacがんばっているなと思う気持ちと、まだローン払っているのにという気持ちが入り乱れます。（宮崎県　三浦亨　32歳　iMac、LC575）

*

出るとは思わなかったのですが、新しいiMacが出てしまったのですね。楽しいやら悔しいやら。iMacにDVDがついているなんてすばらしいですね。iBook発表以上のショッキングな出来事でした。昨年暮れにiMacを購入したその価格でこれだけのMacが手に入るなんてほんとにパソコン市場の移り変わりの早さをつくづく感じました。（東京都　セナ・ファービー　23歳　iMac (Rev.B)）

パソコン購入者がいつも陥るジレンマですね。お気持ちはよくわかります。でも自分のMacが一番かわいいと思えば、そのジレンマもなくなるのでは？　それに人より早く使えたわけですし……。

結婚か、iBookか

iBook欲しいな。買おうかな。どうしようかな。G4も悩むな。う～ん。でも結婚資金をためなきゃ彼女に怒られちゃうんだろうな。う～ん。結婚前に買わなきゃって思ったけど、結婚前ってとても買えないよ～。（愛知県　小島宏康　26歳　Power Mac 8600/200/Zip）

結婚を優先して、きちんとお金を貯めたほうがいいと思いますよ。パソコンはまた買うチャンスがあります。しかも、今あるものより機能的に優れたものが出てくる可能性のほうがはるかに高い（そうでない場合もないではないが）のですから。でも、可能なら彼女と結婚資金の話になったときに、その項目の1つとしてMacを入れておくのは手だと思います。たくさんお金がかかる中の20万円は、逆に工面しやすいのではないでしょうか？　お幸せに。

Windowsあなどりがたし

e-oneに対しては、「まつくやまとうた」さんではありませんが「もう少し考えろ！」と思いました。しかし、最近Willブランドで松下から出ているコンピューターは、iMacの正常進化型のように思え、あなどりがたい相手だなと感じました。TFT液晶付き一体型で、インターフェイスはUSBとiLink（FireWire）だけ、FDDもなく、DVの編集をうたうところは次期iMacそのものではないですか。iMacにアドバンテージがあるとしたら、iPortの使い心地、音響システム、OSの気持ちよさ、くらいでしょうか。非常に気になる存在です。

iMovieを使った、家庭用のDTV作例を添付CDも利用して紹介してください。こんな時期ですから子供のいる家庭には、運動会や音楽会で撮ったテープの1本や2本そこいらに転がっているのでは。それに、iMacDV/seが欲しいけれど、上手にプレゼンテーションをしないと「お許し」が出ない方が私を含めてたくさんいるような気がしています。（兵庫県　田中万逸　40歳　PowerMac 7100AV/66 + Newer G3card）

Willは効果的なマーケティングを行なっていることは確かですね。でも、パソコンはやはりソフトが命。田中さんも注目しているiMovieは、iMacにかなりアドバンテージを与えるものだと思います。操作は圧倒的に簡単。Macでのビデオ編集が、これほど現実味を帯びたことはないと断言できます。QuickTimeムービーが読み込めないのはどうしてかわかりませんが。

G3にしようかな

G3のSCSIモデルを買おうかと思っています。というのも、G4のCPUクロックの突然の変更があったからです。そんなことあっていいのか、アップル！　そんな商売ないよねぇ、普通。実質的な値上げと受け止めました。だったら、G3/450でいいかなと……。安くなっているしね。モデムは付いてないけど、持っているし。シリアルは増設しないといけないけど、そしたら、シリアルプリンターも使えるようになるもんね。ADBは付いているし、SCSIもあるよ。Altivecは使わないとしてG4/400=G3/450くらいでしょう。やっぱり、G3でもいいかなぁ。（静岡県　杉森一夫　30歳　Performa 5320）

CPUクロックの突然の変更の件は別としても、今安くなったG3を選択するのは悪くない買い物だと思います。調子がいいだけに、アップルには気を引き締めてがんばってほしいです。

久しぶりのMACLIFE

MACLIFEは、しばらく購入していなかったのですが、SE/30に10Base-TつけてUNIXする記事（まえだひさこさん）が載っている号から毎号買ってます。それと、10月号の『雑記ンとっしゅ』は最高！　日頃、僕が人にSE/30を説明することとまったく同じセリフとオチなので、このページは永久保存です。

SE/30は2台あるので、1台を



本当にiBookかiMacのロジックボード入れて動かしたいです。また、NeXT CubeもDimension 含め3台あるので、1台はG4載せたロジックボードを入れて、Mac OS XかMac OS X Serverをはしらせたいと思っています。ただ、工作の技術や知識がないので構想で終わっていますが。誰かやってくれないでしょうか ?お礼にNeXT StationをCdorフルセットでプレゼントします。もちろんOS付きで（マジメです）。Power Mac OS X Server &Clintが動くのももう少し。今から楽しみです。NeXT用アプリがMac OS Xで動作するのか試したいな〜。ワクワク。今後もNeXT、Mac OS X、NeXT STEP、NeXT Cube、SE/30関連の記事を楽しみにしています。（東京都 NeXT初心者ユーザー　37歳 NeXT Cube Dimension、NeXT Cube、SE/30）

*

久しぶりにMACLIFEを買いました。ほぼ5年ぶりです。以前より軽くなっていたので、内容がすっかり違うものになったのか心配だったのですが、広告が少なくなっただけだったんですね。70歳を超えたオフクロがiBookがいいというので、貴誌を読んでみることにしました。カミさんがiMac、オフクロがiBookを購入予定。僕は仕事ではほとんどMacは使いませんが、また身近になりそうです。（愛知県 山本将　45歳　iMac）

最近久しぶりにMACLIFEを買いましたという人が増えています。それだけまたMacに注目が集まっているということでしょう。同時にこれまでパソコンに興味のなかった人がMacに興味を持ってくださっていて、我々も改めて、さまざまな読者の要望に応えなければ、と気を引き締めています。

JISと英語のキーボード

アップルストアでBTOを使っての注文時に、PowerBook G3やiBookのキーボードをJIS日本語か、ASCII 英語版かを選択できるようにしてほしいと強く希望しています。アップルがどんな説明をしても自分にとって使いにくいものはいやだし、納得できません。前から疑問に思っているのですが、『Commandキー』＋『Spaceキー』での英語モードの英文字と、JISキーボードの『英数キー』での英文字は、なんかどこか異なるような気がするのですが、はっきりわかりません。（岐阜県　スタンドバイミー　41歳　PowerBook 2400c/240）

『Commandキー』＋『Spaceキー』と『英数キー』では、システムの言語が違いますが、実効上どう違うのか、編集部でいろいろやってみましたが、わかりませんでした。テキスト入力では結果は同じです。思うに、もともとが米国製であったMacでは、『英数キー』がなかったので、「半角英数入力」のために2つの方法が提供されたのではないでしょうか？　さて、それはさておき、アップルはPowerBook G3のJISキーボードを15,000円で英語キーボードに交換できるサービスを発表しました。下記の4社で交換できます。

●(株)PFU
www.pfu.co.jp/service/
●ウチダエスコ(株)
www.esco.co.jp/cs/apple/t
●日本NCR(株)
www3.ncr.com/ncr_japan/doc/service/multib/garage.html
●ビット・システム・サービス(株)
www.bitsystem.com/

iBookについても年内中にはできるようになるようです。スタンドバイミーさんの希望よりはコストがかかってしまいますが。

米国の高校生

僕はLA郊外に住むHigh Schoolerです。僕が通っている学校で配っているText Book CoverはなんとiBookのモノで、今は学校中にiBookのデザインがあふれております。これはやはり教育市場をねらうAppleの考えなのでしょうか。しかし、そのおかげでWintel機所有者が大半を占める中、iBook購入希望者がかなりふえています。学校の方もiBookを導入するとかしないとか……。僕もiBookが猛烈にほしいので、去年強引に「アメリカの学校ではMacが必要だ」と父を説得してiMacを買ってもらったのですが、今年もこりゃまた強引に「やっぱり学校に持っていけるようなノートパソコンも必要だ！」と、iBookを買ってもらうおうと計画しております。（アメリカ　橋本哲勇　14歳　iMac (Rev.A)、Power Mac 8500 upgrated to G3/333）

iBookのText Book Coverというのはいいですね。是非見ていたいものです。ところで、日本の中高生はパソコンを親に買ってもらうのがほとんどですが、アメリカの普通の中高生はやはり親に買ってもらうのでしょうか？　それともアルバイトをして自分で買うのでしょうか？　おじさんはそんなところに興味を持ってしまいました。

ウワサ系サイトが元気

Internet 上で最近「ウワサ系」サイトが元気ですね。でも、何だかだんだんスポーツ紙の三面記事のスッパ抜き合戦のような様相を呈して来た気がしています。こうなったらいいなという願望を持つのは自由なのでしょうが、その願望がだんだん規定の事実のように曲解されていくのは、残念です（iBook の発表の時の混乱のように）。また、折角の Apple の発表の前に、画像が流出した件でも、かえって自分達のクビを絞めているのではないかという気がして来ました。

ボク自身も、「ウワサ系」サイトの情報には興味を持っていますが、あくまでも「ウワサ」だということをしっかりと肝に命じるようにしています。(^_^;（岡山県　安田朋則　35歳　Power Mac 7600/120、Power Book G3/333）

「ウワサ」のような本当のこともあるので、我々も「ウワサ」サイトはよくチェックしています。

コアラか犬か?

10月号『FreeWare』のエッセイですが、Fetchのアイコン、あれはコアラでしょう、どう見ても。そーですか、フロッピーをくわえた犬なんですか、知らなかった。ちなみに『fetch』というスペルだったんですね。いやいや確かにそう書いてありますね、フォルダーやアイコンも。でも、てっきり『feti（shism)』か

MAIL BOX

と思って……。マニアックな人が作っているのかな？と思っていました。いやー、人にいわないでよかった。（熊本県　NORI　37歳　PowerMac 6100/60）

なにを隠そう、私もコアラだと思っていました。おまけにFetchと同じような機能を持つAnarchieを開発したPeter Lewisさんがオーストラリアの人だったりしたものですから、勘違いに勘違いを重ねて、絶対コアラだと信じていました。なるほど、フェテシズムの「フェチ」ねぇ。

子供と一緒にゲーム開発

『マスコットのマ』は、とても参考になります。今は子供といっしょにドラえモンゲームを作っています。出来上がったら送ろうと思っています。そうそう、キューティマスコットでMP3を使えるといいと思いませんか？　音声を使っても軽いマスコットになりそうで……。（神奈川県　ta2　38歳　BW G3 Mac DVD）

『マスコットのマ』の著者の小池邦人さんから下記のような返事をもらいました。

QuickTime 4.0がMP3をサポートしたので、マスコットのBGMや効果音には利用できるのですが、今のままでは残念ながらセルリストには登録できません。一度Movieファイルに変換してもれえば、全然問題ないのですが……。

ゲームが完成したら是非お送りください。

AppleScriptとDTP

FaceSpanとAppleScriptでQuarkを制御する連載が11月で終わるというのを耳にしました。非常に中身の濃い連載だけあって（コラムもおもしろかったんですが）残念です。次は初心者向けの内容をお願いしたいです。DTP業界ではかなり著名な方が書かれていましたが、AppleScriptにある程度慣れた人向けだったので初心者にはとても敷居が高かったと思います。Quarkやファイルメーカーを操作するAppleScriptの基本的なことから全般を扱うようなものをお願いしたいです。今後の展開に期待しています。（10月29日　MACLIFE BBS記載　rai）

確かに、初心者向けのAppleScript＋DTPの記事がうまくできれば、間口が広くてよいと思います。しかしながら、AppleScriptを基礎から学ぶとすると、かなりのページ数が必要になり、月刊誌という性格上、難しい面があります。しかもDTPユーザーが求めるものは高度なものが多く、なかなかうまくいかないのが実状です。MACLIFEでは、このようなプロフェッショナルのかた向けの企画を今後も検討していきますので、今後の企画にご期待ください。

バラシに挑戦

とうとうやってしまいました。初バラシ！　PowerBook G3/333のHDを10Gに……。今は忙しいので歯止めがかかっていますが、暇ができた時が恐ろしいっす。でも、バラシ系の特集お願いしますね（^ ^;。（東京都　kaz　31歳　Power Mac 7300/180、PowerBook G3 99/333）

Mac本体の改造、通称「バラシ」の記事は相変わらず人気がありますね。一昔前は、そういう記事を載せると、雑誌が危ない行為を推奨しているかのように（もちろん「推奨」しているわけではありません）とらえられ、お叱りの言葉をいただくことが多かったのですが、時代は変わりましたね。

Macのプログラミング

日頃からわからないことがあるのですが、それはMacを使ってどうやってフリーウェアなどのアプリケーションを一般の人がつくるのかっていうことです。簡単なアプリケーションの作り方や作者のレポートなどあるとおもしろいと思います。ポストペットの特集もおもしろいと思います。（山口県　田中和良　36歳　PowerBook 3400c）

MACLIFE 1999年1月号「フリーウェア 980」および4月号「Macでプログラミング貴族になる」という特集が参考になるかと思います。1月号ではフリーウェアやシェアウェアのプログラマーの人のインタビューが載っていますし、4月号の記事は、プログラミング初心者向けのガイドとなっています。

MACLIFEの表紙

10月号の表紙。かっこいいですね！　コンピューターにあまり関係のないトレーラーを見つけて表紙にするとは。さすが！「Cover Story：今月の表紙」という記事がなければ何かわからなかったけど……。（愛知県　中島清美　30歳　Power Mac 8100/100AV）

*

「Cover Story」はおもしろい企画ですね。なぜかふっとあたたかい気持ちにさせられてしまいました。ただ、ごめんなさい。最初、広告だと思って読み飛ばしてしまいました。（三重県　てんりゅう　16歳　iMac）

Cover Storyには書きませんでしたが、10月号の表紙になったAIR STREAMをお貸しくださった（株）タナの田中孝一社長はMacユーザーでもあります。もちろん社内の業務用にもMacが使われていました。また、今月号の表紙の透明な鉄腕アトムの設計にもMacが使われているそうですし、いいものの周りにはいつもMacがあります。

MAIL BOX



「MACLIFEホームページにすべての表紙が見られるCoverGalleryができました!」

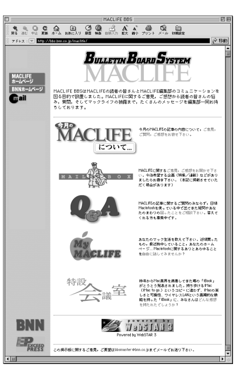
MACLIFEのホームページ「Virtual MACLIFE」が、さらにリニューアル。MACLIFE創刊以来のすべての表紙が見られる「Cover Gallery」ができました。あなたの思いでの表紙は、何年の何月号でしょう？

URLは

http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/



創刊号からのすべての表紙が見られる「CoverGallery」がオープン



MACLIFE会議室も開設中

「From a new world〜世界のファインダーから〜」

Reporter大募集！

「From A New World〜世界のファインダーから〜」では、誌面に登場してくださる海外在住のMacユーザーを募集中。現地のMac事情やインターネット事情、ハヤリものや日本とはちょっと違う海外の常識などを聞かせてください。

また、お友達の紹介も大歓迎です。あなたのMac仲間で海外に住んでいる方はいませんか？自薦他薦は問いません、ふるってご応募ください。

☆応募要項

住所、氏名、年齢、職業、電話番号、E-mailアドレスを明記し「世界のファインダーから」募集係までお便りください。お友達の紹介の場合は上記の項目のほか、ご紹介いただく方の氏名と連絡先（E-mailアドレスまたは電話、ファックス番号）に海外在住歴をお書き添えください。

宛先：〒102　東京都千代田区九段南2-7-6
(株)エクシードプレス
MACLIFE編集部
「世界のファインダーから」
募集係

また、E-mailでもご応募できます。その場合は、
maclife@bnn.co.jp
までお願いします。

PRESENT

●「MACLIFE」No.134/10月号
当選者発表（敬称略）

★iBook モニタープレゼント　1名
北海道　宮永裕教

編集部に入荷次第お送りします。
今しばらくお待ちください。

四季を訪ねる鉄道の旅 春夏編　1名
宮城県　木村俊春

マスタークリップ25,000 Plus　2名
広島県　小野靖弘
神奈川県　坂上賢治

Power Tone 専用トーン素材集1　1名
熊本県　森奈緒美

Power Tone 専用トーン素材集2　1名
東京都　高橋一真

Power Tone2 for Macintosh　1名
東京都　中村任志

広末涼子マウスパッド　1名
北海道　沢さとし

AfterDark『キャラコレa.d.2000』　1名
岡山県　佐藤正道

FLY！完全日本語版　3名
長野県　岩岡宏和
愛知県　太田一也
大阪府　冨宅正浩

前号の訂正

MACLIFE No.135／11月号において以下のような誤りがございました。

▼P.67の「特集　G4という名の革命」におきまして、プロセッサーカードの写真解説文に誤りがありました。コネクターは「ZIF方式」ではなく、正しくは「BGA（ボールグリッドアレー）」コネクターです。PowerMac G4に使われているBGAコネクターはFCI社のもので、300ピンのコンタクト部を持ち、アレー状に配列された端子が実装効率を向上させ、かつ少ない力で挿入することができるといった特徴を持つものコネクターです。

▼P.139の「Macユーザーのためのアスクルカタログ」で、登録申し込みのFAX番号が間違えておりました。正しいFAX番号は「0120-742-742」です。

▼P.201の「New Products」で、亘香通商のMathType 3.6日本語版の表記が本文中で、バージョン4.0になっていました。正しい最新バージョンは3.6です。

関係各位にご迷惑をおかけしたことをお詫びして訂正いたします。

『MACLIFE』次号予告

特集 どうしてもサブノートが欲しいあなたに
モバイルツール徹底ガイド

iBookでモバイルができないわけではないけれど、もっとモバイルに適したツールが欲しいというあなたに贈るモバイルツール徹底ガイド。Macと一緒に使えるモバイル機器はどれだ？ WindowsとMacの併用についても最新情報をレポート。

特集 年末恒例！
フリーウェア1000

フリーウェアのお年玉

毎年恒例のフリーウェア特集。定番フリーウェア、お楽しみフリーウェアなど1000以上のフリーウェア＆シェアウェアをCD-ROMに収録。

特集 デジカメは銀塩写真を超えたか？
最新デジカメで2000年を写す

年末に向けて、デジタルカメラの新製品が目白押し。本特集では、最新のデジタルカメラを徹底紹介するとともに、きれいな写真を撮影するための使い方について解説。

1月号は12月18日(土)発売、定価は980円です。

MAC LIFE

◆掲載記事は予告なく変更することがあります。
予約は、(株)ビー・エヌ・エヌ　販売部　TEL.03-3238-1622

◆MACLIFEホームページも好評開設中！
http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/

編集後記

●来月号は2000年1月号。新しい時代、新しい年、新しい気持ちで新年号を送り出したい。1900年代は戦争の時代だったが、2000年代は友愛の時代、つまりMacが大躍進する時代であってほしい。（とよ）
●年賀状というものを出したことのない自分が、年賀状素材集を作ってしまった。今年こそはプリンターを買ってオリジナル年賀状でも、という気持ちはあるが、結局口ばかりで終わりそう。う〜ん。（タカアキ）
●「Nステ」の落合の日本シリーズ解説は冴えていた。「もう“顔”で野球をする時代ではなくなった」との名言とともに、ダイエーの若手投手が活躍することをいち早く示唆していた。さすがである。（TOSH）
●はい、iMac DVを壊したのは私です。たぶん、日本で一番真っ先に壊した人間だと思います。部品が空を飛んだときは、真っ青になりました。ごめんなさい。でも、動作上問題ないから、いいよね？（いっぺ）
●先日河原のキャンプで飲んだ「四季桜聖 大吟醸4BY」は、古酒なのに鮮烈、強力にして華麗という印象。こんな製品をアバウトに飲んでいいのか…。加納朋子『沙羅は和子の名を呼ぶ』は秀逸。（よた）
●坂本龍一とさんまの対談で、さんまが、女性を口説くのにピアノを使うのは反則だと言っていた。ピアノバーで、ついショパンを弾いてしまう私などは、世界の坂本に比べればまだかわいいもんだろう。（gas）
●NBAの季節がやってきた！というわけでそろそろ注目チーム探し。とりあえずはPenny＋KiddコンビのSunsと、Williams＋AndersonコンビのKingsが派手なプレイを見せてくれそうだ。（しお）
●先日、無事出産した友人の、生まれたばかりの赤ちゃんを抱っこした。やさしいミルクの匂いがするその温かい身体は、まだ細くて、とても小さかったけれど、力強い生命力に溢れていた。久々に感動。（愛）
●引っ越しをした。今まで6畳のワンルームに、ちんまりと暮らしていたが、今度は7畳に4畳のロフト付きだ。天井が高いととても気持ちがいい。家に帰るのが楽しみなので早く仕事場から帰ってもいい？（雨）
●日本大手企業5社が組んで誕生したブランド『Will』の一体型PCもユニークな造形だ。未来に向けて企業同志の新展開が流行るのなら、Hardのデザインよりも Softとそれを使う環境に力を注いでほしい。（kuni）

Macware Selection INDEX

Soft Ware

Hard Ware

CD-ROM MACLIFE GUIDE

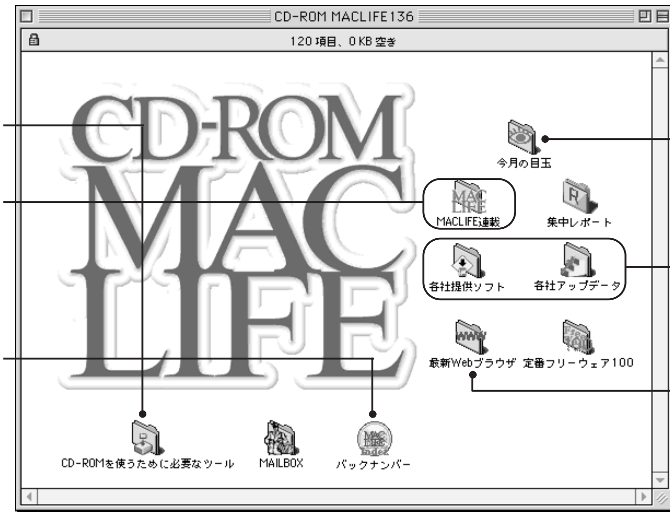
CD-ROM MACLIFEの楽しみ方

収録ソフトウェアを使うための準備と楽しみ方

【1】CD-ROM MACLIFEを利用するのに必要な圧縮/伸張ツールなどのソフトウェアが収められている

【3】連載記事に関連したデモ版、サンプルなどのソフトを収録

【5】前号までのCD-ROM MACLIFEのインデックス



【2】今月のCD-ROM MACLIFEの注目ソフトに容易にアクセスするためのフォルダー

【4】各メーカーから提供されているソフトウェア、デモ版やアップデーターを収録

【6】Internet Explorer 4.5とNetscape Communicator 4.7を収録

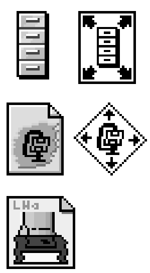
【3】『MACLIFE連載』フォルダー
本誌と連動した各種ソフトウェアとファイル



MACLIFEのレギュラーページと連動したフォルダー。記事で紹介したソフトのデモ版、サンプルデータ、フリーウェアなどが収録されている。

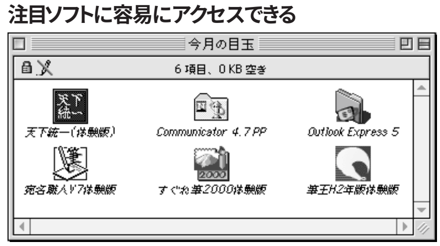
【1】『CD-ROMを使うために必要なツール』
各種ツールをインストールしていない方へ





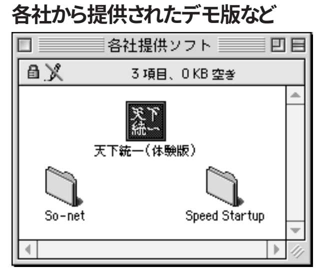
CD-ROM MACLIFEに収録されているソフトウェアのほとんどは、圧縮/伸張ツールによって圧縮されている。これらの多くはアイコンで見分けることができる。上から順にCompact Pro（図左）、Compact Pro自動伸張（図右）、StuffIt（図左）、StuffIt自動伸張（図右）、LHA。Acrobat ReaderはPDFファイルを見るツール

【2】『今月の目玉』フォルダー
注目ソフトに容易にアクセスできる



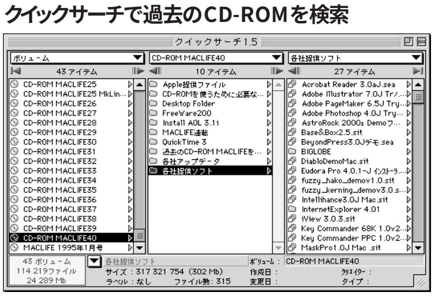
注目ソフトの収録されたフォルダーのエイリアスが入っているので、ダブルクリックすると、そのソフトの入ったフォルダーが開く

【4】『各社提供ソフト』フォルダー
各社から提供されたデモ版など



各社からCD-ROM MACLIFE用の提供ソフトや試用版。So-netサインアップソフトなどが入っている。

【5】『バックナンバー』フォルダ
クイックサーチで過去のCD-ROMを検索



クイックサーチデモ版を利用した検索システム。過去のCD-ROM MACLIFEを調べることができる。クイックサーチリーダを起動し、「カタログ」メニューの「カタログを更新」を選択すれば，準備完了。左のウインドウのCD-ROMのナンバーを選択すれば、その号の内容が表示され、「検索」メニューの「データベース内を検索」を選べば、記入した文字列を含んだファイルが何号に収録されたか検索できる。

CD-ROM MACLIFEは，『MACLIFE』本誌とリンクした内容をCD-ROMで提供するものである。特集や連載の関連ファイルなど，数多くのデータが収録されている。また、各社提供によるデモ版やアップデーターも収録している。

最初に行なうことは？

CD-ROM MACLIFEの利用にあたっては、Mac OS 7.6.1以降をインストールした、68040/68LC040以上搭載のMac（24MB以上のメモリを搭載）、2倍速以上のCD-ROMドライブが必要になる。推奨する環境としては、インターネットに接続できるPowerPC搭載Macおよび互換機（32MB以上のメモリを搭載）。OSはインターネット系のソフトウェアともっとも親和性が高いMac OS 8.1を推奨している。

CD-ROM MACLIFEをCD-ROMドライブに入れると、自動的にウィンドウが開く。まずは『CD-ROMを使うために必要なツール』フォルダのなかに入っている圧縮/伸張ツール「StuffIt Expander」と「MacLHA」、ディスクイメージのファイルをマウントする「ShrinkWrap」が収められているので、これをハードディスクにインストールする。

今月号には「StuffIt Expander 5.1J」が収録されている。StuffIt 5.0で圧縮されたファイル圧縮効率がいいため、フリーウェアなどでStuffIt 5.0形式のファイルが増えてきている。StuffIt 5.0形式のファイルはStuffIt Expander 5.0でしか解凍できないので、インストールしておくことをお薦めしたい。StuffIt ExpanderはStuffIt、Compact Proのアーカイブ、BinHex、MacBinaryのデコードに対応している。

CD-ROM MACLIFE今月の目玉

天下統一 体験版／すぐれ筆2000 体験版／筆王平成12年版 体験版／宛名職人Ver.7体験版ほか

Outlook Express 5.0 Macintosh Edition 日本語版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『最新Webブラウザ』フォルダー

Outook Expressの最新版。新機能としてアドレスの自動入力や、アドレス帳管理機能などが加わった。このソフトはInternet Explorer 4.5とともに『最新Webブラウザ』に収録されている。

Netscape Communicator 4.7 PPC版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『最新Webブラウザ』フォルダー

Netscape Communicatorの最新版。写真や文書を安全に交換できるNetscape AOL Instant Messenger 3.0や、 MP3プレイヤーのWinamp 2.5を採用している。『最新Webブラウザ』に収録。

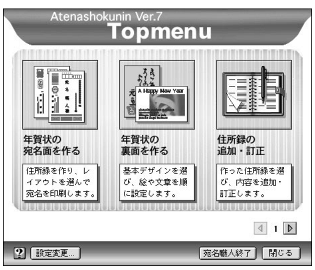
復刻版・天下統一 体験版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『各社提供ソフト』フォルダー

PC-9801で人気を博した戦国シミュレーションゲームの復刻版。実在の戦国大名となって配下の家臣を率いて天下統一を目指す。『各社提供ソフト』フォルダーに収録されている。

宛名職人Ver.7体験版



収録場所：『MACLIFE連載』
→『集中レポート』フォルダー

データベースを作成して宛名を印刷したり、基本デザインから絵や文章を選んで年賀状や往復ハガキを簡単に作成できる。『MACLIFE連載』フォルダーの『集中レポート』に収録している。

すぐれ筆2000 体験版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『集中レポート』フォルダー

4,120万件の電話番号辞書を備えたハガキ＆住所録作成ソフト。体験版では実際にハガキを作成するまでを使用することができる。『MACLIFE連載』フォルダーの『集中レポート』に収録。

筆王平成12年版 体験版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『集中レポート』フォルダー

手軽で使いやすい宛名印刷ソフト。宛名入力・文面作成を目的別に実行できる。体験版では15日間の起動制限が設けられている。『MACLIFE連載』フォルダーの『集中レポート』に収録。

そのほかの注目ソフト

・Speed Startup：『各社提供ソフト』フォルダー
・So-netオンラインサインアップソフト：『各社提供ソフト』フォルダー
・Shockwave 7：『最新Webブラウザー』フォルダー
・ZenmaiClock J-3.0.4：『MACLIFE連載』フォルダー→『免許皆伝』フォルダー
・もずポン時計：『MACLIFE連載』フォルダー『免許皆伝』フォルダー
・あ☆かるいMac道のススメ：『MACLIFE連載』フォルダー→『あ☆かるいMac道のススメ』フォルダー
・マスコットのマ：『MACLIFE連載』フォルダー→『あ☆かるいMac道のススメ』フォルダー

読者メールの受け付け

MACLIFEでは、読者はがきのかわりに電子メールでもアンケートやプレゼント応募、資料請求、ご意見ご要望を受け付けている。CD-ROM MACLIFEの『MACLIFE連載』フォルダーの『MAILBOX』フォルダーのなかにある「読者メール&資料請求テンプレート」をメールの本文にペーストして必要事項を記入し「mlreader@bnn.co.jp」宛に送信してほしい。このとき、メールの題名は「readers No.136」としてほしい。応募は1人1通まで。また、一般のご意見、ご要望、投稿などもこのアドレスで受け付けている。Mail Boxに掲載されることもあるので、匿名希望の場合は明記のこと。

また、本CD-ROMに対する質問や要望などは「cd-rom@bnn.co.jp」宛に送ってほしい。

読者メールは：
mlreader@bnn.co.jp

編集部宛のご意見は：
maclife@bnn.co.jp

CD-ROMについてのご意見は：
cd-rom@bnn.co.jp

●動作環境

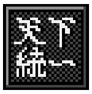
ハードウェア	68040／68LC040以上搭載のMacintoshおよび互換機。24MB以上の搭載メモリ、2倍速以上のCD-ROMドライブ
OS	Mac OS 7.6.1以上

●推奨環境

ハードウェア	PowerPC搭載Macintoshおよび互換機 32MB以上の搭載メモリ、4倍速以上のCD-ROMドライブ
OS	Mac OS 8.1
その他	インターネットに接続できる環境

「MACLIFE12月号付録CD-ROM」インストール手順

MACLIFEの付録CD-ROMには、以下のようなソフトの体験版、試用版を収録している。



復刻版・天下統一 体験版

システムソフト

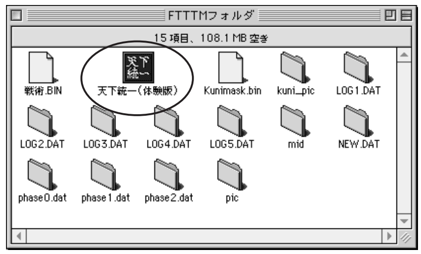
http://www.systemsoft.co.jp/

■体験版による制限事項
・初期の12大名家のみ選択可
・5年経過でゲーム終了
・オープニングなし
・エンディング無なし

❶「各社提供ソフト」内の「天下統一（体験版）」フォルダーにある「天下統一（体験版）.sit」ファイルをハードディスクにコピー後、解凍する



❷解凍終了後にFTTTMフォルダができるので、中にある「天下統一（体験版）」アイコンをクリックする







すぐれ筆2000体験版

エルゴソフト

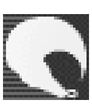
http://www.ergo.co.jp/

❶集中レポートフォルダーの「すぐれ筆2000体験版」フォルダーにある「すぐれ筆2000フォルダ」を開き、すぐれ筆2000アイコンをクリックするとアプリケーションが起動する



■体験版による制限事項
・1回目の起動後15日までの起動制限
・宛名の保存はレコード数10件まで
・印刷時、「すぐれ筆2000体験版」と印字される
・「文面フォルダ」および「挿絵フォルダ」の内容は製品版に収録
・郵便番号辞書を利用する機能は辞書を添付していないため利用不可
・製品版付属の「フォトコレクターVer.2.0（製品版）」「漢字職人Ver.2.0（体験版）」「郵便番号辞書（全国版）」「True Type フォント」および「EGBRIDGE10（体験版）」は付属しない
・文面の保存は不可
・文面の汎用出力は不可
・カット＆コピーは不可
・メール送信機能は利用不可
・シリアル番号入力は不要

●必要なハードウェア
・本体
PowerPC専用
・必要空きメモリー
ナビゲーション機能　約1MB、宛名編集機能　約6MB、文面編集機能　約5.5MB、アラーム機能　約600KB
・モニター
800×600ドット以上（256色以上）のモニター
・プリンター
Macintosh対応プリンター（プリンターにより印刷可能なハガキ、封筒、シールに制限あり）



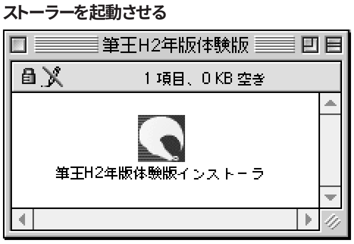
筆王 平成12年版 体験版

アイフォー

http://www.ifour.co.jp/

■体験版による制限事項
・体験版であることを示す文字が印刷される
・一覧表、レポート印刷は、最大 10件までしか印刷されない
・住所録を他のデータベース形式に書き出すことは不可
・サンプルデザイン、フォント、オンラインヘルプは付属しない
・フォントが付属していないため、コンピュータにインストール
されているフォントで表示・印刷される
・1枚ずつしか印刷できない
・イラスト、背景は約150点（商品版は約3600種付属）
・電話番号辞書は付属しない
・姓名辞書は約5万件

❶「集中レポート」フォルダー内の「筆王H2年版体験版」を開いてインストーラーを起動させる



❷インストール終了後にできたフォルダーから「筆王 平成12年版 体験版」アイコンをクリックするとアプリケーションが起動する



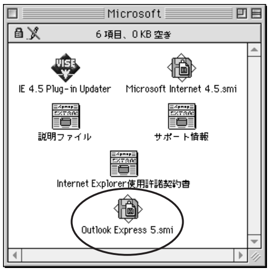
●必要なハードウェア
・本体
iMacおよびPowerMacintosh G3シリーズ
・OS
MacOS 8.0以上
・メモリー
32MB以上（64MB未満の場合は仮想メモリをONにする）
・ハードディスクドライブ
90MB以上の空き容量
・解像度・カラー
800×600ピクセル、256色以上（32,000色以上を推奨）

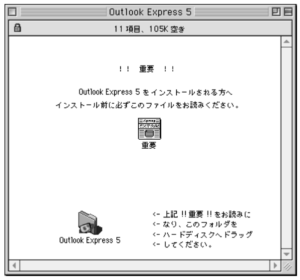
Outlook Express 5.0 Macintosh Edition 日本語版

マイクロソフト
http://www.microsoft.com/japan/

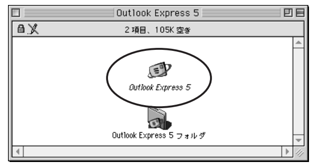
●対応機種
・PowerPC搭載機種
・Mac OS 8.1 以上
・6MB以上のメモリー（仮想メモリ使用時、7MB以上を推奨）
・インストール用に15MB以上のハードディスクの空き容量
●通信ソフトウェア
・Open Transport 1.1.1以降
・電話回線を経由して接続する場合は、OT PPP などの接続ソフトウェア（コントロールパネル書類）と PPP（機能拡張書類）が必要

❶「最新Webブラウザ」フォルダー内の「Microsoft」フォルダーにある「Outlook Express 5.smi」アイコンをクリックしてインストーラーを起動させる

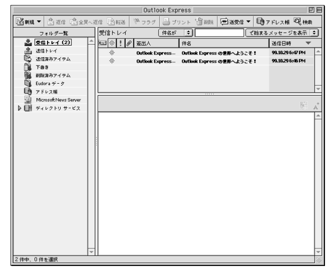




❷インストーラー起動後、「Outlook Express 5」フォルダをハードディスクにコピーする



❸「Outlook Express 5」を開いてアイコンをクリックするとアプリケーションが起動する



●以前にOutlook以外のメーラーを使用していた場合でも、過去の送・着信メールボックスを自動的にコンバートしてくれる

1999 12
No.136
CD-ROM MAC LIFE

●動作環境
漢字Talk7.6.1以上（Mac OS 8推奨）
搭載メモリ24MB（推奨32MB）
13インチモニタ以上
32,000色表示
倍速CD-ROMドライブ以上

●万一、CD-ROM MACLIFEが破損していた場合のお問合せ
（株）ビー・エヌ・エヌ販売部
TEL 03-3238-1622
（月～金曜日の9：30～17：30）
sales@bnn.co.jp

Microsoft Internet Explorer 4.5J
Micorsoft Outlook　Express5

定番フリーウェア100

『MACLIFE』連載
Entertainment●各種デモほか
あ★かるいMac道●オリジナルムービー

Macware Selection
●筆王 平成12年版 体験版／Netscape Communicator 4.7 PPC版
各社提供ファイル
●復刻版・天下統一 体験版／Speed Startup／So-netオンラインサインアップソフト

各社最新アップデータ多数収録
●インタウェア（BOOSTER PB G3ソフトウェアv2.1.0、BOOSTER PB G3 Checker v1.1.0）ほか／エクスツールス（iShade for Macintosh REV.11cアップデータ）／エルゴソフト（EGWORD 9.0.2 アップデータ、EGWORD PURE 4.0.2 アップデータ色いろキャンペーン版専用）ほか／キヤノン販売（BJC-455J v2.13、BJC-465J v2.13、BJC-5500J v1.04、BJC-430J USB V1.01、BJC-430J USB IS Scan Driver v1.02 ほか）／ナナオ（FlexScanディスプレイ用ColorSync2プロファイル）ほか

使用条件

●本CD-ROMはアップルコンピュータ社のMacintoshコンピュータ用のCD-ROMドライブでご利用になれます。
●本CD-ROMに収録されたソフトウェアの著作権は、株式会社エクシード・プレス、アップルコンピュータ社ならびに収録されたデモ、サンプル、キーウェアは開発販売会社が保有しており、お客様は本CD-ROMが添付された月刊『MACLIFE』1999年12月号の購入により、本ソフトウェアを所有することができます。
●本CD-ROMに収録されたフリーウェア、シェアウェアの著作権、所有権その他一切の権利は各ソフトウェアの開発者に帰属します。
●シェアウェアの使用を続ける場合には、それぞれの条件（料金の支払いなど）に沿った承認を受ける必要があります。
●米国Apple Computer Inc.、アップルコンピュータ株式会社、開発販売会社、株式会社ビー・エヌ・エヌ、株式会社エクシード・プレスは本CD-ROMに収録されているソフトウェアを使用した結果生じた、いかなる事態にも責任は負いません。
●本CD-ROMに収録されたソフトウェアを著作者が認めている範囲以外に、許可なくコピーしたり、営利目的に使用することは法律により禁じられています。
●本CD-ROMに収録された各ソフトウェアに関するお問い合わせに対して、米国Apple Computer Inc.、アップルコンピュータ株式会社、開発販売会社、株式会社ビー・エヌ・エヌ、株式会社エクシード・プレスは一切お答えできません。あらかじめご了承ください。
●Apple、Appleロゴ、Macintosh、漢字Talk、Mac OS、QuickTimeは米国Apple Computer社の商標または登録商標です。Apple、Appleロゴはアップルコンピュータ社の登録商標です。Macintosh、Power Macintoshはアップルコンピュータ社の商標です。そのほか、本CD-ROMに登場するソフトウェア、ハードウェア製品の名称は、すべて関係各社の商標、登録商標であることをここに明記し、本CD-ROMでの表記を省略させていただきます。

CD-ROM収録
アップデータドライバ・ソフトウェアリスト

収録場所：『CD-ROM MACLIFE』→『各社アップデータ』フォルダ

●アスキー
REALbasic 2.0.2日本語版アップデータ
http://www.ascii.co.jp/realbasic

●アドビシステムズ
Adobe Illustrator 8.0.1 J アップデータ
URL http://www.adobe.co.jp/

●アルプス電気
CopyStudio 3.0
Micro.DryプリンタドライバVer.6.2
Micro Dry™ RIP 2.0.2J Updater
Micro Dry(TM)プリンタ スキャナユーザーズマニュアル（Ver2.0以降）for Macintosh
http://www.alps.co.jp/brand/printer

●インタウェア
BOOSTER750 機能拡張1.2.0アップデータ
BOOSTER 64・54 G3用ソフトウェア Mac OS 8.6対応版
★BOOSTER PB G3ソフトウェア v2.1.0
★BOOSTER PB G3 Checker v1.1.0
DV CinemaGear 1.2.1機能拡張 Mac OS 8.6対応版
http://www.iijnet.or.jp/Interware/

●インフィニシス
AfterDark 4.5アップデータ
http://www.infinisys.co.jp/

●ウイニングラン・ソフトウェア
DAVE 2.1p3日本語版 アップデータ
Fractal Design Expression 1.0.5 J アップデータ
Ray Dream 3D 1.0.3Jアップデータ
Ray Dream Studio 5.0.3Jアップデータ
http://www.winningrun.co.jp/

●エクスツールス
★iShade REV.11cアップデータ
http://www.ex-tools.co.jp/

●NEC
MultiReader 600U用iMac対応スキャナドライバモジュール
AtermITシリーズ用モデムスクリプトファイル Ver.4.00
AtermIT75/IT60シリーズ用ファームウェア Ver.1.20
IT75/IT60らくらくユーティリティ Ver.1.20
AtermIR450シリーズ用ファームウェア Ver2.14
AtermIR450シリーズ用コネクションマネージャ Ver1.10
http://www.pc98.nec.co.jp/

●エプソン販売
■スキャナ
EPSON Scan! II Ver.2.1c
GT-7000 TWAIN Rev.3.1a (SCSI)
GT-7000 TWAIN Rev.3.1a (USB)
GT-9500/5500 TWAIN Rev.3.2a
GT-9600 TWAIN Rev.1.5c
ES-8000 TWAIN Pro 1.5a
CS-5000N TWAIN Pro 1.0a

■プリンタードライバ
LP-1700/8200/9200/8300/9200S/1700S Ver. 3.5c（EPSON Print!3）
LP-800 EPSON Remote! 1.0
LP-8000C Driver 4.0.1
LP-8600C 1.1a
LP-9300Ver.1.11
LP-9300 /9600/Ver.1.11
EM-900C/CN Ver.5.65J
MJ-6000C Ver.5.64J
MJ-8000C Ver.5.64J
MJ-810C 2.81Js
MJ-830C 5.59J
MJ-930C 5.1A
PM-600C /700C /750C /Ver.5.59J
PM-680C Ver.5.62J
PM-770C Ver.5.65J
PM-2000C 5.59J（iMac）
PM-3000C Ver.5.65J
PM-5000C Ver.5.64J
PM-9000C Ver.5.64J

■デジカメユーティリティ
カラリオ・フォトダイレクトプリント Ver.3.0J
CP-800(EPSON Photo!3)Disk Rev.1.0b
EPSONPhotoファイルアップローダ3 Disk Ver.1.01J
プリントマークソフト Ver.2.01J
CPS3/CPS4
http://www.i-love-epson.co.jp/

●エルゴソフト
EGBRIDGE Ver.10.0.5アップデータ
EGWORD9.0.2 アップデータ
★EGWORD PURE4.0.2 アップデータ
★EGWORD PURE 4.0.2アップデータ色いろキャンペーン版専用
ネットウォーカーVer.1.0.1アップデータ
フォトコレクターVer.1.0.1アップデータ
もぐらたたキー R2アップデータ
http://www.ergo.co.jp/

●沖データ
Microline PS シリーズユーティリティ 2.3
Microline PSIIプリンタドライバ8.3.24
Microline PSIIIプリンタドライバ8.5.2
Microline 7300ユーティリティ2.1.7
Microline 7300PSIIドライバ8.3.2
Microline 620CLドライバ1.10j
Microline 600CLドライバ1.00
Microline 4wドライバ1.10
Microline 400/400CLドライバ1.02
Microline 8wプリンタドライバ
Microline 8c PS3プリンタドライバ
Microline 640CL プリンタドライバ
Microline 12n プリンタドライバ
★Micorline 24DXn プリンタドライバ 2.10
http://www.okidata.co.jp/

●オリンパス光学工業
FPD_2M インストーラ
TEL 0426-42-7499

●キヤノン販売
■プリンター
★BJC-430J(USB)iMacドライバ v1.01
★BJC-455J v2.13
★BJC-465J v2.13
★BJC-5500J v1.04
BJF-100 v3.00
★BJF-200 v3.01
BJF-200 IS Scan v1.11
★BJF-600 v3.01
★BJF-800 v3.01
★BJF-6000 v3.01
★BJF-8500 v3.01
BJ MacOS8.6対応用モジュール「ColorGear CMM Lite」For Macドライバ V1.8.0
★LASER SHOT NetHawk

■スキャナ
IX Scan Plug-In Ver2.6
ScanExpert FS Ver3.0.3
ScanExpert Ver3.0
FB620S Toolbox Extension Ver1.01b1
★BJC-430J(USB)iMac IS Scanドライバ v1.02
CanoScan 2700F 日本語
CanoScan FB620S 日本語

■デジカメ
ScanExpert Ver3.0
PowerShot350.sea.1
PowerShot 350用 Plug in for Macintosh
http://www.canon-sales.co.jp/

●コーシングラフィックシステムズ
マスコットJr. 1.01 アップデータ
CutiePocket 1.04 アップデータ
AgentMaker1.2.0 アップデータ
TEL 03-5379-5153

●システムソフト
HDT253J アップデータ
ラムチャージャー8 アップデータ
Speed Doubler 8アップデータ
SpeedCopy8サーバ
SurfExpress 1.5.1Jアップデータ
Virtual PC212J.アップデータ
システムソフト電子辞典2.0.8アップデータ
大戦略 for Macintosh Mac OS 8.5 対応アップデータ
TEL 092-752-5264

●シマンテック
Norton AntiVirus 5.0.3アップデータ
NotronUtilities 4.0.4アップデータ
TEL 03-3476-1156

●終作
六角大王Super1.06アップデータ
TEL 042-920-3243

●亘香通商
DiskExpress 3.0.2Jアップデータ
UボートII日本語版2.03→2.5.2アップデータ
UボートII日本語版2.14→2.5.2アップデータ
マスタージャグラープロ 2.02アップデータ
TEL 045-320-2711

●ディアイティ
NET-G Driver 3.2.2
http://www.dit.co.jp/netjoy/

●ディ・ストーム
LightWave 3D 5.5Jアップデータ
http://www.dstorm.co.jp/

●ナナオ
★FlexScanディスプレイ用ColorSync2プロファイル
http://www.eizo.co.jp/home/index.html

●日本ヒューレットパッカード
■インクジェットプリンタ日本語版
HP DeskJet USB Driver Ver.1.1
DeskWriter Series 6.04
DW 300 Series 5.11
HP DW/DJ 300 Series v6.0.3
DW600 Series 9.4.1
DJ 800 Series 9.4

■インクジェットプリンタ英語版
HP DeskJet USB Driver Ver.1.1
DeskWriter 500 Series 6.0.4
DW 300 Series 5.11
HP DW/DJ 300 Series v6.0.3
DW 600 Series 9.4.1
DW 800 Series 9.4

■レーザープリンタ
LaserJet 4L インストール
LaserJet 4PJ インストール
LaserJet 4LJ Pro インストール
LaserJet 5L/6L インストール

■スキャナ
SJ4sNewControlPanel
DeskScan II2.4E
HP ScanJet Copy 2.01
TEL 03-3335-8333（東京）
06-6838-1155（大阪）

●ニコン
★Nikon COOLSCAN III(LS-30)1.3
★Nikon LS-2000 1.3
★Nikon Scan 2.5
http://www.nikon.co.jp/

●ビー・エイチ・エー
B's Recorder GOLD(PowerPC)1.0.2アップデータ
B's Recorder GOLD(USB)1.0.2アップデータ
B's Recorder GOLD(68K) Ver1.0.2アップデータ
B'sCrew 3.1.3アップデータ
B'sRecorderProTo4.0.9アップデータ
TEL 03-3263-0566

●ピクセラ
■SCSI用

PixeColorF100	BJF-100
PixeColorF200	BJF-200
PixeColor 400J	BJC-400J
PixeColor 420J	BJC-420J
PixeColor 430J	BJC-430J
PixeColor 440J	BJC-440J
PixeColor 465J	BJC-465J
PixeColor 700J	BJC-700J

■USB用

PixeColor 35VII	BJC-35VII
PixeColor 80V	BJC-80V
PixeColor 240J	BJC-240J
PixeColor 420J	BJC-420J
PixeColor 430J	BJC-430J
PixeColor 465J	BJC-465J

■AppleTalk用
PixeART Ver.2.02
PixeDC Ver 1.01

■コンパクトフラッシュ
PX-iM Mounter & PX-iM Utility
TEL 0722-24-7311

●ファイルメーカー
★ファイルメーカーPro 4.0v3v2アップデータ
★ファイルメーカーPro 3.0v4アップデータ
http://www.filemaker.co.jp/

●富士写真フイルム
TX-7Monitor/TX-7SGM
FD-A1/FD-A1B(フラッシュパス)用
IF-CL/W3・IF-CL/M3アップデータ
TEL 03-3406-62981

●富士ゼロックス
DocuPrint C1250/DocuColor 1250用ICCファイル Ver.1.2.1
TEL 0120-81-2209

●マクロメディア
Dreamweaver 2.01J アップデータ
(株)アスキー
TELL 03-5351-8652
(株)システムソフト インフォメーションセンター
TELL 092-752-5264

●松下寿電子工業
LK-RM734UZ/LK-RM934UZドライバ 1.5
http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3

●ミノルタ
Camera Access アップデータ
Dimage Vユーティリティ
Dimage Scan Dual
DimageScanSpeed1.0.1J
DimageScanMulti1.1J
RD-175
QuickScan 35 v2.6J
TEL 03-5423-7555／06-6271-2641

●メディアヴィジョン
Poser 3.0.1J アップデータ
MacTools Pro 5.0.1J アップデータ
RAM Doubler8.0.1アップデータ
Speed Doubler8アップデータ
Virtual PC2.1.3Jアップデータ
SurfExpress 1.51Jアップデータ
http://www.mvi.co.jp/

●ヤノ電器
SCSI Device Pro2.3.1アップデータ
UPS Watcher 1.1アップデータ
USB MO 1.0.1アップデータ
USB PCRW 1.1.2アップデータ
USB FD 1.2.1アップデータ
TEL 078-993-0010

●ヤマハ
RTA50i用iナンバー対応ファームウェア Rev.03.03.35
RTA50i かんたんパソコン設定
★RTA50i Rev.03.04.36b
ネットボランチ・コールセンター
TEL 0120-808384

★印は今月新たに収録／更新されたソフトウェアです。

お楽しみ『定番フリーウェア100』

毎月，定番フリーウェアをCD-ROM MACLIFEに100本以上収録！ CD-ROM

★印は、今月アップデートされた／新規に収録したソフトです

監修●花谷育雄

MACLIFEのホームページVirtual MACLIFEに『定番フリーウェア100』のリンク集ができました。ご利用ください。
http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/link/freeware.html

Mac OS 8.5関連

Favorites CSM
1.2/菅原正明/フリーウェア
●「よく使う項目」をコントロールバーから利用
Application、File、URL、E-mail Address、Directoryのタイトルに分類されてメニュー表示される。

No Alias Badge
1.0.1/Ouzak & Rilla/フリーウェア
●Macのエイリアスに矢印はいらない
Mac OS 8.5でエイリアスを作成したときにできるアイコンに、矢印を付けないように設定できる。矢印に不満があるユーザーにお薦め。

Prestissimo
1.5.1/PolyMorph Software/フリーウェア
●手軽に使えるカスタマイズツール
ティアオフ（アプリケーションメニューから外す）したときのアプリケーションパレットのカスタマイズなどが行なえる。

QuitProcess
2.0/菅原正明/シェアウェア（800円）
●アプリケーションを手軽に終了
起動中のアプリケーションの一括終了など、起動アプリの操作を可能にする。終了させないアプリの指定などもできる。

Sherlock Menu
2.5J/Public Access Software/シェアウェア（5ドル）
●Sherlockへのショートカットメニュー追加
メニューバーの虫眼鏡アイコンから素早くSherlockを呼び出して検索できるようになる。

SoundSet Constructor
1.0b2/Chris Gervais/フリーウェア
●自分好みのサウンドテーマを作成
メニューやウィンドウなど、各カテゴリーにサウンドファイルを割り当てるだけで、サウンドテーマを作るツール。

Summarize It!
1.1.0/清水友彦/シェアウェア（メール）
●テキスト文書要約支援ツール
任意のテキスト書類に書かれている内容の要約や、フォルダーに保存したテキスト書類の内容を一括して要約する。



へたダサヘルパー
1.0.5/高野琢巳/フリーウェア
●丸漢フォント用ツール
へた字、ださ字などの丸漢フォントをMac OS 8.5上でも使えるようにするためのツール。

iMac

Flying iMac
1.00/HIROMA/フリーウェア
●羽根の生えたiMac大行進
After Darkの名作、「フライング・トースター」のトースターがiMacに。After Dark用のファイルのほか、単体アプリケーション形式もある。

iMac Cursor
—/Bryan Bortz/シェアウェア（5ドル）
●カーソル変更機能拡張書類
通常の矢印ポインタをボンダイブルーの三角ポインターに変更。時計型ポインターもペアカラーでおしゃれに。

iMacFuncKeys
1.3.0/清水友彦/シェアウェア（メール）
●iMacファンクションキー活用ツール
iMacのスケルトンキーボードに配置されているファンクションキーに、便利なアクション機能を追加するツール。

iMacolor
1.1/伊東秀喜/フリーウェア
●アップルメニューとゴミ箱をiMac風アイコンに
コピーで変更できないシステム標準アイコンを変更するコンパネ。iMacの全カラーに対応し、おまけも同梱。

iMacウォッチ
0.9/ひょろ（Tetsuya Uetsuji）/フリーウェア
●現在の時刻をかわいく表示
ボンダイブルーと5色のiMacの外観をしたキューティマスコット製アプリケーション。

iText
1.2/山下道明/フリーウェア
●どうせなら、アプリケーションだっておしゃれに
独特のカラーリングやシンプルデザイン、高処理といったiMacのコンセプトをモチーフに作成されたエディター。

★Ringo CD Controller
2.2.3-J/Takashi Ourai/フリーウェア
●iMacカラーの音楽CDプレイヤー
リンゴ型のウィンドウにオーディオコントローラーを配置。自分のiMacに合わせたカラーを選択可能。

★USB Overdrive
1.2/Alessandro Levi Montalcini/シェアウェア（20ドル）
●汎用のUSBドライバー
USB対応のマウス、ジョイスティック、などのための汎用ドライバー。



圧縮・解凍

Compact Pro
J-1.52/Bill Goodman/シェアウェア（25ドル）
●分割圧縮機能をもった圧縮・解凍ツール
Compact Pro形式（.cpt）の圧縮・解凍、BinHex形式（.hqx）のエンコード／デコードができる。

★Decoder
2.0.6/Etresoft & John Daniel/シェアウェア（20ドル）
●uuencode／Base64形式のデコーダ
uuencodeとBase64の両形式に対応した高速解凍ツール。ファイルの拡張子とファイルタイプの関連づけは任意に設定できる。

DropBinHex
1.6.1/清水友彦/シェアウェア（メールウェア）
●BinHex形式変換ツール
ファイルだけでなくフォルダー単位でも、BinHex形式に変換／復元できる。

Aladdin DropStuff
5.1.2J/Aladdin Systems/シェアウェア（3,900円または30ドル）
●ドラッグ＆ドロップで圧縮
ドラッグ＆ドロップでStuffIt形式に圧縮する「DropStuff」の新バージョン。Unicodeに対応したほか、圧縮率を緩めそのぶん高速な圧縮を行なうこともできる。また、StuffIt Expanderで解凍／デコードできるファイルの種類が拡張され、解凍も高速化される。

LHA Expander
1.0.8/関野雅則/フリーウェア
●LHAファイルの解凍ツール
ドラッグ＆ドロップによって、LHAで作成された書庫ファイルを解凍するツール。

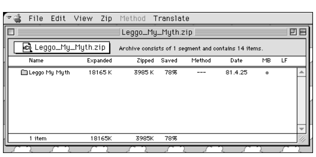
LSAssistPack
2.0.4/小林貴博/フリーウェア
●ファイルを自動判別し解凍する
ドラッグ＆ドロップされたファイルを判別し、適切なアプリケーションを起動して解凍する便利ツール。

★MacGzip
1.1.3/SPDsoft/フリーウェア
●UNIX環境で多用されるgzip対応
「gzip形式」はUNIX環境では標準的に利用されているフォーマットなので、UNIX環境にファイルを圧縮して移動する必要がある場合はインストールしておきたい。

MacLHA
2.22/石崎一明/フリーウェア
●DOS環境で一般的なLHAのMac版
「LHA形式（.lzh）」は、PC-9801がパソコンの主流だった時代のMS-DOS環境では、標準的な地位を占めていた純国産圧縮フォーマット。このLHA形式をMacで扱うためのソフト。

StuffIt Expander
5.1.2J/Aladdin Systems/フリーウェア
●定番解凍ツール
Macで一般的なStuffIt形式、BinHex形式、CompactPro形式ファイルを、ドラッグ＆ドロップで解凍できる定番ツール。「DropStuff」を入れておけばなお便利。StuffIt 5.0形式のファイルは、Staffit Expander5.1以前のバージョンでは、解凍できないので注意が必要だ。

★ZipIt
1.4/Tom Brown/シェアウェア（15ドル）
●zipファイル対応の圧縮ツール
Windows環境で一般的なzipフォーマットを扱う圧縮／解凍ツール。未登録バージョンでは機能制限がある。Windowsユーザーとのデータのやり取りには必携。



システム

BeHierarchic
4.01J/Fabien OCTAVE、佐久間由夫/シェアウェア（10ドル）
●フォルダー階層表示ツール
Appleメニュー内のフォルダーなどを階層表示させるツール。サブメニューにもアイコン表示が可能。Mac OS 8.5との相性については、4.0で解消された。

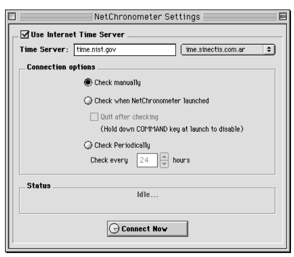
★CopyPaste
4.4J/Peter Hoerster/シェアウェア（20ドル）
●コピー＆ペースト機能を拡大
最大10項目を記憶できるコピー＆ペースト機能を強化させるツール。

Default Folder
J-3.0.3/St. Clair Software/シェアウェア（25ドル）
●ファイルダイアログボックス機能を拡張できる
ファイルダイアログボックス機能を拡張する、Mac OS 8.6に対応したコントロールパネルの最新版。

Desktopper
1.3/Recurring Dream/シェアウェア（15ドル）
●デスクトップ上のアイコンに素早くアクセス
ウィンドウの後ろに隠れてしまったアイコンを、ホットキーやホットコーナーで最前面に呼び出す。

MacProby
3.4.0/清水友彦/シェアウェア（1,500円）
●Macの情報表示ユーティリティ
使用中のMacのハード、ソフトに関する16種類の情報や、エラー時にPRAM情報などを表示する。

★NetChronometer
1.4.1/Jeremy Kezer/シェアウェア（7ドル）
●時計合わせツール
インターネット上にある標準時計サーバーを使って、Macの内蔵時計を修正するツール。



ProgramSwitcher
4.5.3J/Michael F. Kamprath/シェアウェア（10ドル）
●アプリケーションの切り換えが簡単
Option＋タブ（TAB）キーでアプリケーションの切り換えを可能にするコントロールパネル。

Snapz Pro2
2.0.1/Ambrosia Software/シェアウェア（40ドル）
●定番キャプチャーツール
画面キャプチャーツールの定番。画面全体のほか、ウィンドウだけ、プルダウンメニューだけ、任意の矩形領域を選択することができる。また、画面の動きを音つきでQuickTimeムービーに記録することもできる。

Startup Doubler
2.1J/Marc Moini/シェアウェア（2,400円）
●Macの起動を高速化するコントロールパネル
インストール後2回目から、機能拡張書類とコントロールパネルのロード時間が20～50％短縮される。

Symbionts
2.8.3/Kevin Hardman/シェアウェア（20ドル）
●高性能な機能拡張マネージャー
機能拡張だけでなく、コントロールパネル／フォント／起動項目／システム終了項目／コントロールバー／アップルメニューをそれぞれオン／オフできる機能拡張マネージャー。OSに標準の機能拡張マネージャよりも高機能でオススメだ。

TechTool
1.1.8/MicroMat Computer Systems/フリーウェア
●ハードも含めた検知も可能
システムフォルダの損傷の検知やデスクトップファイルの再構築、PRAMのクリアなどが行なえるユーティリティ。ハードウェアやシステムの情報も表示できる。なお、このソフトの商品版が「TechTool Pro」。

コンテクストメニュー

A Better Finder Select
1.8/PublicSpace/シェアウェア（10ドル）
●選択範囲を絞り込んでファイル検索
選択したファイル、フォルダー内のなかから条件に合ったファイルだけを検索できる。

FinderPop
1.8.1J/Turly O'cconer/フリーウェア
●片手でコンテクストメニューを表示
マウスをクリックするだけでコンテクストメニューを表示する定番ツール。一度使うと手放せない。

More File Info CMM
2.4 J/伊東秀喜/シェアウェア（10ドル）
●もっと詳しいファイル情報を表示する
タイプ／クリエーターやリソースフォークなど、「情報を見る」だけでは表示されない、より詳細な情報を表示する。

MovieUtilities CMM
1.4/Riccisoft and Alessandro Levi Montalcini/シェアウェア（15ドル）
●ムービーファイルの表示と変換
QuickTimeの機能を利用してムービーを再生するほか、音声を別形式に変換して保存するなど多彩な機能をもつ。

PowerMenu
2.2.3J/Mark Aiken/シェアウェア（1,700円）
●よりパワフルなコンテクストメニューを!
Mac OS 7にもコンテクストメニューを追加するなど、よりパワフルに各種機能を追加してくれる。

StuffCM
2.5.2J/David Catmull/シェアウェア（1,200円）
●StuffItの機能をすべて実現
「Stuff Engine」と一緒に使用するプラグインソフト。StuffItを利用してファイルの圧縮や解凍、BinHex変換など、StuffItのほとんどの作業を直接指定できる。

Swift
1.4/山崎俊昭/フリーウェア
●画像、ムービーを再生
画像やムービーを表示する。また、画像をデスクトップピクチャーに指定するといった機能もある。

モアイの技
1.0b5/上田唯志/フリーウェア
●ファイルの情報を閲覧、変更
選択したファイルの拡張子を見て、対応アプリケーションを表示してくれる。また、クリエーター、タイプ変更などが手軽に行なえる。



コントロールバー項目

CalcStrip
1.4.2/kykz's Software/シェアウェア（5ドル/500円）
●9桁までの四則演算ができる計算機
数値や計算マクロのペーストと計算結果のコピーが可能な、小さな計算機。Mac OS 8.5に対応。

Control Panels Strip
3.3/Ammon Skidmore/フリーウェア
●コントロールパネル書類を実行
コントロールパネル書類をコントロールバーから直接起動させるためのモジュール。

Control PPP
2.0.5J/SailMaker Software/シェアウェア（10ドル）
●PPP接続の状況の表示
時間経過、積算時間の表示や、PPP、TCP/IPの呼び出し、接続と切断を可能にする。PPP接続のヘルパーとして最適。Mac OS 8.5に対応。

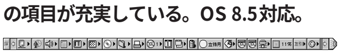
Extensions Strip
J-1.9.3/Ammon Skidmore/シェアウェア（15ドル）
●コントロールバー互換ソフト
複数のコントロールバーが表示できる。Control Panels Strip 3.2.2、Process Manager 1.3が付属する。

HandyMan
2.0.5/Bert Wynants/シェアウェア（15ドル）
●Extensions Stripと相性がよいランチャー
縦／横表示に対応しているため、Extensions Stripと相性がよいランチャー。

Jeremy's CS Modules
2.0.1/Jeremy Kezer/シェアウェア（15ドル）
●定番のコントロールバー項目集
13種類の項目からなる定番のコントロールバー項目集。バッテリーや温度計測はとくに人気がある。Mac OS 8.5対応。

Quit CSM （MabaSoft Quit CSM）
1.7.6J/MaBaSoft/シェアウェア（5ドル）
●アプリケーションのメモリー表示と終了
アプリケーションごとの使用メモリーサイズの表示、複数のアプリケーションの終了を可能にする。Mac OS 8.5対応。

Pooh's Strip
1.8.1/清水友彦/シェアウェア（500円）
●日本製コントロールバー項目集
日本の祝日などに対応したカレンダーと、作者の得意なインターネット分野の項目が充実している。OS 8.5対応。



StripLaunch
1.2.1/Tobias Peciva/シェアウェア（10ドル）
●コントロールバーランチャー
あらかじめよく使うアプリケーションのエイリアスやファイルを設定しておけば、コントロールバーで手軽に起動できるようになる。

来過
1.6.2/itei（夜久伊亨）/シェアウェア（1,000円）
●多機能カレンダーを表示
スケジュールやイベントの管理が行なえるマンスリー表示のカレンダーで、年単位のスクロールができる。

ファイル

DragThing
2.7/James Thomson/シェアウェア（15ドル）
●カスタマイズ可能なファイルランチャー
使用頻度の高いアプリケーションや書類などをパレット状のウィンドウに登録すると、ダブルクリックだけで簡単に起動する。

★FileBuddy
5.3.1J／5.3.2/SkyTag Software/シェアウェア（39.95ドル）
●定番ファイルユーティリティ
ファイル変換機能やエイリアス作成機能など、強力な検索機能を備えた定番ユーティリティ。ファイルの名称や属性、テキストファイル中の語句まで検索することができる。

ファイル検索犬ポチ
2.4.1/中谷賢一/シェアウェア（1,000円）
●ファイル検索ユーティリティ
ファイル検索時に入力するキーワードの関係を、「同じ行の中」や「同じ段落内」という具合に指定できる検索ツール。

PowerBar Pro
3.2/Electric Puppy Software/シェアウェア（15ドル）
●階層表示可能なランチャーソフト
「ツールバー」と呼ばれるパレットで、操作するランチャーソフト。

Type/Creator Database
3.1/Ilan Szekely/シェアウェア（15ドル）
※3.3は登録ユーザー限定でDemo版としては3.1が利用可
●ファイルのタイプとクリエーター一覧
約18,000種類のファイルについて、タイプとクリエータ・コードをデータベース化して検索する機能を搭載。

UltraFind
2.5.3/UltraDesign Technology/Steve Linford/シェアウェア（39.95ドル）
●高速多機能なファイル検索
日本語（2バイト文字）にも対応したファイル検索ユーティリティ。とくにファイルの内容で検索する機能に優れている。ドローファイルのなかで使用している文字を指定し、それを含んだファイルを検索することもできる。また、Web上の文字列を検索することもできる。

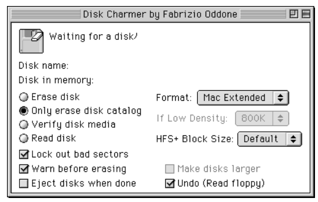


Yank
3.0.2J/William Modesitt/シェアウェア（1,800円）
●アンインストールツール
選択したアプリケーションと、アプリケーションで作製されたファイルを削除し、不要な初期設定ファイルの整理も行なえるユーティリティ。

ディスク

AutoCat
2.5.1/Olivier Lebra/シェアウェア（15ドル）
●ゴミ箱内のファイルのカタログを作成
ディスクをゴミ箱にドラッグして取り出すとき、それに含まれているファイルのカタログを自動的に作成してハードディスクに保存するユーティリティ。

★Disk Charmer
3.1.5/Fabrizio Oddone/シェアウェア（10ドル）
●HFS+に対応したディスクユーティリティ
フロッピーディスクの高速消去、フォーマット、コピーが可能。DOS、HFS+フォーマットの初期化も可能。



DiskDup+
2.9.2/Roger D. Bates/シェアウェア（25ドル）
●ディスクコピーとイメージファイル作成
HFS+にも対応した、ディスクの複製やディスクイメージの作成を高速に行なうユーティリティ。

DiskFolder
2.5/中原仁/シェアウェア（2,500円）
●ディスク情報を階層フォルダーで管理
FINDERのような表示形式でディスク情報を一覧できる。FD、MO、CD-ROM、Zip、PDから、ハードディスクやネットワークボリュームまで含まれている。

★Mt. Everything
1.5.2/Horst Pralow/フリーウェア
●SCSIデバイス管理用ユーティリティ
ディスクのマウント／アンマウントなどを強力に実行。

★ramBunctious
1.3.2J/Elden Wood & Bob Clark/シェアウェア（1,800円）
●RAMディスク作成ユーティリティ
RAMディスクの速度を向上させ、複数のRマウントやセキュリティ機能も付加させるRAMディスク作製ユーティリティ。

テキスト

eDOC
2.2.1/Michel Touchot/シェアウェア（25ドル）
●スタンドアロン形式の文書作成
セレクタ機能拡張ファイルがインストールされ、印刷と同手順で任意の書類を誰でも読める文書に書き出す。

Jedit
3.0（Rev.3.0.3）/（株）まつもと/シェアウェア（2,500円）
●定番テキストエディター
マクロ機能、アップルスクリプトなどに対応した汎用テキストエディター。HTMLエディターとしても使用できる。

KanaKiller
1.6.3/関信/フリーウェア
●半角カナ文字を自動変換する
Eメール送信時にトラブルになりやすい半角カナ交じりのテキストを、全角カナ交じりに自動変換してくれるユーティリティ。DTPなどでテキストを整形する場合にも便利。

LightWayText
2.1.2/山下道明/シェアウェア（2,500円）
●高機能日本語テキストエディター
ワープロ並みの豊富な機能を備えた日本語テキストエディター。

PowerReplace
6.5/Guoniu Han/シェアウェア（25ドル）
●高機能なテキスト変換ツール
簡単なフィルターを作成して、複数の文字列の検索置換を一度に高速処理する。既存の各種フィルターも便利。

T.Clip
2.5/国府田正樹/シェアウェア（2,000円）
●テキスト入力補助ユーティリティ
メニューから選択するだけで、文書の途中に記号や特殊文字、日付などのテキストを取り込んでくれる。

縦変 for Mac（Tatehen for Mac）
1.12/安原啓悦/フリーウェア
●縦書きテキスト変換ツール
横書きのテキストを縦に並べ替えるツール。

TextChain
1.5/仲野隆行/フリーウェア
●テキスト結合ユーティリティ
複数のテキストファイルをドラッグ＆ドロップなどでひとつにする。クリエーター設定やヘッダー付加も可能。

★YooEdit
1.64b8/田川洋一/フリーウェア
●高速起動の日本語テキストエディター
速さと検索機能、キーボードの操作性などに優れ、PICT画像も貼りこめる。Mac OS 8.5対応の開発版も公開中。



セキュリティ&バックアップ

Drag'nBack
2.9.8/Enterprise Software/シェアウェア（50ドル）
●わかりやすいディレクトリー構造
どの階層にあるファイルでも、ディレクトリー階層がわかるように、ほかのディスクへコピーを作成する。

John's RAM Disk Backup
1.1/John C Rethorst/フリーウェア
●システム終了時にRAMディスクを自動保存
RAMディスクの内容をシステム終了時に自動的にバックアップし、起動時にリストアする。

SwitchBack
2.8J/Glendower Software/シェアウェア（3,000円）
●ファイル管理ソフト
2つのフォルダーをシンクロさせて、最新のファイルを入れ替えるユーティリティ。

Synchronize!
3.7/Qdea/シェアウェア（29.95ドル）
●直観的で使いやすいバックアップツール
フォルダーバックアップ用のユーティリティ。2つのフォルダーをシンクロナイズさせる／バックアップをとる、のいずれかの使用方法がある。

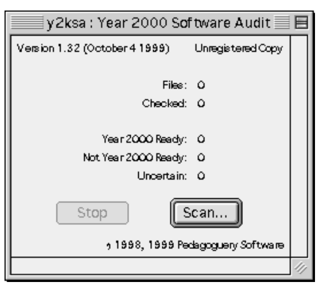
Synk
2.5.2/Randall Voth/シェアウェア（10ドル）
●簡単操作のバックアップユーティリティ
各種作業条件の設定後、ボタンをクリックするだけでシンクロナイズ／バックアップが可能。

THE BLOCK
2.1J/Marc Mennigmann/シェアウェア（10ドル）
●セキュリティツール
「パスワードはキーボードからの入力が必要だ」という既成概念を逆利用したプロテクトシステム。通常のキーボードからのパスワード入力後にEscキーを使った2ステップ方式。

The MacLocksmith
2.4.0/Yellowsoft/Rocco Moliterno/シェアウェア（10ドル）
●ファイル保護ユーティリティ
起動すると小さなウィンドウが表示され、ここにプロテクトをかけたいファイル／フォルダーをドラッグ&ドロップするだけで、簡単にファイル保護ができる。

WormScanner
2.3.1/James W. Walker/フリーウェア
●ウイルスワクチンソフト
不可視ファイルのAutoStart9805ウイルスを検索し、駆除を行なう。3種類のスキャンモードが選択できる。

★Y2K Software Audit
1.32/Pedagoguery Software/シェアウェア（38ドル）
●ソフトの2000年問題対応をチェック
インストールしているアプリケーションや機能拡張書類などを、4種類に区分してレポートする。



インターネット

Anarchie Pro
3.5J/Stairways Software/シェアウェア（35ドル）
●検索が可能なFTPクライアント
Anonymous FTPサーバーからのファイルのダウンロードに便利なFTPソフト。ダウンロードしたいファイルの置かれている場所がわかっていない場合でも、archieサーバーやMac Searchサーバーにファイル名を問い合わせ、探すことができる。

★ARENA Internet Mailer
1.6/ARENA Project/シェアウェア（3,800円）
●Finderライクで高機能な人気のメーラー
使いやすさと最高水準の機能を追求しているだけに細部まで充実し、カスタマイズ性にも優れている。

BetterTelnet
2.0fc1c2/Rolf Braun、日本語化:吉田昭男/フリーウェア
●改良が図られたtelnetクライアント
「NCSA Telnet」をもとにRolf Braun氏が開発している「BetterTelnet」の日本語対応版。Favoriteメニューが独立して設けられているため、メニューから選択するだけで、よく利用するコンピューターに接続可能。

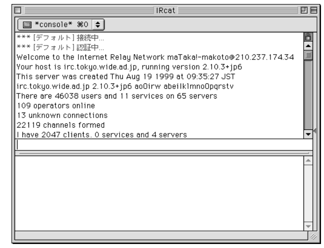
★Digital Site
1.7J/日浦勝昭/シェアウェア（2,500円）
●ワープロ感覚のHTMLエディター
HTMLタグや文法の知識は必要なく、WYSIYNGにより仕上がりを確認しながらホームページを作成できる。

Fetch日本語版
3.0.3J2/ハートコンピュータ（株）/シェアウェア（2,500円）
●高機能ファイル転送ソフト
ファイルの拡張子や使いたいプログラムを登録すれば、ファイルタイプとクリエーターを自動的に設定する。日本語版では、漢字コードの自動変換に対応している。対応漢字コードはJIS、シフトJIS、EUC。

FreePPP
2.6.2/Rockstar Studios and the FreePPP Group/フリーウェア
●接続の操作がメニューから行なえる
複数の接続先の情報を管理できるほか、詳細な転送レートのリアルタイム表示ができる。モデムやTAの初期化コマンドはユーザーレベルで入力するので、ATコマンドを使った細かい設定が可能だ。

★IPNetMonitor
2.3.1/Sustainable Softworks/シェアウェア（20ドル）
●ネットワーク診断ツール
TCP/IPネットワーク環境の状況を詳細に表示。さまざまな機能を併せ持つネットワーク診断ツール。UNIX環境でのping、traceroute、finger、nslookup相当の操作が行なえるほか、TCP/IPパケットの送受信状況や接続状況をリアルタイムでモニターできる。

★IRcat
0.6.1/田上敦士/フリーウェア
●IRCチャットクライアントソフト
簡単な設定で、インターネットを使ったチャットが楽しめる。日本語のインライン入力もサポート。



MailKanjiFixer
1.4/伊東秀喜/フリーウェア
●文字化け修復ツール
漢字コードが文字化けしてしまったメールやテキストの文字化けを可能なかぎり修復する。

PageSpinner
2.1/Optima System/シェアウェア（25ドル）
●初心者でも扱えるHTMLエディター
最高18個まで独自のタグを作ることが可能。また、書体の設定もツールバーで簡単に行なえる。

★PerMan Surfer波乗野郎
3.15/（株）ビー・ユー・ジー/シェアウェア（6,800円）
●ホームページ自動巡回ソフト
指定時刻に、登録したURLの更新チェックやデータのダウンロードを行なう。マルチセッションに対応。

★URL Manager Pro
2.5.1J、2.6/Alco Blom/シェアウェア（3,500円）
●ブックマーク管理ユーティリティ
高機能なブックマーク管理ツール。ブックマークの取り込み・書き出しはもちろん、ブックマーク内でのソートや検索、重複したURLの削除、アウトライン表示、メールアドレスやURLの抽出が可能。

グラフィック

ComebackImage
2.6.2.1/青木康雄/シェアウェア（2,500円）
●多彩な機能を持つフォトレタッチソフト
フルカラー対応のフォトレタッチソフト。PICTやJPEGのほか、一部のデジタルカメラで採用されているJ6I形式の画像ファイルも開くことができる。

GIFConverter
2.4.4/Kevin A. Mitchell/シェアウェア（30ドル）
●画像ファイルコンバーター
GIFをはじめ、PICT、JPEG、TIFF、RIFFなど主要形式に対応。簡単なレタッチ、スライドショー機能もある。

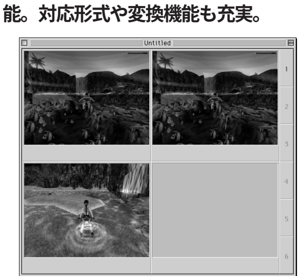
★GraphicConverter
3.7.2/Lemke Software/Thorsten Lemke/シェアウェア（35ドル）
●画像変換&描画ソフト
Windows標準のBMP形式をはじめ、AmigaからUNIXまで、さまざまなOSで使われている画像ファイルフォーマットを開くことができる画像変換ツール。ペイントツールあるいは画像レタッチソフトとしての機能もあり、スライドショーもできる。

★ImageViewer
5.12/Plato Grande Software/Kevin Wleklinski/シェアウェア（30ドル）
●使い勝手に優れた画像コンバーター
GIF、JPEG、PICT、TIFFの4形式に対応した画像ビューワー。相互の形式に変換することもできる。大量の画像ファイルを一度に表示したり、簡単に整理するための機能が備わっている。

★Photonick
1.7.3/田中康之/フリーウェア
●デジカメに適した画像処理ソフト
デジタルカメラによく見られる歪曲収差を補正する機能などを持つ、高機能な画像処理ソフト。PICT、JPEG、CAM、プログレッシブJPEG形式の画像を読み込んで、エッジ強調、色強調などの画像調整、フィルター、マスク処理ができる。

PixelCat
1.6.9b5/BombCat、Yoshiki（Dream Field）/フリーウェア
●日本特有の画像フォーマットに対応した画像ビューワー&コンバーター
PICT、Compressed PICT、BMP、GIFなどのほか、Doga PIC、G68、MAGなどの画像フォーマットに対応している画像ビューワー兼コンバーター。

★Pocket Album
1.0.8J/鈴木隆司/シェアウェア（1,000円）
●デジカメ向きの画像整理、閲覧ソフト
ポケットアルバム風のファイルに24枚の画像を登録でき、コメントも入力可能。対応形式や変換機能も充実。



QuickNailer
1.7.1/Stephen Baber/シェアウェア（18ドル）
●画像／ムービーデータの管理ツール
ドラッグ&ドロップで画像およびムービーファイルを探し出して、サムネイルウィンドウを開いて一覧表示する。表示できる形式はPICT、JPEG、GIF、QuickTimeムービー（MooV）、Photoshop2.5（8BPS）、QuickTime Image（qtif）、clipping（clpp）など。

RenderBoy
2.2.0/Vista Systems （Paul Rybarczyk）/シェアウェア（25ドル）
●3Dレンダリングソフト
球や直方体などを組み合わせ、比較的簡単な操作で、ハイクオリティな3D画像が作成できる。

ShareDraw
2.01/Peirce Software/シェアウェア（24.95ドル）
●ドロー系描画ソフト
24ビットカラー対応のドロー系描画ソフト。ひし形ツールや円弧ツールなどの描画ツール、シアーツールやディストートツールなどの変形ツールは市販のソフトに匹敵する機能をもつ。

★SketchBook
2.5.1/木村渋太郎/シェアウェア（3,500円）
●楽しいペイントソフト
絵心がなくても初心者でも簡単に絵が描けるペイントソフト。

マルチメディア

Animation Maker
3.2J/VOGET SELBACH ENTERTAINMENT/シェアウェア（25ドル）
●簡単なアニメーションを作成
ペイントツールやボタン操作などが主体の、手軽な動画作成ソフト。GIFやPICS形式での保存ができる。

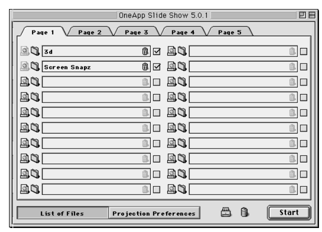
GIfBuilder
0.5/Yves Piguet/フリーウェア
●アニメーションGIF作成
簡単な操作でアニメーションGIFのデータが作成できるオーサリングソフト。

iView Multimedia
3.7/iView Multimedia Ltd./シェアウェア（25ドル）
●シンプルで強力な画像カタログソフト
1カタログで8,000までの画像を管理することができる画像カタログ管理ツールで、作成可能なカタログ数には制限がない。サポートしている画像形式はPICT、JPEG、GIF、Photoshopなど。

MooVer
1.6J/esp Software/Eduard Schwan/シェアウェア（10ドル）
●ドラッグ&ドロップでムービー作成
PICTファイルやサウンドファイルをドラッグ&ドロップするだけで、QuickTimeムービーを作成することができる。ムービーのサイズは最初にドロップされた画像の大きさで決定され、カラー階調は256色（8bitカラー）、あるいは1670色（24bitカラー）に設定できる。

Morpher
2.0/藤宮昌和/シェアウェア（2,000円）
●モーフィングムービー作成ソフト
2つのPICT形式の画像を取り込み、最初と最後の画像をベースにして連続的に変化するQuickTimeムービーまたはPICS形式の動画を作成する。

★OneApp Slide Show
5.0.1/OneApp Software/シェアウェア（25ドル）
●マルチメディアプロジェクタ
QuickTime、QuickTime VR、AIFFサウンドなどさまざまな画像形式に対応したプレゼンテーションソフト。



★Play it Cool
3.3.2J/Russell Clarke/シェアウェア（2,000円）
●QuickTimeムービー再生ソフト
QuickTimeムービーの再生と編集ができ、画像やサウンドファイルを開くことも可能なユーティリティソフト。

サウンド

ConvertMachine
1.2v1J/Rod Kennedy/シェアウェア（1,200円もしくは15ドル）
●サウンドファイルのフォーマット変換ツール
ドラッグ&ドロップするだけでサウンドファイルを変換できる、「SoundMachine」と同じ作者によるユーティリティ。AIFF/AIFC、AU、WAVE、システムサウンド、QuickTimeオーディオなどを相互に変換可能。ステレオをモノラルにすることもできる。圧縮比率やサンプルレートも自由に設定可能。

MacAmp Lite
1.5.2/@soft/シェアウェア（10ドル）
●オーディオプレイヤーMacAmpの簡易版
MP3をはじめとする各種サウンドフォーマットに対応し、モジュール追加でさらに機能アップも可能。

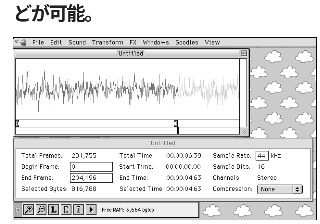
★Melody Assistant
4.0.1/Didier & Olivier Guillion（MYRIAD SARL）/シェアウェア（15ドル）
●フランス生まれの高機能な楽譜編集・作曲ソフト
「.kar」を含むMIDI形式やMOD形式などのサウンドファイルも開け、ユーザー登録すると、AIFF、WAVE形式での書き出しも可能になる。

MIDIGraphy
1.4.2/前田昌雄/シェアウェア（2,000円または20ドル）
●多機能なシーケンスソフト
内部データ構造などが、すべて標準MIDIファイルフォーマットの規約に基づいて作られているシーケンスソフト。RCP、SNGファイルの読み込みもサポートしているほか、LHA圧縮ファイルは解凍しなくても読み込むことができる。

MPEG Audio Realtime Player
1.74/Oliver Dreer/フリーウェア
●MP3の再生が可能なサウンドプレーヤー
CDとほぼ同じ音質を保ちながら、12分の1のサイズまでデータを圧縮することができるMP3（Layer3）方式のサウンドファイルを再生する。圧縮比の低いLayer1（1/4程度）やLayer2（1/6〜1/8程度）にも対応している。

★PlayerPRO
5.3.2/Antoine ROSSET/フリーウェア
●さまざまなフォーマットに対応した再生・編集ソフト
MOD形式のサウンドファイルの再生・編集ソフト。そのほかにS3M、Mldl、MTM、MADx、OKTA、snd、WAV、AIFF、AIFC、MED、XMの各フォーマットを読み込んで再生することができる。また、演奏中の曲情報が波形やインジケーター形式で視覚的に表示できる。

★SndSampler
4.0/Alan Glenn/シェアウェア（20ドル）
●録音&サウンド編集ツール
シンプルな録音機能にあわせ、サウンド編集機能を搭載した強力なツール。さまざまなエフェクトやレートの変更などが可能。



Sound Sculptor II
2.4.1/Jeff Smith/シェアウェア(30ドル)
●8トラックまで使えるサウンドエディター
8トラックステレオサウンドまでの再生および編集が可能で、ファイル形式はAIFF、System 7サウンド、WAVE、Sound Designer II、Sound Editに対応している。

SoundApp
2.6.1J/Norman Franke/フリーウェア
●サウンド再生ツールの決定版
AIFF、AU、WAVE、MP3などのさまざまな音声フォーマットに対応したサウンド再生ツール。また、System 7サウンド、Soundスーツケース、WAVE、AIFF、NeXTの各フォーマットへの変換もサポートしている。

SoundMachine
2.7.1J/Rod Kennedy/シェアウェア(1,200円もしくは15ドル)
●サウンドプレーヤー
m-law(mu-law)、AIFF、WAVEなどのオーディオフォーマットを再生するサウンドファイルプレーヤー。

データベース&メモ

ForceEngineII
1.7.2/上田篤史/シェアウェア(3,000円)
●カード型データベースの定番
現在さまざまなニーズに対応できるように、3種類のシリーズとしてリリースされているデータベースソフト。ベースファイルと呼ばれる設計ずみのカード(テンプレート)が11種類備わっている。これらをそのまま利用することができ、変更を加えてカスタマイズすることも可能。もちろん、まったくオリジナルな様式のカードを設計することもできる。

Gramotki
1.5.9J/Troy Magazine/シェアウェア(3,200円)
●高機能なスティッキーズ代替ソフト
テキスト以外に画像やサウンドの貼り付けもできるメモ、一覧リスト、カレンダーがセットになっている。

Idea Keeper
1.5023/Glenn Berntson/シェアウェア(30ドル)
●高機能なメモ帳
ひらめいたアイデアを書き留めたり、To Do(しなければならない事柄)のリストアップにも利用できる高機能なメモ帳。いくつかのメモをトピックスというグループで体系化することができるのをはじめ、修飾文字の使用もサポートしており、さらにひとつのノートウィンドウからほかのウィンドウやファイルにリンクを張ることも可能。

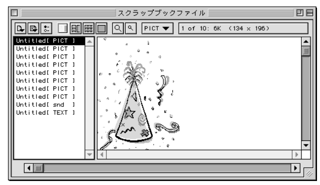
まみむメモ(memo)
1.61/伊藤日出夫/シェアウェア(金額任意)
●メモ用紙とカレンダーを兼ね備えたスケジューラー
ホワイトボードにピンなどで留めていくような感覚で、日付入りのメモを利用できる。基本的にはメモパッド(メモ用紙の束)、それを貼り付けるマンスリーカレンダー(月間予定表)とウィークリーカレンダー(週間予定表)、不要になったメモを捨てるためのゴミ箱、および貼り付けられたメモ用紙の編集用ウィンドウ(デイパッド)で構成されている。

メモゼリー(Memojelly)
1.9.0/落合徹/シェアウェア(1,500円)
●生きてるように動き回るゼリー状のメモ帳
テキスト、画像、音声などのデータをドラッグ&ドロップして保存。検索やパスワード設定機能も完備。

Memorize
4.4/清水友彦/シェアウェア(2,000円)
●定番PIMソフト
PIMソフトの定番。スケジュールの登録やメモなどの基本機能に加えて、画像の表示やURLの管理能力を持つ。高機能でありながら簡単に使えるため、愛用者も多い。

★NewNOTEPAD II
1.8.2/久浦広樹/シェアウェア(2,500円 学生は無料)
●高機能メモソフト
メモの記述と管理機能を統合したメモソフト。フォルダーの中にメモファイルを保存するように、ウィンドウの中にいくつもメモを登録できる。フォルダーの追加もできるので、複数のメモを整理する際に便利。

ScrapIt Pro
5.4.4/John V. Holder/シェアウェア(20ドル)
●さまざまな形式のファイルをスクラップ/一覧できる
スクラップするデータに名前を付け、それで検索して速やかに表示させることができる。また、保存したすべての項目をギャラリー形式で一覧表示させたり、スライドショー形式によって順に表示させることも可能。ストックできるデータは、テキスト、画像、サウンドはもとより、ムービーやQuickDraw 3Dのファイルでもよい。



デスクトップデコレーション

DarkSide of the Mac
5.0.5J/Tom Dowdy/シェアウェア(20ドル)
●9カ国語対応のスクリーンセーバー
AfterDarkモジュールも利用可能なアプリケーションタイプのスクリーンセーバー。48種類のモジュールを同梱。

Icon Machine
1.6.2J/David Catmull/シェアウェア(2,600円)
●アイコンをカスタマイズ
ファインダーアイコンをカスタマイズするアイコンエディター。

IconShop
2.0/木村渋太郎/シェアウェア(3,200円)
●アイコンの編集ができるアイコンエディター
ドラッグ&ドロップでライブラリ登録ができ、アイコンの編集が可能なアイコンエディター。

★Kaleidoscope
2.2.1J/Greg Landweber、Arlo Rose & Edward Voas/シェアウェア(25ドル)
●デスクトップカスタマイズユーティリティ
Macの見た目のデザインを過激にカスタマイズしてくれるユーティリティ。2.0でスクロールアローのダブル化やデスクトップパターンとの連動化機能が加わった。

★Kineticon
1.6.2J/Kinetic Creations/シェアウェア(1,800円)
●アニメアイコンを表示する
26種類のサンプルアイコンが同梱されているほか、Kineticon Editorでオリジナルアイコンも作成可能。



MacDim
2.2J/Ibrium HB/フリーウェア
●シンプルなスクリーンセーバー
画面を薄暗くするほか、選択ファイルの起動/スリープも可能。パスワード機能も備わっている。

Pattern Manager
1.5.2/Sterling Augustine/フリーウェア
●画像ファイルから手軽にデスクトップパターンを作る
一般のグラフィックツールで行なうと面倒な作業を、すべて簡単に処理してくれる。プレビュー機能がやや弱いのが残念だが、オリジナルのデスクトップパターンを作るのに役立つ。

Window Monkey
1.3J/Tiger Technologies/シェアウェア(2,800円)
●ウィンドウパターンを付加
ウィンドウのなかにパターンを貼るコントロールパネル。

デスクトップピンナップ
2.6.0/落合徹/シェアウェア(1,000円)
●デスクトップピクチャを自動切り換え
高度な機能を持ったデスクトップピクチャ貼りつけツール。一定時間ごとに画像を切り換える、貼り付けた画像に枠を付けるなど、機能が満載だ。

CD-ROM MACLIFE収録のフリーウェアに関して以下のことに注意してください
※シェアウェアは、無料のソフトではなく、継続して使用する場合に一定の対価を必要とするソフトです。シェアウェアのソフトを気に入って継続使用する場合には、対価を必ず支払いましょう。それが、新しい、有用なソフトのさらなる開発につながります。なお、対価は、お金の場合のほか、さまざまな条件の場合があるので、詳しくは当該ソフトに付属する文書をお読みください。